

史料目録 第104集

守屋栄夫文書目録
(その2・完)

平成29年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
調査収集事業部

史料目録 第104集

守屋栄夫文書目録
(その2・完)

The catalogue of historical collections

Vol. 104

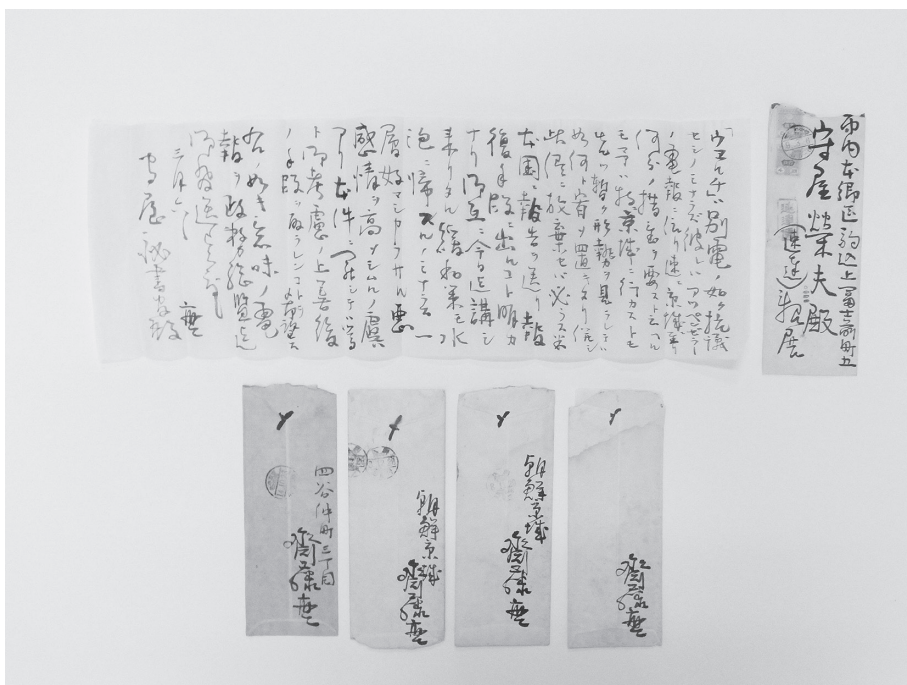
The catalogue of MORIYA Eifu papers

No. 2

National Institute of Japanese Literature, 2017

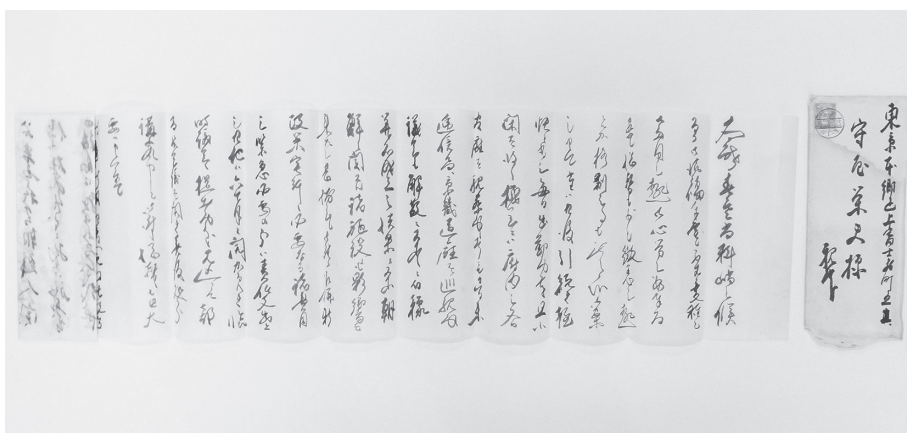
ISBN 978-4-87592-179-0

ISSN 2189-9010

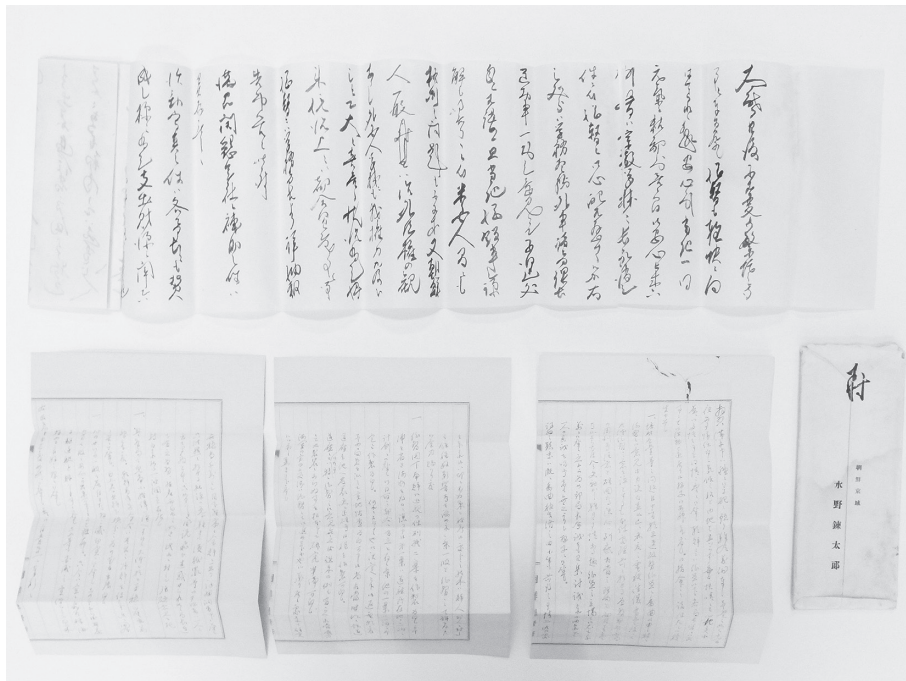


斎藤実

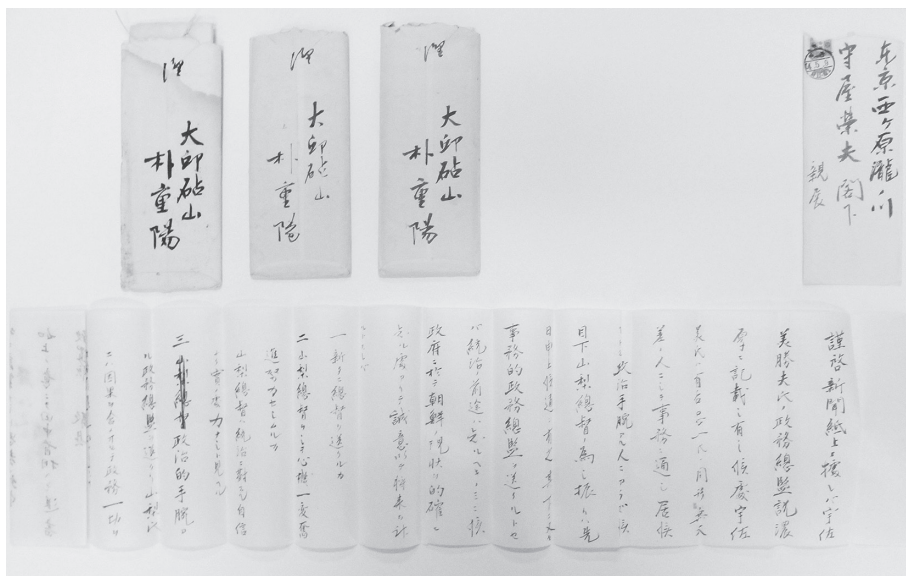
培材学堂問題は緩和策の手段を取るべき件 (No.86-353-23)



水野錬太郎／予算不成立・朝鮮諸施設必要諸費を責任支出とする、高見茂氏へ朝鮮人関係研究旅費支出の件 (No.86-353-13)



水野鍊太郎／培材学堂問題、朝鮮総督南鮮巡視計画の件 (No.86-353-20)



朴重陽／宇佐美勝夫が政務総監につく事への疑義 (No.85-4-2-4)

凡 例

1 本目録は、『史料目録』第104集として「守屋栄夫文書目録 書簡・追補の部」を収めた。本目録の対象は、「守屋栄夫文書」のうち、書簡および第103集の収録漏れ書類・刊行物である。本目録に収録されない書類・刊行物に関しては、第103集に収録されている。

2 目録の編成にあたっては文書群の階層構造に留意し、ISAD(G)（国際標準：アーカイブズ記述の一般原則）の考え方を参考にした。個人文書の場合、組織体文書と異なり、原秩序が崩壊、またはそもそも当初から体系的整理がなされていないケースが多く、それぞれの文書群の現状を踏まえて上での階層構造分析とシリーズ編成が必要になる。基本としては原蔵者の経歴に応じたシリーズレベル（サブ・シリーズレベルも含む）を設定したが、文書群の構造によっては形態別を加えたシリーズ編成を行っている。なお、シリーズ（またはサブ・シリーズ）以下は文書の形態に応じてファイルまたはアイテムレベルを設定した。

3 文書の集合的記述は、フォンドとシリーズのレベルで解題を記した。

4 文書1点ごとの記述は、①表題・作成・宛先（表題〔内容摘記〕、作成→宛先）、②年代（作成年月日、西暦年）、③数量・形態・刻字、④整理番号、の順に記載した。また、差出人が日本人・朝鮮人で漢字・仮名表記のものは五十音順（日本語読み）、欧米人でアルファベット表記のものはアルファベット順に列記した。

表題は、書簡・葉書・電報・名刺と形態を記載し、〔 〕で内容摘記を記述した。作成に関しては、記載されている発信者名を表記したが、利用の便を図るため肩書きが判明するものに関しては〔 〕で補記した。

作成年月日に関しては、和暦と西暦を表記し、推定したものは「カ」を付した。

数量・形態は、通・枚で表記した。その他、刻字は鉛筆を含めペン書きのものは「ペン」、墨書のものは「墨書」、タイプなど謄写版印刷のものは「謄写版」、活字印刷のものは「活版」と表記した。なお、追補に関しては、第103集の凡例に準拠した。

5 本目録が対象とした文書は、当館受入直後に整理された際の順序によって史料番号が付与されたため、目録上で文書が整理番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、文書の引用に際しては番号のほか掲載頁もできるならば併記することをお願いしたい。

6 本目録は研究部加藤聖文が担当した。また、文書の内容摘記を含むデータ入力および仮編成に関しては、堀内暢行（国土館大学）・田中悠介（一橋大学大学院）・橋本陽（学習院大学大学院・当時）・元ナミ（学習院大学大学院・当時）を中心に、木戸西亮（学習院大学大学院）・竹内竜馬（駒澤大学大学院）・竹中友亮（一橋大学大学院）・木村由美子・高野宏峰（中央大学大学院）・西山直志（一橋大学大学院）・本田幸士（国土館大学大学院）・松村光希子（学習院大学大学院）・渡辺裕太（東京学芸大学大学院）によって行われた。その他、受入直後の仮目録作成時のデータ入力は、手塚雄太（國學院大学大学院・当時）・島田超幸（中央大学大学院・当時）・土金師子（日本女子大学大学院・当時）が担当している。

総 目 次

口絵

凡例

総目次

守屋栄夫文書目録（その2・完）本文細目次	1
解題	5
履歴	5
来歴	6
範囲と内容	6
使用言語	7
資料状態	7
検索手段	7
関連資料の所在	7
出版物	7
目録本文	9
書簡	9
追補	399
公的活動（内務省・朝鮮総督府）	399
公的活動（衆議院）	399
個人	401
原稿・著作	429
刊行物	430

守屋栄夫文書目録（その2・完） 本文細目次

Series No6: 書簡	9
Sub-Series No.1: 来信	
あ	9
い	23
う	41
え	47
お	50
か	70
き	95
く	105
け	109
こ	110
さ	124
し	149
す	160
せ	169
そ	172
た	172
ち	191
つ	196
て	198
と	199
な	207
に	219
ぬ	224
ね	224
の	224
は	226
ひ	234

ふ	238
へ	246
ほ	246
ま	255
み	270
む	284
め	287
も	287
や	290
ゆ	304
よ	306
り	310
る	313
れ	313
ろ	313
わ	313
外国人	325

Sub-Series No.2: 家族

(発信)

守屋栄夫	327
守屋よしみ	336
守屋ひでを	340
守屋徳夫	340
守屋和郎	345
守屋節夫	351
守屋（堀越）つらね	353
守屋（成田）園江	353
守屋伴男	354
守屋正男	359
守屋明男	359
守屋赳男	363
その他	364

(受信)

守屋よしみ	366
-------	-----

守屋ひでを	382
守屋徳夫	384
守屋和郎	384
守屋節夫	385
守屋（堀越）つらね	386
守屋（成田）園枝	387
守屋伴男	388
守屋正男	388
守屋明男	388
その他	389
Sub-Series No.3: 第三者	390
あ行	390
か行	391
さ行	392
た行	393
な行	394
は行	394
ま行	394
や行	395
Sub-Series No.4: 作成者不明	396
追 補	
Series No.1: 公的活動（内務省・朝鮮総督府）	399
Sub-Series No.6: 朝鮮総督府秘書官	
Sub-Series No.4: 内務監察官兼参事官	
浦塩派遣軍	
業務全般	
Series No.2: 公的活動（衆議院）	399
Sub-Series No.4: 国政	
その他	
Sub-Series No.7: 選挙	

Series No3: 個人 401

Sub-Series No.1: 日記・手帳・ノート

ノート・メモ

Sub-Series No.2: 書類

その他

Sub-Series No.3: 家族

家族・親類

Sub-Series No.4: 写真・絵葉書

写真

絵葉書

名刺・その他

Series No4: 原稿・著作..... 429

Sub-Series No.1: 原稿

全般

Sub-Series No.2: 著作

Series No5: 刊行物 430

Sub-Series No.1: 行政刊行物

書籍

定期刊行物

Sub-Series No.2: 一般刊行物

書籍

定期刊行物

洋書

洋雑誌

守屋栄夫文書目録 解題

(3.1.1) 2007L

(3.1.2) 守屋栄夫文書：The Papers of MORIYA, Eifu

(3.1.3) 1877（明治10）年－1974（昭和49）年

(3.1.5) 総点数 19,446 点 (180m)（書類・刊行物《第103集収録》8,076 点、書簡・追補《第104集収録》11,370 点）

(3.2.2) 履 歴：明治17年（1884）11月8日に守屋徳郎の長男として宮城県遠田郡富永村（現大崎市）に生まれた。24年（1891）に富永尋常小学校に入学、28年（1895）田尻高等小学校、32年（1899）古川中学校、36年（1903）9月第二高等学校を経て、39年（1906）東京帝国大学法律学科（独法）に入学した。43年（1910）7月に卒業、同年11月に文官高等試験に合格した。同年10月1日付で秋田県属として採用、44年（1911）4月内務属（土木局）、大正2年（1913）1月に地方局兼務、同年6月に千葉県理事官に任命、翌7月に視学官兼任となる。大正5年（1916）1月愛知県理事官兼視学官に異動、6年（1917）5月内務監察官兼内務省参事官に任命、7年（1918）12月浦潮派遣軍司令部政務部付となりウラジオストクへ派遣。8年（1919）4月に帰京し、同年8月9日内務省専任参事官兼府県課長、同月12日朝鮮総督府秘書官兼参事官に任命、11年（1922）10月朝鮮総督府庶務部長事務取扱に異動、12年（1923）1月より11月まで欧米視察、その間の9月朝鮮総督府庶務部長（高等官二等）に任命された。13年（1924）内務省社会局第二部長に転任、14年（1925）5月第7回国際労働会議に日本政府代表としてスイス・ジュネーブへ派遣。15年（1926）4月内務省社会局社会部長に任命、昭和2年（1927）叙従四位勲三等（高等官一等）、3年（1928）1月内務省を退官し、弁護士登録。同年2月衆議院議員選挙に宮城県第一区より立候補、第5位で当選、当初は後藤新平を擁立しようとしたが上手くいかず無所属。4年（1929）11月個人の政治団体である大日本昭和連盟を結成。5年（1930）2月衆議院選挙第5位で再選、7年（1932）衆議院選挙第2位で3選、9年（1934）岡田内閣で農林政務次官に任命される。11年（1936）2月衆議院選挙第2位で4選、同年4月農林政務次官を退任、同年5月第69回帝国議会が招集され、政友会除名組が前年12月に結成した昭和会に所属となる。12年（1937）4月衆議院選挙第4位で5選、同年5月昭和会解党、同年7月第一議員倶楽部所属。15年（1940）8月第一議員倶楽部は解党し大政翼賛会へ合流。17年（1942）2月衆議院議員のまま塩竈市長に当選（名誉職）、同年5月衆議院選挙第2位で6選、叙勲二等、21年（1946）6月塩竈市長を辞職、公職追放となる。追放中は弁護士や各種団体の顧問・理事として活動する。26年（1951）追放解除、27年（1952）9月衆議院選挙に無所属で立候補するが落選、政治活動から身を引く。48年（1973）2月1日死去。なお、守屋栄夫の名は「エイフ」と呼ばれているが、内務省時代の

パスポートでは「SAKAO:サカオ」となっている。いつから「エイフ」となったか定かではないが、衆議院選挙に立候補した頃に「エイフ」と呼称するようになったとも推測される。

家族関係については明治38年(1905)1月に今野好と結婚し、4男3女が生まれた。昭和14年(1939)前妻と死別し、昭和18年(1942)11月2男2女の母、斎藤菊代と再婚して2男1女が生まれた。

(3.2.4) 来歴:2006年、国際日本文化研究センターの松田利彦氏が、国立国会図書館に所蔵されていた『守屋栄夫日記』を編纂した守屋孝彦氏(茨城大学名誉教授:守屋栄夫の長男伴男の三男)に問い合わせたところ文書が存在が明らかとなった。これを受けて、松田氏から国文学研究資料館の安藤正人(当時)および加藤聖文に対して、文書の受け入れ可否について問い合わせがあった。当館において守屋氏と面談の上、寄贈を前提として話を進めることとなり、2006年10月に大崎市の守屋家を訪問した。その場で、守屋氏が編纂に使用した日記(明治40年から昭和18年まで)と書類(製本された手稿類)、書籍数点を確認したが、その他の文書についても調査を行った結果、長屋門の一室および離れの倉庫に大量の文書(書類・書簡・書籍)が残されているのを確認した。当館では、故人の遺品として一部の絵葉書帳と写真を残し、書籍(破損分も含む)も含めて守屋家に残されているすべての文書を受け入れることとし、同年12月に国文学研究資料館(当時は品川区戸越)に搬入した。翌年には寄贈手続きを完了した後、燻蒸処理を経て2008年2月に当館の立川市移転に伴い、文書も立川へ搬入され、同年5月から2009年3月まで仮目録を作成し、2009年夏から一般公開を行った。なお、守屋栄夫は古川の生家の他に、塩竈市長時代以降、塩竈市にも本宅を構え、晩年の文書類(主に昭和19年以降の日記)は塩竈に残されていた。これらの日記(昭和19年~32年)は、書籍と合わせて2015年10月に守屋家から追加寄贈された。

文書全体は、守屋本人が几帳面であったことと、専用の部屋に配架されていたため、きれいに整理されていたと考えられるが、守屋死後に起きた地震によって配架されていた文書類が散乱したため、棚の配列などの原秩序は崩れている。ただし、重要文書や書簡に関しては木箱に収納され、麻紐などでまとめられていたため、原秩序は維持されていた。この他、自筆原稿など手稿類の一部は本人によって製本されていた。

なお、『守屋栄夫日記』に写真掲載されている浦塩派遣軍政務部付時代の研究ノート「西比利亜研究」は、寄贈前に紛失しており、当館所蔵文書のなかには現存しない。

(3.3.1) 範囲と内容:守屋栄夫文書は、守屋栄夫の衆議院議員時代、個人活動によって作成・収集された文書、刊行物が中心である。内容は(一)内務省・朝鮮総督府官僚時代の関連書類(業務文書・ノート・メモ・新聞切り抜き・書簡)、(二)衆議院議員時代の関連書類(議会・農林政務次官関係・議員活動・政党・選挙・議会刊行物)、(三)日記・手帳・ノート・写真・絵葉書・家族の文書など個人の活動に関わるもの、(四)書籍の執筆・雑誌への寄稿や講演の準備のために作成された草稿、(五)書籍・雑誌・行政資料などの刊行物、(六)書簡から構成される。なかでも衆議院議員時代の農林政務次官関係の書類が数多い。その一方で、塩竈市長時代以降の文書は、戦後も含めてほとんどない。

本目録では、6つのSeries(No.1:公的活動(内務省・朝鮮総督府)、No.2:公的活動(衆議院)、No.3:個人、No.4:原稿・著作、No.5:刊行物、No.6:書簡)を設定し、その下に必要に応じてSub-Seriesを設定した。

なお、書簡類に文書類が混入していたため、本目録（第 104 集）の最後にこれらを追補として掲載した。

以下、Series No.6 について概要を記す（Series No.1 ～ No.5 までは第 103 集参照のこと）。

Series No. 6 「書簡」 は、守屋宛および守屋発ならびに、第三者間の書簡の資料群であり、守屋宛発の書簡群である Sub-Series No.1 「来発信」・守屋はじめ家族（親族含む）間の書簡群である Sub-Series No.2 「家族」・第三者間の書簡群である Sub-Series No.3 「第三者」・差出人または受取人不明の書簡群である Sub-Series No.4 「不明」の 4 つを設定した。

守屋はこれらの書簡の多くを年代ごとに束ねて保管していたが、本目録では日本人・朝鮮人の差出人は五十音順（日本語読み）、欧米人の差出人はアルファベット順、家族間では最初に個人別発信、ついで個人別受取を年代順に列記した。また、家族に関しては家系図を参照されたい。

不明書簡は、差出人または受取人名が記載されていない、または破損によって判読困難なものを掲載した。

なお、原秩序（元々の保存状態）は史料番号で復元することが可能であり、書庫においては原秩序で収納されている。

最後に追補を掲載した。これらは第 103 集の Series No.1 ～ No.5 のいずれかに属するもので、該当する Series および Sub-Series を記載してある。

(3.4.3) 使用言語：大半が日本語。その他、英語・ドイツ語・フランス語、また、漢文のものも含まれる。

(3.4.4) 資料状態：一部汚損などが見られるが、おおむね保存状態は良好である。

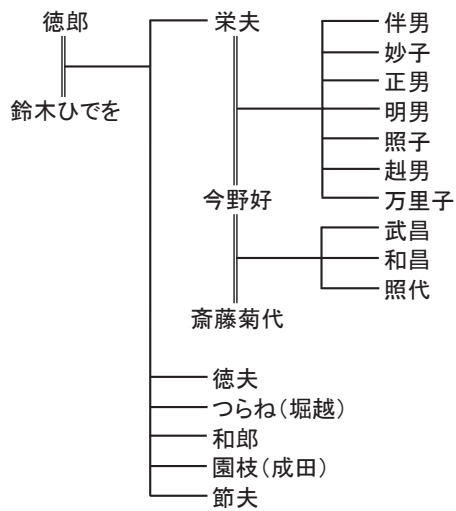
(3.4.5) 検索手段：『史料目録 第 104 集』

(3.5.2) 韓国国史編纂委員会が 2011 年から 2012 年にかけて、朝鮮に関係する文書・書簡のマイクロフィルム撮影を行った。

(3.5.3) 関連資料の所在：「斎藤実関係文書」（国立国会図書館憲政資料室）は守屋が朝鮮総督府時代の総督であった斎藤実の個人文書であり、斎藤宛の守屋書簡が含まれる。この他、朝鮮総督府時代から衆議院時代にかけて関係の深かった水野錬太郎の個人文書である「水野錬太郎関係文書」（国立国会図書館憲政資料室）も関連する。

(3.5.4) 出版物：『守屋栄夫日記』（守屋孝彦編・発行、2005 年）。表題は日記であるが、日記を翻刻したのではなく、日記などを基に編集した守屋栄夫の事歴である。

守屋栄夫家系図



今野好 明治38年(1905)1月結婚 昭和14年(1939)11月死去
 斎藤菊代 昭和18年(1943)11月結婚 再婚時は2男2女の母であった。

出典 守屋栄夫『貞室好容録 守屋好の思出』1962
 守屋孝彦『守屋栄夫日記』2005

		書簡 / 来信	
表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号

Series No6: 書簡

Sub-Series No.1: 来信

あ

葉書〔仙台の状況、議会政治革正選挙界改正のため奮闘祈念〕 R. K生〔修養団団員〕→守屋栄夫	昭和3年2月12日(1928)	1枚・ペン・墨書	7-147-268
書簡〔朝鮮民心統治への激励〕 相川勝六→守屋栄夫	大正9年11月17日(1920)	1通・墨書	81-741
書簡〔守屋著『平凡の善政』寄贈礼状〕 相川勝六→守屋栄夫	大正10年10月22日(1921)	1通・墨書	5-29-19
書簡〔選挙応援〕 相沢音五郎→守屋栄夫	昭和 2月14日	1通・ペン	10-374
書簡〔着任の報告〕 相沢兼雄→守屋栄夫	昭和8年3月13日(1933)	1通・墨書	84-22-11
葉書〔当選祝い〕 相沢善七→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・ペン	10-408-60
書簡〔お悔やみ状〕 相沢琢造→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-20
書簡〔中央政府と地方民心の関係、社会政策等への意見具申〕 相沢温和→守屋栄夫	昭和5年10月16日(1930)	1通・墨書・ペン	10-60
書簡〔本校予算決定など通知〕 会田貢→守屋栄夫	大正5年5月20日(1916)	1通・墨書	84-20-28
書簡〔就職斡旋依頼〕 会田貢→守屋栄夫	大正6年3月3日(1917)	1通・墨書	84-20-77
書簡〔昭和2年1月出納控〕 愛知県刈谷中学校寄宿舎→守屋栄夫	昭和2年2月5日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-5-17
書簡〔高文受験学生紹介〕 相野万寿子→守屋栄夫	大正13年3月19日(1924)	1通・墨書・ペン	5-30-6
葉書〔ワルシャワの国際連盟総会へ出席〕 相場浅太郎→守屋栄夫	大正14年12月(1925)	1枚・ペン	84-2-53
書簡〔守屋栄夫普選出馬につき応援〕 青木宏平〔青木医院〕→守屋栄夫	昭和2年12月5日(1927)	1通・ペン	85-7-7-20
書簡〔選挙の推薦状一覧〕 青木宏平〔青木医院〕→守屋栄夫	昭和3年3月12日(1928)	1通・ペン	10-208
葉書〔暑中見舞い、赤坂先生十和田湖紹介、宮崎氏辞職〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和4年7月19日(1929)	1枚・ペン	86-324-13
書簡〔昭和連盟の方針の承知と加入、「昭和連盟加入申込書」〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和4年8月16日(1929)	1通・ペン・墨書	5-17-8
書簡〔当選祝い、選挙戦につき分析報告〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・ペン	10-409-43
書簡〔特別議会での問題について〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和5年5月(1930)	1通・ペン	10-406-6
葉書〔姫鱈送付〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和5年8月13日(1930)	1枚・ペン・活版	86-322-318
葉書〔接見叶わずお詫び〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和6年2月24日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-346
葉書〔接見への礼状〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和6年3月27日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-327

葉書〔残暑見舞い〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和8年8月24日(1933)	1枚・ペン	86-323-78
葉書〔歳暮挨拶〕 青木貞雄→守屋栄夫	昭和8年12月21日(1933)	1枚・ペン	86-323-39
書簡〔選挙応援希望日程通知〕 青木庄蔵→守屋栄夫	昭和3年2月14日(1928)	1枚・墨書	7-147-72
書簡〔地方における選挙演説の状況〕 青木八郎→守屋栄夫	昭和4年12月19日(1929)	1通・ペン	5-14-18
葉書〔暑中見舞い〕 青木秀夫→守屋栄夫	昭和4年8月1日(1929)	1枚・墨書	86-285
葉書〔挨拶状〕 青木→守屋栄夫	昭和5年11月26日(1930)	1枚・ペン	86-1-17
葉書〔八戸出張にて挨拶状〕 青木→守屋栄夫	昭和	1枚・ペン	86-51
葉書〔年賀状〕 青沼彦治→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-220
書簡〔お礼状〕 青沼勇吉→守屋栄夫	昭和2年12月2日(1927)	1通・墨書	85-7-6-3
書簡〔内ヶ崎・藤沢両氏の選挙運動につき報告、朝鮮人参の配布方につき通知〕 青沼勇吉→守屋栄夫	昭和3年1月15日(1928)	1通・ペン	10-408-86
書簡〔上京時の礼状、お悔やみ状〕 青沼勇吉・高橋勇吉→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-10
葉書〔寒中見舞い〕 青沼吉治→守屋栄夫	昭和3年1月17日(1928)	1枚・ペン・墨書	86-325-17
書簡〔北野社山内氏について〕 青沼吉治→守屋栄夫	昭和5年4月24日(1930)	1通・ペン	10-405-21
葉書〔当選祝い〕 青沼利吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-379
葉書〔当選祝い〕 青柳秀夫〔静岡県庁〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-258
葉書〔当選祝い〕 青山正七郎→守屋栄夫	2月21日	1枚・墨書	10-255
葉書〔帰朝祝い〕 赤井青洲→守屋栄夫	大正14年10月27日(1925)	1枚・ペン	84-6-134
書簡〔第八高等学校送別式案内状〕 赤井直蔵〔第八高等学校〕→守屋栄夫	大正6年9月2日(1917)	1通・墨書	83-14-70
書簡〔お悔やみ状〕 赤井春海〔第二師団長〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン・活版	9-15-71
葉書〔北京到着、朝鮮からの外国人は総督閣下と総督府を称賛〕 赤池濃→守屋栄夫	大正3年4月2日(1914)	1枚・ペン	81-198
書簡〔挨拶状〕 赤池濃→守屋栄夫	大正6年5月9日(1917)	1通・墨書	83-14-207
葉書〔健康祝い〕 赤池濃→守屋栄夫	大正6年カ8月10日(1917)	1枚・ペン	82-3-391
書簡〔内閣・文部省より勧誘あり、内務省に残る事を勧める〕 赤池濃→守屋栄夫	大正6年8月11日(1917)	1通・ペン	82-3-167
書簡〔山形県からの出仕照会〕 赤池濃→守屋栄夫	大正6年8月16日(1917)	1通・墨書	84-7-15
葉書〔近況報告〕 赤池濃→守屋栄夫	大正7年3月4日(1918)	1枚・ペン・墨書	82-3-241
葉書〔郡市長会等終了、県下遍歴し下田に来る〕 赤池濃→守屋栄夫	大正7年7月2日(1918)	1枚・墨書	82-3-227
葉書〔帰京の節について〕 赤池濃→守屋栄夫	大正7年8月8日(1918)	1枚・墨書	82-3-78

葉書〔本日立ち寄り依頼〕 赤池濃→守屋栄夫	大正7年10月21日 (1918)	1枚・墨書	82-3-177
書簡〔近況報告〕 赤池濃→守屋栄夫	大正7年12月18日 (1918)	1通・墨書	83-7-23
書簡〔坂東国八と面会につき詳細報告〕 赤池濃→守屋 栄夫	大正7年12月2日 (1918)	1通・墨書	84-9-33
葉書〔ご健康祈願〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年2月6日 (1919)	1枚・墨書	81-350
葉書〔到着報告〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年4月25日 (1919)	1枚・ペン	82-3-17
書簡〔更迭範囲の大きさに驚き、監察官より返礼〕 赤 池濃→守屋栄夫	大正8年4月23日 (1919)	1通・墨書	84-9-5
葉書〔栄転祝い〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年8月9日 (1919)	1枚・ペン	9-10-23
書簡〔大森氏の件決定、京城到着予定および人員募集 時通知依頼〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年8月19日 (1919)	1通・墨書	9-25-2
葉書〔上海仮政府の解散、南朝鮮地方の近況報告〕 赤 池濃→守屋栄夫	大正8年10月25日 (1919)	1枚・ペン	82-3-346
書簡〔釜山大邱他状況視察からの意見、関東軍満洲朝 鮮人取扱に関する協議他〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年11月1日 (1919)	1通・墨書・ペン	5-28-26
書簡〔朝鮮動静、警察治安安定、朝鮮親睦会、暴動によ る民心動揺、李弼公事件ほか〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年11月15日 (1919)	1通・ペン	5-28-22
書簡〔在上海朝鮮独立仮政府呂運亨渡日計画内情に つき洪川氏より赤池宛通報、大正8年11月8日付上 海日報切抜〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年11月17日 (1919)	1通・ペン・活版	5-28-30
書簡〔上海よりの通信送付状〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年11月17日 (1919)	1通・墨書	5-28-30-1
書簡〔朝鮮内の政治状況報告〕 赤池濃→守屋栄夫	大正8年12月13日 (1919)	1通・墨書・ペン	5-16-4
書簡〔朝鮮総督府への雇用斡旋、宮内省関係の朝鮮人 扱い〕 赤池濃→守屋栄夫	大正9年9月30日 (1920)	1通・ペン	9-24-21
書簡〔切開手術、在外朝鮮人に対する意見〕 赤池濃→ 守屋栄夫	大正11年2月26日 (1922)	1通・ペン	9-20-24
書簡〔内務省の悪弊、朝鮮行政刷新の必要性につき〕 赤池濃〔拓殖局〕→守屋秘書官	大正11年10月2日 (1922)	1通・ペン	9-27-3
書簡〔現内閣への不審と斎藤内閣へ期待〕 赤池濃→守 屋栄夫	大正12年カ12月25日 (1923)	1通・ペン	18-14-38
書簡〔清浦内閣水野内相および自身に対する風評〕 赤池濃→守屋栄夫	大正13年1月8日 (1924)	1通・ペン	5-30-26
書簡〔労働争議に関する調査送付につきお願い〕 赤 池濃→守屋栄夫	大正15年10月17日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-6
書簡〔昨年申し越しの件につき、協力お願い〕 赤池濃→ 守屋栄夫	昭和5年1月13日 (1930)	1通・ペン	10-403-44
書簡〔弔問欠礼の通知〕 赤池濃→守屋栄夫	昭和8年3月27日 (1933)	1通・ペン	83-12-7
書簡〔静岡米騒動観察報告〕 赤池濃→守屋栄夫	大正 9月21日	1通・墨書	5-6-53
葉書〔朝鮮の警察組織編制は大車輪にて完了〕 赤池 濃→守屋栄夫	大正 10月24日	1枚・ペン	82-3-208

書簡〔シベリア問題、地方官更迭と地方庁の人心〕 赤池濃→守屋栄夫	4月7日	1通・墨書	84-7-23
書簡〔病院等の補助金および金融の便について〕 赤池濃→守屋栄夫	5月14日	1通・墨書	23-50
書簡〔兵庫県の歴史と現状につき報告〕 赤池濃→守屋栄夫	10月30日	1通・墨書	84-9-32
書簡〔張徳秀内地派遣、古賀説得〕 赤池濃→守屋栄夫		1通・墨書	9-25-4
葉書〔白菜ご恵贈の御礼〕 赤池五々枝→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1枚・ペン	84-17-21
葉書〔京城訪問団一行の近況〕 赤木将清→守屋栄夫	昭和3年9月3日(1928)	1枚・ペン	86-325-88
書簡〔著書恵贈の御礼〕 赤坂達蔵→守屋栄夫	大正14年12月17日(1925)	1通・ペン	85-10-35
葉書〔根室到着〕 赤坂達蔵→守屋栄夫	昭和4年9月6日(1929)	1枚・ペン	84-3-18
書簡〔天谷健二・斎藤亮の9月末昇給願い〕 赤坂達蔵→守屋栄夫	昭和6年9月3日(1931)	1通・ペン	86-348-27
書簡〔選挙当選に際し忠告、延引理由書〕 赤坂達蔵→守屋栄夫	昭和7年10月7日(1932)	1通・ペン	83-5-6
書簡〔講演依頼〕 赤坂達蔵→守屋栄夫	昭和8年8月2日(1933)	1通・ペン	84-18-28
葉書〔昨日奥様と面会〕 赤坂達蔵→守屋栄夫	昭和8年11月20日(1933)	1枚・ペン	86-323-6
葉書〔「道」掲載の「何と何をすべきか」の感想〕 赤司直元→守屋栄夫	大正14年12月28日(1925)	1枚・ペン	84-6-69
葉書〔当選祝い〕 我妻寿三郎→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1枚・墨書	10-408-51
書簡〔お悔やみ状〕 我妻寿三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-189-9
書簡〔池田実採用願い〕 赤星朝暉→守屋栄夫	大正7年6月6日(1918)	1通・墨書	83-9-36
書簡〔千葉高等園芸学校記念式典の講演依頼〕 赤星朝暉〔千葉高等園芸学校〕→守屋栄夫	昭和5年10月24日(1930)	1通・墨書	10-88
書簡〔挨拶状〕 赤間重蔵→守屋栄夫	昭和2年12月19日(1927)	1通・墨書	85-7-3-32
書簡〔当選祝い〕 赤間重蔵→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-43
書簡〔面会の御礼〕 秋田章三郎→守屋栄夫	昭和8年10月30日(1933)	1通・墨書	84-29-16
葉書〔出荷案内〕 秋田銘醸株式会社→守屋栄夫	大正15年12月23日(1926)	1枚・ペン	85-7-2-2
書簡〔塩竈行きに関する感謝、係員の認識に対する怒り〕 秋場武→守屋栄夫	昭和8年10月21日(1933)	1通・墨書	5-24-32
葉書〔当選祈願〕 秋保一郎→守屋栄夫	昭和5年2月3日(1930)	1枚・ペン	7-147-375
書簡〔当選祈願、略歴(法学士秋保一郎)〕 秋保一郎→守屋栄夫	昭和5年2月3日(1930)	1通・墨書	10-409-12
書簡〔市田清之の朝鮮地方への就職斡旋方依頼、守屋氏立候補に旭川宮城県人会も支援すべき〕 秋保盛明→守屋栄夫	昭和3年1月16日(1928)	1通・墨書	10-408-98
葉書〔墨絵の絵葉書〕 秋保盛明→守屋栄夫	昭和5年1月17日(1930)	1枚・墨書	84-1-20

葉書〔転居通知〕 秋保盛正→守屋栄夫	昭和4年3月4日(1929)	1枚・ペン・活版	5-8-33
書簡〔甥の就職斡旋依頼〕 秋保安治〔文部省督学官室〕→守屋栄夫	昭和4年1月12日(1929)	1通・墨書	6-55-16
書簡〔千葉市の民政党集会、政党の状況、迫害の件〕 秋山潔→守屋栄夫	昭和5年10月23日 (1930)	1通・墨書	10-89
葉書〔帰郷の際、書籍購入依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	明治40年4月29日 (1907)	1枚・墨書	6-46-15
葉書〔書籍購入願いと研究内容〕 秋山研亮→守屋栄夫	明治40年10月5日 (1907)	1枚・墨書	6-46-19
葉書〔朝鮮到着〕 秋山研亮→守屋栄夫	明治41年4月8日(1908)	1枚・墨書	6-46-18
葉書〔書籍購入の依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	明治41年6月18日 (1908)	1枚・墨書	6-46-11
書簡〔通門屋根修繕、米売却、矯風会の件について細川君から端書〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年3月10日(1917)	1通・墨書	84-20-143
書簡〔売却の時期と清算の件、久米君未納の件など〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年3月13日(1917)	1通・墨書	84-20-130
書簡〔弟就職の件につき御礼〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年3月15日(1917)	1通・墨書	84-20-148
書簡〔南郷村二郷小学校御転任につき〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年3月30日(1917)	1通・墨書	84-20-83
書簡〔御栄転祝い、米価暴騰にて利益の報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年5月31日(1917)	1通・墨書・ペン	83-14-95
書簡〔耕地整理について〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年6月16日(1917)	1通・墨書	83-14-136
書簡〔漁業会社、米価、セメント等投資の件〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年7月17日(1917)	1通・ペン	83-14-32
書簡〔債権売買の件〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年7月21日(1917)	1通・ペン	83-14-33
書簡〔北海道開拓地地価、今野君開拓地購入〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年9月26日(1917)	1通・墨書	83-14-34
書簡〔宅地の件、日本郵船会社総会出席のため上京挨拶〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年10月6日(1917)	1通・墨書	83-14-104
書簡〔小作米について報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年11月20日 (1917)	1通・墨書	83-14-201
書簡〔米価について報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正6年12月19日 (1917)	1通・墨書	83-14-182
書簡〔土地売買の状況〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正7年6月25日(1918)	1通・ペン	83-13-15
書簡〔塩田工事につき事業関係者朝鮮出張、対応依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正10年10月22日 (1921)	1通・墨書・ペン	5-29-17
書簡〔厚情に対する礼状〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正14年12月24日 (1925)	1通・墨書	85-10-73
書簡〔三沢氏渡鮮のご配慮感謝、現在の進路報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正15年7月5日(1926)	1通・墨書	85-3-1-4
書簡〔咸南の農場の契約締結後の経営について〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正15年7月20日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-3

書簡〔就職斡旋依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正15年7月22日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-5
書簡〔就職御礼〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正15年10月25日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-25
書簡〔執行猶予の件につき渡鮮、子供の養育・事業経営ほか近況報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正15年11月16日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-27
書簡〔京城で謹慎、会社の状況ほか近況報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	大正15年12月4日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-29
書簡〔保証人について〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年1月20日 (1927)	1通・墨書	85-7-5-16
書簡〔小生体験を職業研究に〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年2月3日 (1927)	1通・ペン	85-7-5-19
書簡〔五百円借用願い〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年2月12日 (1927)	1通・墨書	85-9-58
書簡〔借金の御礼と生活立て直しの決意〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年2月17日 (1927)	1通・墨書	85-9-59
書簡〔借金返済について〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年2月19日 (1927)	1通・墨書	85-7-5-25
書簡〔借金の返済猶予願いと相談〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年3月31日 (1927)	1通・ペン	85-9-72
書簡〔選挙について〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年12月12日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-25
書簡〔総選挙への出馬について〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和2年12月19日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-12
書簡〔宮城県在住者の就職斡旋願い〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和3年12月1日 (1928)	1通・墨書	10-40
書簡〔松村改良部長に伝言、水利組合地域内の買収〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和3年12月25日 (1928)	1通・ペン	6-55-9
書簡〔岡恭介・鎌田喜善共同の干拓事業に付近況報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和3年12月18日 (1928)	1通・墨書	10-413-9
書簡〔京城到着、干拓事業計画および女川湾開発の進捗〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和4年1月24日 (1929)	1通・墨書	6-55-21
書簡〔お悔やみ状〕 秋山研亮→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-33-20
書簡〔朝鮮鷺梁津における都市計画の件〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和4年12月18日 (1929)	1通・墨書	5-14-99
書簡〔運送会社入社につき近況報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年3月27日 (1930)	1通・ペン	10-405-24
書簡〔永興農場の処分方にて債務減額の依頼状送付〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年3月13日 (1930)	1通・墨書	10-409-32
書簡〔殖銀の整理問題等について〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年4月13日 (1930)	1通・ペン	10-405-15
書簡〔運送業から農業へ転換願い〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年5月22日 (1930)	1通・墨書	10-406-28
書簡〔金鉾採掘事業調査に関する近況報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年6月28日 (1930)	1通・ペン	10-411-12
書簡〔咸北の金鉾に関し近況報告、土地改良会社技手大木官平との懇談内容ほか〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年7月2日 (1930)	1通・ペン	10-411-18

書簡〔橋洞鉦山の借款の件ほとんど絶望〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和5年11月25日 (1930)	1通・ペン	10-312
書簡〔朝鮮地域鉦山調査への口添え依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年1月19日(1931)	1通・墨書	86-359-23
書簡〔朝鮮国内鉦脈調査報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年2月14日(1931)	1通・ペン	86-355-27
書簡〔鉦山事業資源、東拓土地支払い下げ力添え依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年4月25日(1931)	1通・ペン	86-354-32
書簡〔東拓土地払い下げ陳情方依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年4月27日(1931)	1通・ペン	86-354-39
書簡〔首藤・松田一の就職活動経過報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年4月28日(1931)	1通・ペン	86-354-48
書簡〔東拓土地払い下げ願い経過報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年4月28日(1931)	1通・ペン	86-354-36
書簡〔土地の件徳夫様・東拓京城支店と折衝〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年8月23日(1931)	1通・ペン	86-348-20
書簡〔東拓の土地の件につき京城支店で相談〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年8月25日(1931)	1通・ペン	86-348-21
書簡〔東拓京城支店副支配人佐藤実氏との間隙等〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年8月27日(1931)	1通・ペン	86-348-57
書簡〔東拓問題につき土地売払願書却下〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年8月29日(1931)	1通・ペン	86-348-38
書簡〔鉦山業失敗、山林買取問題の進展〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月3日(1931)	1通・ペン	86-356-22
書簡〔東拓の山林買取問題対応方につき報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月9日(1931)	1通・ペン	86-356-19
書簡〔東拓の山林買取問題対応結果、金基煥氏の対応〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月10日(1931)	1通・ペン	86-356-14
書簡〔金氏の山林売却不調になり支払い困難〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月12日(1931)	1通・ペン	86-358-15
書簡〔寺院土地の件で価格交渉に努力〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月15日(1931)	1通・ペン	86-358-14
書簡〔東拓との問題解決に尽力願ひ〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月15日(1931)	1通・ペン	86-358-13
書簡〔東拓支店長より譲渡価格の返事〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月16日(1931)	1通・ペン	86-358-12
書簡〔寺院敷地件の交渉困難〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月17日(1931)	1通・ペン	86-358-11
書簡〔東拓支店との土地問題は价格的に解決不能〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月19日(1931)	1通・ペン	86-358-10
書簡〔東拓の土地問題進展せず〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月21日(1931)	1通・ペン	86-358-9
書簡〔東拓の問題について鶴見・佐藤会见報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月24日(1931)	1通・ペン	86-358-8
書簡〔寺院敷地の件、大邱南慶山郡内にコバルト発見〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年9月29日(1931)	1通・謄写版	86-358-7

書簡 / 来信

書簡〔義州全鉦株式会社株式譲渡の件〕 秋山研亮・鶴見米三郎→守屋栄夫	昭和6年10月4日(1931)	1通・ペン	86-358-6
書簡〔事業不調、鶴見氏も辞職〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年10月16日(1931)	1通・ペン	86-358-26
書簡〔娘重病、借金願ひ〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和6年10月19日(1931)	1通・ペン	86-358-23
書簡〔佐々木幸亀の就職相談〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和8年10月6日(1933)	1通・墨書	84-12-4
書簡〔佐々木幸亀の生活費借用願ひ〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和8年12月16日(1933)	1通・ペン	84-21-13
書簡〔ブラジル行き見合わせ、高橋君の就職斡旋依頼他〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和 3月15日	1通・墨書	10-296
書簡〔息子俊亮死去通知〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和 3月16日	1通・墨書	10-341
書簡〔咸南水興農場の認可、援助依頼〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和 10月14日	1通・墨書	10-165
書簡〔橋洞鉦山問題につき報告〕 秋山研亮→守屋栄夫	昭和 12月1日	1通・ペン	10-351
葉書〔依頼の件送付〕 秋山忠蔵→守屋栄夫	明治39年10月26日(1906)	1枚・墨書	6-46-7
葉書〔別れの挨拶〕 秋山忠雄→守屋栄夫	明治44年3月1日(1911)	1枚・ペン	81-558
書簡〔栄転祝辞、近況報告〕 秋山忠雄→守屋栄夫	大正6年5月22日(1917)	1通・墨書	83-14-20
書簡〔お悔やみ状〕 秋山忠雄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-17
書簡〔総選挙の件、出頭令状など差出人名調査報告〕 安久津喜膳→守屋栄夫	昭和3年4月20日(1928)	1通・墨書	10-344
書簡〔御来訪に深謝〕 堆浩→守屋栄夫	昭和6年12月10日(1931)	1通・墨書	86-347-48
書簡〔裁判経過、新聞記事に対する抗議文〕 堆浩→守屋栄夫	昭和8年3月25日(1933)	1通・ペン	83-12-27
書簡〔堆氏の背任詐欺罪に対する無罪報告〕 堆浩→守屋栄夫	昭和8年4月8日(1933)	1通・墨書	84-10-11
書簡〔秋山氏裁判の弁論草稿について〕 堆浩→守屋栄夫	昭和8年5月30日(1933)	1通・墨書・活版	84-27-15
書簡〔高陞号契約書関係、金融資金関係、牧山氏関係事件〕 堆浩→守屋栄夫	昭和8年6月11日(1933)	1通・ペン	83-6-6
葉書〔長野市にて第一回講演会開催〕 阿子島九郎治→守屋栄夫	昭和4年7月1日(1929)	1枚・ペン	84-6-10
葉書〔暑中見舞い〕 阿子島九郎治→守屋栄夫	昭和4年8月2日(1929)	1枚・ペン	86-295
葉書〔健康保険組合会議にて屈斜路湖訪問〕 阿子島九郎治→守屋栄夫	昭和5年11月4日(1930)	1枚・ペン	86-1-6
書簡〔最近の支那につき御高説お願い他〕 阿子島九郎治→守屋栄夫	昭和 6月15日	1通・墨書	85-4-4-33
葉書〔国際連盟の知識を地方の人々へ普及〕 阿子島九郎治→守屋栄夫	12日	1枚・ペン	84-3-79
書簡〔当選祝い〕 浅井光三郎〔全国貸座敷聯合会会長〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-24

葉書〔杉浦千葉県視学視察団員らと青森訪問、千葉の教育談義〕 麻島清治・杉浦邦司→守屋栄夫	大正6年10月26日 (1917)	1枚・ペン	81-700
葉書〔弁論大会と運動会〕 浅野耕亮→守屋栄夫	明治39年10月22日 (1906)	1枚・墨書	6-46-3
書簡〔見舞状〕 浅野耕亮→守屋栄夫	明治40年3月5日 (1907)	1通・墨書	6-46-54
葉書〔書籍推薦の依頼〕 浅野耕亮→守屋栄夫	明治42年4月13日 (1909)	1枚・墨書	6-46-6
書簡〔注文机の受取〕 浅野木工場→守屋栄夫	大正6年4月9日 (1917)	1通・ペン	84-20-101
書簡〔お悔やみ状〕 朝比奈策太郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	9-29-2
書簡〔忌明けの挨拶状〕 旭野晃→守屋栄夫	大正5年8月24日 (1916)	1通・墨書	81-8
書簡〔拝顔不能残念〕 浅渕→守屋栄夫	大正12年8月29日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-46
葉書〔転居挨拶〕 浅利三朗→守屋栄夫	大正12年8月17日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-1
書簡〔中央の空気、優待問題の問責貴族院通過と今後の予想、朝鮮での三一運動十周年の状況〕 浅利三朗→守屋栄夫	昭和4年2月25日 (1929)	1通・墨書	6-56-16
書簡〔お悔やみ状〕 浅利順四郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書・ペン	9-15-175
書簡〔検印のない書物について〕 芦田恵之助→守屋栄夫	昭和2年1月23日 (1927)	1通・ペン	85-7-5-11
書簡〔挨拶状〕 蘆立庄平→守屋栄夫	大正6年6月13日 (1917)	1通・墨書	83-14-163
書簡〔「宏遠ナル理想ノ実現」恵送礼状〕 芦立安正→守屋栄夫	大正10年10月20日 (1921)	1通・墨書	5-29-27
書簡〔パンフレット「農村問題と我党の主張」送付状〕 東武→守屋栄夫	昭和5年2月11日 (1930)	1通・ペン・謄写版	10-409-17
葉書〔無事ご帰朝を祝す〕 東忠蔵→守屋栄夫	大正8年4月6日 (1919)	1枚・墨書	82-3-257
葉書〔ご健康を祝す〕 東忠蔵→守屋栄夫	大正8年8月14日 (1919)	1枚・墨書	9-10-24
葉書〔献本礼状〕 東〔忠蔵カ〕→守屋栄夫	大正10年10月12日 (1921)	1枚・ペン	5-5-3
電報〔お悔やみ状〕 東忠蔵→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1枚・ペン・活版	5-25-10-4
葉書〔島根県へ転任報告〕 東忠蔵→守屋栄夫	大正 7月16日	1通・ペン	82-3-270
葉書〔暑中見舞い〕 東忠蔵→守屋栄夫	大正 8月1日	1枚・墨書	81-239
書簡〔書状の御礼〕 安積得也→守屋栄夫	昭和4年5月8日 (1929)	1通・ペン	85-4-2-8
葉書〔「失業問題の輪郭」送付〕 安積得也→守屋栄夫	昭和6年4月21日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-300
書簡〔千葉庄三氏の件、訓導任命〕 安住仁次郎→守屋栄夫	大正7年5月25日 (1918)	1通・墨書	5-26-24
書簡〔「我等の進むべき道」恵贈御礼〕 麻生正蔵→守屋栄夫	大正15年3月29日 (1926)	1通・墨書	85-3-2-7
書簡〔お悔やみ状〕 安達房次郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	5-25-8-6
書簡〔当選祝い〕 安達将総→守屋栄夫	昭和3年2月27日 (1928)	1通・ペン・活版	10-408-25

書簡〔お悔やみ状〕 安達将総→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-71-1
名刺〔当選祝い〕 安達将総〔大阪市理事〕→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1枚・ペン・活版	10-256
葉書〔中央への転職祝、今後の支援約束〕 安達将総→守屋栄夫	6月3日	1枚・ペン	84-3-120
葉書〔ジュネーブ・パリでの会議に列席〕 安達峰一郎→守屋栄夫	大正14年11月6日(1925)	1枚・ペン	84-6-57
葉書〔暑中見舞い〕 安達峰一郎→守屋栄夫	大正15年6月23日(1926)	1枚・ペン	86-322-39
葉書〔無事帰省の報告〕 熱海公→守屋栄夫・御令閨	昭和8年6月4日(1933)	1枚・ペン	83-6-33
書簡〔勤務先休暇の件〕 熱海公→守屋栄夫	昭和8年9月6日(1933)	1通・ペン	84-25-34
書簡〔豊原から挨拶状〕 熱海公→守屋栄夫	昭和8年10月5日(1933)	1通・ペン	84-12-5
書簡〔結婚記念品御礼〕 熱海せきよ→守屋栄夫	昭和7年6月7日(1932)	1通・墨書	84-13-27
書簡〔上京時のお礼と立候補応援申し出〕 熱海安吉〔高岡市立高岡高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和2年11月5日(1927)	1通・ペン	85-9-119
書簡〔当選祝い〕 熱海安吉〔高岡市立高岡高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-138
書簡〔お悔やみ状〕 熱海安吉→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-70
書簡〔愚息への厚配御礼〕 熱海良之助→守屋栄夫	昭和7年7月25日(1932)	1通・ペン	83-3-42
書簡〔結婚記念品贈御礼〕 熱海良之助・せき→守屋栄夫	昭和7年10月13日(1932)	1通・墨書	83-5-4
書簡〔当選祝い〕 渥美育郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-89
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭を祝す〕 渥美義胤→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1枚・ペン	84-6-88
書簡〔著書「我等の進むべき道」恵贈御礼〕 渥美義胤→守屋栄夫	大正15年1月7日(1926)	1通・墨書	85-3-8-2
葉書〔暑中見舞い〕 渥美義胤→守屋栄夫	大正15年7月23日(1926)	1枚・墨書	86-322-34
書簡〔年末の挨拶〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-3-4-12
葉書〔北満ハルビンより挨拶状〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和2年1月25日(1927)	1枚・ペン	86-322-111
葉書〔暑中見舞い〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和2年7月20日(1927)	1枚・ペン	86-118
書簡〔選挙応援、宮城県人会、推薦者の一覧〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・墨書	10-100
葉書〔暑中見舞い〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和3年7月14日(1928)	1枚・ペン	86-322-149
書簡〔お悔やみ状〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和4年3月3日(1929)	1通・墨書	9-29-84
葉書〔京城における博覧会〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和4年カ9月24日(1929)	1枚・ペン	84-3-16
書簡〔政友会公認候補推薦〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1通・墨書	10-409-18
書簡〔就職幹旋依頼〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和6年2月16日(1931)	1通・ペン	86-355-11
葉書〔暑中見舞い〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和6年7月12日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-309

書簡〔拘留後の裁判日程等通知〕 渥美義胤→守屋栄夫	昭和6年12月29日 (1931)	1通・ペン	86-356-31
電報〔帰郷祝〕 アツミ→守屋栄夫	大正12年11月22日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-31-1
書簡〔当選祝い〕 阿刀田令造→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-300
葉書〔お悔やみ状〕 阿部勇〔岩沼実科高等女学校〕→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1枚・ペン	6-54-20
葉書〔神戸布引雄滝を訪問〕 阿部亀彦→守屋栄夫	大正8年5月14日(1919)	1枚・ペン	82-3-43
書簡〔菊池氏採用依頼、近況報告〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	大正13年7月28日 (1924)	1通・墨書	9-22-18
書簡〔出馬歓迎、集票尽力〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和2年11月21日 (1927)	1通・墨書	85-9-142
書簡〔総選挙につき伺い〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和3年1月23日(1928)	1通・墨書	10-414-10
書簡〔お悔やみ状〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-13-11
書簡〔地租改正事業の状況報告〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和6年6月8日(1931)	1通・墨書	86-352-32
書簡〔行政整理にて異動、取り計らい依頼〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和6年8月26日(1931)	1通・墨書	86-348-24
葉書〔見舞礼状、毎日地震、山田港へ避難〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和8年3月24日(1933)	1枚・ペン	86-323-71
書簡〔仙台における局長会議の訓令〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和8年4月1日(1933)	1通・ペン	84-10-22
書簡〔満洲国高等官赴任のための紹介依頼〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和8年8月25日(1933)	1通・ペン	84-15-4
書簡〔高橋瞭就職幹旋依頼〕 阿部菊次郎→守屋栄夫	昭和8年8月29日(1933)	1通・ペン	84-15-3
葉書〔三中会春季例会開催報告〕 阿部菊治郎→守屋栄夫	大正 3月5日	1枚・ペン	82-3-347
書簡〔裁判弁論に対するお礼〕 阿部喜之助→守屋栄夫	昭和8年12月12日 (1933)	1通・ペン	84-16-11
葉書〔当選祝い〕 阿部喜平→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1枚・ペン	7-147-167
書簡〔当選祝い〕 安部恭三郎→守屋栄夫	昭和3年3月1日(1928)	1通・墨書	10-275
葉書〔ロンドン大学入学の件〕 阿部欣二→守屋栄夫	大正14年1月1日(1925)	1枚・ペン	86-34
葉書〔広東駐在の件〕 安部源基→守屋栄夫	昭和2年8月15日(1927)	1枚・ペン	86-179
葉書〔広東到着報告〕 安倍源基→守屋栄夫	昭和4年12月30日 (1929)	1枚・ペン	84-5-32
書簡〔当選祝い〕 阿部小十郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-15
葉書〔当選祝い〕 阿部小十郎・阿部俊郎・阿部三郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・ペン	10-408-47
書簡〔息子就職幹旋依頼〕 阿部小十郎→守屋栄夫	昭和5年カ12月16日 (1930)	1通・墨書・謄写版	7-147-34
書簡〔当選祝い〕 阿部三右衛門→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-73

書簡〔病気見舞い感謝、近況報告〕 阿部滋金→守屋栄夫	大正5年3月16日(1916)	1通・墨書	84-20-67
書簡〔記念品寄贈者について〕 阿部滋金→守屋栄夫	大正6年9月21日(1917)	1通・墨書	83-14-135
葉書〔暑中見舞い〕 阿部滋金→守屋栄夫	昭和4年8月10日(1929)	1枚・ペン	86-292
葉書〔当選祝い〕 阿部滋金→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1枚・ペン	7-147-166
書簡〔お悔やみ状〕 安部止水→守屋栄夫・御令夫人	大正12年3月16日(1923)	1通・墨書	18-14-11
書簡〔朝鮮の状況について〕 安部止水→守屋栄夫	大正13年9月11日(1924)	1通・墨書	85-1-5-1
書簡〔ご高配願ひ〕 安部止水→守屋栄夫	大正13年9月11日(1924)	1通・墨書	85-1-5-3
書簡〔ご高配願ひ〕 安部止水→守屋栄夫	大正13年9月12日(1924)	1通・墨書	85-1-5-2
書簡〔近況報告とお礼〕 安部止水→守屋栄夫	大正15年6月14日(1926)	1通・墨書	85-3-8-39
葉書〔鈴木讓三郎の住宅案内依頼〕 安部止水→守屋栄夫	大正15年6月18日(1926)	1枚・墨書	85-3-5-7
書簡〔当選祈願、鈴木重兵衛氏の件依頼〕 安部止水→守屋栄夫	昭和4年11月15日(1929)	1通・墨書	5-31-2
書簡〔当選祈願〕 安部止水→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-409-7
書簡〔当選祝い〕 安部止水→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-8
書簡〔お礼状〕 安部止水→守屋栄夫	昭和5年5月22日(1930)	1通・墨書	10-406-4
書簡〔入学などについて〕 安部止水→守屋栄夫	昭和8年1月15日(1933)	1通・墨書	84-28-10
書簡〔同窓会につき案内状〕 安部止水→守屋栄夫	昭和 12月19日	1通・墨書	86-353-4
書簡〔李太王国葬、朝鮮国内過激派近況、議会对応〕 阿部寿準→守屋栄夫	大正8年3月11日(1919)	1通・墨書	5-9-1
葉書〔健康祈願、県内巡視〕 阿部寿準→守屋栄夫	大正8年5月26日(1919)	1枚・ペン	82-3-192
書簡〔朝鮮総督府栄転祝、当県内務部長亥角仲蔵が道知事希望〕 阿部寿準〔鳥取県知事〕→守屋栄夫	大正8年8月21日(1919)	1通・墨書	9-10-4
書簡〔総督府赴任祝い、就職幹旋依頼〕 阿部寿準→守屋栄夫	大正8年9月15日(1919)	1通・墨書	9-25-8
書簡〔亥角任用への礼状、湯月氏任用幹旋依頼〕 阿部寿準→守屋栄夫	大正8年10月3日(1919)	1通・墨書	9-25-33
書簡〔書記官転任お断り、藤田組坂氏の件〕 阿部寿準→守屋栄夫	大正9年11月17日(1920)	1通・墨書	81-742
書簡〔全北内務部長へ転勤報告〕 阿部照太郎→守屋栄夫	昭和8年12月20日(1933)	1通・墨書	84-21-3
葉書〔お悔やみ状〕 阿部次郎→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1枚・墨書	5-25-10-12
書簡〔愛知県における自身の配置換えについて〕 阿部鑄右衛門→守屋栄夫	大正5年11月16日(1916)	1通・墨書	84-20-8
葉書〔当選祝い〕 阿部長八→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1枚・墨書	7-147-221

書簡〔選挙前の配布願い〕 阿部千代治→守屋栄夫	昭和4年8月29日(1929)	1通・ペン	85-4-5-12
書簡〔仙台在住支援者への挨拶状発出依頼〕 阿部千代治→守屋栄夫	昭和5年1月9日(1930)	1通・ペン	10-403-47
書簡〔国会に於ける存在希薄を憂う〕 阿部千代治→守屋栄夫	昭和7年4月15日(1932)	1通・謄写版	83-1-64
書簡〔宮城県古川中学校創立20周年記念式挙行につき御礼〕 阿部虎之助→守屋栄夫	大正6年4月22日(1917)	1通・墨書	84-20-45
書簡〔講話お礼状〕 阿部虎之助→守屋栄夫	大正6年11月3日(1917)	1通・墨書	83-14-188
書簡〔「地方青年の教養」惠贈礼状〕 阿部虎之助→守屋栄夫	大正8年11月25日(1919)	1通・墨書	5-28-18
書簡〔お悔やみ状〕 阿部虎之助→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・ペン	5-25-10-13
書簡〔挨拶状送付依頼〕 阿部南治郎→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-409-5
葉書〔当選祝い〕 阿部政雄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	7-147-236
書簡〔結婚式出席御礼〕 阿部万三・加藤壬吉・阿部良英・阿部かつ→守屋栄夫	昭和6年4月18日(1931)	1通・墨書	86-354-13
書簡〔良英渡鮮の際の礼状〕 阿部万三・加藤王吉→守屋栄夫	昭和6年7月19日(1931)	1通・墨書	86-348-40
書簡〔守屋和郎の上海事件講演等〕 阿部万三→守屋栄夫	昭和7年7月23日(1932)	1通・墨書	83-3-34
書簡〔米国状況視察団一行帰郷の警戒〕 阿部充家→守屋栄夫	大正9年9月11日(1920)	1通・墨書	9-17-3
書簡〔鹿児島県視学官等朝鮮視察、内地総選挙など〕 阿部充家→守屋栄夫	大正13年2月16日(1924)	1通・墨書	5-30-7
書簡〔有用朝鮮人新聞経営者紹介〕 阿部充家→守屋栄夫	大正13年4月22日(1924)	1通・墨書	5-30-25
書簡〔京城日報改新の必要および鳥居龍蔵朝鮮調査支援依頼〕 阿部充家→守屋栄夫	大正13年6月28日(1924)	1通・墨書・ペン	5-30-32
書簡〔手紙持参人の就職斡旋依頼〕 阿部充家→守屋栄夫	大正14年9月22日(1925)	1通・墨書	85-10-99
葉書〔当選祝い〕 阿部旻→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・ペン	7-147-165
書簡〔全羅南道財務部長へ転勤報告〕 阿部明治太郎→守屋栄夫	昭和3年2月14日(1928)	1通・墨書	10-11
電報〔お悔やみ状〕 阿部明治太郎→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・ペン・活版	5-25-10-3
書簡〔当選祈願〕 阿部明治太郎→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	10-409-60
書簡〔京成電気会社退社、保険署への就職斡旋依頼〕 安倍庸三→守屋栄夫	大正15年4月4日(1926)	1通・墨書	78-23-48
書簡〔年末の挨拶〕 安倍庸三→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1通・墨書	85-3-4-5
葉書〔暑中見舞い〕 安倍庸三→守屋栄夫	昭和2年8月1日(1927)	1枚・ペン	86-102
書簡〔お悔やみ状〕 安倍庸三→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-48
書簡〔時節の挨拶〕 安倍庸三→守屋栄夫	昭和4年12月19日(1929)	1通・墨書	5-14-14

葉書〔男子出産の知らせ〕 阿部良英・かつ→守屋栄夫	昭和8年10月7日(1933)	1枚・ペン	84-12-40
書簡〔吉田貴永の山形県新庄中学校就職御礼〕 天笠義人→守屋栄夫	大正5年12月18日(1916)	1通・墨書	84-20-31
葉書〔帰郷の報告〕 天笠義人→守屋栄夫	大正6年8月11日(1917)	1枚・墨書	81-202
葉書〔丸山氏と会談依頼〕 天野時郎→守屋栄夫	大正	1枚・ペン	82-3-342
葉書〔御栄進祝〕 天野→守屋栄夫	大正8年8月12日(1919)	1枚・ペン	9-10-19
書簡〔当選祝い〕 天宅敬吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-42
書簡〔細川君の件〕 鮎貝房之進→守屋栄夫	大正9年2月19日(1920)	1通・墨書	81-634
書簡〔総督・松村君帰城依頼〕 鮎貝房之進→守屋栄夫	昭和5年1月2日(1930)	1通・墨書	10-403-21
書簡〔朝鮮総督府について〕 鮎貝房之進→守屋栄夫	昭和5年5月15日(1930)	1通・ペン	10-406-7
書簡〔殿下との面会問題〕 鮎貝房之進→守屋栄夫	昭和5年5月23日(1930)	1通・ペン	10-406-26
書簡〔当選祝い〕 鮎貝昌蔵→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-39
葉書〔年頭挨拶〕 鮎沢巖→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン	85-7-5-5
書簡〔ジュネーヴの近況報告〕 鮎沢巖→守屋栄夫	昭和2年7月9日(1927)	1通・ペン	85-7-6-19
書簡〔当選祝い〕 鮎沢巖→守屋栄夫	昭和3年3月15日(1928)	1通・墨書	10-413-7
書簡〔当選祈願〕 荒井主→守屋栄夫	昭和5年2月2日(1930)	1通・墨書	10-409-9
書簡〔お悔やみ状〕 荒井初太郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-59
書簡〔談合事件につき前野常務理事との会見依頼、弁護報酬金送付の件〕 荒井初太郎→守屋栄夫	昭和8年9月16日(1933)	1通・墨書	84-25-3
書簡〔浦塩派遣軍関係〕 荒木貞夫→守屋栄夫	大正8年5月7日(1919)	1通・墨書	84-7-24
書簡〔お悔やみ状〕 荒木善太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-19
書簡〔当選祈願〕 荒木善太郎→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書	10-409-10
書簡〔当選祝い〕 荒木善太郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-11
書簡〔投弾見舞い、朝鮮統治に対する意見〕 荒木盃→守屋栄夫	大正8年9月4日(1919)	1通・墨書	9-17-26
葉書〔滝野川区長拝命挨拶〕 荒牧練太郎	昭和15年8月17日(1940)	1枚・活版	18-14-207
書簡〔大多喜中学校に転任〕 有光一→守屋栄夫	大正8年6月5日(1919)	1通・墨書	84-9-21
書簡〔有馬浅雄選挙推薦文〕 有馬浅雄→守屋栄夫	昭和3年2月1日(1928)	1通・活版	85-2-5
書簡〔お悔やみ状〕 有馬英二→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-53
葉書〔大日本青年団西部動員大会開催案内〕 有馬良橘〔大日本青年団〕・谷川透〔宮崎県知事長〕	昭和15年11月18日(1940)	1枚・活版	18-14-192-82
書簡〔半井・大塚両氏異動、朝鮮史編纂、閑院宮拝謁、仁川家屋、金文奎逮捕の件〕 有吉忠一→守屋	大正11年9月22日(1922)	1通・墨書・ペン	9-27-1
葉書〔新年挨拶〕 有賀成可→守屋栄夫	大正16年1月1日(1927)	1枚・活版	85-7-2-36
葉書〔健康伺い〕 栗津清慮→守屋栄夫	大正14年10月17日(1925)	1枚・ペン	84-6-87

書簡〔授業再開、朝鮮人との関係と方針、学校の概要〕 栗野伝之丞→守屋栄夫	大正9年9月19日(1920)	1通・墨書	9-17-5
書簡〔お悔やみ状〕 安柄軾→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-28-2
書簡〔鳴瀬村分掌事務変更、辞職勧告を知事宛送付依頼(写同封)〕 安藤市蔵→守屋栄夫	昭和7年9月19日(1932)	1通・墨書・謄写版	86-351-13
葉書〔寄書き〕 安藤健次・森・高橋敏・吉池命治・伊藤憲郎・宮原武五郎・芥川寿作・渡部開・石田・三浦斧吉・西京・佐木有風→守屋栄夫	昭和3年カ6月27日(1928)	1枚・墨書	86-322-128
葉書〔暑中見舞い〕 安藤しづか→守屋栄夫	大正7年7月30日(1918)	1枚・ペン	82-3-83
書簡〔お悔やみ状〕 安藤恂→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-47
葉書〔栄転祝い〕 安藤定一→守屋栄夫	大正6年5月20日(1917)	1枚・墨書	82-3-156
書簡〔当選祝い〕 安藤正純→守屋栄夫	昭和3年2月26日(1928)	1通・墨書	10-407-9
い			
書簡〔お悔やみ状〕 尹甲炳→守屋栄夫・守屋令夫人	大正12年3月21日(1923)	1通・墨書	18-14-158
書簡〔お悔やみ状〕 飯尾藤次郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-17
書簡〔当選祝い〕 飯岡町→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1通・墨書	10-407-95
書簡〔お悔やみ状〕 飯島孝二郎・飯島莊司→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-20
葉書〔栄転祝い〕 飯田義一→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1枚・墨書	81-182
葉書〔満鮮旅行経過〕 伊井田茂次→守屋栄夫	昭和4年10月6日(1929)	1枚・ペン	86-324-38
書簡〔お悔やみ状〕 飯田盛敏→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-43
葉書〔年賀状〕 飯塚祇吉→守屋栄夫	昭和3年1月5日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-208
書簡〔お悔やみ状〕 飯塚祇吉→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-14-96
葉書〔小豆島へ旅行〕 飯塚祇吉→守屋栄夫	昭和5年11月26日(1930)	1枚・ペン	86-1-1
書簡〔内務省御伺いの件、他富士の野営に付近況報告〕 飯沼一省→守屋栄夫	大正7年8月4日(1918)	1通・墨書	5-6-30
葉書〔新嘉坡到着〕 飯林五郎→守屋栄夫	昭和8年9月6日(1933)	1枚・ペン	86-323-1
書簡〔弔電御礼〕 飯淵藤三郎→守屋栄夫	昭和7年4月21日(1932)	1通・墨書	83-1-61
葉書〔近況報告〕 飯沼一省→守屋栄夫	大正8年7月12日(1919)	1枚・ペン	82-3-286
葉書〔職業組合所会議でのご指導の礼状〕 家永茂→守屋栄夫	昭和2年3月10日(1927)	1枚・ペン	86-322-104
書簡〔滞在中のお礼状〕 五十嵐佑恭→守屋栄夫	大正15年9月1日(1926)	1通・ペン	85-3-7-14
書簡〔お悔やみ状〕 五十嵐敬吉〔東北実業銀行支店〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-99
書簡〔本堂落成・墓碑竣成式日程報告〕 五十嵐絶聖→守屋栄夫	昭和6年6月28日(1931)	1通・墨書	86-351-24

書簡〔守屋氏墓碑の依頼〕 五十嵐絶聖→守屋栄夫	昭和6年7月4日(1931)	1通・墨書	86-351-22
書簡〔法会日程報告、本堂再建の件〕 五十嵐絶聖→守屋栄夫	昭和6年7月10日(1931)	1通・墨書	86-351-23
葉書〔年賀状〕 五十嵐正→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-217
書簡〔お悔やみ状〕 五十嵐正→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-25-9-2
書簡〔両親様伝記及長照院本堂図面拝見、斎藤子爵訪問希望〕 五十嵐徳重→守屋栄夫	昭和6年7月18日(1931)	1通・墨書	86-348-41
書簡〔滞在中の御礼〕 五十嵐徳重→守屋栄夫	昭和6年8月6日(1931)	1通・墨書	86-348-4
書簡〔近況挨拶〕 五十嵐徳重→守屋栄夫	昭和6年11月10日(1931)	1通・墨書	86-347-39
葉書〔欠席通知〕 五十嵐豊吉→守屋栄夫	昭和5年10月15日(1930)	1枚・ペン	86-1-76
書簡〔「新同胞ニ対スル吾人ノ態度」惠贈御礼〕 井川敏衛→守屋栄夫	大正10年10月21日(1921)	1通・墨書・ペン	5-29-32
葉書〔帰朝祝い〕 生江孝之→守屋栄夫	大正14年9月13日(1925)	1枚・ペン	84-6-123
書簡〔新西蘭・豪州に関する文献極小〕 生江孝之→守屋栄夫	昭和4年2月11日(1929)	1通・墨書	6-56-34
書簡〔麻薬中毒者救護会趣意書送付〕 生江孝之→守屋栄夫	昭和8年6月13日(1933)	1通・ペン	83-6-15
葉書〔年末の挨拶〕 生島徳則→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1枚・ペン	86-326-57
書簡〔お悔やみ状〕 生城重龍→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	6-54-9
葉書〔お悔やみ状〕 幾田源五郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1枚・墨書	9-26-3
葉書〔お悔やみ状〕 生田清三郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・墨書	9-29-51
葉書〔岡山県会、三浦事務官後任を受諾〕 生悦住求馬→守屋栄夫	大正15年8月28日(1926)	1枚・ペン	86-212
書簡〔池田哲郎就職幹旋依頼〕 池田菊左衛門→守屋栄夫	昭和3年11月9日(1928)	1通・ペン	10-413-22
書簡〔組合創立式典開催、講演依頼〕 池田菊左衛門→守屋栄夫	昭和6年1月13日(1931)	1通・ペン	86-359-16
書簡〔お悔やみ状〕 池田繁治→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-3
書簡〔大兄所有品につき同情〕 池田純一→守屋栄夫	大正12年9月19日(1923)	1通・ペン	80-40-1-18
書簡〔お悔やみ状〕 池田忠作→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-78
書簡〔社会生活指針へお願い〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和4年6月8日(1929)	1通・ペン	85-4-4-37
書簡〔農村研究と農民組織化への決意と感謝〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和4年9月27日(1929)	1通・ペン	85-4-1-43
書簡〔仙台訪問、青年団からの聴き取り内容報告〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和4年10月22日(1929)	1通・ペン	86-324-52
書簡〔農村研究課題ご教示願ひ〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和5年1月8日(1930)	1通・ペン	10-403-24

書簡〔輔導会入会の報告と御礼、氏家文史氏の書簡〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和5年10月12日 (1930)	1通・ペン	10-44
書簡〔内職幹旋依頼〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和5年カ12月8日 (1930)	1通・ペン	7-147-3
書簡〔年賀状〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和6年1月9日 (1931)	1通・ペン	86-359-18
書簡〔宮城県での運動展開観測〕 池田恒雄→守屋栄夫	昭和6年3月17日 (1931)	1通・ペン	86-357-28
葉書〔年賀状〕 池田宏→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-214
書簡〔お悔やみ状〕 池田寛→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・ペン・活版	5-8-17
書簡〔お悔やみ状〕 池田円男→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-122
書簡〔正裏視学校教員取り調べ、不都合行為につき報告〕 池田有作→守屋栄夫	昭和3年4月18日 (1928)	1通・墨書	10-294
書簡〔神前神社の由緒精査依頼〕 池田友八郎→守屋栄夫	大正6年3月18日 (1917)	1通・墨書	84-20-99
書簡〔打合せ猶予の件〕 池辺龍一→守屋栄夫	昭和7年11月11日 (1932)	1通・ペン・墨書	83-4-2
葉書〔臨時手当の件〕 池松基→守屋栄夫	大正8年8月5日 (1919)	1枚・ペン	5-6-22
葉書〔挨拶状〕 池本時和→守屋栄夫	大正14年10月17日 (1925)	1枚・ペン	84-6-78
書簡〔神宮委細につき御礼〕 池本某→守屋栄夫	大正5年4月11日 (1916)	1通・墨書	84-20-72
書簡〔八巻氏中学校長への推薦状〕 池本某→守屋栄夫	大正7年3月25日 (1918)	1通・墨書	5-26-29
書簡〔貴著「地方自治の精神」恵贈御礼〕 池本某→守屋栄夫・照子	大正8年4月1日 (1919)	1通・墨書	83-2-29
書簡〔松村氏栄転の件〕 池本某→守屋栄夫	大正8年7月5日 (1919)	1通・墨書	83-2-55
書簡〔政局伺い〕 池本某→守屋栄夫	9月17日	1通・墨書	84-30-20
書簡〔岡崎中学校旭野校長死去、後任の件依頼〕 生駒万治→守屋栄夫	大正5年6月2日 (1916)	1通・墨書	84-20-4
書簡〔選挙応援〕 井坂甚助→守屋栄夫	昭和3年2月16日 (1928)	1通・ペン	10-180
書簡〔お悔やみ状〕 伊沢多喜男→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書・活版 ・ペン	9-15-189-12
葉書〔年賀状〕 伊沢平左衛門→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-215
書簡〔お悔やみ状〕 伊沢平左衛門→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-29-79
葉書〔欠席通知〕 伊沢平左衛門→守屋栄夫	昭和5年10月14日 (1930)	1枚・ペン	86-1-79
葉書〔阿里山から挨拶状〕 井沢→守屋栄夫	大正6年3月5日 (1917)	1枚・ペン	81-164
書簡〔昇進抜擢幹旋依頼〕 石井章→守屋栄夫	昭和8年5月16日 (1933)	1通・墨書	84-27-1
書簡〔履歴書〕 石井章→守屋栄夫	昭和8年5月19日 (1933)	1通・墨書	84-27-2
書簡〔「欧米の旅より」恵贈御礼〕 石田馨→守屋栄夫	大正15年7月2日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-18
葉書〔出立見送り礼状〕 石井錦樹→守屋栄夫	大正15年2月6日 (1926)	1枚・ペン	86-322-25

葉書〔フランスからの帰国挨拶〕 石井錦樹→守屋栄夫	昭和2年3月28日(1927)	1枚・ペン	84-1-75
葉書〔ハイデルベルクに到着、ナポリより乗船予定〕 石井錦樹→守屋栄夫	昭和2年5月6日(1927)	1枚・ペン	84-5-16
葉書〔ローマ訪問〕 石井錦樹→守屋栄夫	昭和2年5月26日(1927)	1枚・ペン	84-5-19
書簡〔お悔やみ状〕 石井錦樹→守屋栄夫	昭和4年4月3日(1929)	1通・ペン	6-59-2
葉書〔広島県総務部長拝命挨拶〕 石井錦樹	昭和15年8月(1940)	1枚・活版	18-14-203
書簡〔お悔やみ状〕 石井住治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-28-35
葉書〔浦塩に参る〕 石井秀延〔浦塩派遣軍令部気付陸軍省 囑託〕→守屋栄夫	大正8年8月9日(1919)	1枚・ペン	9-10-47
葉書〔ジュネーブ到着〕 石井万亀子→守屋栄夫	昭和2年12月26日 (1927)	1枚・ペン	86-325-22
葉書〔年賀状〕 石井万亀子→守屋栄夫・令夫人	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン	86-325-24
書簡〔選挙情勢報告〕 石井光雄→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	85-4-1-26
書簡〔語学および会議事項等勉強のため配慮依頼〕 石井→守屋栄夫	昭和6年3月19日(1931)	1通・ペン	86-357-43
葉書〔総督近く上陸〕 石表・権藤→守屋栄夫	昭和6年カ7月15日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-348
葉書〔当選祝い〕 石川一寿→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-209
書簡〔当選祈願〕 石川克己→守屋栄夫・よしみ	昭和3年2月9日(1928)	1通・墨書	10-68
書簡〔お悔やみ状〕 石川克己→守屋栄夫・和良	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-15-173
書簡〔東京市役所と復興局の整理人員対応〕 石川要→ 守屋栄夫	昭和4年1月28日(1929)	1通・ペン	86-328-12
書簡〔長照院境内配置、新築見積、図面〕 石川要→守屋 栄夫	昭和5年12月18日 (1930)	1通・墨書・活版	7-147-30
書簡〔仙台への就職願い〕 石川要→守屋栄夫	昭和7年10月16日 (1932)	1通・墨書	83-5-18
書簡〔工事完成後は解雇〕 石川要→守屋栄夫	昭和8年4月30日(1933)	1通・墨書	85-11-26
書簡〔就職斡旋依頼〕 石川要→守屋栄夫	昭和8年5月12日(1933)	1通・墨書	84-11-11
書簡〔水道工事の設計と着工の件〕 石川要→守屋栄夫	昭和8年10月5日(1933)	1通・墨書	84-12-14
書簡〔帝国人絹三原工場の立地環境と規模、工事概 況〕 石川要→守屋栄夫	昭和8年10月23日 (1933)	1通・墨書	5-24-18
書簡〔お悔やみ状〕 石川勘治→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-69
書簡〔子息失職の場合雇用依頼〕 石川儀助→守屋栄夫	昭和7年10月19日 (1932)	1通・墨書	83-1-21
葉書〔お悔やみ状〕 石川謙吾→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1枚・ペン	5-14-55
書簡〔お悔やみ状・岩切君ご高配により香川県道路主 事拝命〕 石川斎四郎→守屋栄夫	大正12年7月19日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-34
書簡〔退官理由不明につき今野長三郎氏と会見〕 石 川斎四郎→守屋栄夫	昭和4年11月24日 (1929)	1通・ペン	5-31-28

書簡〔暑中見舞い〕 石川斎四郎→守屋栄夫	昭和8年8月4日(1933)	1通・墨書	84-18-6
書簡〔訪問時のお礼、就職運動の経過と協力願い〕 石川栄→守屋栄夫	昭和8年10月20日(1933)	1通・ペン	5-24-24
書簡〔就職幹旋依頼〕 石川栄→守屋栄夫	昭和8年12月5日(1933)	1通・ペン	84-16-14
書簡〔お悔やみ状〕 石川昇盛→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-85
書簡〔お悔やみ状〕 石川大助→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-45
葉書〔暑中見舞い〕 石川越夫→守屋栄夫	大正6年8月1日(1917)	1枚・墨書	81-45
書簡〔爆弾被害見舞い〕 石川越夫〔官幣大社生国魂神社〕→守屋栄夫	大正8年9月17日(1919)	1通・墨書	9-25-17
書簡〔当選祝い〕 石川越夫→守屋栄夫	昭和3年3月18日(1928)	1通・墨書	10-196
書簡〔事業報告〕 石川太朗→守屋栄夫	大正8年2月18日(1919)	1通・墨書	83-7-4
葉書〔京城より寄書き〕 石川常盛・岡崎哲郎・徳夫・成田央介・小森多・松・石田常蔵・瀬戸広院・大和田・イトフ・政弥・次郎・山下秀隆→守屋栄夫	昭和2年4月1日(1927)	1枚・墨書	84-1-87
葉書〔挨拶状〕 石川富四郎→守屋栄夫	大正6年11月5日(1917)	1枚・ペン	81-247
葉書〔挨拶状〕 石川富四郎→守屋栄夫	大正7年8月3日(1918)	1枚・墨書	82-3-95
葉書〔機嫌伺い〕 石川富四郎→守屋栄夫	大正8年3月29日カ(1919)	1枚・墨書	82-3-5
葉書〔松村氏と共に斎藤部長訪問〕 石川富四郎→守屋栄夫	大正8年5月(1919)	1枚・墨書	82-3-41
葉書〔出張に関する近況報告〕 石川富四郎→守屋栄夫	大正8年7月29日(1919)	1枚・ペン	82-3-293
書簡〔仙台の松木他訪問し選挙概要拝聴、帰釜後瀬戸氏などに概要報告他〕 石川富四郎→守屋栄夫	昭和3年2月17日(1928)	1通・墨書	10-414-41
書簡〔お悔やみ状〕 石川富四郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-59
葉書〔選挙違反事件捜査、滞京中面会希望〕 石川富四郎→守屋栄夫	大正 4日	1枚・ペン	5-6-16
書簡〔着任挨拶〕 石川富蔵→守屋栄夫	昭和6年4月18日(1931)	1通・墨書	86-350-50
書簡〔敷玉村長大友平蔵の言動は守屋先生の地盤拡張に有利〕 石川富蔵→守屋栄夫	昭和6年5月17日(1931)	1通・墨書	86-352-54
電報〔弔電〕 石川登盛→モリヤサカフ	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-108
書簡〔首席属の件配意の御礼〕 石川〔理事官〕→守屋栄夫	大正6年8月23日(1917)	1通・墨書	83-14-84
書簡〔喪中につき年賀状遠慮〕 石黒栄太郎→守屋栄夫	昭和1年12月28日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-26
書簡〔当選祝い〕 石黒栄太郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書・活版	7-147-271
書簡〔会見日程通知〕 石黒忠恵→守屋栄夫	大正15年3月18日(1926)	1通・墨書	85-3-1-39
葉書〔秋田県行について〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正5年11月19日(1916)	1枚・ペン	81-213
葉書〔栄転祝い〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1枚・墨書	81-193

書簡〔九州地方へ出張の際、面会不能残念〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正6年7月27日(1917)	1通・墨書	84-7-37
書簡〔地方改良講習会出講御礼、地方改良講習会時間割表〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正6年8月23日(1917)	1通・謄写版・墨書	83-14-86
書簡〔郡市監督の件訓令につき秋田県知事対応他〕 石黒英彦〔理事官〕→守屋栄夫	大正6年9月14日(1917)	1通・墨書	84-7-19
書簡〔秋田県発展に対してご教示依頼〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正7年9月19日(1918)	1通・墨書	84-9-15
葉書〔青年会開催通知〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正7年11月19日(1918)	1枚・ペン	82-3-126
書簡〔全鮮の崩壊は帝国の存亡に他朝鮮情勢〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正9年6月22日(1920)	1通・墨書	9-17-11
書簡〔義州天摩嶺の賊討伐報告〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正9年8月25日(1920)	1通・墨書・ペン	9-17-15
書簡〔朝鮮の近況報告〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正13年11月20日(1924)	1通・墨書	85-1-32-4
書簡〔総督府二回の行政整理、国務奉仕に一大欠陥生ず〕 石黒英彦→守屋栄夫	大正15年3月17日(1926)	1通・ペン	85-3-5-28
葉書〔「太平洋時代来る」拝読〕 石黒英彦→守屋栄夫	昭和3年4月25日(1928)	1枚・ペン	86-329-3
葉書〔北枝温泉より挨拶状〕 石黒英彦→守屋栄夫	昭和3年10月10日(1928)	1枚・ペン	86-322-76
書簡〔お取り計らいにつき近況報告他〕 石黒英彦→守屋栄夫	昭和4年5月27日(1929)	1通・墨書	85-4-4-29
書簡〔台湾より奈良へ転出、東上の際面会希望〕 石黒英彦→守屋栄夫	昭和6年7月7日(1931)	1通・墨書	86-350-43
書簡〔地方改良について意見〕 石黒英彦→守屋栄夫	昭和7年3月8日(1932)	1通・墨書	84-30-4
書簡〔地方改良指導について〕 石黒英彦→守屋栄夫	昭和7年4月12日(1932)	1通・墨書	84-30-28
葉書〔ご機嫌伺い〕 石坂豊一→守屋栄夫	昭和3年5月30日(1928)	1枚・墨書	86-323-22
書簡〔就職失敗〕 石崎亀治→守屋栄夫	昭和8年4月25日(1933)	1通・墨書	85-11-33
書簡〔息子就職支援御礼、鉄道に就職〕 石崎亀治→守屋栄夫	昭和8年5月12日(1933)	1通・墨書	84-11-2
書簡〔東鉄仙鉄新人採用記事添付、息子の宮城県内務部就職斡旋依頼〕 石崎亀治→守屋栄夫	昭和8年6月27日(1933)	1通・墨書	83-6-16
書簡〔内務部長宛に採用斡旋の紹介状作成依頼〕 石崎亀治→守屋栄夫	昭和8年10月8日(1933)	1通・墨書	84-12-37
書簡〔大多喜・大原に首席訓導、錦地に派遣、取り計らい依頼〕 石崎常夫→守屋栄夫	大正5年11月20日(1916)	1通・墨書	84-20-60
葉書〔暑中見舞い〕 石崎常夫→守屋栄夫	大正15年8月16日(1926)	1枚・ペン	86-323-19
書簡〔お悔やみ状〕 石崎常夫→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-15-68
書簡〔選挙当選御礼〕 石崎得春→守屋栄夫	昭和8年5月1日(1933)	1通・ペン	85-11-24
書簡〔満鉄応募に対する協力依頼〕 石崎福寿→守屋栄夫	昭和8年10月14日(1933)	1通・墨書	5-24-33

書簡〔満鉄募集につき支社との交渉依頼〕 石崎福寿→守屋栄夫	昭和8年10月31日 (1933)	1通・ペン	84-16-6
葉書〔お悔やみ状〕 石田馨→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1枚・墨書	5-14-89
書簡〔貴著報徳会に推薦〕 石田甲太郎→守屋栄夫	大正8年2月4日 (1919)	1通・墨書	83-13-2
書簡〔懇談会の状況、「三学年父兄懇談会要項」〕 石田求→守屋栄夫	昭和3年5月8日 (1928)	1通・謄写版	9-16-3
書簡〔「太平洋時代来る」感想、学生気風、昭和維新〕 石田求→守屋栄夫	昭和3年5月19日 (1928)	1通・ペン	9-16-7
書簡〔昭男学業等近況報告〕 石田求→守屋栄夫	昭和4年10月22日 (1929)	1通・墨書	5-31-14
書簡〔弁論会の件〕 石田求・守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年11月24日 (1929)	1通・墨書	5-31-32
葉書〔訪問の件〕 石田圭秀→守屋栄夫	昭和2年12月11日 (1927)	1枚・ペン	85-7-7-25
書簡〔当選祝い〕 石田圭秀→守屋栄夫	2月23日	1通・墨書	10-261
葉書〔お悔やみ状〕 石田→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1枚・ペン	5-8-14
書簡〔お悔やみ、近況報告〕 石堂隼一→守屋栄夫・令夫人	大正12年4月27日 (1923)	1通・墨書	18-14-174
書簡〔妻帯の希望について〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正6年2月6日 (1917)	1通・墨書	84-20-158
書簡〔履歴書送付〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正6年4月23日 (1917)	1通・墨書	84-20-136
書簡〔赴任御礼、履歴加筆依頼、妻帯の義相談〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正6年4月29日 (1917)	1通・墨書	84-20-167
書簡〔出京の際の御礼、愛知県新城町の高等女学校の様子と改革案〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正6年7月9日 (1917)	1通・墨書	84-7-6
書簡〔新城高等女学校にて無事執務、作手農林学校長との面会報告〕 石堂兵次郎〔愛知県新城高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年8月3日 (1917)	1通・墨書	83-14-74
書簡〔参陽新報掲載の新城高等女学校寄宿舎々監に関する投書の件〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正7年6月29日 (1918)	1通・墨書	84-19-34
書簡〔郡職務についての意見〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正7年7月14日 (1918)	1通・墨書	83-9-28
書簡〔職場退職決意、就職希望先推薦依頼、石堂排斥運動参加者、内実〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正7年12月15日 (1918)	1通・墨書	5-6-48
書簡〔お悔やみ状〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	大正12年3月22日 (1923)	1通・墨書	18-14-154
書簡〔お悔やみ状〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-29
書簡〔近況報告、政局の件〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	昭和4年12月17日 (1929)	1通・墨書	5-14-23
書簡〔富国徴兵保険相互会社宮城監督所主任三浦へ吉岡町岩井宗平紹介依頼〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	昭和5年5月14日 (1930)	1通・墨書	7-147-103
書簡〔引退後に仙台人名大辞典編纂、村長職は辞退〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	昭和8年2月15日 (1933)	1通・墨書	84-8-12
書簡〔御尊著「欧米の旅より」恵贈御礼〕 石堂兵次郎→守屋栄夫	5月10日	1通・墨書	78-23-32

書簡〔健康を祝す〕 石堂→守屋栄夫	大正8年10月30日 (1919)	1通・墨書	5-26-41
葉書〔暑中見舞い〕 石原留吉→守屋栄夫	昭和2年7月27日 (1927)	1枚・ペン・活版	86-126
書簡〔発送品はロンドン代理店へ問合せ〕 石原直憲→ 守屋栄夫	大正12年7月31日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-4
書簡〔お悔やみ状〕 石原義広→守屋栄夫	昭和4年3月17日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-33- 19
葉書〔年賀状〕 石丸優三→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1通・ペン・活版	86-322-209
葉書〔当選祝い〕 石森市八郎・石森勉→守屋栄夫	2月23日	1通・墨書	7-147-307
葉書〔寄書き〕 石森寿楼・竹内神吾・宋鎮禹・金性洙→守屋 栄夫	大正14年2月26日 (1925)	1枚・墨書	84-2-58
書簡〔朝鮮近況、朝鮮人参政権〕 石森久弥→守屋栄夫	大正14年12月8日 (1925)	1通・墨書	85-10-94
書簡〔自著への序文執筆依頼〕 石森久弥→守屋栄夫	大正14年12月12日 (1925)	1通・墨書	85-10-12
書簡〔年末挨拶、原稿依頼〕 石森久弥→守屋栄夫	大正15年1月6日 (1926)	1通・墨書	85-3-8-5
葉書〔仙台・河北・東華、相当の成績挙げる〕 石森久弥 →守屋栄夫	大正15年2月28日 (1926)	1枚・ペン	84-2-38
葉書〔暑中見舞い〕 石森久弥〔朝鮮公論社社長〕→守屋栄夫	大正15年8月7日 (1926)	1枚・ペン・活版	86-325-9
書簡〔副社長就任挨拶〕 石森久弥→守屋栄夫	大正15年8月29日 (1926)	1通・墨書	85-3-7-19
書簡〔同封の意見書について〕 石森久弥〔朝鮮公論社社 長〕→守屋栄夫	昭和2年11月25日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-10
書簡〔方策意見〕 石森久弥→守屋栄夫	昭和2年11月30日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-2
書簡〔朝鮮の大官について〕 石森久弥〔朝鮮公論社社長〕 →守屋栄夫	昭和2年12月7日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-14
書簡〔新聞記事送付〕 石森久弥→守屋栄夫	昭和2年12月16日 (1927)	1通・墨書	85-7-3-3
書簡〔同封の掲載記事について〕 石森久弥〔朝鮮公論社 社長〕→守屋栄夫	昭和2年12月17日 (1927)	1通・墨書・ペン ・活版	85-7-3-2
書簡〔腹案提案〕 石森久弥〔朝鮮公論社社長〕→守屋栄夫	昭和2年12月22日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-9
書簡〔山梨総督先見の明につき抱腹絶倒〕 石森久弥→ 守屋栄夫	昭和3年3月31日 (1928)	1通・墨書	10-395
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 石森久弥→守屋栄 夫	昭和3年4月24日 (1928)	1枚・ペン	86-329-26
書簡〔内相の引責、水野文相問題、山梨総督〕 石森久弥 →守屋栄夫	昭和3年5月6日 (1928)	1通・墨書	9-16-10
書簡〔朝鮮協会中島君の提案事項〕 石森久弥→守屋栄 夫	昭和4年2月18日 (1929)	2通・墨書	6-59-15
書簡〔お悔やみ状〕 石森久弥→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-29-1
葉書〔再版承諾願、総督政治史論の原稿許可の件〕 石 森久弥→守屋栄夫	昭和5年3月17日 (1930)	1枚・ペン	86-169

書簡〔京城府会議員選挙〕 石森久弥→守屋栄夫	昭和6年2月10日(1931)	1通・墨書	86-355-28
書簡〔選挙後各方面に挨拶状依頼〕 石森久弥→守屋栄夫	昭和 3月12日	1通・墨書	10-342
葉書〔政友会に対する注文〕 石森→守屋栄夫	昭和5年3月6日(1930)	1枚・ペン	86-49
書簡〔政友会入党を歓迎〕 石森→守屋栄夫	昭和 1月14日	1通・ペン	84-1-32
葉書〔暑中見舞い〕 伊集院兼清→守屋栄夫	昭和3年8月3日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-210
書簡〔任地内示依頼、着任日程後日通報〕 亥角仲蔵→守屋栄夫	大正8年9月9日(1919)	1通・墨書	9-25-30
書簡〔内務省社会局部長就任祝、朝鮮への尽力願う〕 亥角仲蔵→守屋栄夫	大正13年9月14日(1924)	1通・ペン	85-1-23
葉書〔喪中〕 亥角仲蔵→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1枚・活版・墨書	86-326-82
葉書〔年賀状〕 亥角仲蔵→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・活版	86-322-194
書簡〔お悔やみ状〕 泉勇→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-7
書簡〔お悔やみ状〕 和泉勘吉→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-98
書簡〔お悔やみ状〕 泉顯蔵→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・ペン	5-25-8-9
書簡〔お悔やみ状〕 和泉辰治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-70
書簡〔瀧ノ川町西ヶ原修養学院の沢田広憲月給の件〕 泉種治→守屋栄夫	昭和5年3月4日(1930)	1通・墨書	10-410-14
葉書〔当選祝い〕 泉正巳→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-266
書簡〔徳島より、御来遊を待つ〕 泉・島田・並川→守屋栄夫	昭和5年6月6日(1930)	1通・墨書	84-3-123
葉書〔奈良正倉院への滞在日程通知(英語)〕 泉田治郎→守屋栄夫	大正15年11月9日(1926)	1枚・ペン	85-3-3-14
葉書〔コレラ蔓延にてシンガポール滞留〕 井瀬秀二→守屋栄夫	昭和3年5月30日(1928)	1枚・ペン	86-322-147
書簡〔お悔やみ状〕 磯江章三→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-186
書簡〔当選祝い〕 磯江章三→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1通・墨書	10-381
葉書〔栄転祝〕 磯野千太郎→守屋栄夫	大正6年4月2日(1917)	1枚・ペン	81-60
葉書〔愛知県会準備のため多忙〕 磯野千太郎→守屋栄夫	大正6年12月7日(1917)	1枚・ペン	81-172
葉書〔近況報告〕 磯野千太郎→守屋栄夫	大正7年7月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-268
葉書〔徳島着任の報告〕 磯野千太郎→守屋栄夫	大正8年5月2日(1919)	1枚・ペン	82-3-15
書簡〔再就職斡旋依頼〕 磯野千太郎→守屋栄夫	昭和4年8月19日(1929)	1通・墨書	85-4-1-1
葉書〔朝鮮に御栄転祝〕 磯野吉郎→守屋栄夫	大正8年8月20日(1919)	1枚・ペン	9-10-18
葉書〔当選祝い〕 磯村豊太郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書・活版	7-147-216
葉書〔敦賀訪問〕 井田武男→守屋栄夫	大正6年3月8日(1917)	1枚・ペン	81-159

葉書〔宝飯郡県社事務視察のため出張中〕 井田武男→守屋栄夫	大正7月19日	1枚・墨書	81-235
葉書〔講習会で法制経済を講義〕 井田武男→守屋栄夫	大正8月12日	1枚・墨書	81-238
書簡〔徳島県自治講習会へ派遣依頼〕 板倉忠蔵→守屋栄夫	大正8年6月10日 (1919)	1通・墨書	83-10-15
書簡〔お悔やみ状〕 板倉由五郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	5-12-57
書簡〔栄進祝い、激励〕 板津森三郎→守屋栄夫	大正6年5月18日 (1917)	1通・墨書	83-14-52
書簡〔著書恵贈御礼〕 板津森三郎→守屋栄夫	大正14年29日 (1925)	1通・墨書	85-10-92
葉書〔喪中〕 板津森三郎→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1枚・活版・墨書	86-326-61
書簡〔お悔やみ状〕 板津森三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-72
書簡〔内務省社会局部長就任祝〕 板橋喜久治→守屋栄夫	大正13年9月13日 (1924)	1通・墨書	85-1-11
葉書〔栄転祝〕 伊丹栄三郎→守屋栄夫	大正8年8月13日 (1919)	1枚・墨書	9-10-6
書簡〔内務省監察官兼同参事官への栄転祝〕 依知川敦→守屋栄夫	大正6年5月2日 (1917)	1枚・墨書	83-14-167
葉書〔故人を詠んだ漢詩〕 依知川敦→守屋栄夫	大正6年9月3日 (1917)	1枚・墨書・ペン	82-3-389
葉書〔挨拶状〕 依知川敦→守屋栄夫	大正8年7月23日 (1919)	1通・墨書	82-3-339
書簡〔京城南大門之変に愕然〕 依知川敦→守屋栄夫	大正8年9月5日 (1919)	1通・墨書	9-17-22
招待状〔大礼東京市奉祝会〕 市来乙彦〔東京市長〕→守屋栄夫	昭和3年11月23日 (1928)	1通・活版	83-8-11-10
書簡〔本多氏の意見書送付〕 一木喜徳郎→守屋栄夫	大正13年10月11日 (1924)	1通・墨書	85-1-32-3
書簡〔拙画買上げの件〕 一木慎二郎→守屋栄夫	大正15年12月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-20
書簡〔拙宅来訪伺い〕 一木慎二郎→守屋栄夫	大正15年12月9日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-19
書簡〔ご母堂肖像画を東京府美術館に出品案内〕 一木徳二郎→守屋栄夫	昭和2年2月23日 (1927)	1通・ペン	85-9-88
葉書〔送迎御礼、航海の様子〕 一木徳二郎→守屋栄夫	昭和2年4月1日 (1927)	1枚・ペン	84-1-69
葉書〔年賀状〕 一木徳二郎→守屋栄夫	昭和2年12月27日 (1927)	1枚・ペン・活版	86-322-218
葉書〔選挙当選祈願、欧州旅行〕 一木徳二郎→守屋栄夫	昭和3年6月11日 (1928)	1枚・ペン	86-323-26
葉書〔野菜の御礼〕 一木→守屋栄夫・奥様	大正15年12月6日 (1926)	1枚・墨書	86-322-61
葉書〔選挙応援〕 一条秀美→守屋栄夫・御令室	昭和3年2月17日 (1928)	1枚・ペン	86-329-39
葉書〔台湾に向け出発〕 一条秀美→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1枚・ペン	86-324-36
葉書〔無事帰国〕 一条秀美→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1枚・ペン	86-327-4
葉書〔欠損のため詳細不明〕 一条秀美	昭和4年カ3月14日 (1929)	1枚・ペン	86-327-1

葉書〔台湾旅行の提案〕 一条秀美→守屋栄夫・ご令息	昭和4年3月18日(1929)	1枚・ペン	86-327-13
葉書〔拙宅訪問感謝〕 一条秀美→守屋栄夫・御令室	昭和4年4月5日(1929)	1枚・ペン	86-327-23
葉書〔台北から帰京予定〕 一条秀美→守屋栄夫	昭和4年5月22日(1929)	1枚・ペン	84-6-49
書簡〔昭和連盟の生態、農繁季節託児所設置について〕 一条秀美→守屋栄夫	昭和4年8月15日(1929)	1通・ペン	85-4-1-17
葉書〔飯坂温泉より挨拶状〕 一条原・半井→守屋栄夫	大正15年8月21日(1926)	1枚・ペン・墨書	86-12
書簡〔鳳樹賞受賞者への疑問と不満〕 一青年→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・墨書	84-15-10
書簡〔是石慶次郎なる者、新城高等女学校校長への就職斡旋依頼〕 一谷源八郎→守屋栄夫	大正6年4月4日(1917)	1通・墨書	84-20-103
書簡〔須田秋之進中学校長推薦依頼〕 一谷源八郎〔福島県立安積中学校長〕→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1通・ペン	85-3-4-4
書簡〔お悔やみ状〕 壹谷光造→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-183
葉書〔内地人の台湾に対する意識〕 一戸二郎→守屋栄夫	大正14年1月26日(1925)	1枚・ペン	84-2-15
書簡〔現代思想問題の解決と無産大衆、大和民族の特性〕 市場八束→守屋栄夫	昭和4年2月21日(1929)	3通・ペン	6-59-23
書簡〔補習読本編纂の件、峰間信吉氏より依頼〕 市村敬三→守屋栄夫	大正5年3月4日(1916)	1通・墨書	84-20-63
書簡〔お悔やみ状〕 市村慶三→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-49
書簡〔当選祝い〕 斎源太郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-32
葉書〔当選祝い〕 斎長十郎→守屋栄夫	昭和3年2月19日(1928)	1枚・ペン	7-147-227
書簡〔お悔やみ状〕 一色順雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-41
書簡〔お悔やみ状〕 逸見寿→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-73
書簡〔佐藤部長東京到着、病状報告〕 井手篤彦→守屋栄夫	18日	1通・墨書	84-30-17
書簡〔福島県庁就職着任〕 伊手衡〔福島県庁事務課〕→守屋栄夫	大正8年9月21日(1919)	1通・墨書	9-25-11
書簡〔新聞の政変説につき所感、正力松太郎氏への手紙送付依頼〕 伊手衡→守屋栄夫	大正12年4月21日(1923)	1通・ペン	80-40-1-30
書簡〔礼状延引お詫び〕 井出黎三郎→守屋栄夫	大正15年4月19日(1926)	1通・墨書	85-3-2-11
書簡〔宮城県土木課長赴任の報告〕 伊藤敷〔宮城県土木課長〕→守屋栄夫	昭和5年10月23日(1930)	1通・墨書	10-82
書簡〔就職斡旋御礼〕 伊藤董→守屋栄夫	昭和8年4月9日(1933)	1通・墨書	84-10-13
書簡〔当選祝い〕 伊藤鬼一郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-35
書簡〔暑中見舞い〕 伊藤勤右衛門→守屋栄夫	昭和4年7月30日(1929)	1通・墨書	5-17-3
葉書〔守屋氏の立候補応援〕 伊藤倉之助→守屋栄夫	昭和3年2月3日(1928)	1枚・ペン	10-408-43
葉書〔当選祈願〕 伊藤倉之助→守屋栄夫	昭和3年2月3日(1928)	1枚・ペン	10-408-65

葉書〔当選祝い〕 伊藤啓→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-322
葉書〔頌徳碑の件、書籍代金送付〕 伊藤賢策→守屋栄夫	明治42年2月5日(1909)	1枚・墨書	6-46-12
書簡〔著書御礼、頌徳碑設立の件〕 伊藤賢策→守屋栄夫	明治42年4月9日(1909)	1通・墨書	6-46-55
書簡〔栄夫・和郎借用証書の送付の件〕 伊藤賢策→守屋栄夫	大正6年3月14日(1917)	1通・墨書	84-20-153
書簡〔お悔やみ状〕 伊藤佐亮→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-76
書簡〔青年雄弁大会開催事業費の援助依頼〕 伊藤庄右衛門〔宮城雄弁研究会〕→守屋栄夫	昭和4年9月5日(1929)	1通・墨書・活版	85-4-5-21
葉書〔近況報告〕 伊藤正蔵・三浦斧吉・碓井忠平・三浦静・中井さん→守屋栄夫	昭和2年1月4日(1927)	1枚・ペン	85-7-5-7
書簡〔滝野川警察署長就任挨拶〕 伊藤昌太郎→守屋栄夫	昭和5年1月15日(1930)	1通・活版	84-1-25
葉書〔ブラジル移民計画につき教示依頼〕 伊藤浄天→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-32
葉書〔年賀状〕 伊東四郎→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-216
書簡〔お悔やみ状〕 伊東四郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	6-62
書簡〔成田君就職の件〕 伊藤仁吉→守屋栄夫	大正6年6月3日(1917)	1通・墨書	5-6-8
書簡〔お悔やみ状〕 伊藤仁吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書・活版	9-15-123
書簡〔帝大法文学部生住一就職の件〕 伊藤仁吉→守屋栄夫	昭和5年10月25日(1930)	1通・墨書	10-78
書簡〔爱国婦人会本所隣保館退職の竹中竹の就職斡旋依頼〕 伊藤真諦→守屋栄夫	昭和6年7月21日(1931)	1通・ペン・墨書	86-348-39
書簡〔定額電灯を「メートル」制に変更希望〕 伊藤祐成→守屋栄夫	昭和4年2月9日(1929)	1通・ペン	85-2-17
書簡〔宮城雄弁連盟維持費金立て替え願い〕 伊藤庄右衛門→守屋栄夫	昭和5年10月5日(1930)	1通・ペン	10-231
葉書〔当選祝い〕 伊藤太蔵→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・墨書	7-147-199
書簡〔田尻川の件につき礼状〕 伊藤太蔵→守屋栄夫	昭和4年11月21日(1929)	1通・墨書	18-14-192-39
書簡〔卒業試験のノート問い合わせ〕 伊東蒙雄→守屋栄夫	明治43年4月18日(1910)	1通・墨書	6-46-35
葉書〔恵贈品御礼〕 伊藤武郎→守屋栄夫	大正14年12月19日(1925)	1枚・ペン	86-323-35
書簡〔嶺八郎書簡同封、シャム皇帝来鮮に関し協議、活動写真部設置、李王婚儀参列の件〕 伊藤武彦→守屋栄夫	大正9年3月13日(1920)	1通・ペン	81-655
書簡〔本省転任希望不調〕 伊藤武彦→守屋栄夫	大正13年5月31日(1924)	1通・墨書	5-30-29
葉書〔横浜帰着の件〕 伊藤武彦→守屋栄夫	大正14年カ11月11日(1925)	1枚・ペン	86-38
葉書〔著書「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 伊藤武彦→守屋栄夫	昭和3年4月24日(1928)	1枚・ペン	86-329-22

書簡〔京城にて流行病発生、新政の件、ティーパー ティーの件〕 伊藤武彦→守屋栄夫	3月10日	1通・墨書	81-648
葉書〔樺太より暑中見舞い〕 伊藤武彦→守屋栄夫	8月8日	1枚・ペン	86-190
葉書〔奉天到着し大連へ向かう予定〕 伊藤武喜→守屋 栄夫	大正11年9月22日 (1922)	1枚・ペン	9-27-54
葉書〔旅順戦跡訪問の所感〕 伊藤武喜→守屋栄夫	大正11年9月24日 (1922)	1枚・ペン	9-27-56
書簡〔就職幹旋依頼〕 伊藤忠吉→守屋栄夫	昭和6年6月16日(1931)	1通・墨書・ペン	86-352-27
書簡〔行政学会の補充教材の件、賀来との結婚断念〕 伊藤忠吉→守屋栄夫	昭和7年4月25日(1932)	1通・ペン・墨書	83-3-48
書簡〔お悔やみ状〕 伊藤聰義→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-1
葉書〔当選祝い〕 伊藤千代次→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・ペン	10-408-116
書簡〔休暇願い〕 伊東恒太郎→守屋栄夫	昭和8年3月25日(1933)	1通・ペン	83-12-31
書簡〔趙男府立九中学校入学祝、滝川事件に関する意 見、青年間における俗歌流行憂慮〕 伊東恒太郎→守 屋栄夫	昭和8年5月28日(1933)	1通・ペン	83-6-23
書簡〔近況報告、千葉への転地断る〕 伊東恒太郎→守屋 栄夫	昭和8年6月1日(1933)	1通・ペン	84-27-33
書簡〔地方経済と文化、「祖国日本を護れ」ほかの感 想〕 伊東恒太郎→守屋栄夫	昭和8年10月19日 (1933)	1通・ペン	5-24-39
書簡〔「あかるい政治」原稿遅延のお詫び〕 伊東恒太郎 →守屋栄夫	昭和8年11月13日 (1933)	1通・ペン	84-29-34
書簡〔吉田鉄雄氏の就職幹旋依頼〕 伊藤露→守屋栄夫	昭和7年12月17日 (1932)	1通・墨書	84-14-11
葉書〔故高橋校長の頌徳碑建立、校長排斥の件〕 伊藤 徳之助→守屋栄夫	明治40年4月20日 (1907)	1枚・墨書	6-46-10
書簡〔伊藤忠吉援助依頼〕 伊藤俊子→守屋栄夫	昭和6年カ7月6日 (1931)	1通・ペン	86-348-2
書簡〔就職幹旋依頼〕 伊藤俊子→守屋栄夫・御奥様	昭和6年8月1日(1931)	1通・ペン・墨書	86-348-3
書簡〔援助依頼〕 伊藤俊子→守屋栄夫・御奥様	昭和6年8月9日(1931)	1通・ペン	86-348-1
書簡〔朝鮮での就職幹旋依頼〕 伊藤俊子→守屋栄夫	昭和6年9月4日(1931)	1通・ペン	86-358-16
書簡〔援助依頼〕 伊藤俊子→守屋栄夫	昭和6年9月14日(1931)	1通・ペン	86-358-36
書簡〔書類返送〕 伊藤俊子→守屋栄夫・御奥様	昭和6年11月7日(1931)	1通・ペン	86-347-41
書簡〔朝鮮学生寄宿舎の件〕 伊藤七雄→守屋栄夫	大正8年12月11日 (1919)	1通・墨書	5-28-21
葉書〔当選祈願〕 伊藤文衛→守屋栄夫	昭和3年2月13日(1928)	1枚・墨書	7-147-297
書簡〔休職願い不可〕 伊藤政雄→守屋栄夫	大正7年3月23日(1918)	1通・墨書	83-13-14
書簡〔就職幹旋依頼〕 伊藤政雄→守屋栄夫	大正8年5月12日(1919)	1通・墨書	84-30-2
葉書〔年賀状〕 伊藤政雄	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-10

書簡〔樺太の冷害と農作物への影響〕 伊藤政雄→守屋栄夫	昭和4年8月21日(1929)	1通・墨書・ペン	5-17-24
書簡〔選挙応援〕 伊藤政雄→守屋栄夫	昭和5年1月30日(1930)	1通・ペン	10-403-26
書簡〔九州行きの報告〕 伊藤昌庸→守屋栄夫	昭和2年12月24日(1927)	1通・墨書	85-7-5-15
書簡〔お悔やみ状〕 伊藤昌庸→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-73
書簡〔佐藤兵二郎の就職困難、昭和連盟拡張について〕 伊藤昌庸→守屋栄夫	昭和7年4月20日(1932)	1通・墨書	84-24-15
書簡〔松村秘書官の勧めにつき道県事官・道勧業課長就任〕 伊藤正惣→守屋栄夫	大正12年7月28日(1923)	1通・ペン	80-2-1-30
葉書〔挨拶状〕 伊藤正惣→守屋栄夫	大正14年11月14日(1925)	1枚・ペン	84-6-143
葉書〔国際労働会議記念絵葉書の御礼〕 伊藤正惣→守屋栄夫	大正14年11月17日(1925)	1枚・ペン	84-6-150
葉書〔名著拝読〕 伊藤正惣→守屋栄夫	大正15年1月19日(1926)	1枚・ペン	86-165
葉書〔挨拶状〕 伊藤正惣→守屋栄夫	大正15年11月21日(1926)	1枚・ペン	86-322-62
書簡〔朴重陽氏願出の件につき本人感謝〕 伊藤正惣→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・ペン	85-3-4-13
葉書〔博覧会視察の件〕 伊藤正惣→守屋栄夫	昭和2年5月18日(1927)	1枚・ペン	86-159
葉書〔挨拶状〕 伊藤正惣→守屋栄夫	昭和2年カ7月27日(1927)	1枚・ペン	86-173
葉書〔冊子熟読〕 伊藤正惣→守屋栄夫	昭和5年1月21日(1930)	1枚・ペン	84-1-16
書簡〔京城商工会議所理事に就任〕 伊藤正惣→守屋栄夫	昭和6年4月8日(1931)	1通・ペン	86-346-3
書簡〔小切手500円送金、負債完済〕 伊藤正義→守屋栄夫	昭和5年11月6日(1930)	1通・墨書	9-16-51
書簡〔岸氏の近況報告〕 伊藤允美〔愛知県第中学校〕→守屋栄夫	大正14年11月7日(1925)	1通・墨書	85-10-48
書簡〔選挙激励〕 伊藤祐三→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書	10-26-1
葉書〔年賀状〕 伊藤嘉雄→守屋栄夫	大正6年1月1日(1917)	1枚・墨書	81-111
書簡〔面会不能、お詫び〕 伊藤義三→守屋栄夫	昭和8年5月16日(1933)	1通・墨書	84-27-12
葉書〔面会希望了解〕 伊藤龍治〔大連民政署警務課〕→守屋栄夫	大正8年8月5日(1919)	1枚・ペン	5-6-24
書簡〔賀来俊子との結婚仲介依頼〕 伊藤了栄→守屋栄夫	昭和4年10月7日(1929)	1通・ペン	5-31-22
書簡〔近況報告〕 伊藤了栄・俊子→守屋栄夫	昭和5年5月19日(1930)	1通・ペン	10-406-15
書簡〔婚因届け、子供死去の件〕 伊藤了栄・俊子→守屋栄夫	昭和5年10月3日(1930)	1通・墨書	10-52
書簡〔礼状、サツマ芋送付〕 伊藤了栄・俊子→守屋栄夫	昭和5年10月27日(1930)	1通・墨書	10-84

書簡〔当選祝い〕 伊藤良蔵〔社会局福利課〕→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-37
葉書〔政界浄化に奮闘〕 伊藤→守屋栄夫	昭和5年1月21日(1930)	1枚・ペン	84-1-13
書簡〔姉上の世話につき報告〕 井戸端清→守屋栄夫	昭和7年8月25日(1932)	1通・墨書	83-3-11
葉書〔お悔やみ状〕 糸原高礼〔仙台市第二高女〕→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1枚・ペン	6-54-19
書簡〔シベリア・浦潮の状況〕 稲垣三郎〔陸軍少将〕→守屋栄夫	大正8年4月23日(1919)	1通・ペン	82-3-188
葉書〔お悔やみ状〕 稲田克堂→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・ペン	5-27-10
書簡〔お悔やみ状〕 稲葉一郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-26
書簡〔お悔やみ状〕 伊庭勝之輔→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-53
書簡〔当選祝い〕 伊能三郎右衛門・久保木惣右衛門→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・ペン	10-407-59
書簡〔お悔やみ状〕 井上収→守屋栄夫	大正12年3月21日(1923)	1通・墨書	18-14-187
書簡〔著書買い上げ願い〕 井上収〔炎車洞書房〕→守屋栄夫	大正15年10月29日(1926)	1通・ペン	85-3-3-32
書簡〔浪人生活の近況報告〕 井上収→守屋栄夫	大正15年11月23日(1926)	1通・ペン	85-3-4-22
書簡〔原稿受領、拙著『役人供養』案内〕 井上収→守屋栄夫	昭和6年9月3日(1931)	1通・墨書	86-356-21
書簡〔斎藤子爵を訪問〕 井上収→守屋栄夫	昭和6年11月9日(1931)	1通・墨書	86-347-40
書簡〔お悔やみ状〕 井上一次→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン	9-15-30
葉書〔政界革新の新運動同感〕 井上一次→守屋栄夫	昭和4年8月24日(1929)	1枚・ペン	86-315
電報〔弔電〕 井上清→モリヤエيوف	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-99
葉書〔暑中見舞い〕 井上清→守屋栄夫	昭和2年8月15日(1927)	1枚・ペン	85-7-6-39
葉書〔暑中見舞い〕 井上清→守屋栄夫	昭和4年8月23日(1929)	1枚・ペン	86-320
葉書〔挨拶状〕 井上清→守屋栄夫	11月6日	1枚・ペン	84-5-11
書簡〔当選祝い〕 井上敬次郎→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・墨書	10-281
書簡〔「普選号」原稿依頼〕 井上源治→守屋栄夫	昭和3年1月25日(1928)	1通・墨書	10-414-28
書簡〔送別会のお礼〕 井上孝哉→守屋栄夫	大正15年1月16日(1926)	1通・墨書	85-3-5-37
葉書〔マルセイユに上陸〕 井上孚磨→守屋栄夫	大正15年6月6日(1926)	1枚・ペン	85-3-1-21
葉書〔台湾への転居通知〕 井上孚磨→守屋栄夫	昭和3年8月10日(1928)	1枚・ペン・活版	86-325-76
葉書〔官職に対する意見、オーストリア旅行〕 井上孚磨→守屋栄夫	6月22日	1枚・ペン	84-1-51
書簡〔当選祝〕 井上保→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-5
葉書〔挨拶状〕 井上友一→守屋栄夫	大正5年4月28日(1916)	1枚・墨書	81-209
書簡〔礼状〕 井上秀子〔日本女子大学校〕→守屋栄夫	昭和3年4月17日(1928)	1通・ペン	10-298

葉書〔寒中見舞〕 井上政信→守屋栄夫	昭和2年1月6日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-42
書簡〔講義の御礼他〕 井上良一→守屋栄夫	大正15年2月4日(1926)	1通・墨書	85-3-5-18
葉書〔年賀挨拶〕 井上良一→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1
葉書〔欠礼挨拶〕 井上麗吉→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	85-7-2-35
書簡〔選挙挨拶〕 猪股勲→守屋栄夫	昭和3年1月25日(1928)	1通・活版	85-2-4
書簡〔猪股勲選挙推薦文〕 猪股勲→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・活版	85-2-1
書簡〔お悔やみ状〕 猪股勲→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン	9-15-28
書簡〔歌舞伎見学など御礼〕 猪股博→守屋栄夫	昭和8年5月23日(1933)	1通・墨書	84-27-32
書簡〔返電、朝鮮銀行より問合わせ〕 今井孝三郎→守屋栄夫	大正9年8月23日(1920)	1通・墨書	9-17-9
書簡〔移住組合臨時総会に於ける尽力御礼〕 今井五介→守屋栄夫	昭和4年12月29日(1929)	1通・墨書	85-4-4-21
葉書〔時候の挨拶〕 今井五介→守屋栄夫	昭和8年9月(1933)	1枚・ペン・活版	86-323-41
書簡〔白菜の御礼〕 今井五介→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1通・墨書	84-17-30
書簡〔選挙応援〕 今井修一〔海外植民学校主事〕→守屋栄夫	昭和3年2月16日(1928)	1通・墨書	10-35
書簡〔お悔やみ状〕 今井修一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-63
葉書〔栄転祝〕 今井省五郎→守屋栄夫	明治44年3月31日(1911)	1枚・墨書	81-566
書簡〔午餐案内〕 今井正介→守屋栄夫	5月18日	1通・墨書	78-23-55
書簡〔当選祈願〕 今石貞次郎・山口金吉→守屋栄夫	昭和5年2月15日(1930)	1通・謄写版	10-409-48
書簡〔日本社会学学会講演御礼と原稿依頼〕 今井時郎→守屋栄夫	昭和2年11月17日(1927)	1通・墨書	85-9-135
書簡〔当選祝〕 今井俊弥→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・墨書	10-414-36
書簡〔お悔やみ状〕 今井俊弥→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-18
書簡〔暑中見舞い〕 今井俊弥→守屋栄夫	昭和8年8月7日(1933)	1通・墨書	84-18-2
書簡〔庄司様より伝言〕 今井俊弥→守屋栄夫	昭和8年12月21日(1933)	1通・ペン	84-17-8
書簡〔和郎の大学授業料滞納の件〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正6年3月18日(1917)	1通・墨書	84-20-152
葉書〔会議出席依頼〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正7年カ3月20日(1918)	1枚・墨書	82-3-242
書簡〔上京の旅費工面願ひ〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正9年7月28日(1920)	1通・墨書	6-53-19
書簡〔在韓中の旅費立替御礼〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正9年9月21日(1920)	1通・墨書	6-53-18
書簡〔斯久会出席関係〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正10年3月4日(1921)	1通・墨書	81-745
葉書〔面会不能残念〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正10年4月7日(1921)	1枚・墨書	81-199
書簡〔小田昇任の件〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正11年10月10日(1922)	1通・墨書	9-27-41

書簡〔九阜会関係、忘年会開催〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正15年12月13日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-35
葉書〔忘年会遠慮〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正15年12月19日 (1926)	1枚・墨書	86-322-72
書簡〔仙台人小会案内〕 今井彦三郎→守屋栄夫	昭和6年7月19日 (1931)	1通・墨書	86-348-50
書簡〔日和山神社奉賛会役員会開催案内〕 今井彦三郎→守屋栄夫	昭和8年6月20日 (1933)	1通・墨書・印刷	83-6-12
書簡〔神社昇格協議依頼〕 今井彦三郎→守屋栄夫	昭和8年7月30日 (1933)	1通・墨書	84-18-3
書簡〔育英会書記長谷川惣二より回答報告〕 今井彦三郎→守屋栄夫	昭和8年8月20日 (1933)	1通・墨書	84-18-37
書簡〔半島史研究に関し訪問希望〕 今井彦三郎→守屋栄夫	3月12日	1通・墨書	81-646
書簡〔総督・総監ヘシオン決議回送依頼、慶州誌の件〕 今井彦三郎→守屋栄夫	11月8日	1通・墨書	81-740
書簡〔凶漢遭遇の件返答〕 今井亮吉→守屋栄夫	大正13年5月21日 (1924)	1通・墨書	5-30-9
葉書〔栄転祝い〕 今井廉〔第十五師団獣医部長〕→守屋栄夫	大正6年5月14日 (1917)	1枚・墨書	82-3-162
書簡〔お悔やみ状〕 今泉定介→守屋栄夫	昭和4年3月3日 (1929)	1通・墨書	9-15-104
書簡〔お悔やみ状〕 今宿次雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・ペン・活版	9-15-129
書簡〔当選祝い〕 今西与七郎→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1通・墨書	7-147-24
書簡〔起業資金借金の返済報告〕 今西李庵→守屋栄夫	昭和8年10月5日 (1933)	1通・ペン	84-12-16
書簡〔別紙保証書送付〕 今堀友市→守屋栄夫	大正5年4月1日 (1916)	1通・墨書	84-20-23
書簡〔挨拶状〕 今堀友市→守屋栄夫	大正6年6月17日 (1917)	1通・墨書	83-14-157
葉書〔冬期休業中貴地訪問不能〕 今堀友市→守屋栄夫	大正6年12月26日 (1917)	1枚・ペン	81-175
書簡〔総督襲撃に対する見舞〕 今堀友市〔大阪府女子師範学校〕→守屋栄夫	大正8年9月4日 (1919)	1通・墨書	9-17-17
葉書〔内務省社会局部長就任祝い〕 今堀友市→守屋栄夫	大正13年9月20日 (1924)	1枚・ペン	85-1-25
葉書〔著書恵贈御礼〕 今堀友市→守屋栄夫	大正14年11月15日 (1925)	1枚・ペン	84-6-142
書簡〔再度の出張〕 今堀一枝→守屋栄夫	大正7年6月12日 (1918)	1通・墨書	5-26-34
書簡〔お悔やみ状〕 今村貞太郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・ペン	9-13-9
書簡〔朝鮮銀行会計決算に関わる総督府官吏の醜聞〕 今村重光→守屋栄夫	大正12年10月23日 (1923)	1通・ペン	80-39-1-7
書簡〔朝鮮人虐殺記事の宣伝利用を懸念、朝鮮語新聞の保存〕 今村重光→守屋栄夫	大正12年11月2日 (1923)	1通・ペン	80-39-1-6
書簡〔上海エクスプレス記者フェッファー氏の斎藤実朝鮮総督へのインタビュー筆記要領送付、総督府外事課新聞雑誌主任雇用の件〕 今村重蔵→守屋〔栄夫〕秘書官	大正8年12月8日 (1919)	1通・ペン	5-28-4
葉書〔京城訪問〕 今村信吉→守屋栄夫	昭和4年5月28日 (1929)	1枚・ペン	84-6-43

書簡〔年賀状〕 今村成三郎→守屋栄夫	昭和5年1月1日(1930)	1通・墨書	10-403-7
書簡〔仙台市内の就職斡旋願い〕 今村積寿→守屋栄夫	昭和4年12月18日(1929)	1通・墨書	5-14-12
電報〔弔電〕 今村武志→モリヤエイフ	大正12年3月18日カ(1923)	1通・ペン	18-14-105
書簡〔近況報告〕 今村武志→守屋栄夫	大正14年11月27日(1925)	1通・墨書	85-10-71
書簡〔秋葉保広氏長男死去〕 今村武志→守屋栄夫	大正15年7月25日(1926)	1通・墨書	85-3-3-40
書簡〔選挙出馬の件〕 今村武志→守屋栄夫	昭和2年11月21日(1927)	1通・墨書	85-7-6-11
書簡〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 今村武志→守屋栄夫	昭和3年4月23日(1928)	1通・墨書	10-297
書簡〔樺太移民窮民用政府米払下げ配慮の御礼、貴協会当地駐在員後藤氏と打合せの由〕 今村武志→守屋栄夫	昭和7年9月30日(1932)	1通・墨書	83-5-5
書簡〔年賀遠慮〕 今村長三郎→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1通・墨書	85-7-1-15
葉書〔当選祝い〕 今村軻→守屋栄夫	昭和3年3月1日(1928)	1枚・ペン	10-408-41
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 今村正義→守屋栄夫	昭和3年5月11日(1928)	1枚・ペン	86-325-46
書簡〔お悔やみ状〕 今村正義→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-27-30
電報〔仕事遂行のため総督府への助言依頼(英語)〕 IMAMURA→守屋栄夫	大正12年11月7日(1923)	1通・謄写版	80-2-1-57
葉書〔山口町育児院法人組織の件〕 今村→守屋栄夫	1月11日	1枚・ペン	84-5-14
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 芋川泰次→守屋栄夫	大正13年9月17日(1924)	1通・墨書	85-1-12
葉書〔年賀状〕 芋川泰次→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書	86-322-212
書簡〔旧郵便所長李起練氏に対する貸付の件報告他〕 伊森明治→守屋栄夫	昭和5年7月1日(1930)	1通・ペン	10-411-17
書簡〔依頼の冊子50冊送付〕 弥栄会事業部→守屋栄夫	昭和2年12月31日(1927)	1通・墨書	85-7-2-1-17
書簡〔お悔やみ状〕 伊与田貳次→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-187
書簡〔お悔やみ状〕 入江海平→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-39
電報〔お悔やみ状〕 入間川栄二郎→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・ペン・活版	5-25-10-5
書簡〔お悔やみ状〕 岩井岩吉→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	9-16-78
葉書〔大礼について〕 岩井宗平→守屋栄夫	昭和3年11月20日(1928)	1枚・ペン	84-3-46
書簡〔お悔やみ状〕 岩井宗平→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-21
書簡〔吉田潤吾君立替金の件〕 岩井宗平→守屋栄夫	昭和8年9月2日(1933)	1通・ペン	84-25-40
書簡〔封筒のみ〕 岩井宗平→守屋栄夫		1通・墨書	10-253

書簡〔海外出張出発報告〕 岩井長三郎→守屋栄夫	大正10年10月25日 (1921)	1通・墨書	5-29-22
書簡〔お悔やみ状〕 岩川与助→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-59
葉書〔富士川流域の送電用用地契約の件〕 岩切彦吉→ 守屋栄夫	6日	1枚・ペン	82-3-32
葉書〔挨拶状〕 岩切→守屋栄夫	大正6年8月11日(1917)	1枚・墨書	81-203
葉書〔出張先より三保に来る〕 岩切→守屋栄夫	大正7年12月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-211
書簡〔お悔やみ状〕 岩佐善吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-24
書簡〔午餐案内〕 岩崎小弥太→守屋栄夫	昭和9年12月10日(1934)	1通・墨書	86-353-6
葉書〔当選祝い〕 岩崎涛→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	10-408-79
書簡〔身上に関し配慮のこと鹿島・永井両氏より拝 承〕 岩瀬甚蔵→守屋栄夫	大正5年4月2日(1916)	1通・墨書	84-20-29
書簡〔お悔やみ状〕 岩瀬甚蔵→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-124
書簡〔市原高等学校校長人事〕 岩瀬甚蔵→守屋栄夫	昭和6年1月23日(1931)	1通・墨書	86-359-6
書簡〔飯岡氏・佐々木氏勤続の件〕 岩瀬甚兵衛→守屋栄 夫	8月28日	1通・墨書	10-75
書簡〔愛国社村塾武道道場建設費用寄付願い〕 岩田 愛之助→守屋栄夫	昭和8年(1933)	1通・活版	84-12-17
書簡〔お悔やみ状〕 岩田衛→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書・活版	9-15-189-13
葉書〔帰京祝い〕 岩田衛→守屋栄夫	昭和6年6月12日(1931)	1枚・墨書・活版	86-322-305
書簡〔お悔やみ状〕 岩谷直次郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-15-10
書簡〔お悔やみ状〕 岩波武信→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-125
名刺〔喪中〕 巖西真乘	昭和2年カ1月カ1日カ (1927)	1枚・ペン・活版	86-326-41
葉書〔訪問時の御礼〕 岩西真義→守屋栄夫	大正15年11月29日 (1926)	1枚・ペン	84-5-29
葉書〔当選祈願〕 岩根喜久助→守屋栄夫	昭和3年2月16日(1928)	1枚・ペン	7-147-269
葉書〔お悔やみ状〕 岩根喜久助→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1枚・墨書	6-54-22
葉書〔挨拶状〕 岩野→守屋栄夫	大正5年6月24日(1916)	1枚・ペン	81-151
葉書〔衆議院議員としての活躍祈念〕 岩間大陽→守屋 栄夫	昭和4年1月16日(1929)	1枚・ペン	86-328-11
書簡〔田中保次郎死去および子女教育費基金につい て〕 岩村通世・外22人→守屋栄夫	昭和2年12月10日 (1927)	1通・活版	85-7-7-7
葉書〔暑中見舞い〕 岩本建一郎→守屋栄夫	昭和4年8月25日(1929)	1枚・墨書	86-316
書簡〔当選祝い〕 岩本憲治→守屋栄夫	昭和 2月22日	1通・墨書	10-168

う

書簡〔上杉章雄選挙推薦文〕 上杉章雄→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・活版	85-2-3
-------------------------	--------------	-------	--------

書簡〔貴地訪問時の御礼〕 上杉慎吉→守屋栄夫	大正6年4月23日(1917)	1通・墨書	84-20-46
書簡〔「日本の朝鮮統治と清朝の朝鮮統治」広東彙報、「朝鮮人一派大に共產主義の宣伝に努む」北京農報〕 上田恭輔〔大連満鉄〕→守屋栄夫	大正11年1月28日(1922)	1通・墨書・謄写版	9-20-18
書簡〔香港上海銀行の取締、パブリックレツヤー代表ヘンリーノートン氏〕 上田恭輔〔大連満鉄〕→守屋栄夫	大正11年2月5日(1922)	1通・墨書	9-20-22
葉書〔接見不能残念〕 上田恭輔→守屋栄夫	大正14年10月20日(1925)	1枚・ペン	84-6-114
書簡〔法律事務所開設祝〕 上田恭輔→守屋栄夫	昭和3年5月11日(1928)	1通・墨書	10-408-153
書簡〔お悔やみ状〕 上田恭輔→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-86
書簡〔慶南・全羅南北・忠清南北各知事へ名刺依頼〕 上田茂雄→守屋栄夫	大正8年2月18日(1919)	1通・ペン	9-25-34
書簡〔当選祝い〕 上田宅治→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-144
書簡〔日鮮結合方法意見〕 上田長吉→守屋栄夫	大正10年10月26日(1921)	1通・ペン	5-29-13-2
書簡〔お悔やみ状〕 上田長吉→守屋栄夫	大正12年3月23日(1923)	1通・ペン	80-2-1-24
葉書〔避暑休養挨拶〕 上田長吉→守屋栄夫	昭和2年8月1日(1927)	1枚・ペン	86-100
書簡〔上京の際引見願ひ〕 上田長吉→守屋栄夫	昭和5年1月18日(1930)	1通・墨書	10-403-46
書簡〔選挙応援と協力〕 上田長吉〔慶尚南道地方課〕→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1通・ペン	10-121
書簡〔当選祝い〕 上田長吉〔慶尚南道地方課〕→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・ペン	10-120
書簡〔柴田郡県議補欠選挙状況〕 上田長吉→守屋栄夫	昭和5年8月24日(1930)	1通・墨書	7-147-93
書簡〔宮沢の出馬、行動指示願ひ〕 上田長吉→守屋栄夫	昭和6年4月12日(1931)	1通・墨書	86-346-10
葉書〔青年会開催後援依頼〕 上田鶴次郎→守屋栄夫	明治40年12月11日(1907)	1枚・墨書	6-46-20
書簡〔選挙運動激励〕 上田敏夫→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	7-147-115
書簡〔咸鏡南通警部補採用御礼〕 上田瑠夫→守屋栄夫	昭和5年7月1日(1930)	1通・ペン	10-411-21
葉書〔昇進祝い〕 上田長彦→守屋栄夫	昭和2年11月6日(1927)	1枚・ペン	84-1-119
書簡〔当選祝い〕 上田秀雄→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	7-147-116
書簡〔県下社会事業に関する勧誘感謝〕 上田万平〔宮城県知事〕→守屋栄夫	大正15年2月10日(1926)	1通・墨書	85-3-1-37
葉書〔永興警察署勤務の挨拶〕 上田瑞夫→守屋栄夫	昭和5年9月19日(1930)	1枚・ペン	86-1-90
書簡〔現内閣批判、政治活動激励、朝鮮咸鏡南道長津郡の現状報告〕 上田瑞夫〔朝鮮咸鏡南道長津郡下碕警察署〕→守屋栄夫	昭和6年4月26日(1931)	1通・墨書	86-354-42
書簡〔退職後の尽力御礼〕 上田瑞夫→守屋栄夫	昭和7年10月26日(1932)	1通・ペン	83-4-24
書簡〔息子の就職依頼〕 上西謙吾→守屋栄夫	昭和8年12月18日(1933)	1通・墨書	84-21-8

書簡〔鈴木政友会総裁に対して経歴紹介依頼〕 上西 富治→守屋栄夫	昭和8年9月7日(1933)	1通・ペン	84-25-28
書簡〔著書印刷中、内務省地方局各課へ〕 上野他七郎 〔中央報徳会〕→守屋栄夫	大正8年1月22日(1919)	1通・墨書	5-26-7
書簡〔著書発送指示伺い〕 上野他七郎→守屋栄夫	大正8年2月5日(1919)	1通・墨書	84-19-6
書簡〔当選祝い〕 上野他七郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-44
書簡〔中央報徳会幹事辞任報告〕 上野他七郎→守屋栄 夫	昭和3年2月26日(1928)	1通・墨書	7-147-45
書簡〔当選祝い〕 上野他七郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-370
書簡〔薬品の御礼〕 上野文治→守屋栄夫	昭和6年10月28日 (1931)	1通・墨書	86-346-21
書簡〔水野閣下ご真筆御礼〕 上野文治→守屋栄夫	昭和7年9月21日(1932)	1通・墨書	83-11-23
書簡〔鳥取近況報告〕 上村靖→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-1-1
葉書〔ブラジル講演成功〕 上村靖・田付→守屋栄夫	昭和3年1月15日(1928)	1枚・墨書	86-325-26
葉書〔当選祝い〕 上村靖→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1枚・墨書	10-408-84
書簡〔湯地津尾子に関する御高見〕 鵜飼金三郎→守屋 栄夫	大正6年5月30日(1917)	1通・墨書	83-14-107
書簡〔県教育会・夏季講演会など県内教育関係〕 鵜飼 金三郎→守屋栄夫	大正6年8月4日(1917)	1通・墨書	83-14-6
葉書〔満洲視察〕 鵜飼金三郎→守屋栄夫	大正6年8月23日(1917)	1枚・ペン	81-226
書簡〔ご送付願い〕 鵜飼金三郎→守屋栄夫	大正6年12月4日(1917)	1通・墨書	83-14-203
葉書〔ご機嫌伺い〕 鵜飼金三郎→守屋栄夫	大正7年11月18日 (1918)	1枚・墨書	82-3-125
葉書〔喪中〕 鵜飼金三郎	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-63
書簡〔当選祝い〕 宇垣弘→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-353
書簡〔総選挙立候補に尽力〕 宇垣弘→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書	10-414-5
葉書〔仙台クリスチャン青年会・連坑青年団一般公 開〕 宇垣弘→守屋栄夫	昭和3年6月17日(1928)	1枚・ペン	86-322-126
葉書〔青年団長中心の結束会合準備〕 宇垣→守屋栄夫	昭和3年カ5月15日 (1928)	1枚・ペン	86-325-50
葉書〔白菜の礼状〕 宇垣→守屋栄夫	昭和5年12月24日 (1930)	1枚・墨書	86-1-64
書簡〔お悔やみ状〕 宇佐美武治郎内→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-141
葉書〔お悔やみ状〕 氏家耕輔→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・墨書	5-27-19
書簡〔お悔やみ状〕 氏家尚一→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	5-12-38
書簡〔借地について〕 氏家寅蔵→守屋栄夫	昭和5年5月24日(1930)	1通・ペン	10-406-13
書簡〔不況につき援助願い〕 氏家寅蔵→守屋栄夫	昭和6年7月17日(1931)	1通・ペン	86-348-48
書簡〔政友党の人々を巡る動き〕 氏家寅蔵→守屋栄夫	昭和6年9月29日(1931)	1通・ペン	86-358-35

葉書〔議会解散、総選挙前警察部長等更迭〕 氏家文夫 →守屋栄夫	大正6年1月27日(1917)	1枚・墨書	81-137
書簡〔増資新株払込催促〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正6年4月25日(1917)	1通・墨書	84-20-110
書簡〔河村氏より履歴書送付の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正6年4月29日(1917)	1通・墨書	84-20-108
書簡〔内務監察官兼参事官栄転祝〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-11
葉書〔挨拶状〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正6年12月15日 (1917)	1枚・墨書	81-173
書簡〔勤務地物価高にて生活困窮〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正7年1月4日(1918)	1通・墨書	83-13-17
書簡〔秋山氏出資計画中の株式会社会計報告〕 氏家 文夫→守屋栄夫	大正7年4月21日(1918)	1通・墨書	84-9-28
葉書〔株主総会につき近況報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正7年6月14日(1918)	1枚・墨書	82-3-225
葉書〔鈴木氏の件報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正7年7月11日(1918)	1枚・墨書	82-3-278
葉書〔訪問予定〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正7年7月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-263
書簡〔身上報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正12年4月9日(1923)	1通・ペン	80-40-1-33
書簡〔山丸会社の近況報告他〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正12年7月15日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-31
葉書〔五等米を全部処分、近況報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正15年6月24日 (1926)	1枚・ペン	85-3-5-6
葉書〔突地山の検知に付近況報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	大正15年6月27日 (1926)	1枚・ペン	85-3-5-5
書簡〔鳴子山杉植林の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和2年5月6日(1927)	1通・ペン	85-9-89
葉書〔杉植林検分の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和2年5月12日(1927)	1枚・ペン	84-1-60
葉書〔ご機嫌伺い〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和3年5月20日(1928)	1枚・ペン	86-325-37
葉書〔宮城の景況報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和3年6月26日(1928)	1枚・ペン	86-322-133
書簡〔差押に関する状況報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和3年11月24日 (1928)	1通・ペン・活版	10-42
書簡〔保証人選任結果通知〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和4年1月22日(1929)	1通・ペン	6-55-15
書簡〔米山耕地整理組合の滞納金支払い請求〕 氏家 文夫→守屋栄夫	昭和4年4月28日(1929)	1通・ペン	85-4-3-15
書簡〔米山の土地に関する税金相談〕 氏家文夫→守屋 栄夫	昭和4年6月10日(1929)	1通・ペン	85-4-3-23
書簡〔所得税賦課の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和4年7月29日(1929)	1通・墨書	85-4-1-24
書簡〔点検の計算分配について〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和5年4月8日(1930)	1通・墨書	10-405-30
書簡〔会社内の問題について〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和5年6月21日(1930)	1通・ペン	10-406-40
葉書〔昭和5年度所得税、前年度比減額〕 氏家文夫→守 屋栄夫	昭和5年6月3日(1930)	1枚・ペン	84-4-20
書簡〔五年度所得税納入報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和5年7月26日(1930)	1通・ペン	10-410-7

書簡〔「年賦償還計算表」、残元金等照会〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和5年8月30日(1930)	1通・ペン	10-5
書簡〔昭和連盟加入募集の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和5年10月17日(1930)	1通・ペン	10-58
書簡〔保険料並びに税金送付報告〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和5年10月28日(1930)	1通・ペン	18-14-201-5
書簡〔挙国一致内閣希望につき所感〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和6年12月12日(1931)	1通・墨書	86-351-10
書簡〔樺太の件辞退、長女女中奉公採用願い〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和7年9月21日(1932)	1通・ペン	83-11-29
書簡〔本件辞退、土地権利登記、借入金督促の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和7年9月24日(1932)	1通・ペン	83-11-27
書簡〔農工借換の要件、米山土地名義書換移転の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和7年12月3日(1932)	1通・ペン	84-14-21
書簡〔佐藤安行就職斡旋依頼〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和8年4月24日(1933)	1通・墨書・ペン	85-11-30
書簡〔課税について意見〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和8年5月23日(1933)	1通・ペン	84-27-29
書簡〔岡崎君から樺太状況、町税徴収取り計らい願い〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和8年9月20日(1933)	1通・ペン	84-25-13
葉書〔保険料支払い、学校講堂の斎藤首相額面修繕の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和8年9月25日(1933)	1枚・ペン	84-25-21
書簡〔所得税の件〕 氏家文夫→守屋栄夫	昭和8年10月21日(1933)	1通・ペン	5-24-16
書簡〔塩鮭三本配送〕 氏家政治→守屋栄夫	昭和2年12月13日(1927)	1通・ペン	85-7-3-20
書簡〔総選挙について〕 氏家政治→守屋栄夫	昭和5年3月8日(1930)	1通・ペン	10-405-35
書簡〔芳名録について〕 氏家政治→守屋栄夫	昭和5年4月3日(1930)	1通・ペン	10-405-6
書簡〔電報にてお知らせ〕 氏家政治→守屋栄夫	昭和5年5月28日(1930)	1通・ペン	10-406-32
書簡〔特別高等課長辞職勧告につき就職斡旋依頼〕 氏家政治→守屋栄夫	昭和6年9月28日(1931)	1通・ペン	86-358-34
書簡〔樺太移住団体訪問依頼、学校寄付金御礼〕 氏家政治商店→守屋栄夫	大正4年7月21日(1915)	1通・墨書	6-52-9
書簡〔樺太より近況報告〕 氏家政治商店→守屋栄夫	昭和4年11月28日(1929)	1通・ペン	5-14-10
書簡〔贈物発送〕 氏家政治商店→守屋栄夫	昭和5年12月18日(1930)	1通・墨書・ペン	7-147-55
書簡〔葬式参列の件〕 氏家→守屋栄夫	26日	1通・ペン	10-230
葉書〔挨拶状〕 牛島隆則→守屋栄夫	昭和2年5月22日(1927)	1枚・ペン	86-155
書簡〔土地取引の状態〕 牛袋稜三郎→守屋栄夫	大正7年1月31日(1918)	1通・墨書	84-7-29
書簡〔就職斡旋依頼〕 牛袋稜三郎→守屋栄夫	昭和4年9月24日(1929)	1通・墨書	85-4-5-20
葉書〔旅行続行、新韓村視察〕 牛丸潤亮→守屋栄夫	大正10年2月20日(1921)	1枚・墨書	81-197
書簡〔選挙応援〕 牛渡文雄→守屋栄夫	昭和3年2月13日(1928)	1通・ペン	10-181

書簡〔当選祝い〕 牛渡文雄→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-124
葉書〔近況報告〕 宇高〔浦塩派遣軍司令部〕→守屋事務官	大正8年5月10日(1919)	1枚・ペン	82-3-175
葉書〔ゼムストヴォ報告〕 宇高→守屋栄夫	大正9年2月14日(1920)	1枚・ペン	82-3-374
葉書〔軍艦三笠にて「オリガ」へ〕 宇高〔浦塩派遣軍司令部〕→守屋栄夫	大正 4月8日	1枚・ペン	82-3-187
書簡〔衆議院議員選挙当選祝〕 打尾忠治〔石川県庁社会課〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-42
書簡〔当選祝い〕 打尾忠治→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-142
書簡〔内崎栄治仙台健康保険署に就職斡旋依頼〕 内ヶ崎作三郎→守屋栄夫	大正15年10月21日 (1926)	1通・墨書	78-23-7
書簡〔法学士小野寺五一らについて〕 内ヶ崎作三郎→ 守屋栄夫	大正 12月13日	1通・ペン	85-8-3
書簡〔『現代』の記事「農村更生の途」批評〕 宇井都三智 →守屋栄夫	昭和4年8月22日(1929)	1通・墨書・ペン	5-17-11
書簡〔お悔やみ状〕 宇津木登→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-58
書簡〔京城着、親戚等訪問〕 内海瀧司→守屋栄夫	昭和6年5月2日(1931)	1通・ペン	86-354-53
書簡〔渡鮮すれども受験不合格〕 内海瀧司→守屋栄夫	昭和6年7月6日(1931)	1通・墨書・ペン	86-350-40
書簡〔三神氏身上の件平塚総務長官に打電すべき〕 内海忠司→守屋栄夫	昭和8年9月15日(1933)	1通・墨書	84-25-8
書簡〔お悔やみ状〕 鵜沼隆吉→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-13-10
書簡〔当選祝い〕 鵜沼隆吉→守屋栄夫	昭和5年3月2日(1930)	1通・墨書	10-371
書簡〔お悔やみ状〕 海塩舒衛→守屋栄夫・守屋令夫人	大正12年3月20日 (1923)	1通・墨書	18-14-169
書簡〔当選祝い〕 海塩舒衛→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-147-19
書簡〔お悔やみ状〕 梅田徳次郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-66
書簡〔当選祝い〕 梅谷さと子→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	7-147-119
書簡〔議会での問題について〕 梅谷光貞→守屋栄夫	昭和2年6月30日(1927)	1通・墨書	85-7-6-46
葉書〔プラタ丸航海の様子〕 梅谷光貞→守屋栄夫・外食 堂員	昭和2年11月28日 (1927)	1枚・ペン	84-3-75
書簡〔国家の為に働けるよう口添え依頼〕 梅谷光貞→ 守屋栄夫	昭和2年(1927)	1通・ペン	85-9-98
葉書〔選挙応援〕 梅谷光貞→守屋栄夫	昭和3年カ2月27日 (1928)	1枚・ペン	86-329-43
葉書〔サン・パウロにて候補地視察〕 梅谷光貞→守屋栄 夫	昭和3年カ(1928)	1枚・ペン	86-329-33
葉書〔当選祝〕 梅谷光貞→守屋栄夫	昭和3年カ(1928)	1枚・ペン	86-325-32
書簡〔代行機関問題〕 梅谷光貞→守屋栄夫	昭和4年1月1日(1929)	1通・墨書	6-55-10
書簡〔海外移住組合連合会総会開催日決定通知〕 梅 谷光貞→守屋栄夫	昭和4年1月11日(1929)	1通・墨書	6-55-28

書簡〔ブラジル移民問題等への支援御礼〕 梅谷光貞→ 守屋栄夫	昭和4年1月19日(1929)	1通・墨書	6-55-19
書簡〔お悔やみ状〕 梅谷光貞→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-11
葉書〔ブラジルの入植準備の視察〕 梅谷光貞→守屋栄 夫	6月5日	1枚・ペン	84-6-20
書簡〔講演御礼、「脱漏神社登録願」〕 浦上九門→守屋栄 夫	昭和4年8月24日(1929)	1通・ペン	5-17-14
書簡〔鈴木友則書簡(89-357-23)同封〕 浦上九門→守 屋栄夫	昭和6年3月8日(1931)	1通・墨書	86-357-33
書簡〔近況報告〕 浦田多喜人→守屋栄夫	昭和8年12月1日(1933)	1通・ペン	84-29-22
葉書〔栄転祝い〕 ト部正一→守屋栄夫	大正6年5月8日(1917)	1枚・墨書	81-192
書簡〔山形県開催講習会参加御礼〕 ト部正一→守屋栄 夫	大正6年7月4日(1917)	1通・墨書	84-7-14
葉書〔平壤支部開会式参加、講演会で旅順・青島へ〕 瓜生喜三郎→守屋栄夫	大正15年5月8日(1926)	1枚・ペン	84-5-49
葉書〔朝鮮修養団の京城講習会景況〕 瓜生喜三郎→守 屋栄夫	大正15年9月4日(1926)	1枚・ペン	86-7
書簡〔選挙激励〕 瓜生喜三郎〔財団法人修養団後援会幹事 長〕→守屋栄夫	昭和5年2月3日(1930)	1通・墨書	10-141
書簡〔選挙激励〕 瓜生喜三郎→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-143
葉書〔台北の同志および総督府の方々と懇談〕 瓜生 喜三郎→守屋栄夫	昭和5年10月9日(1930)	1枚・ペン	86-1-49
葉書〔台湾高雄到着〕 瓜生喜三郎→守屋栄夫	昭和5年10月16日 (1930)	1枚・ペン	86-1-19
葉書〔婦人講習会に列席〕 瓜生喜三郎→守屋栄夫	8月24日	1枚・ペン	84-3-84
書簡〔当選祝い〕 宇和野源三郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	7-147-118
書簡〔談合事件弁護人選任届提出の件〕 海野斐雄→守 屋栄夫	昭和8年3月20日(1933)	1通・墨書	84-22-7
書簡〔予審調査中の陳述と異なる点の抜書〕 海野斐雄 →守屋栄夫	昭和8年8月29日(1933)	1通・ペン	84-15-2
書簡〔社会事業を構成する著書刊行挨拶〕 海野幸徳→ 守屋栄夫	昭和2年11月11日 (1927)	1通・ペン	85-9-133
書簡〔当選祝い〕 海野幸徳→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-24

え

書簡〔お悔やみ状〕 江川芳光→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-46
葉書〔当選祝い〕 江川芳光→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-250
書簡〔お悔やみ状〕 江刺内→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン	9-15-35
書簡〔甥就職斡旋依頼、甥中川末吉より江刺宛依頼書 簡〕 江刺運治郎→守屋栄夫	昭和4年1月12日(1929)	1通・墨書・ペン	6-55-22
書簡〔山陰農村救済〕 江刺運治郎→守屋栄夫	昭和5年11月7日(1930)	1通・墨書・ペン	9-16-33

書簡〔現状視察〕 枝徳二→守屋栄夫	昭和4年4月25日(1929)	1通・墨書	6-59-38
葉書〔帰京報告〕 江藤→守屋栄夫	昭和8年11月10日(1933)	1枚・ペン	86-323-4
葉書〔年賀状〕 江幡富重〔常陸国太田町大理石斑石採掘問屋丸江〕→守屋栄夫	大正2年1月1日(1913)	1枚・ペン・活版	9-23-76
葉書〔内務省社会局部長就任祝い〕 恵比寿兵蔵→守屋栄夫	大正13年9月13日(1924)	1枚・ペン	85-1-29
葉書〔当選祝い〕 恵比寿兵蔵→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-211
書簡〔当選祝い〕 江見清風→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-62
書簡〔松村松盛著作物宣伝〕 榎本房吉→守屋栄夫	昭和2年7月31日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-6-15
葉書〔雑誌「社会事業」恵贈御礼〕 榎本房吉→守屋栄夫	昭和3年5月13日(1928)	1枚・ペン	86-325-30
書簡〔手当御礼〕 榎本房吉→守屋栄夫	昭和5年1月4日(1930)	1通・墨書	10-403-16
葉書〔中央報徳会へ記事掲載につき〕 榎本房吉→守屋栄夫	大正 10月20日	1枚・ペン	86-33
葉書〔喪中〕 江利喜四郎→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-73
書簡〔当選祝い〕 延日照→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・ペン	7-147-270
葉書〔茶の送付状〕 遠藤一郎→守屋栄夫	昭和5年5月5日(1930)	1枚・ペン	86-77
書簡〔お悔やみ状〕 遠藤音右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-10-11
書簡〔協力志願〕 遠藤勝実→守屋栄夫	昭和2年11月6日(1927)	1通・ペン	85-9-120
葉書〔大礼について〕 遠藤勝実→守屋栄夫	昭和3年11月21日(1928)	1枚・ペン	84-3-45
葉書〔挨拶状〕 遠藤勝実→守屋栄夫	昭和4年12月23日(1929)	1枚・ペン	86-59
葉書〔耕地整理干拓策賛同〕 遠藤勝実→守屋栄夫	昭和5年8月(1930)	1枚・墨書・活版	86-322-319
葉書〔稲作業の近況〕 遠藤勝実→守屋栄夫	昭和6年6月23日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-357
書簡〔耕地整理問題の近況報告〕 遠藤勝実→守屋栄夫	昭和7年6月3日(1932)	1通・ペン	84-13-15
葉書〔当選祝い〕 遠藤熊雄→守屋栄夫	昭和3年2月18日(1928)	1枚・墨書	10-408-44
葉書〔当選祝い〕 遠藤熊雄→守屋栄夫	昭和3年2月18日(1928)	1枚・墨書	10-414-42
書簡〔鈴木君と会見、朝鮮教科書、起業希望〕 遠藤源六→守屋栄夫	大正9年5月28日(1920)	1通・墨書	5-16-15
書簡〔名生氏出願の山林許可配慮依頼〕 遠藤源六→守屋栄夫	大正9年8月25日(1920)	1通・墨書	9-17-14
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 遠藤源六→守屋栄夫	大正13年10月12日(1924)	1通・ペン	85-1-6
葉書〔鈴木利貞会見依頼〕 遠藤後一→守屋栄夫	昭和3年4月18日(1928)	1枚・ペン	86-329-27
書簡〔埼玉県北葛飾郡下村立小学校新設の為内務省土木出張所レール借下の件〕 遠藤幸五郎→守屋栄夫	大正7年4月18日(1918)	1通・墨書	83-2-7
書簡〔刈田郡の住所氏名一覧〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和5年1月20日(1930)	1通・墨書	10-410-23

書簡〔朝鮮への就職の件〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和5年5月24日(1930)	1通・墨書	10-406-12
書簡〔尽力御礼〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和5年6月24日(1930)	1通・墨書	10-406-41
書簡〔講習所生徒用教科書改正編纂につき報告〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和5年9月24日(1930)	1通・墨書	10-408-5
書簡〔見舞状〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和6年1月13日(1931)	1枚・墨書	86-359-20
葉書〔帰京祝い、佐々木氏等も無事〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和6年6月17日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-359
書簡〔白石町医師朝倉松吉氏出馬の意思〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和6年8月21日(1931)	1通・墨書	86-348-8
書簡〔遠藤吾一就職幹旋依頼〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和7年6月5日(1932)	1通・墨書	84-13-26
書簡〔小生制服勤務につき挨拶〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和7年カ7月19日(1932)	1通・墨書	83-3-43
書簡〔自動車運転士渡辺貞吉渡満希望にて就職幹旋依頼、佐々木利兵衛氏滝野川区役所庶務主任へ転任にて引立方依頼〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和7年10月30日(1932)	1通・墨書	83-4-27
書簡〔茂木義一郎氏の宮城県電気局就職幹旋依頼〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和8年2月9日(1933)	1通・墨書	83-12-25
書簡〔警察退職挨拶、熊谷氏就職幹旋依頼〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和8年4月12日(1933)	1通・墨書	85-11-18
書簡〔赤坂君を訪問〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和8年8月5日(1933)	1通・墨書	84-18-20
書簡〔退職の決意〕 遠藤秀吾→守屋栄夫	昭和8年9月27日(1933)	1通・墨書	84-25-24
書簡〔厚情御礼〕 遠藤新吉→守屋栄夫	昭和5年5月31日(1930)	1通・墨書	10-406-19
葉書〔年賀状〕 遠藤捨松→守屋栄夫	大正14年1月1日(1925)	1枚・ペン	84-2-19
葉書〔帰朝祝い〕 遠藤捨松→守屋栄夫	大正15年1月23日(1926)	1枚・ペン	84-6-129
書簡〔朝鮮群山不二農村宮城村への移住につき景況報告、写真(不二農村産業組合優良区祝賀祈念写真)〕 遠藤貴男→守屋栄夫	昭和7年7月20日(1932)	1通・墨書	83-3-47
葉書〔挨拶状〕 遠藤孝→守屋栄夫	昭和4年8月4日(1929)	1枚・ペン	86-278
書簡〔遠藤武就職幹旋依頼〕 遠藤武右衛門→守屋栄夫	昭和8年4月25日(1933)	1通・墨書	84-10-2
書簡〔近況報告〕 遠藤武→守屋栄夫	昭和8年9月3日(1933)	1通・ペン	84-25-41
書簡〔お悔やみ状〕 遠藤武治→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-7
書簡〔講演御礼〕 遠藤尚四郎〔亘理町教育会〕→守屋栄夫	昭和2年12月23日(1927)	1通・墨書	85-7-3-1
書簡〔就職幹旋依頼〕 遠藤成雄→守屋栄夫	昭和5年5月27日(1930)	1通・ペン	10-406-24
葉書〔当選祝い〕 遠藤広人→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-408-55
葉書〔本県代議員として全国職員教育大会出張〕 遠藤与市郎→守屋栄夫	明治44年5月5日(1911)	1枚・ペン	81-540
書簡〔当選祝い〕 遠藤与市郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	9-16-70
書簡〔選挙運動経過感想〕 遠藤与市郎→守屋栄夫	22日	1通・墨書	7-147-105

書簡〔お悔やみ状〕 遠藤養四郎・佐々木惣五郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-24
書簡〔選挙激励、子息就職斡旋につき〕 遠藤隆五郎→守屋栄夫	昭和5年2月2日(1930)	1通・墨書	9-16-68
書簡〔当選祝い〕 遠藤隆五郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	9-16-69
書簡〔封筒のみ〕 遠藤隆五郎→守屋栄夫		1通・墨書	10-295
書簡〔研究会の写真送付、大学院入学料、統監府新採用の件〕 遠藤柳作→守屋栄夫	明治43年7月5日(1910)	1通・墨書	6-46-49
書簡〔氏原氏履歴書満鉄に送付〕 遠藤柳作→守屋栄夫	大正7年8月5日(1918)	1通・墨書	5-6-39
お			
葉書〔当選祝い〕 及川幸左衛門〔弁護士〕→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-354
葉書〔当選祝い〕 及川四郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	7-147-235
書簡〔当選祝い〕 及川東蔵→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-412-19
書簡〔新機長について〕 及川久太郎→守屋栄夫	大正6年9月1日(1917)	1通・墨書	83-14-159
書簡〔お悔やみ状〕 及川久太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	9-29-73
書簡〔総選挙政友会から立候補〕 及川義見→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-412-43
書簡〔答案紙送付〕 及川→守屋栄夫		1通・墨書	6-46-57
葉書〔お悔やみ状〕 尾池栄次郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	5-12-44
書簡〔内務省内申の件〕 尾池秀雄→守屋栄夫	大正15年8月9日(1926)	1通・墨書	78-23-37
書簡〔当選祝い〕 尾池秀雄→守屋栄夫	昭和 2月23日	1通・墨書	10-93
葉書〔貨物到着通知〕 王子駅長→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1枚・ペン・活版	85-7-2-4
葉書〔神武天皇祭祀〕 王道連盟→守屋栄夫	昭和4年4月3日(1929)	1枚・ペン	86-327-20
書簡〔お悔やみ状〕 近江谷栄次→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-62
書簡〔「国旗の歌」未定稿〕 大井吟峯→守屋栄夫	昭和6年6月1日(1931)	1通・ペン	86-352-20
書簡〔当選祝い〕 大井静雄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-40
書簡〔お悔やみ状〕 大井静雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-42
書簡〔当選祝い〕 大井静雄→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-412-6
書簡〔盛岡高農卒業生大崎一夫の就職斡旋依頼〕 大泉勝吉→守屋栄夫	昭和8年5月15日(1933)	1通・墨書・ペン	84-11-7
書簡〔市内小学校五学級増加と校長更迭の件について 譏誣中傷〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年1月30日(1917)	1通・墨書	84-20-123
書簡〔仙台市政につき現状報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年5月17日(1917)	1通・墨書	84-7-5
書簡〔市町村当事者の記事所感、宮城県教育会動的教育学講習会景況報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年9月5日(1917)	1通・墨書	83-14-126
書簡〔宮城県内学校長異動につき後任候補配慮依頼〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年9月11日(1917)	1通・墨書	83-14-127

書簡〔宮城県内中等学校長の異動報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年9月17日(1917)	1通・墨書	83-14-45
書簡〔浜田知事上京の際注進依頼〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年9月18日(1917)	1通・墨書	83-14-46
葉書〔見送り御礼〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正6年11月3日(1917)	1枚・ペン	81-99
書簡〔森知事訪問につき報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年5月14日(1919)	1通・墨書	83-2-39
書簡〔清野氏転任の件、来示の件森田氏に話す〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年6月2日(1919)	1通・墨書	83-10-32
書簡〔宮城県内の人事更迭、仙台市長選挙は紆余曲折、鹿股候補の反対市民大会等〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年6月15日(1919)	1通・墨書	86-338
書簡〔県郡視学更迭大要につき報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年6月16日(1919)	1通・墨書	83-2-35
書簡〔不埒なる岡崎氏の件〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年6月17日(1919)	1通・墨書	83-10-29
書簡〔地方出張の様子〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年6月19日(1919)	1通・墨書	83-13-6
書簡〔上京の際面会希望、福岡氏兄来仙〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正8年10月25日(1919)	1通・墨書	83-10-18
書簡〔宮城県属専任に配属確定、俸給内容等の報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正9年10月13日(1920)	1通・墨書	86-339
書簡〔お悔やみ状〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正12年カ4月2日(1923)	1通・墨書	18-14-124
書簡〔朝鮮着任挨拶〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正12年4月10日(1923)	1通・墨書・ペン	80-40-1-35
書簡〔市議員実業家7名満州方面視察、総督閣下国境視察他報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正12年5月12日(1923)	1通・墨書	80-2-2-7
葉書〔帰朝挨拶〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正12年9月23日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-17
葉書〔学務課長松本伊織の林野調査委員会事務官への転任は遺憾〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正12年9月23日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-18
書簡〔朝鮮の近況報告、支那動乱は年中行事のよう〕 大内俊亮→守屋栄夫	大正14年12月10日(1925)	1通・ペン	85-10-5
葉書〔朝鮮教育会総会報告〕 大内俊亮・和久安行・安田伊織・清野金太郎→守屋栄夫	昭和2年6月27日(1927)	1枚・ペン	86-129
葉書〔上京の際の御礼、一行視察報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和2年10月17日(1927)	1枚・ペン	85-9-37
書簡〔奮闘祈願〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和3年2月4日(1928)	1通・ペン	10-414-39
葉書〔当選祝い〕 大内俊亮・高島重郎・村上邦弥・寺坂源雄・地村己代治・山岸精雄・今野達雄・鴨田三郎・早坂俊吉・山室盛・河田信雄→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1枚・墨書・ペン	10-408-68
書簡〔豊原城亮から大内俊亮宛書簡、選挙応援と協力〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書・ペン	10-185
書簡〔内地転任の件〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和3年7月29日(1928)	1通・ペン	10-408-104
書簡〔小包送付、原敬の写真複写入手〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和3年12月13日(1928)	1通・ペン	10-413-11

書簡〔2月議会にむけて激励〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年1月23日(1929)	1通・ペン	86-328-16
書簡〔守屋栄夫立候補京城日報記事送付〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年1月30日(1929)	1通・ペン	86-328-13
書簡〔松村氏の学務局長昇進の件〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年2月22日(1929)	5通・ペン	6-56-27
書簡〔お悔やみ状〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-31
葉書〔寄書き〕 大内俊亮・今野道夫・庄司秀雄→守屋栄夫	昭和4年7月9日(1929)	1枚・ペン	84-6-14
書簡〔残暑見舞い〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年8月29日(1929)	1通・ペン	85-4-5-9
書簡〔面会不能お詫び〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年9月27日(1929)	1通・ペン	85-4-1-39
葉書〔訪鮮時の御礼〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年10月23日(1929)	1枚・ペン	86-324-54
葉書〔昭和連盟の必要を痛感、選挙当選祈願〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年11月25日(1929)	1枚・ペン	86-324-99
書簡〔「昭和新政同盟」組織計画について〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年12月13日(1929)	1通・ペン	5-14-20
書簡〔犬養総裁政友会へ入党〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年12月31日(1929)	1通・ペン	84-1-39
書簡〔道庁幹部の新人事の件〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和4年12月19日(1929)	1通・ペン	5-14-93
書簡〔仙台地域選挙運動状況報告〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年2月5日(1930)	1通・ペン	7-147-153
書簡〔選挙当選祈願、朝鮮内学校騒動状況〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書・ペン	7-147-110
書簡〔光州神社御守送付〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年2月16日(1930)	1通・ペン	7-147-109
葉書〔在満鮮人会議者鮮内引率〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年2月28日(1930)	1枚・ペン	7-147-293
書簡〔近藤秘書官らについて〕 大内俊亮〔州公立高等普通学校長〕→守屋栄夫	昭和5年4月9日(1930)	1通・ペン	10-405-26
書簡〔挨拶状〕 大内俊亮〔全州公立高等普通学校長〕→守屋栄夫	昭和5年4月14日(1930)	1通・ペン	10-405-3
書簡〔武部学務局長へ通話の御礼〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年4月16日(1930)	1通・墨書	10-405-4
書簡〔失業問題について〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年4月22日(1930)	1通・ペン	10-405-23
書簡〔枢密院での問題について〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年6月8日(1930)	1通・ペン	10-406-30
書簡〔国内、朝鮮経済状況、庄司氏復活の件〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年8月28日(1930)	1通・墨書	7-147-94
葉書〔内地旅行挨拶〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年10月3日(1930)	1枚・ペン	86-1-83
書簡〔朝鮮国内の選挙結果報道〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年10月26日(1930)	1通・ペン	7-147-162
書簡〔仙台市会議員の件、朝鮮高等普通学校長会議出席〕 大内俊亮〔金州公立高等普通学校長〕→守屋栄夫	昭和5年10月27日(1930)	1通・墨書・ペン	10-86
葉書〔間島視察などの件〕 大内俊亮→守屋栄夫・令夫人	昭和5年10月28日(1930)	1枚・墨書	86-1-74

葉書〔旅行延期〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年10月31日 (1930)	1枚・ペン	86-1-14
葉書〔挨拶状〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年11月17日 (1930)	1枚・墨書・ペン	86-1-73
書簡〔鏡城地域農村状況、11月28日付菊池衛久書簡〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和5年12月5日(1930)	1通・墨書・ペン	7-147-40
書簡〔当地に任中に右支部創立希望〕 大内俊亮→守屋 栄夫	昭和5年12月15日 (1930)	1通・墨書	10-318
葉書〔ご機嫌伺い〕 大内俊亮→守屋栄夫	昭和6年3月10日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-336
書簡〔朝鮮総督府人事につき報告〕 大内俊亮→守屋栄 夫	昭和6年6月26日(1931)	1通・ペン	86-352-11
書簡〔遠田郡沢部村郵便局設置につき依頼〕 大内精→ 守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1通・墨書	9-16-14
書簡〔町会議員佐藤喜八紹介〕 大内隆雄→守屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1通・ペン	10-408-95
葉書〔選挙激励〕 大内威熊→守屋栄夫	昭和5年2月17日(1930)	1枚・ペン	10-258
書簡〔お悔やみ状〕 大内正→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-10
葉書〔伊勢神宮参拝〕 大内恒雄→守屋栄夫	昭和4年12月4日(1929)	1枚・ペン	86-324-65
葉書〔和久氏来道の件〕 大内・正志→守屋栄夫	昭和5年9月10日(1930)	1枚・ペン	86-1-92
葉書〔時候の挨拶〕 大内・長測吉郎→守屋栄夫	昭和6年2月6日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-339
葉書〔長崎へ旅行〕 大海原重義→守屋栄夫	大正6年9月25日(1917)	1枚・ペン	81-13
葉書〔欠礼挨拶〕 大垣丈夫→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	85-7-2-44
葉書〔新年挨拶〕 大木深市→守屋栄夫	昭和2年1月4日(1927)	1枚・墨書	85-7-2-17
書簡〔婦人矯風会より誕生日祝辞〕 大久保音羽→守 屋栄夫	大正14年11月7日 (1925)	1通・墨書	85-10-46
書簡〔お悔やみ状〕 大久保利政→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-137
書簡〔恭呈吊辞〕 大倉鉦蔵→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン・活版	9-15-49
書簡〔選挙区情報報告〕 大河内源→守屋栄夫	昭和2年11月10日 (1927)	1通・ペン	85-9-123
書簡〔帰院以来の近況報告〕 大河内源→守屋栄夫	昭和7年6月4日(1932)	1通・ペン	84-13-18
書簡〔元樺太庁森林主事松田氏紹介につき引見方依 頼〕 大河内源→守屋栄夫	昭和7年カ11月7日 (1932)	1通・ペン	83-4-12
葉書〔選挙当選祈願〕 大坂竹俊→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1枚・ペン	7-147-347
書簡〔お悔やみ状〕 大坂竹治→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-30
書簡〔臨時議会における私設社会事業団助成尽力に 感謝〕 大阪社会事業協会→守屋栄夫	昭和7年9月12日(1932)	1通・墨書	83-11-21
書簡〔お悔やみ状〕 大崎周治→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34- 12
書簡〔城津警察署の剣道師範就任、子供を府立第五女 学校転校の尽力依頼〕 大崎周治→守屋栄夫	昭和6年8月10日(1931)	1通・ペン	86-348-31
書簡〔息子学校入学斡旋依頼〕 大崎周治→守屋栄夫	8月26日	1通・ペン	7-147-95

葉書〔大阪健康保険署参事着任挨拶〕 大崎範一→守屋栄夫	大正15年12月16日 (1926)	1枚・ペン	86-322-69
葉書〔千早山麓より挨拶状〕 大崎範一→守屋栄夫	昭和2年3月2日 (1927)	1枚・ペン	86-322-91
書簡〔お悔やみ状〕 大崎範一→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	5-12-9
葉書〔当選祝い〕 大島勝太郎・方沢復→守屋栄夫	昭和5年3月2日 (1930)	1枚・ペン	86-55
葉書〔年賀状〕 大島喜一→守屋栄夫	昭和2年12月17日 (1927)	1枚・ペン	86-322-180
葉書〔挨拶状〕 大島辰次郎→守屋栄夫	大正6年11月12日 (1917)	1枚・ペン	81-98
葉書〔自治講習所加藤所長と会談他近況報告〕 大島辰次郎→守屋栄夫	大正9年3月6日 (1920)	1枚・ペン	82-3-334
葉書〔佐原修養会より招聘〕 大島辰次郎→守屋栄夫	大正15年1月24日 (1926)	1枚・ペン	86-322-13
書簡〔選挙運動激励〕 大島辰次郎→守屋栄夫	昭和3年2月12日 (1928)	1通・ペン	7-147-74
書簡〔推薦人物に対する断り状〕 大島辰次郎→守屋栄夫	昭和8年4月20日 (1933)	1通・墨書	84-10-6
葉書〔海上郡青年団運動の件〕 大島辰次郎→守屋栄夫	大正2月25日	1枚・ペン	82-3-378
書簡〔来着浦後間もなく出発、貴信処理済通知〕 大島浩〔参謀本部〕→守屋栄夫	大正8年3月19日 (1919)	1通・墨書	5-6-50
書簡〔教官候補者の件、樋内法学士紹介御礼〕 大島義脩→守屋栄夫	大正6年5月28日 (1917)	1通・ペン	84-7-4
書簡〔西村保吉氏について〕 大島義脩→守屋栄夫	大正6年7月28日 (1917)	1通・墨書	83-14-154
書簡〔選挙運動激励〕 大城盛隆→守屋栄夫	昭和3年2月12日 (1928)	1通・墨書	7-147-76
書簡〔挨拶状、名刺〕 太田覚眠→守屋栄夫	大正15年7月5日 (1926)	1通・墨書・ペン ・活版	78-23-41
葉書〔皇太子行啓について〕 大田清→守屋栄夫	大正15年5月26日 (1926)	1枚・ペン	85-3-8-29
葉書〔暑中見舞い〕 大田清→守屋栄夫	昭和2年8月7日 (1927)	1枚・活版・墨書	84-3-92
書簡〔選挙激励〕 太田秀穂→守屋栄夫	昭和3年2月10日 (1928)	1通・墨書	10-19
書簡〔お悔やみ状〕 太田秀穂〔多摩少年院長〕→守屋栄夫・徳夫・和郎	昭和4年3月5日 (1929)	1通・ペン・活版	9-15-90
葉書〔埼玉県下の各種工場の福利・教化施設調査の件〕 大田経夫→守屋栄夫	昭和3年6月8日 (1928)	1枚・ペン	86-322-132
書簡〔お悔やみ状〕 太田実→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・ペン	5-12-28
書簡〔見舞い状〕 太田実→守屋栄夫	昭和6年1月13日 (1931)	1通・墨書	86-359-14
書簡〔当選祝い〕 大竹信治→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1通・ペン・活版	10-408-10
書簡〔海産物贈呈〕 大只仁二郎→守屋栄夫	昭和7年6月19日 (1932)	1通・墨書	84-13-13
書簡〔当選祝い〕 大立目勇→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1通・ペン	10-276
書簡〔新聞記事について〕 大谷源市→守屋栄夫	昭和2年12月17日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-27

葉書〔神戸湊川神社の絵葉書〕 大谷源市→守屋栄夫	昭和3年11月10日 (1928)	1枚・墨書	84-3-54
書簡〔お悔やみ状〕 大谷源市→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-32-18
書簡〔当選祝い〕 大谷繁次郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・謄写版	7-147-86
書簡〔喪中で新年挨拶欠礼〕 大谷正之助→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1通・墨書	85-3-8-9
書簡〔披露宴招待状〕 大谷仁兵衛・米子・浜口緑之助・幸子→守屋栄夫	昭和5年1月 (1930)	1通・墨書	84-1-28
書簡〔贈物送付〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年3月11日 (1931)	1通・墨書	86-357-30
書簡〔相談助言への御礼〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年3月24日 (1931)	1通・墨書	86-357-10
書簡〔留守見舞い〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫・御内室	昭和6年6月7日 (1931)	1通・墨書	86-352-35
書簡〔監査役浜口氏辞任につき報告〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年7月3日 (1931)	1通・墨書	86-352-10
書簡〔鮮魚贈呈〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年11月24日 (1931)	1通・墨書	86-346-32
書簡〔援助依頼〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年12月22日 (1931)	1通・墨書	86-347-23
書簡〔別便送付〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年12月29日 (1931)	1通・墨書	86-347-22
書簡〔請求書払込用紙〕 大谷仁兵衛→守屋栄夫		1通・ペン・活版	9-16-13
書簡〔お悔やみ状〕 大谷正男→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-166
書簡〔お悔やみ状〕 大津麟平→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-32-3
書簡〔お悔やみ状〕 大塚惟精→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・ペン・活版	9-15-105
書簡〔日本社会史を研究題目にした自分の考え〕 大塚好→守屋栄夫	昭和2年4月1日 (1927)	1通・ペン	85-9-76
葉書〔見送り御礼〕 大塚好→守屋栄夫	昭和4年1月29日 (1929)	1枚・ペン	86-328-18
書簡〔アメリカでの生活の様子〕 大塚好→守屋栄夫	昭和4年2月5日 (1929)	3通・ペン	6-59-4
葉書〔アメリカ社会事業行政研究経過報告〕 大塚好→守屋栄夫	昭和6年4月18日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-292
書簡〔紐育にて社会事業行政の視察調査〕 大塚好→守屋栄夫	昭和6年7月29日 (1931)	1通・ペン	86-348-17
書簡〔御世話依頼〕 大塚好→守屋栄夫	昭和6年12月22日 (1931)	1通・ペン・墨書	86-347-25
葉書〔近況報告、社会に対する感想〕 大塚好		1枚・活版	84-1-2
書簡〔当選祝い、議員活動への依頼〕 大槻亀治→守屋栄夫	昭和5年3月20日 (1930)	1通・ペン・墨書	86-354-5
書簡〔北海道における農業の現状、資金援助願い他〕 大槻亀治→守屋栄夫	昭和5年7月26日 (1930)	1通・ペン	10-410-4
書簡〔お悔やみ状〕 大槻金蔵→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	5-14-66
書簡〔選挙当選祈願〕 大槻相八〔大日本モータース株式会社〕→守屋栄夫	昭和5年2月10日 (1930)	1通・墨書	10-412-7

葉書〔ご機嫌伺い〕 大槻太一→守屋栄夫	昭和3年5月13日(1928)	1枚・墨書	86-325-36
葉書〔ご指導願う〕 大槻彦五郎→守屋栄夫	昭和4年10月9日(1929)	1枚・墨書	86-324-92
葉書〔大菩薩峠登山〕 大槻彦五郎→守屋栄夫	昭和4年10月20日(1929)	1枚・ペン	86-324-59
書簡〔お悔やみ状〕 大坪金也→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン	9-15-176
書簡〔当選祝い〕 大坪保雄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-85
書簡〔お悔やみ状〕 大坪保雄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-61
書簡〔大手倶楽部員名(大正七年十月十五日現在)〕 大手倶楽部→守屋栄夫	大正7年10月(1918)	1通・活版	5-6-1
書簡〔就職幹旋依頼〕 大土井源→守屋栄夫	昭和8年7月7日(1933)	1通・ペン	84-26-2
書簡〔昨日の件、近況報告〕 大土井源→守屋栄夫	昭和8年7月8日(1933)	1通・ペン・謄写版	84-26-15
書簡〔南米渡航取次依頼〕 大友栄八→守屋栄夫	昭和3年10月5日(1928)	1通・ペン	86-328-23
書簡〔当選祝い〕 大友気美治→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書	10-176
書簡〔後援と指導の御礼〕 大友金蔵→守屋栄夫	昭和3年3月13日(1928)	1通・墨書	10-112
書簡〔お悔やみ状〕 大友金蔵→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-17
書簡〔政友倶楽部発会式、故中島氏残党を守屋先生の傘下にすべき〕 大友金蔵→守屋栄夫	昭和6年7月2日(1931)	1通・墨書	86-350-21
書簡〔サンパウロ州立移民研究所・総領事館訪問、首府リオ市到着、サンペデロ村モッリッロー塩田の日本人居住者の様子〕 大友金兵衛→守屋栄夫	昭和3年12月5日(1928)	4通・ペン	6-59-5
書簡〔ブラジルの様子、日本の政治に対する意見〕 大友金兵衛→守屋栄夫	昭和5年1月1日(1930)	1通・ペン	84-1-38
書簡〔朝鮮渡航につき近況報告〕 大友重兵衛→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書	10-262
書簡〔ブラジルへの海上生活の近況報告、「太平洋時代来る」感想〕 大友重兵衛→守屋栄夫	昭和3年3月30日(1928)	1通・墨書	10-327
書簡〔はわい丸コレラ病発生の件〕 大友重兵衛→守屋栄夫	昭和3年4月28日(1928)	1通・ペン	10-404-5
書簡〔立候補激励〕 大友仁右衛門→守屋栄夫	昭和3年1月24日(1928)	1通・ペン	9-16-46
書簡〔中元御礼〕 大友仁兵衛→守屋栄夫	昭和6年7月11日(1931)	1通・墨書	86-350-32
書簡〔お悔やみ状〕 大友高治→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-112
葉書〔当選祝い〕 大村友之丞→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-299
書簡〔選挙戦立候補につき推薦状依頼〕 大友平蔵→守屋栄夫	昭和6年8月13日(1931)	1通・墨書	86-356-20
書簡〔推薦状依頼〕 大友平蔵→守屋栄夫	昭和6年9月10日(1931)	1通・墨書	86-356-17
書簡〔不徳の結果見事惨敗〕 大友平蔵→守屋栄夫	昭和6年9月27日(1931)	1通・墨書	86-356-2
葉書〔当選祝い〕 大友連→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-8

書簡〔御令嬢出産祝い、五月末会計課長兼務解任、調査課事務の近況報告〕 大西一郎→守屋栄夫	大正12年7月15日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-30
葉書〔パリ到着、イタリア経由で帰国予定〕 大西一郎→守屋栄夫	大正13年12月30日 (1924)	1枚・ペン	84-2-17
書簡〔お悔やみ状〕 大西一郎〔横浜市役所〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-144
書簡〔当選祝い〕 大西竹松→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	10-412-9
書簡〔お悔やみ状〕 大西正言→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	9-28-14
書簡〔当選祝い〕 大西正言→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1通・墨書	10-412-8
書簡〔当選祝い〕 大西正亮→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1通・墨書	7-147-38
葉書〔国際労働会議出席のためジュネーブ着〕 大西弥市→守屋栄夫	昭和6年2月2日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-347
葉書〔京城ホテルで松村・成田両君帰朝祝賀会開催〕 大沼喜久衛→守屋栄夫	大正15年1月18日 (1926)	1枚・ペン	85-3-5-35
葉書〔総督府新庁舎落成式挙行之件〕 大沼喜久衛→守屋栄夫	大正15年10月1日 (1926)	1枚・ペン	86-237
書簡〔お悔やみ状〕 大沼喜久衛→守屋栄夫	昭和4年3月14日 (1929)	1通・墨書	5-25-3
書簡〔選挙応援〕 大沼喜久衛→守屋栄夫	昭和5年1月22日 (1930)	1通・ペン	10-403-8
書簡〔娘結婚相手紹介問題〕 大沼喜久衛→守屋栄夫	12月28日	1通・ペン・墨書	7-147-60
葉書〔当選祝い〕 大沼喜久男→守屋栄夫	昭和5年1月21日 (1930)	1枚・墨書	84-1-14
葉書〔選挙運動慰労〕 大沼喜久男→守屋栄夫	昭和5年2月15日 (1930)	1枚・墨書	7-147-344
葉書〔当選祝い〕 大沼喜久男→守屋栄夫	昭和5年2月25日 (1930)	1枚・墨書	7-147-345
葉書〔ご活躍祈念〕 大沼喜久男→守屋栄夫	昭和6年2月1日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-317
書簡〔転職幹旋依頼〕 大沼健吉→守屋栄夫	昭和8年5月29日 (1933)	1通・墨書・ペン	84-11-27
葉書〔当選祝い〕 大沼康太郎→守屋栄夫	昭和5年2月21日 (1930)	1枚・墨書	7-147-346
書簡〔総選挙当選確信、守札送付〕 大沼康太郎→守屋栄夫	昭和5年2月17日 (1930)	1通・ペン	10-412-3
葉書〔当選祝い〕 大沼康太郎→守屋栄夫	2月21日	1枚・墨書	7-147-343
書簡〔愚弟御配慮に感謝、古川町来訪御礼〕 大沼智→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1通・墨書	85-7-1-7
葉書〔当選祝い〕 大沼智→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1枚・墨書	7-147-186
書簡〔お悔やみ状〕 大沼智→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	9-28-8
葉書〔当選祝い〕 大沼智→守屋栄夫	昭和5年カ2月22日 (1930)	1枚・墨書	7-147-302
書簡〔着任挨拶〕 大野緑一郎→守屋栄夫	大正15年10月21日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-19
葉書〔満洲内での移動の様子〕 大野→守屋栄夫	大正13年6月13日 (1924)	1枚・ペン	84-3-107
葉書〔奉天の気候と農作物への影響〕 大野→守屋栄夫	大正15年6月15日 (1926)	1枚・ペン	84-3-116

葉書〔辺境哀和歌〕 大野・西島→守屋栄夫	大正15年6月18日 (1926)	1枚・ペン	84-3-138
書簡〔職員更迭の噂につき報告、北海道より挨拶〕 大場鑑七郎→守屋栄夫	大正6年12月11日 (1917)	1通・墨書	83-14-118
書簡〔選挙応援〕 大場皎→守屋栄夫	昭和3年1月18日 (1928)	1通・ペン	10-217
書簡〔議会記事、議院内にて面会希望〕 大場皎→守屋栄夫	昭和4年1月31日 (1929)	2通・ペン	6-56-1
書簡〔議会の件〕 大場皎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	2通・墨書・ペン	6-59-18
書簡〔お悔やみ状〕 大場皎→守屋栄夫	昭和4年3月24日 (1929)	1通・墨書	6-59-13
葉書〔当選祝い〕 大場庄三郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1枚・墨書	7-147-231
書簡〔政友入党の件、月議会恐らく解散他〕 大場成→守屋栄夫	昭和4年12月27日 (1929)	1通・ペン	85-4-6-10
葉書〔見舞い御礼〕 大場清四郎→守屋栄夫	明治42年1月25日 (1909)	1枚・墨書	6-46-2
書簡〔お悔やみ状〕 大場善四郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・ペン	5-12-71
書簡〔叔父忠の就職斡旋依頼〕 大場武治郎→守屋栄夫	大正15年6月11日 (1926)	1通・ペン	85-3-8-30
葉書〔朝鮮到着〕 大場→守屋栄夫	昭和4年9月20日 (1929)	1枚・墨書	84-3-23
葉書〔近況報告〕 大橋貞作→守屋栄夫	昭和8年9月6日 (1933)	1枚・ペン	86-323-80
書簡〔挨拶状〕 大橋三蔵→守屋栄夫・奥様	昭和4年2月13日 (1929)	1通・墨書・ペン	6-56-47
書簡〔揮毫恵贈御礼〕 大橋常二郎→守屋栄夫	大正10年10月26日 (1921)	1通・墨書	5-29-16-1
書簡〔鈴木氏就職斡旋依頼、清水清之助の妻死去〕 大橋東渾雄→守屋栄夫	昭和5年11月14日 (1930)	1通・ペン	10-290
書簡〔娘の就職斡旋依頼〕 大橋東渾雄→守屋栄夫	昭和6年3月6日 (1931)	1通・ペン	86-357-25
葉書〔神山復生病院の写真送付〕 大畑忠一→守屋栄夫	昭和2年3月12日 (1927)	1枚・ペン	86-322-103
葉書〔ご機嫌伺い〕 大畑忠一→守屋栄夫	昭和3年4月26日 (1928)	1枚・ペン	86-329-52
葉書〔暑中見舞い〕 大畑忠一→守屋栄夫	昭和3年13日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-241
書簡〔お悔やみ状〕 大畑忠一→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	5-12-74
書簡〔選挙応援〕 大畑忠一→守屋栄夫	昭和5年2月12日 (1930)	1通・墨書	10-389
書簡〔当選祝い〕 大浜専→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	10-412-42
書簡〔帰郷の助力依頼〕 大林佐吉→守屋栄夫	大正15年3月28日 (1926)	1通・墨書	78-23-57
葉書〔年賀状〕 大林重兵衛→守屋栄夫	大正6年1月1日 (1917)	1枚・墨書	81-115
葉書〔当選祝い〕 大原利武→守屋栄夫	昭和3年2月 (1928)	1枚・ペン	10-408-40
書簡〔朝鮮土木会不祥事件経過報告〕 大平嘉重郎→守屋栄夫	昭和7年9月9日 (1932)	1通・ペン	83-11-12
書簡〔荒井会長保釈、東上の折今後の対策協議したし〕 大平嘉重郎→守屋栄夫	昭和7年10月24日 (1932)	1通・ペン	83-1-14

書簡〔留守中事件の関係者釈放、岡田弁護士来城〕 大平嘉重郎→守屋栄夫	昭和7年10月13日カ (1932)	1通・ペン	83-5-19
書簡〔手付金取計困難〕 大平嘉重郎→守屋栄夫	昭和8年1月10日 (1933)	1通・ペン	85-5-23
書簡〔堆君弁護の守屋弁論、菊山専売局長との会見の件〕 大平嘉重郎→守屋栄夫	昭和8年3月12日 (1933)	1通・ペン	84-22-12
葉書〔帰京祝い、申付の印刷物につき〕 大瀨三樹〔大連満鉄本社〕→守屋栄夫	大正8年4月17日 (1919)	1枚・ペン	82-3-185
葉書〔帰朝の挨拶〕 大村有隣→守屋栄夫	大正14年10月18日 (1925)	1枚・ペン	84-6-97
書簡〔当選祝い〕 大村卓一〔朝鮮鉄道局〕→守屋栄夫	昭和5年2月25日 (1930)	1通・墨書	10-412-4
書簡〔就職について〕 大村卓一→守屋栄夫	昭和5年4月3日 (1930)	1通・ペン	10-405-37
葉書〔当選祝い〕 大村友之丞〔朝鮮京城府〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	7-147-355
書簡〔第2回普通選挙当選祈願〕 大村彦一郎〔白木屋社長〕→守屋栄夫	昭和5年2月14日 (1930)	1通・墨書	10-412-5
書簡〔学校長などに推挙依頼〕 大村文七郎→守屋栄夫	昭和2年12月7日 (1927)	1通・ペン	85-9-141
書簡〔お悔やみ状〕 大村文七郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	9-13-5
書簡〔大坂出発時面会依頼〕 大村芳樹→守屋栄夫	大正7年7月6日 (1918)	1通・墨書	5-6-46
書簡〔山口県大寧寺での講演依頼〕 大森吉五郎→守屋栄夫	昭和3年6月 (1928)	1通・墨書	10-404-2
書簡〔お悔やみ状〕 大森吉五郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-14-52
葉書〔特別大演習記念於大本営〕 大森佳一→守屋栄夫	大正6年11月17日 (1917)	1枚・ペン	81-694
葉書〔当選祝い〕 大森多芽一→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1枚・ペン	10-408-77
葉書〔視察供奉時の御礼〕 大森巳記→守屋栄夫	大正1年8月30日 (1912)	1枚・墨書	9-23-44
葉書〔暑中見舞い〕 大森ホテル→守屋栄夫	昭和3年8月4日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-240
書簡〔シベリア経由帰朝予定の守屋和郎の消息〕 大柳栄三郎→守屋栄夫	昭和4年7月21日 (1929)	1通・墨書	6-52-20
書簡〔朝鮮就職の可否と協力依頼〕 大柳良右衛門→守屋栄夫	昭和3年5月10日 (1928)	1通・ペン	9-16-4
葉書〔暑中見舞い〕 大柳良右衛門→守屋栄夫	昭和3年8月1日 (1928)	1枚・墨書・ペン・活版	86-322-238
葉書〔お悔やみ状〕 大柳良右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1枚・ペン	9-28-25
書簡〔就職先斡旋依頼〕 大柳良右衛門→守屋栄夫	昭和8年11月2日 (1933)	1通・ペン	84-29-24
書簡〔一條敬治履歴書送付〕 大柳良平→守屋栄夫	昭和6年4月28日 (1931)	1通・ペン	86-354-37
電報〔弔電〕 大柳→モリヤサカオ	大正12年3月18日カ (1923)	1通・ペン	18-14-87
書簡〔お悔やみ状〕 大和田矯→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	9-18-7
書簡〔別紙高覧願ひ〕 岡喜七郎→守屋栄夫		1通・墨書	84-30-14
書簡〔岩瀨氏宅売却の件〕 岡恭介→守屋栄夫	昭和3年12月16日 (1928)	1通・墨書	10-413-29

書簡 / 来信

書簡〔東京府社会事業協会支援御礼〕 岡弘毅〔東京府社会事業協会〕→守屋栄夫	昭和7年9月8日(1932)	1通・墨書	83-11-13
書簡〔お悔やみ状〕 丘道徹→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書・ペン	6-57-65
葉書〔暑中見舞い〕 丘道徹→守屋栄夫	昭和4年8月3日(1929)	1枚・ペン・活版	86-280
書簡〔揮毫感謝〕 丘道徹→守屋栄夫	昭和6年8月25日(1931)	1通・墨書	86-348-18
葉書〔栄転祝い〕 岡尚義→守屋栄夫	大正8年8月15日(1919)	1枚・墨書	9-10-36
葉書〔守屋帰朝への挨拶〕 岡尚義→守屋栄夫	大正14年10月19日(1925)	1枚・ペン	84-6-74
葉書〔当選祝い〕 岡尚義→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-351
書簡〔朝鮮総督府候補者辞退につき〕 岡正雄〔青森県庁〕→守屋栄夫	大正8年9月20日(1919)	1通・墨書	9-25-26
書簡〔熊本県第4回社会事業講習会出席の御礼〕 岡正雄〔熊本県知事〕→守屋栄夫	大正15年12月22日(1926)	1通・墨書	85-3-8-14
書簡〔労働会議出席祝辞〕 岡元輔→守屋栄夫	大正14年10月25日(1925)	1通・墨書	85-10-90
書簡〔お悔やみ状〕 岡元輔→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-27-16
葉書〔お悔やみ状〕 岡好仁→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	6-57-38
書簡〔お悔やみ状〕 岡余禄・好仁→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-135
書簡〔宮城県下の選挙応援見合わす〕 岡崎栄松→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・墨書	10-414-33
書簡〔当選祝い〕 岡崎栄松→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン・活版	10-407-83
書簡〔当選祝い〕 岡崎義三郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-412-16
書簡〔樺太豊原購買組合事業三千円提供依頼〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和7年10月16日(1932)	1通・ペン	83-1-19
書簡〔岩沼産白菜の樺太輸出の件を鎌田氏と懇談、樺太豊原購買組合における物資購入の景況報告〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和7年11月23日(1932)	1通・ペン	83-4-40
書簡〔組合更生に関する立案作成御教示願ひ〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年1月20日(1933)	1通・ペン	85-5-15
書簡〔組合整理更生案伺ひ、正見課長・山田課長・長官への取り計らい依頼〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年1月24日(1933)	1通・ペン	85-5-10
書簡〔組合の一大改善協力依頼〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年1月30日(1933)	1通・ペン	85-5-6
書簡〔後藤氏引継金請求の件〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月18日(1933)	1通・ペン	83-12-16
書簡〔後藤氏よりの請求金の件伺ひ〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月19日(1933)	1通・ペン	83-12-15
書簡〔豊原購買利用組合引継の件〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月3日(1933)	1通・ペン	84-22-33
書簡〔豊原購買利用組合事業目論見書および請願事項理事会通過報告〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月5日(1933)	1通・ペン	84-22-34
書簡〔豊原購買利用組合経営代理人への委任状送付依頼〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月7日(1933)	1通・ペン	84-22-35

書簡〔豊原購買利用組合長就任の報告〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月9日(1933)	1通・ペン	84-23-36
書簡〔豊原購買利用組合引き渡しと経営引継の件〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月14日(1933)	1通・ペン	84-22-20
書簡〔組合引継と後藤氏の主張〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月16日(1933)	1通・ペン	84-22-24
書簡〔後藤氏の要求する引継ぎの件〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年3月17日(1933)	1通・ペン	84-22-23
書簡〔資金借入不調につき助力願い〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年8月23日(1933)	1通・ペン	84-18-34
書簡〔熱海公君採用依頼、鈴木孝一後任採用の件〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年9月10日(1933)	1通・ペン	84-25-39
書簡〔弥栄商会に就職〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年9月10日(1933)	1通・ペン	84-25-32
書簡〔事故被害者死亡の件、セメントの特約と見本品、分析表の件〕 岡崎清直〔弥栄商会〕→守屋栄夫	昭和8年10月22日(1933)	1通・ペン	5-24-3
書簡〔滞京中の御礼〕 岡崎清直→守屋栄夫	昭和8年12月28日(1933)	1通・墨書	85-6-21
書簡〔面会御礼、赴任後の状況及び栃木県の地域性〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正6年9月12日(1917)	1通・墨書	84-7-26
葉書〔北海道旅行日程報告〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正7年カ(1918)	1枚・ペン	82-3-100
葉書〔産業組合大会参加、岡山後楽園来訪〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正8年4月25日(1919)	1枚・ペン	82-3-1
葉書〔挨拶状〕 岡崎哲郎・岩切彦吉・石川富四郎・鴨田庸三→守屋栄夫	大正9年10月30日(1920)	1枚・墨書	81-250
葉書〔本日新加坡鎮に到着〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正11年9月17日(1922)	1枚・ペン	9-27-50
電報〔航海の平安祈願〕 ヲカサキテツロ→守屋栄夫	大正12年1月24日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-12
葉書〔挨拶状〕 岡崎哲郎・岡崎和子→守屋栄夫	大正12年2月3日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-26
書簡〔ニューヨーク朝鮮銀行宛、朝鮮の近況報告、関東大震災につき御家族無事大賀〕 岡崎哲郎〔京城大和町官舎〕→守屋栄夫	大正12年9月8日(1923)	1通・ペン	79-7-33
書簡〔震災後の状況、在京不良鮮人の行動に対する有識鮮人の批判〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正12年カ9月23日(1923)	3通・ペン	6-60-13
書簡〔倫敦より近況〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正13年8月24日(1924)	1通・ペン	5-30-37
書簡〔ヨーロッパを回り帰朝〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正13年9月21日(1924)	1通・ペン	85-10-102
葉書〔マルセイユにて発病〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正13年11月8日(1924)	1枚・ペン	84-2-49
葉書〔病気全快、ヴェニスの近況〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正13年12月1日(1924)	1枚・ペン	84-2-2
葉書〔挨拶状〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正14年1月26日(1925)	1枚・ペン	86-35

葉書〔朝鮮神社初例祭・京城神社例祭と市内の賑わい〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正14年10月18日 (1925)	1枚・ペン	84-6-95
書簡〔内地転出希望についての考え〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和2年4月25日 (1927)	1通・ペン	85-9-96
葉書〔西鮮実業家懇談会出席のため平壤訪問〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和2年5月4日 (1927)	1枚・ペン	84-1-65
葉書〔比叡山旅行にて挨拶状〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和2年6月1日 (1927)	1枚・ペン	86-143
書簡〔適材適所の人事配置について〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和2年12月7日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-10
書簡〔朝鮮総督について〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和2年12月7日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-19
書簡〔お悔やみ状〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	9-11-1
書簡〔斎藤子爵返り咲き、児玉伯爵の施政〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和4年8月23日 (1929)	1通・墨書	5-17-18
書簡〔政友会入党祝い〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和5年1月9日 (1930)	1通・墨書	10-403-35
書簡〔駅頭でのお言葉感謝〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和6年1月4日 (1931)	1通・墨書	86-356-36
書簡〔大泉氏のみ慶尚南道に採用〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和6年4月15日 (1931)	1通・墨書	86-354-15
書簡〔問題当方へ転化、主任務も好都合ほか〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和6年12月17日 (1931)	1通・墨書	86-346-51
書簡〔斎藤子爵組閣につき援助の件〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和7年5月25日 (1932)	1通・墨書	86-350-2
書簡〔大田道庁移転終了〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	昭和7年10月19日 (1932)	1通・墨書	83-1-23
葉書〔面会不能遺憾〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	大正	1枚・ペン	82-3-308
葉書〔平北寧辺の産業組合総会参加〕 岡崎哲郎→守屋栄夫	4月10日	1枚・ペン	84-1-68
書簡〔議会解散につき同志団結〕 岡崎祐吾〔信庸館蚕種製造所〕→守屋栄夫	昭和7年1月18日 (1932)	1通・ペン	83-1-41
書簡〔罹災後の半沢君について〕 岡崎祐吾→守屋栄夫	昭和7年12月21日 (1932)	1通・墨書	84-14-34
葉書〔初めて金剛山に遊ぶ〕 岡崎→守屋栄夫	大正14年10月9日 (1925)	1枚・ペン	84-6-80
葉書〔挨拶〕 岡崎→守屋栄夫	昭和2年10月14日 (1927)	1枚・ペン	84-1-107
葉書〔喪中〕 小笠原兵左衛門→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-18
葉書〔欧州より帰朝祝賀〕 岡田宇之助→守屋栄夫	大正14年10月22日 (1925)	1枚・ペン	84-6-120
書簡〔新年の挨拶〕 岡田包義→守屋栄夫	昭和2年1月2日 (1927)	1通・墨書	85-7-1-12
書簡〔当選祈願〕 岡田包義→守屋栄夫	昭和3年2月4日 (1928)	1通・墨書	10-414-29
書簡〔お悔やみ状〕 岡田包義→守屋栄夫	昭和4年3月18日 (1929)	1通・墨書	5-14-94
葉書〔当選祈願〕 岡田喜久治→守屋栄夫	昭和3年2月17日 (1928)	1枚・ペン	10-408-70

書簡〔当選祝い〕 岡田喜久治→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-412-15
書簡〔お悔やみ状〕 岡田吉三郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-2
葉書〔暑中見舞い〕 岡田周造→守屋栄夫	大正6年8月4日(1917)	1枚・墨書	81-245
葉書〔ライブチヒなど周遊〕 岡田周造→守屋栄夫	大正12年7月7日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-13
葉書〔フランクフルトなど周遊〕 岡田周造→守屋栄夫	大正12年7月14日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-14
葉書〔ロンドンより挨拶状〕 岡田周造→守屋栄夫	大正12年8月27日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-21
書簡〔松木友則について〕 岡田周造→守屋栄夫	昭和7年3月11日(1932)	1通・墨書	84-30-26
書簡〔実科を大宮町立小学校併置から町村組合立へ 改変、文部省より条件付き認可〕 岡田周造→守屋 栄夫	大正 3月30日	1通・墨書	5-26-25
書簡〔お悔やみ状〕 岡田信→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	9-11-12
書簡〔面会依頼〕 岡田文秀→守屋栄夫	大正7年8月7日(1918)	1通・墨書	5-6-38
書簡〔書記に採用の件〕 岡田文蔵→守屋栄夫	大正7年11月27日(1918)	1通・墨書	84-7-34
書簡〔土井氏の転任、兵役と結婚の問題、女学校会〕 岡田文蔵→守屋栄夫	大正8年5月7日(1919)	1通・墨書	84-7-35
書簡〔出張時の御礼〕 岡田良平→守屋栄夫	大正6年4月19日(1917)	1通・活版	81-133
書簡〔就職斡旋依頼〕 尾形勝治→守屋栄夫	昭和8年7月5日(1933)	1通・ペン・墨書	84-26-14
葉書〔当選祝い〕 尾形聖郎→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1枚・ペン	7-147-257
葉書〔山梨・長野出張中、ご機嫌伺い〕 尾形猛・天谷健二 →守屋栄夫	昭和5年9月5日(1930)	1枚・ペン	86-322-263
書簡〔当選祝い〕 緒方庸雄→守屋栄夫	昭和3年2月29日(1928)	1通・墨書・謄写 版	10-12
書簡〔お悔やみ状〕 緒方庸雄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-13
葉書〔政策パンフレット恵贈の件〕 緒方庸雄→守屋 栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1枚・ペン	86-310
書簡〔弟勝治の就職斡旋依頼〕 尾形文一郎→守屋栄夫	昭和4年9月29日(1929)	1通・墨書	85-4-6-12
書簡〔当選祝い〕 岡田屋旅館→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1通・墨書	10-412-14
電報〔航海の平安祈願〕 オカツカ→守屋栄夫	大正12年1月22日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-8
葉書〔当選祝い〕 岡信兵之進→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-219
葉書〔お悔やみ状〕 岡信兵之進→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・墨書	6-57-43
書簡〔学生篠原一へ出資願い〕 岡信兵之進→守屋栄夫	昭和7年6月17日(1932)	1通・墨書	84-13-1
書簡〔伊藤善三郎学資金融通願い〕 岡信兵之進→守屋 栄夫	昭和8年3月2日(1933)	1通・墨書	83-12-28
書簡〔学生大森清人へ学資金援助願い〕 岡信兵之進→ 守屋栄夫	昭和8年3月31日(1933)	1通・墨書	83-12-13
書簡〔貸費の件〕 岡信兵之進→守屋栄夫	昭和8年5月21日(1933)	1通・墨書	84-27-26

書簡〔伊藤喜一郎学生貸費に関し援助願い〕 岡信兵之進→守屋栄夫	昭和8年6月6日(1933)	1通・墨書	83-6-28
書簡〔貸費許可通知報告〕 岡信兵之進→守屋栄夫	昭和8年6月14日(1933)	1通・墨書	83-6-2
書簡〔選挙応援〕 岡部久〔福島地方職業紹介事務局〕→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1通・墨書	10-97
書簡〔お悔やみ状〕 岡部久→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-28-21
葉書〔「介子推の忠誠」に感激〕 岡部久→守屋栄夫	昭和4年6月11日(1929)	1枚・ペン	84-6-29
書簡〔栄転祝い〕 岡部譲→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-9
葉書〔当選祝い〕 岡部譲→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-265
書簡〔お悔やみ状〕 岡部譲→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-165
葉書〔当選祝い〕 岡村栄左衛門→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-292
書簡〔京尚北道遠城郡守申鉉水の件〕 岡村哲治→守屋栄夫	昭和5年10月2□日(1930)	1通・ペン	7-147-157
書簡〔第一高等学校寄宿寮第三十九回記念祭典次第〕 岡本清→守屋栄夫	昭和4年1月18日(1929)	1通・活版	86-328-20
葉書〔当選祝い〕 岡本五六→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	10-408-50
葉書〔当選祝い〕 岡本五六〔朝鮮総督府土地改良部〕→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-349
葉書〔暑中見舞い〕 岡本作次郎→守屋栄夫	大正7年8月5日(1918)	1枚・墨書	82-3-73
書簡〔八巻氏後任採用依頼〕 岡本作次郎→守屋栄夫	大正7年10月1日(1918)	1通・墨書	83-10-34
葉書〔暑中見舞い〕 岡本作次郎→守屋栄夫	大正8年7月21日(1919)	1枚・ペン	82-3-285
葉書〔岡本君兵事用務、第七師団入営兵を青島に引率〕 岡本三郎次・鹿島清治→守屋栄夫	大正6年11月27日(1917)	1枚・ペン	81-212
葉書〔暑中見舞い〕 岡本三郎次→守屋栄夫	大正8年7月27日(1919)	1枚・ペン	82-3-372
書簡〔当選祝い〕 岡本三郎次→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-412-12
葉書〔挨拶状〕 岡本順次郎→守屋栄夫	大正6年2月4日(1917)	1枚・墨書	81-161
葉書〔暑中見舞い〕 岡本順次郎→守屋栄夫	大正6年8月3日(1917)	1枚・ペン	81-47
書簡〔林大使から面会依頼〕 岡本武→守屋栄夫	大正12年3月14日(1923)	1通・ペン	80-2-1-2
葉書〔喪中〕 岡本富年代→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	86-326-88
書簡〔当選祝い〕 岡本富年代→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-68
葉書〔当選祝い〕 岡本富年代→守屋栄夫	3月4日	1枚・ペン	7-147-252
書簡〔お悔やみ状〕 岡本正視→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-5
葉書〔当選祈願〕 小川憲太郎→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1枚・ペン	7-147-352
書簡〔お悔やみ状〕 小川洵蔵→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-179
書簡〔宮城県の土地開墾に付近況報告〕 小川征三→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-3-4-2

書簡〔宮城県女子師範学校夏季休暇中心得〕 小川正行 〔宮城県女子師範学校校長〕→守屋栄夫	大正2年7月30日(1913)	1通・墨書・ペン ・活版	9-23-89
書簡〔総督府へ就職交渉中の及川久太郎病状報告〕 小川正行→守屋栄夫	大正10年10月22日 (1921)	1通・ペン	5-29-13-1
葉書〔お悔やみ状〕 小川内了平→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1枚・墨書	5-8-15
書簡〔当選祝い〕 小川内直兄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-355
葉書〔石黒閣下・山下氏の教化事業講演〕 沖田実→守 屋栄夫	昭和2年5月16日(1927)	1枚・ペン	84-5-12
書簡〔お悔やみ状〕 沖田実→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	9-18-11
書簡〔教化事業講演会所感〕 沖田実→守屋栄夫	4月9日	1通・墨書	78-23-40
葉書〔香港等の景況の件〕 沖野喜次久→守屋栄夫	昭和7年1月4日(1932)	1枚・ペン	86-84
書簡〔お悔やみ状〕 荻野伸三郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-76
書簡〔お悔やみ状〕 荻原喜市→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-10-14
書簡〔採用のための知事宛て添書き依頼〕 荻原喜市→ 守屋栄夫	昭和8年12月2日(1933)	1通・墨書	84-16-4
書簡〔学校新築入札報告〕 荻原又寿郎→守屋栄夫	昭和7年7月22日(1932)	1通・墨書	83-3-35
葉書〔気仙沼の様子〕 奥川→守屋栄夫	昭和6月11日	1枚・ペン	84-5-6
葉書〔暑中見舞い〕 奥沢正光→守屋栄夫	大正15年7月21日 (1926)	1枚・活版・墨書	86-322-37
書簡〔当選祝い〕 奥田茂造→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-412-20
書簡〔光天寺村村勢報告、南津軽郡光田寺村川部川部 修養会発行新聞「かわべ」(昭和7年8月5日発行)同 封〕 奥田信雄→守屋栄夫	昭和7年8月11日(1932)	1通・ペン・活版	83-1-13
書簡〔出産報告〕 奥田信雄→守屋栄夫	昭和8年3月15日(1933)	1通・墨書	84-22-22
葉書〔教化事業講習会御礼、第二回化学工業博覧会観 覧〕 奥田良平→守屋栄夫	大正15年4月14日 (1926)	1枚・ペン	84-5-45
葉書〔年賀状〕 奥村雅雄→守屋栄夫	昭和5年1月1日(1930)	1枚・墨書	84-1-6
書簡〔出張につき御都合伺い〕 小倉武之助→守屋栄夫	昭和5年12月3日(1930)	1通・墨書	10-319
書簡〔咸興水力電気推進方願書提出〕 小倉武之助→守 屋栄夫	昭和6年1月18日(1931)	1通・ペン	86-356-23
書簡〔咸興電気問題運動経過報告及び内務局長への 斡旋依頼、松村栄三郎発書簡〕 小倉武之助→守屋栄 夫	昭和6年2月4日(1931)	1通・墨書・ペン	86-355-18
書簡〔お悔やみ状〕 小栗一雄〔代筆中村春子〕→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-27-22
書簡〔白菜恵贈御礼、経校退任挨拶〕 刑部斎→守屋栄夫	昭和6年カ12月12日 (1931)	1通・墨書	86-351-4
書簡〔東郷元帥揮毫の件経緯報告〕 刑部斎→守屋栄夫	昭和 7月4日	1通・墨書	10-402
書簡〔白菜恵贈御礼〕 刑部斎→守屋栄夫	12月6日	1通・墨書	7-147-41
書簡〔台北へ赴任挨拶、徴兵検査甲種合格にて入営〕 尾崎喜市→守屋栄夫	昭和6年6月19日(1931)	1通・ペン	86-352-43

書簡〔打合せ願〕 尾崎敬一郎〔中央朝鮮協会〕→守屋栄夫	昭和2年11月19日 (1927)	1通・墨書	85-9-144
書簡〔朝鮮人事、朝銀東拓の改革に付報告〕 尾崎敬一郎→守屋栄夫	昭和4年11月9日 (1929)	1通・墨書	5-31-25
書簡〔朝鮮問題〕 尾崎敬一郎→守屋栄夫	昭和4年12月31日 (1929)	1通・ペン	84-1-31
書簡〔東拓の後任者の件〕 尾崎敬一郎→守屋栄夫	昭和4年12月9日 (1929)	1通・墨書	5-14-42
葉書〔年賀遠慮〕 尾崎利中→守屋栄夫	昭和1年12月 (1926)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1-14
書簡〔議会解散必至〕 尾崎敬義→守屋栄夫	昭和7年1月2日 (1932)	1通・ペン	86-347-16
書簡〔助言御礼〕 尾崎光夫→守屋栄夫	昭和5年12月31日 (1930)	1通・ペン	86-359-26
書簡〔樺太集団移民団無事到着〕 尾崎幸信→守屋栄夫	昭和6年4月30日 (1931)	1通・ペン	86-354-52
書簡〔本島開発援助依頼〕 尾崎幸信→守屋栄夫	昭和8年11月20日 (1933)	1通・墨書	84-29-30
葉書〔お悔やみ状〕 小沢胤守→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1枚・墨書	9-15-189-3
書簡〔選挙激励〕 小沢一→守屋栄夫	昭和3年2月15日 (1928)	1通・ペン	7-147-144
書簡〔お悔やみ状〕 小沢勝・三枝静→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・ペン・活版	9-15-50
葉書〔役所退勤時刻通知依頼〕 押野運作→守屋栄夫	大正6年7月12日 (1917)	1枚・墨書	81-219
葉書〔当選祝い〕 小関峰三郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1枚・墨書	10-408-61
葉書〔当選祝い〕 小田忠夫→守屋栄夫	昭和5年2月25日 (1930)	1枚・墨書	7-147-201
葉書〔欧州視察、仏国でブリアン内閣成立〕 小田直蔵→守屋栄夫	大正14年11月29日 (1925)	1枚・ペン	84-6-71
葉書〔ロンドンでの視察〕 小田直蔵→守屋栄夫	9月18日	1枚・ペン	84-2-51
葉書〔暑中見舞い〕 小田安馬→守屋栄夫	昭和2年7月29日 (1927)	1枚・ペン	86-109
書簡〔鈴木貞子について〕 小田八十→守屋栄夫	昭和8年5月30日 (1933)	1通・ペン	84-27-35
書簡〔朝鮮部落調査目的等報告、踏査日程〕 小田内通敏→守屋栄夫	大正10年10月25日 (1921)	1通・墨書・ペン	5-29-12
書簡〔「朝鮮地方の住家」研究の報告〕 小田内通敏〔早稲田大学〕→守屋栄夫	大正11年2月21日 (1922)	1通・墨書・ペン	9-20-17
書簡〔外遊御礼、報告書総督提出の件〕 小田内通敏→守屋栄夫	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-3
葉書〔満洲の状況〕 小田内道敏→守屋栄夫	大正15年カ1月5日 (1926)	1枚・ペン	86-30
葉書〔移住民の地方的事情に旧藩政や基督教の影響〕 小田内通敏→守屋栄夫	大正15年3月5日 (1926)	1枚・ペン	84-2-40
葉書〔吉田君と会見、小田内先生と対面〕 小田内通敏・吉田正広→守屋栄夫	大正15年3月10日 (1926)	1枚・ペン	84-2-31
葉書〔和歌山調査〕 小田内通敏→守屋栄夫	昭和2年3月25日 (1927)	1枚・ペン	84-1-82
書簡〔お悔やみ状〕 小田内通敏〔福岡県庁統計課〕→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	9-11-4

葉書〔当選祝い〕 小田島耕造→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	10-408-100
書簡〔当選祝い〕 小田島信一郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-412-18
書簡〔当選祝い〕 小田島禎治郎〔仙台民報社〕→守屋栄夫	昭和2月21日	1通・墨書	10-14
書簡〔小田省吾氏頌寿記念事業寄付願い〕 小田先生頌寿記念事業発起人→守屋栄夫	昭和8年6月30日(1933)	1通・活版	84-12-28
書簡〔当選祝い〕 落合節子→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	7-147-108
書簡〔来訪の御礼〕 落合藤四郎→守屋栄夫	大正15年6月29日(1926)	1通・墨書	78-23-45
書簡〔お悔やみ状〕 落合直道→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-27-7
書簡〔当選祝い〕 落合直道→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-412-17
葉書〔暑中見舞い〕 乙坂昇→守屋栄夫	昭和4年8月13日(1929)	1枚・ペン	86-301
書簡〔選挙応援、選挙戦の状況報告〕 小野久進→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1通・墨書	10-226
葉書〔当選祝い〕 小野久進→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-168
葉書〔お悔やみ状〕 小野清秀留守宅→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・ペン	9-15-36
書簡〔お悔やみ状〕 小野拓→守屋栄夫	大正12年3月19日(1923)	1通・墨書	18-14-180
葉書〔健康祈念〕 小野拓→守屋栄夫	昭和1年12月26日(1926)	1枚・墨書	85-7-2-1-30
書簡〔お悔やみ状〕 小野拓→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-11-15
葉書〔お悔やみ状〕 小野寺鉄之亮→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	5-12-25
葉書〔健康伺い〕 小尾晴敏→守屋栄夫	大正14年11月15日(1925)	1枚・ペン	84-6-146
書簡〔託児事業の研究結果拝呈〕 小尾晴敏〔社会教育研究所〕→守屋栄夫	大正15年11月19日(1926)	1通・墨書	85-3-4-28
書簡〔当選祝い〕 小尾範治〔文部省〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン	10-9
書簡〔愚息憲兵伍長善右衛門戦死にて葬儀執行〕 小野兵八→守屋栄夫	昭和7年11月12日(1932)	1通・墨書	83-4-14
書簡〔お悔やみ状〕 小野平八郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-4
葉書〔洋行経過〕 小野平八郎→守屋栄夫	昭和4年9月24日(1929)	1枚・ペン	86-324-89
葉書〔当選祈願〕 小野宗吉→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1枚・墨書	7-147-308
葉書〔お悔やみ状〕 小野宗吉→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	6-57-4
書簡〔当選祈願〕 小野由蔵→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・ペン	10-412-11
書簡〔塩原課長在職中、昇給尽力願い〕 小野嘉晴→守屋栄夫	昭和4年8月29日(1929)	1通・ペン	85-4-5-11
書簡〔当選祝い〕 小野上長治郎→守屋栄夫	昭和 3月2日	1通・墨書	10-377
書簡〔当町会議員選挙立候補断念〕 小野寺京三郎→守屋栄夫	昭和3年12月25日(1928)	1通・墨書	85-4-4-13

書簡〔新聞記事に対する感想〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-10
書簡〔選挙応援発熱のため不参〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和2年2月7日 (1927)	1通・ペン	10-414-1
書簡〔札幌後援会の打合せ、学友佐々木政之助後援報告〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和3年1月23日 (1928)	1通・ペン	10-414-27
書簡〔宮城県塩釜町徳水外治宛に選挙依頼〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和3年1月28日 (1928)	1通・ペン	10-414-48
書簡〔村木達夫選挙支援の件〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和3年2月2日 (1928)	1通・ペン	10-414-26
葉書〔事務監査のため音威子府・名寄へ出張〕 小野寺五一→守屋栄夫・御奥様	昭和3年7月16日 (1928)	1枚・ペン	86-322-164
葉書〔暑中見舞い〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和3年8月9日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-239
葉書〔旭川支庁着〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和4年1月28日 (1929)	1枚・ペン	86-328-14
書簡〔浦河支庁へ転任、高木氏の件〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和4年8月25日 (1929)	1通・ペン	5-17-29
葉書〔国家試験合格、北海道庁浦河支庁赴任〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和4年11月25日 (1929)	1枚・ペン	86-324-98
書簡〔内務省銓衡試験受験、広沢秘書官宛に履歴書送付〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和4年12月27日 (1929)	1通・ペン	84-1-29
書簡〔議会解散に付為替送付〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和5年1月22日 (1930)	1通・ペン	10-410-19
書簡〔娘婚約成立、奥様へ感謝〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和6年3月9日 (1931)	1通・ペン	86-357-39
書簡〔婚約承諾斡旋依頼〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和6年3月13日 (1931)	1通・ペン	86-357-42
書簡〔結婚式挙行挨拶〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和6年6月9日 (1931)	1通・ペン	86-352-48
書簡〔大泉教諭退職取り止めの件〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和8年3月31日 (1933)	1通・ペン	84-15-13
書簡〔熊谷徳二郎氏と懇談、中粹村移住の件、長官への口添え依頼〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和8年10月17日 (1933)	1通・墨書	5-24-2
書簡〔中粹村移住許可の審査結果〕 小野寺五一→守屋栄夫	昭和8年11月30日 (1933)	1通・墨書	84-17-18
書簡〔息子の就職斡旋御礼〕 小野寺新六→守屋栄夫	大正14年12月21日 (1925)	1通・墨書	85-10-32
書簡〔息子への配慮感謝、東京日日の記事の件〕 小野寺新六→守屋栄夫	昭和2年1月2日 (1927)	1通・墨書	85-7-1-3
書簡〔退職と立候補に対する激励と忠告〕 小野寺新六→守屋栄夫	昭和3年2月4日 (1928)	1通・墨書	9-16-42
書簡〔お悔やみ状〕 小野寺新六→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	5-12-18
書簡〔当選祝い〕 小野寺新六→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	10-412-10
葉書〔暑中見舞い〕 小野寺精助→守屋栄夫	大正15年8月26日 (1926)	1枚・ペン	86-214
書簡〔推薦状発送先〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和3年2月8日 (1928)	1通・墨書	7-147-150
書簡〔推薦状発送及芳名〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和3年2月9日 (1928)	1通・ペン	6-66

書簡〔当選祝い〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-47
書簡〔守屋氏選挙出馬に尽力感謝〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書	10-414-20
葉書〔近況報告〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和3年10月30日(1928)	1枚・ペン	84-3-33
書簡〔本議会、計画中のこと〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和4年8月25日(1929)	1通・墨書	5-17-26
書簡〔総選挙公認候補者に付投票依頼〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書	10-412-2
書簡〔念仏について〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和7年12月18日(1932)	1通・墨書	84-14-31
書簡〔就職依頼〕 小野寺精助→守屋栄夫	昭和8年4月6日(1933)	1通・墨書	83-12-6
葉書〔当選祝い〕 小野寺徳治→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	10-408-21
書簡〔お悔やみ状〕 小野寺寿雄→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-88
書簡〔任地平安道からの近況報告〕 小野寺俊夫→守屋栄夫	昭和8年2月23日(1933)	1通・墨書	84-22-8
葉書〔加藤大邱署長などに面会、例の調査方依頼〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和3年7月9日(1928)	1枚・ペン	86-322-137
葉書〔大邱にて増担保交渉〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和3年10月14日(1928)	1枚・ペン	86-322-84
葉書〔朝鮮見物にて挨拶状〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和3年12月15日(1928)	1枚・ペン	86-322-158
葉書〔釜山・大邱・京城の旅報告〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和3年12月18日(1928)	1枚・ペン	86-322-154
葉書〔殖産銀行浦項支店長に面会、京城見物〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和3年13日(1928)	1枚・ペン	86-322-144
葉書〔朝鮮訪問時の御礼〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和4年4月20日(1929)	1枚・ペン	86-327-11
葉書〔朝鮮見物報告〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和4年10月18日(1929)	1枚・ペン	86-324-90
葉書〔光州視察、今後の日程〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和4年11月25日(1929)	1枚・ペン	86-324-81
葉書〔大谷氏の競売競り落とし〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和4年カ11月26日(1929)	1枚・ペン	86-324-79
葉書〔新潟到着報告〕 小野寺昌雄→守屋栄夫	昭和6年7月13日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-310
葉書〔当選祝い〕 小野寺三男→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1枚・ペン	7-147-348
書簡〔同郷人紹介、同人口上依頼〕 小野寺有一→守屋栄夫		1通・ペン	7-147-49
葉書〔札幌へ行く途上〕 小野寺芳雄→守屋栄夫	昭和3年6月21日(1928)	1枚・ペン	84-6-1
書簡〔昭和連盟創立総会祝い〕 小野寺吉輔→守屋栄夫	昭和4年11月25日(1929)	1通・墨書	5-31-29
葉書〔当選祝い〕 小野寺吉輔→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・ペン	7-147-342
葉書〔健康祈願〕 小野寺・松盛・竹内・成田夫介・正義・徳夫・今野・佐々木正吉・石田常蔵→守屋栄夫	昭和4年4月22日(1929)	1枚・ペン	86-327-27

葉書〔当選祝い〕 小畑旭→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-81
葉書〔当選祝い〕 小畑旭→守屋栄夫	昭和5年2月3日(1930)	1枚・墨書	7-147-200
書簡〔お悔やみ状〕 小幡虎太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-45
葉書〔忘年会開催〕 小畑正市・今野長三郎・地村己代治・千代治・岡信侠助・岡本五六・洲田信雄・山岸精雄・たかしましげお→守屋栄夫	昭和4年12月8日(1929)	1枚・ペン	86-324-67
葉書〔当選祝い〕 小畑正市〔朝鮮龍山鉄道局官舎〕→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1枚・墨書	7-147-353
書簡〔息子の就職斡旋依頼〕 尾花勇→守屋栄夫	昭和7年カ10月15日(1932)	1通・墨書	83-5-13
葉書〔御教示御礼〕 小浜浄鉦→守屋栄夫	大正5年5月12日(1916)	1枚・ペン	81-211
葉書〔暑中見舞い、北海道視察経過〕 小浜浄鉦→守屋栄夫	大正15年8月4日(1926)	1枚・ペン	86-325-5
書簡〔当選祝い〕 小浜浄鉦→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	9-16-59
葉書〔挨拶状〕 小浜・土居・杉村→守屋栄夫	大正5年5月6日(1916)	1枚・ペン・墨書	81-149
書簡〔秋田高等女学校への転任希望〕 小和田惟徳→守屋栄夫	大正7年3月21日(1918)	1通・墨書	83-13-11
書簡〔中原久子の息子の就職斡旋依頼〕 小和田惟徳→守屋栄夫	12月25日	1通・墨書	84-17-2

か

書簡〔選挙運動激励〕 海江田喜次郎→守屋栄夫	昭和5年2月7日(1930)	1通・墨書	7-147-126
書簡〔当選祝い〕 海外植民学校→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-1
書簡〔課業に関する件通知〕 海軍経理学校→守屋栄夫	昭和4年12月20日(1929)	1通・謄写版	5-14-83
書簡〔冬季休暇中学校宿直関係調査書〕 海軍経理学校→守屋栄夫	昭和5年12月22日(1930)	1通・謄写版・ペン	7-147-56
葉書〔当選祝い〕 甲斐莊正顕→守屋栄夫	6日	1通・墨書	7-147-206
名刺〔当選祝い〕 海藤静夫〔仙台市収入役〕→守屋栄夫	2月23日	2枚・墨書・活版	10-254
葉書〔政見に関する印刷物送付御礼〕 海藤赳男・海藤静夫→守屋栄夫	昭和4年8月13日(1929)	1枚・墨書・活版	86-322-326
書簡〔開道五十周年記念北海道博覧会招待状、御案内書・優待券・返信用封筒同封〕 開道五十年記念北海道記念博覧会→守屋栄夫	大正7年7月12日(1918)	1通・墨書・活版	5-26-33-2
葉書〔挨拶〕 海南→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1枚・ペン	84-5-33
書簡〔総督閣下揮毫御礼〕 貝沼弥蔵→守屋栄夫	大正10年10月27日(1921)	1通・墨書	5-29-24
葉書〔面会御礼、朝鮮旅行〕 貝山好美→守屋栄夫	昭和4年5月3日(1929)	1枚・ペン	84-6-40
葉書〔年賀状〕 鏡味仙太郎→守屋栄夫	大正6年1月1日(1917)	1枚・墨書	81-116
書簡〔新聞記事について〕 加賀屋朝蔵→守屋栄夫	大正6年7月17日(1917)	1通・墨書	83-14-160

書簡〔府県郡長更迭にともない指定理事官任命願い〕 加賀屋朝蔵→守屋栄夫	大正6年9月26日(1917)	1通・墨書	83-14-25
葉書〔水野次官新潟港起工式出席〕 加賀谷朝蔵→守屋 栄夫	大正6年10月14日 (1917)	1枚・墨書	81-80
書簡〔議会開会と地方行政、人事の件〕 加賀屋朝蔵→ 守屋栄夫	大正6年12月19日 (1917)	1通・墨書	83-14-65
書簡〔新潟県中蒲原郡長就任報告〕 加賀谷朝蔵→守屋 栄夫	大正7年7月27日(1918)	1通・墨書	83-9-1
書簡〔「地方自治の精神」送付〕 加賀谷朝蔵→守屋栄夫	大正8年4月18日(1919)	1通・墨書	5-26-9
書簡〔爆弾事件御見舞、今後の朝鮮統治に関して〕 加 賀谷朝蔵→守屋栄夫	大正8年9月9日(1919)	1通・墨書	9-17-18
書簡〔青年団購読書として貴書推薦〕 加賀谷朝蔵→守 屋栄夫	大正8年12月12日 (1919)	1通・墨書	81-664
葉書〔当選祝い〕 加賀谷朝蔵〔宮内省内〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	7-147-255
書簡〔直筆扇御礼〕 加賀谷朝蔵→守屋栄夫	昭和6年8月14日(1931)	1通・墨書	86-348-29
書簡〔援助依頼〕 加賀谷朝蔵→守屋栄夫	昭和6年12月14日 (1931)	1通・ペン	86-351-3
書簡〔秋山氏失敗の件〕 加賀谷金之助→守屋栄夫	昭和7年12月28日 (1932)	1通・ペン	84-14-3
葉書〔当選祝い〕 加賀谷重之助→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-288
書簡〔鉱業着手資金策につき〕 加賀谷重之助→守屋栄夫	昭和6年10月29日 (1931)	1通・墨書	86-346-20
葉書〔当地産品送付〕 加賀谷重之助→守屋栄夫	昭和8年カ12月31日 (1933)	1枚・ペン	86-323-43
葉書〔青島滞在中の厚情御礼〕 加賀山直子→守屋栄夫	昭和6年カ6月25日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-352
書簡〔松本君議会解散に付地盤の件相談〕 加川正→守 屋栄夫	昭和4年3月29日(1929)	1通・墨書	85-4-6-3
書簡〔民政党解散〕 加川正→守屋栄夫	昭和4年7月12日(1929)	1通・ペン	9-21-11
書簡〔政治演説の件〕 加川正→守屋栄夫	昭和4年12月16日 (1929)	1通・墨書	5-14-22
書簡〔橋本良吉氏よりの紹介状再送〕 香川順次→守屋 栄夫	昭和6年9月11日(1931)	1通・ペン	86-356-18
書簡〔お悔やみ状〕 柿原琢市→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-9-1
書簡〔妹出産挨拶〕 賀来才二郎→守屋栄夫	昭和2年9月25日(1927)	1通・墨書	78-23-19
書簡〔礼状〕 賀来才二郎→守屋栄夫	昭和2年12月17日 (1927)	1通・墨書	85-7-3-11
書簡〔手紙感謝、面会願い〕 賀来藤三郎→守屋栄夫	昭和2年4月28日(1927)	1通・墨書	85-9-93
書簡〔当選祝い〕 賀来藤三郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-55
書簡〔当選祝い〕 賀来藤三郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	7-147-123
書簡〔俊子婚儀御礼〕 賀来藤三郎→守屋栄夫	昭和5年5月30日(1930)	1通・墨書	10-406-20

書簡〔選挙運動激励〕 賀来藤三郎→守屋栄夫	2月5日	1通・墨書	7-147-124
名刺〔御挨拶〕 賀来藤三郎→守屋栄夫		1枚・ペン・活版	85-7-2-50
書簡〔近況報告〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和2年3月22日(1927)	1通・墨書	85-7-6-17
書簡〔病状について〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和2年7月14日(1927)	1通・墨書	85-7-6-24
書簡〔伊藤の消息不明〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和3年6月4日(1928)	1通・墨書	10-404-9
書簡〔伊藤の件、仙台裁判所に起訴〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和4年2月22日(1929)	3通・ペン	6-56-37
書簡〔お悔やみ状〕 賀来俊子→守屋栄夫・夫人	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	5-12-40
書簡〔結婚と就職斡旋依頼〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1通・ペン	85-4-1-6
書簡〔賀来俊子・伊藤某結婚仲介の依頼〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和4年10月11日(1929)	1通・ペン	5-31-21
書簡〔来簡御礼〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和4年10月26日(1929)	1通・ペン	5-31-7
書簡〔近況報告〕 賀来俊子→守屋栄夫・御奥様	昭和 1月20日	1通・ペン	10-403-34
書簡〔御教示感謝〕 賀来俊子→守屋栄夫	昭和 10月1日	1通・墨書	10-166
書簡〔当選祝い、政友会入会に対する意見〕 角田七左衛門→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-179
葉書〔紀元2577年〕 寛克彦→守屋栄夫	大正5年5月1日(1916)	1枚・墨書	81-62
葉書〔愛知県神職総会出席〕 寛克彦→守屋栄夫	大正5年11月19日(1916)	1枚・ペン	81-152
葉書〔長野出張の行程〕 寛克彦→守屋栄夫	大正6年3月22日(1917)	1枚・墨書	81-108
葉書〔挨拶状〕 寛克彦→守屋栄夫	大正6年4月11日(1917)	1枚・墨書	81-134
書簡〔盟兄とともに二荒学兄宅泊まり、大国主神参拝など近況報告〕 寛克彦→守屋栄夫	大正6年4月30日(1917)	1通・墨書	84-20-81
書簡〔渡辺君祝賀御礼〕 寛克彦→守屋栄夫	大正8年11月23日(1919)	1通・墨書	81-749
書簡〔年賀挨拶〕 寛克彦→守屋栄夫	大正11年1月17日(1922)	1通・墨書	81-629
書簡〔欧米視察祝い〕 寛克彦→守屋栄夫	大正12年1月18日(1923)	1通・墨書	80-1-3-30
書簡〔守屋帰朝喜びて〕 寛克彦→守屋栄夫	大正12年(1923)	1通・墨書	80-1-3-31
書簡〔車中詠歌〕 寛克彦→守屋栄夫	大正14年12月29日(1925)	1通・墨書	85-10-112
葉書〔公判終了挨拶〕 寛克彦→守屋栄夫	大正15年2月(1926)	1枚・墨書	86-3
書簡〔入学祝い〕 寛克彦→守屋栄夫	大正15年4月11日(1926)	1通・墨書	85-3-2-19
葉書〔壱岐到着〕 寛克彦→守屋栄夫	大正15年8月20日(1926)	1枚・ペン	84-2-59
葉書〔青森講演に関して〕 寛克彦→守屋栄夫	昭和2年8月6日(1927)	1枚・墨書	84-3-94

書簡〔ブラジル移民につき景況報告及び提言〕 寛克彦→守屋栄夫	昭和2年9月11日(1927)	1通・墨書・ペン	78-23-31
葉書〔瀧本君就職幹旋御礼〕 寛克彦→守屋栄夫	昭和2年10月13日(1927)	1枚・墨書	85-9-39
書簡〔捺印依頼〕 寛克彦→守屋栄夫	昭和3年7月25日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-136
葉書〔京城着、高松・松村両氏は明晩満洲に向かう予定〕 寛克彦・高松四郎→守屋栄夫	昭和3年8月14日(1928)	1枚・ペン	86-325-73
葉書〔白菜送付御礼〕 寛克彦→守屋栄夫	昭和5年12月7日(1930)	1枚・墨書	86-1-67
書簡〔子供退院挨拶〕 寛克彦・君代→守屋栄夫	昭和6年6月24日(1931)	1通・謄写版	86-352-12
葉書〔カイロ出発〕 寛克彦→守屋栄夫	昭和7年1月25日(1932)	1枚・ペン	86-322-283
葉書〔一昨日は不在にて失礼〕 寛君代→守屋栄夫	大正13年1月23日(1924)	1枚・ペン	79-7-48
招待状〔臨時列車運行利用につき〕 寛正太郎〔鉄道省〕→守屋栄夫	昭和3年10月(1928)	1通・活版・墨書	83-8-5
書簡〔当選祝い〕 景山外史→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-147-83
書簡〔ご意見伺い〕 笠井英一→守屋栄夫	大正6年8月27日(1917)	1通・墨書	83-14-150
書簡〔大阪府行政事務監査及当課視察談依頼〕 笠井英一→守屋栄夫	大正7年4月18日(1918)	1通・墨書	84-9-16
書簡〔ロンドン到着旅程の件〕 笠井英一→守屋栄夫	大正12年3月2日(1923)	1通・ペン	80-40-1-15
葉書〔当選祝い〕 笠井英一→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・ペン	7-147-254
葉書〔祝辞御礼〕 笠井幸一郎→守屋栄夫	大正10月18日	1枚・ペン	5-26-40
書簡〔佐藤亀太郎中等学校教諭への就職幹旋依頼〕 葛西孝章→守屋栄夫	大正6年1月21日(1917)	1通・墨書	84-20-44
葉書〔来訪時間通知〕 笠井→守屋栄夫	大正12年3月17日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-25
書簡〔ロンドンで面会依頼〕 H.kasai→守屋栄夫	大正12年7月15日(1923)	1通・ペン	80-2-2-24
書簡〔選挙応援、知人の協力〕 笠原尚太→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-96
書簡〔就職幹旋依頼〕 鹿島敬一→守屋栄夫	大正7年11月28日(1918)	1通・墨書	83-7-10
書簡〔御高説御礼、勤務状況〕 鹿島敬一→守屋栄夫	大正8年6月1日(1919)	1通・墨書	83-10-14
書簡〔西平野警察署長竹内氏に謁見〕 鹿島敬一→守屋栄夫	大正8年11月24日(1919)	1通・墨書	83-2-46
書簡〔お悔やみ状〕 鹿島敬一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-188
書簡〔叔父渡航尽力御礼〕 鹿島敬一〔荏原警察署〕→守屋栄夫	昭和4年3月17日(1929)	1通・墨書	9-26-8
書簡〔満洲における警察勤務〕 鹿嶋敬一→守屋栄夫	昭和7年12月15日(1932)	1通・ペン	84-14-29
書簡〔当選祝い〕 鹿島敬一→守屋栄夫	昭和 3月2日	1通・ペン	10-113
書簡〔お悔やみ状〕 鹿島清治・ヒデ→守屋栄夫・御奥様	大正8年7月2日(1919)	1通・墨書	83-2-26

書簡 / 来信

書簡〔生徒同盟帰郷事件に関して〕 鹿島清治→守屋栄夫	大正8年10月19日 (1919)	1通・墨書	83-10-25
書簡〔青森県師範学校に対する視学官取調につき計依頼〕 鹿島清治→守屋栄夫	大正8年カ11月13日 (1919)	1通・墨書	83-2-18
書簡〔御歳暮送付〕 鹿島清治→守屋栄夫	大正14年12月21日 (1925)	1通・墨書	85-10-27
書簡〔大阪府内の中学校長・女学校長への就職斡旋依頼〕 鹿島清治→守屋栄夫	大正14年カ12月19日 (1925)	1通・墨書	78-23-54
書簡〔お悔やみ状〕 鹿島清治→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-29-82
書簡〔鹿島三郎就職斡旋依頼〕 鹿島清治→守屋栄夫	昭和8年4月6日 (1933)	1通・ペン	83-12-1
書簡〔佐々木先生の内地活動後援願い〕 鹿島清治〔平壤公立高等女学校内〕→守屋栄夫	1月29日	1通・墨書	6-55-3
書簡〔暑中見舞い〕 鹿嶋清八→守屋栄夫	昭和4年8月1日 (1929)	1通・墨書	5-14-71-2
書簡〔米国大陸横断しロンドンへ〕 鹿島六雄→守屋栄夫	大正15年5月29日 (1926)	1通・ペン	85-3-8-24
書簡〔初等教育の意見確立〕 鹿島〔千葉県庁内務部〕→守屋栄夫	大正5年2月22日 (1916)	1通・墨書	84-20-30
葉書〔栄転祝い〕 春日林八→守屋栄夫	大正6年5月2日 (1917)	1枚・ペン	81-189
葉書〔暑中見舞い〕 春日林八→守屋栄夫	大正6年8月19日 (1917)	1枚・ペン	81-241
葉書〔朝鮮教育会開催案内〕 春日林八→守屋栄夫	昭和2年8月9日 (1927)	1枚・ペン	84-3-96
書簡〔お悔やみ状〕 春日林八→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-9
書簡〔お悔やみ状〕 和原虎蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-88
書簡〔淀川用水樋普通水利組合主事他近況報告〕 和原虎蔵→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1通・墨書	10-412-23
書簡〔知事更迭により熊本県農林課長を退官、転地願い〕 和原虎蔵→守屋栄夫	昭和7年10月5日 (1932)	1通・墨書	83-5-7
書簡〔松茸発送〕 和原虎蔵→守屋栄夫	昭和8年10月11日 (1933)	1通・墨書	5-24-4
書簡〔御歳暮送付〕 和原虎蔵→守屋栄夫	昭和8年12月20日 (1933)	1通・墨書	84-21-17
書簡〔年末挨拶〕 和原虎蔵→守屋栄夫	12月11日	1通・墨書	7-147-57
葉書〔当選祝い〕 粕谷写真店→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1枚・墨書	7-147-262
葉書〔県庁を訪れ築港見物〕 加勢清雄→守屋栄夫	明治44年3月22日 (1911)	1枚・ペン	81-557
葉書〔お悔やみ状〕 加瀬幸之助→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1枚・ペン	9-15-149
葉書〔起男の入学祝い〕 加瀬幸之助→守屋栄夫	昭和8年カ4月4日 (1933)	1枚・ペン	86-323-59
葉書〔当選祈願〕 加瀬幸之助→守屋栄夫	2月15日	1枚・ペン	7-147-385
書簡〔当選祝い〕 片岡小五郎〔千葉県図書館〕→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-407-67
書簡〔面会御礼〕 片岡小五郎→守屋栄夫	昭和7年5月9日 (1932)	1通・墨書	84-30-23

葉書〔演説会の件お詫び、宮城郡の状況〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和4年9月23日(1929)	1枚・ペン	84-3-25
書簡〔講演会開催伺い〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和4年10月3日(1929)	1通・墨書	85-4-1-36
書簡〔揮毫依頼〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和6年1月7日(1931)	1通・墨書	86-356-29
書簡〔仙台通信局新設につき候補者選定依頼〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和7年11月2日(1932)	1通・ペン	83-4-15
書簡〔古川局長後任希望の件、人事関連近況報告〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和8年4月3日(1933)	1通・墨書・ペン	84-10-20
書簡〔古川三日町郵便局人事の件〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和8年10月6日(1933)	1通・ペン	84-12-11
書簡〔菊池三保氏の経済問題尽力願い〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和8年10月29日(1933)	1通・ペン	84-16-2
書簡〔結婚報告〕 片桐寛→守屋栄夫	昭和8年12月12日(1933)	1通・ペン	84-21-7
書簡〔当選祝い〕 片倉景二→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	7-147-20
書簡〔お悔やみ状〕 片倉景二→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-28-23
書簡〔近藤内務部長健勝〕 片山卯一郎→守屋栄夫	昭和8年12月16日(1933)	1通・墨書	84-21-6
書簡〔部内攪乱にて技師渡辺政徳解職、歎願書(同潤啓成社義肢部職工待遇改善の件)〕 片山国幸→守屋栄夫	大正15年12月15日(1926)	1通・墨書	78-23-23
葉書〔自働義手供覧、整形外科学会以外でも講演〕 片山国幸→守屋栄夫	昭和2年4月4日(1927)	1枚・ペン	84-1-81
書簡〔お悔やみ状〕 片寄昌次郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-4
書簡〔請願書感謝〕 片寄昌次郎→守屋栄夫	昭和5年6月26日(1930)	1通・墨書	10-411-10
書簡〔民衆を援ける明政を祈る〕 片寄昌次郎→守屋栄夫	昭和6年12月21日(1931)	1通・墨書	86-347-47
書簡〔愚息救援依頼〕 片寄昌次郎→守屋栄夫・御令室	昭和7年10月9日(1932)	1通・墨書	83-5-25
書簡〔同封檄文について〕 片寄昌次郎→守屋栄夫	昭和8年11月21日(1933)	1通・墨書	84-29-6
書簡〔訪問御礼、近況報告〕 勝又頼治→守屋栄夫	昭和7年6月5日(1932)	1通・墨書	84-13-2
葉書〔お悔やみ状〕 勝屋英造→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	9-15-85
書簡〔農林技手として勤務する件〕 桂島喜一→守屋栄夫	昭和8年5月17日(1933)	1通・ペン	84-11-15
書簡〔仙台通信局宛て手紙依頼〕 桂島喜一→守屋栄夫	昭和8年5月31日(1933)	1通・ペン	84-27-36
葉書〔喪中〕 家庭購買組合役員一同→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-53
葉書〔ブエノスアイレス号にて経由地香港着〕 嘉登清太郎・斎藤強平→守屋栄夫	昭和4年11月20日(1929)	1枚・ペン	86-324-97
書簡〔当選祝い〕 加藤市衛→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	7-147-130
書簡〔染筆送付依頼〕 加藤市衛→守屋栄夫	昭和5年12月14日(1930)	1通・墨書	7-147-33

葉書〔喪中〕 加藤一郎→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1枚・墨書・活版	86-326-89
書簡〔お悔やみ状〕 加藤一郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-27-32
書簡〔当選祝い〕 加藤一郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-10
葉書〔当選祈願〕 加藤和吉→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1枚・墨書	7-147-244
書簡〔教員の件について〕 加藤完治→守屋栄夫	大正6年9月29日(1917)	1通・墨書	83-14-176
葉書〔寛先生宅会合日程伺い〕 加藤完治→守屋栄夫	大正15年2月24日 (1926)	1枚・ペン	85-3-3-44
葉書〔年賀状〕 加藤完治→守屋栄夫	昭和4年1月1日(1929)	1枚・墨書	86-328-5
書簡〔仙台に開設する診療所事務員就職斡旋依頼〕 加藤鉸吉→守屋栄夫	昭和6年1月1日(1931)	1通・墨書	86-356-34
葉書〔最上勇宛葉書に関して〕 加藤清→守屋栄夫	昭和3年4月12日(1928)	1枚・ペン	84-3-15
葉書〔お悔やみ状〕 加藤金三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	6-57-71
葉書〔年賀状〕 加藤久米四郎→守屋栄夫	大正8年1月1日(1919)	1枚・ペン	82-3-255
書簡〔当選祝い〕 加藤敬三郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-31
電報〔弔電〕 加藤健作→モリヤエイフ	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-63
書簡〔先生の明るき政治が我が農村にも来たらんことを望む〕 加藤賢也→守屋栄夫	昭和4年12月26日 (1929)	1通・ペン	85-4-6-2
葉書〔当選祝い〕 加藤智→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-289
書簡〔年賀状〕 加藤三郎→守屋栄夫	大正15年1月1日(1926)	1通・墨書・ペン	84-6-136
書簡〔お悔やみ状〕 加藤三郎→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・ペン	6-59-25
書簡〔田尻農業倉庫事務員希望〕 加藤誠吾→守屋栄夫	昭和8年11月19日 (1933)	1通・墨書	84-29-7
書簡〔任官斡旋依頼〕 加藤清七→守屋栄夫	大正8年10月7日(1919)	1通・墨書	9-25-32
書簡〔お悔やみ状〕 加藤清四郎→守屋栄夫	大正12年3月23日 (1923)	1通・墨書	18-14-150
書簡〔身上報告〕 加藤清四郎→守屋栄夫	大正14年12月17日 (1925)	1通・墨書	85-10-40
葉書〔年賀状〕 加藤節→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン	84-3-78
葉書〔当選祝い〕 加藤善作→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-49
書簡〔青年団町村教育会主催講演会開催希望〕 加藤 忠蔵〔遠田郡田尻尋常小学校校長〕→守屋栄夫	昭和2年10月21日 (1927)	1通・ペン	85-9-122
葉書〔御大礼奉祝和歌〕 加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和3年11月10日 (1928)	1枚・ペン	84-3-59
書簡〔息女写真送付とその経歴〕 加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和4年12月20日 (1929)	1通・墨書	5-14-92
書簡〔娘嫁入りのこと〕 加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和5年6月22日(1930)	1通・墨書	10-406-42
書簡〔行沢誠也就職斡旋依頼〕 加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和5年12月3日(1930)	1通・墨書	10-330-1

書簡〔就職斡旋依頼〕 加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和6年4月20日(1931)	1通・ペン	86-354-27
書簡〔今回政変に際し政務官不就任遺憾〕 加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和7年6月6日(1932)	1通・墨書	84-13-23
葉書〔判読困難〕 加藤千代→守屋栄夫	昭和3年8月23日(1928)	1枚・ペン	86-325-82
葉書〔挨拶状〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正5年6月10日(1916)	1枚・ペン	81-105
書簡〔内務省または警視庁へ就職依頼〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年5月18日(1917)	1通・墨書	83-14-18
葉書〔文官試験のため多忙、増俸の件〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年7月16日(1917)	1枚・ペン	81-220
書簡〔拓殖局・軍事救護局・警保局などへの転任希望〕 加藤伝作〔愛知県庁〕→守屋栄夫	大正6年7月20日(1917)	1通・墨書	84-7-7
葉書〔西村知事と同行し大島校長等を訪問〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年8月19日(1917)	1枚・ペン	81-240
葉書〔挨拶状〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年9月14日(1917)	1枚・ペン	81-38
葉書〔高商高農設置問題、竹田武男栄転〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年9月22日(1917)	1枚・ペン	81-14
葉書〔水害見舞い〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年10月2日(1917)	1枚・墨書	81-698
葉書〔挨拶状〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正6年11月18日(1917)	1枚・ペン	81-68
葉書〔皇太子殿下御駐泊〕 加藤伝作→守屋栄夫・よしみ	大正7年4月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-47
葉書〔帰京の際御一報願い〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正7年6月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-231
葉書〔コンフォート殿下来県に際し暑中見舞い〕 加藤伝作→守屋栄夫・奥様	大正7年7月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-260
葉書〔島根県主張の際一報願い、近況報告〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正7年7月16日(1918)	1枚・ペン	82-3-276
葉書〔暑中見舞い〕 加藤伝作→守屋栄夫・奥様	大正7年8月2日(1918)	1枚・墨書	82-3-96
葉書〔浦塩赴任見舞い〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正8年1月29日(1919)	1枚・ペン	84-19-18
葉書〔明男全快祝、物品惠贈御礼〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正8年7月6日(1919)	1枚・ペン	82-3-266
葉書〔大邸付近視察、西村局長元気〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正8年12月1日(1919)	1枚・ペン	82-3-324
葉書〔西村局長息女病状、近況報告〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正8年カ12月25日(1919)	1枚・ペン	82-3-335
葉書〔中本君近々快方、瀧口君の件採用困難〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正9年3月11日(1920)	1枚・ペン	82-3-298
書簡〔宮本君愛知県庁内務部地方課主席として採用〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正12年2月19日(1923)	1通・ペン	80-2-1-16
葉書〔本職員兎狩の状況〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正 1月13日	1枚・ペン	82-3-219
葉書〔北鮮地方を視察〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正 2月19日	1枚・ペン	82-3-204
葉書〔釜山滞在後の日程報告〕 加藤伝作→守屋栄夫・奥様	大正 11月28日	1枚・ペン	82-3-320
葉書〔帰郷日時一報願い〕 加藤伝作→守屋栄夫	大正	1枚・墨書	82-3-248

葉書〔岡崎市開催営農家懇談会出張の長官に随行〕 加藤伝作→守屋栄夫	12月8日	1枚・ペン	81-67
葉書〔浦潮滞在中の御礼〕 加藤時蔵〔浦潮派遣軍司令部付〕→守屋栄夫	大正8年4月19日(1919)	1枚・ペン	82-3-182
書簡〔総選挙につき仏教各寺院及び教化寺関係者に推薦状送付〕 加藤咄堂→守屋栄夫	昭和3年1月25日(1928)	1通・ペン	10-414-12
葉書〔機嫌伺い〕 加藤知正→守屋栄夫	昭和8年11月5日(1933)	1枚・ペン	86-323-50
葉書〔御礼状〕 加藤寅治→守屋栄夫	昭和8年1月24日(1933)	1枚・墨書	85-5-8
書簡〔お悔やみ状〕 加藤信海・加藤行信→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	9-5
書簡〔当選祝い〕 加藤信海・男行信→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1通・墨書	7-147-122
書簡〔講演御礼〕 加藤約五郎・横山直意・岩住仁平→守屋栄夫	昭和2年12月26日(1927)	1通・墨書	85-7-6-9
葉書〔暑中見舞い〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和3年7月14日(1928)	1枚・ペン	86-322-140
葉書〔岩手より近況報告〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和3年8月20日(1928)	1枚・ペン	86-325-62
葉書〔寒中見舞い、気仙沼着〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年1月18日(1929)	1枚・ペン	86-328-6
書簡〔内藤氏が土地値引き承認、議会傍聴、気仙沼大火〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年2月28日(1929)	4通・ペン	6-56-15
書簡〔鈴木氏による内藤忠七氏の土地購入手続き〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年3月2日(1929)	4通・ペン	6-56-14
書簡〔山口氏依頼の件に関して早期決定希望〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年3月3日(1929)	2通・ペン	6-56-5
書簡〔峰田一步より富永村他講演準備取り計らい依頼〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年6月24日(1929)	1通・ペン	85-4-4-35
書簡〔配水と堰の視察報告〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年7月21日(1929)	1通・墨書	6-52-15
書簡〔峰田先生一行小牛田到着の報告〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年8月8日(1929)	1通・ペン	5-17-1
書簡〔民政倶楽部発会式の様子報告〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年9月28日(1929)	1通・ペン	85-4-1-41
書簡〔総選挙に向けての動向、近況報告〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年12月28日(1929)	1通・ペン	85-4-6-1
書簡〔議会に向けた策戦協議について〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年12月18日(1929)	1通・ペン	5-14-9
葉書〔十和田湖到着〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和4年26日(1929)	1枚・ペン	86-324-3
書簡〔入党、仙台市の最高幹部〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和5年1月2日(1930)	1通・ペン	84-1-34
葉書〔暑中見舞い〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和5年8月11日(1930)	1枚・ペン・活版	86-322-321
葉書〔帰郷途上の挨拶〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和5年11月7日(1930)	1枚・ペン	86-1-8
書簡〔黒沢一次・伊藤まさ子夫妻の地方転勤斡旋依頼〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和5年11月27日(1930)	1通・ペン	10-291
書簡〔息子入学校の保証人引受願、選挙応援依頼経過及び現況〕 加藤約五郎→守屋栄夫	昭和6年3月16日(1931)	1通・ペン	86-357-27

書簡〔地元選挙区有力者への守屋の後援依頼結果報告〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和6年4月17日(1931)	1通・ペン	86-354-10
書簡〔県会議員立候補辞退〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和6年6月7日(1931)	1通・ペン	86-352-30
書簡〔選挙戦開始〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和6年9月12日(1931)	1通・ペン	86-356-13
書簡〔成田尚氏就職幹旋依頼、献穀粟耕作指定にて地鎮祭播種式〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和7年5月20日(1932)	1通・ペン	86-350-12
書簡〔来訪御礼〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和7年6月22日(1932)	1通・墨書	83-3-30
書簡〔国旗記念日制定の件、小牛田小農学校が斎藤閣下の揮毫熱望〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年2月14日(1933)	1通・墨書・ペン	84-8-13
書簡〔色麻村の御宅訪問、葬式参列、涌谷青年団での講演依頼〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年4月10日(1933)	1通・ペン	84-10-12
葉書〔金剛艦上より大観艦式拝観〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年8月26日(1933)	1枚・ペン	86-323-76
書簡〔伊藤の金策の件、千葉多利司と木沢五郎の就職〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年9月21日(1933)	1通・ペン	84-25-2
書簡〔伊藤茂之就職幹旋御礼〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年10月8日(1933)	1通・ペン	84-12-42
書簡〔就職幹旋依頼、国策樹立に関する意見〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年10月21日(1933)	1通・墨書・ペン	5-24-45
書簡〔会葬御礼〕 加藤豹五郎→守屋栄夫	昭和8年12月28日(1933)	1通・墨書	85-6-23
書簡〔守屋総選挙出馬につき挨拶〕 加藤安吉〔宮城県志田郡沼辺小学校〕→守屋栄夫	昭和2年10月13日(1927)	1通・ペン・墨書	85-7-4-15
書簡〔お悔やみ状〕 加藤吉次郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-28-3
書簡〔講演御礼〕 加藤良治→守屋栄夫	昭和4年11月16日(1929)	1通・墨書	5-31-3
書簡〔電話交換の件について援助願い〕 加藤和田右衛門→守屋栄夫	昭和8年7月24日(1933)	1通・ペン	84-15-14
葉書〔福知山にて下車〕 加藤→守屋栄夫	大正6年1月31日(1917)	1枚・ペン	81-141
葉書〔松江に到着、近況報告〕 加藤→守屋栄夫	大正6年2月1日(1917)	1枚・ペン	81-143
葉書〔出雲大社参拝〕 加藤→守屋栄夫	大正6年2月2日(1917)	1枚・ペン	81-144
書簡〔本学期学業成績に付お伺い〕 角川一三→守屋栄夫	昭和5年2月3日(1930)	1通・ペン	10-412-1
葉書〔政界での活躍祈念〕 角川清→守屋栄夫	昭和3年5月8日(1928)	1枚・ペン	86-325-31
葉書〔お悔やみ状〕 角川清→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1枚・墨書	9-28-37
葉書〔当選祝い〕 角川憲司〔実業之帝国社〕→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・墨書	7-147-253
葉書〔喪中〕 廉野醇→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	86-326-32
書簡〔お悔やみ状〕 廉野俊児→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-66
書簡〔山の材木調査、田畑の管理状況〕 廉野盛→守屋栄夫	昭和8年2月22日(1933)	1通・墨書	84-8-1

書簡 / 来信

書簡〔税金滞納につき金子叔父さんと相談〕 廉野盛→守屋栄夫	昭和8年9月26日(1933)	1通・ペン	84-25-23
書簡〔仙台の開墾地での作付実施、工事着手、交付の納金、有志の寄付金〕 廉野盛→守屋栄夫	昭和8年10月24日(1933)	1通・墨書	5-24-42
書簡〔禁酒教育について〕 門間正順→守屋栄夫	昭和2年10月20日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-4-13
書簡〔愛国貯金会と禁酒連盟の活動報告〕 門間正順→守屋栄夫	昭和2年11月9日(1927)	1通・ペン	85-9-116
葉書〔暑中見舞い〕 門間正順・恵喜→守屋栄夫・奥様	昭和4年8月2日(1929)	1枚・ペン	86-296
書簡〔履歴書送付〕 門間令助→守屋栄夫	大正7年5月18日(1918)	1通・墨書	5-26-22
書簡〔挨拶状〕 香取健吉→守屋栄夫	大正8年2月11日(1919)	1通・墨書	9-25-35
書簡〔上京勉学の協力依頼〕 門脇家寿美→守屋栄夫	昭和4年2月22日(1929)	2通・ペン	6-56-19
葉書〔年賀状〕 門脇稜三郎→守屋栄夫	明治44年1月1日(1911)	1枚・墨書	9-23-64
書簡〔当選祝い〕 門脇稜三郎→守屋栄夫	昭和3年2月30日(1928)	1通・墨書	10-408-32
書簡〔映画撮影について〕 金森茂吉郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・ペン	85-7-2-55
書簡〔訪問御礼、帰社報告〕 金谷勇〔日本電球株式会社〕→守屋栄夫	昭和8年10月16日(1933)	1通・墨書・ペン・謄写版	5-24-14
書簡〔上京の際の御礼〕 金内五七→守屋栄夫	昭和2年11月8日(1927)	1通・ペン	85-9-127
葉書〔鮮満北支視察〕 金内良輔・徳夫→守屋栄夫	昭和4年6月9日(1929)	1枚・ペン	84-6-36
葉書〔組合員募集の件〕 鐘江富次→守屋栄夫	昭和2年8月28日(1927)	1枚・ペン・活版	86-185
書簡〔お悔やみ状〕 金子栖太朗→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-32
葉書〔暑中見舞い〕 金子辰二郎→守屋栄夫	昭和4年7月15日(1929)	1枚・ペン	86-324-15
書簡〔お悔やみ状〕 金子強→守屋栄夫	大正12年3月24日(1923)	1通・墨書	18-14-127
書簡〔当選祝い〕 兼子悌次→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-11
書簡〔朝博開催案内〕 金子友夫→守屋栄夫	昭和4年9月15日(1929)	1通・ペン	85-4-5-15
書簡〔来簡御礼、促成栽培養鶏等当地事業計画報告〕 金子友夫→守屋栄夫	昭和4年11月18日(1929)	1通・ペン	5-31-18
書簡〔適当農地見当たらず叔父上の来飯岡を願う〕 金子友夫→守屋栄夫	昭和4年11月26日(1929)	1通・ペン	5-31-27
書簡〔台湾村上氏の件について訪問中止〕 金子岬→守屋栄夫	昭和4年7月21日(1929)	1通・墨書	6-52-8
書簡〔研究会立ち上げのための打ち合わせについて〕 金子岬→守屋栄夫	昭和4年12月13日(1929)	1通・墨書・謄写版	5-14-1
書簡〔登記書類確認願い〕 金子岬→守屋栄夫	昭和8年6月7日(1933)	1通・墨書	83-6-36
書簡〔銀行支払いと差入証の件、台湾呼出につき許可依頼〕 金子岬→守屋栄夫	昭和8年9月1日(1933)	1通・ペン	84-25-25
書簡〔加藤繁雄・佐藤愛両君就職斡旋依頼〕 金子連→守屋栄夫	昭和3年12月1日(1928)	1通・ペン	10-413-25

書簡〔お悔やみ状〕 金成慥爾→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-1
書簡〔菩提寺長照院本堂建設〕 金野勘之助→守屋栄夫	昭和5年10月22日 (1930)	1通・ペン	10-87
葉書〔当選祝い〕 金原利道→守屋栄夫	昭和3年4月14日(1928)	1枚・ペン	86-329-7
葉書〔年賀状〕 鹿野三郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-9
書簡〔当選祝い〕 鹿野三郎〔沖縄県書記官内務部長〕→守屋 栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書・活版	7-147-225
葉書〔お悔やみ状〕 狩野信作→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	6-57-1
書簡〔狩野仁一氏の就職斡旋依頼〕 狩野信作→守屋栄 夫	昭和8年10月21日 (1933)	1通・墨書	5-24-31
書簡〔お悔やみ状〕 鹿野盛→守屋栄夫	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-128
書簡〔お悔やみ状〕 狩野正夫→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-37-1
葉書〔市長選挙につき混乱〕 狩野正夫→守屋栄夫	昭和4年11月4日(1929)	1枚・ペン	86-324-78
書簡〔土木課就職希望先推薦依頼〕 狩野万→守屋栄夫	大正7年7月26日(1918)	1通・墨書	5-6-26
書簡〔お悔やみ状〕 鹿野三保→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-8
書簡〔在任中の礼状、学校の近況報告〕 狩野鷹力→守 屋栄夫	大正5年4月2日(1916)	1通・墨書	84-20-69
書簡〔日比谷公会堂開催試合観覧招待〕 嘉納治五郎→ 守屋栄夫	昭和5年1月12日(1930)	1通・活版・墨書	84-1-24
書簡〔朝鮮総督府栄転祝い〕 樺山栄次→守屋栄夫	大正8年8月13日(1919)	1通・墨書	9-10-2
書簡〔お悔やみ状〕 河部千代治→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-14-67
書簡〔ブローカーについて報告〕 鎌倉諦→守屋栄夫	昭和8年11月9日(1933)	1通・ペン	84-29-12
葉書〔当選祝い〕 鎌田一雪→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-210
書簡〔守屋総選挙出馬につき挨拶〕 鎌田喜善→守屋栄 夫	昭和2年10月13日 (1927)	1通・墨書	85-7-4-5
書簡〔面会不能お詫び〕 鎌田喜善→守屋栄夫	昭和2年11月17日 (1927)	1通・ペン	85-9-132
書簡〔対朝鮮投資依頼お断り〕 鎌田喜善→守屋栄夫	昭和3年12月29日 (1928)	1通・ペン	6-55-4
書簡〔演説会の感想、昭和連盟名取支部設立〕 鎌田喜 善→守屋栄夫	昭和4年12月12日 (1929)	1通・ペン	5-14-38
書簡〔借入金5000円融通報告〕 鎌田喜善→守屋栄夫	昭和5年8月1日(1930)	1通・ペン	10-393
書簡〔白菜発送〕 鎌田喜善→守屋栄夫	昭和6年1月6日(1931)	1通・ペン	86-359-27
書簡〔渡辺徳郎就職斡旋依頼〕 鎌田喜善→守屋栄夫	昭和8年3月31日(1933)	1通・ペン・墨書	83-12-12
書簡〔政友会への貢献願い、近隣諸氏への入党吹聴願 い〕 鎌田謙吉→守屋栄夫	昭和5年1月5日(1930)	1通・ペン・活版	10-403-37
書簡〔豊原君の動静、裁判の様子〕 鎌田謙吉→守屋栄夫	昭和5年10月25日 (1930)	1通・ペン	10-77

書簡〔豊原氏問題処理方依頼〕 鎌田謙吉→守屋栄夫	昭和5年11月31日 (1930)	1通・墨書	7-147-63
書簡〔関右エ門米寿祝い、尊母様古稀祝施行〕 鎌田謙吉→守屋栄夫	昭和8年10月23日 (1933)	1通・墨書	5-24-41
書簡〔進退伺提出、文部大臣宛建白書提出予定〕 鎌田謙吉→守屋栄夫	昭和8年12月(1933)	1通・墨書	85-6-19
書簡〔講演依頼〕 鎌田三之助→守屋栄夫	大正15年10月18日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-25
書簡〔邦家への尽力依頼〕 鎌田三之助→守屋栄夫	昭和2年12月4日(1927)	1通・墨書	85-7-6-4
書簡〔当選祝い〕 鎌田三之助→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-408-122
書簡〔『我等の進むべき道』恵贈御礼〕 鎌田三之助→守屋栄夫	昭和3年7月23日(1928)	1通・墨書	10-408-141
書簡〔お悔やみ状〕 鎌田三之助→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-78
葉書〔農業政策に関する講演の感想〕 鎌田仕蔵→守屋栄夫	昭和4年1月7日(1929)	1枚・ペン	86-328-17
葉書〔お悔やみ状〕 鎌田庄三郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	5-12-12
書簡〔お悔やみ状〕 鹿又武三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-118
書簡〔臨海修養学園への寄付金御礼、お伽大会招待〕 鎌田智覚→守屋栄夫	昭和4年7月21日(1929)	1通・墨書	6-52-13
書簡〔塩釜町に託児所並幼稚園を兼ねた校舎建設援助願い〕 鎌田智覚→守屋栄夫	昭和4年9月10日(1929)	1通・ペン	85-4-5-16
葉書〔孫発病見舞状〕 鎌田なつき→守屋栄夫・ひでを	8月31日	1枚・墨書	9-23-99
書簡〔お悔やみ状〕 鎌田なつよ→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-25
書簡〔豊原氏の件〕 鎌田福吉→守屋栄夫	昭和6年1月6日(1931)	1通・ペン	86-356-28
書簡〔中嶋君死去に伴う地盤関係対応方提案〕 鎌田福吉→守屋栄夫	昭和6年2月23日(1931)	1通・ペン・墨書	86-354-2
葉書〔投宿案内〕 上会津屋〔塩原温泉古町内湯旅館〕→守屋栄夫	大正10年9月25日 (1921)	1枚・活版	78-3-23
葉書〔暑中見舞い、浄化運動の件〕 上内彦策→守屋栄夫	昭和4年8月17日(1929)	1枚・ペン	86-306
書簡〔当選祝い〕 上条信→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	7-147-117
書簡〔お悔やみ状〕 上林敬次郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-160
葉書〔暑中見舞い〕 神谷俊次郎→守屋栄夫	大正8年8月10日(1919)	1枚・墨書	9-10-43
葉書〔暑中見舞い〕 神谷俊次郎→守屋栄夫	大正7月29日	1枚・墨書	81-33
書簡〔お悔やみ状〕 神谷小一→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	6-54-12
葉書〔喪中〕 神谷半之丞	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-49
葉書〔挨拶状(英語)〕 M.Kamiya→守屋栄夫	大正7年7月24日(1918)	1枚・ペン	82-3-361
葉書〔喪中〕 加美山茂樹→守屋栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1枚・墨書	86-307
書簡〔お悔やみ状〕 加美山とせ→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-3

葉書〔年賀状〕 亀川兼吉→守屋栄夫	大正7年カ12月カ11日 カ(1918)	1枚・ペン	82-3-261
電報〔弔電〕 亀山猛治→モリヤサカフ	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-88
書簡〔お悔やみ状〕 亀山猛治→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-2
葉書〔仕事への労い〕 萱→守屋栄夫	大正7年6月22日(1918)	1枚・ペン	82-3-228
葉書〔梅村と会談〕 賀谷→守屋栄夫	大正6年7月20日(1917)	1枚・墨書	81-30
書簡〔お悔やみ状〕 萱島栄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-48
書簡〔朝鮮木浦よりの近況報告〕 萱場愛子→守屋栄夫	昭和6年7月9日(1931)	1通・ペン	86-350-29
書簡〔近況報告〕 萱場昌→守屋栄夫	大正6年4月13日(1917)	1通・墨書	84-20-94
葉書〔学年試験の準備〕 萱場昌→守屋栄夫	大正6年6月11日(1917)	1枚・ペン	81-75
書簡〔近況報告、写真〕 萱場昌→守屋栄夫	大正6年8月11日(1917)	1通・墨書	83-14-24
書簡〔仙台二高の様子と成績、一高二高連合演説会、 柔道試合結果〕 萱場昌→守屋栄夫	大正7年4月9日(1918)	1通・ペン・活版	5-26-19
書簡〔帰省報告〕 萱場昌→守屋栄夫	大正7年8月6日(1918)	1通・墨書	83-10-35
書簡〔国民道德の大意〕 萱場昌→守屋栄夫	大正7年8月6日(1918)	1通・墨書・活版	83-10-31
葉書〔近況報告〕 萱場昌→守屋栄夫	大正7年10月29日 (1918)	1枚・ペン	82-3-128
葉書〔金華山参拝〕 萱場昌→守屋栄夫	大正8年5月5日(1919)	1枚・ペン	82-3-42
書簡〔爆弾被害見舞い〕 萱場昌→守屋栄夫	大正8年9月11日(1919)	1通・墨書	9-25-16
葉書〔歳末の挨拶〕 萱場昌→守屋栄夫	大正8年12月27日 (1919)	1枚・ペン	82-3-319
書簡〔試験について近況報告〕 萱場昌→守屋栄夫	大正9年6月7日(1920)	1通・墨書	5-16-7
書簡〔家族の近況報告〕 萱場昌→守屋栄夫	大正15年1月30日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-45
書簡〔第二高女校長の斡旋により福永台子と婚約〕 萱場昌→守屋栄夫	大正15年2月3日(1926)	1通・墨書	85-3-5-23
書簡〔祝儀御礼〕 萱場昌→守屋栄夫	大正15年2月27日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-30
葉書〔盗難見舞い、転居通知〕 萱場昌→守屋栄夫	大正15年11月2日 (1926)	1枚・ペン	86-271
葉書〔全南物産共進会開催報告〕 萱場昌→守屋栄夫	大正15年11月12日 (1926)	1枚・ペン	84-1-45
葉書〔喪中〕 萱場昌・愛子→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-86
書簡〔近況報告〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和2年2月24日(1927)	1通・ペン	85-7-5-24
葉書〔挨拶状〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和2年12月3日(1927)	1枚・ペン	84-3-65
葉書〔政局打開にむけ活動応援〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和3年5月5日(1928)	1枚・ペン	86-329-4
書簡〔暑中見舞い〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和3年7月28日(1928)	1通・ペン	10-408-127

葉書〔帰任挨拶〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和3年10月3日(1928)	1枚・ペン	86-322-77
書簡〔田舎勤めから大連転出希望〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和4年2月18日(1929)	6通・墨書・ペン	6-56-39
書簡〔お悔やみ状〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-36
葉書〔暑中見舞い〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和4年8月1日(1929)	1枚・ペン	86-283
葉書〔来月渡鮮予定〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和5年5月29日(1930)	1枚・ペン	84-4-24
書簡〔鰻送付〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和6年3月18日(1931)	1通・墨書	86-357-11
葉書〔時候挨拶〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和6年4月22日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-294
書簡〔昭和連盟の趣旨賛同、維持会員参加報告〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和6年7月7日(1931)	1通・墨書・ペン	86-350-27
書簡〔昭和連盟の活動に期待、父の中央方面転出へ尽力依頼〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和7年11月1日(1932)	1通・ペン	83-4-20
書簡〔父が札幌より郷里へ転勤の御礼〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和8年4月2日(1933)	1通・墨書	84-10-21
書簡〔昭和連盟冊子恵送御礼、朝鮮政治など近況報告〕 萱場昌→守屋栄夫	昭和 12月1日	1通・墨書	10-356
葉書〔写真完成、順次送付〕 萱場昌→守屋栄夫	3月6日	1枚・ペン	84-2-34
書簡〔弟就職先紹介御礼、玄俊鎬依頼伝言〕 萱場昌→守屋栄夫	12月30日	1通・墨書・ペン	7-147-66
書簡〔木村氏の件に付近況報告他〕 萱場喜一郎→守屋栄夫	昭和4年9月24日(1929)	1通・ペン	85-4-5-17
書簡〔お悔やみ状〕 萱場菊寿郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-49
書簡〔出産祝い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	明治42年10月5日(1909)	1通・墨書	6-46-25
葉書〔家族無事にて安心〕 萱場今朝治→守屋栄夫	明治44年6月11日(1911)	1枚・ペン	81-537
葉書〔男山八幡宮へ参る〕 萱場今朝治→守屋栄夫	明治44年8月29日(1911)	1枚・ペン	81-296
書簡〔貴県へ転任希望の三浦自也紹介〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年1月5日(1917)	1通・墨書	84-20-140
書簡〔三浦老婦拙宅訪問、病状経過〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年1月17日(1917)	1通・墨書	84-20-151
書簡〔山崎農学校長紹介、講話など近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年2月22日(1917)	1通・墨書	84-20-87
書簡〔三浦氏就職幹旋御礼、近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年3月1日(1917)	1通・墨書	84-20-74
書簡〔景況報告、栄転祝い、東北北海道方面へ御越の際は面会希望〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年5月23日(1917)	1通・墨書	83-14-132
書簡〔山形県下小学校視察にて景況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年5月26日(1917)	1通・墨書	83-14-129
書簡〔青森にて教育総会・講習会開催〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年カ8月2日(1917)	1通・墨書	83-14-131

葉書〔陸奥での通信講和田舎廻りにつき〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年8月29日(1917)	1枚・ペン	82-3-169
書簡〔似て非なる民本主義や自由主義への憂慮、地方行政に対する普通教育の必要性〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年9月15日(1917)	1通・墨書	83-14-130
書簡〔上野到着挨拶、令嬢誕生・御主人栄転祝い〕 萱場今朝治→守屋栄夫 よしみ	大正6年10月4日(1917)	1通・墨書	83-14-128
書簡〔出京時の御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年10月18日(1917)	1通・墨書	83-14-105
書簡〔三浦氏と連絡が取れた旨〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年10月30日(1917)	1通・墨書	83-13-12
書簡〔三浦氏の青森県出向発令延期〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年12月6日(1917)	1通・墨書	83-14-99
書簡〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正6年12月26日(1917)	1通・墨書	83-14-196
葉書〔家族の近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年カ2月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-246
書簡〔福島師範視察、仙台訪問、地方官会議後に師範校長移動〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年5月21日(1918)	1通・墨書	5-26-21
葉書〔近況挨拶〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年6月24日(1918)	1枚・ペン	82-3-232
書簡〔来簡礼状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年7月27日(1918)	1通・墨書	83-2-10
葉書〔北海道博覧会見学報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年8月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-107
書簡〔世界流行の感冒、小林氏神戸に現住、雑誌編集〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年12月3日(1918)	1通・墨書	5-26-33-1
書簡〔浦潮出張の名誉、高等学校野球に二高選手〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正7年12月23日(1918)	1通・墨書	5-26-5
書簡〔「青年之教養」拝読〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年1月17日(1919)	1通・墨書	9-10-53
葉書〔教員を招聘〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年5月3日(1919)	1枚・ペン	82-3-26
書簡〔出京中の礼状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年5月18日(1919)	1通・墨書	83-2-4
書簡〔中学校転任願い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年5月25日(1919)	1通・墨書	83-10-10
書簡〔講演依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年8月2日(1919)	1通・墨書	5-6-10
書簡〔民力涵養に関する講演会開催の予定〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年8月7日(1919)	1通・墨書	84-9-12
書簡〔栄進祝い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年8月12日(1919)	1通・墨書	9-10-49
書簡〔朝鮮総督府栄転祝い、民力涵養協議会など開催報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年8月17日(1919)	1通・墨書	9-10-3
書簡〔爆弾投下見舞い、朝鮮統治に関して〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年9月8日(1919)	1通・墨書	5-16-11
書簡〔朝鮮総督府の統治と新部長下での体制〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年9月15日(1919)	1通・墨書	5-16-12
書簡〔寄宿舎生徒同盟帰郷始末の件、転任取り計らい依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年10月22日(1919)	1通・墨書・ペン	83-10-28

書簡〔辞表提出予定につき〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年10月23日 (1919)	1通・墨書	83-10-11
書簡〔青森県庁退職、就職斡旋依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年10月6日 (1919)	1通・墨書	9-25-18
書簡〔渡鮮見舞い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年11月2日 (1919)	1通・墨書	83-13-4
書簡〔歓待御礼、和歌山の概況〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年12月17日 (1919)	1通・墨書	81-663
書簡〔平壤の栗野伝之丞紹介〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年12月17日 (1919)	1通・墨書	81-641
書簡〔上京時の御礼、和歌山県下学校の様子〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正8年12月29日 (1919)	1通・墨書	9-10-50
書簡〔年賀状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年1月1日 (1920)	1通・墨書	9-17-24
書簡〔年賀状、紀三井寺へ逍遙〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年1月6日 (1920)	1通・墨書	9-10-51
書簡〔田中順の引き立て願い、県庁内の人事異動〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年2月5日 (1920)	1通・墨書	81-680
書簡〔新知事弊校視察、藤岡氏勸業課長兼任、県教育界と弊校の関係〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年2月24日 (1920)	1通・墨書	81-682
書簡〔子供の学資援助御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年6月7日 (1920)	1通・墨書	5-16-46
書簡〔流行伝染病心配、労働奉仕小学校 師範学校〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年7月18日 (1920)	1通・墨書	5-16-26
書簡〔暴風被害、息子帰宅〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年8月14日 (1920)	1通・墨書	5-5-23
書簡〔学資依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年9月11日 (1920)	1通・墨書	9-17-2
書簡〔県教育界にて奮闘中、内務・農務・文部大臣の政治行政混同憂慮、鈴木孫三郎氏来泊〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正9年11月21日 (1920)	1通・墨書	81-739
書簡〔帰京慰労、昇格問題につき〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正10年2月24日 (1921)	1通・墨書	81-743
書簡〔返書御礼、東宮出慶〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正10年3月2日 (1921)	1通・墨書	81-744
書簡〔出産祝い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正10年4月2日 (1921)	1通・墨書	81-747
書簡〔出京時の御礼、依願した青年を採用願い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正10年5月25日 (1921)	1通・墨書	86-333
書簡〔昨夜書面の青年採用控えるよう願う〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正10年5月26日 (1921)	1通・墨書	86-334
書簡〔伴男・徳夫他家族の近況報告〕 萱場今朝治・昌→守屋栄夫	大正12年2月14日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-13
電報〔弔電〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-90
書簡〔お悔やみ状、国内水平社運動過激他〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正12年3月21日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-25
書簡〔年賀返礼及び病状報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年1月8日 (1924)	1通・ペン	5-30-14
書簡〔滞京中の御礼、小生も健康に復す〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年1月29日 (1924)	1通・ペン	79-7-46

書簡〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年4月6日(1924)	1通・ペン	5-30-5
書簡〔京城火災、総督府被害への見舞い状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年5月2日(1924)	1通・ペン	5-30-2
書簡〔総督狙撃の暴挙幸い未遂、朝鮮・満州・支那など視察者増加など〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年5月22日(1924)	1通・ペン	5-30-8
書簡〔内閣変更による鹿児島県下の動揺〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年7月6日(1924)	1通・ペン	9-22-9
書簡〔朝鮮滞在時の御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正13年9月22日(1924)	1通・ペン	85-1-21
書簡〔展覧会協力御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正14年10月14日(1925)	1通・ペン	85-10-97
書簡〔記念式展覧会御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正14年11月9日(1925)	1通・ペン	85-10-82
書簡〔息子の就職幹旋依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正14年12月6日(1925)	1通・ペン	85-10-7
書簡〔年賀状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年1月5日(1926)	1通・ペン	85-3-1-42
書簡〔実家の甥南池良知の就職幹旋依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年1月16日(1926)	1通・ペン	85-3-5-38
書簡〔結婚報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年1月30日(1926)	1通・ペン	85-3-1-44
書簡〔結婚式挙行報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年2月3日(1926)	1通・ペン	85-3-5-24
書簡〔復興局の就職幹旋御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年2月28日(1926)	1通・ペン	85-3-5-15
書簡〔息子の結婚について〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年3月3日(1926)	1通・ペン	85-8-8
書簡〔民育研究会について報告〕 萱場今朝治〔広島県第一師範学校長〕→守屋栄夫	大正15年3月29日(1926)	1通・ペン	85-3-8-37
書簡〔朝鮮より次男帰省、礼状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年8月17日(1926)	1通・ペン	85-3-7-11
葉書〔福島書記官へ伝達御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正15年10月25日(1926)	1枚・ペン	86-258
書簡〔欠礼挨拶〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1通・ペン	85-7-5-1
書簡〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年1月5日(1927)	1通・ペン	85-7-5-2
書簡〔挨拶延引お詫び〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年2月15日(1927)	1通・ペン	85-7-5-23
書簡〔政変心配〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年4月4日(1927)	1通・ペン	85-9-97
書簡〔民育研究会開催報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年4月11日(1927)	1通・ペン	85-9-78
書簡〔薩摩焼花瓶送付〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年6月4日(1927)	1通・ペン	85-9-18
書簡〔教育制度改革に関する文部省案について〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年10月16日(1927)	1通・ペン	85-9-25
書簡〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1通・ペン	85-7-6-18
書簡〔上京時の御礼、帰宅報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年12月3日(1927)	1通・ペン	85-9-138
書簡〔息子の嫁について〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年12月9日(1927)	1通・ペン	85-7-7-16

書簡〔ご高配願ひ〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年12月27日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-23
書簡〔鹿児島第一師範学校村瀬氏ブラジル行にて内務省嘱託名義の件〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和2年12月13日 (1927)	1通・ペン	78-23-24
書簡〔年賀状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1通・墨書	10-408-146
書簡〔村瀬の取り計らい感謝・会議出席不可能〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年1月20日 (1928)	1通・ペン	10-413-3
書簡〔選挙激励〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年2月13日 (1928)	1通・ペン	7-147-48
書簡〔辞表提出の件〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年2月3日 (1928)	1通・墨書	10-414-18
書簡〔議会逼迫、中立の難しさ〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年4月18日 (1928)	1通・ペン	10-172
葉書〔『太平洋時代来る』恵贈御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年5月22日 (1928)	1通・ペン	86-325-35
書簡〔皇学会設立にて発行の雑誌恵贈御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年7月22日 (1928)	1通・ペン	10-408-140
書簡〔守屋氏地方巡遊の件〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年8月11日 (1928)	1通・ペン	10-408-131
書簡〔教育会議につき京都滞在他〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年11月17日 (1928)	1通・ペン	10-412-26
葉書〔入洛の報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和3年カ11月30日 (1928)	1枚・ペン	84-3-60
書簡〔田中順の就職斡旋依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年1月22日 (1929)	1通・ペン・活版	85-4-4-19
書簡〔帝国議会腐敗につき近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年1月24日 (1929)	1通・ペン	85-4-4-2
書簡〔帰宅挨拶〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年1月29日 (1929)	1通・ペン	85-4-4-6
書簡〔モノニラルベシナ云々〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年2月23日 (1929)	1通・ペン	6-56-18
書簡〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年5月4日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-12
葉書〔鈴木君来訪、政界の様子〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年5月23日 (1929)	1枚・ペン	84-6-48
書簡〔政変と政党の様子憂慮、守屋の去就心配〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年7月10日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-28
書簡〔鹿児島県知事への紹介依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年7月13日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-21
書簡〔知事に挨拶、心遣いに感謝〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年7月31日 (1929)	1通・ペン	85-4-1-25
書簡〔見送り御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和4年12月18日 (1929)	1通・ペン	5-14-101
書簡〔仕事および息子の近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和5年2月21日 (1930)	1通・ペン	10-405-7
書簡〔当選祝い、四男東京農科大学修業の間御世話依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和5年2月26日 (1930)	1通・ペン	10-412-37
書簡〔土産御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫・御夫人	昭和5年4月22日 (1930)	1通・ペン	10-405-22
書簡〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫・御令夫人	昭和5年6月4日 (1930)	1通・ペン	10-406-39

書簡〔息子源蔵へ配慮御礼、相談依頼〕 萱場今朝治〔北海道札幌師範学校長〕→守屋栄夫	昭和5年12月8日(1930)	1通・ペン	7-147-31
書簡〔就職希望先推薦御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫・夫人	昭和5年カ12月15日(1930)	1通・ペン	7-147-4
書簡〔源蔵縁談破棄〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年1月9日(1931)	1通・ペン	86-359-15
書簡〔仙台より帰宅、贈品御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年2月9日(1931)	1通・ペン	86-355-5
書簡〔家族の近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年4月5日(1931)	1通・ペン	86-346-11
書簡〔縁談挨拶状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年5月22日(1931)	1通・ペン	86-352-53
書簡〔支那情勢の件〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年6月14日(1931)	1通・ペン	86-352-4
書簡〔息子の薰陶願う〕 萱場今朝治→守屋栄夫・御夫人	昭和6年9月8日(1931)	1通・ペン	86-356-9
書簡〔息子結婚報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年9月22日(1931)	1通・ペン	86-356-4
書簡〔出京時の御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和6年11月2日(1931)	1通・ペン	86-346-22
書簡〔伴男婚儀招待御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和7年5月11日(1932)	1通・ペン	84-24-31
書簡〔旭川市大会開催の折に札幌市へ来訪希望〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和7年7月8日(1932)	1通・ペン	83-3-28
葉書〔札幌より挨拶状〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和7年カ11月5日(1932)	1枚・ペン	83-4-25
書簡〔石狩鮭送付〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和7年11月30日(1932)	1通・ペン	84-14-1
書簡〔就職幹旋御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年3月27日(1933)	1通・ペン	83-12-9
書簡〔同窓会・地方教育会歓迎感謝、叔父様に対する最後の御奉公決心〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年5月4日(1933)	2通・ペン	84-11-17
書簡〔政友会について〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年5月25日(1933)	1通・ペン	84-27-24
書簡〔暑中見舞い〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年8月2日(1933)	1通・ペン	84-18-17
書簡〔吉田忠一の学費支援依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年9月17日(1933)	1通・ペン	84-25-9
葉書〔京城からの旅程について〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年9月24日(1933)	1枚・ペン	84-25-12
葉書〔朝鮮総督府の案内など近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年9月28日(1933)	1枚・ペン	84-12-24
葉書〔ハルピン到着〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年10月7日(1933)	1枚・ペン	86-323-65
葉書〔撫順見学など近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年10月3日(1933)	1枚・ペン	84-12-39
葉書〔近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和8年12月6日(1933)	1枚・ペン	84-16-5
書簡〔中学校へ転任希望〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正 10月14日	1通・墨書	83-10-9
書簡〔小生及び広島氏の転任尽力依頼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	大正 11月12日	1通・墨書	83-2-15
書簡〔「神ながら」恵贈御礼〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和 6月5日	1通・ペン	10-404-8
書簡〔北海道在住者の近況〕 萱場今朝治→守屋栄夫	昭和 10月23日	1通・ペン	10-57

書簡〔鹿児島における近況報告〕 萱場今朝治→守屋栄夫	3月28日	1通・ペン	10-366
書簡〔就職幹旋御礼、京城にて逓信局長・電気課長に面会など近況報告〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和5年カ12月29日 (1930)	1通・ペン	10-328
書簡〔就職先照会への返答〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和6年2月13日 (1931)	1通・ペン	86-355-10
書簡〔婚姻祝電御礼、丹野様は採用不可能ほか〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和6年11月18日 (1931)	1通・ペン	86-346-31
書簡〔品物御礼〕 萱場深造・みわ→守屋栄夫・好子	昭和6年12月23日 (1931)	1通・ペン	86-351-19
書簡〔朝鮮でも今井田総監の後に出る噂あり〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和6年12月31日 (1931)	1通・ペン	86-346-37
書簡〔大臣就任祈願、当地都市計画と進展について報告〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和7年6月18日 (1932)	1通・ペン	84-13-7
書簡〔訪問時の御礼〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和7年10月28日 (1932)	1通・ペン	83-1-30
書簡〔八年度予算が府会を通過〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和8年3月29日 (1933)	1通・ペン	84-22-5
書簡〔西鮮電気統制の具体化、姫路電球株式会社からの依頼、図書館評議員に任命〕 萱場深造→守屋栄夫	昭和8年8月28日 (1933)	1通・ペン	84-15-1
書簡〔父親の転職について相談依頼〕 萱場益→守屋栄夫	昭和7年2月2日 (1932)	1通・ペン	84-14-18
書簡〔朝鮮木浦市内のパノラマ写真〕 萱場益→守屋栄夫	2月3日	1通・ペン	84-3-64
葉書〔年賀状〕 萱場柔寿郎→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-221
葉書〔お世話になりお礼〕 萱場春寿→守屋栄夫	明治44年8月8日 (1911)	1枚・墨書	81-304
葉書〔指導御礼〕 萱場勇之進→守屋栄夫	大正15年12月26日 (1926)	1枚・ペン	86-322-66
葉書〔近況報告〕 萱場譲→守屋栄夫	昭和5年8月9日 (1930)	1枚・ペン	86-322-281
書簡〔残暑見舞い〕 萱場譲→守屋栄夫	昭和7年8月24日 (1932)	1通・墨書	83-3-22
葉書〔帰京予定〕 萱場譲→守屋栄夫	昭和8年3月30日 (1933)	1枚・ペン	86-323-86
書簡〔朝鮮農会主催綿作講習会に出席、嫁の件御礼〕 萱場譲→守屋栄夫	昭和8年6月6日 (1933)	1通・墨書	83-6-37
書簡〔産業技手に昇格〕 萱場譲→守屋栄夫	昭和8年8月12日 (1933)	1通・墨書	84-18-8
書簡〔梨送付、政治家の朝鮮認識の研究について抱負〕 萱場譲→守屋栄夫	昭和8年12月22日 (1933)	1通・墨書	84-17-4
書簡〔年賀状〕 唐沢俊樹→守屋栄夫	大正7年1月1日 (1918)	1通・ペン・活版	82-3-379
書簡〔お悔やみ状〕 辛島知己→守屋栄夫	昭和4年3月 (1929)	1通・墨書	9-28-30
葉書〔当選祝い〕 狩□□夫→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	7-147-222
葉書〔近況報告〕 川井章知→守屋栄夫	昭和2年1月 (1927)	1枚・ペン	85-7-5-6
書簡〔当選祝い〕 川井章知→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1通・墨書	10-407-94
葉書〔当選祝い〕 河合瑞吉→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1枚・墨書	7-147-239

葉書〔議会近況、華府で川上氏と接見〕 河上清→守屋栄夫	昭和3年5月11日(1928)	1枚・ペン	86-323-27
葉書〔礼状〕 川上健→守屋栄夫	11月12日	1枚・墨書	84-1-43
葉書〔大津町通過の際面会希望〕 川上七郎→守屋栄夫	大正6年11月19日(1917)	1枚・ペン	81-731
葉書〔出張予定伺い〕 川上七郎→守屋栄夫	6月28日	1枚・墨書	82-3-149
書簡〔崔禹洛請願事件の顛末と対応への提言〕 川上昌保→守屋栄夫〔秘書官〕	大正9年7月11日(1920)	1通・墨書	9-24-19
葉書〔年賀状〕 川口南海雄→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-85
葉書〔栄転祝い〕 川越壮介→守屋栄夫	大正8年8月17日(1919)	1枚・墨書	9-10-15
葉書〔暑中見舞い〕 川崎末五郎→守屋栄夫	大正6年8月13日(1917)	1枚・ペン	81-237
葉書〔挨拶状〕 川崎末五郎→守屋栄夫	大正6年8月16日(1917)	1枚・ペン	81-88
葉書〔郡長生活気苦勞、昨日郡市長会議を終え飯坂温泉へ〕 川崎末五郎→守屋栄夫	大正7年6月28日(1918)	1枚・ペン	82-3-233
書簡〔お悔やみ状〕 川崎末五郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-14-102
葉書〔喪中〕 川島軍之丞→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-65
書簡〔就職幹旋御礼〕 川島覚→守屋栄夫	昭和4年1月10日(1929)	1通・墨書	6-55-27
書簡〔今回の政変、有資格者の年次逐増〕 川島覚→守屋栄夫	昭和4年7月30日(1929)	1通・墨書	5-17-5
書簡〔当選祈願〕 川島覚→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書	10-412-36
葉書〔栄転祝い〕 川島良平→守屋栄夫	大正6年5月5日(1917)	1枚・墨書	81-190
書簡〔新潟県立村上中学校騒擾の責をとり校長退職、就職幹旋依頼〕 川島良平→守屋栄夫	大正15年11月10日(1926)	1通・墨書	78-23-2
葉書〔長官随行で下関の築港見学〕 川島→守屋栄夫	昭和2年4月1日(1927)	1枚・ペン	84-1-88
書簡〔賭場取締りのため守屋の転任願い〕 川瀬元倫→守屋栄夫	明治41年10月6日(1908)	1通・墨書	6-46-38
書簡〔北海道未開墾地開拓計画について〕 川瀬元倫→守屋栄夫	大正6年7月9日(1917)	1通・墨書	83-14-205
書簡〔居留地簡閲点呼願〕 川瀬元倫→守屋栄夫	大正8年4月20日(1919)	1通・墨書・ペン	5-26-38
書簡〔戸籍抄本入用、日本セメント会社建設事務所宛に発送〕 川瀬元倫→守屋栄夫	昭和8年10月21日(1933)	1通・墨書	5-24-27
書簡〔尊像修復御礼〕 川瀬元倫→守屋栄夫	昭和8年12月6日(1933)	1通・墨書	84-17-11
書簡〔お悔やみ状〕 川添種一郎→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-10
書簡〔御悔御礼〕 川田さくの→守屋栄夫	昭和8年6月29日(1933)	1通・ペン	5-24-11
葉書〔年賀状〕 河中俊四郎〔自治研究主幹・良書普及会主〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-223
葉書〔年賀状〕 川西実三→守屋栄夫	大正14年12月28日(1925)	1枚・ペン	84-6-128
書簡〔見送り御礼、選挙当選祈願〕 川西実三→守屋栄夫	昭和3年2月5日(1928)	1通・ペン	10-414-43

書簡〔帰国挨拶〕 川西→守屋栄夫	大正15年4月25日 (1926)	1通・ペン	85-3-6-16
葉書〔香港までの航海の様子〕 川西→守屋栄夫	昭和2年4月8日(1927)	1枚・ペン	84-1-76
葉書〔東洋デーの様子など〕 川西→守屋栄夫	昭和2年6月4日(1927)	1枚・ペン	86-130
書簡〔イタリアについて報告〕 川西→守屋栄夫	昭和2年7月7日(1927)	1通・ペン	85-7-6-34
葉書〔知識階級職業紹介を視察、長官とモスコーに随 行〕 川西→守屋栄夫	昭和2年7月22日(1927)	1枚・ペン	84-3-91
書簡〔長官以下4名到着〕 川西→守屋栄夫	昭和2年8月14日(1927)	1通・ペン	85-7-6-33
葉書〔暑中見舞い、関東庁・総督府・満鉄との関係作 り〕 川西→守屋栄夫	昭和2年8月6日(1927)	1枚・ペン	84-3-90
葉書〔当選祝い〕 川原徳蔵→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-408-113-1
葉書〔第二十三回台湾始政記念日に際し〕 川淵治馬→ 守屋栄夫	大正7年6月17日(1918)	1枚・ペン	82-3-230
葉書〔健康伺い〕 川淵治馬→守屋栄夫	大正7年10月3日(1918)	1枚・ペン	82-3-119
葉書〔健康祝い〕 川淵治馬→守屋栄夫	大正7年4日(1918)	1枚・墨書	82-3-154
書簡〔渡辺警部補について〕 川淵治馬→守屋栄夫	9月13日	1通・墨書	84-30-12
葉書〔当選祝い〕 川辺健太郎→守屋栄夫	昭和3年カ3月17日 (1928)	1枚・ペン	86-329-44
葉書〔徳島の様子〕 河辺・瀧本・土屋政一・柊崎善一・大畑宏 一→守屋栄夫	昭和2年11月10日 (1927)	1枚・ペン	84-1-111
書簡〔当選祝い、礼状筆耕願い〕 川村猪佐夫→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-412-32
葉書〔健康伺い〕 川村資法・文子→守屋栄夫	昭和4年6月21日(1929)	1枚・墨書	84-6-11
葉書〔挨拶状〕 川村清一→守屋栄夫	大正5年6月21日(1916)	1枚・ペン	81-55
葉書〔年賀状〕 川村清一→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-224
書簡〔祝電御礼、友人の選挙〕 河村富正→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1通・墨書	83-14-53
書簡〔氏家氏採用の件〕 河村富正→守屋栄夫	大正6年5月20日(1917)	1通・墨書	83-14-193
葉書〔欠礼挨拶〕 川村直衛→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-37
葉書〔健康伺い〕 川村文子→守屋栄夫	昭和4年6月20日(1929)	1枚・ペン	84-6-12
葉書〔年賀状〕 川村文子→守屋栄夫	昭和5年1月1日(1930)	1枚・墨書	84-1-5
書簡〔水質試験成績表〕 川村〔衛生部長〕→守屋栄夫(部 長)	大正15年3月6日(1926)	1通・ペン・活版	85-8-6
葉書〔挨拶状〕 川村→守屋栄夫	昭和2年1月26日(1927)	1枚・ペン	86-322-115
書簡〔新年挨拶〕 川面松衛→守屋栄夫	大正15年1月5日(1926)	1通・墨書	85-3-8-4
書簡〔枢院講演感想〕 韓準錫→守屋栄夫	大正8年10月3日(1919)	1通・墨書	9-25-3
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 韓準錫→守屋栄夫	大正13年9月24日 (1924)	1通・墨書	85-1-10
書簡〔転任祝い〕 韓準錫→守屋栄夫	大正13年9月(1924)	1通・墨書	85-1-32-2

葉書〔健康伺い〕 韓準錫→守屋栄夫	大正14年11月14日 (1925)	1枚・墨書	84-6-86
書簡〔明太子発送〕 韓準錫→守屋栄夫	大正15年12月23日 (1926)	1通・墨書	85-7-2-8
書簡〔大正天皇奉悼詩〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和2年1月10日 (1927)	1通・墨書	85-7-5-9
葉書〔欠礼挨拶〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和2年1月 (1927)	1枚・墨書	85-7-2-25
書簡〔当選祝い〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1通・墨書	10-245
葉書〔暑中見舞い〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和3年7月28日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-242
書簡〔即位大礼を祝す漢詩〕 韓準錫〔洪原郡州翼面長〕→ 守屋栄夫	昭和3年11月4日 (1928)	1通・墨書	10-13
書簡〔即位大礼を祝す漢詩〕 韓準錫〔洪原郡州翼面長〕→ 守屋栄夫	昭和3年11月10日 (1928)	1通・墨書	10-187
葉書〔明太子送付にて挨拶状〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和3年カ12月6日 (1928)	1枚・ペン	86-322-159
葉書〔暑中見舞い〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和4年8月7日 (1929)	1枚・墨書	86-293
葉書〔来鮮歓迎〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和4年10月13日 (1929)	1枚・墨書	86-324-86
書簡〔当地産明太子の配送の件〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和4年12月14日 (1929)	1通・墨書	5-14-82
書簡〔当選祝い〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5年2月 (1930)	1通・墨書	10-412-33
葉書〔挨拶状〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5年4月29日 (1930)	1枚・ペン	86-74
書簡〔朝鮮の状況について〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5年5月1日 (1930)	1通・墨書	10-405-2
葉書〔御来鮮につき挨拶状〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5年6月7日 (1930)	1枚・墨書	86-1-27
書簡〔面会願い〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5庚午仲夏6月 (1930)	1通・墨書	86-346-4
葉書〔残暑見舞い〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5年9月3日 (1930)	1枚・墨書	86-322-271
葉書〔挨拶状〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和5年6月カ (1930)	1枚・墨書	86-1-26
葉書〔支那視察の平穏安堵〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和6年6月11日 (1931)	1枚・墨書	86-322-287
書簡〔再会御礼〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和6年10月13日 (1931)	1通・墨書	86-358-2
葉書〔著作物送付〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和8年1月カ19日 (1933)	1枚・ペン	86-323-13
書簡〔訪問通知〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和 2月3日	1通・墨書	10-412-34
書簡〔明太子贈答〕 韓準錫→守屋栄夫	昭和 12月19日	3通・墨書	10-329
葉書〔記念端書御礼〕 韓準錫→守屋栄夫	8月10日	1枚・ペン	84-3-32
葉書〔朝鮮二十周年記念博覧会開催報告〕 韓春信→守 屋栄夫	昭和4年カ9月23日 (1929)	1枚・ペン	84-3-20
書簡〔当選祝い〕 姜昌基→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	7-147-84
書簡〔当選祈願〕 姜昌基→守屋栄夫	昭和3年2月17日 (1928)	1通・墨書	10-414-38

書簡〔当選祈願〕 姜昌基→守屋栄夫	昭和5年2月16日(1930)	1通・墨書	10-409-39
書簡〔当選祝い〕 姜昌基→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-409-40
葉書〔暑中見舞い〕 姜弼成→守屋栄夫	大正15年8月16日(1926)	1枚・ペン	86-25
書簡〔面会御礼〕 姜星熙→守屋栄夫	昭和庚午年5月14日(1930)	1通・墨書	7-147-92
書簡〔学資金等の配慮御礼〕 咸善哉→守屋栄夫	昭和5年10月27日(1930)	1通・墨書	10-79
書簡〔朝鮮総督府は貸下金を鮮銀・殖銀に供給、支援感謝〕 韓相龍→守屋栄夫	大正15年7月5日(1926)	1通・ペン	85-3-1-6
書簡〔株主総会の様子、重役会に一任〕 韓相龍→守屋栄夫	昭和3年4月5日(1928)	1通・墨書	10-204
書簡〔相談時の希望口外無用〕 韓相龍→守屋栄夫	昭和4年カ7月3日(1929)	1通・墨書	6-52-1
書簡〔斎藤閣下に取りなし依頼〕 韓相龍→守屋栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1通・墨書	85-4-1-22
書簡〔面会依頼〕 韓相龍→守屋栄夫	昭和5年10月8日(1930)	1通・墨書	10-43
書簡〔朝鮮信託会社の件〕 韓相龍→守屋栄夫	昭和6年12月13日(1931)	1通・墨書	86-351-15
書簡〔就職斡旋依頼〕 咸徳一→守屋栄夫	昭和6年1月30日(1931)	1通・墨書	86-356-37
書簡〔平南産搾菓送付〕 咸徳一→守屋栄夫	昭和8年12月27日(1933)	1通・墨書	85-6-22
書簡〔「新同胞二対スル吾人ノ態度」送付御礼〕 咸鏡北道城津郡守→守屋栄夫	大正10年10月18日(1921)	1通・墨書	5-29-5
書簡〔今野氏の振込代金決済〕 株式会社漢城銀行東京支店→守屋栄夫	大正15年12月18日(1926)	1通・ペン	85-3-4-37
書簡〔金1600円領収〕 漢城銀行東京支店→守屋栄夫	昭和2年7月19日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-6-27
書簡〔高常氏の推挙で検閲師勤務〕 神田海之助→守屋栄夫	大正8年3月8日(1919)	1通・墨書	84-19-5
葉書〔面会不能お詫び〕 J.Kanda→守屋栄夫	大正12年3月18日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-45
書簡〔学校新築工事、田原町青年と生徒の試合〕 神戸京→守屋栄夫	大正6年2月6日(1917)	1通・墨書	84-20-149
書簡〔本会寄付御礼〕 ガントレット恒→守屋栄夫	昭和7年1月11日(1932)	1通・ペン・墨書	83-4-4
書簡〔当選祝い〕 菅野健吉→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・墨書	7-147-16
書簡〔給料の支払い方について〕 菅野広吉→守屋栄夫	昭和7年10月29日(1932)	1通・ペン	83-1-36
書簡〔令息伴男・高橋志つか結婚祝い〕 菅野清吉→守屋栄夫	昭和7年カ4月24日(1932)	1通・墨書	83-1-57
書簡〔水沼氏の就職斡旋依頼〕 菅野清吉→守屋栄夫	昭和7年6月21日(1932)	1通・墨書	84-13-9
葉書〔当選祝い〕 菅野長三郎→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・ペン	7-147-383

書簡〔大松沢村下町農事共同作業場設置問題仲裁依頼〕 簡野博志→守屋栄夫	昭和8年6月10日(1933)	1枚・ペン	83-6-32
書簡〔小野田留吉就職斡旋依頼、宮城県出身官吏推薦依頼、負債整理法実施にともない佐々木氏昇格依頼〕 簡野博志→守屋栄夫	昭和8年6月23日(1933)	1通・墨書・ペン	83-6-14
書簡〔志賀実就職斡旋依頼〕 菅野皆可→守屋栄夫	大正5年3月26日(1916)	1通・墨書	84-20-27
葉書〔時候挨拶〕 菅野康→守屋栄夫	昭和3年9月26日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-219
書簡〔お悔やみ状〕 蒲原久四郎→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和4年2月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-22
書簡〔当選祝い〕 蒲原久四郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・ペン	7-147-132
電報〔入閣について意見〕 キ→守屋栄夫	昭和8年7月27日(1933)	1通・謄写版	84-26-7

き

葉書〔挨拶状〕 木井田勝市→守屋栄夫	昭和5年10月12日(1930)	1枚・ペン	86-1-5
葉書〔ホノルル到着予定〕 木内きやう→守屋栄夫	昭和3年7月27日(1928)	1枚・ペン	86-325-78
葉書〔就業継続〕 木浦亮→守屋栄夫	昭和3年8月10日(1928)	1枚・ペン	86-325-65
葉書〔当選祈願〕 木尾良清→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1枚・墨書	7-147-397
書簡〔揮毫依頼〕 祇園寺太郎→守屋栄夫	大正7年9月20日(1918)	1通・墨書	84-9-18
書簡〔お悔やみ状〕 其角仲蔵→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-61
書簡〔お悔やみ状〕 桔梗芳吉→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	9-18-2
書簡〔出張講演依頼〕 桔梗芳吉→守屋栄夫	昭和4年5月4日(1929)	1通・ペン	85-4-2-14
書簡〔青果送付、昭和連盟時代、インフレの恵得〕 桔梗芳吉→守屋栄夫	昭和8年10月15日(1933)	1通・墨書・ペン	5-24-38
葉書〔役所の仕事状況〕 菊岡敏→守屋栄夫	昭和4年3月1日(1929)	1通・ペン	86-324-18
書簡〔当選祝い〕 菊田茂之丞→守屋栄夫	昭和3年2月26日(1928)	1通・墨書	10-359
書簡〔新年挨拶、ハーモニカ奏者としての活躍〕 菊田辰三→守屋栄夫	大正14年12月31日(1925)	1通・ペン	85-10-67
書簡〔当選祝い〕 菊田辰三→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書・ペン	10-408-42
書簡〔当選祈願〕 菊谷順彦→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書	10-409-42
書簡〔お悔やみ状〕 菊地厳→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・ペン	5-25-10-2-3
書簡〔外地勤務を希望、朝鮮通信局転勤に対する斡旋依頼〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和4年8月28日(1929)	1通・墨書	5-17-7
葉書〔緊縮運動講演会開催のため各地巡回〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和4年10月11日(1929)	1枚・ペン	86-324-88
書簡〔詫び状、口添え依頼〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和4年10月3日(1929)	1通・ペン	85-4-1-40
葉書〔恵贈品御礼〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和4年11月3日(1929)	1枚・ペン	86-324-75
葉書〔長岡到着、巡回経過〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和4年11月11日(1929)	1枚・ペン	86-324-80

葉書〔視察旅行より帰郷予定通知〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和4年12月6日(1929)	1枚・ペン	86-324-63
葉書〔新潟の積雪量甚大〕 菊池襲→守屋栄夫	昭和6年3月6日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-322
葉書〔古川中学校での講演の件〕 菊池勝之助→守屋栄夫	大正14年10月17日(1925)	1枚・墨書	86-39
葉書〔帰朝祝い〕 菊池賢治→守屋栄夫	大正14年10月16日(1925)	1枚・ペン	84-6-100
葉書〔暑中見舞い〕 菊池賢治→守屋栄夫	大正15年8月20日(1926)	1枚・ペン	86-16
書簡〔暑中見舞い、写真(宮城県蚕糸試験場)〕 菊池幸志→守屋栄夫	昭和7月26日	1通・ペン	86-322-170
書簡〔昭和連盟創立総会関係〕 菊池三弥→守屋栄夫	昭和4年11月25日(1929)	1通・ペン	5-31-26
書簡〔年賀状〕 菊池三弥→守屋栄夫	昭和5年1月9日(1930)	1通・ペン	84-1-36
書簡〔塩釜別荘の件、選挙対策報告〕 菊池三弥→守屋栄夫	昭和6年4月13日(1931)	1通・ペン	86-346-8
書簡〔金問題世話依頼〕 菊池三弥→守屋栄夫	昭和7年9月19日(1932)	1通・ペン	83-11-26
書簡〔昭忠碑の件、大会報告〕 菊池三弥→守屋栄夫	昭和 11月11日	1通・墨書	10-153
書簡〔弔電御礼〕 菊池三弥→守屋栄夫	12月18日	1通・墨書	7-147-27
書簡〔お悔やみ状〕 菊地茂→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-4
書簡〔当選祝い〕 菊地茂→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-409-57
書簡〔仙台市は女教員多過ぎ、取り計らい依頼〕 菊池純一郎→守屋栄夫	大正6年4月13日(1917)	1通・墨書	84-20-98
書簡〔広部友義の将来指導依頼〕 菊池純一郎→守屋栄夫	大正15年9月21日(1926)	1通・墨書	85-3-3-3
書簡〔労働者について意見〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和2年10月5日(1927)	1通・墨書	85-7-4-9
書簡〔仙台での講演会について〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和2年11月10日(1927)	1通・墨書	85-9-106
葉書〔国会議論後援、依頼の件進展伺い〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和3年4月1日(1928)	1枚・ペン	86-329-28
書簡〔お悔やみ状〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-25-6
書簡〔宿及学資御礼他〕 菊池純一郎→守屋栄夫・奥様	昭和4年9月2日(1929)	1通・墨書	85-4-5-6
書簡〔上京予定の友人接見依頼〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和6年3月21日(1931)	1通・墨書	86-357-13
書簡〔令息伴男結婚祝い〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和7年4月24日(1932)	1通・墨書	83-1-55
書簡〔姻戚者の就職依頼〕 菊池純一郎→守屋栄夫	昭和 12月14日	1通・墨書	5-14-2
書簡〔当選祈願〕 菊池俊諦→守屋栄夫	昭和3年2月8日(1928)	1通・墨書	10-414-46
書簡〔当選祝い〕 菊池俊諦→守屋栄夫	昭和5年2月27日(1930)	1通・墨書	10-409-58
書簡〔総督府事務官勅任辞退につき〕 菊池慎三→守屋栄夫	大正9年11月16日(1920)	1通・墨書	81-752
書簡〔お悔やみ状〕 菊池武継→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-3

書簡〔当選祝い〕 菊池武文→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-14
書簡〔お悔やみ状〕 菊池武文→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-43
書簡〔当選祝い〕 菊池武文→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-409-59
書簡〔当選祝い〕 菊池武芳→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-266
書簡〔お悔やみ状〕 菊池武芳→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-28-33
書簡〔先書は菊池へ依頼他〕 菊池忠三郎→守屋栄夫	大正8年2月9日(1919)	1通・墨書	84-19-17
書簡〔米国よりの帰京日程変更通知〕 菊池忠三郎→守屋栄夫	大正8年10月13日(1919)	1通・墨書	9-25-29
書簡〔長岡商業学校に就職報告〕 菊池伝→守屋栄夫	大正8年10月28日(1919)	1通・墨書	84-9-13
葉書〔鳴子にて静養〕 菊池伝→守屋栄夫	大正11年9月12日(1922)	1枚・ペン	9-27-35
葉書〔暑中見舞い〕 菊池伝→守屋栄夫	大正8月11日	1枚・墨書	9-10-54
葉書〔帰省〕 菊池留蔵→守屋栄夫	大正7年4月9日(1918)	1枚・ペン	82-3-46
葉書〔栄進祝い〕 菊池留蔵→守屋栄夫	大正8年8月14日(1919)	1枚・ペン	9-10-25
葉書〔徳夫京大卒業他家族の近況報告〕 菊池笛彦→守屋栄夫	大正 7月20日	1枚・ペン	82-3-287
書簡〔お悔やみ状〕 菊池平五郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-77
書簡〔就職幹旋依頼〕 菊池稔→守屋栄夫	昭和2年12月15日(1927)	1通・墨書	85-7-3-10
書簡〔議会活動への支持、息子大学入学幹旋依頼〕 菊池衛久→守屋栄夫	昭和6年4月17日(1931)	1通・ペン	86-354-11
書簡〔当選祝い〕 菊池要五郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-364
葉書〔ロンドンから帰国、熱田丸乗船予定〕 菊池嘉男→守屋栄夫	大正13年12月22日(1924)	1枚・ペン	84-2-8
書簡〔正月よりの消息文〕 菊原喜三郎→守屋栄夫	大正8年1月14日(1919)	1通・墨書	84-19-25
葉書〔挨拶状〕 菊正・渡辺→守屋栄夫	大正15年6月27日(1926)	1枚・墨書	85-3-1-26
書簡〔恵贈品御礼〕 菊山琴→守屋栄夫	昭和8年3月30日(1933)	1通・墨書	84-22-3
書簡〔郡長職不自由、府知事無理解〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正6年7月21日(1917)	1通・墨書	83-14-7
書簡〔佐藤内務部長と木内知事との人格比較〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正6年12月29日(1917)	1通・墨書	83-7-21
葉書〔相楽郡の国宝廻りを思い立つ〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正7年10月19日(1918)	1枚・ペン	82-3-215
葉書〔帰京祝い〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正8年4月12日(1919)	1枚・ペン	82-3-24
葉書〔各県兵事課長会議〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正8年5月4日(1919)	1枚・ペン	82-3-40
葉書〔栄転祝い〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正8年8月15日(1919)	1枚・ペン	9-10-30
書簡〔義洲役所処理改革すべき〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正9年1月27日(1920)	1通・ペン	83-10-13

書簡〔お悔やみ状〕 菊山嘉男→守屋栄夫・令夫人	大正12年3月18日 (1923)	1通・ペン	18-14-13
書簡〔アメリカと日本の軍備制度の違い〕 菊山嘉男→ 守屋栄夫	大正13年9月16日 (1924)	1通・ペン	85-8-1
葉書〔ベルリン到着報告〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正13年11月13日 (1924)	1枚・ペン	84-2-45
葉書〔ウィーンからの挨拶状〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正13年11月27日 (1924)	1枚・ペン	84-2-3
葉書〔ロンドンの選挙〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正14年11月4日 (1925)	1枚・ペン	84-2-46
葉書〔京都滞在近況報告〕 菊山嘉男→守屋栄夫	大正 2月23日	1枚・ペン	82-3-249
葉書〔議会解散、当選祈願〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和3年1月23日 (1928)	1枚・ペン	84-3-76
葉書〔暑中見舞い〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和3年7月31日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-252
書簡〔お悔やみ状〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-29-5
葉書〔台湾からの絵葉書受領〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和4年4月11日 (1929)	1枚・ペン	86-327-34
葉書〔暑中見舞い〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和4年7月23日 (1929)	1枚・ペン	86-324-2
葉書〔京城水害被害状況通知〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和5年7月24日 (1930)	1枚・ペン	86-322-276
葉書〔渡鮮挨拶〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和5年12月19日 (1930)	1枚・ペン	86-1-43
書簡〔内地へ進出希望、総監実現へ御奮発を切望〕 菊 山嘉男→守屋栄夫	昭和6年12月20日 (1931)	1通・ペン	86-346-45
書簡〔内地の政治情勢報知につき依頼〕 菊山嘉男→守 屋栄夫	昭和7年7月23日 (1932)	1通・ペン	83-3-41
葉書〔恵贈品御礼〕 菊山嘉男→守屋栄夫・令夫人	昭和8年3月25日 (1933)	1枚・ペン	86-323-87
書簡〔卒業生中希望者を各工場へ勤務お断り〕 菊山 嘉男→守屋栄夫	昭和8年5月28日 (1933)	1通・墨書	84-27-16
書簡〔高橋右郎君身上の件、採用の決定、忠北道山岸 君の件〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和8年6月22日 (1933)	1通・墨書	5-24-10
書簡〔選挙応援〕 菊山嘉男→守屋栄夫	昭和 2月7日	1通・ペン	10-39
葉書〔挨拶状〕 菊山・徳夫・野田・太郎→守屋栄夫	大正15年9月 (1926)	1枚・墨書	86-206
書簡〔当選祝い〕 木皿長参郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-407-13
葉書〔府県課長に栄転祝い〕 岸鉦一→守屋栄夫	大正8年8月14日 (1919)	1枚・ペン	9-10-37
書簡〔岸鉦一履歴書〕 岸鉦一→守屋栄夫	大正8年10月18日 (1919)	1通・墨書	83-10-26
書簡〔お悔やみ状〕 岸鉦一→守屋栄夫	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-14
葉書〔喪中〕 岸勇一	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・ペン・活版	86-326-77
書簡〔近況報告〕 紀志嘉実→守屋栄夫	大正5年9月16日 (1916)	1通・墨書	84-20-51
書簡〔内務省監察官栄転祝い〕 紀志嘉実→守屋栄夫	大正6年5月2日 (1917)	1通・墨書	83-14-13
葉書〔年賀状〕 紀志嘉実→守屋栄夫	大正7年1月1日 (1918)	1枚・墨書	82-3-386

葉書〔近況報告〕 紀志嘉実→守屋栄夫	大正7年10月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-120
葉書〔京都・大阪旅行報告〕 岸→守屋栄夫	明治44年8月29日 (1911)	1枚・墨書	81-314
葉書〔半島水産株式会社創設挨拶〕 岸川於菟松〔半島水産株式会社〕	昭和15年7月(1940)	1枚・活版	18-14-202
書簡〔中学校長の件、長官の件〕 岸本康道→守屋栄夫	大正7年7月24日(1918)	1通・墨書	5-26-2
葉書〔三宅博士が樺太中央試験場長に内定、東大早川君の件〕 喜多孝治→守屋栄夫	昭和4年4月21日(1929)	1枚・ペン	86-327-24
葉書〔奈良の感想〕 木田市二郎→守屋栄夫	大正14年10月21日 (1925)	1枚・ペン	84-6-99
書簡〔在京中の高配御礼〕 木田忠雄→守屋栄夫	昭和6年1月5日(1931)	1通・ペン	86-356-33
葉書〔喪中〕 木田徹郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-74
書簡〔結婚挨拶〕 木田徹郎→守屋栄夫	昭和5年2月15日(1930)	1通・墨書	10-409-56
書簡〔当選祝い〕 北川他家雄→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1通・墨書	10-409-38
書簡〔当選祈願〕 北川博造→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書・ペン	10-409-37
書簡〔中身欠〕 北野高彌→守屋栄夫	昭和2年12月15日 (1927)	1通・墨書	85-7-3-16
書簡〔外交史の講演の件〕 北島良一→守屋栄夫	昭和3年5月22日(1928)	1通・ペン	10-404-7
書簡〔当選祈願〕 北島良一→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-409-35
書簡〔当選祝い〕 北島良一→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-34
葉書〔鮎は目下人工孵化中、先月の水害につき〕 北島〔島根県八頭郡役所〕→守屋栄夫	大正7年10月21日 (1918)	1枚・ペン	82-3-179
葉書〔モスコー到着〕 北原安頼→守屋栄夫	昭和2年7月25日(1927)	1枚・ペン	84-3-83
書簡〔京大文科学長藤代禎輔より紹介状〕 北村正次郎→守屋栄夫	大正5年8月27日(1916)	1通・墨書	84-20-10
書簡〔当選祝い〕 北村千代治→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-71
葉書〔年賀状〕 木津無庵→守屋栄夫	大正5年12月30日 (1916)	1枚・墨書	81-118
書簡〔朝鮮全土に新訳仏教聖典普及の件、総督閣下相談依頼〕 木津無庵→守屋栄夫	大正15年11月13日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-12
書簡〔岐阜県仏教会主催社会講座開催案内〕 木津無庵→守屋栄夫	大正15年11月10日 (1926)	1通・墨書	78-23-1
葉書〔お悔やみ状〕 橘川志げよ→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1枚・ペン	9-28-24
葉書〔当選祝い〕 橘川東枝→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-338
書簡〔当選祈願〕 橘川東枝→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-409-36
葉書〔徽章および費用振替送付御礼〕 橘川東枝→守屋栄夫	昭和5年9月17日(1930)	1枚・墨書	86-1-94
葉書〔朝鮮への旅〕 紀藤閑之介→守屋栄夫	昭和3年10月29日 (1928)	1枚・ペン	84-3-40

書簡〔昭和連盟維持会員加入〕 木藤重徳→守屋栄夫	昭和5年1月31日(1930)	1通・墨書	10-409-30
葉書〔当選祝い〕 木名瀬彰→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・ペン	7-147-205
書簡〔西沢氏との面会内容報告他〕 木名瀬彰→守屋栄夫	昭和5年6月27日(1930)	1通・ペン	10-411-13
葉書〔暑中見舞い〕 木南正宣→守屋栄夫	大正7年8月4日(1918)	1枚・ペン	82-3-164
葉書〔スウェーデン皇太子来訪の件〕 木下義介→守屋栄夫	大正15年10月7日(1926)	1枚・ペン	84-5-38
書簡〔講演会の段取り〕 木下貞太郎→守屋栄夫	大正7年7月26日(1918)	1通・墨書	83-9-41
書簡〔講演筆記校閲〕 木下貞太郎→守屋栄夫	大正8年10月13日(1919)	1通・墨書	9-25-10
書簡〔「欧米の旅より」謝辞〕 木下貞太郎→守屋栄夫	大正14年カ11月11日(1925)	1通・墨書	85-10-19
書簡〔著書の注文〕 木下貞太郎→守屋栄夫	大正14年11月26日(1925)	1通・墨書	85-10-93
書簡〔邦家調査につき挨拶〕 木下成太郎→守屋栄夫	昭和5年4月30日(1930)	1通・墨書	10-405-17
書簡〔真堂君上下幹旋依頼〕 木下成太郎→守屋栄夫	昭和8年8月2日(1933)	1通・墨書	84-18-18
書簡〔国民政治のため法律学学ぶ〕 木下成太郎→守屋栄夫	昭和8年8月26日(1933)	1通・墨書	84-18-1
葉書〔諸方面の落ち着きなく〕 木下成太郎→守屋栄夫	昭和8年9月28日(1933)	1枚・ペン	86-323-60
葉書〔文化協会出席〕 木下成太郎→守屋栄夫	昭和8年10月18日(1933)	1枚・ペン	86-323-46
書簡〔当選祝い〕 木原斎〔宮城県佐沼中学校長〕→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・ペン	10-307
葉書〔お悔やみ状〕 木原斎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・ペン	5-12-14
書簡〔当選祝い〕 木原斎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・ペン	10-409-55
書簡〔木原尚〔塾教養方針〕 木原よね→守屋栄夫	大正7年2月19日(1918)	5通・墨書・活版	5-26-30
書簡〔農村の生活〕 木原よね→守屋栄夫	大正7年4月26日(1918)	1通・墨書	84-9-29
書簡〔年末挨拶〕 君島清吉→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-3-4-11
書簡〔松浦衛男氏と令嬢の身元調査〕 君島清吉→守屋栄夫	昭和8年5月16日(1933)	1通・墨書	84-15-11
葉書〔当選祝い〕 木村市郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	7-147-298
書簡〔お悔やみ状〕 木村一定→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-28-10
書簡〔講演の感想、立候補への賛意と協力〕 木村勝也→守屋栄夫	昭和3年2月1日(1928)	1通・墨書	9-16-48
書簡〔中越刑事採用報告、貴官の推挙にて採用依頼〕 木村謙蔵→守屋栄夫	大正7年4月7日(1918)	1通・ペン	84-9-27
書簡〔お悔やみ状〕 木村康哉→守屋栄夫	昭和4年3月17日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-13
書簡〔ワシントン滞在案内〕 木村惇→守屋栄夫	大正12年10月1日(1923)	1通・ペン	6-60-6

書簡〔「神ながら」雑誌会員制依頼他〕 木村潤→守屋栄夫	昭和3年12月9日(1928)	1通・墨書	10-413-18
書簡〔米国西部地方宮城県出身者へ資金援助〕 木村惇→守屋栄夫カ	昭和5年10月29日(1930)	1通・ペン	7-147-159
葉書〔類焼に遭う、上京に変更なし〕 木村竹治→守屋栄夫	昭和4年1月12日(1929)	1枚・ペン	86-328-10
葉書〔弁護士事務所開設祝い〕 木村匡→守屋栄夫	昭和3年5月23日(1928)	1枚・ペン	86-322-190
葉書〔年賀状〕 木村強→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-204
書簡〔お悔やみ状〕 木村強→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	5-12-21
葉書〔ご機嫌伺い〕 木村東次郎→守屋栄夫	昭和4年2月20日(1929)	1枚・ペン	86-324-24
葉書〔年賀状〕 木村通→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-203
書簡〔お悔やみ状〕 木村時次郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-27-27
書簡〔当選祝い〕 木村徳太郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-50
葉書〔当選祝い〕 木村直記→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1枚・墨書	7-147-325
葉書〔当選祝い〕 木村直記→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-326
葉書〔お悔やみ状〕 木村信夫→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	5-12-22
書簡〔お悔やみ状〕 木村元→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-14
書簡〔木村元に対する流言報告〕 木村元→守屋栄夫	昭和8年7月20日(1933)	1通・ペン	84-26-18
葉書〔当選祝い〕 木村正義→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書・活版	7-147-273
書簡〔挨拶〕 木村又市郎→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・墨書	84-11-9
書簡〔お悔やみ状〕 木村実→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-6
葉書〔年賀状〕 木村茂平衡→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-205
書簡〔お悔やみ状〕 木村茂兵衛→守屋栄夫	昭和4年3月19日(1929)	1通・墨書	5-8-1
葉書〔健康祈願〕 木村→守屋栄夫	大正8年5月21日(1919)	1枚・ペン	82-3-29
書簡〔選挙運動激励〕 紀本参次郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	7-147-147
葉書〔仙台到着挨拶〕 紀本参次郎→守屋栄夫	昭和6年2月23日(1931)	1枚・墨書・活版	86-322-341
書簡〔役人・新政党に対する不平〕 木本秀一→守屋栄夫	大正15年12月7日(1926)	1通・ペン	85-3-4-26
書簡〔不逞鮮人の暴挙遭遇見舞い〕 気山嘉男→守屋栄夫	大正8年9月6日(1919)	1通・墨書	9-17-12
葉書〔望月圭介氏から供物送付の連絡〕 鳩居堂支店→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1枚・ペン	5-25-9-3
書簡〔お悔やみ状〕 清谷恵眼→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-6
書簡〔三男武雄普通文官試験合格依頼〕 清野亀吉→守屋栄夫	昭和3年11月22日(1928)	1通・墨書	10-413-26
書簡〔選挙応援〕 清野金太郎→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1通・ペン	85-9-115
書簡〔お悔やみ状〕 清野金太郎→守屋栄夫・よしみ	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	5-27-29

書簡〔平壤赴任所感〕 清野金太郎→守屋栄夫	昭和7年11月9日(1932)	1通・ペン	83-4-10
書簡〔職業紹介所へ再就職報告〕 清野金太郎→守屋栄夫	昭和8年カ4月9日(1933)	1通・ペン	85-11-3
書簡〔平壤での近況報告〕 清野金太郎→守屋栄夫	昭和8年11月11日(1933)	1通・ペン	84-29-3
葉書〔転任祝い〕 清野長太郎→守屋栄夫	大正8年8月15日(1919)	1枚・墨書	9-10-41
葉書〔朝鮮神宮参内〕 清野→守屋栄夫	大正14年10月16日(1925)	1枚・ペン	84-6-79
葉書〔博多到着〕 清野→守屋栄夫	大正15年6月6日(1926)	1枚・ペン	84-3-124
書簡〔台湾視察〕 清野→守屋栄夫	昭和4年6月20日(1929)	1通・ペン	84-6-13
葉書〔年賀状〕 切山篤太郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-64
書簡〔お悔やみ状〕 切山篤太郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-177
書簡〔当選祈願〕 喜和一郎→守屋栄夫	昭和5年2月18日(1930)	1通・墨書	10-409-33
書簡〔内地視察の書籍に題字希望〕 金英鎮→守屋栄夫	大正14年12月16日(1925)	1通・墨書	85-10-72
書簡〔歳暮送付〕 金英鎮→守屋栄夫	大正14年12月25日(1925)	1通・謄写版	85-3-8-1
書簡〔お悔やみ状〕 金英鎮→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-9-7
書簡〔選挙応援〕 金永哲→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書	10-103
書簡〔過去の清算とお詫び〕 金漢秀→守屋栄夫	昭和7年12月13日(1932)	1通・ペン	84-14-27
書簡〔お悔やみ状〕 金完鎮→守屋栄夫	昭和4年3月(1929)	1通・墨書・活版	9-28-12
書簡〔滞京中の芳志御礼、「東遊所感」同封〕 金完変→守屋栄夫	大正11年4月3日(1922)	1通・墨書	79-7-42
書簡〔息子金仁龍の朝鮮殖産銀行への就職斡旋依頼〕 金漢陸→守屋栄夫	大正15年1月5日(1926)	1通・墨書	78-23-52
書簡〔墓地配慮御礼〕 金基煥→守屋栄夫	昭和3年10月10日(1928)	1通・墨書	10-193
書簡〔東京高等工業学校在学中の安俊植氏指導依頼〕 金基煥→守屋栄夫	昭和4年1月12日(1929)	1通・墨書・ペン	6-56-40
書簡〔片倉生命保険会社の保険料送金報告、小為替金受領証書〕 金琪節→守屋栄夫	昭和10年7月13日(1935)	1通・ペン	18-14-209-1
書簡〔朝鮮銀行に小生宛留置の件〕 金基善→守屋栄夫	大正12年3月14日(1923)	1通・ペン	80-2-1-18
葉書〔阿蘭陀旅行挨拶〕 金基善→守屋栄夫	大正12年3月カ25日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-46
葉書〔当地景況報告〕 金基善→守屋栄夫	大正12年7月16日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-34
葉書〔病氣回復挨拶〕 金基善→守屋栄夫	大正12年7月22日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-33
葉書〔旅行挨拶〕 金基善→守屋栄夫	大正12年8月3日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-7

葉書〔ベルリンより挨拶〕 金基善→守屋栄夫	大正12年8月14日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-3
葉書〔訪問挨拶〕 金基善→守屋栄夫	大正12年8月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-30
葉書〔警察での探索首尾報告〕 金基善→守屋栄夫	大正12年9月8日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-22
葉書〔手荷物の件お詫び〕 金基善→守屋栄夫	大正12年 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-27
書簡〔中身欠〕 金基善→守屋栄夫	昭和2年12月16日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-24
書簡〔金重世の長男就職斡旋依頼〕 金基善→守屋栄夫	昭和3年11月17日 (1928)	1通・ペン	10-413-19
書簡〔朝鮮人をめぐる事件、借入報告〕 金基善→守屋 栄夫	昭和4年8月8日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-12
書簡〔財務局所管土地利用の件〕 金基善→守屋栄夫	昭和4年8月11日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-13
書簡〔朴君への現金融通協力依頼〕 金基善→守屋栄夫	昭和4年8月23日 (1929)	1通・墨書	5-17-20
書簡〔教訓御礼、墓地の件〕 金基善→守屋栄夫	昭和4年10月21日 (1929)	1通・ペン	5-31-12
書簡〔小生復職の件御礼〕 金基善→守屋栄夫	昭和4年12月27日 (1929)	1通・ペン	10-403-14
書簡〔金鳳洙の漁場問題につき指導願い、身上の事につ き今村局長へ一言依頼〕 金基善→守屋栄夫	昭和5年4月11日 (1930)	1通・墨書	10-403-9
書簡〔佐藤正孝・金鳳洙氏の共同経営契約証書差入の 件〕 金基善→守屋栄夫	昭和5年6月26日 (1930)	1通・墨書	10-411-27
書簡〔佐藤・金氏間における共同経営契約成立依頼〕 金基善→守屋栄夫	昭和5年7月2日 (1930)	1通・ペン・墨書	10-411-16
書簡〔京城林野を東拓に売渡の件〕 金基善→守屋栄夫	昭和5年7月30日 (1930)	1通・墨書	10-410-12
書簡〔金氏漁場問題進捗報告〕 金基善→守屋栄夫	昭和6年1月2日 (1931)	1通・墨書	86-356-32
書簡〔山林買受の件〕 金基善→守屋栄夫	昭和6年6月22日 (1931)	1通・ペン	86-351-25
葉書〔年賀状〕 金琪部→守屋栄夫	大正16年1月1日 (1927)	1枚・活版	85-7-2-31
書簡〔朝鮮滞在中訪問御礼〕 金琪部→守屋栄夫	昭和3年6月30日 (1928)	1通・墨書	10-404-10
電報〔お悔やみ状〕 金琪部→守屋栄夫	昭和4年3月18日 (1929)	1通・ペン	9-26-15
書簡〔礼状受領御礼〕 金琪部→守屋栄夫	昭和4年7月24日 (1929)	1通・墨書	6-52-7
書簡〔水利組合の件徐相熙君感謝、陳情書準備報告 他〕 金琪部→守屋栄夫	昭和5年7月2日 (1930)	1通・墨書	10-411-19
書簡〔為替送付通知〕 金琪部→守屋栄夫	昭和6年1月18日 (1931)	1通・墨書	86-359-5
書簡〔祭費金500円送呈〕 金琪部→守屋栄夫	昭和6年11月24日 (1931)	1通・墨書	86-346-28
書簡〔御歳暮300円也〕 金琪部→守屋栄夫	昭和6年12月 (1931)	1通・墨書	86-347-14
書簡〔新年挨拶・息子の近況報告他〕 金琪部→守屋栄夫	昭和7年1月4日 (1932)	1通・墨書	85-5-29
書簡〔議会解散承り1万円送金〕 金琪部→守屋栄夫	昭和7年1月22日 (1932)	1通・墨書	83-1-38

書簡〔息子全快の件〕 金琪部→守屋栄夫	昭和8年3月14日(1933)	1通・墨書	84-10-23
書簡〔息子貴宅へご厄介、移転報告〕 金琪部→守屋栄夫	昭和8年6月23日(1933)	1通・墨書	83-6-21
書簡〔暑中見舞い〕 金琪部→守屋栄夫	昭和8年7月12日(1933)	1通・墨書	84-26-22
書簡〔金種卓生活費につき小切手送呈〕 金琪部→守屋栄夫	昭和8年12月30日(1933)	1通・墨書	84-17-31
書簡〔上京の際の面談希望〕 金居勇→守屋栄夫	昭和8年10月6日(1933)	1通・墨書	84-12-41
書簡〔帰着報告〕 金在滢→守屋栄夫	大正9年2月11日(1920)	1通・墨書	81-647
電報〔航海安全祈願〕 KINJUNSHO→守屋栄夫	大正12年1月21日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-19
書簡〔御大典奉祝〕 金潤晶・金純遍→守屋栄夫	昭和3年11月10日(1928)	1通・ペン	84-3-56
書簡〔お悔やみ状〕 金潤晶→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-25-10-30
書簡〔お悔やみ状〕 金昌洙→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-16
電報〔弔電〕 キンシヨク→守屋栄夫	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-77
葉書〔昭和連盟への加盟希望〕 金正基→守屋栄夫	昭和4年9月21日(1929)	1枚・ペン	84-3-26
書簡〔朝鮮産品送付〕 金相万→守屋栄夫	大正15年12月25日(1926)	1通・墨書	85-7-2-10
書簡〔栄進祝い〕 金東準→守屋栄夫	大正12年9月28日(1923)	1通・墨書	80-39-1-34
電報〔健康祈願〕 キンメイシユン→守屋栄夫	大正12年1月28日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-3
書簡〔貴台渡欧後会員一同奮闘、朝鮮産胡桃及松実送呈他〕 金明濬→守屋栄夫	大正12年4月18日(1923)	1通・ペン	80-2-2-18
書簡〔朝鮮の文物考查取入れ御礼〕 金明濬→守屋栄夫	大正12年7月26日(1923)	1通・ペン	80-2-1-44
書簡〔震災に関して〕 金明濬→守屋栄夫	大正12年カ9月15日(1923)	1通・ペン	6-60-17
書簡〔陞進祝い〕 金明濬→守屋栄夫	大正12年9月25日(1923)	1通・墨書	80-39-1-15
書簡〔中身欠〕 金明濬→守屋栄夫	大正14年12月22日(1925)	1通・墨書	85-10-25
書簡〔粗品拝呈〕 金明濬→守屋栄夫	大正15年12月23日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-34
書簡〔選挙応援〕 金明濬〔国民協会長〕→守屋栄夫	昭和3年2月6日(1928)	1通・墨書	10-28
書簡〔お悔やみ状〕 金明濬→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-31
書簡〔年末挨拶〕 金明濬→守屋栄夫	昭和4年12月15日(1929)	1通・墨書	5-14-91
書簡〔国民教会長辞職挨拶〕 金明濬→守屋栄夫	昭和5年1月29日(1930)	1通・墨書	10-409-51
書簡〔欠礼挨拶〕 金明濬→守屋栄夫	昭和6年6月13日(1931)	1通・墨書	86-352-26

書簡〔歳暮御礼〕 金明潜→守屋栄夫	昭和7年12月22日 (1932)	1通・墨書	84-14-37
書簡〔石明瑄の新選祝い〕 金明潜→守屋栄夫	昭和8年6月7日(1933)	1通・墨書	83-6-35
書簡〔健康祈願(英語)〕 Kinyuusho→守屋栄夫	大正12年5月30日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-36
書簡〔当選祝い〕 金龍八→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-409-41

く

書簡〔当選祝い〕 久木田辰次郎→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・墨書	10-407-48
書簡〔選挙運動応援〕 久木田辰次郎→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書・ペン	7-147-112
書簡〔仙台市会議員改選落選〕 日下要一→守屋栄夫	昭和8年4月27日(1933)	1通・墨書	85-11-32
書簡〔小牛田農林学校林科卒業、朝鮮方面への就職幹 旋依頼〕 日下鹿治→守屋栄夫	昭和4年2月7日(1929)	1通・墨書	6-56-35
書簡〔選挙応援〕 日下部胤人→守屋栄夫	昭和3年2月15日(1928)	1通・墨書	10-72
書簡〔お悔やみ状〕 草場栄喜→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-59
書簡〔当選祝い〕 草場辰巳→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-25
書簡〔当選祝い〕 草場辰巳→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-380-1
書簡〔当選祝い〕 草間秀雄〔朝鮮総督府財務局員〕→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-238
葉書〔当選祝い〕 葛岡清蔵→守屋栄夫	昭和3年(1928)	1枚・ペン	7-147-303
書簡〔迷惑お詫び〕 葛岡常治→守屋栄夫	昭和5年5月15日(1930)	1通・ペン	10-8
書簡〔兄死去通知〕 楠見清次→守屋栄夫	昭和4年5月28日(1929)	1通・墨書	85-4-4-44
葉書〔卒業生・退職者について、愛知県出張〕 楠本権三 郎→守屋栄夫	大正5年4月3日(1916)	1枚・ペン	81-150
葉書〔校長を率いての視察〕 楠本権三郎→守屋栄夫	大正6年2月27日(1917)	1枚・ペン	81-131
葉書〔群馬県下体操科成績の件〕 楠本権三郎→守屋栄夫	大正6年3月2日(1917)	1枚・ペン	81-130
書簡〔学力調査執行の件〕 楠本権三郎→守屋栄夫	大正6年4月20日(1917)	1通・ペン	84-20-96
葉書〔小学校一行横浜軍港見学〕 楠本権三郎→守屋栄夫	大正6年7月14日(1917)	1枚・ペン	81-216
葉書〔三重奈良滋賀愛知方面へ学事視察〕 楠本権三郎 →守屋栄夫	大正7年3月24日(1918)	1枚・墨書	82-3-229
書簡〔御礼状〕 楠本権三郎〔千葉県香取郡佐原尋常高等小 学校〕→守屋栄夫	昭和2年12月31日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-29
書簡〔当選祝い〕 楠本権三郎〔千葉県香取郡教育会長〕→守 屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・ペン	10-407-60
書簡〔当選祝い〕 楠本権三郎〔千葉県香取郡佐原尋常高等 小学校〕→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-66
書簡〔当選祝い〕 楠本権三郎〔千葉県東葛飾郡船橋尋常高 等小学校〕→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	7-147-114

書簡〔退職願い提出予定〕 楠本権三郎→守屋栄夫	昭和8年9月5日(1933)	1通・ペン	84-25-35
葉書〔静岡県下学事視察、富士登山予定〕 楠本権三郎→守屋栄夫	大正	1枚・ペン	82-3-289
葉書〔政府財政援助の件〕 百済文輔→守屋栄夫	大正15年6月28日(1926)	1枚・ペン	86-23
書簡〔お悔やみ状〕 百済文輔→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-10
書簡〔お悔やみ状〕 工藤英一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-11
葉書〔暑中見舞い、印刷物恵贈御礼〕 工藤英一→守屋栄夫	昭和4年8月15日(1929)	1枚・ペン	86-300
書簡〔東京方面への就職斡旋依頼〕 工藤豊太郎→守屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1通・ペン	10-408-88
書簡〔県産林檎送付〕 工藤豊太郎→守屋栄夫	昭和8年12月27日(1933)	1通・ペン	85-6-5
書簡〔当選祝い〕 工藤文太郎→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書	10-205
電報〔旅行安全祈願〕 クニトモ→守屋栄夫	大正12年1月23日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-16
葉書〔暑中見舞い〕 久保三郎→守屋栄夫	昭和4年8月13日(1929)	1枚・墨書	86-298
書簡〔当選祝い〕 久保三郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	7-147-113
葉書〔訪問依頼〕 久保豊四郎→守屋栄夫	大正7年11月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-118
葉書〔訪問期待〕 久保豊四郎→守屋栄夫	大正7年12月16日(1918)	1枚・ペン	82-3-221
書簡〔午餐欠席通知〕 久保要蔵→守屋栄夫	大正10年10月22日(1921)	1通・墨書	5-29-8
葉書〔松井氏明日上京〕 久保→守屋栄夫	大正7年11月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-121
書簡〔お悔やみ状〕 窪倉松次郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-60
書簡〔辞任の件、修身科教員補欠の件〕 久保田勝弥→守屋栄夫	大正5年12月10日(1916)	1通・墨書	84-20-62
書簡〔転任の斡旋依頼〕 久保田勝弥→守屋栄夫	大正6年2月1日(1917)	1通・墨書	84-20-124
書簡〔お悔やみ状〕 窪田教太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-24
書簡〔内務省監察官への栄転祝い〕 久保田政周→守屋栄夫	大正6年5月22日(1917)	1通・墨書	83-14-168
書簡〔金剛山神溪寺にて写生、総督令息一行と探訪〕 久保田天南→守屋栄夫〔秘書官〕	大正10年9月3日(1921)	1通・墨書	9-24-11
書簡〔樺太関係職森村氏採用〕 熊谷巖→守屋栄夫	昭和7年9月24日(1932)	1通・墨書	83-11-25
葉書〔年賀状〕 熊谷襲太郎→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-229
書簡〔お悔やみ状〕 熊谷精→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-28
書簡〔お悔やみ状〕 熊谷千胤→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	6-54-18
葉書〔鳴子温泉で脚気療養〕 熊谷徳次郎→守屋栄夫	大正14年10月7日(1925)	1枚・ペン	86-32
葉書〔当選祈願〕 熊谷徳次郎→守屋栄夫	昭和3年2月8日(1928)	1枚・ペン	10-414-17

書簡〔お悔やみ状〕 熊谷徳次郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-9-10
書簡〔選挙応援〕 熊谷徳次郎→守屋栄夫	昭和5年2月6日(1930)	1通・ペン	10-124
書簡〔送金の件〕 熊谷徳次郎→守屋栄夫	昭和5年2月15日(1930)	1通・墨書・ペン	10-123
書簡〔留守宅へ1000円送金〕 熊谷徳次郎→守屋栄夫	昭和5年3月4日(1930)	1通・ペン	10-368
書簡〔出世祝い〕 熊谷英夫→守屋栄夫	大正8年10月7日(1919)	1通・墨書	9-25-7
葉書〔上京時に訪問希望〕 熊谷美登利→守屋栄夫	大正15年5月5日(1926)	1枚・墨書	84-2-27
書簡〔お悔やみ状〕 熊谷美登利→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-31
葉書〔暑中見舞い〕 熊谷美登利→守屋栄夫	昭和6年5月7日(1931)	1枚・墨書	86-322-289
書簡〔挨拶〕 熊谷美登利→守屋栄夫	昭和8年4月17日(1933)	1通・墨書	84-10-7
葉書〔挨拶〕 熊谷→守屋栄夫・徳夫	大正14年11月27日(1925)	1枚・ペン	84-6-60
葉書〔石森氏を副社長に推薦〕 熊谷→守屋栄夫	大正15年9月24日(1926)	1枚・ペン	86-243
葉書〔朝鮮博覧会に関して〕 熊谷→守屋栄夫	昭和4年9月18日(1929)	1枚・ペン	84-3-24
葉書〔原首相没後の東北〕 熊谷→守屋栄夫	7月22日	1枚・ペン	86-324-11
葉書〔選挙前の形勢良好〕 熊谷拓殖日報→守屋栄夫	昭和2年11月20日(1927)	1枚・ペン	84-3-63
書簡〔通常郡会開会〕 熊田淳→守屋栄夫	大正5年2月22日(1916)	1通・墨書	84-20-33
葉書〔喪中〕 熊田信太郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-69
書簡〔お悔やみ状〕 熊野隆男→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-1
書簡〔フランスの国内状況〕 隈部種樹→守屋栄夫	昭和1年12月28日(1926)	1通・ペン	85-3-3-43
葉書〔年賀状〕 隈部種樹→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1枚・ペン	84-5-34
書簡〔当選祝い〕 倉沢良彦→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン	10-397
書簡〔近況および当選祈願〕 倉沢良彦→守屋栄夫	昭和3年2月13日(1928)	1通・ペン・墨書・謄写版	6-21
書簡〔庁内人事異動、来年度の予算構成多忙、朝鮮関係〕 倉橋鋳→守屋栄夫	大正12年7月24日(1923)	1通・ペン	80-2-1-45
書簡〔粗葉送付〕 倉橋鋳→守屋栄夫	大正13年12月21日(1924)	1通・ペン	85-8-4
葉書〔欠礼挨拶〕 倉橋右介→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	85-7-2-34
電報〔お宅無事報告〕 KURAHASI→守屋栄夫	大正12年9月19日(1923)	1通・謄写版・ペン	80-40-1-16
書簡〔青森県山林払下げ出願書類取りまとめ出京〕 蔵元雄右→守屋栄夫	昭和7年5月2日(1932)	1通・墨書	84-24-17
書簡〔軍部の暴挙は立憲政治の否認、米穀統制管理あるいは専売の提案〕 蔵元雄右→守屋栄夫	昭和7年6月7日(1932)	1通・墨書	84-13-21
葉書〔熱海到着〕 倉元要一→守屋栄夫	昭和3年カ8月21日(1928)	1枚・ペン	86-325-72

葉書〔帰郷報告〕 倉元要一→守屋栄夫	昭和4年8月3日 カ (1929)	1枚・ペン	86-282
葉書〔十日頃帰京〕 倉元→守屋栄夫	昭和3年12月7日 (1928)	1枚・ペン	84-3-43
書簡〔佐伯正氏の転任意向伺い〕 栗田五百枝→守屋栄夫	昭和4年7月20日 (1929)	1通・墨書	6-52-10
葉書〔暑中見舞い、住宅組合講習会御礼〕 栗竹藤松〔長野県庁社会局〕→守屋栄夫	大正15年7月16日 (1926)	1枚・ペン	86-322-40
書簡〔当選祝い〕 栗本栄次郎→守屋栄夫	昭和5年2月25日 (1930)	1通・墨書	10-122
葉書〔視察安全祈願〕 久留島新司→守屋栄夫	大正12年9月18日 (1923)	1枚・ペン	6-60-10
葉書〔当選祝い〕 久留島新司→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1枚・ペン・活版	10-408-53
書簡〔お悔やみ状〕 黒川巖→守屋栄夫	昭和4年3月14日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-28
書簡〔恵贈品御礼〕 黒川巖→守屋栄夫	昭和5年12月28日 (1930)	1通・ペン	7-147-65
書簡〔返信遅延お詫び〕 黒川巖→守屋栄夫	昭和5年カ12月21日 (1930)	1通・ペン	10-321
葉書〔講習会出席、小野寺君辞令拝受〕 黒川一治→守屋栄夫	大正8年7月28日 (1919)	1通・ペン	82-3-267
電報〔弔電〕 黒川一治→モリヤサカフ	大正12年3月16日 (1923)	1通・ペン	18-14-70
書簡〔出馬挨拶〕 黒木吉郎→守屋栄夫	昭和3年1月27日 (1928)	1通・ペン	10-408-66
書簡〔年賀状、近況報告〕 黒木吉郎→守屋栄夫	昭和6年1月14日 (1931)	1通・墨書	86-359-29
葉書〔黒木氏と朝鮮談義の件〕 黒木→守屋栄夫	大正15年7月2日 (1926)	1枚・墨書	86-322-44
書簡〔数学教師の雇用相談〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	大正6年4月7日 (1917)	1通・墨書	84-20-119
葉書〔見送り御礼〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	大正6年7月11日 (1917)	1枚・ペン	81-218
書簡〔学年平均点について〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	大正6年9月14日 (1917)	1通・墨書	83-14-152
葉書〔栄転祝い〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	大正8年8月20日 (1919)	1枚・ペン	9-10-10
葉書〔内務省社会局部長就任祝い〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	大正13年9月15日 (1924)	1枚・ペン	85-1-24
書簡〔当選祝い〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1通・ペン	10-408-29
葉書〔挨拶〕 黒河内与四郎→守屋栄夫	昭和4年9月24日 (1929)	1枚・ペン	84-3-21
書簡〔就職希望先推薦依頼〕 黒沢一次→守屋栄夫	昭和5年12月15日 (1930)	1通・ペン	7-147-25
書簡〔平安北道の学校に就職挨拶、当地方への森林鉄道敷設工事の朝鮮人工・筏人夫入込の景況報告〕 黒沢一次→守屋栄夫	昭和6年5月18日 (1931)	1通・ペン	86-352-57
書簡〔お悔やみ状〕 黒沢退蔵→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-33-7
書簡〔政変の祝詞〕 黒沢藤三郎→守屋栄夫	昭和6年12月17日 (1931)	1通・墨書	86-346-49
葉書〔北海道社会事業視察の件〕 黒沢秀雄→守屋栄夫	大正15年11月19日 (1926)	1枚・ペン	86-230

書簡〔御住居所有者辻暢太郎氏より買受け注意〕 黒須龍太郎→守屋栄夫	大正6年9月21日(1917)	1通・墨書	81-383
書簡〔お悔やみ状〕 黒田貞介→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-17
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 桑田熊蔵→守屋栄夫	昭和3年4月24日(1928)	1枚・ペン	86-329-21
書簡〔議会解散により多忙〕 桑野健治→守屋栄夫	昭和5年1月24日(1930)	1通・墨書	10-410-16
書簡〔朝鮮取引所問題〕 桑野健治→守屋栄夫	昭和5年5月14日(1930)	1通・墨書	7-147-102
書簡〔依頼の件解決求む〕 桑野健治→守屋栄夫	昭和6年3月22日(1931)	1通・墨書	86-357-4
書簡〔衆議院議員当選祝い、弁護士開業挨拶〕 桑原芳樹→守屋栄夫	昭和3年5月19日(1928)	1通・墨書	10-408-148
葉書〔栄転祝い〕 郡茂徳→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1枚・ペン	81-187
葉書〔栄転祝い〕 郡茂徳→守屋栄夫	大正8年8月13日(1919)	1枚・ペン	9-10-32
書簡〔喪中挨拶〕 郡茂徳→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1通・墨書	85-3-4-1
書簡〔手紙の内容了承〕 郡茂徳→守屋栄夫	昭和8年4月28日(1933)	1通・墨書	85-11-23
け			
電報〔弔電〕 慶候人→モリヤサコウ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-71
書簡〔朝鮮総督招待欠席通知〕 京城日接社→守屋栄夫	大正10年10月24日(1921)	1通・墨書	5-29-10
書簡〔転職幹旋御礼〕 権星玉→守屋栄夫	大正14年12月20日(1925)	1通・墨書	85-10-79
書簡〔お祝い状〕 権星玉→守屋栄夫	昭和6年8月18日(1931)	1通・墨書	86-348-56
書簡〔当選祝い〕 権泰用→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-44
書簡〔送別挨拶〕 権泰容→守屋栄夫	昭和3年6月(1928)	1通・墨書	10-404-11
書簡〔お悔やみ状〕 権泰容→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-11-7
書簡〔昭和連盟加入の件、申込書〕 権泰容→守屋栄夫	昭和4年11月27日(1929)	1通・墨書	5-14-33
書簡〔当選祝い〕 権泰容→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	9-16-67
書簡〔中枢院参議について〕 権泰容→守屋栄夫	昭和5年3月30日(1930)	1通・墨書	10-405-9
葉書〔東上時の御礼、各地を視察した後渡鮮〕 権寧国→守屋栄夫	大正15年3月3日(1926)	1枚・ペン	84-2-37
葉書〔渡鮮時の安全祈願、帰郷予定通知〕 権寧洵→守屋栄夫	昭和4年10月22日(1929)	1枚・ペン	86-324-57
書簡〔お悔やみ状〕 厳允燮→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-9
書簡〔中身欠〕 厳俊源→守屋栄夫	昭和2年12月13日(1927)	1通・墨書	85-7-3-15
書簡〔往安宮の件斎藤在京中に面会依頼他〕 厳俊源→守屋栄夫	昭和5年7月29日(1930)	1通・墨書	10-410-9

書簡〔朝鮮より礼品送付〕 巖昌燮→守屋栄夫	大正14年12月20日 (1925)	1通・墨書	85-10-75
書簡〔お悔やみ状〕 巖柱明→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	5-12-82
書簡〔斎藤総督が朝鮮を去り茫然〕 巖柱明→守屋栄夫	昭和6年8月19日 (1931)	1通・墨書	86-348-26
書簡〔震災後の東京の状況〕 巖佞源→守屋栄夫	大正12年9月14日 (1923)	1通・墨書・ペン	6-60-11
こ			
書簡〔選挙通信費として粗品送付〕 呉相根→守屋栄夫	昭和5年2月13日 (1930)	1通・墨書	10-410-18
葉書〔年賀状〕 呉相根	昭和 1月1日	1枚・墨書	86-326-3
書簡〔お悔やみ状〕 后鎮衡→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	9-11-13
書簡〔選挙応援〕 呉斗煥→守屋栄夫	昭和 2月4日	1通・墨書	10-105
書簡〔朝鮮産りんご送付〕 呉斗煥〔京城府庁〕→守屋栄夫	12月19日	1通・墨書	7-147-39
書簡〔当選祝い、社会問題取り組み激励〕 小池九一→ 守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1通・墨書	9-16-58
葉書〔香港での近況〕 小池平→守屋栄夫	昭和4年5月30日 (1929)	1枚・ペン	84-6-37
書簡〔揮筆依頼〕 小池太郎左衛門→守屋栄夫	昭和5年6月24日 (1930)	1通・墨書	10-406-23
書簡〔間島における日支軍警衝突事件につき顛末報告〕 小池太郎左衛門→守屋栄夫	昭和5年11月15日 (1930)	1通・墨書	10-284
書簡〔お悔やみ状〕 小池則之→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	9-28-6
書簡〔検事石田基遺児教育資金拠出願い〕 故石田基君 遺児教育資金募集発起人→守屋栄夫	昭和1年12月27日 (1926)	1通・活版	85-3-6-10
書簡〔石田基君死去による遺児教育協力依頼〕 故石 田基君遺児教育資金募集発起人→守屋栄夫	昭和1年12月29日 (1926)	1通・活版・墨書	85-7-2-1-29
葉書〔本日到着、近況報告〕 小泉賢次郎→守屋栄夫	大正7年11月23日 (1918)	1枚・ペン	82-3-356
書簡〔講和会議の懸案〕 小泉賢次郎→守屋栄夫	大正8年2月23日 (1919)	1通・墨書・活版	84-19-15
葉書〔宮城県特産白菜送付御礼〕 小泉〔執事〕→守屋栄 夫	昭和5年12月22日 (1930)	1枚・墨書	86-1-63
書簡〔白菜恵贈御礼〕 小泉→守屋栄夫	昭和8年12月7日 (1933)	1通・墨書	84-17-25
葉書〔当選祝い〕 小出枕→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1枚・墨書	7-147-305
葉書〔御礼状〕 鯉沼節吾→守屋栄夫	昭和2年4月10日 (1927)	1枚・ペン	84-5-13
葉書〔喪中〕 洪竣杓→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-15
書簡〔お悔やみ状〕 康處洪→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	5-27-5
書簡〔劣化のため開披不能〕 洪聖測→守屋栄夫・御奥様	昭和5年12月30日 (1930)	1通・墨書	10-320
書簡〔李王職長官の件〕 洪爽泳→守屋栄夫	昭和8年4月5日 (1933)	1通・ペン	83-12-3
葉書〔大礼記念〕 黄徳純→守屋栄夫	昭和3年11月12日 (1928)	1枚・墨書	84-3-52

書簡〔年賀状〕 黄徳純→守屋栄夫	昭和8年1月6日(1933)	1通・墨書	85-5-24
書簡〔水害慰問御礼、不正貸出事件のため自動車学校 営業中止〕 黄徳純→守屋栄夫	昭和8年7月28日(1933)	1通・ペン	84-15-8
書簡〔後援依頼〕 黄徳純→守屋栄夫	昭和8年9月2日(1933)	1通・墨書	84-18-45
書簡〔朝鮮滞在時の御礼〕 黄徳純→守屋栄夫	昭和8年12月11日 (1933)	1通・墨書	84-16-16
書簡〔劣化のため開披不能〕 黄徳純→守屋栄夫		1通・墨書	10-304
書簡〔囑託任官御礼〕 康弼祐→守屋栄夫	大正13年6月30日 (1924)	1通・墨書	5-30-21
書簡〔殿下にお供し温泉旅行他近況報告〕 康弼祐→守 屋栄夫	大正15年1月19日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-39
書簡〔皇学会新組織確立及び雑誌「神ながら」維持員 規定応諾願い〕 皇学会→守屋栄夫	昭和7年2月11日(1932)	1通・墨書	83-1-10
書簡〔宮坂義雄氏を貴局へ採用依頼、中央海外協会監 事和田稠氏を貴局囑託員として採用依頼〕 向上佑 吉→守屋栄夫	大正15年5月4日(1926)	1通・墨書	78-23-43-2
書簡〔朴との会見・演説内容〕 向上佑吉→守屋栄夫	大正 2月24日	1通・墨書・ペン	9-20-3
書簡〔弔電御礼〕 向後尚太郎→守屋栄夫	昭和4年12月29日 (1929)	1通・墨書	10-403-12
書簡〔饗応招待と花輪代金御礼〕 向後尚太郎→守屋栄 夫	昭和7年6月26日(1932)	1通・墨書	84-13-33
書簡〔訪問御礼〕 甲島文雄→守屋栄夫	大正14年12月2日 (1925)	1通・墨書	85-10-80
書簡〔特別なる引立て御礼、年末挨拶〕 甲島文雄→守 屋栄夫	昭和1年12月30日 (1926)	1通・ペン	85-7-2-1-16
葉書〔鹿児島県社会事業団体並びに名所視察の件〕 甲島文雄→守屋栄夫	昭和2年6月23日(1927)	1枚・ペン	86-90
書簡〔当選祝い〕 甲田純之助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-12
書簡〔お悔やみ状〕 甲田純之助→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	6-54-11
書簡〔徳夫様と相談の上郷地及び前任地へ依頼他選 挙関係〕 甲田純之助→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	10-412-25
書簡〔郷里及前任地へ援助依頼の件〕 甲田純之助→守 屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	10-412-27
書簡〔当選祝い〕 甲田純之助→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-412-24
書簡〔お悔やみ状〕 甲田陸三郎→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	9-18-5
葉書〔年賀状〕 甲田機業場→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・活版	86-322-193
葉書〔弁護士事務所開設祝い〕 郷津茂樹→守屋栄夫	昭和3年5月11日(1928)	1枚・ペン	86-322-189
葉書〔内務省社会局部長就任祝い〕 郷津義勝→守屋栄 夫	大正13年9月15日 (1924)	1枚・墨書	85-1-31
書簡〔お悔やみ状〕 河野吾郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-15-15
書簡〔当選祝い〕 河野吾郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・ペン	10-412-31

書簡〔著書恵贈御礼および感想〕 河野節夫→守屋栄夫	大正10年10月26日 (1921)	1通・墨書・ペン	5-29-1
書簡〔松井氏の採用について〕 河野節夫〔朝鮮総督府臨時国勢調査課長〕→守屋栄夫	昭和5年4月11日 (1930)	1通・ペン	10-405-14
葉書〔挨拶〕 河野節夫→守屋栄夫	9月21日	1枚・ペン	84-2-52
葉書〔当選祝い〕 河野節夫→守屋栄夫		1枚・ペン	7-147-282
書簡〔総幹部の人事異動の件〕 河野卓爾→守屋栄夫	昭和4年12月15日 (1929)	1通・ペン	5-14-15
葉書〔当選祝い〕 河野正義〔大日本国民中学会〕→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1枚・墨書	7-147-290
書簡〔お悔やみ状〕 河野通知→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	6-57-63
書簡〔立太子礼に関する件〕 河野〔西春日井郡長〕→守屋栄夫	大正5年11月16日 (1916)	1通・墨書・謄写版	84-20-7
葉書〔三笠保存会応援につき〕 河野・正志→守屋栄夫	昭和5年9月17日 (1930)	1枚・ペン	86-1-47
葉書〔当選祝い〕 光野岩吉商店→守屋栄夫	昭和5年2月21日 (1930)	1枚・墨書・活版	7-147-371
葉書〔ドイツ旅行挨拶〕 高武公美→守屋栄夫	大正12年3月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-36
葉書〔着英挨拶〕 高武公美→守屋栄夫	大正12年5月6日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-29
葉書〔訪問挨拶〕 高武公美→守屋栄夫	大正12年7月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-38
書簡〔ベルリンより近況報告〕 高武公美→守屋栄夫	大正12年7月30日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-3
書簡〔欧州巡りの近況報告〕 高武公美→守屋栄夫	大正12年8月14日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-34
書簡〔仏前お供え御礼〕 高武公美→守屋栄夫	大正15年9月8日 (1926)	1通・ペン	85-3-7-4
書簡〔年末挨拶〕 高武公美→守屋栄夫	昭和2年12月24日 (1927)	1通・活版	85-7-3-4
葉書〔会議のため入城中〕 高武公美→守屋栄夫	昭和5年6月24日 (1930)	1枚・ペン	84-4-9
葉書〔大物の弁護、「明るい政治」に関して〕 高武公美→守屋栄夫	昭和8年10月19日 (1933)	1枚・墨書	5-24-25
葉書〔在浦中の御礼〕 河本大作〔浦塩司令部〕→守屋栄夫	大正 4月17日	1枚・ペン	82-3-181
書簡〔知事面談、亀川氏来訪ほか近況報告〕 古賀孝久→守屋栄夫	大正7年5月14日 (1918)	1通・墨書	83-7-16
書簡〔当選祝い〕 古賀孝久→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-408-30
葉書〔年賀状〕 小口雅雄商店→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-6
書簡〔お悔やみ状〕 小口雅雄商店→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-66
書簡〔朴雲亀紹介、面会依頼〕 国分象太郎→守屋栄夫〔秘書官〕	大正4月18日	1通・墨書	9-24-4
書簡〔お悔やみ状〕 国分寛也→守屋様	大正12年3月18日 (1923)	1通・墨書	18-14-20
書簡〔お悔やみ状〕 国分寛也→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	9-18-14

書簡〔「哀悼悲記亡き妻を思ふて」送付〕 小坂権太郎→守屋栄夫	昭和7年17日(1932)	1通・謄写版	84-13-12
葉書〔栄転祝い〕 児崎為槌→守屋栄夫	大正8年8月16日(1919)	1枚・ペン	9-10-28
書簡〔千葉県小見川警察署長就任挨拶〕 越川貫一→守屋栄夫	昭和4年8月22日(1929)	1通・墨書	5-17-12
葉書〔挨拶状〕 小島幸治→守屋栄夫	大正15年10月26日(1926)	1枚・ペン	86-257
葉書〔講習会の件〕 小島幸治→守屋栄夫	昭和2年2月19日(1927)	1枚・墨書	86-322-96
葉書〔暑中見舞い〕 小島幸治→守屋栄夫	昭和2年7月31日(1927)	1枚・ペン	86-105
葉書〔白石にて講演の件〕 小島幸治→守屋栄夫	昭和2年8月24日(1927)	1枚・ペン	86-178
書簡〔当選祝い〕 小島幸浩→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-16
葉書〔早大史学部で英国社会史開講の件〕 小島幸治→守屋栄夫	昭和5年4月16日(1930)	1枚・ペン	86-70
葉書〔帰省報告〕 小島幸治→守屋栄夫	昭和5年8月27日(1930)	1枚・ペン	86-322-269
書簡〔上京時の御礼と立候補応援申し出〕 小島精一→守屋栄夫	昭和2年11月8日(1927)	1通・墨書	85-9-118
書簡〔お悔やみ状〕 小島精一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-83
書簡〔シベリア派遣軍について、今後の列強諸国関係について〕 小島与右衛門→守屋栄夫	大正8年1月1日(1919)	1通・墨書	83-9-9
葉書〔渡鮮近づきお子様病気〕 小島与右衛門→守屋栄夫	大正9年3月15日(1920)	1枚・ペン	82-3-297
書簡〔お悔やみ状〕 小島与右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-128
書簡〔助役の内示報知〕 小島与右衛門→守屋栄夫	昭和7年12月16日(1932)	1通・墨書	83-10-43
書簡〔お悔やみ状〕 奥水伊代吉→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-79
書簡〔選挙運動激励、政治活動期待〕 奥水伊代吉→守屋栄夫	昭和5年2月16日(1930)	1通・墨書	9-16-25
書簡〔当選祝い〕 奥水伊代吉→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	9-16-23
葉書〔五城寮二十一周年記念祭招待〕 五城寮→守屋栄夫	昭和8年10月25日(1933)	1枚・ペン	5-24-43
書簡〔英国での会議出席旅費工面依頼〕 小平国雄→守屋栄夫	昭和6年4月27日(1931)	1通・ペン	86-354-50
書簡〔拙著印刷・製本につき300円借用願い〕 小平国雄→守屋栄夫	10月6日	1通・ペン	10-232
書簡〔選挙に関する情報、金解禁対策、農村更生について〕 小谷静也→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書・ペン	9-16-60
書簡〔当選祝い〕 小谷静也→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	9-16-61
書簡〔刈谷士族会より講話御礼〕 小谷静也〔刈谷士族会長〕→守屋栄夫	西寅年6月13日	1通・墨書	85-3-8-18
葉書〔上京にて訪問希望〕 児玉吾一→守屋栄夫	大正15年2月1日(1926)	1枚・ペン	86-196
書簡〔当選祝い〕 児玉孝顕→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・活版・墨書	10-408-63

書簡〔お悔やみ状〕 兄玉孝顕→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-52
書簡〔内務監察官への榮転祝い〕 兄玉実徳→守屋栄夫	大正6年5月4日(1917)	1通・墨書	83-14-166
書簡〔お悔やみ、香典御礼〕 兄玉実徳→守屋栄夫	大正14年カ10月11日(1925)	1通・墨書	85-10-86
書簡〔お悔やみ状〕 兄玉実徳→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-71
書簡〔朝鮮に於ける土木建築請負業者談合事件に関して〕 兄玉琢→守屋栄夫	昭和8年10月10日(1933)	1通・墨書・謄写版	5-24-5
書簡〔朝野通信理事横山・住谷紹介状〕 兄玉秀雄→守屋栄夫(秘書官)	大正 2月28日	1通・墨書	9-24-5
葉書〔スイスより挨拶〕 兄玉政介→守屋栄夫	昭和2年6月9日(1927)	1枚・ペン	86-94
葉書〔ゼネバ会議、ロンドン会議、長官一行ベルギーへ出発〕 兄玉政介→守屋栄夫	昭和2年7月10日(1927)	1枚・ペン	84-3-95
葉書〔ロンドン視察の状況〕 兄玉政介→守屋栄夫	昭和2年8月30日(1927)	1枚・ペン	84-1-121
葉書〔ベルリン滞在、今後の旅程〕 兄玉政介→守屋栄夫	昭和2年11月11日(1927)	1枚・ペン	84-3-72
書簡〔台南に高等商業学校新設協力依頼〕 兄玉魯一→守屋栄夫	大正15年7月10日(1926)	1通・ペン	85-3-1-16
書簡〔講演御礼、選挙応援〕 後藤明→守屋栄夫	昭和3年2月19日(1928)	1通・墨書	10-212
書簡〔二高教授の叔父紹介、後援申入れ〕 後藤喜次男→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・ペン	10-26-2
葉書〔暑中見舞い〕 後藤嘉次男(神戸移民収容所)→守屋栄夫	昭和3年8月10日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-250
書簡〔福島県移民渡航、樺太植民地のドロの木調査報告〕 後藤清→守屋栄夫	昭和7年6月22日(1932)	1通・ペン・謄写版	83-3-31
書簡〔樺太移民住居増築補助金願、植民地物資供給問題など〕 後藤清→守屋栄夫	昭和7年8月29日(1932)	1通・ペン	83-11-15
葉書〔お悔やみ状〕 後藤孝七→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1枚・墨書	9-28-34
書簡〔神社扁額に斎藤首相筆筆翰旋の御礼〕 後藤康平→守屋栄夫	昭和7年11月11日(1932)	1通・墨書	83-4-9
葉書〔大泊事務所尾崎氏病気の件〕 後藤市応→守屋栄夫	昭和5年9月26日(1930)	1枚・ペン	86-1-87
書簡〔豊原購買組合手形支払い延期につき相談〕 後藤市応→守屋栄夫	昭和6年12月9日(1931)	1通・ペン	86-351-12
書簡〔樺太購買組合の近況〕 後藤市応→守屋栄夫	昭和6年12月カ5日(1931)	1通・ペン	86-347-44
書簡〔組合に関して安心下されたき旨、佐藤一徹財産整理につき援助願〕 後藤市応〔豊原購買利用組合〕→守屋栄夫	昭和8年7月7日(1933)	1通・ペン	83-6-25
書簡〔佐々木氏未亡人から借金依頼、組合債権の件〕 後藤市応→守屋栄夫	昭和8年9月4日(1933)	1通・ペン	84-15-5
書簡〔納税滞納のため移住証明不可の人々と移住に関する書類の件〕 後藤市応→守屋栄夫	昭和4年1月30日(1929)	1通・ペン	6-55-2

書簡〔お悔やみ状〕 後藤七郎右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-20
書簡〔晩餐会案内〕 後藤新平→守屋栄夫	大正6年10月20日(1917)	1通・活版	81-9
書簡〔母の忌明け挨拶〕 後藤新平→守屋栄夫	大正12年4月15日(1923)	1通・墨書	18-14-32
書簡〔「太平洋時代来る」送付御礼〕 後藤新平→守屋栄夫	昭和3年4月26日(1928)	1通・墨書・活版	10-299
書簡〔書籍恵贈御礼〕 後藤新平→守屋栄夫	昭和4年7月4日(1929)	1通・活版・墨書	85-4-1-30
書簡〔お悔やみ状〕 後藤進・渡辺清信→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-9-5
書簡〔当選祝い〕 後藤多喜蔵→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	9-16-62
葉書〔上京中の御礼、欠礼お詫び〕 後藤多喜蔵→守屋栄夫	大正 20日	1枚・ペン	82-3-288
書簡〔門司事務所へ転勤報告〕 後藤鉄雄→守屋栄夫	大正15年9月30日(1926)	1通・ペン・墨書	78-23-8
書簡〔当選祝い、台湾青果会社へ復職報告〕 後藤鉄雄→守屋栄夫	昭和3年3月2日(1928)	1通・ペン	10-25
書簡〔第七回明治神宮体育大会青年団競技、「第七回明治神宮体育大会青年団競技日程」〕 後藤文夫〔大日本連合青年団理事長〕→守屋栄夫	昭和8年10月20日(1933)	1通・墨書・謄写版	5-24-23
葉書〔水野鍊太郎先生死去10年偲ぶ会通知〕 後藤文夫→守屋栄夫	昭和33年11月11日(1958)	1枚・活版	18-1-2
葉書〔暑中見舞い〕 後藤文吾→守屋栄夫	大正8年7月31日(1919)	1枚・ペン	82-3-337
書簡〔当選祝い〕 後藤政治→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-76
書簡〔選挙運動状況報告、選挙協力依頼〕 後藤政治→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書・活版	9-16-64
書簡〔当選祝い〕 後藤政治→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	9-16-63
書簡〔選挙応援〕 後藤嘉之→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・ペン	10-200
書簡〔愚息身上的件、移民事務〕 後藤嘉之→守屋栄夫	昭和3年5月7日(1928)	1通・ペン	9-16-9
書簡〔お悔やみ状〕 後藤嘉之→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	5-12-2
書簡〔教職員後任予定者の辞職について〕 後藤〔学務部長〕→守屋栄夫	昭和8年4月7日(1933)	1通・墨書	84-15-12
葉書〔帰国祝い〕 小西治兵衛→守屋栄夫	昭和6年6月30日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-355
書簡〔池田師範学校問題の陳情書〕 小西治兵衛→守屋栄夫	昭和8年10月9日(1933)	1通・墨書	84-12-2
書簡〔お悔やみ状〕 小西勝二郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-26
葉書〔赤湯講演の感想〕 小西竹次郎→守屋栄夫	大正15年8月29日(1926)	1枚・ペン	86-218
書簡〔転任につき松井課長に口利き依頼〕 小西鍋吉→守屋栄夫	大正8年2月8日(1919)	1通・墨書	84-19-8
書簡〔校長就任挨拶〕 小西鍋吉→守屋栄夫	大正8年3月24日(1919)	1通・墨書	5-6-5

書簡〔お悔やみ状〕 小西鍋吉→守屋栄夫	大正12年3月24日 (1923)	1通・墨書	18-14-9
書簡〔当選祝い〕 小西政喜→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-407-19
書簡〔御礼と挨拶〕 木幡一郎→守屋栄夫	昭和4年7月15日 (1929)	1通・墨書	9-21-7
書簡〔永興金山水力発電出願書漏洩に付陳情〕 木幡 富治→守屋栄夫・升田健郎	大正10年10月23日 (1921)	1通・ペン	5-29-2
書簡〔お悔やみ状〕 木幡富治→守屋栄夫	大正12年3月20日 (1923)	1通・墨書	80-2-1-27
書簡〔朝鮮へ大和民族移植のため依頼〕 木幡富治→守 屋栄夫	大正12年4月18日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-31
書簡〔永興金山及び龍興社水力発電所の林野を鉱業 用地の件陳情〕 木幡富治→守屋栄夫	大正12年6月30日 (1923)	1通・謄写版・ペ ン	80-40-1-5
書簡〔朝鮮の近況、送電開始見込み〕 木幡富治→守屋栄 夫	大正12年8月31日 (1923)	2通・ペン	6-60-19
葉書〔年賀状〕 木幡富治→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-14
書簡〔東拓永興金山問題〕 木幡富治→守屋栄夫	昭和6年2月10日 (1931)	1通・墨書・謄写 版	86-355-29
書簡〔永興金山整理につき東拓と審議中、力添依頼〕 木幡富治→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和6年8月15日 (1931)	1通・墨書	86-348-34
書簡〔国際労働会議資本代表に松方幸次郎、随員に加 えて欲しい〕 小林橘介→守屋栄夫	大正15年2月3日 (1926)	1通・ペン	78-23-12
書簡〔妹とし子への御礼〕 小林恵助→守屋栄夫	昭和2年1月24日 (1927)	1通・墨書	85-9-149
書簡〔選挙応援、演説依頼〕 小林今朝之介→守屋栄夫	昭和3年2月9日 (1928)	1通・墨書	10-192
書簡〔当選祝い〕 小林作→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-407-49
書簡〔講演御礼他〕 小林三右衛門→守屋栄夫	昭和4年10月2日 (1929)	1通・ペン	85-4-5-24
書簡〔選挙応援、数年来研農園長として尽力〕 小林三 右衛門〔宮城県柴田郡富岡村会議員〕→守屋栄夫	昭和 1月11日	1通・ペン	10-403-6
書簡〔斎藤閣下に諒解求むほか〕 小林秀治→守屋栄夫	昭和3年1月22日 (1928)	1通・ペン	10-414-44
書簡〔楠本氏退職の件〕 小林庄太郎→守屋栄夫	昭和8年9月12日 (1933)	1通・墨書	84-25-36
書簡〔萱場深造の所業について〕 小林とし子→守屋栄 夫	昭和2年1月11日 (1927)	1通・ペン	85-9-150
書簡〔萱場深造との別れに尽力依頼〕 小林とし子→守 屋栄夫	昭和2年1月12日 (1927)	1通・ペン	85-9-147
書簡〔萱場深造と内縁関係解消の念書案〕 小林年子→ 守屋栄夫	昭和2年2月4日 (1927)	1通・ペン・墨筆	85-9-151
書簡〔萱場深造との内縁生活報告〕 小林年子		1通・ペン	85-9-152
書簡〔松山へ転居〕 小林秀穂→守屋栄夫	大正6年4月10日 (1917)	1通・墨書	84-20-166
書簡〔松山の学校での景況報告〕 小林秀穂→守屋栄夫	大正6年8月11日 (1917)	1通・墨書	83-14-76
書簡〔教育界への欧州戦乱の影響〕 小林秀穂→守屋栄 夫	大正7年5月17日 (1918)	1通・墨書	5-26-31

書簡〔中等学校過渡時代への所感〕 小林秀穂→守屋栄夫	大正8年6月15日(1919)	1通・墨書	83-10-22
葉書〔暑中見舞い〕 小林秀穂→守屋栄夫	大正15年8月4日(1926)	1枚・墨書	86-325-14
書簡〔当選祝い〕 小林秀穂→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	9-16-19
葉書〔九州日報社と山陰新聞社を読売新聞社へ合併〕 小林光政→守屋栄夫	昭和15年8月25日(1940)	1枚・活版	18-14-192-75
葉書〔松茸送付〕 小牧義夫→守屋栄夫	大正15年10月20日(1926)	1枚・ペン	86-248
葉書〔礼状〕 小牧義夫→守屋栄夫	大正 12月12日	1枚・ペン	84-2-54
書簡〔お悔やみ状〕 小松久三郎→守屋栄夫・よしみ夫人	大正12年3月17日(1923)	1通・墨書	18-14-182
書簡〔選挙運動激励〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和3年2月16日(1928)	1通・墨書	7-147-80
葉書〔暑中見舞い〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和3年8月3日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-249
葉書〔帰任予定通知〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和4年カ4月29日(1929)	1枚・ペン	86-327-9
書簡〔職歴、横浜市退職後の状況報告、木名瀬彰氏の履歴書〕 小松久三郎〔台湾総督府交通局通信部庶務課〕→守屋栄夫	昭和4年7月11日(1929)	1通・ペン・墨書	9-21-2
書簡〔昇給取り計らい依頼〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和4年9月5日(1929)	1通・ペン	85-4-5-22
葉書〔挨拶状〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和5年4月29日(1930)	1枚・ペン	86-71
書簡〔当選祝い〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和5年4月(1930)	1通・ペン	10-405-5
書簡〔総督府秘書官人事口添え依頼〕 小松久三郎→守屋栄夫	昭和6年1月18日(1931)	1通・墨書	86-359-22
葉書〔社会教育協会創立4周年御礼〕 小松謙助〔財団法人社会教育協会常務理事〕→守屋栄夫	昭和3年11月16日(1928)	1枚・ペン	84-3-49
書簡〔当選祝い〕 小松謙助→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	9-16-24
葉書〔当選祝い〕 小松長五郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・ペン	10-408-19
葉書〔青年団に対する講演感謝〕 小松八四郎→守屋栄夫	大正14年10月23日(1925)	1枚・ペン	84-6-113
書簡〔当選祝い〕 小松八四郎・志賀剛二→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-347
書簡〔お悔やみ状〕 小松陽之進→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-19
葉書〔当選祝い〕 小松原隆二→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	7-147-224
書簡〔お悔やみ状〕 小松原隆二→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-7
書簡〔当選祝い〕 小松原隆二→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	9-16-21
葉書〔当選祝い〕 小嶺正司→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	10-408-18
書簡〔お悔やみ状〕 小山光彦→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-75
書簡〔当選祝い〕 小山与一郎→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-177
書簡〔世界地図寄贈御礼〕 小山喜寿→守屋栄夫	大正14年12月18日(1925)	1通・墨書	85-10-33

書簡〔当選祝い〕 小山喜寿→守屋栄夫	昭和3年2月2□日 (1928)	1通・ペン・活版	10-408-12
書簡〔お悔やみ状〕 小山喜寿→守屋栄夫	昭和4年3月14日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-34-16
葉書〔牡蠣送付〕 小山喜寿→守屋栄夫	大正14年12月27日 (1925)	1枚・ペン	84-6-70
葉書〔当選祝い〕 小料理松げん→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1枚・墨書	7-147-279
書簡〔当選祝い〕 近興一→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1通・墨書	10-272
書簡〔徳島県庁に奉職〕 近藤喜久治→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1通・墨書	85-7-1-18
葉書〔当選祝い〕 近藤幸助・阿部□□→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1枚・ペン	7-147-300
書簡〔徳川頼倫氏大山へ講演の際、立ち寄り願い〕 近藤行太郎→守屋栄夫	大正6年4月8日 (1917)	1通・ペン	84-20-71
書簡〔栄転祝い〕 近藤行太郎→守屋栄夫	大正8年8月21日 (1919)	1通・墨書	83-2-16
書簡〔面会御礼〕 近藤大助→守屋栄夫	昭和 6月12日	1通・ペン	10-404-13
書簡〔東郷の紹介状について〕 近藤常尚→守屋栄夫	昭和5年3月28日 (1930)	1通・ペン	10-405-25
書簡〔援助金の貴翰拝見、安井君に事情を話す〕 近藤常尚〔朝鮮総督府秘書課〕→守屋栄夫	昭和6年7月21日 (1931)	1通・ペン	86-348-5
書簡〔李王家秘史の出版について〕 権藤四郎介→守屋栄夫	大正15年8月29日 (1926)	1通・墨書	85-3-7-10
書簡〔貴書等の批判共鳴、政局前途暗雲〕 権藤四郎介→守屋栄夫	大正15年9月27日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-31
書簡〔香堂先生の厚誼と守屋等の友誼に感謝〕 権藤四郎介→守屋栄夫	大正15年10月2日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-20
書簡〔経済雑誌の寄稿掲載の件他〕 権藤四郎介→守屋栄夫	大正15年10月23日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-55
書簡〔経済雑誌の記事感謝、京城日報お家騒動の報告〕 権藤四郎介→守屋栄夫	大正15年11月2日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-17
書簡〔京城日報率いる副島伯の経営方針による総督府への影響について〕 権藤四郎介→守屋栄夫	昭和1年12月28日 (1926)	1通・ペン	85-7-2-1-18
葉書〔京城滞在〕 権藤四郎介→守屋栄夫	昭和2年3月5日 (1927)	1枚・ペン	84-5-22
書簡〔近況報告〕 権藤四郎介→守屋栄夫	昭和2年5月19日 (1927)	1通・ペン	85-9-15
葉書〔健康伺い〕 権藤四郎介→守屋栄夫	昭和2年8月7日 (1927)	1枚・ペン	84-3-85
書簡〔文官について意見〕 権藤四郎介→守屋栄夫	昭和7年1月15日 (1932)	1通・墨書	84-28-1
書簡〔お悔やみ状〕 水野文相脱党期成会発起人権藤四六介・山副昇・石原憲一・大垣丈夫・東邦生・千歳千代・石森久弥→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-27-18
葉書〔時候の挨拶〕 権藤・石・熊谷→守屋栄夫	昭和6年7月8日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-307
書簡〔村治関係に就任〕 今野栄太郎→守屋栄夫	大正6年3月30日 (1917)	1通・墨書	84-20-105
電報〔弔電〕 今野栄太郎→モリヤサカフ	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-102

書簡〔総督揮毫御礼〕 今野栄太郎→守屋栄夫	大正13年3月31日 (1924)	1通・墨書	5-30-15
書簡〔水野大人を紹介、揮毫便宜感謝、河北新報にて 高説拝読〕 今野栄太郎→守屋栄夫	大正13年7月12日 (1924)	1通・墨書	9-22-7
書簡〔療養心遣い感謝、健康回復〕 今野栄太郎→守屋栄夫	大正14年9月7日 (1925)	1通・墨書	85-10-88
書簡〔教育会主催の講演会依頼〕 今野栄太郎→守屋栄夫	大正14年11月1日 (1925)	1通・墨書	85-10-58
書簡〔抱負実現の時期到来〕 今野栄太郎→守屋栄夫	昭和4年2月1日 (1929)	1通・墨書	85-4-4-17
葉書〔挨拶状〕 今野栄太郎→守屋栄夫	昭和5年10月4日 (1930)	1枚・墨書	86-1-84
書簡〔欠礼お詫び〕 今野栄太郎→守屋栄夫	昭和6年カ4月9日 (1931)	1通・墨書	86-346-16
書簡〔知事局匡救土木事業の新道路開鑿問題、村当局 反対につき意見及び配慮願ひ〕 今野栄太郎→守屋栄夫	昭和8年1月11日 (1933)	1通・墨書	85-5-21
書簡〔朝鮮総督府への就職斡旋依頼〕 今野要→守屋栄夫	昭和6年2月13日 (1931)	1通・墨書	86-355-26
書簡〔保釈の件〕 今野儀右衛門→守屋栄夫	昭和5年4月12日 (1930)	1通・墨書	10-405-13
葉書〔喪中〕 今野金吾	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・墨書	86-326-96
書簡〔お悔やみ状〕 今野金吾→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-34-18
葉書〔大嘗祭について〕 今野熊太郎→守屋栄夫	昭和3年11月17日 (1928)	1枚・ペン	84-3-48
書簡〔お悔やみ状〕 今野谿→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	9-11-17
書簡〔高商出身者の会合、周囲の人物の近況〕 今野茂雄→守屋栄夫	大正7年6月28日 (1918)	1通・墨書	84-9-2
書簡〔来訪不在お詫び〕 今野条太郎→守屋栄夫	大正6年8月15日 (1917)	1通・墨書	83-14-71
書簡〔息子三井物産に就職、地方自治の精神拝読、田 子内務秘書官来郡、墓参の件〕 今野条太郎→守屋栄夫	大正8年3月28日 (1919)	1通・墨書	83-7-7
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 今野条太郎→守屋栄夫	大正13年9月25日 (1924)	1通・墨書	85-1-2
書簡〔後援会の幹事会招集、協議内容に関する近況報告〕 今野条太郎→守屋栄夫	昭和3年1月22日 (1928)	1通・墨書	10-413-8
書簡〔早坂氏火災事件に付近況報告〕 今野条太郎→守屋栄夫	昭和4年5月29日 (1929)	1通・墨書	85-4-4-26
書簡〔選挙応援〕 今野条太郎→守屋栄夫	昭和5年1月22日 (1930)	1通・墨書	10-403-3
書簡〔香典御礼〕 今野信一→守屋栄夫	昭和6年1月4日 (1931)	1通・墨書	86-356-35
書簡〔山本四郎なる者、就職斡旋依頼〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正5年6月7日 (1916)	1通・墨書	84-20-50
書簡〔田子書記との話、内務部長より承諾〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正6年5月17日 (1917)	1通・墨書	83-14-22
書簡〔父より妻の件、東君転任、家族制度他〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正6年6月14日 (1917)	1通・墨書	84-7-36

書簡 / 来信

書簡〔大坂へ監察官派遣、佐々木友治君の日給、松本君より斎藤部長上京依頼〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正7年2月1日(1918)	1通・ペン	5-6-13
書簡〔年賀状、近況報告〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正7年12月26日(1918)	1通・墨書	83-9-11
書簡〔戦死将校御健在にて安堵〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正8年2月28日(1919)	1通・ペン・墨書	84-19-24
書簡〔野口局長逝去、伴男の病氣、保険入会〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正8年9月6日(1919)	1通・墨書	5-16-36
書簡〔加藤・高野等近況報告〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正8年9月24日(1919)	1通・墨書	9-25-14
書簡〔盲腸炎などの近況〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正9年5月27日(1920)	1通・墨書	5-16-23
書簡〔写真と御中元送付、東京での家調査状況〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正9年6月27日(1920)	1通・墨書	9-17-1
書簡〔香典返し報告、水野内相関西地方視察、栄会員の動き他近況報告〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正12年5月23日(1923)	1通・ペン	80-2-2-14
書簡〔子供の出産、伊達邦宗伯爵閣下死去他近況報告〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正12年6月1日(1923)	1通・ペン	80-2-2-26
書簡〔人事近況、新東北記者来訪守屋著書寄贈依頼〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正13年4月3日(1924)	1通・ペン	5-30-4
書簡〔宮城県総選挙視察新聞記事切抜き、新東北記者紹介名刺〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正13年4月3日(1924)	1通・ペン・活版	5-30-27
書簡〔和郎氏と母の見送り、土地の交渉〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正13年7月20日(1924)	1通・墨書	9-22-30
書簡〔斎藤総督邸に加藤首相訪問〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正13年7月24日(1924)	1通・墨書・ペン	9-22-31
書簡〔人事推薦状及び田中寅雄他履歴書4通〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正13年8月5日(1924)	1通・墨書・ペン	5-30-20
書簡〔年賀状〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正14年12月30日(1925)	1通・ペン	85-10-10
書簡〔書籍寄贈御礼〕 今野長三郎→守屋栄夫	大正15年5月18日(1926)	1通・墨書	85-3-5-9
書簡〔年末挨拶〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1通・墨書	85-3-4-15
書簡〔年賀状〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1通・墨書	85-7-1-5
書簡〔藤井寛太郎氏の事業について〕 今野長三郎〔京城帝国大学医学部附属医院事務官〕→守屋栄夫	昭和3年7月7日(1928)	1通・ペン	10-404-3
書簡〔京城着任挨拶、鈴木・水野両相の件につき所感〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和3年8月19日(1928)	1通・ペン	10-408-129
葉書〔大礼について〕 今野長三郎・今野やそし→守屋栄夫	昭和3年11月10日(1928)	1枚・ペン	84-3-58
書簡〔政治的季節に入る他〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和4年1月9日(1929)	1通・ペン	85-4-4-1
書簡〔東北大学病院にて全国大医学病院会議〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和4年2月5日(1929)	1通・墨書	6-56-44
葉書〔東京行き日程〕 今野長三郎→守屋栄夫・令夫人	昭和4年2月7日(1929)	1枚・ペン	86-324-30

書簡〔政治期閣下のご活動〕 今野長三郎〔京城帝国大学医学部附属医院事務官〕→守屋栄夫・令夫人	昭和4年3月2日(1929)	1通・墨書	6-56-29
書簡〔お悔やみ状〕 今野長三郎〔京城帝国大学医学部附属医院〕→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・ペン	9-26-1
書簡〔守屋和郎米国在勤〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和4年4月12日(1929)	8通・ペン	6-59-11
葉書〔初夏の朝鮮の様子〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和4年6月9日(1929)	1枚・ペン	86-322-118
葉書〔大学側より京城府学校組合議員選出の件、庄司君来訪〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和4年6月1日(1929)	1枚・ペン	84-6-34
書簡〔朝鮮の大学出身東北人、山梨総督の施政〕 今野長三郎〔京城帝国大学医学部附属医院〕→守屋栄夫	昭和4年8月25日(1929)	1通・ペン	5-17-27
葉書〔挨拶状〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和5年4月1日(1930)	1枚・ペン	86-42
書簡〔今村氏の近況報告、門真礼助の仙台方面へ転勤依頼〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和5年6月25日(1930)	1通・ペン・墨書	10-411-7
書簡〔佐々木仁氏が天然痘で療養中、吉谷専吉氏来鮮〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和5年8月28日(1930)	1通・ペン	10-92
書簡〔徳夫栄転祝い、岡山の会議参加〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和5年10月8日(1930)	1通・ペン	10-20
書簡〔徳夫氏結婚につき所感、伊藤正義氏への貸金返済方につき報告〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和5年11月10日(1930)	1通・墨書	9-16-74
書簡〔東京転地希望、就職希望先推薦依頼〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和5年12月2日(1930)	1通・墨書	7-147-14
書簡〔仙台産牛馬組組合長中島氏死去に伴う次期組合長候補について〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和6年2月18日(1931)	1通・墨書	86-355-14
書簡〔京城は不満にて新方面希望〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和6年11月15日(1931)	1通・ペン	86-347-6
書簡〔厚配御礼〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和8年3月29日(1933)	1通・ペン	85-6-8
葉書〔会見御礼、伝言伝達〕 今野長三郎→守屋栄夫	昭和8年9月29日(1933)	1枚・ペン	86-323-64
葉書〔下関出立に際しての厚情御礼〕 今野長三郎→守屋栄夫・令夫人	昭和 5月26日	1枚・ペン	85-9-4
書簡〔お悔やみ状〕 今野長八→守屋栄夫	大正12年3月18日(1923)	1通・墨書	18-14-8
書簡〔御快諾・御厚志に深謝〕 今野貞亮→守屋栄夫	昭和6年12月31日(1931)	1通・墨書	86-347-18
書簡〔主人刑務所入り御援助深謝〕 今野貞亮→守屋栄夫・御令閨様	昭和7年4月11日(1932)	1通・墨書	83-1-53
書簡〔刑期中の送金御礼〕 今野貞亮→守屋栄夫	昭和7年6月7日(1932)	1通・ペン	86-350-8
書簡〔挨拶状〕 今野貞亮→守屋栄夫	昭和7年6月1日(1932)	1通・墨書	84-13-34
書簡〔補欠選挙の様子〕 今野貞亮→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・墨書	84-11-18
書簡〔南部地方部長武沢左一郎逝去、皇太子ご出生〕 今野貞亮→守屋栄夫	昭和8年12月24日(1933)	1通・墨書	84-17-5
書簡〔東京高等獣医学校卒業生の植民地への就職〕 今野貞亮→守屋栄夫	1月18日	1通・墨書	84-10-24

書簡〔生活支援依頼〕 今野とら→守屋栄夫	昭和6年4月13日(1931)	1通・墨書	86-354-23
書簡〔劣化のため開披不能〕 今野トラ→守屋栄夫	12月26日	1通・墨書	10-322
書簡〔来訪御礼〕 今井彦三郎→守屋栄夫	大正12年1月16日 (1923)	1通・墨書	80-1-3-25
書簡〔仙台市小学校教員への異動に関し市長へ斡旋依頼〕 今野広→守屋栄夫	昭和8年7月16日(1933)	1通・墨書	5-24-19
書簡〔総選挙出馬挨拶〕 今野文五郎→守屋栄夫	昭和2年9月30日(1927)	1通・ペン	85-7-4-12
書簡〔上京時の御礼〕 今野敦→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1通・墨書	85-9-113
書簡〔朝鮮転任につき松村及米井学務課長に斡旋感謝、呼吸器につき順応できる地へ転任願ひ〕 今野道夫→守屋栄夫	大正12年6月30日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-8
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭に参拝〕 今野道夫→守屋栄夫	大正14年10月31日 (1925)	1枚・ペン	85-10-52
葉書〔新義県及び安東県へ清遊〕 今野道夫→守屋栄夫	大正15年1月15日 (1926)	1枚・ペン	86-322-14
葉書〔李王国葬儀〕 今野道夫→守屋栄夫	大正15年6月3日(1926)	1枚・ペン	84-3-121
葉書〔京城における全鮮野球決勝戦〕 今野道夫→守屋栄夫	大正15年8月31日 (1926)	1枚・ペン	86-8
書簡〔父に関する近況報告〕 今野道夫→守屋栄夫	大正15年9月24日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-29
葉書〔修学旅行にて金剛山訪問〕 今野道夫→守屋栄夫	大正15年11月1日 (1926)	1枚・ペン	86-268
葉書〔恒夫氏令嬢への悔状〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和2年5月18日(1927)	1枚・ペン	86-158
書簡〔普選第1回の代議士として出馬計画〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和2年11月24日 (1927)	1通・ペン	85-7-6-14
書簡〔慰問御礼〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和3年5月28日(1928)	1通・ペン	10-404-6
葉書〔暑中見舞い〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和4年8月4日(1929)	1枚・ペン	86-289
書簡〔政友会入党賢明、選挙応援〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和5年1月26日(1930)	1通・墨書	10-403-31
書簡〔選挙運動激励〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	9-16-20
書簡〔当選祝いと開票時の様子〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	9-16-22
葉書〔満洲の景況報告〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和5年5月12日(1930)	1枚・ペン	86-1-57
書簡〔中島鵬六頓死、政界混沌のなか昭和連盟が必要〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和6年4月12日(1931)	1通・ペン	86-346-9
葉書〔接見御礼〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和6年4月29日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-298
書簡〔斎藤総督辞任にて東北閥の動静につき所感〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和6年6月26日(1931)	1通・墨書・ペン	86-352-19
書簡〔自動車事故多く注意〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和6年9月13日(1931)	1通・ペン	86-358-28
書簡〔井上収氏著「役人供養」、協力内閣説再燃ほか〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和6年12月6日(1931)	1通・ペン	86-347-46

書簡〔肖承村土木費供与に尽力御礼〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和7年10月27日 (1932)	1通・墨書・ペン	83-1-16
書簡〔高等官五等陸叙、選挙法改正委員会に尽力〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和8年4月5日 (1933)	1通・墨書	83-12-2
書簡〔泉沢馨就職斡旋依頼〕 今野道夫→守屋栄夫	昭和8年8月8日 (1933)	1通・ペン	84-15-7
書簡〔ドイツ語字引送付依頼〕 今野義雄→守屋栄夫	明治39年10月18日 (1906)	1通・墨書	6-46-58
書簡〔菅原卓治氏来訪の手紙預かる、鈴木常雄氏の葉書同封、土井林吉先生の手紙回送〕 今野義雄→守屋栄夫	明治41年3月25日 (1908)	1通・墨書	6-46-17
書簡〔叔父と学資工面の相談〕 今野義雄→守屋栄夫	明治42年10月3日 (1909)	1通・墨書	6-46-43
葉書〔土産御礼〕 今野義雄→守屋栄夫	明治44年1月31日 (1911)	1枚・ペン	81-310
葉書〔大坂出張、秋田湯沢の様子〕 今野義雄→守屋栄夫	大正7年カ3月22日 (1918)	1枚・墨書	82-3-52
書簡〔爆弾事件お見舞い〕 今野義雄→守屋栄夫	大正8年9月4日 (1919)	1通・墨書	5-16-42
葉書〔京城訪問につき報告〕 今野義雄→守屋栄夫	大正15年10月30日 (1926)	1枚・ペン	86-267
書簡〔住宅の一件決定、朝鮮銀行転勤問題につき秘書課の動向〕 今野義雄→守屋栄夫	大正15年11月11日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-5
書簡〔病状報告、家の修繕や保険の指図〕 今野義雄→守屋栄夫	昭和2年3月28日 (1927)	1通・ペン	85-9-68
葉書〔当選祝い〕 今野良寿→守屋栄夫	昭和3年2月29日 (1928)	1枚・ペン	7-147-195
書簡〔古川中学校盟休事件につき報告、感謝演説会は実施すべき〕 今野良寿→守屋栄夫	昭和3年8月3日 (1928)	1通・墨書	10-408-142
書簡〔お悔やみ状〕 今野良寿→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	5-14-62
書簡〔鳴瀬村色麻村講演会成績良好〕 今野良寿→守屋栄夫	昭和4年10月22日 (1929)	1通・墨書	5-31-13
書簡〔昭和連盟への期待、上京学生への支援依頼〕 今野良寿→守屋栄夫	昭和8年4月2日 (1933)	1通・ペン	84-10-16
葉書〔挨拶状〕 今野李庵→守屋栄夫	大正15年11月3日 (1926)	1枚・ペン	86-270
書簡〔登米郡南方村高石の原野沼地の地所売買周旋依頼〕 今野李庵→守屋栄夫	昭和7年11月9日 (1932)	1通・ペン	83-4-3
書簡〔来仙の際紹介したい人物について〕 今野李庵→守屋栄夫	昭和8年7月19日 (1933)	1通・ペン	84-26-29
書簡〔高橋氏との会見困難〕 今野李庵→守屋栄夫	昭和8年8月4日 (1933)	1通・ペン	84-18-25
葉書〔高野山訪問〕 今野→守屋栄夫	大正6年3月20日 (1917)	1枚・ペン	81-163
電信〔地震被害、家族皆無事〕 KONNO→守屋栄夫	大正12年11月5日 (1923)	1通・活版	80-39-1-8
葉書〔老父近影の書き誤り報告〕 今野→守屋栄夫	大正15年9月25日 (1926)	1枚・ペン	86-240

さ

葉書〔当選祈願〕 崔憲軾→守屋栄夫	昭和5年2月15日(1930)	1枚・ペン	7-147-285
葉書〔当選祝い〕 崔憲軾→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-284
書簡〔近況伺い〕 崔昌順→守屋栄夫・奥様	昭和6年8月11日(1931)	1通・ペン	86-348-23
書簡〔朝鮮学校騒擾に対処〕 崔達斌→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	10-409-20
書簡〔当選祝い〕 崔達斌→守屋栄夫	昭和5年3月8日(1930)	1通・墨書	9-16-30
書簡〔お悔やみ状〕 崔晩達→守屋栄夫	大正12年4月2日(1923)	1通・ペン	80-39-1-23
書簡〔「朝鮮」記事拝読〕 崔晩達→守屋栄夫	大正12年7月20日(1923)	2通・ペン	6-60-7
葉書〔忠南地方出張挨拶〕 崔晩達→守屋栄夫	大正15年1月31日(1926)	1枚・ペン	86-322-26
葉書〔慶州出張挨拶〕 崔晩達→守屋栄夫	大正15年カ3月17日(1926)	1枚・ペン	86-167
葉書〔当地で健康回復〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和2年8月26日(1927)	1枚・ペン	84-1-122
葉書〔自動車事故治療の経過〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和3年4月17日(1928)	1枚・ペン	86-329-8
葉書〔傷再発治療、各種講習会にて井里滞在〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和3年10月10日(1928)	1枚・ペン	86-322-88
書簡〔お悔やみ状〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-25-10-26
書簡〔松実送付〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和7年12月26日(1932)	1通・墨書	84-14-5
書簡〔来朝御礼〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和8年12月26日(1933)	1通・墨書	85-6-16
書簡〔鳥取県藤岡部長・牛島理事官の身分の件、北畠郡長転任の件水野内相に斡旋依頼〕 佐井義文→守屋栄夫	大正7年8月13日(1918)	1通・墨書	83-2-9
書簡〔欠礼挨拶〕 斎木銀次郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-2-57
書簡〔当選祈願〕 斎木寅助→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1通・墨書	10-409-23
葉書〔スカンジナビア半島を旅行〕 西城崔司→守屋栄夫	昭和4年11月23日(1929)	1枚・ペン	84-1-8
書簡〔友人西塚氏朝鮮平安北道出向挨拶〕 西条軍一郎→守屋栄夫	昭和7年1月5日(1932)	1通・墨書	83-4-26
書簡〔昼学通学援助者照会、再度の面会依頼〕 西条理雄→守屋栄夫	昭和4年1月19日(1929)	1通・ペン・墨書	6-55-12
書簡〔非常用運搬車使用開始、警視庁・救護隊方面への宣伝方依頼、斎田式非常運搬車の広告〕 斎田治三郎→守屋栄夫	昭和2年9月14日(1927)	1通・謄写版・墨書	78-23-16
書簡〔岐阜県社会事業協会主催社会事業講習会の講演依頼〕 財団法人岐阜県社会事業協会→守屋栄夫	昭和4年6月7日(1929)	1通・活版	85-4-4-38
葉書〔内務大臣より本会事業費中の補助金受領〕 財団法人生活改善同盟会→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1枚・謄写版・ペン	85-7-2-38

書簡〔植民地への期待〕 斎藤彰→守屋栄夫	昭和4年12月19日 (1929)	1通・墨書	5-14-7
書簡〔朝鮮での就職斡旋依頼〕 斎藤彰→守屋栄夫	昭和6年9月1日 (1931)	1通・墨書	86-358-18
書簡〔お見舞い御礼〕 斎藤幾子→守屋栄夫・よしみ	昭和3年12月26日 (1928)	1通・墨書	6-55-25
書簡〔政治状況及び議案採択方について講演依頼〕 斎藤一郎→守屋栄夫	昭和7年8月26日 (1932)	1通・ペン	83-3-9
葉書〔日向最南部地方に驚く〕 斎藤樹→守屋栄夫	大正14年1月24日 (1925)	1枚・ペン	84-2-7-1
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 斎藤右兵衛→守屋 栄夫	昭和3年5月10日 (1928)	1枚・ペン	86-325-43
葉書〔お悔やみ状〕 斎藤右兵衛→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1枚・ペン	5-25-10-33-6
書簡〔中身欠〕 斎藤右兵衛→守屋栄夫	昭和5年8月23日 (1930)	1通・墨書	7-147-91
葉書〔当選祝い〕 斎藤運七→守屋栄夫	昭和5年2月25日 (1930)	1枚・墨書	7-147-331
葉書〔「欧米の旅より」読了感想、揮毫送付依頼〕 斎藤 栄一→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1枚・ペン	5-8-9
葉書〔御書恵贈御礼〕 斎藤栄一→守屋栄夫	昭和4年12月17日 (1929)	1枚・墨書	5-8-39
葉書〔当選祈願〕 斎藤栄一→守屋栄夫	昭和5年2月2日 (1930)	1枚・墨書	7-147-319
葉書〔当選祝い〕 斎藤栄一→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1枚・墨書	7-147-320
名刺〔引見願ひ〕 斎藤円治→守屋栄夫	昭和2年カ (1927)	1枚・ペン・活版	85-7-2-21
葉書〔当選祈願〕 斎藤音作→守屋栄夫	昭和5年1月30日 (1930)	1枚・ペン・活版	7-147-359
葉書〔当選祝い〕 斎藤音作→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1枚・ペン	7-147-321
葉書〔挨拶状〕 斎藤勝雄→守屋栄夫	昭和8年9月28日 (1933)	1枚・墨書	84-12-27
葉書〔近況報告〕 斎藤喜三郎→守屋栄夫	大正8年11月13日 (1919)	1枚・ペン	83-9-16
葉書〔朝鮮渡航後の状況報告〕 斎藤喜三郎→守屋栄夫	大正8年カ11月13日 (1919)	1枚・ペン	83-9-22
電報〔お悔やみ状〕 斎藤喜三郎→モリヤサカラ・レイフジ ン	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-64
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤久太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	6-54-24
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤欽二→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	9-11-11
書簡〔国産服の仕立ては当社に用命を〕 斎藤行之→守 屋栄夫	1月7日	1通・墨書	78-23-18
書簡〔就職斡旋した菊地某のその後の素行不良につ いて〕 斎藤行三→守屋栄夫	大正14年2月10日 (1925)	1通・墨書	85-10-109
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 斎藤行三→守屋栄 夫	昭和3年4月16日 (1928)	1枚・ペン	86-329-9
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤三郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	9-29-31
書簡〔依頼引受御礼、履歴書送付〕 斎藤七五郎→守屋栄 夫	大正13年6月1日 (1924)	1通・墨書	9-24-1

書簡〔加藤長太郎就職幹旋御礼〕 斎藤七五郎→守屋栄夫	大正13年8月27日 (1924)	1通・ペン	9-24-2
書簡〔当選祝い〕 斎藤順三郎→守屋栄夫	昭和3年8月17日 (1928)	1通・墨書	10-408-144
書簡〔市会議員当選祝電御礼〕 斎藤順三郎→守屋栄夫	昭和4年5月1日 (1929)	1通・墨書	85-4-3-3
書簡〔「神廻道」200号発刊の挨拶状〕 斎藤襄吉→守屋栄夫	昭和3年7月27日 (1928)	1通・謄写版・ペン	10-408-134
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤信三→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-15-140
書簡〔卒業祝い〕 斎藤善右衛門→守屋栄夫	明治43年7月4日 (1910)	1通・墨書	6-46-47
書簡〔内務省監察官への栄転祝い〕 斎藤善右衛門→守屋栄夫	大正6年5月21日 (1917)	1通・墨書	83-14-169
書簡〔横浜港防波堤について〕 斎藤善右衛門→守屋栄夫	大正6年6月30日 (1917)	1通・墨書	83-14-151
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤善右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	9-13-12
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤惣一→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-133
書簡〔当選祝い〕 斎藤信→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1通・墨書	7-147-272
書簡〔当選祝い〕 斎藤信→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	7-147-163
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤太兵衛→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-155
葉書〔当選祝い〕 斎藤富志→守屋栄夫	2月22日	1枚・ペン	7-147-332
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤寅吉→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	9-11-18
葉書〔暑中見舞い〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正7年7月15日 (1918)	1枚・墨書	82-3-262
葉書〔ご機嫌伺い〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正7年7月28日 (1918)	1枚・墨書	82-3-77
葉書〔ご機嫌伺い〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正7年11月16日 (1918)	1枚・ペン	82-3-114
葉書〔内務系福井県人会より御端書拝領、当地大火につき〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正8年5月9日 (1919)	1枚・墨書	82-3-189
葉書〔知事の随行で京阪・姫路方面へ出張〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正8年7月1日 (1919)	1枚・ペン	9-10-48
葉書〔ご機嫌伺い〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正9年2月27日 (1920)	1枚・墨書	82-3-331
葉書〔奈良視察のうちに〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正14年11月2日 (1925)	1枚・ペン	85-10-53
葉書〔著書恵贈御礼、柿送付〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正14年11月26日 (1925)	1枚・ペン	86-323-31
書簡〔欧米旅行の荷物、和歌山立ち寄り希望〕 斎藤直橋→守屋栄夫	大正15年1月13日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-22
葉書〔挨拶状〕 斎藤直橋→守屋栄夫	昭和2年3月8日 (1927)	1枚・ペン	86-322-101
葉書〔ご機嫌伺い〕 斎藤直橋→守屋栄夫	昭和2年4月20日 (1927)	1枚・ペン	84-1-77
葉書〔本日中に上京〕 斎藤直橋→守屋栄夫	昭和2年6月5日 (1927)	1枚・ペン	84-5-25
葉書〔ご機嫌伺い〕 斎藤直橋→守屋栄夫	昭和2年8月19日 (1927)	1枚・墨書	85-7-6-40

書簡〔配慮に感謝、出馬応援希望〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和2年11月12日 (1927)	1通・ペン	85-9-125
葉書〔新聞にて議会の模様を拝見〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和4年1月30日 (1929)	1枚・ペン	86-328-1
葉書〔礼状〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和4年2月22日 (1929)	1枚・ペン	86-324-34
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-69
書簡〔地方官異動に際し辞職不認可の報告〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和4年7月15日 (1929)	1通・墨書	9-21-10
葉書〔上京時の御礼〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和4年9月25日 (1929)	1枚・ペン	84-3-28
葉書〔寒中見舞い〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和5年1月21日 (1930)	1枚・ペン	84-1-18
葉書〔健康伺い〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和5年6月7日 (1930)	1枚・ペン	84-4-17
葉書〔上京挨拶〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和5年10月12日 (1930)	1枚・ペン	86-1-35
葉書〔上京中の接見叶わず〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和6年5月6日 (1931)	1枚・ペン	86-322-288
書簡〔例の件につきご高配願ひ〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和7年4月19日 (1932)	1通・墨書	84-30-18
書簡〔愚生身上の件〕 斎藤直橘→守屋栄夫	昭和7年5月8日 (1932)	1通・墨書	84-30-24
葉書〔東久邇宮殿下本県に御成〕 斎藤直橘→守屋栄夫	大正 5月29日	1枚・ペン	82-3-191
葉書〔法律事務所開設〕 斎藤昇→守屋栄夫	昭和3年5月11日 (1928)	1枚・ペン	86-325-48
書簡〔今後の旅行について挨拶〕 斎藤春子→守屋栄夫	大正10年2月12日 (1921)	1通・墨書	6-53-17
書簡〔指導御礼〕 斎藤半九郎→守屋栄夫	昭和8年2月15日 (1933)	1通・墨書	84-8-11
書簡〔小役人生活継続〕 斎藤文雄→守屋栄夫	昭和8年6月24日 (1933)	1通・墨書	83-6-19
書簡〔拓務省の復活、郡山氏交替に関し援助依頼〕 斎藤文也→守屋栄夫	昭和6年12月14日 (1931)	1通・ペン	86-347-51
書簡〔天皇へ献上の巻煙草受取〕 斎藤実→守屋栄夫	大正8年11月25日 (1919)	1通・墨書	86-353-15
書簡〔李王世子結婚延期、「李王世子御結婚問題ニ関スル件」〕 斎藤実→守屋栄夫	大正8年11月1日 (1919)	1通・墨書	5-28-10
書簡〔李王家結婚問題〕 斎藤実→守屋栄夫	大正8年11月12日 (1919)	1通・墨書	5-28-8
書簡〔李王世子結婚問題落着、朝鮮鉄道を満鉄委任の政府意見に不同意の件等〕 斎藤実→守屋栄夫	大正8年11月17日 (1919)	1通・墨書	5-28-11
書簡〔水野総監の病氣静養の件〕 斎藤実→守屋栄夫	大正8年12月23日 (1919)	1通・墨書	86-353-14
書簡〔予算・宣教師問題等在東京守屋報告に對し返信〕 斎藤実→守屋栄夫	大正8年12月10日 (1919)	1通・墨書	5-28-9
書簡〔培材学堂問題は緩和策の手段を取るべき〕 斎藤実→守屋栄夫	大正9年3月6日 (1920)	1通・墨書	86-353-23
書簡〔斎藤実宛木村雄次書簡回送、日米信託会社の件御断り〕 斎藤実→守屋栄夫	大正11年5月4日 (1922)	1通・墨書	79-7-41

書簡〔政尾藤吉タイ公使死去、同夫人につき久喜男爵宛照会〕 斎藤実→守屋栄夫	大正11年(1922)	1通・墨書	5-5-12
書簡〔道中安全祈願〕 斎藤実→守屋栄夫	大正12年3月26日(1923)	1通・ペン・活版	84-2-42
書簡〔岩間亮氏東京定住の希望にて引見、帰任のおり拝顔したく〕 斎藤実→守屋栄夫	大正14年10月23日(1925)	1通・墨書	86-353-9
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤実→守屋栄夫	昭和3年10月23日(1928)	1通・墨書	7-147-70
葉書〔上海にて斎藤君・守屋君との宴会を歓迎〕 斎藤実・林昇太郎・藤原一夫・高田一・久末沼三郎・古川邦彦・守屋和郎・石井政吉→守屋栄夫	昭和4年カ10月25日(1929)	1枚・ペン	86-324-74
書簡〔御拝賀御礼〕 斎藤実→守屋栄夫	昭和7年8月28日(1932)	1通・墨書	83-3-8
書簡〔自身胸像の件〕 斎藤実→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・墨書	84-11-19
書簡〔本土よりの視察者へ配慮依頼〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 2月12日	1通・墨書	5-5-30
書簡〔別紙全北日々新聞掲載「斎藤新総督に望む本末を顛倒する勿れ」の一読及び内容確認依頼〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 9月19日	1通・墨書	5-5-34
書簡〔事務処理に関する指示のメモ〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 11月3日	1通・墨書	9-20-2
書簡〔自動車借用願い〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 14日	1通・墨書	5-5-10
書簡〔中日勸業株式会社補助、朝鮮青年参員渡来補助、騒擾にて閉校した培材学堂再開、紀元節非出席生徒の首謀者探索は手加減すべき〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 15日	1通・墨書	86-353-17
書簡〔予算調整方依頼〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 15日	1通・墨書	5-5-16
書簡〔微熱にて加養〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 25日	1通・墨書	86-353-16
書簡〔依頼書につき警務局と相談〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 27日	1通・墨書	5-5-31
書簡〔欠勤につき書類廻状、午食出席者へ詳細通知依頼〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 28日	1通・墨書	5-5-35
書簡〔叔父病死、明日の予定代理者依頼方願い〕 斎藤実→守屋栄夫	大正 30日	1通・墨書	5-5-36
書簡〔中身欠〕 斎藤実→守屋栄夫	大正	1通・墨書	5-5-13
書簡〔中身欠〕 斎藤実→守屋栄夫	大正	1通・墨書	5-5-32
書簡〔招待状作成〕 斎藤実→守屋栄夫	大正	1通・墨書	5-5-38
書簡〔日華実業界創立、尼港殉難顛末につき漢詩作詩〕 斎藤実→守屋栄夫	大正	1通・墨書・ペン	5-5-11
書簡〔蘭領ニウギニアにおける開発企画問題困惑〕 斎藤実→守屋栄夫	昭和 12月20日	1通・墨書	10-335
書簡〔戸籍謄本の引換返答の依頼〕 斎藤実→守屋栄夫	17日	1通・墨書	6-53-1
書簡〔斎藤の京城到着予定、面会の希望〕 斎藤実→守屋栄夫	22日	1通・墨書	6-53-16
書簡〔中身欠〕 斎藤実→守屋栄夫		1通・墨書	6-53-16-1

葉書〔消光伺い〕 斎藤衛→守屋栄夫	大正6年5月20日(1917)	1枚・ペン	82-3-155
葉書〔挨拶状〕 斎藤衛→守屋栄夫	大正6年6月23日(1917)	1枚・ペン	81-178
葉書〔暑中見舞い〕 斎藤衛→守屋栄夫	大正6年7月22日(1917)	1枚・ペン	84-7-10
葉書〔朝鮮への栄転祝い〕 斎藤衛→守屋栄夫	大正8年8月17日(1919)	1枚・ペン	9-10-42
書簡〔南方への就職再考したい旨依頼〕 斎藤衛→守屋栄夫	大正15年12月16日(1926)	1通・ペン	85-3-8-13
名刺〔年賀状〕 斎藤衛・金永哲・脇屋一・阿部彝徳・鶴飼金三郎		5枚・ペン・活版	86-326-84
葉書〔帰朝祝い〕 斎藤守国→守屋栄夫	大正14年10月25日(1925)	1枚・ペン	84-6-108
葉書〔当選祝い〕 斎藤義直→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-318
葉書〔暑中見舞い〕 斎藤亮→守屋栄夫	大正15年8月19日(1926)	1枚・ペン	86-17
書簡〔お悔やみ状〕 斎藤亮→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-70
書簡〔高橋君の件配慮御礼〕 斎藤良治→守屋栄夫	昭和5年1月11日(1930)	1通・墨書	10-403-10
葉書〔面会不能残念、米国着、視察経過〕 斎藤→守屋栄夫	昭和3年3月28日(1928)	1枚・ペン	86-329-16
書簡〔ドイツ外務省より内務省への守屋受け入れの通知(独語)〕 在独日本大使館→守屋栄夫	大正12年8月23日(1923)	1通・タイプ	80-2-2-9
書簡〔当選祝い〕 佐伯寛蔵(栄屋洋服店)→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン	7-147-336
書簡〔当選祝い〕 佐伯善太郎→守屋栄夫	昭和	1通・墨書	10-270
書簡〔就職幹旋御礼〕 佐伯正→守屋栄夫	大正15年12月23日(1926)	1通・ペン	85-3-8-12
書簡〔名取郡高館村の勧誘効果、選挙運動報告〕 佐伯正→守屋栄夫	昭和3年1月28日(1928)	1通・ペン	10-414-24
書簡〔選挙協力、岩手県の人事と社会事業への影響、社会・教育行政の状況〕 佐伯正(岩手県庁社会課)→守屋栄夫	昭和4年7月16日(1929)	1通・ペン	9-21-3
書簡〔岩手県社会課栗田氏の進退について〕 佐伯正→守屋栄夫	昭和4年7月23日(1929)	1通・墨書	6-52-5
書簡〔退職の理由と就職の幹旋依頼〕 佐伯正→守屋栄夫	昭和4年8月5日(1929)	1通・墨書・ペン	5-17-2
書簡〔社会局就職幹旋御礼〕 酒井勇→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-1-13
書簡〔当選祈願〕 酒井勇→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-409-21
書簡〔当選祝い〕 酒井勇→守屋栄夫	2月22日	1通・墨書	7-147-106
書簡〔当選祝い〕 酒井猪太郎→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-80
書簡〔当選祝い〕 酒井猪太郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-24
書簡〔当選祝い〕 酒井猪太郎→守屋栄夫	昭和5年2月(1930)	1通・墨書	10-409-53
書簡〔お悔やみ状〕 酒井栄蔵→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	9-28-19

書簡〔当選祈願〕 酒井栄蔵→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-409-52
書簡〔依頼の件大崎佐久郎氏採用内定に付報告〕 坂井弘→守屋栄夫	昭和8年1月21日(1933)	1通・ペン	85-5-11
書簡〔行政学会除名の件、京城地方法院の書類写し〕 酒井与三吉→守屋栄夫	大正8年2月5日(1919)	1通・謄写版・墨書	84-8-21
葉書〔川村氏退職〕 酒井与三吉→守屋栄夫	大正14年2月12日(1925)	1枚・ペン	84-2-18
書簡〔当選祈願〕 酒井与三吉→守屋栄夫	昭和3年2月5日(1928)	1通・墨書	7-147-141
書簡〔全鮮面長会設立に関する趣旨説明と協力依頼〕 酒井与三吉→守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1通・ペン・活版	9-16-11
書簡〔全南問題における調査依頼人の無責任な行動お詫び〕 酒井与三吉〔帝国地方行政学会朝鮮本部〕→守屋栄夫	昭和4年7月23日(1929)	1通・墨書	6-52-17
書簡〔大谷老の関係につき今日の事不信〕 酒井与三吉→守屋栄夫	昭和7年5月2日(1932)	1通・ペン	84-24-14
書簡〔鮮銀には屈せぬ旨〕 酒井与三吉→守屋栄夫	昭和7年11月24日(1932)	1通・ペン	83-4-32
書簡〔菊田君東京出張の件〕 酒井与三吉→守屋栄夫	昭和8年3月31日(1933)	1通・ペン	84-10-18
葉書〔礼状〕 阪田義一→守屋栄夫	大正6年5月28日(1917)	1枚・墨書	81-16
葉書〔年賀状〕 酒田四郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-52
書簡〔当選祝い〕 酒田四郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-93
書簡〔お悔やみ状〕 坂西弥治→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	6-54-26
書簡〔当選祈願〕 坂巻顕三→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-409-29
書簡〔お悔やみ状〕 酒見安→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-10-10
葉書〔大社・風呂水神社参拝〕 佐上信一→守屋栄夫	大正6年7月6日(1917)	1枚・ペン	82-3-168
葉書〔病中見舞い〕 佐上信一→守屋栄夫	大正7年11月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-210
書簡〔着任祝い、御舎弟の件につき相談〕 佐上信一→守屋栄夫	大正8年9月3日(1919)	1通・墨書	5-16-35
書簡〔当選祈願〕 佐上信一→守屋栄夫	昭和3年2月4日(1928)	1通・墨書	10-414-35
書簡〔お悔やみ状〕 坂本淳男→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-19
書簡〔朝鮮での勤務について〕 坂本官蔵→守屋栄夫	昭和2年12月11日(1927)	1通・墨書	85-7-7-23
書簡〔当選祈願〕 坂本官蔵→守屋栄夫	昭和3年カ1月25日(1928)	1通・墨書	10-343
書簡〔総督秘書課長へ任官斡旋依頼〕 坂本官蔵→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1通・墨書	10-409-4
葉書〔筭送付〕 坂本官蔵→守屋栄夫	昭和6年5月1日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-296
葉書〔視察より無事帰郷〕 坂本官蔵→守屋栄夫	昭和6年5月21日(1931)	1枚・ペン・活版・墨書	86-322-312
葉書〔暑中見舞い、栄転祝い〕 阪本鈺之助→守屋栄夫	大正8年8月11日(1919)	1枚・ペン	9-10-31

葉書〔礼状〕 坂本丹治→守屋栄夫	昭和3年11月5日(1928)	1枚・ペン	84-3-35
葉書〔当選祝い〕 佐川喜蔵・みき→守屋栄夫・御令夫人	昭和3年2月27日(1928)	1枚・ペン	7-147-171
葉書〔お悔やみ状〕 佐川喜蔵→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・ペン	6-57-41
書簡〔李圭完氏と重信内務部長の不和、周囲の状況に関する意見〕 鷲坂主税→守屋栄夫	大正13年7月28日(1924)	1通・墨書	9-22-17
書簡〔お悔やみ状〕 砂金綱吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-107
書簡〔お悔やみ状〕 佐久間茂→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-47
書簡〔農村政策意見の寄稿願ひ〕 佐久間茂→守屋栄夫	昭和4年(1929)	1通・墨書	9-21-13
書簡〔産業会社の件につき報告書〕 佐久間貢→守屋栄夫	昭和8年7月31日(1933)	1通・ペン	84-18-24
書簡〔宮城雄弁会講演感謝〕 桜井四郎右衛門→守屋栄夫	昭和4年8月22日(1929)	1通・墨書	5-17-15
書簡〔当選祝い〕 桜井捨之助→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-30
書簡〔当選祝い〕 桜井常次→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-61
書簡〔当選祝い〕 桜井常次→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-22
書簡〔お悔やみ状〕 桜井徳三郎・京子→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-181
葉書〔新潟県に赴く他近況報告〕 桜井敏雄→守屋栄夫	大正8年7月18日(1919)	1枚・ペン	82-3-371
葉書〔当選祝い〕 桜井敏雄〔川崎洲崎警察署長官舎〕→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-263
書簡〔来歴と上京後の状況、書生など就職斡旋依頼〕 桜井寅蔵→守屋栄夫	昭和4年2月25日(1929)	1通・墨書・ペン	6-56-23
葉書〔仙台から当地への移動予定伺ひ〕 桜井→守屋監察官	大正8年7月29日(1919)	1枚・ペン	82-3-150
書簡〔お悔やみ状〕 桜田円次→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	6-57-13
書簡〔選挙応援〕 桜田春雄→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・ペン	10-211
書簡〔お悔やみ状〕 桜田春雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-97
書簡〔御高配願ひ〕 桜田春雄→守屋栄夫	昭和5年5月10日(1930)	1通・ペン	7-147-99
書簡〔推薦状作成報告、推薦状を995名に発送完了他〕 桜田広利・斎藤恒次郎・瀬谷子之吉→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1通・ペン	10-414-9
葉書〔府県課長に就任祝い、北白川宮成久王殿下熊野地方御視察に随行〕 笹井幸一郎→守屋栄夫	大正8年8月17日(1919)	1枚・ペン	9-10-9
葉書〔年賀状〕 笹井幸一郎→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン	10-408-69
書簡〔お悔やみ状〕 笹井幸一郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン・活版	9-15-38
書簡〔選挙応援〕 佐々井晃次郎→守屋栄夫	昭和3年2月14日(1928)	1通・墨書	10-74
葉書〔挨拶状〕 佐々井長太郎→守屋栄夫	昭和3年6月22日(1928)	1枚・墨書	86-322-124
葉書〔当選祝い〕 佐々井令太郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-207
葉書〔当選祝い〕 佐々井令太郎→守屋栄夫	昭和5年2月28日(1930)	1枚・ペン	7-147-283

書簡〔出張時の訪問依頼〕 笹岡長和→守屋栄夫	大正6年4月7日(1917)	1通・墨書	84-20-134
書簡〔郡神職会にて表彰規定、功労者表彰計画への指示御礼〕 笹岡長和→守屋栄夫	大正6年4月11日(1917)	1通・墨書	84-20-106
書簡〔彫刻文字発送、寛先生の講演と接待の報告〕 笹岡長和→守屋栄夫	大正6年7月11日(1917)	1通・墨書	84-7-3
書簡〔宮内省に御奉公の件〕 笹岡長和→守屋栄夫	大正7年5月20日(1918)	1通・墨書	84-9-35
書簡〔松村理事栄転、後任推挙御礼〕 笹岡長和〔額田郡役所〕→守屋栄夫	大正7年9月19日(1918)	1通・墨書	84-7-12
書簡〔県会・新嘗祭・ストライキ騒ぎ・山林大会など近況報告、写真(蜜柑畑視察)〕 笹岡長和→守屋栄夫	大正8年11月26日(1919)	1通・墨書	81-643
書簡〔農林課長兼商工課長拝命、池松引き止めの様子〕 笹岡長和→守屋栄夫	大正9年11月4日(1920)	1通・墨書	81-732
葉書〔暑中見舞い〕 笹岡長和→守屋栄夫	昭和2年8月4日(1927)	1枚・ペン	84-3-101
葉書〔飛驒赴任〕 笹岡長和→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1枚・ペン	84-1-93
書簡〔宮内省奉職の件について〕 笹岡長和→守屋栄夫	昭和7年5月10日(1932)	1通・墨書	84-30-22
書簡〔面会不能遺憾、蜜柑送付〕 笹岡長和→守屋栄夫	12月19日	1通・墨書	81-640
葉書〔露国の現状及び将来に関する知識講演の感想〕 笹川信→守屋栄夫	大正14年11月27日(1925)	1枚・墨書	84-6-155
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木市丈→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-189-10
書簡〔当選祝い〕 佐々木栄介→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-38
葉書〔当選祝い〕 佐々木磨→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1枚・ペン	7-147-311
書簡〔当選祝い〕 佐々木音次郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-409-25
書簡〔選挙運動激励〕 佐々木嘉一郎〔第一興信所所長〕→守屋栄夫	昭和3年2月15日(1928)	1通・墨書	7-147-145
書簡〔同封の起債要領について〕 佐々木稜行→守屋栄夫	昭和2年12月6日(1927)	1通・墨書・ペン	85-7-7-13
書簡〔日露予備会議は尼湾問題につき会社目下苦境、国際労働会議に関する報告他〕 佐々木義一→守屋栄夫	大正12年7月23日(1923)	1通・ペン	80-2-1-43
書簡〔朝鮮大洪水同情、愛知県技手に推薦・昇級の可能性と問題点、協力依頼〕 佐々木義一→守屋栄夫	大正13年7月26日(1924)	1通・ペン	9-22-20
葉書〔機嫌伺い〕 佐々木義一→守屋栄夫	大正14年12月21日(1925)	1枚・ペン	84-6-64
書簡〔北海道での甜菜耕作につき景況報告、内地への就職斡旋依頼〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和2年8月1日(1927)	1通・ペン	78-23-30
葉書〔歳暮送付〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和2年12月26日(1927)	1枚・ペン	86-325-20
書簡〔当選祝い〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・ペン	10-408-11
葉書〔暑中見舞い〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和3年8月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-251
葉書〔粕漬け送付〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和4年1月8日(1929)	1枚・ペン	86-328-19

書簡〔お悔やみ状〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	5-12-77
葉書〔北海道から内地の府県への転任希望〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和4年7月8日(1929)	1枚・ペン	84-6-3
葉書〔挨拶状〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和4年カ12月23日(1929)	1枚・ペン	86-57
葉書〔徳夫が京城の大学病院入院〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和5年1月19日(1930)	1枚・ペン	84-1-17
書簡〔当選祈願〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・ペン	10-409-16
書簡〔行政整理により農産課へ移動、農村の窮状と新来移民の件〕 佐々木義一→守屋栄夫	昭和7年6月9日(1932)	1通・ペン	84-13-28
葉書〔庁内で萱場先生と会う、札幌市で道会議員補欠選挙実施〕 佐々木義一→守屋栄夫	5月22日	1枚・ペン	84-4-6
書簡〔古川町役場、警察署長、総選挙〕 佐々木貴右衛門→守屋栄夫	昭和3年5月4日(1928)	1通・墨書	9-16-6
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木きつ→守屋栄夫	大正12年3月30日(1923)	1通・墨書	18-14-144
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木君五郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	6-57-37-2
書簡〔援助御礼、総選挙内ヶ崎・中島演説会状況〕 佐々木久三郎→守屋栄夫	大正13年4月4日(1924)	1通・墨書	5-30-28
書簡〔当選祝い〕 佐々木恭助→守屋栄夫	2月21日	1通・墨書	7-147-310
書簡〔帰省時面会御礼、就職希望先推薦依頼〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	大正13年4月15日(1924)	1通・墨書	5-30-3
書簡〔江原区出向につき渡鮮挨拶〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	大正13年6月8日(1924)	1通・墨書	5-30-23
書簡〔長照院工事報告、米山村耕地整理組合奨励金交付報告、米山村耕地整理組合春繭生産報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年7月14日(1931)	1通・墨書	86-350-51
書簡〔入仏式所要諸経費の報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年7月15日(1931)	1通・墨書	86-348-42
書簡〔寄付御礼〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年9月3日(1931)	1通・墨書	86-356-12
書簡〔選挙結果、尾花氏への用立金、米価推移、各候補者得票数、橋本良吉より守屋栄夫宛当選祝い葉書〕 佐々木潔三郎・橋本良吉→守屋栄夫	昭和6年9月27日(1931)	1通・墨書	86-356-3
書簡〔米売救、古川辺米廉売の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年10月29日(1931)	1通・墨書	86-351-26
書簡〔古川倉庫および本石信用組合事務所の在庫米売捌きの件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年11月1日(1931)	1通・墨書	86-351-27
書簡〔古川本石信用販売組合の在庫米売捌く〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年11月9日(1931)	1通・墨書	86-347-42
書簡〔消防組頭千葉源助へ寄付の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和6年12月10日(1931)	1通・墨書	84-24-26
書簡〔伴男卒業・昭男入学祝い〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年4月3日(1932)	1通・墨書	84-24-13

書簡〔田尻製糸場交渉、門前水路渡岸工事の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年5月13日(1932)	1通・墨書	84-24-28
書簡〔和郎氏の田尻城講演会報告、しめ女の病状〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年7月27日(1932)	1通・墨書	83-3-38
書簡〔襖修理、東部登米郡の負債長期償還の請願運動〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年8月6日(1932)	1通・墨書	83-3-6
書簡〔底石配金完了、植木手入れ等、在樺太伴男先生への送金費と残金の用途、本県匡救土木費につき〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年9月3日(1932)	1通・墨書	83-11-4
書簡〔貸付米黒田精米所にて精米、倉庫米処分について、宅地売却の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年10月4日(1932)	1通・墨書	83-5-22
書簡〔所有米売却し留守宅経費に繰入〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年10月29日(1932)	1通・墨書	83-1-31
書簡〔佐藤与右衛門氏の米山村開墾移住の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年11月6日(1932)	1通・墨書	83-4-28
書簡〔農工銀行への登記の件、匡救村工事着手報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年11月8日(1932)	1通・墨書	83-4-11
書簡〔農工銀行新契約報告、宮城県富永村既設村道工事問題〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年11月17日(1932)	1通・墨書	83-4-43
書簡〔買収除地の状況〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年12月9日(1932)	1通・墨書	84-14-26
書簡〔宅地内建家取り下げの件、宅地買収の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年12月13日(1932)	1通・墨書	84-14-25
書簡〔賜金恵品御礼〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和7年12月27日(1932)	1通・墨書	84-14-10
書簡〔静子鉄三郎結婚〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年3月10日(1933)	1通・墨書	83-12-29
書簡〔村政ほか近況報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年3月30日(1933)	1通・墨書	83-12-8
書簡〔鉄三郎転校の配慮御礼〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年4月3日(1933)	1通・墨書	83-12-10
書簡〔遠田郡富永村村会議員選挙開票結果報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年カ4月18日(1933)	1通・墨書	85-11-8
書簡〔生垣設置見積もり・図面〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年5月15日(1933)	1通・墨書	84-11-4
書簡〔当選祝い〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年5月31日(1933)	1通・墨書	84-11-22
書簡〔動脈硬化〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年6月4日(1933)	1通・墨書	83-6-31
書簡〔借用人および寺院工事について報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年7月5日(1933)	1通・墨書	84-26-6
書簡〔米穀売却について報告〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年7月22日(1933)	1通・墨書	84-26-16
書簡〔各地倉庫の貯蔵米売上と価格、不作の土地対策、村社囑託の件〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年10月11日(1933)	1通・墨書	84-12-34
書簡〔米山耕地整理組合費追加延滞の件、郡道工事の状況〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年12月26日(1933)	1通・墨書	85-6-3
書簡〔留守宅改修工事他〕 佐々木潔三郎→守屋栄夫	昭和8年12月15日(1933)	1通・墨書	84-21-11

書簡〔当選祝い〕 佐々木金太郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-37
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木軍之助→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-10
葉書〔栄転祝い〕 佐々木啓七→守屋栄夫	大正8年8月16日(1919)	1枚・ペン	9-10-29
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木源五郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-67
葉書〔妹結婚挨拶〕 佐々木幸一郎→守屋栄夫	大正2年1月27日(1913)	1枚・ペン	9-23-3
書簡〔清州郡農会技手退職につき就職幹旋依頼〕 佐々木幸亀→守屋栄夫	昭和8年6月28日(1933)	1通・ペン	83-6-24
書簡〔就職幹旋依頼〕 佐々木幸亀→守屋栄夫	昭和8年8月10日(1933)	1通・ペン	84-18-12
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 佐々木幸助→守屋栄夫	昭和3年4月17日(1928)	1枚・ペン	86-329-13
書簡〔岩崎高雄就職幹旋依頼〕 佐々木幸助→守屋栄夫	昭和3年4日(1928)	1通・墨書	10-365
葉書〔当選祝い〕 佐々木幸之助→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1枚・墨書	7-147-339
書簡〔「太平洋問題」の図書取り纏めの件〕 佐々木五右衛門→守屋栄夫	昭和3年8月12日(1928)	1通・墨書	10-408-135
書簡〔京城の青葉会開催報告〕 佐々木権左衛門→守屋栄夫	昭和3年7月24日(1928)	1通・ペン	10-408-137
葉書〔登別温泉宿泊、田中義一内閣批判〕 佐々木権左衛門→守屋栄夫	昭和4年10月3日(1929)	1枚・ペン	86-324-41
葉書〔旅行安全祈願〕 佐々木権左衛門→守屋栄夫	昭和6年6月10日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-304
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木秀・佐々木達→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-44
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木秀司→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-121
書簡〔就職先決定につき御礼〕 佐々木升→守屋栄夫	昭和8年11月23日(1933)	1通・ペン	84-29-32
葉書〔年賀状〕 佐々木正吉→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-99
書簡〔近況報告〕 佐々木正輔→守屋栄夫	昭和5年11月13日(1930)	1通・墨書	10-287
葉書〔当選祝い〕 佐々木正平→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-378
書簡〔農産業窮状打開策意見〕 佐々木四郎右衛門・戸部紘治郎→守屋栄夫	昭和5年12月10日(1930)	1通・墨書	7-147-29
書簡〔北海道移民の件合格通知〕 佐々木四郎右衛門→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1通・ペン	84-16-1
葉書〔フランクフルトなど周遊挨拶〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正12年7月12日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-12
葉書〔大陸旅行終了挨拶〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正12年10月22日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-15
葉書〔夕刻訪問〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正12年(1923)	1枚・ペン	80-40-2-40
葉書〔諸種の試験を実施、健康祈願〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正14年10月29日(1925)	1枚・ペン	84-6-133
葉書〔暑中見舞い〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正15年7月30日(1926)	1枚・ペン	86-325-16

葉書〔慶州出張挨拶〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正15年12月2日 (1926)	1枚・ペン	86-322-59
葉書〔鶉の粕漬送付〕 佐々木仁→守屋栄夫	大正15年12月14日 (1926)	1枚・ペン	86-322-71
葉書〔京城から帰国〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和2年7月6日 (1927)	1枚・ペン	84-1-54
葉書〔暑中見舞い〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和2年8月7日 (1927)	1枚・ペン	84-3-86
葉書〔金剛山訪問〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和2年10月6日 (1927)	1枚・ペン	84-1-94
葉書〔北鮮地域視察旅行中〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和3年4月3日 (1928)	1枚・ペン	86-329-42
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和3年カ5月20日 (1928)	1枚・ペン	86-325-33
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・ペン	5-12-56
書簡〔松田氏の履歴書等送付、京城での宮城県人会の 景況報告〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和6年4月30日 (1931)	1通・ペン	86-352-52
書簡〔松田氏就職斡旋の件〕 佐々木仁→守屋栄夫	昭和6年6月1日 (1931)	1通・ペン	86-354-3
葉書〔愛顧御礼〕 佐々木森治〔旧姓戸張〕→守屋栄夫	昭和8年5月16日 (1933)	1枚・ペン	86-323-73
書簡〔連盟加盟者名簿郵送報告〕 佐々木森治→守屋栄夫	昭和8年8月25日 (1933)	1通・墨書	84-18-43
葉書〔京城出発日程〕 佐々木森治→守屋栄夫	昭和8年11月22日 (1933)	1枚・ペン	86-323-3
書簡〔京城土木談合事件に関する切抜を檀崎氏へ送 付、その後の報告〕 佐々木森治→守屋栄夫	昭和8年12月25日 (1933)	1通・ペン	85-6-4
新聞切抜〔談合事件弁論守屋栄夫関係〕 佐々木森治→ 守屋栄夫	昭和9年1月1日 (1934)	1通・墨書・活版	85-6-1
葉書〔時候の挨拶〕 佐々木森治→守屋栄夫	10月21日	1枚・ペン	86-323-36
葉書〔札幌より挨拶状〕 佐々木新次郎→守屋栄夫	昭和5年20日 (1930)	1枚・ペン	86-1-40
書簡〔富永村における青年団活動〕 佐々木新次郎→守 屋栄夫	昭和8年2月9日 (1933)	1通・墨書	84-8-2
書簡〔宮城県立農事試験場創立三十周年記念絵葉書 送付〕 佐々木甚之丞→守屋栄夫	昭和8年10月9日 (1933)	1通・墨書	84-12-6
葉書〔当選祝い〕 佐々木亮賢→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1枚・墨書	7-147-194
電報〔お悔やみ状〕 佐々木盛→モリヤサカフ	大正12年3月21日 (1923)	1通・ペン	18-14-83
葉書〔無事着欧〕 佐々木盛→守屋栄夫	大正12年8月19日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-44
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木清蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-76
書簡〔栄転祝い〕 佐々木清之丞→守屋栄夫	大正6年5月30日 (1917)	1通・墨書	83-14-35
電報〔お悔やみ状〕 佐々木清之丞→守屋栄夫・令夫人	大正12年3月16日 (1923)	1通・ペン	18-14-73
書簡〔正男葬儀報告他〕 佐々木清之丞→守屋栄夫	大正12年8月19日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-37

葉書〔健康祈願〕 佐々木清之丞・大内龍雲・松野司・春川→ 守屋栄夫	大正14年1月20日 (1925)	1枚・ペン	84-2-10
葉書〔御祝状〕 佐々木清之丞・瀬戸・大内・石田・山下秀隆・ 戸津・次郎・鈴木竹慶・秀千代→守屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1枚・墨書	86-325-52
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木清之丞→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-4
葉書〔試補就任手続き完了、財部閣下発表の島根県庁 内影響〕 佐々木宗右衛門→守屋栄夫	大正8年11月24日 (1919)	1枚・墨書	5-6-21
書簡〔早坂文雄の弁護依頼〕 佐々木惣五郎→守屋栄夫	昭和6年1月1日(1931)	1通・墨書	86-359-4
書簡〔謹賀新年、近況報告ほか〕 佐々木惣五郎→守屋栄 夫	昭和7年1月1日(1932)	1通・墨書	86-346-41
葉書〔挨拶と近況〕 佐々木惣助・佐々木清之丞・大内俊亮→ 守屋栄夫	大正11年1月11日 (1922)	1枚・ペン	84-2-5
葉書〔当選祝い〕 佐々木喬→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・墨書	7-147-169
書簡〔賛成者の報告〕 佐々木忠夫→守屋栄夫	昭和2年12月23日 (1927)	1通・墨書	85-7-3-5
書簡〔佐々木龍雄就職斡旋依頼〕 佐々木龍雄→守屋栄 夫	昭和3年12月9日(1928)	1通・墨書	10-413-28
葉書〔当選祝い〕 佐々木龍雄→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1枚・ペン	7-147-337
書簡〔斎藤子爵組閣にて、水野・平沼氏等と新党を樹 立すべき旨〕 佐々木達蔵→守屋栄夫	昭和7年5月23日(1932)	1通・墨書	86-350-15
葉書〔宝光社は山奥他近況報告〕 佐々木忠右衛門→守 屋栄夫	大正7年7月17日(1918)	1枚・ペン	82-3-269
葉書〔戸隠山登山報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正7年9月13日(1918)	1枚・ペン	82-3-104
葉書〔記念葉書送付御礼〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正8年5月15日(1919)	1枚・墨書	82-3-12
書簡〔会計課縮小問題解決と共に調査課勤務任命、 「朝鮮」雑誌団体の経営移管の件他〕 佐々木忠右衛 門→守屋栄夫	大正12年2月18日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-22
書簡〔支那視察団における講演中の「民国」文字の扱 い報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正12年4月10日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-34
書簡〔副島伯と佐々木の写真、「常夏の国より」印刷配 布、副島伯との面会報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正12年6月24日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-26
書簡〔東京地方大震災報告、著書『常夏の国より』送 付〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正12年9月9日(1923)	1通・ペン	80-39-1-18
書簡〔関東地方大震災の罹災者援護の件、陸進祝い〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正12年9月24日 (1923)	1通・ペン	80-39-1-16
書簡〔目録「火鉢一対」〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正12年カ12月28日 (1923)	1通・墨書	18-14-42
書簡〔新聞切抜8点、石森久彌の書名案同封〕 佐々木忠 右衛門〔総督府調査課〕→守屋栄夫	大正13年3月8日(1924)	1通・墨書・活版	79-7-49
葉書〔近況報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正14年11月22日 (1925)	1枚・ペン	86-323-33
書簡〔朝鮮で守屋の本を広めている、総監死去につい て〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正14年11月26日 (1925)	1通・墨書	85-10-6

書簡 / 来信

書簡〔松村や藤原の人事について〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正14年12月6日 (1925)	1通・ペン	85-10-8
書簡〔年末挨拶、著書三刷喜ぶ〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正14年12月23日 (1925)	1通・墨書	85-10-91
書簡〔藤原氏が後任に田中武雄を推す他近況報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年1月8日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-32
書簡〔「道」送付願い〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年1月16日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-43
葉書〔書籍送付の件〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年2月7日 (1926)	1枚・ペン	86-5
葉書〔書籍送付追加の件〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年2月8日 (1926)	1枚・ペン	86-6
書簡〔京城にて村松・岡崎と会談、忠南金融組合理事見習い一名欠員推薦の件他〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年3月18日 (1926)	1通・墨書	85-3-5-27
葉書〔挨拶〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年5月21日 (1926)	1枚・ペン	84-3-122
葉書〔近況報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年8月3日 (1926)	1枚・ペン	86-325-8
葉書〔九味浦より挨拶状〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年8月20日 (1926)	1枚・ペン	86-14
書簡〔別荘の新築祝い〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年8月22日 (1926)	1通・墨書	85-3-7-8
葉書〔京城で病氣療養挨拶〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年10月6日 (1926)	1枚・ペン	86-236
葉書〔北欧プリンス出迎えにて開城来訪〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年10月14日 (1926)	1枚・ペン	86-256
葉書〔二高会出席にて京城来訪挨拶〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年10月16日 (1926)	1枚・ペン	86-252
書簡〔年末挨拶、別便にて御礼品〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	大正15年12月21日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-12
書簡〔松村氏について〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年2月4日 (1927)	1通・墨書	85-7-5-20
葉書〔北満・支那本部参事を担当〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年3月15日 (1927)	1枚・ペン	86-322-97
葉書〔長春到着報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年3月27日 (1927)	1枚・ペン	84-1-85
葉書〔北京到着、多方面を視察中〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年4月3日 (1927)	1枚・ペン	84-1-89
葉書〔上海戦線の様子、各国陸戦隊の警備〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年4月4日 (1927)	1枚・ペン	84-1-78
葉書〔挨拶状〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年5月28日 (1927)	1枚・ペン	86-146
葉書〔渡鮮挨拶〕 佐々木忠右衛門・貞之丞・長三郎・喜久衛→守屋栄夫・令夫人	昭和2年5月28日 (1927)	1枚・ペン	86-147
葉書〔宮城に帰省、子供の埋骨式を行う〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年7月18日 (1927)	1枚・ペン	84-1-56
葉書〔土産物御礼、健康を害して保養〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年8月4日 (1927)	1枚・ペン	84-3-93

葉書〔黃州出張〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年11月1日(1927)	1枚・ペン	84-1-114
書簡〔採用報告、立候補に際して応援〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年11月18日(1927)	1通・墨書	85-9-146
葉書〔婚儀無事終了〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和2年11月21日(1927)	1枚・ペン	84-3-70
書簡〔守屋氏立候補の件〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和3年1月15日(1928)	1通・墨書	10-408-93
葉書〔ご機嫌伺い〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和3年4月22日(1928)	1枚・ペン	86-329-50
葉書〔「太平洋時代」受領〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和3年4月25日(1928)	1枚・ペン	86-329-53
葉書〔京城に到着〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和3年12月5日(1928)	1枚・ペン	84-3-42
葉書〔朝鮮南部視察経過〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年1月11日(1929)	1枚・ペン	86-328-9
葉書〔ご機嫌伺い〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年2月8日(1929)	1枚・ペン	86-324-29
葉書〔葬儀のため京都滞在〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1枚・ペン	84-6-46
葉書〔滞在中の御礼〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年4月9日(1929)	1枚・ペン	86-327-18
書簡〔姉の死と徳夫の結婚の件〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年5月9日(1929)	1通・墨書	85-4-2-7
書簡〔斎藤総督再任の喜び、昭和連盟組織につき京城では賛否〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年8月28日(1929)	1通・墨書	85-4-5-10
書簡〔渡鮮立寄り希望〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年10月1日(1929)	1通・墨書	85-4-5-13
書簡〔兄玉伯の人事に対する諸問題〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年12月12日(1929)	1通・墨書	5-14-21
書簡〔警部補月報について〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和4年12月2日(1929)	1通・墨書	5-14-32
書簡〔御紹介の千石君採用し難き、朝鮮各地水害他報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和5年7月30日(1930)	1通・墨書	10-410-8
書簡〔「朝鮮朝日」・「朝鮮新聞」の兄玉政務総監に関する記事〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和5年8月2日(1930)	1通・ペン	10-195
葉書〔遠藤氏囑託で満足、遊佐氏警部補にて待遇止むなし〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和5年9月7日(1930)	1枚・ペン	86-322-262
書簡〔松井文輔氏の復職へ努力〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和5年10月10日(1930)	1通・墨書	10-46
書簡〔朝鮮国内動向、人件費減〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和5年10月30日(1930)	1通・ペン	7-147-161
書簡〔鉦山事業の件、本幡高治よりの当事業に関する資金融資依頼書簡〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年1月13日(1931)	1通・ペン・謄写版	86-359-19
書簡〔豊原一郎慶南行き〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年2月8日(1931)	1通・墨書	86-355-20
書簡〔中島代議士追悼演説会の様子、斎藤総督の進退問題、補欠選挙激励、「平壤毎日新聞」記事〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年4月23日(1931)	1通・ペン・墨書	86-354-17
葉書〔時候挨拶〕 佐々木忠右衛門・秀雄・今野長三郎・隆昌・敏巳・和久正志・大沼喜久衛・山岸精雄→守屋栄夫	昭和6年4月23日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-293
書簡〔東拓総裁渡鮮、総督府内人事〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年5月9日(1931)	1通・墨書	86-354-46

書簡〔次期朝鮮総督問題及び新聞記事、東拓総裁来鮮〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年6月11日(1931)	1通・墨書	86-354-41
書簡〔斎藤朝鮮総督辞職、後任は宇垣大将の情勢〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年6月16日(1931)	1通・墨書	86-352-6
書簡〔「太平洋時代」送付、朝鮮総督府人事の件〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年6月18日(1931)	1通・墨書	86-352-46
書簡〔斎藤総督・松村氏の辞任の件、万宝山事件に端を発する鮮支衝突事件報告、朝鮮総督府巡查募集日割表〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年7月9日(1931)	1通・謄写版・墨書	86-350-33
書簡〔遠藤秀吾氏の件、官吏の整理方針通知〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年11月16日(1931)	1通・墨書	86-346-29
書簡〔守屋実君平北漁業組合連合会理事に採用予定〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和6年12月20日(1931)	1通・墨書	86-347-24
書簡〔伴男婚礼祝い、栄夫来鮮の件、朝鮮官界行政整理の件等〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和7年5月12日(1932)	1通・墨書	84-24-3
書簡〔斎藤内閣への入閣希望、「明るい政治」拝読、朝鮮半島の動揺〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和7年6月12日(1932)	1通・墨書	84-13-14
書簡〔新年挨拶・庄田君の件石川警長に依頼他〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年1月5日(1933)	1通・墨書	85-5-26
書簡〔松村氏身上の件・朝鮮官界部長級の内異動に付報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年1月20日(1933)	1通・墨書	85-5-14
書簡〔安田・勝又両氏の就職報告、強固なる内閣を切望〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年4月17日(1933)	1通・墨書	85-11-6
葉書〔土産御礼〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年7月9日(1933)	1枚・ペン	86-323-16
書簡〔英国も昨今落着、近況報告〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年8月25日(1933)	1通・墨書	84-18-38
書簡〔ご機嫌伺い〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年10月22日(1933)	1通・墨書	84-29-17
書簡〔弟の推薦依頼〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年12月5日(1933)	1通・ペン	84-17-29
書簡〔転任に関して激励感謝、転任警戒他年末の挨拶〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	昭和8年12月31日(1933)	1通・墨書	85-6-18
葉書〔儒城温泉滞在、勤儉奨励の用務、徴税督励兼ね管内視察〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	2月16日	1枚・ペン	84-2-33
葉書〔七大本山のある全南の感想〕 佐々木忠右衛門→守屋栄夫	9月21日	1枚・ペン	84-3-19
書簡〔郵便局集荷取扱事務開始の依頼〕 佐々木綱吉→守屋栄夫	昭和4年1月7日(1929)	1通・ペン	86-328-7
書簡〔不況の折柄配慮願ひ、今村長官一行との面会願ひ〕 佐々木毅→守屋栄夫	昭和8年9月5日(1933)	1通・墨書	84-25-38
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木貞治郎→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・ペン	5-25-10-33-9
書簡〔元太郎の東京高等師範学校入学保証人願ひ〕 佐々木貞治郎→守屋栄夫	昭和8年3月23日(1933)	1通・墨書	83-12-22
書簡〔息子の上京・入学・下宿の件御礼〕 佐々木貞治郎→守屋栄夫	昭和8年3月29日(1933)	1通・墨書	84-22-2

葉書〔ハワイより挨拶状〕 T.Sasaki→守屋栄夫	昭和5年4月12日(1930)	1枚・ペン	86-61
葉書〔長崎雲仙着〕 佐々木照→守屋栄夫	昭和8年カ9月4日 (1933)	1枚・ペン	86-323-83
葉書〔盗難品につき追加報告〕 佐々木とし子→守屋栄夫 ・御奥様	昭和8年4月15日(1933)	1枚・ペン	85-11-13
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木友治→守屋栄夫	大正12年4月6日(1923)	1通・墨書	18-14-143
書簡〔暑中見舞い〕 佐々木友治→守屋栄夫	大正13年7月21日 (1924)	1通・墨書	9-22-8
書簡〔年末挨拶〕 佐々木友治→守屋栄夫	大正14年12月24日 (1925)	1通・墨書	85-10-23
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木友治→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-24
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木友治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-22
書簡〔当選祝い〕 佐々木友治→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-15
書簡〔渡米への心他近況報告〕 佐々木寅翁→守屋栄夫	昭和4年1月22日(1929)	1通・墨書	85-4-4-7
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木寅翁〔鉄道省運輸局〕→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-27-15
書簡〔神戸より上京、青森へ向かう〕 佐々木寅翁→守屋 栄夫	昭和4年12月30日 (1929)	1通・ペン	84-1-41
書簡〔当選祈願〕 佐々木寅翁→守屋栄夫	昭和5年2月6日(1930)	1通・墨書	10-409-28
葉書〔カリフォルニアでの日系二世の景況〕 佐々木寅 翁→守屋栄夫	昭和5年4月27日(1930)	1枚・ペン	86-1-56
葉書〔挨拶状〕 佐々木寅翁→守屋栄夫	昭和6年12月18日 (1931)	1枚・ペン	86-86
書簡〔学業支援依頼〕 佐々木寅翁→守屋栄夫	6月12日	1通・墨書	85-4-4-24
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木彦市→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-14-78
書簡〔満蒙産馬協会設立につき所感〕 佐々木彦市→守 屋栄夫	昭和7年7月31日(1932)	1通・墨書	83-3-5
葉書〔精神修養に勉励〕 佐々木文雄→守屋栄夫	昭和5年10月20日 (1930)	1枚・ペン	86-1-75
書簡〔樺太庁人事留多加林務所長に昇進、推薦御礼〕 佐々木文弥〔留多加林務署長〕→守屋栄夫	昭和7年4月15日(1932)	1通・墨書	83-1-62
書簡〔日本勧業銀行富山支店勤務決定〕 佐々木平太郎 →守屋栄夫	昭和4年4月12日(1929)	1通・墨書	6-59-9
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木平之丞→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-189-5
書簡〔かねての御取引分について〕 佐々木平之丞→守 屋栄夫	昭和5年6月23日(1930)	1通・墨書	10-406-17
葉書〔身体不調〕 佐々木正志→守屋栄夫	大正15年12月11日 (1926)	1枚・ペン	86-322-58
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木安五郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-55
葉書〔当選祈願〕 佐々木安五郎→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1枚・墨書	7-147-301
書簡〔別邸壁修理費用の見積〕 佐々木幸雄→守屋栄夫	昭和8年1月14日(1933)	1通・ペン	84-28-11

書簡〔別荘の盗難品報告〕 佐々木幸雄→守屋栄夫	昭和8年4月13日(1933)	1通・ペン	85-11-12
書簡〔飯岡町の別荘荒らし犯逮捕〕 佐々木幸雄→守屋栄夫	昭和8年5月14日(1933)	1通・ペン	84-11-12
葉書〔面会不能遺憾〕 佐々木芳三郎→守屋栄夫	昭和3年7月2日(1928)	1枚・ペン	86-322-135
葉書〔お悔やみ状〕 佐々木芳三郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・ペン	9-15-143
葉書〔年賀状〕 佐々木良助→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-25
書簡〔当選祈願〕 佐々木良助→守屋栄夫	昭和5年2月16日(1930)	1通・墨書・ペン	10-409-14
書簡〔樺太庁林務署の増員と近況〕 佐々木良助→守屋栄夫	昭和8年5月5日(1933)	1通・ペン	84-11-5
書簡〔古川菅原弁護士の訴状事件〕 佐々木良助→守屋栄夫	昭和8年12月5日(1933)	1通・ペン	84-21-9
葉書〔美保神社参拝他近況報告〕 佐々木→守屋栄夫	大正8年4月6日(1919)	1枚・ペン	82-3-259
葉書〔文官試験、官報公告〕 佐々木〔島根県庁〕→守屋栄夫	大正8年6月11日(1919)	1枚・ペン	82-3-37
電報〔家族無事〕 SASAKI→SAKOU MORIYA	大正12年カ9月5日(1923)	1通・タイプ	79-7-27-1
電報〔無事帰郷祈願〕 ササキ→守屋栄夫	大正12年11月21日(1923)	1通・ペン	80-2-1-31-2
葉書〔貴著送付願い〕 佐々木→守屋栄夫	大正15年7月14日(1926)	1枚・墨書	86-322-43
葉書〔挨拶状〕 佐々木・竹内・武志→守屋栄夫	大正15年10月29日(1926)	1枚・ペン	86-265
電報〔療養報告〕 ササキ→守屋栄夫	昭和2年1月5日(1927)	1通・ペン	85-7-2-20-1
葉書〔パンフレット御礼〕 佐々木〔特曹長〕→守屋栄夫	昭和4年9月5日(1929)	1枚・ペン	84-3-17
葉書〔議会質問活躍の件〕 佐々木→守屋栄夫	昭和5年4月27日(1930)	1枚・ペン	86-63
葉書〔福岡県下の修養団講習会景況報告〕 佐崎→守屋栄夫		1枚・ペン	86-322-18
書簡〔貴台の理想とする農村更生〕 佐瀬直衛→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書	10-409-1
葉書〔鎌倉保育園大連分園へ寄付金御礼〕 佐竹音次郎→守屋栄夫・令夫人	昭和8年4月1日(1933)	1枚・活版・墨書	86-323-85
葉書〔栄転祝い〕 佐竹→守屋栄夫	大正8年8月18日(1919)	1枚・ペン	9-10-13
葉書〔喪中〕 貞森覚一→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-45
葉書〔お悔やみ状〕 貞森覚一→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	6-57-2
葉書〔当選祈願〕 貞森覚一→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1枚・ペン	7-147-164
葉書〔当選祝い〕 貞森覚一→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-333
書簡〔当選祝い〕 佐々慎三→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・活版・墨書	10-408-58
書簡〔お悔やみ状〕 佐々慎三→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-56
書簡〔満洲における警察組織について〕 佐々慎三→守屋栄夫	昭和8年9月19日(1933)	1通・墨書	84-25-19

書簡〔お悔やみ状〕 佐藤彰→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・ペン	5-25-10-33-12
書簡〔当選祝い〕 佐藤浅次郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-147-249
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤浅次郎→守屋栄夫	昭和4年3月27日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-2
葉書〔残暑見舞い〕 佐藤新→守屋栄夫	大正7年9月13日(1918)	1枚・墨書・ペン	82-3-105
書簡〔新潟県地方改良講習会へ出席〕 佐藤新→守屋栄夫	大正8年2月13日(1919)	1通・墨書	84-19-14
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤新→守屋栄夫	大正12年3月24日(1923)	1通・墨書	18-14-141
書簡〔服部時之助の試験合格と人柄〕 佐藤新→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1通・墨書	85-3-6-4
葉書〔当選祝い〕 佐藤生郎→守屋栄夫	2月23日	1枚・墨書	7-147-278
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤一徹→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・ペン	5-25-10-33-14
書簡〔自己所有地について青木氏より相談依頼〕 佐藤一徹→守屋栄夫	昭和7年12月28日(1932)	1通・ペン	84-14-8
葉書〔当選祝い〕 佐藤石内〔家庭教育会〕→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・ペン	7-147-317
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤栄志→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-148
葉書〔当選祝い〕 佐藤栄蔵→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・ペン	7-147-315
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤円之助〔朝鮮黄海道瑞興郡九圍面新塘警察官駐在所〕→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・ペン	9-26-2
書簡〔訪問時の御礼〕 佐藤円之助→守屋栄夫	昭和8年6月24日(1933)	1通・ペン	83-6-18
書簡〔当選祈願〕 佐藤かく→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-409-2
書簡〔精算の結果〕 佐藤勝三郎→守屋栄夫	昭和8年2月13日(1933)	1通・墨書・ペン	84-8-14
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤亀太郎〔宮城県白石高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-18
書簡〔中学校長整理による退職に伴い就職斡旋依頼〕 佐藤亀太郎〔宮城県白石高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和6年4月28日(1931)	1通・墨書	86-354-31
書簡〔氏家文夫の貸借金について〕 佐藤亀八郎→守屋栄夫	昭和7年9月29日(1932)	1通・墨書	83-11-1
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤亀久寿→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-48
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤喜作→守屋栄夫	昭和4年3月22日(1929)	5通・墨書	6-59-26
書簡〔高配御礼〕 佐藤喜八→守屋栄夫	昭和2年12月27日(1927)	1通・ペン	85-7-3-7
書簡〔当選祝い、当町不結果について〕 佐藤喜八→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン	10-407-75
葉書〔葬儀不参お詫び〕 佐藤喜八→守屋栄夫	昭和4年3月17日(1929)	1枚・ペン	5-8-35
書簡〔娘の就職斡旋依頼〕 佐藤喜八→守屋栄夫	昭和4年6月6日(1929)	1通・墨書・ペン	85-4-4-32
葉書〔当選祝い〕 佐藤清→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-316
書簡〔選挙応援〕 佐藤銀一→守屋栄夫	昭和3年2月6日(1928)	1通・墨書	10-249

書簡 / 来信

書簡〔台湾高雄から内地に帰還推挙依頼〕 佐藤銀一→ 守屋栄夫	昭和6年8月8日(1931)	1通・墨書	86-348-35
葉書〔盛岡着、県庁にて挨拶〕 佐藤邦雄→守屋栄夫	昭和3年4月15日(1928)	1枚・ペン	86-329-6
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 佐藤邦雄→守屋栄 夫	昭和3年5月11日(1928)	1枚・ペン	86-325-44
書簡〔忠告と後援御礼〕 佐藤邦雄→守屋栄夫	昭和4年8月28日(1929)	1通・墨書	5-17-10
書簡〔高配御礼〕 佐藤熊次郎→守屋栄夫	大正6年4月19日(1917)	1通・墨書	84-20-93
書簡〔農村事情研究に賛同感謝、不景気対策の御指導 希望〕 佐藤健治郎→守屋栄夫	昭和5年8月22日(1930)	1通・墨書	10-346
書簡〔仕事無事終了〕 佐藤弘毅→守屋栄夫	昭和4年5月7日(1929)	1通・墨書	85-4-3-10
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤孝三郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-28-20
葉書〔当選祝い〕 佐藤小平→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-306
書簡〔子供の様子近況挨拶〕 佐藤殖→守屋栄夫	大正14年12月25日 (1925)	1通・ペン	85-10-14
書簡〔近況報告、平壤栗送付〕 佐藤殖→守屋栄夫	大正15年12月24日 (1926)	1通・ペン	85-7-2-9
書簡〔解雇のため生活不安〕 佐藤殖→守屋栄夫	昭和7年6月17日(1932)	1通・ペン	84-13-20
書簡〔千葉永之助就職斡旋依頼〕 佐藤忍→守屋栄夫	大正8年9月17日(1919)	1通・墨書	9-25-25-1
葉書〔当選祝い〕 佐藤忍→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1枚・墨書	7-147-314
書簡〔非常時対策補助により浚渫開始予定、式典招 待〕 佐藤純一→守屋栄夫	昭和8年12月7日(1933)	1通・墨書	84-17-12
葉書〔お悔やみ状〕 佐藤新太夫・かつの→守屋栄夫	大正12年3月22日 (1923)	1枚・墨書	18-14-142
葉書〔来庁の際村長職務管掌にて面会不能遺憾〕 佐 藤新太夫→守屋栄夫	大正15年カ17日(1926)	1枚・ペン	86-322-73
葉書〔暑中見舞い〕 佐藤新太夫→守屋栄夫	8月16日	1枚・ペン	86-191
葉書〔当選祈願、転居通知〕 佐藤すゝ江〔宮城佐藤哲雄 娘〕→守屋栄夫・御令室	昭和5年2月20日(1930)	1枚・ペン	7-147-312
葉書〔当選祝い〕 佐藤すゝ江→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1枚・ペン	7-147-341
書簡〔心当たりのない金銭受取につき相談〕 佐藤勸→ 守屋栄夫	大正9年3月9日(1920)	1通・ペン	81-656
葉書〔当選祝い〕 佐藤捨二→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1枚・ペン	7-147-313
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤省吾→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-39
書簡〔高木前校長への芳志御礼〕 佐藤清治郎→守屋栄 夫	大正8年12月5日(1919)	1通・墨書	83-2-52
書簡〔当選祝い〕 佐藤政次郎→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1通・墨書	10-399
書簡〔佐藤正選挙推薦文〕 佐藤正→守屋栄夫	昭和3年2月1日(1928)	1通・活版	85-2-8
書簡〔暑中見舞い、本郡にお立ち寄り願う〕 佐藤種郎 →守屋栄夫	昭和3年8月4日(1928)	1通・墨書	10-408-133

書簡〔お悔やみ状〕 佐藤種郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-8
書簡〔講演依頼につき挨拶他県会選挙関係〕 佐藤種郎→守屋栄夫	昭和4年10月25日(1929)	1通・墨書	5-31-10
書簡〔当選祝い〕 佐藤弾二→守屋栄夫	2月21日	1通・ペン	7-147-276
書簡〔近況報告〕 佐藤長右衛門→守屋栄夫	昭和4年12月15日(1929)	1通・墨書	5-14-11
書簡〔当選祝い〕 佐藤長之進→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-409-26
葉書〔当選祝い〕 佐藤常志→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-114
書簡〔送本御礼並びに講演依頼〕 佐藤恒次郎→守屋栄夫	昭和4年10月28日(1929)	1通・墨書	5-31-19
書簡〔令息伴男結婚祝い〕 佐藤恒次郎→守屋栄夫	昭和7年4月21日(1932)	1通・墨書	83-1-56
書簡〔新居移転報告〕 佐藤恒次郎→守屋栄夫	昭和7年12月5日(1932)	1通・ペン	84-14-23
書簡〔槻木での講演依頼〕 佐藤恒次郎→守屋栄夫	昭和 4月7日	1通・ペン	83-12-5
葉書〔満洲独立守備隊への入営報告および仙台在中の御礼〕 佐藤貞治→守屋栄夫	昭和8年5月25日(1933)	1枚・ペン	84-27-31
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤哲雄→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-64
書簡〔息子の就職斡旋依頼〕 佐藤哲二→守屋栄夫	昭和6年3月26日(1931)	1通・墨書	86-357-8
葉書〔当選祝い〕 佐藤鉄太郎〔奉仕会々長海軍中將〕・若王子文健〔奉仕会副会長男爵〕→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・謄写版	7-147-358
書簡〔近々面会希望、就職の件相談依頼〕 佐藤哲郎→守屋栄夫	昭和5年5月13日(1930)	1通・墨書	7-147-101
書簡〔恵贈品御礼〕 佐藤鉄郎→守屋栄夫	昭和6年4月20日(1931)	1通・墨書	86-354-49
名刺〔喪中〕 佐藤伝四郎〔東京支社会局保護課長〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-62
葉書〔新年挨拶〕 佐藤虎次郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-4
書簡〔和久氏の計らいにより普成高等普通学校に赴任、これまでの高配御礼〕 佐藤直治→守屋栄夫	昭和6年4月18日(1931)	1通・墨書	86-354-25
書簡〔保険料払込書〕 佐藤直治→守屋栄夫	昭和7年4月25日(1932)	1通・ペン	18-14-201-4
書簡〔保険料払込通知〕 佐藤直治→守屋栄夫	昭和10年6月23日(1935)	1通・ペン・謄写版	18-14-209-2
葉書〔当選祈願〕 佐藤長髪→守屋栄夫	昭和3年2月18日(1928)	1通・墨書	7-147-382
書簡〔当選祝い〕 佐藤英男〔復興局横浜出張所〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-65
葉書〔寒中見舞い〕 佐藤秀助→守屋栄夫	大正15年12月23日(1926)	1通・活版	85-7-2-15
書簡〔宮城県採用方照会取計願い他〕 佐藤復之助→守屋栄夫	大正7年2月4日(1918)	1通・墨書	84-7-28
書簡〔和田先生ご紹介御礼、昭和連盟退出〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和4年9月28日(1929)	1通・ペン	85-4-6-13
書簡〔尽力御礼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和5年10月4日(1930)	1通・墨書	10-48

書簡 / 来信

書簡〔佐藤恒太郎の勸銀への就職斡旋依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和5年11月1日(1930)	1通・墨書	10-387
書簡〔息子幸太郎の就職斡旋依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和5年12月7日(1930)	1通・ペン	10-332
書簡〔銀行就職口添依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年3月20日(1931)	1通・ペン	86-357-16
書簡〔支那からの書簡の礼状〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年カ6月カ22日(1931)	1通・ペン	86-352-47
書簡〔養子恒太郎の就職斡旋依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年カ7月6日(1931)	1通・ペン	86-350-25
書簡〔恒太郎への尽力御礼、選挙の状況〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年9月29日(1931)	1通・ペン	86-358-30
書簡〔垣太郎落選、今後の処置方依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年10月3日(1931)	1通・墨書	86-358-5
書簡〔菅原君と得票予想の内容報告、就職斡旋依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年11月8日(1931)	1通・墨書	86-347-32
書簡〔守屋氏の政務次官任命希望〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年12月14日(1931)	1通・墨書	86-351-6
書簡〔子供の就職につき市長に斡旋依頼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年12月16日(1931)	1通・ペン	86-347-36
書簡〔選挙対策、子供に金銭御礼〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年12月23日(1931)	1通・墨書	86-347-43
書簡〔恒太郎を部下採用御礼、会社での事件につき所感〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和6年(1931)	1通・墨書	86-351-20
書簡〔息採用御礼、遣水応援手簿の評あり〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年1月21日(1932)	1通・墨書	83-1-45
書簡〔遣水氏、事務長は先生と面談後引受とのこと〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年1月25日(1932)	1通・ペン	83-1-43
書簡〔先生の身辺心配〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年4月(1932)	1通・墨書	84-24-11
書簡〔恒太郎の入籍問題〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年7月16日(1932)	1通・ペン	84-13-11
書簡〔子供の仙台での就職、説諭願ひ〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年8月1日(1932)	1通・ペン	83-11-7
書簡〔御厄介お詫び〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年8月23日(1932)	1通・ペン	83-3-21
書簡〔鍵水氏令息葬儀の件〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和7年9月4日(1932)	1通・ペン	83-11-14
書簡〔引越報告、梅津将軍推薦候補への激励依頼、長谷巡査仙台入り運動の件〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和8年3月7日(1933)	1通・ペン	84-22-29
書簡〔光寿院からのお見合い要望、恒太郎就職先の希望〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和8年3月15日(1933)	1通・墨書	84-22-10
書簡〔面会不能お詫び〕 佐藤文五郎→守屋栄夫	昭和8年5月23日(1933)	1通・墨書	84-27-27
書簡〔選挙運動激励〕 佐藤文之正→守屋栄夫	2月13日	1通・墨書	7-147-77
葉書〔欠礼挨拶〕 佐藤兵二郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	85-7-2-41
書簡〔鮮人参政官の設置を想定した異動、徳夫月末に東京〕 佐藤兵治郎→守屋栄夫	昭和4年2月17日(1929)	1通・墨書	6-56-41

書簡〔当選祈願〕 佐藤兵次郎→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書・ペン	10-409-3
書簡〔財産に関係した金銭問題の説明と対応〕 佐藤正雄→守屋栄夫	昭和3年5月8日(1928)	1通・墨書	9-16-16
書簡〔朝鮮総督府への転職採用依頼〕 佐藤正俊→守屋栄夫	大正9年3月5日(1920)	1通・墨書	81-659
葉書〔対馬を旅しての感想報告〕 佐藤正俊→守屋栄夫	昭和2年10月26日(1927)	1枚・ペン	85-9-34
葉書〔歳暮送付〕 佐藤正俊→守屋栄夫	昭和2年12月26日(1927)	1枚・ペン	86-325-21
葉書〔当選祝い〕 佐藤正俊〔長崎県書記官学務部長〕→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・ペン・活版	7-147-356
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤正俊→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-13-16
葉書〔お悔やみ状〕 佐藤昌治→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・ペン	5-25-10-32-16
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤みつほ→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・ペン	5-25-10-33-3
書簡〔生活費支援依頼〕 佐藤みつほ→守屋栄夫	昭和8年9月17日(1933)	1通・ペン	84-25-17
書簡〔見舞金御礼〕 佐藤みつほ→守屋栄夫	昭和8年10月7日(1933)	1通・ペン	84-12-35
書簡〔借金相談〕 佐藤みつほ→守屋栄夫	昭和8年10月30日(1933)	1通・ペン	84-16-7
書簡〔「太平洋時代来る」送付御礼〕 佐藤充→守屋栄夫	昭和3年4月23日(1928)	1通・墨書	10-174
書簡〔当選祝い〕 佐藤明仙→守屋栄夫	昭和3年2月19日(1928)	1通・ペン	10-215
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤三代治→守屋栄夫・令夫人・徳夫・和郎	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-11-2
葉書〔残暑見舞い〕 佐藤弥代二→守屋栄夫	昭和4年8月19日(1929)	1枚・ペン	86-309
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤雄一→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-14-77
葉書〔政友会派遣の満洲国視察に際し懇情御礼〕 佐藤洋之助→守屋栄夫	昭和7年11月5日(1932)	1枚・ペン・活版	83-4-22
書簡〔当選祝い〕 佐藤力太〔横浜市主事〕→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・墨書・活版	7-147-275
書簡〔お悔やみ状〕 佐藤六郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・ペン	5-25-10-32-2
葉書〔普選後初議会報道〕 佐藤・広島→守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1枚・ペン	86-325-28
葉書〔宮崎着、ご機嫌伺い〕 佐藤・君島博吉・階川良一→守屋栄夫	昭和8年9月9日(1933)	1枚・ペン	86-323-81
書簡〔鹿児島日置郡の選挙戦につき景況報告〕 佐土原親則→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	10-409-24
葉書〔挨拶〕 里見哲太郎→守屋栄夫	10月18日	1枚・墨書	84-6-73
書簡〔お悔やみ状〕 真田清之助→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-72
書簡〔当選祝い〕 真田豊太→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン	10-408-119
書簡〔雑誌「神ながら」送付の件〕 真田豊太→守屋栄夫	昭和3年7月23日(1928)	1通・墨書	10-408-138
書簡〔お悔やみ状〕 真田豊太→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-4

書簡〔当選祝い〕 真田豊太→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-409-19
葉書〔笥先生著「風俗習慣と神ながらの実修」送付依頼〕 真田道三郎→守屋栄夫	昭和3年10月10日(1928)	1枚・ペン	86-322-87
葉書〔名著恵贈御礼〕 佐野高蔵→守屋栄夫	昭和4年8月26日(1929)	1枚・墨書	86-318
書簡〔先般依頼した件不要〕 佐野康太→守屋栄夫	大正9年8月6日(1920)	1通・ペン	5-5-18
書簡〔御高配の件につき再度お願い〕 佐野捨五郎→守屋栄夫	昭和1年12月28日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-36
葉書〔別荘を荒らした山本徳三銚子で逮捕〕 佐野捨五郎→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1枚・ペン	85-7-2-1-10
葉書〔挨拶〕 佐野栓次郎→守屋栄夫	大正14年11月17日(1925)	1枚・ペン	84-6-149
葉書〔栄転祝い〕 佐野藤太・千代→守屋栄夫	大正6年5月1日(1917)	1枚・墨書	81-61
書簡〔義弟佐藤正俊朝鮮適所へ配置願い〕 佐野藤太→守屋栄夫	大正9年2月18日(1920)	1通・墨書	81-632
書簡〔大久保健蔵氏に関して〕 佐野寿郎→守屋栄夫	大正9年11月3日(1920)	1通・墨書・ペン	5-16-21
書簡〔守屋栄夫の写真2枚〕 佐野正和→守屋栄夫	大正14年2月14日(1925)	1通・ペン	84-5-52
書簡〔お悔やみ状〕 佐野保次郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	9-28-28
書簡〔お悔やみ状〕 佐原兵蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-52
書簡〔当選祝い〕 佐原町修養会役員一同→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-74
書簡〔当選祝い〕 座間止水→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-7
書簡〔お悔やみ状〕 鯨島雄介→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-80
葉書〔当選祈願〕 佐山栄助→守屋栄夫	2月17日	1枚・墨書	7-147-295
葉書〔某件実現困難か〕 猿股博→守屋栄夫	昭和8年6月7日(1933)	1枚・ペン	86-323-67
葉書〔北海道旅行から帰宅、高橋正一氏の事は試験委員に申しつく〕 猿股博→守屋栄夫	昭和8年9月4日(1933)	1枚・ペン	86-323-82
書簡〔今年の豊作報告、御歳暮送付〕 沢慶治郎→守屋栄夫	大正14年12月12日(1925)	1通・墨書	85-10-36
書簡〔斎藤総督の後任に水野総督を希望〕 沢慶治郎→守屋栄夫	昭和2年12月9日(1927)	1通・墨書	85-7-7-17
書簡〔李夏栄子爵に関する井野の件につき近況報告他〕 沢慶治郎→守屋栄夫	昭和3年11月15日(1928)	1通・墨書	10-413-23
葉書〔ロンドンより英国政界の件〕 沢慶治郎→守屋栄夫	昭和5年12月6日(1930)	1枚・ペン	86-1-39
葉書〔当選祝い〕 沢重吉→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1枚・ペン	7-147-381
書簡〔大暴風雨につき景況報告〕 沢六夫→守屋栄夫	大正6年10月6日(1917)	1通・墨書	83-14-106
葉書〔ベルリンより近況報告〕 沢→守屋栄夫	昭和6年3月17日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-334
書簡〔お悔やみ状〕 沢田運蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-95

書簡〔補欠選挙結果、砂金実就職斡旋依頼〕 沢田運蔵→守屋栄夫	昭和6年5月11日(1931)	1通・墨書	86-354-47
書簡〔当選祝い〕 沢田源一→守屋栄夫	昭和3年2月26日(1928)	1通・活版・墨書	10-408-27
書簡〔お悔やみ状〕 沢田源一→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	9-26-10
葉書〔「神道」読了御礼〕 沢田総重郎→守屋栄夫	大正8年12月7日(1919)	1枚・墨書	83-9-17
葉書〔年賀状〕 沢田豊夫→守屋栄夫	大正9年1月3日(1920)	1枚・ペン	82-3-332
電報〔航海安全祈願〕 サワダトヨタケ→守屋栄夫	大正12年1月28日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-18
葉書〔北陸の河川視察につき報告〕 沢田升治郎→守屋栄夫	明治44年6月9日(1911)	1枚・ペン	81-536
書簡〔お悔やみ状〕 佐渡方之進→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-18-12
葉書〔和歌の浦に到着〕 沢造→守屋様御一同様	大正 4日	1枚・ペン	82-3-306
書簡〔沢幡忠蔵紹介状〕 沢柳政太郎→守屋栄夫	大正14年カ12日(1925)	1通・墨書	85-10-100
葉書〔著書恵贈御礼〕 三瓶八郎→守屋栄夫	昭和3年4月17日(1928)	1枚・ペン	86-329-12
葉書〔お悔やみ状〕 三文字一郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・ペン	9-15-48
書簡〔当選祈願〕 三縁山不動院→守屋栄夫	昭和5年2月20日(1930)	1通・ペン・活版	9-16-73

し

書簡〔朝鮮人の保護救済のため朝鮮協会の各種施設に補助金下付願い〕 椎尾辨匡→守屋栄夫	昭和2年9月24日(1927)	1通・墨書	85-9-29
葉書〔年賀状〕 椎尾辨匡→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書	86-322-211
書簡〔蓑ヶ岡住宅組合精算書について〕 椎名長兵衛→守屋栄夫	昭和8年5月21日(1933)	1通・ペン	84-27-13
書簡〔農民読本頂戴感謝〕 椎名長兵衛→守屋栄夫	昭和8年8月18日(1933)	1通・ペン	84-18-41
書簡〔満洲での就職斡旋依頼〕 塩沢悌次→守屋栄夫	昭和7年8月19日(1932)	1通・墨書	83-3-13
書簡〔今野君の件心配なし〕 塩谷新→守屋栄夫	大正7年7月12日(1918)	1通・墨書	83-9-39
葉書〔連日講演会を開催〕 塩原時三郎→守屋栄夫	大正7年6月30日(1918)	1枚・ペン	82-3-243
書簡〔面会御礼、履歴書送付、寄贈冊子拝読、仏教青年会で「入不二法門」拝聴〕 塩原時三郎〔貯金局内国為替課〕→守屋栄夫	大正13年7月27日(1924)	1通・墨書	9-22-19
書簡〔「太平洋時代来る」到着、静岡県清水市市長の依頼他近況報告〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和4年5月30日(1929)	1通・ペン	85-4-4-31
書簡〔清水市長新任を承諾〕 塩原時三郎〔台湾交通局〕→守屋栄夫	昭和4年10月4日(1929)	1通・墨書	10-61
書簡〔陛下清水港巡幸の際に差し上げた写真帳と同一物送付〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和5年6月27日(1930)	1通・墨書	10-406-43
葉書〔港湾協会出席のため渡鮮〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和6年5月3日(1931)	1枚・ペン	86-322-291

書簡〔石川要君は清水市水道課水源地工営所に配属〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和6年カ8月10日 (1931)	1通・ペン	86-348-9
書簡〔清水市長就任にて挨拶状〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和6年12月15日 (1931)	1通・墨書	86-351-14
書簡〔満洲報告〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和8年11月24日 (1933)	1通・ペン	84-29-35
書簡〔文官行政の確立について〕 塩原時三郎→守屋栄夫	昭和8年11月25日 (1933)	1通・ペン	84-29-8
書簡〔当選祝い〕 志賀剛二→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	7-147-137
書簡〔冷酷なる人物と書かれ迷惑〕 滋賀貞→守屋栄夫	大正5年4月2日 (1916)	1通・墨書	84-20-20
書簡〔計画を4月から実行〕 渋賀貞→守屋栄夫	昭和4年2月6日 (1929)	2通・墨書	6-56-33
葉書〔寒中見舞い〕 滋賀貞→守屋栄夫	昭和5年2月11日 (1930)	1枚・ペン	7-147-366
書簡〔朝鮮金属鉱業の発達史編纂〕 志賀融→守屋栄夫	昭和6年9月1日 (1931)	1通・墨書	86-348-28
書簡〔お悔やみ状〕 志賀日俊→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-10-15
書簡〔妻実家を紹介〕 志賀日俊→守屋栄夫	昭和5年2月9日 (1930)	1通・ペン	10-409-93
書簡〔村田昇請衛生課技師任命手続書類の催促〕 志賀遼→守屋栄夫	大正9年11月8日 (1920)	1通・墨書	5-16-22
書簡〔大学の助手採用に付水野氏に相談〕 志賀遼→守屋栄夫	昭和4年11月19日 (1929)	1通・墨書	5-31-33
書簡〔選挙応援〕 四竈常吉→守屋栄夫	昭和 1月14日	1通・ペン	10-403-45
葉書〔年賀状〕 鹿又武三郎〔弁護士〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-222
書簡〔当選祝い〕 志岐信太郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1通・墨書	10-407-8
書簡〔お悔やみ状〕 志岐信太郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	6-54-5
書簡〔当選祝い〕 志岐信太郎→守屋栄夫	昭和5年2月25日 (1930)	1通・墨書	10-409-92
書簡〔お悔やみ状〕 重田勘次郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-15-178
葉書〔山崎先生訪問など近況報告〕 重信文敏→守屋栄夫	大正6年2月21日 (1917)	1枚・墨書	84-20-43
書簡〔満洲産リング発送〕 重信文敏→守屋栄夫	大正15年12月24日 (1926)	1通・ペン	85-7-2-6
葉書〔欠礼挨拶〕 重信文敏→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版	85-7-2-46
書簡〔若槻内閣倒閣、政友会復権につき仕事斡旋願 い〕 重信文敏→守屋栄夫	昭和2年4月27日 (1927)	1通・ペン	85-9-92
書簡〔倅の世話依頼〕 宍戸完吉→守屋栄夫	昭和4年12月19日 (1929)	1通・墨書	5-14-16
書簡〔当選祝い〕 宍戸房男→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1通・墨書	10-409-90
葉書〔当選祝い〕 志田敬三→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1枚・墨書	7-147-174
書簡〔当選祈願〕 設楽甚→守屋栄夫	昭和5年2月16日 (1930)	1通・墨書	10-409-105
葉書〔七寿会第二回総会寄せ書き〕〔七寿会カ 複数名 による寄せ書き〕→守屋栄夫	大正15年11月14日 (1926)	1枚・ペン	84-1-47

葉書〔似顔絵〕 七寿会→守屋栄夫	大正15年11月14日 (1926)	1枚・ペン	84-1-42
葉書〔本荘の近況報告〕 辱東→守屋栄夫	明治44年2月7日 (1911)	1枚・墨書	81-560
書簡〔金性珠の意見書について〕 篠田治策→守屋栄夫	大正9年10月11日 (1920)	1通・墨書	5-16-3
書簡〔天長節宴会予算特別補助依頼〕 篠田治策〔平安南 道知事〕→守屋栄夫	大正10年9月29日 (1921)	1通・墨書	5-29-33
書簡〔年賀状、篠原成一履歴書〕 篠原あき→守屋栄夫	昭和5年2月6日 (1930)	1通・墨書	10-409-88
書簡〔静養のため着任延期願い〕 篠原英太郎→守屋栄 夫	大正8年9月25日 (1919)	1通・墨書	9-25-22
書簡〔辞令承知、妻死去〕 篠原英太郎→守屋栄夫	大正8年9月27日 (1919)	1通・墨書	9-25-31
書簡〔北欧一周の近況報告〕 篠原英太郎→守屋栄夫	大正12年8月24日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-35
書簡〔歳暮御礼〕 篠原英太郎→守屋栄夫	昭和1年12月27日 (1926)	1通・墨書	85-7-2-1-39
書簡〔選挙出馬に関して篠原英太郎宛状況報告の書 簡2通同封〕 篠原英太郎→守屋栄夫	昭和2年12月1日 (1927)	1通・墨書	85-9-131
書簡〔お悔やみ状〕 篠原英太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-78
書簡〔里見氏の事件報告、厚情御礼〕 篠原英太郎→守屋 栄夫	昭和4年5月21日 (1929)	1通・ペン	85-4-2-15
書簡〔県会・県政他近況報告〕 篠原英太郎→守屋栄夫	昭和4年9月2日 (1929)	1通・ペン	85-4-5-5
葉書〔喪中〕 篠原金作→守屋栄夫	昭和2年1月3日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-81
書簡〔息子の進路相談〕 篠原秋→守屋栄夫	昭和4年12月20日 (1929)	1通・墨書	5-14-100
書簡〔就職幹旋御礼〕 篠原一→守屋栄夫	昭和8年3月13日 (1933)	1通・墨書	84-22-9
葉書〔スエズ入港ほか近況〕 篠原→守屋栄夫	大正11年8月31日 (1922)	1枚・ペン	84-2-44
葉書〔アムステルダムより挨拶状〕 シノハラ・Okada→ 守屋栄夫	大正12年8月5日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-2
書簡〔渡鮮の時期照会〕 芝徳純→守屋栄夫	昭和10月14日	1通・墨書	5-24-7
書簡〔近況報告〕 柴田栄三郎→守屋栄夫	昭和4年8月13日 (1929)	1通・ペン	85-4-1-14
書簡〔高等普通学校卒業生資格について〕 柴田善三郎 →守屋栄夫	大正8年11月20日 (1919)	1通・墨書	5-28-16
書簡〔朝鮮学制改革に関し内地法改正を質す〕 柴田 善三郎→守屋栄夫	大正9年1月29日 (1920)	1通・墨書	5-28-7
書簡〔教育令改正案ならびに付帯法案の件〕 柴田善三 郎→守屋栄夫	大正9年2月22日 (1920)	1通・墨書	81-635
書簡〔教員採用、職員配当不統一、活動写真、教育令改 正の件〕 柴田善三郎→守屋栄夫	大正9年3月14日 (1920)	1通・墨書	81-644
書簡〔朝鮮各学校における天長節挙式の様子他〕 柴 田善三郎→守屋栄夫	大正9年11月2日 (1920)	1通・墨書	81-733

書簡〔服部某行政試験合格〕 柴田善三郎→守屋栄夫	大正15年12月27日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-3
書簡〔政変につき意見〕 柴田善三郎→守屋栄夫	昭和2年4月27日 (1927)	1通・墨書	85-9-95
葉書〔当選祝い〕 柴田善三郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1枚・ペン	7-147-203
書簡〔普通学校6年制実施に対する意見〕 柴田善三郎 →守屋栄夫	大正 1月25日	1通・墨書	83-10-12
葉書〔試験問題送付依頼〕 芝田徹心→守屋栄夫	大正6年5月21日 (1917)	1枚・ペン	81-56
書簡〔法学通論問題送付御礼、後任者は桶田君を第一 候補として交渉〕 芝田徹心〔第八高等学校〕→守屋栄夫	大正6年5月30日 (1917)	1通・墨書	83-14-108
葉書〔三重県視察、社会事業の実情調査〕 柴田義彦→ 守屋栄夫	大正14年12月17日 (1925)	1枚・ペン	84-6-66
葉書〔門司到着と離日報告〕 柴田義彦・貞子→守屋栄夫	大正15年4月2日 (1926)	1枚・ペン	84-5-48
葉書〔航海の様子、スエズ運河到着〕 柴田義彦→守屋栄 夫	大正15年5月3日 (1926)	1枚・ペン	84-3-126
書簡〔スイス赴任後の現状報告〕 柴田義彦→守屋栄夫	大正15年6月9日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-51
葉書〔フランスの温泉滞在〕 柴田義彦→守屋栄夫	大正15年カ7月23日 (1926)	1枚・ペン	86-201
葉書〔パリにおける前田代表近況〕 柴田義彦→守屋栄 夫	大正15年8月17日 (1926)	1枚・ペン	86-211
書簡〔お悔やみ状〕 柴田義彦→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-46
書簡〔当選祝い〕 柴田義彦→守屋栄夫	昭和5年3月2日 (1930)	1通・ペン	10-409-91
葉書〔京都から挨拶状〕 柴田・松太郎・大千賀・初→守屋栄 夫	大正10年4月6日 (1921)	1枚・墨書	81-200
書簡〔任地ハルピン到着〕 柴村猛→守屋栄夫	昭和8年12月10日 (1933)	1通・墨書	84-21-14
書簡〔掲載原稿受領書〕 柴山武矩〔台湾社会事業協会『社 会事業の友』編集部〕→守屋栄夫	昭和5年10月15日 (1930)	1通・ペン	7-147-155
書簡〔当選祈願〕 渋谷雲岳→守屋栄夫	昭和5年2月9日 (1930)	1通・墨書	10-409-72
書簡〔助役の俸給に関して市長決裁〕 渋谷格三郎→守 屋栄夫	昭和4年5月14日 (1929)	1通・墨書	85-4-2-11
書簡〔道庁農務課農会での勤務決定御礼〕 渋谷金吾→ 守屋栄夫	昭和8年12月6日 (1933)	1通・墨書	84-17-13
書簡〔購買組合の経営報告〕 渋谷元之丞→守屋栄夫	昭和8年5月16日 (1933)	1通・墨書	84-27-4
書簡〔土産・厚情感謝〕 渋谷治三郎→守屋栄夫	昭和2年3月18日 (1927)	1通・墨書	85-9-69
書簡〔照会の件は兼任に決定〕 渋谷治三郎→守屋栄夫	昭和6年4月2日 (1931)	1通・墨書	86-357-1
書簡〔鈴木君の就職斡旋依頼〕 渋谷周蔵→守屋栄夫	大正6年10月11日 (1917)	1通・墨書	83-14-189
書簡〔当選祝い〕 渋谷周蔵→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-407-46
書簡〔お悔やみ状〕 渋谷周蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-16
書簡〔当選祝い〕 渋谷周蔵→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1通・墨書	10-409-71

書簡〔大連市内の土地出願認可の件〕 渋谷新平→守屋栄夫	昭和7年8月27日(1932)	1通・ペン	83-3-24
書簡〔大連大柳菊三郎来京につき面会依頼、出資援助願い〕 渋谷新平→守屋栄夫	昭和7年9月9日(1932)	1通・ペン	83-11-5
書簡〔松島駅移転問題〕 渋谷太造→守屋栄夫	昭和8年3月17日(1933)	1通・墨書	84-22-18
書簡〔仙台の選挙運動状況報告〕 渋谷徳三郎→守屋栄夫	昭和5年8月30日(1930)	1通・墨書	7-147-151
書簡〔郡内校長中退職見込者推薦の件〕 渋谷徳三郎→守屋栄夫	昭和6年12月1日(1931)	1通・墨書	86-347-3
書簡〔軍需品製造工場設置請願〕 渋谷徳三郎→守屋栄夫	昭和8年11月24日(1933)	1通・墨書	84-29-20
書簡〔お悔やみ状〕 渋谷徳三→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・ペン	5-25-8-3
書簡〔京城専売支局金城出張所勤務着任報告他〕 渋谷徳三→守屋栄夫	昭和5年6月27日(1930)	1通・墨書	10-411-24
書簡〔亡父信三の葬儀御礼〕 渋谷徳三→守屋栄夫	昭和7年7月29日(1932)	1通・墨書	83-3-37
書簡〔立候補の要請〕 渋谷富治→守屋栄夫	昭和3年1月23日(1928)	1通・墨書	9-16-43
葉書〔当選祝い〕 渋谷富治→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-7
書簡〔4月2日より勤務、近況報告〕 渋谷均→守屋栄夫	大正6年4月10日(1917)	1通・墨書	84-20-82
書簡〔お悔やみ状〕 渋谷均→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-189-8
書簡〔叔父帰省〕 渋谷均→守屋栄夫	昭和4年8月26日(1929)	1通・墨書	5-17-22
書簡〔赤坂君より親展、岩淵君へ親書依頼〕 渋谷均→守屋栄夫	昭和4年12月16日(1929)	1通・ペン	5-14-24
書簡〔岩見沢風景絵はがき送付〕 渋谷文之助→守屋栄夫	昭和2年7月24日(1927)	1通・ペン	86-170
書簡〔9月18日のことについて〕 渋谷文之助→守屋栄夫	昭和8年10月27日(1933)	1通・墨書	84-29-15
書簡〔新市長就任までの暫定措置〕 渋谷松三郎→守屋栄夫	昭和4年4月27日(1929)	1通・墨書	6-59-36
葉書〔ご機嫌伺い〕 渋谷→守屋栄夫	昭和6年7月1日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-350
書簡〔飯岡町での修養講話拝聴御礼〕 嶋田郡太郎→守屋栄夫	昭和4年8月15日(1929)	1通・墨書	85-4-1-5
書簡〔当選祝い〕 嶋田郡太郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-89
葉書〔挨拶状〕 嶋田三郎→守屋栄夫	大正 8月7日	1枚・ペン	83-9-23
書簡〔書物・写真送付、ネガフィルム、写真〕 嶋田芳治→守屋栄夫	大正12年9月10日(1923)	1通・ペン	80-40-1-14
葉書〔例の書簡につき報告〕 Y.Shimadu→守屋栄夫	大正12年10月21日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-16
書簡〔お悔やみ状〕 嶋田芳治〔弁護士事務所丸ノ内〕→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	9-26-12
葉書〔ハイデルベルクより近況報告〕 嶋田→守屋栄夫	大正12年7月25日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-20

書簡〔当市事務局予算の件〕 嶋津岬→守屋	大正12年11月3日 (1923)	1通・ペン	80-39-1-21
書簡〔就職斡旋依頼〕 島貴敏男→守屋栄夫	昭和8年12月12日 (1933)	1通・ペン	84-16-8
書簡〔年末年始仕欠礼〕 島村政治→守屋栄夫	昭和1年12月28日 (1926)	1通・墨書	85-7-2-1-27
書簡〔当選祝い〕 島村政治→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・墨書	10-407-90
葉書〔当選祝い〕 清水浦次郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-370
書簡〔年末の挨拶〕 清水慶市→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1通・墨書	85-7-1-16
書簡〔お悔やみ状〕 清水佐太郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-28-29
書簡〔お悔やみ状〕 清水三作→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-189-11
書簡〔お悔やみ状〕 清水澄→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン・活版	5-12-30
書簡〔男爵来訪名刺差置につき報告〕 清水澄→守屋栄夫	8日	1通・墨書	9-20-19
書簡〔府立第四中学校に就職、長男婚約者中ノ目みさほの東京府小学校転任問題紛糾〕 志村俊次郎→守屋栄夫	大正8年5月30日(1919)	1通・墨書	83-2-40
書簡〔みさは他府県就職命令督促願い〕 志村俊次郎→守屋栄夫	大正8年6月20日(1919)	1通・墨書	83-10-8
書簡〔中ノ目実家に戸籍抄本発行依頼、免許書換願・改姓届・他府県就職願を登米郡視学送付〕 志村俊次郎→守屋栄夫	大正8年6月7日(1919)	1通・墨書	84-9-17
書簡〔お悔やみ状〕 志村操→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-184
葉書〔欠礼挨拶〕 志村芳雄→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-45
書簡〔お悔やみ状〕 志村芳雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-174
書簡〔当選祝い〕 志村芳雄→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-409-70
書簡〔藤崎善吉から使命社宛書簡、当選祝い〕 使命社→守屋栄夫	昭和3年3月18日(1928)	1通・ペン・墨書	10-207
葉書〔暑中見舞い〕 下飯塚元□→守屋栄夫	昭和4年7月30日(1929)	1枚・ペン・活版	86-277
葉書〔暑中見舞い〕 下飯塚元□→守屋栄夫	昭和5年7月9日(1930)	1枚・ペン・活版	7-147-309
葉書〔朝鮮博覧会開催案内〕 下江黄金堂→守屋栄夫	昭和4年9月16日(1929)	1枚・ペン・活版	84-3-27
書簡〔樺太富内村での講演御礼、樺太富内村上喜美内の景況報告〕 下川栄→守屋栄夫	昭和7年8月12日(1932)	1通・ペン	83-3-2
葉書〔暑中見舞い〕 下坂重行→守屋栄夫	昭和3年7月27日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-233
書簡〔お悔やみ状〕 下坂重行→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-15
書簡〔お悔やみ状〕 下条康磨→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-39
書簡〔当選祝い、少年更生の件〕 下関保護院→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・ペン	10-409-107
葉書〔書籍送付〕 下村海七→守屋栄夫	昭和5年4月20日(1930)	1枚・ペン	86-67

書簡〔お悔やみ状〕 下村寿一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-33
書簡〔三好重彦就職幹旋依頼〕 下村宏→守屋栄夫	大正10年8月14日(1921)	1通・墨書・ペン	9-24-9
葉書〔挨拶〕 下村宏→守屋栄夫	大正14年10月18日(1925)	1枚・ペン	84-6-77
書簡〔「革命後の露西亞」謝辞、近況報告〕 下村宏→守屋栄夫	大正14年11月7日(1925)	1通・ペン	85-10-47
書簡〔お礼状〕 下村宏→守屋栄夫	大正15年2月6日(1926)	1通・ペン	85-3-3-49
電報〔お悔やみ状〕 下村充義→守屋栄夫	大正12年3月18日(1923)	1通・ペン	18-14-93
葉書〔年頭挨拶〕 下村充義→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	85-7-2-48
書簡〔工事捗らず、阿部東京府知事の願書貴府でお取次を〕 下村柳作→守屋栄夫	大正9年5月31日(1920)	1通・墨書	5-16-17
書簡〔青年団講習会講義願ひ、講習会開設綱領、開設方法細俊〕 下村〔鳥取県理事官〕→守屋栄夫	大正7年6月28日(1918)	1通・墨書	5-6-36
葉書〔年賀状〕 朱鍾勲→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-7
葉書〔喪中〕 修養園→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書・ペン	86-326-76
書簡〔大正天皇崩御に伴う「向上」並に「愛と汗」1月号の注意点〕 財団法人修養団→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1通・活版	85-3-4-3
葉書〔台湾最奥の生蕃社来訪〕 〔修養団関係者〕	昭和	1枚・ペン	86-325-42
書簡〔お祝い文〕 祝賀会一同	昭和5年(1930)	1通・墨書	10-405-27
書簡〔長男・次男・秘書の近況報告〕 徐奎錫→守屋栄夫	大正15年7月28日(1926)	1通・墨書	85-3-1-12
書簡〔地方視察の際の欠礼お詫び〕 徐公道→守屋栄夫	昭和6年6月30日(1931)	1通・ペン	86-352-21
書簡〔伊川水利組合事件への配慮感謝、産品部長・内務部長ともに満足〕 徐相熙→守屋栄夫	昭和5年6月30日(1930)	1通・ペン	10-411-6
葉書〔面謁の件〕 城のふ→守屋栄夫	大正14年カ9月17日(1925)	1枚・ペン	86-29
書簡〔宮内省より下賜金御礼〕 城のふ→守屋栄夫	大正15年2月12日(1926)	1通・墨書	85-3-6-24
書簡〔神戸県人同情会創立十周年記念・開館式御礼〕 城ノブ→守屋栄夫(第二部長)	大正15年3月6日(1926)	1通・墨書	85-8-12
書簡〔新会館建築にて神戸婦人同情会への支援依頼〕 城のふ→守屋栄夫	大正15年9月12日(1926)	1通・ペン・墨書	78-23-4
葉書〔暑中見舞い〕 城ノブ→守屋栄夫	昭和3年8月11日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-253
書簡〔お悔やみ状〕 城ノブ→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-17
書簡〔宮内省にて事業実験願ひ〕 城ノブ→守屋栄夫	昭和5年1月14日(1930)	1通・墨書	10-403-1
葉書〔当選祈願〕 城ノブ→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1枚・ペン	7-147-367
葉書〔当選祝い〕 城ノブ→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・ペン	7-147-368

葉書〔当選祝い〕 条→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-192
書簡〔選挙活動激励〕 庄司勘吾〔宮城県広瀬村村会議員・上町区長〕→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・ペン	9-16-52
書簡〔お悔やみ状〕 庄司衾吉→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-10-13
葉書〔吉野丸から大和丸に移乗〕 庄子公章→守屋栄夫	昭和4年6月1日(1929)	1枚・ペン・活版	84-6-38
書簡〔社会事業への貢献および桃生郡広瀬隣保館への激励御礼〕 庄司仙嶺→守屋栄夫	昭和7年11月5日(1932)	1通・墨書	83-4-21
書簡〔当選祈願〕 庄司信男→守屋栄夫	昭和3年2月13日(1928)	1通・ペン	4-18
書簡〔お悔やみ状〕 庄司信男→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書・ペン	5-25-4
書簡〔松村事務官送別会席上(其二三)〕 庄司秀雄・石堂秀一・佐々木文右衛門・石橋隆信・小阪乙彦・佐々木惣助・村上邦弥→守屋栄夫	大正14年2月12日(1925)	1通・ペン	84-2-12
書簡〔総監後任人事と転職幹旋依頼〕 庄司秀雄→守屋栄夫	大正14年11月25日(1925)	1通・ペン	85-10-68
葉書〔北鮮地方会議視察随行で平壤来訪〕 庄司秀雄→守屋栄夫	大正15年2月13日(1926)	1枚・ペン	86-322-23
葉書〔朝鮮各地の実業状態視察〕 庄司秀雄→守屋栄夫	大正15年8月17日(1926)	1枚・ペン	86-18
葉書〔実業教育臨地講習員引率、今野氏招待の件〕 庄司秀雄→守屋栄夫	大正15年8月26日(1926)	1枚・ペン	86-215
葉書〔満洲視察〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和2年4月23日(1927)	1枚・ペン	84-1-74
葉書〔第六回鮮展状況報告〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和2年5月29日(1927)	1枚・ペン	86-148
書簡〔総選挙出馬考慮願ひ〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和2年10月4日(1927)	1通・ペン	85-7-4-7
葉書〔視察日程〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和2年カ12月27日カ(1927)	1枚・ペン	86-325-19
葉書〔北鮮間島方面視察で会寧より挨拶〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和3年6月5日(1928)	1枚・ペン	86-322-131
葉書〔朝鮮より挨拶状〕 庄司秀雄・松盛・今岡・松久正志→守屋栄夫	昭和3年7月2日(1928)	1枚・ペン	84-6-2
葉書〔朝鮮教育界総会・平南管内学事状況視察で来鮮〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和3年7月4日(1928)	1枚・ペン	86-322-142
書簡〔鮮人登用最高機関として参政官設置配慮願ひ他〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和4年1月29日(1929)	1通・ペン	85-4-4-16
葉書〔満鮮地域巡視経過〕 庄司秀雄→守屋栄夫・御奥人	昭和4年12月5日(1929)	1枚・ペン	86-324-69
書簡〔選挙応援〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和5年1月8日(1930)	1通・ペン	10-403-20
書簡〔守屋秀夫氏推薦書〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和5年2月3日(1930)	1通・ペン・活版	10-409-85
書簡〔佐々木忠右衛門の学務課長推薦依頼他〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和5年7月26日(1930)	1通・ペン	10-410-3
葉書〔朝鮮到着報告〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和5年11月11日(1930)	1枚・ペン	84-1-44
書簡〔仙台への転任変更・中止に向け協力依頼〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年1月17日(1931)	1通・墨書	86-359-9

書簡〔朝鮮総督府人事の状況〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年7月16日(1931)	1通・墨書	86-348-51
書簡〔福士課長より大阪及神戸市会書記長推薦依頼〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年12月2日(1931)	1通・ペン	86-347-2
書簡〔鈴木君の世話御安心を〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年12月5日(1931)	1通・墨書	86-347-11
書簡〔水野総督による異動を予想〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年12月19日(1931)	1通・墨書	86-346-39
書簡〔院内幹事祝い、行整問題も停頓〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年12月23日(1931)	1通・墨書	86-347-28
書簡〔水野総督守屋総監を待つ〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和6年カ12月26日(1931)	1通・墨書	86-347-27
書簡〔家の整理、大谷父子不渡り〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和7年5月5日(1932)	1通・墨書	84-24-29
書簡〔学会の実情と中島・小野寺に憤り、韓李玉長官 発狂、その後任の状況など〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和7年5月7日(1932)	1通・墨書	84-24-30
書簡〔李軫鎬一家の救済のため東拓理事か満洲国嘱 託斡旋を〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和7年8月27日(1932)	1通・墨書	83-3-17
書簡〔白上参議後任松村氏推薦依頼、水野先生最高顧 問問題、競馬問題尽力願ひ〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和7年9月12日(1932)	1通・墨書	83-11-10
書簡〔星出正雄保釈、関子爵土地総督府女子師範買収 、片東鉉所有宅地購入のため東拓融資尽力願ひ〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和7年10月19日(1932)	1通・ペン	83-1-24
書簡〔京城支部設立報告〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和7年11月10日(1932)	1通・墨書	83-4-13
葉書〔咸羅到着〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年3月18日(1933)	1枚・ペン	86-323-70
書簡〔朝鮮統治問題に関して人事は地方的偏狭にて 改善依頼、財産整理問題報告〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年5月9日(1933)	1通・墨書	84-11-1
書簡〔朝鮮総督府人事異動につき〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年7月31日(1933)	1通・墨書	84-18-21
書簡〔渡辺新局長より庄司の誤解について、教育会会 計問題大内と佐々木の人事問題など〕 庄司秀雄→ 守屋栄夫	昭和8年8月4日(1933)	1通・ペン	84-25-27
書簡〔松橋君の本府理事官実現依頼〕 庄司秀雄→守屋 栄夫	昭和8年8月10日(1933)	1通・墨書	84-18-15
書簡〔守屋栄夫講述パンフレット配布承諾願ひ〕 庄 司秀雄→守屋栄夫	昭和8年10月6日(1933)	1通・墨書	84-12-43
書簡〔「祖国日本を護れ」印刷配本〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年10月18日(1933)	1通・墨書	5-24-28
葉書〔掲載原稿他近況報告〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年12月11日(1933)	1枚・ペン	85-6-12
書簡〔掲載記事省略、裁判経過報告、水野先生顧問官 辞退〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年12月15日(1933)	1通・ペン	84-21-15
書簡〔削除された記事の原文送付〕 庄司秀雄→守屋栄夫	昭和8年12月16日(1933)	1通・墨書	84-21-12
書簡〔朝鮮の学校の就職状況、正月用の雁贈呈〕 庄田 真次郎→守屋栄夫	大正14年12月17日(1925)	1通・ペン	85-10-34

書簡 / 来信

葉書〔全北の銀行視察の件〕 庄田真次郎・今野・大進・三浦→守屋栄夫	大正15年9月7日(1926)	1枚・ペン	86-210
葉書〔ロンドンへ参上〕 上前→守屋栄夫	大正12年4月26日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-43
書簡〔当選祈願〕 白井虎雄→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	10-409-74
書簡〔当選祝い〕 白井虎雄→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-75
書簡〔当選祝い〕 白石喜太郎→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-409-73
書簡〔お悔やみ状〕 白石慶治→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-4
書簡〔お悔やみ状〕 白石広造→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-10-2-1
書簡〔山林原野開拓に協力願い〕 白石マサヨ〔守屋マサヨ〕→守屋栄夫	昭和5年1月5日(1930)	1通・ペン	10-403-15-2
書簡〔恵贈品御礼〕 白上夫佐子→守屋栄夫・奥様	昭和5年カ12月8日(1930)	1通・墨書	7-147-12
書簡〔「我等の進むべき道」申込便宜願い〕 白上佑吉→守屋栄夫	大正15年2月1日(1926)	1通・墨書	85-3-5-21
書簡〔社会局奉仕希望者との面会願い〕 白上佑吉→守屋栄夫	大正15年10月28日(1926)	1通・墨書	85-3-3-33
書簡〔朝鮮の問題につき富山県会議長飯倉平兵衛氏と会談願い〕 白上佑吉→守屋栄夫	昭和4年11月8日(1929)	1通・活版・ペン	85-4-4-8
葉書〔白菜恵贈御礼〕 白上佑吉→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1枚・墨書	84-17-23
葉書〔野菜送付御礼〕 白上→守屋栄夫・御奥様	昭和5年12月17日(1930)	1枚・墨書	86-1-66
葉書〔白菜送付のお礼〕 白上内→守屋栄夫	昭和7年12月14日(1932)	1枚・墨書	84-14-16
書簡〔講演謝礼〕 白木沢大専→守屋栄夫	昭和8年9月15日(1933)	1通・墨書	84-25-5
書簡〔「満朝視察の全国中学校長招待会席上の演述」送付御礼と感想〕 白坂栄彦〔福岡県立中学修猷館長〕→守屋栄夫	大正11年2月21日(1922)	1通・ペン	9-20-7
書簡〔「欧米の旅より」感想〕 白根竹介→守屋栄夫	大正14年11月3日(1925)	1通・墨書	85-10-59
葉書〔来鮮に際し拝顔出来ず遺憾〕 白部千一→守屋栄夫	昭和3年6月25日(1928)	1枚・墨書	86-322-162
葉書〔普選ポスター博覧会開催と保存依頼〕 市立函館図書館→守屋栄夫・選挙事務所	昭和3年2月17日(1928)	1枚・ペン・謄写版	84-3-5
葉書〔喪中〕 城本三男→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-16
書簡〔お悔やみ状〕 城本三男→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-54
書簡〔当選祝い〕 城本三男→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-87
書簡〔政治活動の支援、近況報告〕 城森明代→守屋栄夫・令夫人	昭和4年1月26日(1929)	1通・墨書	6-55-11
書簡〔お悔やみ状〕 城森明代→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-170
書簡〔教示御礼、息子弘の援助願い他〕 城森明代→守屋栄夫	昭和4年12月28日(1929)	1通・墨書	85-4-6-5

書簡〔息子への寄付金依頼御礼〕 城森弘の母いよ→守屋栄夫・令夫人	昭和6年3月12日(1931)	1通・墨書	86-357-22
書簡〔形見等頂戴御礼〕 城森繁太郎→守屋栄夫	昭和4年5月27日(1929)	1通・墨書	85-4-4-30
書簡〔本年下半期占い結果〕 城森繁太郎→守屋栄夫	昭和4年7月22日(1929)	1通・墨書	6-52-12
書簡〔当選祈願〕 城森繁太郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-31
書簡〔お悔やみ状〕 城森弘〔光の友社〕→守屋栄夫	昭和4年1月17日(1929)	1通・ペン	6-55-17
書簡〔光の友社のキリスト教徒の世情概観〕 城森弘→守屋栄夫	昭和4年4月12日(1929)	1通・ペン	85-4-2-9
書簡〔お礼の俳句贈呈〕 城森弘→守屋栄夫	昭和4年4月26日(1929)	1通・墨書	85-4-2-10
書簡〔光の友社の知人が世間の有り様を嘆く〕 城森弘→守屋栄夫	昭和4年4月28日(1929)	1通・ペン	85-4-3-16
葉書〔福音教会夏季修養会の様子〕 城森→守屋栄夫	昭和4年7月25日(1929)	1枚・ペン	86-324-1
書簡〔朝鮮のリング送付〕 申鉉求→守屋栄夫	大正15年12月24日(1926)	1通・墨書	85-7-2-7
葉書〔欠礼挨拶〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	85-7-2-23
葉書〔共進会視察のため鎮海を訪問〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和2年4月10日(1927)	1枚・ペン	84-1-72
書簡〔斎藤子爵朝鮮総督再任願う〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和4年8月21日(1929)	1通・墨書	85-4-5-3
書簡〔朝鮮の人事異動の件、発送貨物受取証〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和4年12月10日(1929)	1通・墨書	5-14-34
書簡〔知事紹介取り計らい依頼〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和4年12月19日(1929)	1通・墨書	5-14-86
書簡〔東上予定の斎藤総督閣下へ小生よりの挨拶伝言依頼〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和5年7月1日(1930)	1通・墨書	10-411-14
書簡〔慶南参与官兼任就任幹旋依頼〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和6年1月5日(1931)	1通・墨書	86-356-38
書簡〔斎藤朝鮮総督辞職所感、斎藤総督辞職の説を伝える朝鮮民報記事切り抜き〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和6年4月30日(1931)	1通・墨書・活版	86-352-50
書簡〔政務総監来任希望、京城日報社長未決定〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和7年6月17日(1932)	1通・墨書	84-13-16
書簡〔朝鮮総督府への復官取り計らい依頼〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和7年6月23日(1932)	1通・墨書	84-13-3
書簡〔東京滞在中の御礼、政友会単独内閣出現希望〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和7年8月28日(1932)	1通・墨書	83-11-18
書簡〔申長湜履歴書〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和8年4月16日(1933)	1通・墨書	85-11-11
書簡〔斎藤内閣名実共に挙国一致を〕 申鉉求→守屋栄夫	昭和8年8月8日(1933)	1通・墨書	84-18-10
書簡〔年末挨拶、歳暮送付〕 申錫麟→守屋栄夫	大正14年12月14日(1925)	1通・墨書	85-10-41
書簡〔年末挨拶、歳暮送付〕 申昇均→守屋栄夫	大正14年12月26日(1925)	1通・墨書	85-10-16

書簡〔年末挨拶〕 申昇均→守屋栄夫	昭和1年12月30日 (1926)	1通・墨書	85-3-8-8
電報〔お悔やみ状〕 慎宗元→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	9-26-14
電報〔お供え送付〕 慎宗元→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・ペン	9-26-13
書簡〔選挙賛助金送付〕 慎宗元→守屋栄夫	昭和5年2月20日(1930)	1通・墨書	10-409-86
書簡〔小野寺氏来鮮の件〕 慎宗元→守屋栄夫	昭和6年6月30日(1931)	1通・ペン	86-352-9
書簡〔講演御礼〕 新開滂観→守屋栄夫	大正6年9月2日(1917)	1通・墨書	84-7-46
書簡〔親子関係につき所感〕 新開滂観→守屋栄夫	大正7年9月10日(1918)	1通・墨書	83-10-36
葉書〔転職やむなし、就職幹旋願い〕 新庄→守屋栄夫	大正13年12月10日 (1924)	1枚・ペン	84-2-57
書簡〔著書恵贈御礼〕 針藤三右衛門→守屋栄夫	大正13年4月1日(1924)	1通・墨書	5-30-10
葉書〔「昭和新政と地方自治」送付〕 真藤雅省→守屋栄夫	昭和5年6月19日(1930)	1枚・ペン	84-4-1
葉書〔喪中〕 陣内喜三→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	86-326-40
書簡〔選挙運動激励〕 陣内喜三→守屋栄夫	昭和3年2月13日(1928)	1通・墨書	7-147-81
書簡〔お悔やみ状〕 陣内喜三→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-63
書簡〔裁判での弁論御礼〕 陣内茂吉→守屋栄夫	昭和8年12月12日 (1933)	1通・墨書	84-16-10

す

書簡〔主人の近況報告〕 水師→守屋栄夫	昭和4年10月17日 (1929)	1通・墨書	5-31-15
書簡〔お悔やみ状〕 須江雄太郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-13
書簡〔フランスに無事到着〕 末隆一郎→守屋栄夫	昭和2年5月23日(1927)	1通・ペン	84-5-9
書簡〔「太平洋時代来る」所感〕 末永正→守屋栄夫	昭和3年7月31日(1928)	1通・墨書	10-408-145
書簡〔お悔やみ状〕 末永正→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-25-1
書簡〔お悔やみ状〕 菅恂→守屋栄夫	大正12年3月24日 (1923)	1通・ペン	18-14-179
書簡〔当選祝い〕 菅井音兵衛→守屋栄夫	昭和3年カ2月24日 (1928)	1通・墨書	7-147-21
書簡〔当選祈願〕 菅井音兵衛→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-373
葉書〔「明るい政治」寄贈御礼〕 菅川勝衛→守屋栄夫	昭和5年7月25日(1930)	1枚・ペン	86-322-280
葉書〔ロシア到着、視察日程〕 菅原英伍→守屋栄夫	昭和4年10月5日(1929)	1枚・ペン	86-324-61
葉書〔11月下旬帰国予定、斎藤総督再任〕 菅原英伍→守屋栄夫	昭和4年10月21日 (1929)	1枚・ペン	86-324-47
書簡〔当選祝い〕 菅原憲助→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1通・墨書	10-409-98
書簡〔国体闡明時局講演依頼〕 菅原好三→守屋栄夫	昭和8年4月19日(1933)	1通・ペン	85-11-5

葉書〔年賀遠慮〕 菅原貞治郎・菅原芳吉・菅原妙子・千鶴子・田鶴子・倭文・里女・三八→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-12
書簡〔仙台北訪の際の面会依頼〕 菅原卓南→守屋栄夫	昭和8年10月12日(1933)	1通・墨書	84-12-29
書簡〔お悔やみ状〕 菅原竹治→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-49
書簡〔立憲政友会宮城県支部政務調査部長への推薦状〕 菅原伝〔立憲政友会宮城県支部支部長〕→守屋栄夫	昭和5年11月10日(1930)	1通・墨書	10-349
葉書〔和歌一首〕 菅原寅助→守屋栄夫	昭和6年1月14日(1931)	1枚・墨書	86-1-62
書簡〔朝鮮移民の世話について質問〕 菅原真男→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1通・墨書	10-406-9
書簡〔金山船渠会社出願の海面埋立許可尽力依頼〕 菅原通敬→守屋栄夫	大正13年6月11日(1924)	1通・墨書	5-30-31
葉書〔白葉惠贈御礼〕 菅原通敬→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1枚・活版	84-17-20
書簡〔お悔やみ状〕 菅原勇之進→守屋	大正12年3月18日(1923)	1通・墨書	18-14-28
葉書〔栄夫に随行して伊勢神宮参拝、奈良の講習会参加、旧跡訪問〕 菅原勇之進→守屋栄夫・よしみ	大正15年3月7日(1926)	1枚・ペン	84-2-36
葉書〔出発記念品御礼〕 菅原勇之進→守屋栄夫・奥様	大正15年10月20日(1926)	1枚・ペン	86-250
葉書〔年賀状〕 菅原勇之進	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-24
葉書〔草津温泉にて療養、例の件第2回につき〕 菅原勇之進→守屋栄夫	昭和6年4月9日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-333
葉書〔上州草津にも春〕 菅原勇之進・子代→守屋栄夫・奥様	昭和6年カ4月17日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-331
葉書〔お悔やみ状〕 杉市兵衛→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和4年3月9日(1929)	1枚・墨書	5-25-10-32-13
葉書〔当選祝い〕 杉市兵衛→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-204
書簡〔地元産蛤送付〕 杉浦邦司→守屋栄夫	昭和1年12月25日(1926)	1通・墨書	85-3-6-9
葉書〔欠礼挨拶〕 杉浦俊一〔日本勧業銀行理事〕→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1枚・活版	85-7-2-28
書簡〔武井採用に関して報告〕 杉野繁〔神戸市役所〕→守屋栄夫	大正15年9月2日(1926)	1通・墨書	85-3-7-12
葉書〔栄進祝い〕 杉野好小→守屋栄夫	大正7年5月8日(1918)	1枚・ペン	82-3-56
葉書〔栄転祝い〕 杉野好小→守屋栄夫	大正8年8月20日(1919)	1枚・ペン	9-10-16
書簡〔武井氏身上の件〕 杉野好□→守屋栄夫	昭和3年3月22日(1928)	1通・ペン	10-408-128
葉書〔残暑見舞い〕 杉橋喜代治→守屋栄夫	昭和2年9月18日(1927)	1枚・ペン	84-1-102
葉書〔視察先から挨拶〕 定寿→守屋栄夫	大正6年3月14日(1917)	1枚・ペン	81-140
葉書〔木曾へ旅行〕 杉原定寿→守屋栄夫	大正6年8月16日(1917)	1枚・墨書	81-86
葉書〔昇進祝い〕 杉原定寿→守屋栄夫	大正6年9月14日(1917)	1枚・墨書	81-43
葉書〔暑中見舞い〕 杉原定寿→守屋栄夫	大正7年7月28日(1918)	1枚・ペン	82-3-84

書簡〔お悔やみ状〕 杉原定寿→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-35
葉書〔京都視察〕 定寿→守屋栄夫	大正 13日	1枚・ペン	81-158
書簡〔恵贈品御礼、当地産品送付〕 梶村辰之助→守屋栄夫	大正5年12月29日(1916)	1通・墨書	84-20-138
書簡〔選挙激励〕 梶村辰之助→守屋栄夫	昭和3年2月13日(1928)	1通・墨書	7-147-148
書簡〔選挙応援〕 梶村辰之助〔千葉県教育会専務主事〕→守屋栄夫	昭和3年2月16日(1928)	1通・墨書	10-73
書簡〔年末挨拶〕 梶村辰之助〔千葉県教育会専務主事〕→守屋栄夫	昭和5年12月22日(1930)	1通・墨書	7-147-54
書簡〔崔禹洛貯水池拡張請願の件につき取調報告〕 杉村道市郎→守屋栄夫	大正8年カ(1919)	1通・ペン	9-24-16
書簡〔藤井寛太郎対崔禹洛請願の件、崔禹洛請願書〕 杉村〔第三部長〕→守屋栄夫	大正8年7月4日(1919)	1通・墨書	9-24-17
葉書〔北京到着の報告〕 杉村→守屋栄夫	30日	1枚・ペン	84-2-16
葉書〔年賀状〕 杉本文→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン	86-326-90
葉書〔当選祝い、北海社同志会は全て守屋氏に投票〕 鈴口海広→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-31
書簡〔宮城社役員長辞任挨拶〕 鈴木市九郎→守屋栄夫	昭和6年7月5日(1931)	1通・ペン	86-350-36
葉書〔著書恵贈御礼〕 鈴木梅太郎→守屋栄夫	大正4年8月8日(1915)	1枚・墨書	81-287
葉書〔来鮮時に訪問できずお詫び〕 鈴木援→守屋栄夫	昭和5年6月12日(1930)	1枚・ペン	84-4-21
葉書〔挨拶状〕 鈴木勝太郎→守屋栄夫	昭和2年7月27日(1927)	1枚・ペン	86-125
葉書〔政治活動を支持〕 鈴木勝太郎→守屋栄夫	昭和5年9月1日(1930)	1枚・ペン	86-322-264
書簡〔渋谷氏の転職等幹旋依頼〕 鈴木喜右衛門→守屋栄夫	大正6年10月1日(1917)	1通・墨書	83-14-61
書簡〔倅元夫朝鮮着任幹旋御礼〕 鈴木吉治→守屋栄夫	昭和6年6月12日(1931)	1通・墨書	86-352-2
書簡〔息子連れて訪問希望〕 鈴木吉太郎→守屋栄夫	昭和7年12月25日(1932)	1通・墨書	84-14-32
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木久三郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-27-21
葉書〔中尉進級など満洲景況報告〕 鈴木恭→守屋栄夫	昭和	1枚・ペン	86-78
書簡〔解約払込戻金領収証回送御礼〕 鈴木金五郎→守屋栄夫	昭和9年1月13日(1934)	1通・墨書	18-14-200-3
葉書〔転任につき依頼〕 鈴木久米治→守屋栄夫	大正8年8月3日(1919)	1枚・ペン	82-3-367
書簡〔卒倒事件と冬期学期の件〕 鈴木圭介→守屋栄夫	明治42年2月2日(1909)	1通・墨書	6-46-27-1
葉書〔手島・千葉両氏と城南小学校・桜城小学校視察他〕 鈴木圭介→守屋栄夫	6月13日	1枚・墨書	81-548
葉書〔祝辞御礼〕 鈴木源一郎→守屋栄夫	23日	1枚・ペン	84-3-44
書簡〔甥健四郎の朝鮮総督府転勤幹旋依頼〕 鈴木健治→守屋栄夫	大正14年11月22日(1925)	1通・墨書	85-10-74
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木健治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-10-5

書簡〔西村亀雄就職幹旋依頼〕 鈴木健四郎→守屋栄夫	大正14年11月(1925)	1通・墨書	78-23-36
書簡〔年賀状〕 鈴木健四郎→守屋栄夫	大正16年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-2-1-38
書簡〔当選祈願、警部任官挨拶〕 鈴木授→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1通・ペン	10-409-82
葉書〔管内出張にて木浦訪問〕 鈴木授→守屋栄夫	昭和5年5月5日(1930)	1枚・ペン	86-1-55
書簡〔朝鮮総督府赴任後の仕事及び生活状況、帰京日程通知〕 鈴木授→守屋栄夫	昭和6年1月12日(1931)	1通・墨書	86-359-12
書簡〔家族の近況、保安課へ移動〕 鈴木授→守屋栄夫	昭和6年3月9日(1931)	1通・墨書	86-357-31
葉書〔福岡・大阪・山口など事務視察終了〕 鈴木授→守屋栄夫	昭和7年1月9日(1932)	1枚・ペン	86-85
葉書〔公州到着、上城予定〕 鈴木授→守屋栄夫	昭和8年12月19日(1933)	1枚・ペン	86-323-37
葉書〔当選祝い〕 鈴木祥雄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-234
書簡〔過去の実情報告〕 鈴木祥雄→守屋栄夫	昭和7年7月24日(1932)	1通・ペン	83-3-39
書簡〔佐々木梯北海タイムス社入社幹旋依頼〕 鈴木重三郎〔沼川郵便局長〕→守屋栄夫	昭和 12月3日	1通・墨書	10-331
書簡〔元金・利子取立、婚儀出席〕 鈴木七郎治→守屋栄夫	昭和7年5月13日(1932)	1通・ペン	86-350-9
書簡〔結婚式招待御礼〕 鈴木七郎治→守屋栄夫	昭和7年6月24日(1932)	1通・墨書	84-13-31
書簡〔領収書〕 鈴木七郎治→守屋栄夫	昭和8年5月27日(1933)	1通・墨書・ペン	84-11-26
書簡〔椎名氏との土地購入交渉につき〕 鈴木七郎治→守屋栄夫	昭和8年6月15日(1933)	1通・ペン	83-6-9
書簡〔旭野校長昇級手続き御礼〕 鈴木周作→守屋栄夫	大正5年7月4日(1916)	1通・墨書	84-20-3
書簡〔内務省図書課新設、就職幹旋依頼〕 鈴木周作→守屋栄夫	大正6年8月9日(1917)	1通・墨書	83-14-87
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木周作→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-58
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	大正12年3月16日(1923)	1通・墨書	18-14-30
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-67
書簡〔令息伴男結婚祝い〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	昭和7年4月23日(1932)	1通・墨書	83-1-59
葉書〔歳暮送付〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	昭和7年12月19日(1932)	1枚・墨書	84-14-19
書簡〔仙台市会議員選挙当選御礼〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	昭和8年4月27日(1933)	1通・墨書	85-11-31
書簡〔市会当選御礼、佐々木猛氏就職幹旋依頼〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・ペン	5-24-20
書簡〔森氏申し入れ在樺太佐々木氏の件書簡添付〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	昭和8年6月8日(1933)	1通・ペン	83-6-29
書簡〔伊藤貞介氏の新聞事業計画相談依頼〕 鈴木重兵衛〔株式会社宮城貯蓄銀行〕→守屋栄夫	昭和 6月13日	1通・ペン	10-404-12
書簡〔歳暮御礼〕 鈴木重兵衛→守屋栄夫	12月26日	1通・墨書	10-323

書簡〔京日の事業計画、経営方針、資本金に関する覚書〕 鈴木准之輔→守屋栄夫	大正9年6月6日(1920)	1通・墨書・ペン	5-16-2
書簡〔京日の件東京にて奔走、国定教科書の件中田氏来着〕 鈴木准之輔→守屋栄夫	大正9年6月14日(1920)	1通・墨書・ペン	5-16-48
書簡〔京日の資本準備金20万円になる旨(6月12日往三郎発鈴木宛)、京日の事業方針正式決定につきご指導賜りたく(6月20日鈴木発守屋宛)〕 鈴木准之輔→守屋栄夫	大正9年6月20日(1920)	2通・墨書・ペン	5-16-20
書簡〔松本と友子双方の異議について〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正5年12月26日(1916)	1通・墨書	84-20-150
書簡〔政界の状況、娘の縁談、多田氏から原稿料受領〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年2月6日(1917)	1通・墨書	84-20-160
書簡〔吉成氏の教頭主事兼務問題〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年3月19日(1917)	1通・墨書	84-20-120
書簡〔校長在職中当校に奉職〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年4月30日(1917)	1通・墨書	84-20-1
書簡〔栄進祝い〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1通・墨書	83-14-28
葉書〔福島・栃木・群馬出張〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年5月23日(1917)	1枚・ペン	81-51
書簡〔新校長による更迭の際は援助願う〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年7月7日(1917)	1通・墨書	83-14-30
書簡〔浜田学校赴任要点〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年9月6日(1917)	1通・ペン	83-14-29
書簡〔教員採用一報願う〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年9月15日(1917)	1通・墨書	83-14-27
書簡〔島根赴任の行程・生活の様子〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年10月13日(1917)	1通・墨書	83-14-3
葉書〔西村知事会食、出京予定〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年10月31日(1917)	1枚・墨書	81-167
書簡〔学校の教員補充及び清潔法執行につき〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正6年12月11日(1917)	1通・墨書	83-14-93
書簡〔赴任後の経過報告、西村知事関係新聞切り抜き送付〕 鈴木譲三郎〔島根県立浜田高等女学校〕→守屋栄夫	大正7年1月25日(1918)	1通・墨書	5-6-35
書簡〔千葉県内の学校へ松木氏就職斡旋依頼〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年1月28日(1918)	1通・墨書	83-7-18
葉書〔柿本人麻呂神社参拝、ちとせの件尽力願い〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年3月28日(1918)	1枚・ペン	82-3-51
書簡〔ちとせ氏休職の件〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年7月15日(1918)	1通・墨書	83-9-30
書簡〔休職の件〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年7月18日(1918)	1通・墨書	83-9-31
葉書〔横山氏出発〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年7月25日(1918)	1枚・ペン	82-3-87
書簡〔三浦氏の件謝意、知事講演会の模様〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年9月20日(1918)	1通・墨書	83-10-6
書簡〔流行性胃炎のため諸学校閉鎖〕 鈴木譲三郎〔島根県浜田高等女学校〕→守屋栄夫	大正7年11月15日(1918)	1通・墨書	83-7-9
書簡〔まさみの件、委任状の件〕 鈴木譲三郎→守屋栄夫	大正7年12月14日(1918)	1通・ペン	83-9-3

書簡〔島根県の教職員欠員にて周旋依頼、那賀郡教育調査委員囑託拝命につき報告〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正8年5月19日(1919)	1通・墨書	83-2-54
書簡〔鈴木氏を通じた教員候補者調査願い〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正8年5月31日(1919)	1通・墨書	83-10-16
書簡〔校長会、上原氏調査、会議予定〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正8年6月17日(1919)	1通・墨書	83-10-20
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正8年10月5日(1919)	1通・墨書	9-25-1
書簡〔西村閣下の書状と近況、釜山高女赴任申出、松江市内の高女校長退職〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正9年6月15日(1920)	1通・墨書	9-17-10
書簡〔宇多川氏の朝鮮就職斡旋依頼〕 鈴木讓三郎〔島根県立浜田高松女学校〕→守屋栄夫	大正9年7月2日(1920)	1通・墨書	6-53-15
書簡〔横山氏転任依頼〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正9年7月26日(1920)	1通・ペン	9-17-4
書簡〔横山氏神戸女高に転任、宇多川静庸氏の件、伴男氏平癒〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正9年10月12日(1920)	1通・墨書	86-335
書簡〔園枝結婚祝い、学校人事について〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正9年12月11日(1920)	1通・墨書	6-53-14
書簡〔基隆高女校長赴任挨拶〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正13年4月2日(1924)	1通・墨書	5-30-13
書簡〔台北市第二高女事件と任地変更他〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正13年7月15日(1924)	1通・墨書	9-22-24
葉書〔山陰地方を視察、扶桑丸乗船〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正14年11月6日(1925)	1枚・ペン	84-6-61
書簡〔当校好評に付知事より厚遇他〕 鈴木讓三郎〔台北州立台北第二高等女学校長〕→守屋栄夫	大正15年3月4日(1926)	1通・ペン	85-3-5-29
書簡〔台湾の新文教局長の感想〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和2年2月14日(1927)	1通・墨書	85-9-56
書簡〔選挙応援者名、鈴木宛選挙状況書簡同封〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和2年11月24日(1927)	1通・墨書	85-9-137
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和4年2月3日(1929)	1通・墨書	5-12-83
書簡〔次回選挙について町の情勢報告〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和4年8月12日(1929)	1通・墨書	85-4-1-4
書簡〔昇給等質問〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和5年3月23日(1930)	1通・墨書	10-405-39
書簡〔退職に伴う自身および譲の就職斡旋依頼〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和5年4月7日(1930)	1通・ペン	10-405-31
書簡〔校長辞表提出の噂につき報告他〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和5年5月14日(1930)	1通・墨書	10-411-26
書簡〔香典御礼〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和6年3月9日(1931)	1通・ペン	86-357-17
書簡〔長男譲の結婚報告、恩給の件相談〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和6年12月14日(1931)	1通・ペン	86-351-16
書簡〔台湾の私立静修女学校認定につき所感〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和7年10月8日(1932)	1通・ペン	83-4-41
書簡〔二男恭満洲国出征で負傷〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	昭和8年1月20日(1933)	1通・ペン	85-5-12

書簡〔文部省講習会にて面会依頼〕 鈴木讓三郎→守屋栄夫	大正7月27日	1通・墨書	5-6-11
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木四郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-20
書簡〔当選祈願〕 鈴木杉太郎→守屋栄夫	昭和5年2月17日(1930)	1通・墨書	10-409-99
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木力衛→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-22
書簡〔治療便宜御礼、娘の指導願い〕 鈴木惣太郎→守屋栄夫・令夫人	昭和8年6月(1933)	1通・墨書	83-6-4
書簡〔依頼中の就職斡旋方経過照会〕 鈴木忠雄→守屋栄夫	昭和6年5月4日(1931)	1通・墨書	86-354-51
書簡〔転勤斡旋依頼〕 鈴木忠雄→守屋栄夫	昭和7年6月30日(1932)	1通・ペン	84-13-38
書簡〔岩壁建設の建議案衆議院通過、地方開発の趣旨〕 鈴木忠助→守屋栄夫	昭和8年2月17日(1933)	1通・墨書	84-8-7
葉書〔栄転祝い〕 鈴木次雄→守屋栄夫	大正6年9月8日(1917)	1枚・墨書	81-39
葉書〔4月上旬帰省〕 鈴木常雄→守屋栄夫	明治41年3月24日(1908)	1枚・墨書	6-46-17-1
書簡〔当選祝い〕 鈴木常吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-15
書簡〔就職斡旋感謝、勸銀の銓衡不首尾〕 鈴木道三郎→守屋栄夫	昭和6年4月5日(1931)	1通・ペン	86-346-2
書簡〔当選祝い〕 鈴木利貞→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・謄写版・墨書	10-409-100
書簡〔当選祝い〕 鈴木虎次郎〔忠清南道理財課〕→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-239
書簡〔俸給の件、武道有段者の採用〕 鈴木登→守屋栄夫	昭和8年5月27日(1933)	1通・墨書	84-11-25
葉書〔恵贈品御礼〕 鈴木登→守屋栄夫	昭和8年9月11日(1933)	1枚・ペン	86-323-84
書簡〔新設道路問題の近況報告〕 鈴木久吉→守屋栄夫	昭和8年1月18日(1933)	1通・ペン	85-5-16
書簡〔風樹奨学資金表彰者名簿〕 鈴木久吉〔富永村長〕→守屋栄夫	昭和8年3月28日(1933)	1通・墨書・ペン	83-12-14
書簡〔疆州緩衝倶楽部創設私議〕 鈴木福治郎→守屋栄夫		1通・墨書	9-20-14
書簡〔シンガポール沖碇泊中香取丸より近況報告〕 鈴木文次・三浦・芳賀・藤生→守屋栄夫	大正13年5月13日(1924)	1通・ペン	5-30-11
書簡〔医薬分業実施請願への反対は無意味〕 鈴木文平→守屋栄夫	昭和6年12月17日(1931)	1通・墨書	86-347-12
葉書〔お悔やみ状〕 鈴木平七→守屋栄夫	大正12年3月20日(1923)	1枚・ペン	18-14-29
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木平七・哲治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-35
葉書〔祖父死去通知〕 鈴木平七→守屋栄夫	大正 10月20日	1枚・墨書	81-97
書簡〔官署勤務斡旋依頼〕 鈴木正志→守屋栄夫	昭和8年6月24日(1933)	1通・墨書・ペン	5-24-15
葉書〔面会依頼〕 鈴木まさみ→守屋栄夫	明治44年5月15日(1911)	1枚・ペン	81-553
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木松太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-86

書簡〔上京の際の厚情御礼〕 鈴木安言→守屋栄夫	昭和2年11月9日(1927)	1通・墨書	85-9-124
書簡〔当選祝い〕 鈴木安言→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-408-117-2
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木安言→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-5
書簡〔高等官待遇辞令拝受〕 鈴木保司〔飯岡小学校長〕→守屋栄夫	昭和7年10月8日(1932)	1通・墨書	83-5-1
書簡〔香取郡教育会講演期日〕 鈴木保司→守屋栄夫	昭和8年6月1日(1933)	1通・墨書	83-6-26
書簡〔お悔やみ状への返信〕 鈴木雄蔵→守屋栄夫	明治42年11月24日(1909)	1通・墨書	6-46-23
書簡〔高校生活の近況と東宮来校〕 鈴木譲→守屋栄夫	大正14年10月14日(1925)	1通・ペン	85-10-60
書簡〔叔父上の著書感想〕 鈴木譲→守屋栄夫	大正15年9月11日(1926)	1通・ペン	86-259
書簡〔卒業論文提出、就職先決定〕 鈴木譲→守屋栄夫	昭和6年1月16日(1931)	1通・ペン	86-356-26
書簡〔暑中見舞い、台湾での教員生活愉快〕 鈴木譲→守屋栄夫	昭和6年8月15日(1931)	1通・ペン	86-348-55
書簡〔近況報告〕 鈴木譲→守屋栄夫	昭和8年12月23日(1933)	1通・ペン	85-6-6
葉書〔りんご送付〕 鈴木慶雄→守屋栄夫	昭和3年11月23日(1928)	1枚・ペン	84-3-30
葉書〔糟谷校長と再会〕 鈴木・糟谷宗資・貝山好美→守屋栄夫	昭和15年11月18日(1940)	1枚・ペン	84-2-1
葉書〔香川県庁大西部長朝鮮転任の報告〕 薄田美朝→守屋栄夫	大正11年9月20日(1922)	1枚・ペン	9-27-55
葉書〔時候挨拶〕 薄田美朝→守屋栄夫	大正14年11月14日(1925)	1枚・ペン	86-323-30
葉書〔欠礼挨拶〕 薄田美朝→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン	85-7-2-49
葉書〔書籍刊行挨拶〕 薄田美朝→守屋栄夫	昭和2年5月25日(1927)	1枚・ペン	86-153
葉書〔栃木県議会選挙〕 薄田美朝→守屋栄夫	昭和2年9月22日(1927)	1枚・ペン	84-1-96
書簡〔守屋氏総督府在任中の感謝として記念品贈呈〕 薄田美朝・佐々木忠右衛門・倉橋鉢・松村松盛→守屋栄夫	昭和12月27日	1通・墨書	18-14-192-81
書簡〔お悔やみ状〕 須田近思郎→守屋栄夫・守屋和郎	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-87
書簡〔当選祝い〕 須田近思郎→守屋栄夫	昭和5年3月3日(1930)	1通・墨書	10-409-101
書簡〔村上氏来訪〕 須田四郎→守屋栄夫	昭和8年3月26日(1933)	1通・ペン	83-12-32
書簡〔学校内の不祥事における進退報告〕 須田秋之進→守屋栄夫	大正7年カ12月19日(1918)	1通・墨書	83-9-6
書簡〔遭難事件とその処理、県当局〕 須田秋之進→守屋栄夫	大正7年12月25日(1918)	1通・墨書	5-26-3
書簡〔選挙応援と協力〕 須田秋之進→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1通・墨書	10-71
書簡〔お悔やみ状〕 須田秋之進→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-63
書簡〔義弟武者真月引見願い〕 須田秋之進→守屋栄夫	昭和5年1月10日(1930)	1通・墨書	10-403-22

書簡〔当選祝い〕 須田秋之進→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-103
書簡〔選挙戦にて知己への手紙送付〕 須田秋之進→守屋栄夫	昭和5年3月13日(1930)	1通・ペン	10-409-102
書簡〔政友会内閣成立祝い、小生宮城帰還希望、倅政男の就職斡旋依頼〕 須田秋之進→守屋栄夫	昭和6年12月15日(1931)	1通・墨書	86-351-7
書簡〔面会のお礼〕 須田透→守屋栄夫	昭和8年3月16日(1933)	1通・ペン	84-22-21
書簡〔総督巡視中の病中見舞〕 須田八郎→守屋栄夫	大正10年10月16日(1921)	1通・墨書	5-29-11
葉書〔当選祝い〕 須田浩→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-214
葉書〔手紙預かり御礼〕 須田→守屋栄夫	明治44年8月3日(1911)	1枚・墨書	81-289
葉書〔国策樹立の高著拝読〕 須藤蔵右衛門→守屋栄夫	昭和4年8月12日(1929)	1枚・ペン	86-291
書簡〔転職先斡旋の進捗伺い〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年1月14日(1931)	1通・ペン	86-359-31
書簡〔議会会期中の軽率なるお願い謝罪〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年3月30日(1931)	1通・ペン	86-354-4
書簡〔政局変遷による渡鮮就職への影響〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年4月16日(1931)	1通・ペン	86-354-22
書簡〔面接尽力御礼〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年6月25日(1931)	1通・ペン	86-352-38
書簡〔朝鮮総督府山林部奨励係着任挨拶〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年6月30日(1931)	1通・ペン	86-352-22
書簡〔朝鮮総督府山林部林務課着任挨拶〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年7月10日(1931)	1通・ペン	86-350-24
書簡〔学校転出を決意、「昭和連盟の本質を語る」同封〕 須藤豊〔朝鮮総督府山林部林務課内〕→守屋栄夫	昭和6年8月22日(1931)	1通・ペン・謄写版	86-348-6
書簡〔就職斡旋御礼〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年9月3日(1931)	1通・ペン	86-356-11
書簡〔朝鮮で再会御礼〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和6年10月18日(1931)	1通・墨書	86-358-24
書簡〔暑中見舞い〕 須藤豊→守屋栄夫	昭和8年7月28日(1933)	1通・墨書	84-18-23
書簡〔お悔やみ状〕 須永耘治・よ志→守屋栄夫・よし蔵	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-13-18
書簡〔当選祝い〕 角南利三郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-2
書簡〔黄州産リンゴ送付〕 須納瀬伊太郎→守屋栄夫	昭和8年12月21日(1933)	1通・墨書	84-17-7
葉書〔無事帰宅報告〕 摺子正之助→守屋栄夫	大正6年8月31日(1917)	1枚・ペン	81-227
書簡〔近況報告〕 摺子正之助→守屋栄夫	大正6年12月23日(1917)	1通・墨書	83-14-198
葉書〔帰仙、帰京日程通知〕 摺子正之助→守屋栄夫	昭和3年カ4月28日(1928)	1枚・ペン	86-329-51
葉書〔八丈離島・小笠原離島を巡る〕 摺子正之助→守屋栄夫	昭和6年3月9日(1931)	1枚・ペン	84-6-41
書簡〔当選祝い〕 諏訪大社講→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・謄写版・墨書	10-409-106
書簡〔当選祝い〕 諏訪部市郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-104

せ

葉書〔当選祝い〕 誠心会生産部→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-72
葉書〔健康祈願〕 青嵐→守屋栄夫	昭和2年10月29日(1927)	1枚・ペン	85-9-36
書簡〔当選祝い、息女学費貸与の件、育英会照会の回答願ひ〕 瀬上千代松→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-269
書簡〔代用教員として1年2ヶ月、尽力方依頼〕 瀬川広基→守屋栄夫	大正15年4月23日(1926)	1通・ペン	78-23-43-1
葉書〔当選祈願〕 関菊治→守屋栄夫	昭和5年2月16日(1930)	1枚・ペン	7-147-387
書簡〔当選祝い〕 関善助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン	10-268
書簡〔将来は官吏をめざすにつき報告、衆議院議員選挙当選祈願〕 関善助→守屋栄夫	昭和3年カ(1928)	1通・ペン	10-408-112
書簡〔柔道修行の協力依頼〕 関善助→守屋栄夫	昭和6年6月18日(1931)	1通・ペン	86-352-28
書簡〔古川へ東京拳闘団来訪、拳闘対柔道の試合報告、修養全集の立志奮闘伝拝読、柔道修業尽力方依頼〕 関善助→守屋栄夫	昭和6年7月3日(1931)	1通・ペン	86-350-23
葉書〔栄転祝い、十和田へ変更〕 関達三→守屋栄夫	大正8年8月9日(1919)	1枚・ペン	9-10-7
書簡〔地方重大問題の研究につき所感、宮城県における栄会員の異動報告〕 関達三→守屋栄夫	大正12年6月12日(1923)	1通・ペン	80-40-1-8
書簡〔朝鮮現下の状態にて朝鮮より離任遺憾〕 石鎮衡→守屋栄夫	大正13年9月15日(1924)	1通・墨書	85-1-13
書簡〔新当局人事につき水野閣下へ口添え依頼〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和2年12月17日(1927)	1通・墨書	85-7-3-26
書簡〔お悔やみ状〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-19
書簡〔昭和新政同盟、総督府内人事異動の件〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和4年12月13日(1929)	1通・墨書	5-14-90
書簡〔選挙応援、国民協会の陣容改めなど近況報告〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和5年1月23日(1930)	1通・墨書	10-403-32
書簡〔鉄原中央水利の参議実現尽力依頼〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和5年6月25日(1930)	1通・墨書	10-411-8
書簡〔林野買取資金調達方法につき照会〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和6年3月24日(1931)	1通・墨書	86-354-1
書簡〔山林土地評価及び投資問題〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和6年4月3日(1931)	1通・墨書	86-354-30
書簡〔山林の件の金策進捗報告〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和6年4月6日(1931)	1通・ペン	86-354-29
書簡〔斎藤総督辞任による悪影響、朝鮮官界へ助力依頼〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和6年6月18日(1931)	1通・墨書	86-352-36
書簡〔昭和連盟開催の支那視察不参加お詫び、朝鮮情勢に尽力依頼〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和6年6月21日(1931)	1通・墨書	86-352-39
書簡〔朝鮮人士現内閣支持の焦点、電信為替百円送付〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和7年2月1日(1932)	1通・墨書	83-1-12

書簡〔次男の病気により疲弊、朝鮮総督府の新任候補への斡旋願い〕 石明瑄→守屋栄夫	昭和8年5月9日(1933)	1通・墨書	84-11-10
書簡〔お悔やみ状〕 開戸辰馬→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-19
書簡〔転任挨拶〕 関水武→守屋栄夫	大正6年8月17日(1917)	1通・墨書	83-14-75
書簡〔火災見舞い礼状〕 関水武→守屋栄夫	大正7年4月7日(1918)	1通・墨書	83-2-6
書簡〔「地方自治の精神」恵贈御礼〕 関水武→守屋栄夫	大正8年5月1日(1919)	1通・墨書	83-2-5
書簡〔水戸市育英会総会出席の件〕 関水武→守屋栄夫	大正8年5月8日(1919)	1通・墨書	83-2-2
書簡〔病気見舞い〕 関水武→守屋栄夫	大正8年6月3日(1919)	1通・墨書	84-9-19
書簡〔水野総監の様子、昇進報告〕 関水武→守屋栄夫	大正9年カ1月16日(1920)	1通・墨書	83-10-17
葉書〔内地へ参上途中引き返し〕 関水武→守屋栄夫	大正15年1月18日(1926)	1枚・ペン	86-225
書簡〔お悔やみ状〕 関水武→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-10-18
書簡〔当選祈願、転任不服〕 関水武→守屋栄夫	昭和5年1月27日(1930)	1通・墨書	10-403-29
葉書〔恵山視察〕 関水武→守屋栄夫	昭和5年12月18日(1930)	1枚・ペン	86-1-41
書簡〔赤十字愛国婦人会報告〕 関水武→守屋栄夫	昭和6年5月20日(1931)	1通・墨書	84-30-6
書簡〔議会解散当選確信〕 関水武→守屋栄夫	昭和7年1月26日(1932)	1通・墨書	83-1-40
書簡〔斎藤内閣組閣につき所感、依願免手続き執行報告〕 関水武→守屋栄夫	昭和7年7月20日(1932)	1通・墨書	83-3-3
書簡〔上田氏処分の件〕 関水武→守屋栄夫	昭和7年8月27日(1932)	1通・墨書・ペン	83-3-12
葉書〔暴風雨の被害〕 関水武→守屋栄夫	10月28日	1枚・ペン	81-101
葉書〔当選祝い〕 関谷常吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-243
書簡〔お悔やみ状〕 関屋貞三郎〔宮内次官〕→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書・活版	9-15-172
書簡〔元朝鮮総督附武官の社会事業奉公の件〕 関屋貞三郎→守屋栄夫	7月15日	1通・墨書	78-23-29
葉書〔見舞電報御礼、総選挙他近況報告〕 瀬戸潔→守屋栄夫	大正9年カ3月10日(1920)	1枚・ペン	82-3-327
書簡〔事務所連中へ150円寄付願い〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・ペン	10-414-3
書簡〔徳江君開城郡司に、100円事務所送付報告〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和3年2月3日(1928)	1通・ペン	10-414-47
葉書〔前内閣某大臣取扱問題のつき鮎貝氏の意見〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和4年9月15日(1929)	1枚・ペン	6-56-48-2
書簡〔当選祝い〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・ペン	10-409-83
書簡〔鮎貝氏より依頼の件報告〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和5年6月29日(1930)	1通・ペン	10-411-4
書簡〔篠田次官上京、前便後の状況報告〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和5年11月10日(1930)	1通・ペン	10-357
書簡〔200円送付〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和5年12月28日(1930)	1通・ペン	10-286

書簡〔返金問題について〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和6年1月14日(1931)	1通・ペン	86-356-27
書簡〔秋山の悪い噂、守屋に及ぶこと心配〕 瀬戸潔→守屋栄夫	昭和6年9月(1931)	1通・ペン	86-358-17
書簡〔漁業組合連合会新設報告、人選の協力願い〕 瀬戸甲一→守屋栄夫	昭和5年11月9日(1930)	1通・墨書	9-16-50
書簡〔渋沢との交渉について〕 世村橙作→守屋栄夫	昭和7年6月2日(1932)	1通・墨書	84-30-9
書簡〔会議の件御礼〕 世村橙作〔朝鮮総督府出張員事務所〕→守屋栄夫	9月15日	1通・墨書	84-7-47
葉書〔健康祈願〕 世村橙作→守屋栄夫	10月5日	1枚・墨書	81-365
葉書〔欠礼挨拶〕 芹川武〔オゾ本舗 都南荘〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	85-7-2-33
書簡〔就職報告、恵贈品御礼〕 宣興庚→守屋栄夫	大正10年10月29日(1921)	1通・墨書	5-29-15
書簡〔お悔やみ状〕 宣興庚→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-29
葉書〔社団法人日本工業倶楽部主事就任〕 膳桂之助→守屋栄夫	昭和1年12月28日(1926)	1枚・活版・墨書	86-326-98
書簡〔お悔やみ状〕 全相雨→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-4
書簡〔守屋氏衆議院議員推薦状、候補公認状、お悔やみ状〕 全相雨→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-409-97
書籍〔朝鮮総督府中の状況〕 全祐栄→守屋栄夫	昭和3年11月1日(1928)	1通・ペン	86-328-25
葉書〔当選祝い〕 千義・長生・大平・太郎・正志・正吉・石明瑣→守屋栄夫	昭和5年3月2日(1930)	1枚・ペン	86-54
書簡〔推薦状発送〕 千石厚→守屋栄夫	昭和5年2月7日(1930)	1通・墨書	10-409-96
書簡〔当選祝い〕 千石厚→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-95
書簡〔警察官講習所勤務など近況報告〕 千石胤長→守屋栄夫	昭和 11月12日	1通・ペン	10-288
書簡〔当選祝い〕 善人同盟 使命社神谷支部→守屋栄夫	昭和5年3月(1930)	1通・ペン	10-145
葉書〔暑中見舞い〕 千田嘉蔵→守屋栄夫	昭和3年8月16日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-231
書簡〔お悔やみ状〕 千田敬一→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-9-12
葉書〔お悔やみ状〕 千田信行→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・墨書	9-15-34
書簡〔長照院本堂落成式、三週忌不参加〕 千田隆吉→守屋栄夫	昭和6年8月26日(1931)	1通・墨書	86-348-16
書簡〔長春到着、塩原・品川両氏に面会〕 千田隆吉→守屋栄夫	昭和7年10月7日(1932)	1通・ペン	83-5-9
書簡〔紹介状御礼〕 千田隆吉→守屋栄夫	昭和8年3月19日(1933)	1通・墨書	83-12-18
書簡〔日満要人大写真帳製作の件依頼〕 千田隆吉→守屋栄夫	昭和8年8月11日(1933)	1通・墨書	84-18-7
葉書〔暑中見舞い〕 泉對信之助→守屋栄夫	昭和2年7月24日(1927)	1枚・ペン	86-123
書簡〔債務者中条氏の利息金支払督促〕 仙台信託株式会社→守屋栄夫	昭和7年11月29日(1932)	1通・墨書・ペン	83-4-34

書簡〔中条住男の取引金開示の件〕 仙台信託株式会社 →守屋栄夫	昭和8年5月20日(1933)	1通・活版	84-27-7
------------------------------------	-----------------	-------	---------

そ

書簡〔簡易生命保険積立金借入につき書類送付〕 相 愛会総本部→守屋栄夫	昭和3年12月25日 (1928)	1通・ペン	85-4-4-15
書簡〔招待状、正五位叙位〕 宗秩寮〔宮内省〕→守屋栄夫	昭和2年11月12日 (1927)	1通・墨書	85-9-55
葉書〔お悔やみ状〕 相馬世治→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・墨書	9-15-151
書簡〔当選祝い〕 相馬政雄→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・ペン	10-407-85
書簡〔新朝鮮社長姜世馨来訪〕 副島道正→守屋栄夫	大正15年8月4日(1926)	1通・墨書	85-3-1-10
書簡〔食事勧誘〕 副島道正→守屋栄夫	大正15年10月1日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-27
書簡〔移住組合連合会南米在勤事務員希望につき嘆 願、履歴書(2枚)・嘆願書・絵葉書(5枚)同封〕 曾我 勇弥→守屋栄夫	昭和3年(1928)	1通・墨書	86-322-53
書簡〔尾花氏中等教員志望の件、佐野氏等就職斡旋依 頼〕 外山福男→守屋栄夫	昭和7年5月11日(1932)	1通・墨書	84-24-2
書簡〔当選祝い〕 曾根朝記→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-412-29
書簡〔大部分を払渡、議会への形式手続〕 曾根安輔→ 守屋栄夫	大正 11月16日	1通・墨書	9-20-5
葉書〔お悔やみ状〕 曾野仲行→守屋栄夫	昭和4年3月19日(1929)	1枚・ペン	5-25-10-33- 15
書簡〔父病死〕 孫斗漢→守屋栄夫	昭和6年3月13日(1931)	1通・墨書	86-357-37
書簡〔東京で療養〕 孫斗漢→守屋栄夫	昭和6年6月29日(1931)	1通・墨書	86-350-20
電報〔航海平安祈願〕 ソン→守屋栄夫	大正12年1月22日 (1923)	1通・謄写版	80-40-5-7

た

葉書〔芳墨多謝、当地河水尚凍結〕 大慶〔第三師団司令 部〕→守屋栄夫	大正8年4月19日(1919)	1枚・墨書	82-3-183
葉書〔令弟同行者〕 大正學士会→守屋栄夫	大正10年10月22日 (1921)	1枚・墨書	5-29-18
書簡〔伊藤銀行頭取伊藤次郎左衛門精神修養報徳講 話〕 大正宝徳会→守屋栄夫	大正15年11月19日 (1926)	1通・活版	85-3-3-10
葉書〔憲政碑除幕式開催案内〕 胎中楠右衛門→守屋栄夫	昭和8年9月(1933)	1枚・墨書・活版	86-323-8
書簡〔武井秀吉氏来訪、著作物出版〕 大日本昭和連盟本 部→守屋栄夫	昭和5年8月16日(1930)	1通・墨書	10-24
葉書〔大日本青年教会代々木少年団〕 大日本青年協会・ 代々木少年団→守屋栄夫	大正15年4月6日(1926)	1枚・ペン	86-322-3
書簡〔遣水氏選挙支援者へ慰労葉書送付願い〕 平清 三郎→守屋栄夫	昭和6年2月8日(1931)	1通・墨書・ペン	86-355-22
書簡〔就職斡旋依頼〕 平肇→守屋栄夫	昭和4年1月29日(1929)	1通・墨書	85-4-4-3

書簡〔お悔やみ状〕 平肇→守屋栄夫	昭和4年3月17日(1929)	1通・墨書	5-14-87
書簡〔菊池松子学業成績表、戸籍謄本、写真、村上治雄氏取り計らい依頼〕 平肇→守屋栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1通・墨書・ペン	5-17-13
書簡〔高配願ひ〕 高石甚平→守屋栄夫	昭和2年12月22日(1927)	1通・墨書	85-7-3-30
書簡〔国会奮闘激励、米国加州の兄へ面会依頼〕 高木信義→守屋栄夫	昭和6年7月8日(1931)	1通・墨書・ペン	86-350-47
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭を祝す〕 高島重郎→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1枚・ペン	84-6-89
書簡〔当選祝ひ〕 高倉省吾→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書	10-108
葉書〔お悔やみ状〕 高倉省吾→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	6-57-5
葉書〔上京時訪問御礼〕 高島→守屋栄夫	昭和2年7月6日(1927)	1枚・ペン	84-1-53
葉書〔暑中見舞ひ〕 高島→守屋栄夫	昭和4年8月1日(1929)	1枚・ペン	86-284
書簡〔初稿閲覧感謝、出版届同封〕 田頭一〔青年団中央部〕→守屋栄夫	大正7年12月18日(1918)	1通・墨書	83-9-2
書簡〔引立願ひ〕 高城畊造→守屋栄夫	大正6年8月15日(1917)	1通・墨書	83-14-180
書簡〔転任につき東京府へ厚配依頼〕 高城畊造→守屋栄夫	大正6年12月21日(1917)	1通・墨書	84-7-20
書簡〔御礼、近況〕 高城畊造→守屋栄夫	大正7年1月10日(1918)	1通・墨書	84-7-27
葉書〔暑中見舞ひ〕 高城畊造→守屋栄夫	大正8年8月1日(1919)	1枚・墨書	82-3-291
書簡〔黒川県属転任の件続報〕 高城畊造→守屋栄夫	大正8年12月16日(1919)	1通・墨書	5-6-7
書簡〔三島氏処遇報告、東北女子職業学校収支決算書ほか〕 高城畊造→守屋栄夫	大正13年6月24日(1924)	1通・ペン	5-30-18
書簡〔三島氏変説行状〕 高城畊造→守屋栄夫	大正13年6月24日(1924)	1通・ペン	5-30-19
書簡〔三島夫妻につき内聞報告〕 高城畊造→守屋栄夫	大正13年9月11日(1924)	1通・ペン	5-30-16
書簡〔斎藤実宛三島駒治・よし夫妻東北女子職業学校売渡契約書ほか〕 高城畊造→守屋栄夫	大正14年4月22日(1925)	1通・活版・墨書・ペン	5-30-17
書簡〔預金について〕 高城畊造→守屋栄夫	大正15年3月6日(1926)	1通・ペン	85-8-16
書簡〔仙台への尽力依頼〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和2年1月28日(1927)	1通・ペン	85-7-5-30
書簡〔進行停止願ひ〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和2年12月8日(1927)	1通・ペン	85-9-140
葉書〔別府到着、今後の日程〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和3年1月9日(1928)	1枚・ペン	86-325-18
書簡〔御大典教育功労者表彰の件〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和3年7月29日(1928)	1通・ペン	10-408-143
書簡〔三島氏依頼の件尽力願ひ〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和3年8月23日(1928)	1通・ペン	10-394
書簡〔信託計算の件〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和5年(1930)	1通・墨書・ペン	10-410-17
書簡〔仙台の状況について〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和7年1月6日(1932)	1通・墨書	84-30-29

書簡〔丹羽氏との交渉報告〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和7年1月10日(1932)	1通・墨書	84-30-5
書簡〔仙台信託株式会社の信託預金について〕 高城畊造→守屋栄夫	昭和8年5月20日(1933)	1通・墨書	84-27-8
葉書〔挨拶状〕 高城悌治→守屋栄夫	大正6年2月11日(1917)	1枚・ペン	81-139
葉書〔栄転祝い〕 高城悌治→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1枚・墨書	81-66
葉書〔健康祈願〕 高城悌治〔佐倉歩兵第五十七連隊第八中隊〕→守屋栄夫	大正8年4月28日(1919)	1枚・墨書	82-3-184
葉書〔当選祝い〕 高城悌治→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-232
書簡〔お悔やみ状〕 高須新→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-10-23
書簡〔貴兄学校入学祝い〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正15年3月26日(1926)	1通・ペン	85-3-2-10
書簡〔黒田鈴哉逝去の知らせ〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正6年1月15日(1917)	1通・墨書	84-20-161
書簡〔内務省栄転祝い〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-26
書簡〔挨拶、機嫌伺い〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正6年5月19日(1917)	1通・墨書	83-14-48
葉書〔玉稿拝読〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正6年6月9日(1917)	1枚・墨書	81-28
書簡〔時局に対する感想など〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正7年5月10日(1918)	1通・謄写版・墨書	84-30-10
葉書〔暑中見舞い〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正7年8月3日(1918)	1枚・墨書	82-3-86
書簡〔愛知県立第八中学校設置、羽生氏着任報告〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正8年4月7日(1919)	1通・墨書	5-6-12
書簡〔栄転祝い〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正8年11月17日(1919)	1通・墨書	84-9-14
書簡〔講演会快諾御礼〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正14年2月15日(1925)	1通・ペン	85-10-110
書簡〔愛知県講演打ち合わせ〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正14年10月14日(1925)	1通・墨書	85-10-106
書簡〔講演会御礼〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正14年カ10月20日(1925)	1通・ペン	85-10-85
書簡〔刈谷町来訪願い〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正15年5月18日(1926)	1通・墨書	85-3-6-19
書簡〔講演受諾御礼〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正15年5月30日(1926)	1通・墨書	85-3-8-40
書簡〔講話御礼〕 高須錠吉→守屋栄夫	大正15年6月13日(1926)	1通・墨書	85-3-8-17
書簡〔判任官任命及び公州郡庁勤務命令の御礼〕 高瀬通→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1通・墨書	85-7-1-11
書簡〔当選祝い、選挙慰労、健康祈願〕 高瀬通→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-237
書簡〔お悔やみ状〕 高瀬通→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-14-73
葉書〔年賀状〕 高田家弥→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・活版	86-322-199
書簡〔挨拶〕 高田哲→守屋栄夫	大正6年5月24日(1917)	1通・墨書	83-14-62

書簡〔お悔やみ状〕 高田哲→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-2
葉書〔お悔やみ状〕 高田義海→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・墨書	6-63
葉書〔当選祝い〕 高地鶴松→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-237
書簡〔入会、雑務手伝い申入れ〕 高地鶴松→守屋栄夫	昭和3年10月5日(1928)	1通・墨書・ペン	10-23
書簡〔粗品送付〕 高野しつ子→守屋栄夫	大正6年1月25日(1917)	1通・墨書	84-20-156
葉書〔休暇旅行〕 高野松次郎→守屋栄夫	大正6年9月14日(1917)	1枚・ペン	81-41
葉書〔面会御礼〕 高野・方沢復・李蘭香・宗蓮花→守屋栄夫	昭和8年4月7日(1933)	1枚・ペン	86-323-17
書簡〔お悔やみ状〕 高橋漁之丞→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-139
葉書〔面会御礼〕 高橋一郎→守屋栄夫	大正15年12月24日(1926)	1枚・ペン	85-7-2-3
葉書〔政友会選挙事務員拝命〕 高橋一郎→守屋栄夫	昭和2年9月6日(1927)	1枚・ペン	84-1-97
葉書〔当選祝い〕 高橋一郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	10-408-9
葉書〔伯備線開校式報告〕 高橋一郎→守屋栄夫	昭和3年12月15日(1928)	1枚・ペン	86-322-156
書簡〔朝鮮に於ける事業計画願ひ他〕 高橋英悟→守屋栄夫	昭和4年10月8日(1929)	1通・墨書	85-4-4-9
書簡〔年頭挨拶、科目について〕 高橋英治〔愛知県刈谷中学校長〕→守屋栄夫	昭和2年1月3日(1927)	1通・ペン	85-7-2-19
書簡〔間瀬一就職斡旋依頼〕 高橋英治〔愛知県刈谷中学校長〕→守屋栄夫	昭和6年1月6日(1931)	1通・ペン	86-356-30
書簡〔息子一郎就職御礼〕 高橋栄蔵→守屋栄夫	大正14年12月9日(1925)	1通・ペン	85-10-42
書簡〔高橋家方結婚式参列者の氏名、上京日時連絡〕 高橋勝三郎→守屋栄夫・御家内様	昭和7年4月22日(1932)	1通・ペン	83-1-63
書簡〔結婚挙式御礼〕 高橋勝三郎→守屋栄夫	昭和7年4月29日(1932)	1通・墨書	84-24-6
葉書〔暑中見舞い〕 高橋要→守屋栄夫	大正15年8月10日(1926)	1枚・ペン	86-19
葉書〔暑中見舞い〕 高橋要→守屋栄夫	昭和2年8月(1927)	1枚・墨書	85-7-6-41
書簡〔お悔やみ〕 高橋亀寿→守屋栄夫・徳夫・和郎	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-106
書簡〔鳴瀬川治水工事後の状況〕 高橋喜一郎→守屋栄夫	昭和4年1月19日(1929)	6通・ペン	6-59-24
書簡〔伴男結婚式の件〕 高橋喜右衛門→守屋栄夫	昭和7年4月18日(1932)	1通・ペン	84-24-24
葉書〔礼状〕 高橋其三→守屋栄夫	明治44年4月2日(1911)	1枚・墨書	81-556
書簡〔お悔やみ状〕 高橋近一→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・ペン	9-26-9
葉書〔健康祈願寄せ書き〕 高橋金吾・Shigeo Takasima・寺坂源雄・地村巳代治・山岸精雄・早坂俊吉・曾根喜吉・m.konno・オバタショウイチ→守屋栄夫	昭和2年5月22日(1927)	1枚・ペン	85-9-6
書簡〔当選祝い〕 高橋金吾→守屋栄夫	昭和2月28日	1通・墨書	10-362
葉書〔当選祝い〕 高橋熊次郎→守屋栄夫	昭和5年2月(1930)	1枚・活版	7-147-377

書簡〔守屋総選挙出馬挨拶〕 高橋源一郎〔白川小学校〕→守屋栄夫	昭和2年9月26日(1927)	1通・墨書	85-7-4-11
書簡〔予算委員会質問好評他〕 高橋源一郎→守屋栄夫	昭和4年1月31日(1929)	1通・墨書	85-4-4-18
書簡〔お悔やみ状〕 高橋源一郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-96
書簡〔刈田郡選挙対策協議の提案〕 高橋源一郎→守屋栄夫	昭和4年11月1日(1929)	1通・ペン	10-403-48
書簡〔遣水氏当選祝い、健闘祈願〕 高橋源一郎→守屋栄夫	昭和6年2月16日(1931)	1通・ペン	86-355-15
書簡〔当選祝い〕 高橋源一郎→守屋栄夫	昭和2月23日	1通・墨書	10-259
書簡〔中身欠〕 高橋源一郎→守屋栄夫	1月25日	1通・ペン	9-16-39
書簡〔お悔やみ状〕 高橋玄策→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-19
書簡〔娘の就職幹旋御礼〕 高橋謙三郎→守屋栄夫	昭和4年6月21日(1929)	1通・墨書	85-4-3-29
葉書〔選挙激励〕 高橋喺→守屋栄夫	昭和3年3月2日(1928)	1枚・墨書	84-3-2
葉書〔当選祝い〕 高橋幸祐→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・ペン	7-147-230
書簡〔地方の不利益、社会政策の実施〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年2月8日(1933)	1通・墨書	84-8-18
書簡〔線路変更に際して上京、代議士一同・鉄道大臣へ陳情〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年2月12日(1933)	1通・墨書・ペン	84-8-15
書簡〔上京時の指導依頼、福浦島周囲での養殖〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年2月20日(1933)	1通・墨書・ペン	84-8-5
書簡〔松島駅移転反対運動の件〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年3月8日(1933)	1通・ペン	84-22-30
書簡〔当地方旱魃の様子、松島町訪問願い〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年6月28日(1933)	1通・ペン	83-6-17
書簡〔鉄道問題のため上京〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年9月18日(1933)	1通・ペン	84-25-4
書簡〔鉄道問題運動委員の選定、代議士へ訪問〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年10月11日(1933)	1通・ペン	84-12-31
書簡〔鉄道問題、支部総会準備のため帰仙〕 高橋幸蔵→守屋栄夫	昭和8年10月16日(1933)	1通・ペン	5-24-8
書簡〔守屋留守宅普請経費概算〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正11年9月11日(1922)	1通・ペン	9-27-44
書簡〔県会議員改選激戦他〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正12年7月29日(1923)	1通・ペン	80-2-1-28
書簡〔学校問題など業務報告〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正15年6月7日(1926)	1通・墨書	85-3-8-31
書簡〔三等米・四等米について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正15年8月25日(1926)	1通・ペン	85-3-7-6
書簡〔変質米混入の件事務報告〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正15年9月12日(1926)	1通・ペン	85-3-7-1
書簡〔学校問題につき村会結果報告〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正15年10月17日(1926)	1通・墨書	85-3-3-7
書簡〔落来氏の動向、鳴子の実地調査報告〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正15年10月31日(1926)	1通・墨書	85-3-3-8

書簡〔借金支払い等について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	大正15年12月18日 (1926)	1通・墨書	85-2-21
書簡〔中津山の小作米減収の原因報告〕 高橋幸之進→ 守屋栄夫	昭和2年1月12日 (1927)	1通・ペン	85-2-23
書簡〔守屋伴男の徴兵適齢について〕 高橋幸之進→守 屋栄夫	昭和2年1月22日 (1927)	1通・墨書・ペン	85-2-24
書簡〔返済金の利子について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和2年2月1日 (1927)	1通・墨書	85-2-22
書簡〔小作料について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和2年12月25日 (1927)	1通・墨書	85-7-3-6
書簡〔収支次第報告書について〕 高橋幸之進→守屋栄 夫	昭和4年1月29日 (1929)	1通・墨書・ペン	85-2-10
書簡〔村長・助役両名突然辞表提出〕 高橋幸之進→守屋 栄夫	昭和4年2月5日 (1929)	1通・墨書	85-2-12
書簡〔小作米報告〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和4年2月7日 (1929)	1通・ペン	85-2-11
書簡〔焼香御礼〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	85-2-13
書簡〔鳴子の植林について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和4年4月24日 (1929)	1通・墨書・ペン	85-2-18
書簡〔鳴子の植林について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和4年4月27日 (1929)	1通・ペン	85-2-19
書簡〔鳴子山植林について〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和4年5月4日 (1929)	1通・ペン	85-2-16
書簡〔法要および講演について〕 高橋幸之進→守屋栄 夫	昭和4年5月7日 (1929)	1通・墨書	85-2-15
書簡〔仏壇到着、便所の内構造〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和4年5月31日 (1929)	1通・墨書	85-2-20
書簡〔同封の返済決定表について〕 高橋幸之進→守屋 栄夫	昭和4年12月12日 (1929)	1通・墨書・ペン	85-2-14
書簡〔並川移民の物資供給、豊原での活動〕 高橋幸之 進→守屋栄夫	昭和8年2月20日 (1933)	1通・ペン	84-8-4
書簡〔移民取扱諸般補助、豊原購買利用組合問題〕 高 橋幸之進→守屋栄夫	昭和8年3月9日 (1933)	1通・ペン	84-23-37
書簡〔購買組合の件、引継問題〕 高橋幸之進→守屋栄夫	昭和8年3月17日 (1933)	1通・ペン	84-22-25
書簡〔劣化により開披不能〕 高橋幸之進→守屋栄夫	12月	1通・墨書	10-317
葉書〔テユネワト夫人へ記念品持参〕 高橋悟吉→守屋 栄夫		1枚・ペン	84-5-26
葉書〔当選祝い〕 高橋佐吉〔宮城県人会創設当代表者〕→ 守屋栄夫	昭和5年2月1日 (1930)	1枚・墨書	7-147-384
葉書〔松村課長令嬢入学試験合格祝い〕 高橋敏・佐惣・ 甲田純之助・松野司・徳江実隆・良男・上田長吉・山岸雅雄・石 重秀一・佐々木清之丞・瀬戸潔・武井友次郎・早坂・春川・松盛 ・今野道夫・庄司秀雄→守屋栄夫・奥様	大正15年3月21日 (1926)	1枚・ペン	86-168
葉書〔残暑見舞〕 高橋敏→守屋栄夫	昭和4年8月19日 (1929)	1枚・ペン	86-313
葉書〔視察のため那覇到着〕 高橋三郎→守屋栄夫	大正15年4月13日 (1926)	1枚・ペン	84-5-41
葉書〔鳥居奉納者姓名刻字可否照会〕 高橋三郎→守屋 栄夫	昭和2年12月2日 (1927)	1枚・ペン	84-3-68

書簡〔鳥居用材送付報告、鉄道省貨物通知書、石間屋領収証〕 高橋三郎→守屋栄夫	昭和3年1月16日(1928)	1通・謄写版・ペン・墨書	10-408-92
葉書〔富士五湖にて静養〕 高橋三郎→守屋栄夫	昭和5年11月3日(1930)	1枚・ペン	86-1-4
葉書〔興津鯛送付〕 高橋三郎→守屋栄夫	昭和6年2月10日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-338
書簡〔阿部千代治氏運動員内諾〕 高橋沢郎→守屋栄夫	昭和25日	1通・ペン	10-414-13
葉書〔興津鯛送付〕 高橋重左衛門→守屋栄夫	昭和7年11日(1932)	1枚・ペン	86-83
葉書〔東亜海運株式会社本店海務課より長崎支店へ転勤〕 高橋貞作	昭和15年7月(1940)	1枚・活版	18-14-206
葉書〔著書伊藤七十郎高覧願い〕 高橋莊次郎→守屋栄夫	大正8年7月16日(1919)	1枚・墨書	82-3-368
葉書〔当選祝い〕 高橋貞三郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書・活版	7-147-213
書簡〔当選祝い〕 高橋親吉→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-228
葉書〔ロンドン滞在にて近況報告〕 高橋甚也→守屋栄夫	昭和3年11月28日(1928)	1枚・ペン	86-322-151
葉書〔ベルリンよりワイマール到着〕 高橋甚也→守屋栄夫	昭和4年3月29日(1929)	1枚・ペン	86-327-2
葉書〔当選祝い〕 高橋甚也→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-177
書簡〔児童書発刊費用借用願い〕 高橋介夫→守屋栄夫	昭和6年2月4日(1931)	1通・墨書	86-355-34
書簡〔お見舞い〕 高橋清一郎→守屋栄夫	昭和4年12月27日(1929)	1通・墨書	85-4-6-7
葉書〔白峰陵参拝報告〕 高橋清一郎→守屋栄夫	昭和6年3月30日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-335
葉書〔当選祝い〕 高橋清三郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	7-147-173
書簡〔金剛砂契約に関する実地調査の件〕 高橋清七→守屋栄夫	昭和8年4月16日(1933)	1通・ペン	85-11-1
書簡〔現場実地見分報告〕 高橋清七→守屋栄夫	昭和8年5月20日(1933)	1通・ペン	84-27-21
葉書〔暑中見舞い〕 高橋清次郎→守屋栄夫	大正6年8月13日(1917)	1枚・ペン	81-84
葉書〔当選祝い〕 高橋清次郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	10-408-59
書簡〔お悔やみ状〕 高橋善吉→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	2通・ペン	6-59-21
葉書〔お悔やみ状〕 高橋太右衛門→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・墨書	5-25-10-32-11
葉書〔当選祝い〕 高橋隆志→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-178
葉書〔当選祝い〕 高橋猛三郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-78
書簡〔小生の就職斡旋依頼〕 高橋武松→守屋栄夫	昭和5年2月28日(1930)	1通・墨書	10-379
葉書〔警察署長会議で釜山来訪〕 高橋千代治→守屋栄夫	大正15年7月27日(1926)	1枚・ペン	86-322-29
書簡〔天皇陛下崩御後の近況報告〕 高橋千代治→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-3-4-8
葉書〔江原道三陟の景況〕 高橋千代治→守屋栄夫	昭和2年2月26日(1927)	1枚・ペン	86-322-107
書簡〔例の支局賄者の件他〕 高橋千代治→守屋栄夫		1通・ペン	85-4-4-11

書簡〔あかるい政治の感想、満洲国勤務希望、関係者紹介依頼〕 高橋彝男→守屋栄夫	昭和8年10月14日 (1933)	1通・墨書	84-25-7
書簡〔お悔やみ状〕 高橋常松→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-119
葉書〔当選祝い〕 高橋東三郎→守屋栄夫	昭和5年2月5日 (1930)	1枚・墨書	7-147-172
書簡〔お悔やみ状〕 高橋藤治郎→守屋栄夫	昭和4年3月18日 (1929)	1枚・墨書	5-25-9-13
書簡〔お悔やみ状〕 高橋藤三→守屋栄夫	昭和4年3月15日 (1929)	1枚・墨書	5-25-10-32-15
葉書〔当選祝い〕 高橋亨→守屋栄夫	昭和5年2月21日 (1930)	1枚・墨書	7-147-286
書簡〔お悔やみ状〕 高橋敏造→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-10-11
書簡〔松村殖産局長は宇垣総督へ辞表、仙台閥打撃〕 高橋敏造→守屋栄夫	昭和6年7月5日 (1931)	1通・墨書	86-350-39
書簡〔お悔やみ状〕 高橋俊従→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	5-12-27
書簡〔お悔やみ状〕 高橋利平→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-14-48
書簡〔明太子送付〕 高橋敏巳→守屋栄夫	昭和8年12月17日 (1933)	1通・墨書	84-21-19
葉書〔上京日程〕 高橋敏之→守屋栄夫	昭和8年7月3日 (1933)	1枚・ペン	86-323-14
書簡〔弟と中沢泰三郎息女婚約破談〕 高橋友衛→守屋 栄夫	昭和5年7月1日 (1930)	1通・墨書	10-411-25
葉書〔京城滞在挨拶〕 高橋盾雄→守屋栄夫	大正15年3月30日 (1926)	1枚・ペン	86-322-5
葉書〔暑中見舞い〕 高橋直橋→守屋栄夫	昭和4年8月21日 (1929)	1枚・ペン	86-311
書簡〔円田村有力家と相談し準備中〕 高橋一→守屋栄 夫	昭和4年12月28日 (1929)	1枚・ペン	85-4-6-4
書簡〔補欠選挙応援人員照会〕 高橋一→守屋栄夫	昭和6年4月16日 (1931)	1通・墨書	86-354-21
書簡〔村会議員選挙推薦依頼〕 高橋一→守屋栄夫	昭和8年4月6日 (1933)	1通・ペン	83-12-4
書簡〔お悔やみ状〕 高橋英記→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	6-54-10
書簡〔息子の就職斡旋依頼〕 高橋浩→守屋栄夫	昭和8年10月8日 (1933)	1通・墨書	84-12-8
書簡〔当選祝い〕 高橋福治→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-396
葉書〔当選祝い〕 高橋文夫→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1枚・墨書	7-147-179
書簡〔お悔やみ状〕 高橋文五郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-29-81
葉書〔近々シベリアへ出発〕 高橋守雄→守屋栄夫	大正7年12月20日 (1918)	1枚・墨書	82-3-254
書簡〔小生履歴概要報告〕 高橋綏次郎→守屋栄夫	昭和2年9月20日 (1927)	1通・墨書	78-23-15
葉書〔傷痍記章授与証を朝鮮鉄道局へ送付依頼〕 高 橋安巳→守屋栄夫	昭和3年12月13日 (1928)	1枚・ペン	86-322-157
書簡〔当選祝い、金200円送金〕 高橋安巳→守屋栄夫	昭和5年3月4日 (1930)	1通・墨書	10-382
書簡〔指導御礼〕 高橋安巳→守屋栄夫	昭和5年11月5日 (1930)	1通・墨書	9-16-76
書簡〔朝鮮総督府における宮城閥の近況報告〕 高橋 安巳→守屋栄夫	昭和6年6月26日 (1931)	1通・墨書	86-352-18

書簡〔採用不可報告〕 高橋雄豺→守屋栄夫	昭和4年9月28日(1929)	1通・墨書	85-4-1-42
書簡〔三度目の欧州の近況報告、名著恵送御礼〕 高橋祐治→守屋栄夫	大正15年1月1日(1926)	1通・ペン	85-3-5-25
葉書〔シャモニー登山実施〕 高橋祐治・s.kimura・K. Nagahama→守屋栄夫	大正15年6月20日(1926)	1枚・ペン	86-322-42
葉書〔海軍会議開催〕 高橋祐治→守屋栄夫	昭和2年7月26日(1927)	1枚・ペン	84-3-80
葉書〔年賀状〕 高橋祐治〔在仏国大使館〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-198
書簡〔父の訃報、フランスより帰朝〕 高橋祐治→守屋栄夫・令夫人	昭和4年4月19日(1929)	1通・ペン	6-59-3
書簡〔選挙応援、近況報告〕 高橋幸枝→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1通・ペン	10-225
書簡〔選挙激励〕 高橋猪三郎→守屋栄夫	昭和3年2月18日(1928)	1通・墨書	10-414-40
書簡〔ロスアンゼルス着任〕 高橋善哉→守屋栄夫	昭和4年4月7日(1929)	1通・ペン	85-4-3-13
書簡〔当選祝い〕 高橋義次→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	7-147-18
書簡〔お悔やみ状〕 高橋与平・とめよ→守屋栄夫・夫人	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-55
葉書〔当選祝い〕 高橋利八→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・墨書	7-147-229
書簡〔履歴書送付〕 高橋利八→守屋栄夫	3月23日	1通・墨書	78-23-56
葉書〔お悔やみ状〕 高橋林治郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・ペン	9-15-142
葉書〔暑中見舞い〕 高橋林造→守屋栄夫	昭和3年8月8日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-243
葉書〔挨拶状〕 高橋林造→守屋栄夫	昭和5年4月29日(1930)	1枚・ペン	86-76
葉書〔健康伺い〕 高橋・大内→守屋栄夫	大正14年12月23日(1925)	1枚・墨書	84-6-62
葉書〔当選祈願〕 高橋→守屋栄夫	昭和3年2月16日(1928)	1枚・墨書	7-34
葉書〔当選祝い〕 高橋→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-247
葉書〔挨拶状〕 タカハシ→守屋栄夫	昭和5年カ3月31日(1930)	1枚・ペン・墨書	86-1-82
葉書〔喪中〕 高畠種夫→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1枚・墨書	86-326-92
葉書〔安武直夫氏南大門駅に到着、滞在の概要〕 高原喜三郎→守屋栄夫	大正8年11月6日(1919)	1枚・ペン	5-26-39
書簡〔欠礼挨拶〕 高本武彦→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-2-53
書簡〔お悔やみ状〕 高元勲→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・ペン・活版	9-18-1
書簡〔お悔やみ状〕 高屋明定→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-13
葉書〔当選祝い〕 高屋明定→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-291
葉書〔当選祝い〕 高柳孝之介→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・ペン	7-147-287
葉書〔欠礼挨拶〕 多木栄次郎・三良→守屋栄夫	昭和1年12月(1926)	1枚・活版	85-7-2-26
書簡〔芝浦市電工場長へ野島末吉氏紹介依頼〕 瀧正雄→守屋栄夫	〔昭和〕9月14日	1通・墨書	83-11-19

葉書〔夷隅郡五ヶ組合地区の完了事務完結、転居の報告〕 瀧口巖→守屋栄夫	大正6年5月28日(1917)	1枚・ペン	82-3-159
書簡〔お悔やみ状〕 瀧口巖→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-75
書簡〔園芸学校出身者就職のため福永英之か石川栄耀へ紹介依頼〕 瀧口巖→守屋栄夫	昭和8年5月13日(1933)	1通・墨書	84-11-16
書簡〔お悔やみ状〕 瀧口甲午郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-27
葉書〔暑中見舞い〕 瀧本豊之輔→守屋栄夫	大正13年7月(1924)	1枚・墨書・活版	9-22-22
書簡〔教化事業講習会の件〕 瀧本豊之輔→守屋栄夫	大正15年4月11日(1926)	1通・墨書	78-23-51
葉書〔徳島開催の講習会に関して〕 瀧本豊之輔→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1枚・ペン	84-1-110
書簡〔松本・稲穂君応援演説より同行、今後の予定〕 瀧本豊之輔→守屋栄夫	昭和3年2月9日(1928)	1通・ペン	10-414-45
書簡〔退職手当について〕 瀧本豊之輔→守屋栄夫	昭和4年2月28日(1929)	1通・墨書	6-56-12
葉書〔滋賀支部発起〕 瀧本・二荒芳徳・白井虎雄・岩本・中本正元・篠原金作→守屋栄夫	昭和3年4月15日(1928)	1枚・ペン	86-329-5
葉書〔暑中見舞い〕 瀧山巖→守屋栄夫	大正15年8月9日(1926)	1枚・墨書	86-325-10
葉書〔暑中見舞い〕 多久安信→守屋栄夫	8月3日	1枚・ペン	82-3-151
書簡〔息子彰の就職斡旋依頼〕 詫摩卯吉→守屋栄夫	昭和7年10月1日(1932)	1通・ペン	83-5-2
葉書〔挨拶〕 武井健作→守屋栄夫	大正14年10月19日(1925)	1枚・ペン	84-6-93
葉書〔喪中〕 武井健作→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-29
書簡〔武井健作履歴書〕 武井健作→守屋栄夫	昭和2年7月2日(1927)	1通・墨書	78-23-28
葉書〔神戸楠公の遺跡巡り〕 武井健作→守屋栄夫	昭和2年11月27日(1927)	1枚・ペン	84-3-111
葉書〔移転連絡〕 武井健作→守屋栄夫	昭和2年12月13日(1927)	1枚・ペン	84-3-108
葉書〔選挙激励〕 武井健作→守屋栄夫	昭和3年1月23日(1928)	1枚・墨書	84-3-73
書簡〔当選祝い〕 武井健作→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-33
葉書〔大久保局長への依頼確認、出発日通知願い〕 武井健作→守屋栄夫	昭和3年7月24日(1928)	1枚・ペン	86-325-58
葉書〔牛肉味噌漬け送付〕 武井健作→守屋栄夫	昭和3年10月31日(1928)	1枚・ペン	84-3-41
書簡〔台湾の状況変化による市の立場決定につき意見照会〕 武井健作→守屋栄夫	昭和4年1月30日(1929)	1通・墨書	6-55-5
書簡〔お悔やみ状〕 武井健作→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-54
書簡〔川村総督との面会不能、依願退職後の状況と復職に関して〕 武井健作→守屋栄夫	昭和4年4月14日(1929)	1通・墨書	9-21-8
葉書〔上京中止、神戸名物送付〕 武井健作→守屋栄夫	昭和4年4月26日(1929)	1枚・墨書	86-327-10

書簡〔就職幹旋依頼、天皇陛下神戸行幸他近況報告〕 武井健作→守屋栄夫	昭和4年6月7日(1929)	1通・墨書	85-4-4-36
書簡〔台湾方面の問題、斎藤子爵朝鮮総督任命、新方面開拓〕 武井健作→守屋栄夫	昭和4年8月28日(1929)	1通・墨書	5-17-21
書簡〔年賀状、政友会入党につき本領發揮願い〕 武井健作→守屋栄夫	昭和5年1月1日(1930)	1通・墨書	10-403-19
書簡〔婚姻の件〕 武井健作→守屋栄夫	昭和5年1月4日(1930)	1通・墨書	10-403-15-1
書簡〔小生の結婚問題配慮御礼〕 武井健作→守屋栄夫	昭和5年カ1月20日(1930)	1通・墨書	10-403-42
葉書〔上京時面会希望〕 武井健作→守屋栄夫	昭和5年9月28日(1930)	1枚・ペン	86-1-53
葉書〔連盟の趣旨了解〕 武井健作→守屋栄夫	昭和5年10月11日(1930)	1枚・ペン	86-1-36
葉書〔観艦式随伴〕 武井健作→守屋栄夫	昭和5年10月26日(1930)	1枚・ペン	86-1-13
葉書〔時候の挨拶〕 武井健作→守屋栄夫	昭和6年2月25日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-316
書簡〔当市退職挨拶〕 武井健作→守屋栄夫	昭和6年5月27日(1931)	1通・ペン	86-352-55
書簡〔土木部課長として勤務続ける〕 武井健作→守屋栄夫	昭和6年9月2日(1931)	1通・ペン	86-358-20
書簡〔石川翁の記事所感〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正7年3月14日(1918)	1通・墨書	83-13-9
書簡〔教育と学校に関する意見11項目〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正7年4月26日(1918)	1通・墨書	5-26-23
書簡〔病のため好結果を得ず〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正7年9月13日(1918)	1通・墨書	83-7-8
書簡〔年賀状〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正8年1月1日(1919)	1通・墨書	5-26-6
書簡〔女校について、佐々氏来訪〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正8年1月17日(1919)	1通・墨書	83-9-8
書簡〔公民科講習会につき〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正8年7月3日(1919)	1通・墨書	83-2-33
書簡〔ロンドンタイムスについて〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正13年12月9日(1924)	1通・ペン	85-8-2
書簡〔著書第二版、広告〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正14年12月6日(1925)	1通・ペン	85-10-65
書簡〔佐々木部長指示の広告刷〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正14年12月11日(1925)	1通・ペン	85-10-66
書簡〔御歳暮送付〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正14年12月21日(1925)	1通・墨書	85-10-31
書簡〔家族他近況報告〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年1月10日(1926)	1通・ペン	85-3-5-22
書簡〔御稿拝読感想〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年1月24日(1926)	1通・ペン	85-3-1-32
書簡〔「我等の進むべき道」拝読〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年3月7日(1926)	1通・ペン	85-3-1-38
書簡〔玄界灘旅行報告〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年4月6日(1926)	1通・墨書	85-3-2-9

書簡〔「欧米の旅より」御礼、朴烈の妻金子ふみの手紙紹介〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年5月10日 (1926)	1通・ペン	85-3-6-17
書簡〔お願いの件〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年7月16日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-2
書簡〔高橋・松村の近況報告〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年8月5日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-11
書簡〔採用に関して御礼〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年9月8日 (1926)	1通・墨書	85-3-7-13
書簡〔赴任後の近況報告〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年10月31日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-18
書簡〔学校職員会議につき最後の決断〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年11月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-24
書簡〔人事を尽くす、小川とめこ面会依頼〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年11月13日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-4
書簡〔講習会終了後の予定伺い〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正15年12月17日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-30
書簡〔大内俊亮氏胆石病につき高熱〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和1年12月26日 (1926)	1通・墨書	85-7-2-1-24
書簡〔朝鮮での人事異動〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和2年7月9日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-23
葉書〔伊勢参りから京都に旅行〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和4年4月17日 (1929)	1枚・ペン	86-327-35
書簡〔印刷物発送、借金延滞〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和7年12月30日 (1932)	1通・ペン	84-14-7
書簡〔「あかるい政治」について、朴命錫について〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和8年11月5日 (1933)	1通・墨書	84-29-18
書簡〔年末の挨拶〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和8年12月30日 (1933)	1通・ペン	85-6-7
書簡〔南大門遭難見舞い、朝鮮統治意見〕 武井友次郎→守屋栄夫	大正 9月4日	1通・墨書	5-16-13
書簡〔「神ながら」編集遅延、昭和連盟封筒整理、パンフレット編集報告〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和 1月4日	1通・ペン	10-403-11
書簡〔激励〕 武井友次郎→守屋栄夫	昭和 2月18日	1通・ペン	10-17
書簡〔大逆事件の金子フミ子の手紙の写、朝鮮の近況報告〕 武井友次郎→守屋栄夫	6月10日	1通・ペン	85-3-8-19
書簡〔上京の折、新条町警察署で厄介〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正5年11月3日 (1916)	1通・墨書	84-20-9
書簡〔面会不能遺憾〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正6年4月17日 (1917)	1通・墨書	84-20-37
書簡〔文部省より長崎県への約束、地方長官会議〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正6年5月16日 (1917)	1通・墨書	84-7-18
書簡〔鮮人の盲動悪化と対応、「要領控 三月十五日以後ニ於ケル面事務関係事故調査」同封〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正9年6月15日 (1920)	1通・墨書・謄写版	5-16-8
書簡〔三等官任官尽力御礼〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正15年2月12日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-23
葉書〔「支那を一巡して」拝見〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正15年2月19日 (1926)	1枚・ペン	86-322-22

葉書〔挨拶状〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正15年2月24日 (1926)	1枚・ペン	84-2-39
葉書〔内務部長打合会にて出府挨拶〕 武井秀吉→守屋栄夫	大正15年9月4日 (1926)	1枚・ペン	86-222
葉書〔朝鮮穀物商大会に参列〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和2年9月28日 (1927)	1枚・ペン	84-1-104
書簡〔年末挨拶、猪肉送付〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和3年12月31日 (1928)	1通・墨書	6-55-7
書簡〔東京市長の後任に水野閣下出馬の記事拝見、適當の地位に御推挙願ひ、履歴書同封〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和4年2月9日 (1929)	1通・墨書・ペン	6-56-8
書簡〔お悔やみ状〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	5-10-12
書簡〔東京市就職斡旋依頼〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和4年4月28日 (1929)	1通・墨書	85-4-3-6
書簡〔東京その他都市市役所就職斡旋依頼〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和4年12月27日 (1929)	1通・墨書	85-4-6-8
書簡〔留任の件報告〕 武井秀吉→守屋栄夫	昭和8年3月10日 (1933)	1通・墨書	85-11-17
葉書〔上海から青島・天津經由帰国予定〕 武井秀吉→守屋栄夫	3月6日	1枚・ペン	84-2-32
書簡〔人事異動他留守中の朝鮮状況報告〕 武井→守屋栄夫	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-5
書簡〔「正男を弔ふ詞」拝読、「朝鮮鉄道旅行便覧」学校配布予定他〕 武井→守屋栄夫	大正12年6月3日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-6
書簡〔震災被害の大きさと朝鮮人問題、世情混乱〕 武井→守屋栄夫	大正12年9月21日 (1923)	1通・ペン	85-10-104
書簡〔中学校長辞任希望、転職斡旋依頼〕 竹内喜之助→守屋栄夫	大正5年6月24日 (1916)	1通・墨書	84-20-53
葉書〔関西方面視察〕 竹内喜之助→守屋栄夫	大正 11月25日	1枚・ペン	81-71
書簡〔お悔やみ状〕 竹内賢治→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	9-11-10
書簡〔欠礼お詫び、次男病気見舞〕 竹内錠之助→守屋栄夫	大正8年11月24日 (1919)	1通・墨書	83-2-43
書簡〔警視庁署長転任、警察官としての抱負〕 竹内健郎→守屋栄夫	大正7年9月18日 (1918)	1通・墨書	84-7-16
葉書〔国際労働会議記念葉書御礼〕 竹内健郎→守屋栄夫	大正14年10月17日 (1925)	1枚・ペン	84-6-144
葉書〔大邱名産林檎送付〕 竹内健郎→守屋栄夫	大正14年10月29日 (1925)	1枚・ペン	84-6-135
書簡〔土地台帳登録、学務局長等人事〕 竹内健郎→守屋栄夫	昭和4年8月27日 (1929)	1通・ペン	5-17-19
書簡〔堀篁の職、山井の事件報告〕 竹内健郎→守屋栄夫	昭和4年9月30日 (1929)	1通・ペン	85-4-6-15
書簡〔妻末弟引見願ひ〕 竹内健郎→守屋栄夫	昭和5年1月8日 (1930)	1通・墨書	10-403-43
書簡〔渡辺知事転出中止、朝鮮近況報告〕 竹内健郎→守屋栄夫	昭和8年1月8日 (1933)	1通・ペン	85-5-25
書簡〔大宮司氏訪問〕 竹内→守屋栄夫	昭和3年2月18日 (1928)	1通・ペン	10-18

葉書〔ローマの感想〕 竹内→守屋栄夫	昭和4年11月11日 (1929)	1枚・ペン	86-324-22
葉書〔お悔やみ状〕 武尾禎蔵→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1枚・ペン	9-28-36
書簡〔お悔やみ状〕 武田寛治郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-21
葉書〔漢詩〕 竹田玉斎→守屋栄夫	昭和3年3月14日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-361
葉書〔挨拶状〕 竹田玉斎→守屋栄夫	昭和5年3月20日(1930)	1枚・墨書	86-46
書簡〔捜情屋撃争事件経過〕 竹田健治→守屋栄夫	昭和5年5月12日(1930)	1通・墨書	7-147-100
葉書〔当選祝い〕 武田源右郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-54
書簡〔社会部長退任と選挙出馬に対する激励〕 武田 真量→守屋栄夫	昭和3年2月9日(1928)	1通・墨書	10-67
書簡〔転任報告〕 竹田武男→守屋栄夫	大正6年9月22日(1917)	1通・墨書	83-14-153
葉書〔健康祈願〕 竹田武男→守屋栄夫	大正7年8月10日(1918)	1枚・ペン	82-3-76
葉書〔年末挨拶〕 竹田武男→守屋栄夫	大正7年12月15日 (1918)	1枚・墨書	82-3-220
書簡〔「地方青年の教養」寄贈御礼〕 竹田武男→守屋栄 夫	大正8年11月28日 (1919)	1通・墨書	5-28-29
書簡〔高橋氏および秋山小学校長について〕 竹田武男 →守屋栄夫	昭和5年3月30日(1930)	1通・墨書	10-405-10
葉書〔機嫌伺い〕 竹田武男→守屋栄夫	昭和5年8月8日(1930)	1枚・ペン	86-322-266
書簡〔内務大臣官房文書課長就任祝い〕 竹田武男→守 屋栄夫	昭和7年5月9日(1932)	1通・墨書	84-30-25
書簡〔お悔やみ状〕 武田正→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-75
葉書〔子弟引立願い〕 武田正→守屋栄夫	昭和5年6月14日(1930)	1枚・ペン	10-406-31
書簡〔選挙道徳向上会仮規定案内、懸賞論文募集通 知〕 武田貞之助〔選挙道徳向上会〕→守屋栄夫	昭和5年12月23日 (1930)	1通・ペン	10-336
葉書〔暑中見舞い〕 武田俊義→守屋栄夫	大正8年8月2日(1919)	1枚・墨書	82-3-338
書簡〔当選祝い〕 武田信雄→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-81
書簡〔お悔やみ状〕 武田信雄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-53
書簡〔お悔やみ状〕 武田百合亜→守屋栄夫・よしみ	大正12年5月3日(1923)	1通・墨書	18-14-151
葉書〔海外の日本不理解〕 竹田→守屋栄夫・令夫人	昭和3年9月13日(1928)	1枚・ペン	86-322-86
葉書〔年齢の件〕 竹内・松村→守屋栄夫	大正15年カ8月24日 (1926)	1枚・墨書	86-200
葉書〔暑中見舞い〕 竹浪□□→守屋栄夫	昭和3年カ(1928)	1枚・ペン	86-325-80
書簡〔お悔やみ状〕 建部遯吾→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン・活版	9-15-29
葉書〔残暑見舞、教化戦線奮闘を〕 武部秀範→守屋栄夫	大正15年4月1日(1926)	1枚・ペン	86-322-7
葉書〔挨拶状〕 武部秀範→守屋栄夫	大正15年19日(1926)	1枚・ペン	86-322-64
葉書〔欧州と日本の比較〕 武部峯一郎→守屋栄夫	大正14年11月22日 (1925)	1枚・墨書	84-6-63

書簡〔小野寺氏より昭和連盟会聞く、賛成につき尽力〕 竹村虎太郎→守屋栄夫	昭和4年12月26日 (1929)	1通・墨書	85-4-6-6
葉書〔当選祝い〕 竹村虎太郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1枚・墨書	7-147-386
葉書〔年賀状〕 竹谷源太郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-13
葉書〔年賀状〕 武山寧法→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・ペン・活版	86-326-51
書簡〔山口県視学の件〕 田子一民→守屋栄夫	大正5年6月15日 (1916)	1通・墨書	84-20-13
書簡〔婦人実生活改善指導を〕 田子一民→守屋栄夫	大正5年12月7日 (1916)	1通・墨書	84-20-19
書簡〔挨拶状〕 田子一民→守屋栄夫	大正6年2月28日 (1917)	1通・墨書	84-20-75
書簡〔献本御礼〕 田子一民→守屋栄夫	大正10年10月10日 (1921)	1通・ペン	5-5-4
書簡〔川端茂採用依頼〕 田子一民→守屋栄夫	大正15年1月17日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-35
書簡〔平林広氏差許される〕 田子一民→守屋栄夫	大正15年6月26日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-36
書簡〔旅費宿料以外200円又は他計画を同時に施行〕 田子一民→守屋栄夫	大正15年7月21日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-52
書簡〔内藤勝氏奉職希望、斡旋依頼〕 田子一民→守屋栄夫	昭和2年11月19日 (1927)	1通・墨書	78-23-17
書簡〔お悔やみ状〕 田子一民→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-47
書簡〔選挙応援、必勝祈願〕 田子一民→守屋栄夫	昭和5年2月11日 (1930)	1通・墨書	10-383
書簡〔スキャンダルにて辞職の岩手県九戸郡長佐藤 与七再就職依頼〕 田子一民→守屋栄夫	10月24日	1通・ペン	81-735
書簡〔第五回後援会加入者氏名〕 太斎武雄→守屋栄夫	昭和3年1月30日 (1928)	1通・ペン	9-16-45
書簡〔「太平洋時代来る」送付御礼、原町小学校勤務他 近況報告〕 太斎武雄→守屋栄夫	昭和3年4月20日 (1928)	1通・墨書	10-367
書簡〔今議会の先生の態度、政党に対する意見〕 太斎 武雄→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	6-57-69
書簡〔熱田神宮振能予算決定斡旋依頼〕 田沢義鋪→守 屋栄夫	大正5年9月18日 (1916)	1通・墨書	84-20-15
書簡〔家族病人のため総督招致辞退〕 田沢義鋪→守屋 栄夫	大正8年9月16日 (1919)	1通・墨書	9-25-20
書簡〔地方改良講演出演辞退〕 田沢義鋪→守屋栄夫	大正15年7月21日 (1926)	1通・ペン	78-23-11
書簡〔調査会欠勤、次回開催日依頼〕 田沢義鋪→守屋栄 夫	大正15年9月11日 (1926)	1通・ペン	85-3-7-5
書簡〔福岡での大日本連合青年団大会報告〕 田沢義鋪 →守屋栄夫	昭和2年4月19日 (1927)	1通・ペン	85-9-94
書簡〔お悔やみ状〕 田島勝太郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	9-18-9
書簡〔お悔やみ状〕 田尻弥七→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-56
葉書〔甘藷到着通知〕 田尻駅長→守屋栄夫	昭和2年11月24日 (1927)	1枚・謄写版・ペ ン	18-14-194

葉書〔久留米より挨拶状〕 田代林二→守屋栄夫	昭和3年10月5日(1928)	1枚・墨書・ペン	86-322-85
書簡〔当選祝い、理想的殖民地の建設〕 多田栄一郎→守屋栄夫	昭和5年4月18日(1930)	1通・ペン	84-4-23
書簡〔サンパウロ市の聖州義塾へ転任〕 多田栄一郎→守屋栄夫	昭和6年カ10月12日(1931)	1通・謄写版・ペン	86-347-4
書簡〔お悔やみ状〕 多田栄吉→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・ペン	9-11-16
書簡〔理事官拝命など近況報告〕 多田純二→守屋栄夫	大正12年4月9日(1923)	1通・ペン	80-40-1-9
書簡〔年末挨拶〕 多田純二→守屋栄夫	大正14年12月28日(1925)	1通・墨書	85-10-15
葉書〔年賀状〕 多田純二→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1枚・ペン	84-3-133
書簡〔子供の就職斡旋依〕 只木磯之助→守屋栄夫	昭和4年1月27日(1929)	1通・活版・墨書	85-4-4-20
書簡〔人事異動〕 只木磯之助→守屋栄夫	昭和4年2月22日(1929)	1通・墨書	6-56-38
書簡〔息子の就職斡旋依頼〕 只木磯之助→守屋栄夫	昭和4年3月4日(1929)	1通・墨書	6-56-28
葉書〔当選祝い〕 但木賢造→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・墨書	7-147-294
葉書〔年賀状〕 只木庚五郎→守屋栄夫	昭和3年1月25日(1928)	1枚・墨書	7-147-182
書簡〔只木甫男履歴書〕 只木甫男→守屋栄夫	昭和4年2月24日(1929)	1通・墨書	6-56-21
書簡〔助言の通り父母親族を介し伝言〕 只木甫男→守屋栄夫	昭和4年3月3日(1929)	1通・墨書	6-56-30
書簡〔当選祈願〕 只木甫男→守屋栄夫	昭和5年1月29日(1930)	1通・ペン	10-385
書簡〔当選祝い〕 只木淑夫→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1通・墨書・ペン	7-147-125
書簡〔弟の樺太着任御礼〕 只木和六→守屋栄夫	昭和4年10月3日(1929)	1通・ペン	85-4-1-34
葉書〔お悔やみ状〕 橘源次郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1枚・墨書	6-54-21
書簡〔お悔やみ状〕 龍江義信〔海外興業株式会社〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-154
書簡〔食事招待〕 田付七太→守屋栄夫	昭和2年12月12日(1927)	1通・墨書	85-7-7-21
書簡〔鈴木兄上から叱咤〕 達崎円治→守屋栄夫	昭和8年12月19日(1933)	1通・墨書	84-21-4
葉書〔暑中見舞い〕 達寄東→守屋栄夫	昭和2年7月30日(1927)	1枚・墨書	86-96
書簡〔お悔やみ状〕 達寄東→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-9-1
書簡〔子供夏期休暇中高配御礼〕 伊達邦宗→守屋栄夫	大正11年10月8日(1922)	1通・墨書	9-27-57
書簡〔滞在中の処遇御礼〕 伊達岡子→守屋栄夫	大正6年4月18日(1917)	1通・墨書	84-20-127
書簡〔見龍公奉斎会設立〕 伊達宗経〔見龍公奉斎会総裁〕→守屋栄夫	大正7年7月31日(1918)	1通・謄写版・活版	83-10-3
書簡〔お悔やみ状〕 田中浅次郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	9-15-117
書簡〔弔電御礼〕 田中勇雄→守屋栄夫	昭和7年9月2日(1932)	1通・墨書	83-11-17

葉書〔暑中見舞い〕 田中修→守屋栄夫	大正15年8月10日 (1926)	1枚・ペン	86-323-18
葉書〔著書拝読〕 田中修→守屋栄夫	大正15年10月30日 (1926)	1枚・ペン	86-263
葉書〔暑中見舞い〕 田中修→守屋栄夫	昭和2年8月16日 (1927)	1枚・ペン	84-3-89
葉書〔挨拶状〕 田中修・新庄・川口→守屋栄夫	昭和3年10月27日 (1928)	1枚・ペン	84-3-39
葉書〔挨拶状〕 田中一道→守屋栄夫	大正5年6月21日 (1916)	1枚・墨書	81-72
書簡〔「革命後の露西亞」謝辞〕 田中義一→守屋栄夫	大正14年11月6日 (1925)	1通・墨書	85-10-45
葉書〔拙著「最近の露国事情」寄贈〕 田中義一→守屋栄夫	大正15年4月10日 (1926)	1枚・墨書	84-5-43
書簡〔面会御礼〕 田中喜芳→守屋栄夫	昭和8年11月7日 (1933)	1通・墨書	84-29-19
書簡〔内務問題講演、近況報告〕 田中高愚→守屋栄夫	大正15年11月13日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-1
書簡〔年賀状〕 田中高愚→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1通・墨書	85-3-4-16
書簡〔御霊前別送〕 田中慎太郎→守屋栄夫	昭和6年8月9日 (1931)	1通・墨書	86-348-11
書簡〔当選祝い〕 田中資太郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-280
書簡〔東京付近での奉職志望、就職斡旋依頼〕 田中鉦雄→守屋栄夫	大正6年5月31日 (1917)	1通・墨書	84-7-43
葉書〔暑中見舞い〕 田中鉦雄→守屋栄夫	大正6年7月21日 (1917)	1枚・墨書	81-234
書簡〔県庁対応について〕 田中鉦雄→守屋栄夫	大正6年8月7日 (1917)	1通・墨書	83-14-156
書簡〔井口氏について〕 田中鉦雄→守屋栄夫	大正6年8月29日 (1917)	1通・墨書	83-14-175
書簡〔希望任地斡旋依頼〕 田中鉦雄→守屋栄夫	大正8年5月20日 (1919)	1通・墨書	84-7-32
書簡〔お悔やみ状〕 田中鉦雄→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-50
葉書〔挨拶状〕 田中武雄→守屋栄夫	昭和2年2月15日 (1927)	1枚・ペン	86-322-102
書簡〔墓地の件告〕 田中武雄→守屋栄夫	昭和4年5月26日 (1929)	1通・ペン	85-4-4-45
葉書〔喪中〕 田中藤左衛門→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-91
書簡〔お悔やみ状〕 田中藤左衛門→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-12-6
葉書〔当選祝い〕 田中篤三→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	7-147-215
葉書〔暑中見舞い〕 田中徳太郎→守屋栄夫	大正15年8月10日 (1926)	1枚・ペン	86-322-2
書簡〔朝鮮の近況報告〕 田中徳太郎→守屋栄夫	昭和2年11月28日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-1
書簡〔朝鮮では川村総督を期待〕 田中徳太郎→守屋栄夫	昭和2年12月11日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-27
書簡〔お悔やみ状〕 田中徳太郎・たけ→守屋栄夫・夫人	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	5-12-70
書簡〔年賀状〕 田中年雄〔愛媛健康保健所〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1通・墨書	85-7-1-2

書簡〔祝辞御礼〕 田中虎太郎→守屋栄夫	大正6年10月5日(1917)	1通・墨書	81-382
書簡〔当選祝い〕 田中肇→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・活版・墨書	10-408-73
書簡〔高陞号引揚事業につき〕 田中半四郎→守屋栄夫	昭和8年6月7日(1933)	1通・ペン	83-6-7
書簡〔礼状〕 田中半四郎→守屋栄夫	昭和8年7月13日(1933)	1通・墨書	84-26-17
書簡〔失業対策特別委員会開会、来会願い〕 田辺熊一→守屋栄夫	昭和 9月7日	1通・墨書	10-240
葉書〔当選祝い〕 田辺宗夫→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・ペン	7-147-389
書簡〔各地の塩需給表送付〕 田辺隆平→守屋栄夫	昭和7年12月20日(1932)	1通・ペン	84-14-35
葉書〔会議出席依頼〕 田辺礼二→守屋栄夫	昭和8年7月4日(1933)	1枚・墨書	86-322-176
葉書〔地方巡閲のため島根県訪問〕 谷龍三→守屋栄夫	昭和2年11月26日(1927)	1枚・ペン	84-3-71
葉書〔岡山の講習会の様子〕 谷龍之助→守屋栄夫	大正15年2月24日(1926)	1枚・ペン	84-2-41
葉書〔鳥取県融和講習参加〕 谷龍之助→守屋栄夫	大正15年7月23日(1926)	1枚・ペン	86-322-32
葉書〔講習会感想〕 谷龍之助→守屋栄夫	大正15年8月4日(1926)	1枚・ペン	86-325-93
葉書〔講習生とともに阿蘇山中滞在挨拶〕 谷龍之助→守屋栄夫	大正15年9月7日(1926)	1枚・ペン	86-208
葉書〔講習終了〕 谷龍之助→守屋栄夫	大正15年10月8日(1926)	1枚・ペン	86-233
葉書〔融和事業講習会の効果、山口県名産菓子送付〕 谷龍之助→守屋栄夫	大正15年 17日(1926)	1枚・ペン	86-322-41
書簡〔懇情御礼、粗品送付〕 谷龍之助→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-25
葉書〔甘鯛乾物送付〕 谷龍之助→守屋栄夫・奥様	昭和2年5月29日(1927)	1枚・ペン	86-154
葉書〔会議のため上京〕 谷龍之助→守屋栄夫	昭和2年6月29日(1927)	1枚・ペン	86-128
葉書〔浜田町より挨拶、甘鯛粕漬送付〕 谷龍之助→守屋栄夫	昭和3年6月7日(1928)	1枚・ペン	86-322-138
葉書〔官司面会の件〕 谷龍之助→守屋栄夫	昭和3年9月26日(1928)	1枚・ペン	86-322-80
書簡〔年末挨拶、当地名産品送付〕 谷龍之助→守屋栄夫	昭和3年12月13日(1928)	1通・墨書	10-413-12
書簡〔島根県赴任後の様子、熊本県学務部長へ転任報告〕 谷龍之助→守屋栄夫	昭和4年7月15日(1929)	1通・墨書	9-21-9
書簡〔歳末挨拶〕 谷龍之介→守屋栄夫	昭和4年12月12日(1929)	1通・墨書	10-405-40
葉書〔社会問題講習会開催企画〕 谷龍之助(熊本県阿蘇)→守屋栄夫	昭和6年カ7月14日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-349
書簡〔年末挨拶〕 谷龍之助→守屋栄夫	12月21日	1通・墨書	7-147-53
葉書〔暑中見舞い〕 谷川教之助→守屋栄夫	昭和4年8月12日(1929)	1枚・ペン	86-294

葉書〔先帝陛下崩御、我等国民本分覚悟〕 谷口積誠(道德研究会本部)→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・ペン	85-7-2-1-2
書簡〔当選祝い、名刺(谷口積誠)〕 谷口万次郎(大日本道德研究会本部主任)→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-219
書簡〔お悔やみ状〕 谷山四方一→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-13-15
書簡〔当選祝い〕 谷山四方一→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-412-30
葉書〔水野総監の件他近況報告〕 多沼→守屋栄夫	大正8年12月27日(1919)	1枚・ペン	82-3-326
書簡〔お悔やみ状〕 田原幹→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-33
書簡〔千葉近辺東京役所へ就職斡旋依頼〕 田原幹→守屋栄夫	昭和7年10月16日(1932)	1通・ペン	83-5-17
書簡〔成績発表、卒業試験時間表未発表〕 田房秀助→守屋栄夫	明治42年5月26日(1909)	1通・墨書	6-46-36
葉書〔修善寺到着〕 玉井広平→守屋栄夫	大正11年1月18日(1922)	1枚・ペン	84-2-4
葉書〔岡山県庁訪問〕 玉井広平→守屋栄夫	大正15年2月□日(1926)	1枚・ペン	86-166
書簡〔お悔やみ状〕 玉城直彦→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-20
書簡〔お悔やみ状、社会事業者紹介願い〕 玉城肇→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	2通・ペン	6-59-20
書簡〔お悔やみ状〕 玉城肇→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-62
書簡〔当郡書記山田氏就職斡旋依頼〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正6年4月17日(1917)	1通・墨書	84-20-70
書簡〔家庭経済状況、仕事斡旋依頼〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正6年7月25日(1917)	1通・墨書	84-7-40
書簡〔内務省感化救済課・特殊小学校・銀行支配人等への就職斡旋依頼〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正6年8月6日(1917)	1通・墨書	83-14-43
書簡〔就職斡旋依頼〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正6年9月17日(1917)	1通・墨書	83-14-44
書簡〔山形県への復職斡旋依頼〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正6年9月26日(1917)	1通・墨書	83-14-42
書簡〔暴風雨の際、山形地方への厚情感謝他〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正6年10月7日(1917)	1通・墨書	81-379
書簡〔お悔やみ状〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正12年3月カ29日(1923)	1通・墨書	18-14-31
葉書〔塩原滞り挨拶〕 玉沢正吉→守屋栄夫	大正14年11月10日(1925)	1枚・ペン	84-6-152
書簡〔上京時の御礼、選挙状況意見〕 玉沢正吉→守屋栄夫	昭和2年11月9日(1927)	1通・ペン	85-9-110
書簡〔お悔やみ状〕 玉手英吉→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-55
葉書〔ご機嫌伺い〕 玉手英吉→守屋栄夫	昭和4年4月12日(1929)	1枚・ペン	86-327-33
葉書〔パンフレット送付御礼〕 玉手源右衛門→守屋栄夫	昭和4年10月10日(1929)	1枚・ペン	86-324-91
書簡〔お悔やみ状〕 田村龍之助→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-72

書簡〔お悔やみ状〕 田村子市→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-23
葉書〔当選祝い〕 田村子市→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1枚・墨書	7-147-388
葉書〔当選祝い〕 田村昇→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-196
書簡〔為藤五郎選挙推薦文〕 為藤五郎→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・活版	85-2-7
書簡〔お悔やみ状〕 俵アイ→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-41
葉書〔年賀状〕 丹野一知→守屋栄夫	明治44年1月1日(1911)	1枚・墨書	81-615
書簡〔議会奮闘感謝、松本健先・合島穂一の事〕 丹野恒治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書・ペン	6-56-31
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 丹野恒二郎→守屋栄夫	昭和3年4月25日(1928)	1枚・ペン	86-329-23
書簡〔新井町地区概況〕 丹野恒二郎→守屋栄夫	昭和4年4月21日(1929)	1通・墨書・ペン	6-59-14
書簡〔講演会、体調の件〕 丹野恒二郎→守屋栄夫	昭和4年12月5日(1929)	1通・墨書・ペン	5-14-31
書簡〔依頼進捗状況照会〕 丹野恒二郎→守屋栄夫	昭和6年5月10日(1931)	1通・ペン	86-354-54
書簡〔高等蚕糸学校就職の件〕 丹野恒寛→守屋栄夫	昭和6年6月25日(1931)	1通・墨書・謄写版	86-352-13
葉書〔残暑見舞い、病状報告〕 丹野□郎→守屋栄夫	昭和3年8月23日(1928)	1枚・ペン	86-325-91

ち

書簡〔補助につきお願い〕 力石雄一郎→守屋栄夫	大正15年1月24日(1926)	1通・墨書	85-3-5-40
書簡〔感謝状、辞令〕 知事官舎→守屋理事官	大正6年(1917)	1通・墨書・活版	83-14-174
書簡〔佐々木稔治氏当選他郷土近況〕 千葉勇→守屋栄夫	大正12年4月18日(1923)	1通・ペン	80-2-1-9
葉書〔著書御礼〕 千葉一郎太→守屋栄夫	大正8年(1919)	1枚・ペン	82-3-9
書簡〔蘆田書店に著書注文〕 千葉永之助→守屋栄夫	大正14年12月26日(1925)	1通・ペン	85-10-81
書簡〔著書御礼〕 千葉永之助→守屋栄夫	大正15年1月16日(1926)	1通・ペン	85-3-6-25
書簡〔選挙運動激励〕 千葉永之助→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・墨書・ペン	7-147-51
書簡〔講演会欠席お詫び、中国情勢の近況報告〕 千葉永之助→守屋栄夫	昭和3年6月21日(1928)	1通・ペン	10-404-1
書簡〔お悔やみ状〕 千葉永之助→守屋栄夫・徳夫・和郎	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-15
書簡〔政友会入党祝い〕 千葉永之助→守屋栄夫	昭和5年1月17日(1930)	1通・ペン	10-403-41
書簡〔就職経過報告〕 千葉永之助→守屋栄夫	昭和8年10月6日(1933)	1通・ペン	84-12-9
書簡〔お悔やみ状〕 千葉箴治郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-92
書簡〔先日の件依頼〕 千葉一男→守屋栄夫	昭和6年6月6日(1931)	1通・墨書	86-352-23
書簡〔娘台湾転任御礼〕 千葉嘉平→守屋栄夫	昭和9年1月8日(1934)	1通・墨書	85-6-15

書簡〔講演御礼〕 千葉甲兵衛・加藤忠蔵→守屋栄夫	昭和2年11月28日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-7
書簡〔庁舎・学校建設落成式祝電御礼〕 千葉甲兵衛→ 守屋栄夫	昭和8年12月19日 (1933)	1通・墨書	84-21-18
書簡〔出産祝い御礼、幸雄御世話願ひ〕 千葉甲兵衛→ 守屋栄夫	昭和 12月2日	1通・墨書	10-352
書簡〔息子中学校入学〕 千葉権七→守屋栄夫	昭和5年5月31日 (1930)	1通・墨書	10-406-18
書簡〔数年来の事件解決〕 千葉静枝→守屋栄夫	昭和7年12月26日 (1932)	1通・墨書	84-14-33
書簡〔当選祈願〕 千葉純一郎→守屋栄夫	昭和3年2月12日 (1928)	1通・墨書	10-184
書簡〔当選祝い〕 千葉純一郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	7-147-88
書簡〔近況報告〕 千葉正三→守屋栄夫	大正6年7月22日 (1917)	1通・墨書	83-14-122
書簡〔帰任に際し厚遇御礼〕 千葉正三→守屋栄夫	大正6年8月25日 (1917)	1通・墨書	83-14-125
書簡〔戸田郡長が小生長町小学校へ採用予定〕 千葉 正三→守屋栄夫	大正6年9月19日 (1917)	1通・墨書	83-14-123
書簡〔当校臨時職員会にて薪炭支給決定、待遇改善の 件〕 千葉正三→守屋栄夫	大正6年9月25日 (1917)	1通・墨書	83-14-124
書簡〔徳江儀正履歴書、表彰状〕 千葉正三→守屋栄夫	大正15年5月20日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-19
書簡〔後藤子爵・永田氏・若槻総理来仙報告〕 千葉正三 →守屋栄夫	大正15年7月30日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-9
書簡〔立候補喜び、村での講演依頼〕 千葉正三→守屋栄 夫	昭和2年11月13日 (1927)	1通・墨書	85-9-104
葉書〔大礼について〕 千葉正三→守屋栄夫	昭和3年11月16日 (1928)	1枚・ペン	84-3-47
書簡〔総選挙後の講演会協力申出〕 千葉正三→守屋栄 夫	昭和4年10月2日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-32
書簡〔補欠選挙応援、宮城県下小学校長異動につい て〕 千葉正三→守屋栄夫	昭和6年4月16日 (1931)	1通・墨書	86-354-20
書簡〔見舞状御礼〕 千葉正三→守屋栄夫	昭和7年5月3日 (1932)	1通・墨書	84-24-10
書簡〔娘の就職斡旋依頼〕 千葉新吉→守屋栄夫	昭和6年8月10日 (1931)	1通・墨書	86-348-32
書簡〔当選祝い〕 千葉晋作→守屋栄夫	昭和3年12月22日 (1928)	1通・墨書	10-201
書簡〔体調労い、近況報告〕 千葉進之丞→守屋栄夫	昭和6年1月21日 (1931)	1通・ペン	86-359-24
書簡〔上京の際の厚情御礼〕 千葉精一〔北海道庁立旭川 中学校〕→守屋栄夫	昭和2年11月8日 (1927)	1通・墨書	85-9-126
書簡〔当選祝い、星廉平は落選〕 千葉精一〔北海道庁立旭 川中学校長〕→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1通・ペン	10-247
書簡〔上京時御礼、選挙運動の件〕 千葉清之進→守屋栄 夫	昭和4年12月19日 (1929)	1通・ペン	5-14-84
書簡〔資金借り入れの件、当選祈願〕 千葉清之進〔元栗 原館旅館主〕→守屋栄夫	昭和5年1月8日 (1930)	1通・墨書	10-403-36

書簡〔面会御礼〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和5年4月11日(1930)	1通・墨書	10-405-12
書簡〔資金借入口添えへ御礼〕 千葉清之進〔旅館主〕→守屋栄夫	昭和5年5月10日(1930)	1通・墨書	7-147-97
書簡〔勧銀より通知なし〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和5年5月23日(1930)	1通・ペン	10-406-3
書簡〔勧銀より借入れ金の件解決、田尻中沢の娘実家逃亡他〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和5年6月26日(1930)	1通・墨書	10-411-9
書簡〔遣水先生令息病状〕 千葉清之進〔旅館主〕→守屋栄夫	昭和5年8月25日(1930)	1通・ペン	7-147-152
書簡〔遣水氏当選祝い、守屋選挙地盤構築運動を展開〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年2月21日(1931)	1通・ペン	86-355-9
書簡〔病床見舞い〕 千葉清之進→守屋栄夫・御令閨	昭和6年4月29日(1931)	1通・ペン	86-354-34
書簡〔樺太事業にて秋山氏への送金相談〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年7月2日(1931)	1通・ペン	86-350-19
書簡〔樺太金剛砂事業継続の件〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年7月7日(1931)	1通・ペン	86-350-45
書簡〔金剛砂研究の結果報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年7月10日(1931)	1通・ペン	86-350-26
書簡〔仙台鉱山監督局での耐熱試験報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年7月17日(1931)	1通・ペン	86-348-47
書簡〔金剛石は外国品と大差なし、樺太より電報あり次第現地視察〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年7月18日(1931)	1通・ペン	86-348-43
書簡〔北本氏の土砂採掘の出願欺偽、処分の御指図願ひ〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年8月11日(1931)	1通・ペン	86-348-33
書簡〔金剛砂採取につき樺太の近況報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年8月14日(1931)	1通・ペン	86-348-10
書簡〔樺太での現状報告、購買組合の引受けにつき〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年8月17日(1931)	1通・ペン	86-348-54
書簡〔購買組合は成績悪し、資金必要〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年8月20日(1931)	1通・ペン	86-348-14
書簡〔金剛砂の件に関し近況報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年8月21日(1931)	1通・ペン	86-348-12
書簡〔金剛砂の採掘契約と購買組合の近況報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年8月24日(1931)	1通・ペン	86-348-13
書簡〔樺太豊原購買利用組合の近況報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和6年11月8日(1931)	1通・ペン	86-347-38
書簡〔伴男の結婚式について〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和7年5月6日(1932)	1通・墨書	84-24-21
書簡〔内閣総辞職、選挙対策について〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和8年1月8日(1933)	1通・ペン	84-28-14
書簡〔諫山三郎転任の件御礼〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和8年4月2日(1933)	1通・墨書	84-10-17
書簡〔仙台市議選挙、昭和連盟支部の件〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和8年4月25日(1933)	1通・ペン	84-10-1
書簡〔家賃について、銀行へ猶予延期願ひ〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和8年5月20日(1933)	1通・墨書	84-27-5

書簡〔借入金勧銀より送金の件御礼〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和 7月22日	1通・墨書	10-221
書簡〔歳末挨拶、近況報告〕 千葉清之進→守屋栄夫	昭和 12月28日	1通・ペン	10-316
書簡〔当選祝い〕 千葉善作→守屋栄夫		1通・墨書	10-263
書簡〔保険料送付通知〕 千葉武治→守屋栄夫	昭和7年5月23日(1932)	1通・墨書・ペン	18-14-201-3
書簡〔自宅訪問御礼〕 千葉武治→守屋栄夫	昭和8年8月30日(1933)	1通・ペン	84-18-32
書簡〔昭和十年度分保険料払込通知〕 千葉武治→守屋栄夫	昭和10年6月24日(1935)	1通・ペン	18-14-209-3
書簡〔高野長英軸物の件〕 千葉胤次→守屋栄夫	昭和8年4月30日(1933)	1通・墨書	85-11-20
葉書〔下谷区長より麹町区長へ転任挨拶〕 千葉胤次	昭和15年8月17日(1940)	1枚・活版	18-14-205
書簡〔お悔やみ状〕 千葉胤成→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-115
葉書〔年賀状〕 千葉胤義→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-58
書簡〔お悔やみ状〕 千葉次男→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・ペン	5-25-10-32-14
書簡〔帝国コンヘル商工株式会社への就職斡旋依頼〕 千葉次男→守屋栄夫	昭和7年10月7日(1932)	1通・ペン	83-5-11
書簡〔選挙運動激励〕 千葉文三→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書	7-147-75
書簡〔調停課に三沢氏推薦〕 千葉文三→守屋栄夫	昭和8年9月5日(1933)	1通・ペン	84-15-6
書簡〔昭和連盟の状況、雪子の妹結婚〕 千葉文三→守屋栄夫	昭和8年10月15日(1933)	1通・ペン	5-24-22
書簡〔息子の就職斡旋依頼〕 千葉兵蔵→守屋栄夫	昭和5年2月27日(1930)	1通・墨書	10-406-8
書簡〔当選祝い〕 千葉正胤→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-147-67
葉書〔北海道・樺太視察〕 千葉正之→守屋栄夫	昭和5年6月14日(1930)	1枚・ペン	84-4-15
葉書〔南支戦線より帰還、召集解除挨拶〕 千葉衛	昭和15年8月1日(1940)	1枚・活版	18-14-204
葉書〔お悔やみ状〕 千葉満つ子→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1枚・ペン	6-54-23
書簡〔拙稿「日本思想史」他批評願ひ〕 千葉命吉→守屋栄夫	大正5年11月21日(1916)	1通・墨書	84-20-66
葉書〔近況報告〕 千葉命吉→守屋栄夫	大正6年5月28日(1917)	1枚・ペン	82-3-157
葉書〔独創教育講演で会津来訪〕 千葉命吉→守屋栄夫	昭和2年1月24日(1927)	1枚・ペン	86-322-114
書簡〔お悔やみ状〕 千葉命吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-14-74
書簡〔選挙区外の状況報告、黒沢・早坂・氏家氏からの葉書3通〕 千葉守衛→守屋栄夫	昭和3年3月25日(1928)	1通・墨書・ペン	10-198
葉書〔菊地近次の件〕 千葉弥次馬→守屋栄夫	大正8年3月12日(1919)	1枚・墨書	82-3-16
葉書〔貴著拝読〕 千葉弥次馬→守屋栄夫	大正8年4月21日(1919)	1枚・墨書	82-3-8
書簡〔訪問時の御礼、台湾行き希望〕 千葉ゆきこ→守屋栄夫	昭和8年3月18日(1933)	1通・ペン	84-22-16
書簡〔台北大付属小学校に就職〕 千葉ゆきこ→守屋栄夫	昭和8年12月25日(1933)	1通・ペン	84-17-16

書簡〔高配御礼、援助願い〕 千葉養吉→守屋栄夫	昭和2年11月27日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-5
書簡〔除隊後の就職斡旋依頼〕 千葉可一→守屋栄夫	昭和1年12月25日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-8
書簡〔農事、植民地方面の就職斡旋依頼〕 千葉可一→ 守屋栄夫	昭和4年9月15日 (1929)	1通・墨書・活版	85-4-5-19
書簡〔娘の裁判に付き相談〕 千葉可久→守屋栄夫	昭和6年2月11日 (1931)	1通・ペン	86-355-7
書簡〔当選祝い〕 千葉可美→守屋栄夫	昭和3年3月3日 (1928)	1通・ペン	10-182
書簡〔警視庁巡查募集の受験挨拶〕 千葉可美→守屋栄 夫	昭和6年7月7日 (1931)	1通・墨書・ペン	86-350-46
書簡〔当選祝い〕 千葉利八→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1通・墨書	10-271
葉書〔シベリアから帰還〕 千葉了→守屋栄夫	大正8年5月6日 (1919)	1枚・ペン	82-3-30
葉書〔中央で県人発展の為め尽力を〕 千葉了→守屋栄 夫	大正8年5月11日 (1919)	1枚・ペン	82-3-190
書簡〔李垺公東京転居の対応〕 千葉了〔朝鮮京畿道第三 部部長〕→守屋栄夫〔朝鮮総督府出張所〕	大正9年2月16日 (1920)	1通・墨書・ペン	9-24-22
電報〔外遊平安祈願、アントワープ領事は義兄の来訪 希望〕 チバ リウ→守屋栄夫	大正12年1月25日 (1923)	1枚・謄写版	80-40-5-2
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 千葉了→守屋栄夫	大正13年9月6日 (1924)	1通・ペン	85-1-20
葉書〔挨拶状〕 千葉了→守屋栄夫	昭和2年8月30日 (1927)	1枚・ペン	86-183
書簡〔当選祝い〕 千葉了〔長野県知事〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書・活版	7-147-223
葉書〔健康祈願〕 千葉了→守屋栄夫	昭和3年8月17日 (1928)	1枚・ペン	86-325-71
書簡〔お悔やみ状〕 千葉了→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-60
葉書〔暑中見舞い、論第二篇敬読の感想〕 千葉了→守 屋栄夫	昭和4年8月12日 (1929)	1枚・ペン	86-302
葉書〔富士五湖・箱根遊覧報告〕 千葉了→守屋栄夫	昭和4年8月26日 (1929)	1枚・ペン	86-317
葉書〔十和田湖より〕 千葉了→守屋栄夫	大正 10月28日	1枚・ペン	82-3-198
書簡〔小生窮状につき状況報告〕 千葉縁江→守屋栄夫	大正15年9月17日 (1926)	1通・ペン	78-23-14
書簡〔守屋栄夫の写真〕 中外商業新報社外報部→守屋栄 夫	大正15年3月17日 (1926)	1通・ペン	84-2-23
書簡〔お悔やみ状〕 中鉢美明→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-15-33
書簡〔転地静養通知〕 張基昌→守屋栄夫	昭和4年7月28日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-21
電報〔弔電〕 張憲植→モリヤサカオ	大正12年3月18日 (1923)	1通・ペン	18-14-91
書簡〔著書「我等の進むべき道」謝辞〕 張憲植→守屋栄 夫	大正14年11月11日 (1925)	1通・墨書	85-10-18
書簡〔下岡政務総監訃報、著書恵贈御礼〕 張憲植→守 屋栄夫	大正14年カ11月27日 (1925)	1通・墨書	85-10-107
書簡〔暑中見舞い〕 張憲植→守屋栄夫	昭和2年7月25日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-32

葉書〔京城の近況〕 張憲植→守屋栄夫	昭和2年8月6日(1927)	1枚・墨書	84-1-100
書簡〔守屋氏帰京に対する挨拶〕 張憲植→守屋栄夫	昭和3年11月2日(1928)	1通・墨書	10-186
書簡〔お悔やみ状〕 張憲植→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-42
葉書〔暑中見舞い、論第二篇敬読の感想〕 張憲植→守屋栄夫	昭和4年8月17日(1929)	1枚・墨書	86-305
葉書〔挨拶状〕 張憲植→守屋栄夫	昭和5年11月2日(1930)	1枚・ペン	86-1-10
葉書〔拓本の評価〕 張憲植→守屋栄夫	大正 11月14日	1枚・墨書	84-6-141
書簡〔張憲植の依頼で屏風送付〕 張弘植→守屋栄夫	大正14年11月2日(1925)	1通・墨書	85-10-44
書簡〔お悔やみ状〕 張稷相→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-10-17
電報〔電報受取通知〕 CHOSSENSOTOKUFU→SAKO MORIYA	大正12年9月22日(1923)	1通・謄写版	79-7-35
電報〔叙勲通知〕 朝鮮総督府→守屋栄夫	大正12年11月(1923)	1通・謄写版	80-39-1-14
書簡〔中身欠〕 朝鮮総督府→守屋栄夫	大正	1通・墨書	5-5-7
書簡〔中身欠〕 朝鮮総督府→守屋栄夫	大正	1通・墨書	5-5-9
書簡〔守屋栄夫「社会事業家の精神」〕 朝鮮総督府→守屋栄夫		1通・活版	78-23-58
葉書〔「朝鮮地方行政」掲載年賀広告正誤〕 朝鮮地方行政編輯局→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1枚・ペン・活版	86-326-78
書簡〔大正十一年本会朝鮮本部設置、「朝鮮地方行政」原稿依頼〕 朝鮮地方行政編輯局→守屋栄夫	昭和3年12月8日(1928)	1通・ペン・活版	10-413-20
葉書〔年賀状〕 長南宗治郎→守屋栄夫	明治44年1月1日(1911)	1枚・墨書	81-309
書簡〔就職斡旋依頼〕 沈宜昇→守屋栄夫	大正15年8月11日(1926)	1通・墨書・ペン	78-23-38
つ			
葉書〔栄転祝い〕 塚原嘉蔵→守屋栄夫	大正8年8月10日(1919)	1枚・墨書	9-10-17
書簡〔南大門駅襲撃の見舞い〕 塚本清治→守屋栄夫	大正8年9月3日(1919)	1通・墨書	5-16-32
書簡〔総選挙費用送付〕 塚本春→守屋栄夫	昭和5年1月24日(1930)	1通・ペン	10-410-20
葉書〔挨拶状〕 佃丸留蔵→守屋栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1枚・墨書	86-303
書簡〔当選祝い〕 辻達三→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-14
書簡〔当選祝い〕 対馬郁之進→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-28
書簡〔「地方自治の精神」地方改良市町村講習会・小学校教員夏期講習会の参考書に〕 辻本正一→守屋栄夫	昭和8年5月15日(1933)	1通・墨書	84-30-1
書簡〔拓銀借款申込み、整理解決、公文書交付〕 津田栄記→守屋栄夫	昭和3年5月17日(1928)	1通・墨書	9-16-15
書簡〔開拓着手〕 津田栄記→守屋栄夫	昭和3年6月8日(1928)	1通・墨書	10-404-16
葉書〔花巻温泉を見物〕 津田栄記→守屋栄夫	昭和3年11月15日(1928)	1枚・ペン	84-3-51

葉書〔パリより挨拶状〕 津田→守屋栄夫	大正12年3月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-24
葉書〔当選祝い〕 土末利助→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・ペン	10-408-115
書簡〔お悔やみ状〕 土屋泰助→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-349
書簡〔お悔やみ状〕 土屋千代三→守屋栄夫	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	5-12-50
書簡〔お悔やみ状〕 土屋正志→守屋栄夫	大正12年2月23日 (1923)	1通・墨書・ペン	80-1-3-28
書簡〔お悔やみ状〕 筒井源吉→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書・活版	9-15-162
葉書〔当選祝い〕 筒井源吉→守屋栄夫		1枚・墨書	7-147-260
書簡〔上田敏夫就職幹旋依頼〕 堤栄一→守屋栄夫	昭和4年7月22日 (1929)	1通・墨書	5-17-6
書簡〔山家常東京市電気局就職幹旋依頼〕 堤栄一→守屋栄夫	昭和5年10月3日 (1930)	1通・墨書・ペン	10-54
書簡〔山家常市電局就職尽力御礼〕 堤栄一→守屋栄夫	昭和6年6月29日 (1931)	1通・墨書	86-352-7
葉書〔来村御礼〕 堤栄左衛門→守屋栄夫	昭和3年3月19日 (1928)	1枚・墨書	10-408-107
書簡〔水野練太郎の書御礼、上田敏夫就職幹旋依頼〕 堤栄左衛門→守屋栄夫	昭和4年1月7日 (1929)	1通・墨書	10-403-17
書簡〔お悔やみ状〕 堤栄左衛門・堤栄一→守屋栄夫	昭和4年3月14日 (1929)	1通・墨書	5-25-8-2
書簡〔借金について〕 堤栄左衛門→守屋栄夫	昭和5年5月30日 (1930)	1通・墨書	10-406-21
書簡〔令息伴男結婚祝い〕 堤栄左衛門→守屋栄夫	昭和7年4月25日 (1932)	1通・墨書	83-1-54
書簡〔年賀挨拶、高橋・石崎取り計らい他〕 堤栄左衛門 →守屋栄夫	昭和8年1月6日 (1933)	1通・墨書	85-5-28
書簡〔高橋俊一郎・石崎了助の就職幹旋依頼〕 堤栄左 衛門→守屋栄夫	昭和8年3月23日 (1933)	1通・墨書	83-12-21
書簡〔就職幹旋依頼〕 堤栄左衛門→守屋栄夫	昭和8年4月1日 (1933)	1通・墨書	84-22-4
書簡〔次回お立寄りを〕 堤栄左衛門→守屋栄夫	昭和8年8月5日 (1933)	1通・墨書	84-18-5
書簡〔石崎亮介君就職幹旋依頼〕 堤栄左衛門→守屋栄 夫	昭和8年10月7日 (1933)	1通・墨書	84-12-7
葉書〔お悔やみ状〕 堤清→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1枚・ペン	9-15-84
書簡〔感謝料など交渉御礼〕 堤マサ→守屋栄夫	昭和5年6月5日 (1930)	1通・ペン	10-406-38
書簡〔内務省神社局長への紹介依頼〕 角田音吉→守屋 栄夫	大正6年12月13日 (1917)	1通・墨書	83-14-100
書簡〔県の方針により退職、再就職幹旋依頼〕 角田音 吉→守屋栄夫	大正7年3月25日 (1918)	1通・墨書	83-13-10
書簡〔お悔やみ状〕 角田音吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	6-57-68
書簡〔印刷物御礼及び別紙漢詩献呈〕 角田音吉→守屋 栄夫	昭和4年10月11日 (1929)	1通・墨書	5-31-23
書簡〔選挙激励〕 角田広司→守屋栄夫	昭和3年2月5日 (1928)	1通・墨書	10-414-22
電報〔正男の弔電〕 ツノダヒロシ→守屋栄夫	大正12年3月17日 (1923)	1枚・ペン	18-14-100

葉書〔帰朝祝い〕 坪井勸吉→守屋栄夫	大正14年10月21日 (1925)	1枚・ペン	84-6-118
葉書〔当選祝い〕 坪井貴主治・山村新之助→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1枚・墨書	7-147-245
葉書〔海軍入団兵を舞鶴へ引率〕 詰木菊治→守屋栄夫	大正6年8月3日(1917)	1枚・ペン	81-236
葉書〔全北出張中、捕獲の雁送付〕 津村勇→守屋栄夫	大正15年1月25日 (1926)	1枚・ペン	86-322-16
葉書〔暑中見舞い〕 津村勇→守屋栄夫	昭和2年7月25日(1927)	1枚・ペン	86-174
葉書〔年賀状〕 津村勇→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-228
葉書〔暑中見舞い〕 津村勇→守屋栄夫	昭和3年7月23日(1928)	1枚・ペン	86-325-56
葉書〔暑中見舞い〕 津村勇→守屋栄夫	昭和3年8月11日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-244
葉書〔暑中見舞い〕 津村勇→守屋栄夫	昭和4年8月2日(1929)	1枚・ペン	86-281
書簡〔当選祝い〕 津村勇→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-412-28
葉書〔留守中の失礼謝罪、今後の予定〕 津村勇→守屋 栄夫	昭和8年10月28日 (1933)	1枚・ペン	86-323-5
葉書〔講話拝聴〕 津村勇→守屋栄夫	昭和8年12月4日(1933)	1枚・ペン	86-323-53
書簡〔当選祝い〕 津村クニ→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-234

て

書簡〔貴地訪問時面会願ひ〕 鄭弼和→守屋栄夫	大正9年12月25日 (1920)	1通・墨書	5-5-37
書簡〔当選祝い〕 帝国地方行政学会→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-28
書簡〔帝国法規出版株式会社臨時株主総会委任状・案 内状〕 帝国法規出版株式会社→守屋栄夫	昭和7年10月18日 (1932)	1通・活版	83-5-12
葉書〔文化住宅〕 帝都土地株式会社		1枚・活版	84-6-111
書簡〔貨物発送通知〕 大邱運送株式会社→守屋栄夫	昭和2年12月28日 (1927)	1通・ペン・活版	85-7-2-5
葉書〔選挙の激励〕 大邱重陽大学部〔有志カ〕→守屋栄夫	昭和5年1月29日(1930)	1枚・ペン	84-1-1
葉書〔選挙の激励〕 大邱重陽大学部〔有志カ〕→守屋栄夫	昭和5年1月29日(1930)	1枚・ペン	84-1-3
書簡〔農商務省海外実業練習生試験報告〕 手島喜一郎 →守屋栄夫	大正6年9月17日(1917)	1通・墨書・ペン	83-14-72
書簡〔農商務省の海外実業練習生採用辞退〕 手島喜一 郎→守屋栄夫	大正6年10月7日(1917)	1通・ペン	81-381
書簡〔就職幹旋御礼〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正6年10月9日(1917)	1通・ペン	81-376
書簡〔大連・満鉄につき景況報告〕 手島喜一郎→守屋栄 夫	大正6年12月23日 (1917)	1通・ペン・墨書	83-14-113
葉書〔玄界灘を旅行〕 手島喜一郎→守屋栄夫・守屋和郎	大正6年12月18日 (1917)	1枚・ペン	81-176
葉書〔大連到着〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正6年12月21日 (1917)	1枚・ペン	81-174

書簡〔営口概況報告〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正7年1月12日(1918)	1通・ペン	83-9-4
書簡〔支那経済・実業方面の概況、県人会開催とその様子〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正7年4月28日(1918)	1通・墨書・ペン	5-26-32
葉書〔中国旅行の状況報告〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正7年カ5月11日(1918)	1枚・ペン	82-3-53
書簡〔満洲について報告〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正7年5月28日(1918)	1通・ペン	82-3-136
葉書〔旅順203高地見学〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正7年8月13日(1918)	1枚・ペン	82-3-109
書簡〔日支人合同運動会、満日出征軍慰問、提灯行列、第二師団南條大尉訪問〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正7年10月29日(1918)	1通・墨書・ペン	84-9-24
葉書〔暑中見舞い〕 手島喜一郎→守屋栄夫	大正8年7月15日(1919)	1枚・ペン	82-3-363
書簡〔選挙運動激励〕 手島喜一郎→守屋栄夫	昭和3年1月28日(1928)	1通・ペン	7-147-82
書簡〔選挙ポスター、大陸の政策と貿易〕 手島喜一郎→守屋栄夫	昭和3年5月23日(1928)	1通・ペン	9-16-18
書簡〔佐々木所長訪問、受験資格および就職の件〕 手島喜一郎→守屋栄夫	昭和5年10月20日(1930)	1通・ペン	10-81
書簡〔お悔やみ状〕 手島辰三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-60
書簡〔当選祝い〕 手島辰三郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	9-16-71
葉書〔お悔やみ状〕 手島次男→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・ペン	9-15-70
書簡〔手島庸義就職斡旋依頼〕 手島朋義→守屋栄夫	昭和3年12月16日(1928)	1通・墨書・ペン	10-413-21
葉書〔奉天視察と概況〕 手島→守屋栄夫	大正7年5月5日(1918)	1枚・ペン	5-26-27
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭に関して〕 手塚藤郎→守屋栄夫	大正14年10月18日(1925)	1枚・ペン	84-6-94
書簡〔鉄香画会趣意書〕 鉄香画会発起者→守屋栄夫	大正10年10月23日(1921)	1通・活版	5-29-21
書簡〔当選祝い、「鉄道青年会機関雑誌」 鉄道青年会本部→守屋栄夫	昭和5年2月27日(1930)	1通・墨書・活版	7-147-120
葉書〔外国留学者への送金不手際改善要求〕 寺川葉次郎→庶務部長		1枚・ペン	9-27-24
書簡〔当選祝い〕 寺沢徳三郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	9-16-72
書簡〔御高配お礼〕 寺田憲→守屋栄夫	昭和3年9月29日(1928)	1通・墨書	10-110
葉書〔暑中見舞い状〕 寺田憲→守屋栄夫	昭和4年8月1日(1929)	1枚・活版	85-4-1-16

と

葉書〔挨拶状〕 土井蔵之進→守屋栄夫	大正5年5月30日(1916)	1枚・ペン	81-52
書簡〔来県懇話御礼〕 土井蔵之進→守屋栄夫	大正7年10月20日(1918)	1通・墨書	83-7-14
書簡〔東京方面鎮撫依頼、永井市太郎と武井の動向推察報告〕 土井蔵之進→守屋栄夫	大正7年12月16日(1918)	1通・墨書	5-6-49

書簡〔熊本県へ赴任〕 土井蔵之進〔熊本県第一師範学校〕 →守屋栄夫	大正8年3月23日(1919)	1通・墨書	83-7-5
書簡〔発病・休学により内務省奉職希望取消〕 土居章 平→守屋栄夫	大正7年7月2日(1918)	1通・墨書	5-26-1
書簡〔青年団指導者養成講習会講演依頼〕 土居通次→ 守屋栄夫	大正6年8月6日(1917)	1通・墨書	83-14-23
書簡〔湧谷神社落成、寄付金不調と寄付御礼、牡鹿転 任と今後の計画につき〕 土居通次→守屋栄夫	大正9年11月15日 (1920)	1通・墨書	81-737
葉書〔暑中見舞い〕 土居通次・佐々木啓七→守屋栄夫	大正15年8月6日(1926)	1枚・ペン	86-325-6
書簡〔涌谷神社建築設計図、涌谷神社建築報告〕 土居 通次→守屋栄夫	大正24日	1通・謄写版・ペ ン	83-2-17
葉書〔栄達祈願〕 土井・□□□→守屋栄夫	明治43年12月27日 (1910)	1枚・墨書	81-567
葉書〔挨拶〕 土井→守屋栄夫	昭和	1枚・ペン	84-5-2
葉書〔年賀状〕 東京基督教女子青年会→守屋栄夫	昭和2年12月31日 (1927)	1枚・墨書・謄写 版	86-322-181
書簡〔品物頂戴につき礼状〕 東郷〔執事〕→守屋栄夫	昭和6年12月11日 (1931)	1通・墨書	86-351-11
書簡〔株式を始めるにあたり借金願ひ〕 橙崎喜作→守 屋栄夫	昭和8年8月3日(1933)	1通・ペン	84-18-29
書簡〔今野様より借金手形、書替承認・受納願ひ〕 橙 崎喜作→守屋栄夫	昭和8年8月5日(1933)	1通・ペン	84-18-19
書簡〔横山視学官・鈴木部長転任につき失望〕 樗沢常 人→守屋栄夫	大正5年5月8日(1916)	1通・墨書	84-20-25
葉書〔今月末ご来館の際には当地別荘にて田園の秋 に一興を添えたく〕 藤堂→守屋栄夫	昭和4年10月22日 (1929)	1枚・ペン	86-324-53
書簡〔東北振興会会長並に理事補欠選挙就任一覧表〕 東北振興会→守屋栄夫	昭和5年7月3日(1930)	1通・ペン・活版	10-411-28
書簡〔暗き境遇より援助願ひ〕 道面とやよ・シ・マカイ C. Mackay〔ドーマン英語学習院〕→守屋栄夫	昭和6年10月25日 (1931)	1通・ペン	86-346-26
葉書〔暑中見舞い〕 堂本貞一→守屋栄夫	昭和3年8月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-234
葉書〔挨拶状〕 堂本貞一→守屋栄夫	3月28日	1枚・ペン	86-41
書簡〔息子の就職斡旋依頼〕 遠崎虎治→守屋栄夫	昭和8年10月13日 (1933)	1通・墨書	5-24-37
書簡〔夫の体調悪化〕 遠山朝子→守屋栄夫	大正15年7月21日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-8
書簡〔病父の状況、図書御礼〕 遠山信一郎→守屋栄夫	大正9年8月15日(1920)	1通・墨書	9-17-8
書簡〔お悔やみ状〕 遠山信一郎→守屋栄夫・御令室	大正12年3月20日 (1923)	1通・墨書	18-14-164
葉書〔挨拶〕 遠山信一郎→守屋栄夫	大正15年6月4日(1926)	1枚・墨書	84-3-119
葉書〔暑中見舞い〕 遠山信一郎→守屋栄夫	大正15年8月12日 (1926)	1枚・墨書	86-198

葉書〔金崎宮拝殿、天皇崩御を共に悲しむ〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和1年12月25日 (1926)	1枚・ペン	85-3-6-7
書簡〔妻と離縁〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和2年4月27日 (1927)	1通・墨書	85-9-99
葉書〔会議のため上京〕 遠山信一郎→守屋栄夫・御奥様	昭和2年6月29日 (1927)	1枚・墨書	86-92
葉書〔暑中見舞い〕 遠山信一郎→守屋栄夫・奥様	昭和3年8月9日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-235
葉書〔御大典祝い〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和3年11月10日 (1928)	1枚・ペン	84-3-53
書簡〔お悔やみ状〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	5-12-72
葉書〔メロン送付〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和4年8月21日 (1929)	1枚・ペン	86-314
葉書〔静岡より寒中見舞〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和5年1月24日 (1930)	1枚・墨書	86-1-44
葉書〔年賀状、近況報告〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和5年1月12日 (1930)	1枚・ペン	84-1-11
書簡〔選挙激励、費用同封〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和5年1月22日 (1930)	1通・墨書	10-410-21
葉書〔新茶送付〕 遠山信一郎→守屋栄夫・奥様	昭和6年5月5日 (1931)	1枚・ペン	86-322-290
書簡〔就職ご希望に添えず〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和7年10月13日 (1932)	1通・墨書	83-5-8
書簡〔就職叶わずお詫び〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和8年3月23日 (1933)	1通・墨書	83-12-23
書簡〔農商課兼地方課赴任報告〕 遠山信一郎→守屋栄夫	昭和9年11月3日 (1934)	1通・墨書	81-734
葉書〔喪中〕 陶山武二郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版	86-326-60
書簡〔選挙応援、大臣就任へ期待〕 外垣いさこ→守屋栄夫	昭和3年2月3日 (1928)	1通・墨書・ペン	10-98
葉書〔当選祝い〕 外垣いさこ→守屋栄夫	昭和3年2月27日 (1928)	1枚・墨書	7-147-226
書簡〔国宝展開催幹旋御礼〕 戸川安宅→守屋栄夫	大正5年3月1日 (1916)	1通・墨書	84-20-64
書簡〔お悔やみ状〕 土岐嘉平→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	5-12-23
葉書〔長谷川監察官に従い奈良市に〕 土岐銀次郎→守屋栄夫	大正7年7月10日 カ (1918)	1枚・ペン	82-3-163
葉書〔年賀状、アメリカより帰国予定〕 土岐銀次郎→守屋栄夫	大正15年1月1日 (1926)	1枚・ペン	84-2-9
葉書〔諒闇中につき年末年始の礼を欠き申候〕 土岐銀次郎→守屋栄夫	昭和1年12月 (1926)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1-11
書簡〔刈谷中学校の視察について〕 土岐銀次郎→守屋栄夫	昭和2年2月7日 (1927)	1通・ペン	85-7-5-21
葉書〔暑中見舞い〕 土岐銀次郎→守屋栄夫		1枚・ペン	82-3-79
書簡〔お悔やみ状〕 土岐定応→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-101
書簡〔衣料品見積書送付〕 戸阜→守屋栄夫	大正9年8月20日 (1920)	1通・墨書	9-17-6
書簡〔近況報告〕 時実秋穂→守屋栄夫	昭和2年1月22日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-16
書簡〔先便に続き依頼〕 時実秋穂→守屋栄夫	昭和2年11月20日 (1927)	1通・墨書	85-9-145

書簡〔ご高配願ひ〕 時実秋穂→守屋栄夫	昭和2年12月7日(1927)	1通・墨書	85-7-7-8
書簡〔お悔やみ状〕 時実秋穂→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-55
書簡〔お悔やみ状〕 錫田文蔵→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-6
書簡〔祝辞挨拶〕 錫田文蔵→守屋栄夫	昭和5年11月5日(1930)	1通・墨書	9-16-32
書簡〔お悔やみ状〕 錫田庸三→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-126
葉書〔朝鮮問題につき近況報告〕 時永儀三→守屋秘書官	大正9年2月1日(1920)	1枚・ペン	82-3-333
書簡〔栄転祝辞〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-10
葉書〔暑中見舞い、健康状態について〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正6年7月30日(1917)	1枚・墨書	81-34
葉書〔梨送付〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正6年9月6日(1917)	1枚・ペン	81-40
葉書〔暑中見舞い〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正7年8月2日(1918)	1枚・ペン	82-3-209
書簡〔千葉県安房郡教育会講演依頼〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正8年5月22日(1919)	1通・墨書	83-10-1
葉書〔安房にて〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正8年5月30日(1919)	1枚・ペン	82-3-34
葉書〔暑中見舞い〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正8年8月7日(1919)	1枚・ペン	83-9-14
書簡〔佐原御来訪も他出にて詫状、高著恵贈につき礼状〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正8年11月17日(1919)	1通・墨書	83-2-48
書簡〔年末挨拶と講演依頼〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正14年12月25日(1925)	1通・ペン	85-10-78
葉書〔暑中見舞い、樺太旅行の件〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正15年8月9日(1926)	1枚・ペン	86-322-1
葉書〔挨拶状〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	大正15年9月6日(1926)	1枚・ペン	86-205
葉書〔欠礼挨拶〕 錫矢忠郎〔千葉県立木更津高等女学校〕→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1枚・活版	85-7-2-24
書簡〔お悔やみ状、事故で骨折の報告〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・ペン	9-18-6
葉書〔台湾各地を旅行〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	昭和5年10月15日(1930)	1枚・ペン	86-1-25
書簡〔郵便に書面を入れ忘れ、引越報告〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	昭和7年9月22日(1932)	1通・ペン	83-11-24
書簡〔息子忠一の試験勉強指導方依頼〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	昭和8年2月8日(1933)	1通・ペン	84-8-17
書簡〔息子退学の件〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	昭和8年3月7日(1933)	1通・ペン	84-22-28
書簡〔息子の指導願ひ〕 錫矢忠郎→守屋栄夫	昭和9月21日	1通・ペン	83-11-22
葉書〔暑中見舞い〕 徳江宣隆→守屋栄夫・好	昭和2年7月28日(1927)	1枚・ペン	86-107
書簡〔三浦君ご同情、基督教信徒の著書推薦御礼〕 徳江宣隆→守屋栄夫	昭和7年10月13日(1932)	1通・ペン	83-5-16
書簡〔子供の看病のため面会出来ずお詫び〕 徳江宣隆→守屋栄夫	昭和8年12月23日(1933)	1通・ペン	84-17-6

書簡〔お悔やみ状〕 徳江広隆→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-30
葉書〔挨拶状〕 徳川頼倫・三好学ほか→守屋栄夫	大正5年2月27日(1916)	1枚・ペン	81-104
葉書〔新年の挨拶〕 徳地屋初之進→守屋栄夫	大正15年12月24日(1926)	1枚・ペン	85-3-5-36
書簡〔年賀状〕 徳地屋初之進→守屋栄夫	大正16年1月1日(1927)	1通・活版	85-7-2-12
葉書〔印刷物の配布御礼〕 徳野康太→守屋栄夫	大正6年7月10日(1917)	1枚・ペン	81-217
書簡〔お悔やみ状〕 得能清吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-189-7
書簡〔選挙応援、ご指示下されば如何様にも仕るべくにつき〕 徳光外治→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・ペン	10-391
書簡〔持病リウマチの件〕 徳屋勇三→守屋栄夫	昭和4年9月2日(1929)	1通・墨書	6-56-48-5
書簡〔政局の大勢と議会解散〕 独立生→守屋栄夫		1通・活版	10-414-11
書簡〔病氣回復報告〕 床枝房吉→守屋栄夫	昭和7年7月18日(1932)	1通・墨書	83-3-44
書簡〔飯岡町へ転地後の近況報告〕 床枝房吉→守屋栄夫	昭和8年1月10日(1933)	1通・ペン	85-5-20
葉書〔山形の伊藤氏近況報告〕 床枝→守屋栄夫	昭和8年12月15日(1933)	1枚・ペン	85-6-13
書簡〔面会日程通知〕 床次竹二郎→守屋栄夫	大正15年(1926)	1通・墨書	85-3-1-35
書簡〔品物頂戴につき礼状〕 床次竹二郎→守屋栄夫	昭和7年7月12日(1932)	1通・墨書	83-3-27
書簡〔白菜送付御礼〕 床次竹二郎→守屋栄夫	昭和7年12月7日(1932)	1通・墨書	84-14-15
書簡〔残暑見舞、浜口雄幸宛政権風刺和歌〕 外沢龍吉→守屋栄夫	昭和5年8月31日(1930)	1通・墨書	10-408-1
書簡〔政友会の内閣攻撃〕 戸島猶太郎→守屋栄夫	大正12年4月11日(1923)	1通・謄写版・墨書	80-40-1-32
書簡〔総督に対する朝鮮新聞報道〕 戸島→守屋栄夫	大正10年10月20日(1921)	1通・墨書	5-29-7
書簡〔総督夫人他朝鮮夫人視察予定通知〕 戸島→守屋栄夫	大正10年10月25日(1921)	1通・墨書	5-29-23
電報〔健康祈念〕 トジマ→守屋栄夫	大正12年1月24日(1923)	1枚・謄写版	80-40-5-15
書簡〔お悔やみ状〕 戸田五郎〔樺太豊原町校舎〕→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-26-6
書簡〔お悔やみ状〕 戸田淑→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-116
書簡〔転任先の俸給〕 戸田友直→守屋栄夫	昭和8年12月25日(1933)	1通・ペン	84-17-14
書簡〔歳末挨拶、天下国家に役立つ教育を〕 戸田求→守屋栄夫	大正15年12月24日(1926)	1通・墨書	85-3-6-11
書簡〔新年の挨拶〕 戸田求→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-1-14
書簡〔「英覚院殿に申し上ぐる詞」感想〕 戸田求→守屋栄夫	昭和2年2月1日(1927)	1通・ペン	85-7-5-32
書簡〔明男の寄宿舎の様子、進学状況〕 戸田求→守屋栄夫	昭和2年4月22日(1927)	1通・墨書	85-9-17

書簡〔明男の学費等〕 戸田求→守屋栄夫	昭和2年12月12日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-1
書簡〔当選祝い、近況報告〕 戸田求→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-407-63
書簡〔近況報告〕 戸田求→守屋栄夫	昭和3年7月2日 (1928)	1通・墨書	10-404-4
書簡〔近況報告〕 戸田求→守屋栄夫	昭和3年7月9日 (1928)	1通・墨書	10-404-17
書簡〔妻・長女・二女がチフス〕 戸田求→守屋栄夫	昭和3年11月27日 (1928)	1通・ペン	10-283
書簡〔昭男からの土産御礼〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年1月10日 (1929)	1通・墨書	6-55-18
書簡〔祖母の死、昭男へ影響〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年3月4日 (1929)	1通・墨書	6-59-16
書簡〔お悔やみ状〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1通・墨書	6-59-28
書簡〔お悔やみ状、昭男君の成績・素行〕 戸田求→守屋 栄夫	昭和4年3月22日 (1929)	1通・墨書	6-59-34
書簡〔お悔やみ状、激励〕 戸田求→守屋栄夫・昭男	昭和4年3月22日 (1929)	1通・墨書	6-59-33
書簡〔お悔やみ状〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-15-65
書簡〔長男勇雄病死通知〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-1-2
書簡〔明男・信雄の進学について〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年4月14日 (1929)	1通・墨書	6-59-7
葉書〔長男英雄忌明け挨拶〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年5月2日 (1929)	1枚・活版	85-4-3-5
書簡〔母堂法要、詩歌数種〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年5月20日 (1929)	1通・墨書	85-4-2-20
書簡〔近況報告〕 戸田求→守屋栄夫	昭和4年7月21日 (1929)	1通・墨書・ペン	10-405-34
書簡〔別邸について近況報告〕 戸田求→守屋栄夫	昭和5年3月8日 (1930)	1通・墨書	10-405-41
書簡〔羽生氏・家族・昭男の近況報告〕 戸田求→守屋栄 夫	昭和5年7月9日 (1930)	1通・ペン	10-411-20
書簡〔昭男卒業祝い〕 戸田求→守屋栄夫	昭和6年3月9日 (1931)	1通・墨書	86-357-15
書簡〔選挙応援〕 戸田求→守屋栄夫	昭和2月15日	1通・墨書	10-36
書簡〔お見舞いに対する御礼〕 戸田求→守屋栄夫	昭和7月20日	1通・ペン	10-220
葉書〔着任挨拶、桂子の容態伺い〕 土橋友四郎→守屋栄 夫	大正8年5月24日 (1919)	1枚・ペン	82-3-35
葉書〔天橋立を訪ねる(和郎)、謹祝御栄進(土橋)〕 土 橋友四郎・守屋和郎→守屋栄夫	大正8年8月13日 (1919)	1枚・ペン	9-10-46
葉書〔御端書拝見〕 土橋友四郎→守屋栄夫・和郎	大正8年8月22日 (1919)	1枚・ペン	9-10-21
葉書〔奈良訪問他近況報告〕 土橋友四郎→守屋栄夫	大正9年1月25日 (1920)	1枚・ペン	82-3-301
書簡〔朝鮮大洪水、就職への配慮謝意〕 土橋友四郎→ 守屋栄夫	大正13年7月27日 (1924)	1通・墨書	9-22-12
葉書〔残暑見舞〕 戸張守治→守屋栄夫	大正15年6月23日 (1926)	1枚・ペン	84-3-137
葉書〔暑中見舞い〕 戸張守治→守屋栄夫	大正15年7月26日 (1926)	1枚・ペン	86-322-33

葉書〔挨拶状〕 戸張守治→守屋栄夫	大正15年11月19日 (1926)	1枚・ペン	86-229
書簡〔謹年賀欠礼仕候〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1通・墨書	85-7-1-9
葉書〔初夏機嫌伺い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和2年5月10日(1927)	1枚・ペン	84-1-59
葉書〔暑中見舞い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和2年7月27日(1927)	1枚・墨書	86-104
葉書〔残暑見舞〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和2年8月12日(1927)	1枚・墨書	84-3-87
書簡〔選挙当選祈願状〕 戸張守治〔慶南南海郡庁〕→守屋 栄夫	昭和3年2月6日(1928)	1通・ペン	7-147-143
葉書〔挨拶状〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和3年3月6日(1928)	1枚・ペン	86-322-129
葉書〔ご機嫌伺い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和3年4月19日(1928)	1枚・ペン	86-329-11
葉書〔暑中見舞い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和3年8月8日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-236
葉書〔近況伺い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和3年9月11日(1928)	1枚・墨書	86-325-77
葉書〔近況伺い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和4年4月20日(1929)	1枚・ペン	86-327-26
葉書〔時候の挨拶〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和4年12月5日(1929)	1枚・ペン	86-324-66
葉書〔当選祝い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和5年1月23日(1930)	1枚・墨書	86-56
書簡〔当選祝い〕 戸張守治→守屋栄夫	昭和5年3月3日(1930)	1通・ペン	10-410-15
葉書〔来鮮祝い〕 戸張守治→守屋栄夫	6月20日	1枚・ペン	86-323-20
書簡〔美事なる書幅を賜り御礼〕 飛田時三郎・青木元右 衛門→守屋栄夫	昭和6年12月9日(1931)	1通・墨書	86-347-45
書簡〔講演御礼、東北に国立米穀倉庫建設援助依頼〕 戸部耘治郎→守屋栄夫	大正15年11月19日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-15
書簡〔当選祝い〕 富沢富五郎→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-23
葉書〔恭賀新年〕 富沢由次郎→守屋栄夫	大正7年1月1日(1918)	1枚・墨書・ペン	82-3-387
書簡〔朝鮮より在鮮記念漆器送付〕 富田儀作→守屋栄 夫	大正14年11月26日 (1925)	1通・墨書	85-10-111
書簡〔早坂様指定の定紋送付〕 富田伝兵衛→守屋栄夫	昭和4年6月1日(1929)	1通・墨書・ペン	9-21-12
葉書〔早坂様の件報告遅延お詫び〕 富田伝兵衛→守屋 栄夫	昭和4年7月28日(1929)	1枚・ペン	9-21-14
葉書〔出席通知〕 富田寿之進→守屋栄夫	昭和5年10月10日 (1930)	1枚・ペン	86-1-78
書簡〔帰任挨拶〕 富田茂一→守屋栄夫	大正10年10月20日 (1921)	1通・墨書	5-29-4
書簡〔保田氏から返信、意見同感〕 富塚貞一郎→守屋栄 夫	昭和3年2月1日(1928)	1通・墨書	10-414-25
書簡〔面接の件、選挙協力者一覧〕 富塚貞一郎→守屋栄 夫	昭和3月23日	1通・墨書・ペン	10-189
書簡〔当選祝い〕 富永鴻→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-147-15
書簡〔お悔やみ状〕 富永高義→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-25

書簡〔著書恵送御礼〕 富藤金祐→守屋栄夫	大正10年10月22日 (1921)	1通・墨書	5-29-30
書簡〔お悔やみ状〕 富藤高作→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	9-18-4
葉書〔お悔やみ状〕 富藤たまき→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1枚・ペン	5-25-10-32-12
書簡〔守屋氏後援承諾〕 富村毅一→守屋栄夫	昭和1月27日	1通・ペン	9-16-49
書簡〔内務省社会局部長就任祝い、近況報告〕 留岡幸助→守屋栄夫	大正13年9月30日 (1924)	1通・墨書	85-1-8
書簡〔新年挨拶、北海道開発意見〕 留岡幸助→守屋栄夫	大正14年1月19日 (1925)	1通・ペン	85-10-101
葉書〔地方改良協議会出席の件〕 留岡幸助→守屋栄夫	大正14年カ2月25日 (1925)	1枚・墨書	86-36
葉書〔現状視察の配意御礼〕 留岡幸助→守屋栄夫	大正14年カ8月19日 (1925)	1枚・ペン	86-27
書簡〔「岡山孤児院開散」論文掲載報告、青山会館での社会事業講習会出席他〕 留岡幸助→守屋栄夫	大正15年7月9日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-14
書簡〔高説御礼〕 留岡幸助〔家庭学校〕→守屋栄夫	昭和2年8月28日 (1927)	1通・ペン	85-7-6-20
書簡〔局の採用斡旋依頼〕 留岡幸助→守屋栄夫	昭和2年11月4日 (1927)	1通・墨書	85-9-23
書簡〔体調良好〕 留岡幸助→守屋栄夫	昭和7年12月25日 (1932)	1通・ペン	85-5-1
葉書〔選挙運動健勝祈念〕 富森喜久治→守屋栄夫	昭和5年2月14日 (1930)	1枚・ペン	7-147-350
書簡〔お悔やみ状〕 豊沢藤一郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	6-54-3
葉書〔諒闇中につき年末年始の礼を欠き申候〕 豊田収→守屋栄夫	昭和1年12月30日 (1926)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1-9
書簡〔地籍事務所について、「朝鮮総督府男爵斎藤実閣下ニ呈スルノ書」〕 豊田四郎〔元朝鮮総督府技師〕→守屋栄夫〔秘書官〕	大正10年8月30日 (1921)	1通・墨書・ペン	9-24-8
葉書〔残暑見舞い、懇談会欠席〕 豊原一郎→守屋栄夫	昭和5年カ8月24日 (1930)	1枚・ペン	86-322-270
書簡〔来京時の配慮御礼〕 豊原一郎→守屋栄夫	昭和5年カ12月7日 (1930)	1通・ペン	7-147-11
書簡〔就職斡旋への礼、母の看病のため就職遅れる旨伝達依頼〕 豊原一郎→守屋栄夫	昭和6年3月5日 (1931)	1通・ペン	86-357-35
書簡〔医院開業斡旋依頼〕 豊原一郎→守屋栄夫	昭和6年4月27日 (1931)	1通・ペン	86-354-38
葉書〔佐々木氏より東山決定入電〕 豊原一郎→守屋栄夫	昭和	1枚・ペン・活版	86-322-337
書簡〔佐々木氏慶尚南道警察部へ書面発送〕 豊原一郎→守屋栄夫	12月30日	1通・ペン	10-325
書簡〔お悔やみ状〕 豊原三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-185
書簡〔明治神宮神職斡旋御礼〕 豊原誠一→守屋栄夫	昭和4年6月2日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-25
書簡〔神職斡旋依頼〕 豊原誠一→守屋栄夫	昭和4年6月2日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-26
書簡〔皇學館雑誌「神なから」送付御礼〕 豊原誠一→守屋栄夫	昭和4年6月24日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-27

書簡〔神主からの転職協力願い、神道に対する考え〕 豊原誠一→守屋栄夫	昭和5年8月1日(1930)	1通・ペン	10-7
書簡〔馬放鎮守村社と天神社兼補の辞令受領〕 豊原 誠一→守屋栄夫	昭和8年12月6日(1933)	1通・墨書	84-16-15
書簡〔選挙応援〕 豊原誠亮→守屋栄夫	昭和3年1月29日(1928)	1通・ペン	10-199
書簡〔兄一郎に入院進言依頼〕 豊原タケノ→守屋栄夫	昭和6年4月10日(1931)	1通・ペン	86-354-24
書簡〔お悔やみ状〕 豊原道也→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-14
書簡〔仙台市議選当選御礼〕 鳥海亥太郎→守屋栄夫	昭和8年4月30日(1933)	1通・墨書	85-11-25
書簡〔中身欠〕 鳥海剛→守屋栄夫	大正7年4月13日(1918)	1通・墨書	83-10-5
葉書〔御見舞状〕 鳥海剛→守屋栄夫	大正8年2月11日(1919)	1枚・墨書	84-19-13
書簡〔成田一郎氏浅草南元町警察署長赴任報告〕 鳥 海剛→守屋栄夫	大正12年4月7日(1923)	1通・ペン	80-40-1-36
葉書〔挨拶状〕 鳥海剛→守屋栄夫	昭和5年3月27日(1930)	1枚・ペン	86-73
葉書〔ブラジル着、照子府立女子校入学祝い〕 鳥海剛 →守屋栄夫	昭和5年6月6日(1930)	1枚・ペン	7-147-329
葉書〔サンパウロ視察終了〕 鳥海剛→守屋栄夫	昭和5年7月27日(1930)	1枚・ペン	86-322-284
葉書〔湯治経過報告〕 鳥海剛→守屋栄夫	昭和6年7月8日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-308

な

書簡〔山田前教諭静岡県立農学校就職斡旋依頼〕 内 藤乾蔵→守屋栄夫	大正6年4月18日(1917)	1通・墨書	84-20-39
葉書〔年賀状〕 内藤順太郎→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・謄写版	86-322-195
書簡〔当選祝い〕 内藤順太郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-54
書簡〔選挙運動激励〕 内藤順太郎(東亜社)→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書	7-147-127
書簡〔当選祝い〕 内藤順太郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	7-147-128
葉書〔健康祈願〕 内藤二郎→守屋栄夫	大正6年11月17日 (1917)	1枚・墨書	81-695
葉書〔健康祈願〕 内藤二郎→守屋栄夫	大正8年3月20日(1919)	1枚・ペン	82-3-199
書簡〔残暑見舞い〕 内藤二郎→守屋栄夫	昭和4年8月28日(1929)	1通・ペン	5-17-28
書簡〔兵庫県郡長人事、地方改良講習会開催、留守家 族の様子、「第十二回地方改良講習会時間割表」〕 内務省監察官室〔陸司〕→守屋栄夫	大正8年1月18日(1919)	1通・墨書・活版	5-26-8
書簡〔地方改良講習会の様子、悪性感冒流行、留守宅 無事、「第十二回地方改良講習会出席者」〕 内務省監 察官室〔陸司〕→守屋栄夫	大正8年1月24日(1919)	1通・墨書・活版	5-26-17
葉書〔「地方自治之精神」読了、次の地方改良講演会で 利用〕 直船武行→守屋栄夫	大正8年4月18日(1919)	1枚・墨書	82-3-256
書簡〔当選祝い〕 中井全→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-235
葉書〔年賀状〕 中井栄次郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-42

葉書〔書籍贈呈御礼〕 中井久之→守屋栄夫	大正15年9月17日 (1926)	1枚・墨書	86-242
書簡〔佐柳閣下突如休職他近況報告〕 永井市太郎→守屋栄夫	大正6年3月1日(1917)	1通・墨書	84-20-76
書簡〔栄転祝い〕 永井市太郎→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1通・ペン	83-14-12
葉書〔教育会・視学会議出席の誘い〕 永井市太郎→守屋栄夫	大正6年6月14日(1917)	1枚・ペン	81-26
葉書〔漢詩のやりとり〕 永井市太郎→守屋栄夫	大正6年6月15日(1917)	1枚・ペン	81-27
葉書〔香取神社参拝、閣下の武運祈願〕 永井市太郎・武井友次郎・小林庄太郎→守屋栄夫	大正8年6日カ(1919)	1枚・ペン	82-3-281
書簡〔田中保三郎氏療養、神崎町民の同情、東北地方教育会の会葬〕 永井市太郎〔千葉県香取郡役所〕→守屋栄夫	大正9年4月10日(1920)	1通・墨書	5-16-19
書簡〔お悔やみ状〕 永井市太郎→守屋栄夫	大正12年3月18日 (1923)	1通・墨書	18-14-136
書簡〔愛児逝去お悔やみ、視学連異動者報告、郡制廃止につき景況報告〕 永井市太郎→守屋栄夫	大正12年4月6日(1923)	1通・墨書・ペン	80-40-1-7
書簡〔社会教育主事補任命報告〕 永井市太郎→守屋栄夫	昭和4年2月26日(1929)	3通・墨書	6-56-24
書簡〔高村他射撃演習の件〕 永井市太郎→守屋栄夫	昭和5年12月4日(1930)	1通・墨書	7-147-13
葉書〔挨拶状〕 永井市太郎→守屋栄夫	昭和5年12月16日 (1930)	1枚・ペン	86-1-30
書簡〔住宅修繕計画、鈴木前町長助役選任〕 永井市太郎→守屋栄夫	昭和6年1月26日(1931)	1通・墨書	86-359-25
書簡〔地所取り計らい他近況報告〕 永井市太郎→守屋栄夫	昭和27日	1通・ペン	85-4-4-42
書簡〔候補者交渉進捗〕 長井喜太夫→守屋栄夫	大正7年6月30日(1918)	1通・墨書	5-6-44
書簡〔当選祝い〕 長井喜太夫→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・ペン・活版	10-408-23
葉書〔当選祝い〕 永井重悦→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-396
葉書〔お悔やみ状〕 永井新平→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1枚・墨書	5-12-34
電報〔弔電〕 永井知太郎→守屋栄夫	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-95
葉書〔著書恵贈への礼〕 永井彦郎→守屋栄夫	昭和3年4月23日(1928)	1枚・墨書	86-329-18
葉書〔無事の帰京祝状〕 永井→守屋栄夫	昭和6年2月25日(1931)	1枚・墨書・活版	86-322-360
書簡〔当選祝い〕 長尾永五郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-91
書簡〔お悔やみ状〕 長尾男柳→守屋栄夫	大正12年5月12日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-16
書簡〔お悔やみ状〕 長尾半平→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-130
葉書〔年賀状〕 長尾美知→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書・ペン・活版	86-326-27
葉書〔モンロー山頂訪問〕 長岡俊郎→守屋栄夫	昭和2年5月29日(1927)	1枚・ペン	84-5-18

葉書〔栄転の祝い状〕 長岡隆一郎→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1枚・ペン	81-63
葉書〔ナイアガラ巖頭にて〕 長岡隆一郎→守屋栄夫	大正7年4月6日(1918)	1枚・ペン	82-3-58
書簡〔亡父遺稿出版一部拝呈〕 長岡隆一郎→守屋栄夫	大正15年12月20日(1926)	1通・活版・墨書	85-7-2-1-35
葉書〔ロンドンの社会事業視察報告〕 長岡隆一郎→守屋栄夫	昭和2年7月6日(1927)	1枚・ペン	86-127
葉書〔インド洋上にて田中内閣成立、内務省人事を知る〕 長岡→守屋栄夫	昭和2年5月8日(1927)	1枚・ペン	84-5-31
葉書〔シベリアの暑さ、会議終了後帰京〕 長岡→守屋栄夫	8月4日	1枚・ペン	84-3-81
書簡〔お礼状〕 中川倉吉→守屋栄夫	昭和8年5月23日(1933)	1通・墨書	84-27-28
葉書〔ご機嫌伺い〕 中川陸司→守屋監察官	大正7年8月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-359
葉書〔汽車旅行予定〕 中川陸司→守屋栄夫	大正7年9月26日(1918)	1枚・ペン	82-3-68
葉書〔琉球旅行報告〕 中川陸司→守屋栄夫	大正7年カ10月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-115
書簡〔東京の近況、賞与金の件〕 中川陸司→守屋栄夫	大正7年12月28日(1918)	1通・墨書・ペン	5-26-16
葉書〔和郎の栄転祝い〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年3月17日(1919)	1枚・ペン	82-3-296
葉書〔挨拶状〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年3月21日(1919)	1枚・ペン	82-3-153
書簡〔阿倍監察官等朝鮮李王葬儀出席のため出発〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年3月1日(1919)	1通・墨書	84-19-21
葉書〔鳥取到着報告〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年4月23日(1919)	1枚・ペン	82-3-23
葉書〔健康祈願〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年6月28日(1919)	1枚・ペン	82-3-200
書簡〔爆弾騒ぎお見舞い〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年9月4日(1919)	1通・ペン	5-16-38
書簡〔召集近況報告、野口警県局長逝去〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年9月6日(1919)	1通・墨書	5-16-43
書簡〔出世口添え御礼〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年10月5日(1919)	1通・墨書	9-25-6
葉書〔近況報告〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年11月11日(1919)	1枚・ペン	83-9-15
葉書〔社会政策的施設調査問題は内容貧弱他〕 中川陸司→守屋栄夫	大正8年12月16日(1919)	1枚・ペン	82-3-321
葉書〔福島市役所祝察報告〕 中川陸司→守屋栄夫	大正9年2月25日(1920)	1枚・ペン	82-3-206
葉書〔函館到着、議会解散は鶴岡で承知〕 中川陸司→守屋栄夫	大正9年2月29日(1920)	1枚・ペン	82-3-203
葉書〔正男・明男の病気全快祈願〕 中川陸司→守屋栄夫	大正9年3月12日(1920)	1枚・ペン	82-3-299
書簡〔省庁舎の改修・規程〕 中川陸司→守屋栄夫	大正9年5月30日(1920)	1通・墨書	5-16-24
書簡〔内務省内人事、呉鎮守府訪問〕 中川陸司→守屋栄夫	大正9年7月8日(1920)	1通・ペン	5-5-6

書簡 / 来信

葉書〔中川陸司栄転決意と祝辞〕 中川陸司・佐々木忠右衛門・小島与右衛門・伊手衡・丸山松蔵・鳴海良郎・松田究一・成田篤郎・高橋林造・関達三・宮沢小五郎・菅原勇之進→守屋栄夫	大正11年9月12日 (1922)	1枚・ペン	9-27-46
葉書〔植井議会会規改版について〕 中川陸司→守屋栄夫	昭和2年カ11月19日 (1927)	1枚・ペン	86-324-43
葉書〔松村光磨氏との会見〕 中川陸司→守屋栄夫	昭和4年11月14日 (1929)	1枚・ペン	86-324-46
葉書〔香川到着〕 中川陸司→守屋栄夫	昭和5年1月19日 (1930)	1枚・ペン	84-1-10
書簡〔樺太居住津田栄記氏の件につき謝罪〕 中川陸司→守屋栄夫	昭和7年6月19日 (1932)	1通・墨書	84-13-19
葉書〔領有29年始政記念日にあたり健康祈願〕 中川陸司→守屋栄夫	昭和8年8月23日 (1933)	1枚・ペン	86-323-77
葉書〔旭川到着〕 中川陸司→守屋栄夫	昭和8年9月28日 (1933)	1枚・ペン	86-323-63
書簡〔内務省への栄転について〕 中川望→守屋栄夫	大正6年5月1日 (1917)	1通・墨書	83-14-210
書簡〔爆弾事件の見舞、山林大会開催〕 中川望→守屋栄夫	大正8年9月6日 (1919)	1通・墨書	5-16-31
書簡〔満朝問題、地方官会議、討議録送付〕 中川望〔山口県知事〕→守屋栄夫	大正9年6月2日 (1920)	1通・墨書	5-16-6
書簡〔菅原氏再起についてお願い〕 中川望→守屋栄夫	大正14年11月30日 (1925)	1通・墨書	85-10-83
書簡〔お悔やみ状〕 中川望→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-9
書簡〔人事について意見〕 中川望→守屋栄夫	昭和7年10月3日 (1932)	1通・墨書	84-30-15
書簡〔三井君の件につき杉本君の意見〕 中川望→守屋栄夫	昭和7年10月9日 (1932)	1通・墨書	84-30-16
書簡〔お悔やみ状〕 長川兼蔵→守屋栄夫	大正12年3月22日 (1923)	1通・墨書	18-14-18
書簡〔高橋英記氏応諾の件〕 長崎宮太→守屋栄夫	昭和7年5月22日 (1932)	1通・墨書	86-350-16
書簡〔お悔やみ状〕 中里新太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-189-1
葉書〔年賀状〕 中沢辰治郎→守屋栄夫	大正6年1月1日 (1917)	1枚・墨書	81-113
書簡〔選挙応援〕 中島国彦〔計理士・中島国彦事務所〕→守屋栄夫	昭和5年2月12日 (1930)	1通・墨書	10-156
書簡〔息子死去に際し香典等への礼状〕 中島重也→守屋栄夫	昭和6年3月21日 (1931)	1通・墨書	86-357-9
葉書〔年賀状〕 中島仙作→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・活版	86-322-196
書簡〔年末の挨拶〕 中嶋司→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-14
書簡〔来月号掲載のため講演速記確認願ひ〕 中島徳蔵→守屋栄夫	昭和2年2月24日 (1927)	1通・ペン	85-9-65
葉書〔総村会の写真別便送付〕 中島柳子→守屋栄夫	昭和	1枚・墨書	83-11-3
書簡〔被災御高配御礼、南米移民は熟慮する問題あり〕 中条住男→守屋栄夫	大正15年5月19日 (1926)	1通・墨書	85-3-5-10

書簡〔所有宅地建物抵当権の件〕 中条住男→守屋栄夫	昭和2年1月31日(1927)	1通・ペン	85-9-61
書簡〔守屋栄夫講演会計画のこと〕 中条住男→守屋栄夫	昭和2年10月15日(1927)	1通・墨書	85-7-4-18
葉書〔砂山氏について〕 中条住男→守屋栄夫	昭和2年10月21日(1927)	1枚・ペン	85-7-4-3
書簡〔選挙準備運動報告〕 中条住男→守屋栄夫	昭和2年10月24日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-4-4
書簡〔昇任祝い〕 中条住男→守屋栄夫	昭和2年11月5日(1927)	1通・墨書	85-9-109
書簡〔加美郡方面の近況報告〕 中条住男→守屋栄夫	昭和2年12月16日(1927)	1通・ペン	85-7-3-17
書簡〔心添え感謝、社会救済に対する期待〕 中条住男→守屋栄夫	昭和3年3月19日(1928)	1通・墨書	10-76
葉書〔会津身不知柿送付〕 中条住男→守屋栄夫	昭和3年10月30日(1928)	1枚・ペン	84-3-37
書簡〔苗木の生育状況、天皇梅の鉢物〕 中条住男→守屋栄夫	昭和3年12月3日(1928)	1通・墨書	10-41
書簡〔津田商会後援の魚粉販売の件〕 中条住男→守屋栄夫	昭和4年1月29日(1929)	1通・ペン	6-55-1
書簡〔中住農園の魚粕販売開始、村政改善のための村民大会開催通知〕 中条住男→守屋栄夫	昭和4年2月24日(1929)	2通・ペン・活版	6-56-25
書簡〔富永村村民大会開催と概況〕 中条住男→守屋栄夫	昭和4年2月26日(1929)	2通・ペン	6-56-17
葉書〔白菜照会への返書〕 中条住男→守屋栄夫	昭和4年12月5日(1929)	1枚・ペン	86-324-64
書簡〔白菜の発送の件〕 中条住男→守屋栄夫	昭和4年12月10日(1929)	1通・ペン	5-14-39
書簡〔合資会社設立協力御礼、情況報告〕 中条住男→守屋栄夫	昭和5年10月1日(1930)	1通・ペン	10-62
書簡〔合資会社として土地購入〕 中条住男→守屋栄夫	昭和5年10月23日(1930)	1通・ペン	10-83
書簡〔土地購入問題解決案につきご意見伺い〕 中条住男→守屋栄夫	昭和5年11月26日(1930)	1通・墨書	10-289
書簡〔病氣快調、合資会社経営状況、守屋出資の畑地購入の件進捗報告〕 中条住男→守屋栄夫	昭和6年1月19日(1931)	1通・ペン	86-356-25
書簡〔畑地買い入れ経過通知、会社運営の件、合資会社中住農園総会議案〕 中条住男→守屋栄夫	昭和6年3月7日(1931)	1通・ペン・謄写版	86-357-20
書簡〔住宅家賃保証人請求の件〕 中条住男→守屋栄夫	昭和6年3月23日(1931)	1通・ペン	86-357-12
書簡〔合資会社中住農園窮状の件〕 中条住男→守屋栄夫	昭和6年5月20日(1931)	1通・ペン	86-352-56
書簡〔ボナベ着任経緯、恐慌にて会社が強制執行〕 中条住男→守屋栄夫	昭和6年12月10日(1931)	1通・墨書	86-347-17
書簡〔利子代償の件恐縮〕 中条住男→守屋栄夫	昭和8年6月7日(1933)	1通・墨書	83-6-10
書簡〔借金詫び状〕 中条住男→守屋栄夫	昭和8年7月3日(1933)	1通・ペン	84-26-26
葉書〔暑中見舞い〕 中条政→守屋栄夫	昭和4年7月25日(1929)	1枚・ペン	86-276

葉書〔如春会開催通知〕 永瀬伴一郎〔如春会長〕		1枚・墨書	9-23-62
葉書〔お悔やみ状〕 中園良一→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・墨書	9-18-13
書簡〔お悔やみ状〕 中田正蔵→守屋栄夫	大正12年3月26日(1923)	1通・墨書	18-14-139
書簡〔お悔やみ状〕 中田駿郎→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	9-11-22
書簡〔日本力行会賛助員依頼、日本力行会海外学校設立趣意書〕 永田稠→守屋栄夫	大正15年10月15日(1926)	1通・墨書・活版	78-23-5
葉書〔年賀状〕 永田稠〔日本力行会長〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-55
葉書〔ミュンヘン到着〕 永田春峯→守屋栄夫	昭和4年10月7日(1929)	1通・ペン	86-324-56
書簡〔高瀬通保就職幹旋依頼〕 流田承十郎→守屋栄夫	大正15年22日(1926)	1通・墨書	85-3-2-8
書簡〔拝顔不能遺憾〕 永田隆章→守屋栄夫	昭和5年8月22日(1930)	1通・墨書	10-345
書簡〔「平凡の善政」恵贈御礼〕 永田秀次郎→守屋栄夫	大正10年10月4日(1921)	1通・墨書	5-5-2
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 永田秀治郎→守屋栄夫	昭和3年4月21日(1928)	1枚・ペン	86-329-19
書簡〔お悔やみ状〕 永田秀次郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-80
葉書〔白菜送付の礼状〕 永田秀次郎→守屋栄夫	昭和5年12月23日(1930)	1枚・ペン	86-1-65
葉書〔御来駕・写真送付御礼〕 永田安太郎→守屋栄夫	大正12年8月13日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-8
葉書〔伯林より挨拶状〕 中谷政一→守屋栄夫	大正12年4月8日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-42
書簡〔新内閣閣僚リストおよび帝国議会議席数内訳、ドイツ大統領による地方統制および地方行政システムに関する発言〕 中谷政一→守屋栄夫	大正12年9月24日(1923)	1通・ペン・謄写版	6-60-1
葉書〔当選祝い〕 中谷秀→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1枚・ペン	7-147-392
書簡〔紹介状〕 M.NAKATANI→守屋栄夫	大正12年3月28日(1923)	1通・謄写版・ペン	80-40-1-21
書簡〔ブランデンブルグ省の行政業務区分表(独語)〕 D.nakatani→守屋栄夫	大正12年8月4日(1923)	1通・謄写版	80-1-3-11
葉書〔面会御礼〕 中津川文七→守屋栄夫	昭和4年4月25日(1929)	1枚・ペン	86-327-8
書簡〔当選祝い〕 長戸路政司→守屋栄夫	昭和3年2月28日(1928)	1通・墨書	10-407-58
書簡〔お悔やみ状〕 中西利徳→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-10-4
葉書〔挨拶状〕 中野協蔵→守屋栄夫	昭和5年12月11日(1930)	1枚・墨書	86-1-29
書簡〔花見氏任用の件報告〕 中野邦一→守屋栄夫	大正6年5月22日(1917)	1通・墨書	83-14-89
葉書〔暑中見舞い〕 中野邦一→守屋栄夫	大正6年8月2日(1917)	1枚・ペン	81-44
葉書〔発展祈願〕 中野邦一→守屋栄夫	大正7年5月9日(1918)	1枚・ペン	82-3-55
葉書〔感冒流行〕 中野邦一→守屋栄夫	大正7年11月25日(1918)	1枚・墨書	82-3-213

葉書〔近日上京〕 中野邦一→守屋栄夫	大正8年5月11日(1919)	1枚・墨書	82-3-39
書簡〔当選祈願〕 中野佐梯→守屋栄夫	昭和3年2月16日(1928)	1通・墨書	10-414-15
葉書〔当選祝い〕 中野佐梯→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-74
書簡〔お悔やみ状〕 中野佐梯→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-38
葉書〔お悔やみ状〕 永野栄助→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・墨書	9-15-147
書簡〔帝都復興審議局概要、鮮人暴動〕 長野直彦→守屋栄夫	大正12年9月16日(1923)	4通・ペン	6-60-21
葉書〔ロンドン見学経過、今後の日程〕 永野和一→守屋栄夫	昭和3年1月16日(1928)	1枚・ペン	86-329-36
葉書〔アントワープ郵便局視察〕 永野和一→守屋栄夫	昭和3年3月7日(1928)	1枚・ペン	86-329-29
葉書〔挨拶状〕 中辺文雄→守屋栄夫	昭和2年6月28日(1927)	1枚・ペン	86-141
葉書〔暑中見舞い〕 中原鉄臣→守屋栄夫	昭和2年7月27日(1927)	1枚・ペン・活版	86-175
書簡〔当選祝い〕 中原鉄臣→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-360
葉書〔喪中〕 中原隆三→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-87
書簡〔お悔やみ状〕 中村按三→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-9-4
書簡〔仙台並びに名古屋蓄金当社買上問題について〕 中村梅三→守屋栄夫	昭和8年8月8日(1933)	1通・墨書	84-18-13
葉書〔鹿児島各地写真入り絵葉書〕 中村嘉吉→守屋栄夫	大正8年7月31日(1919)	1枚・活版・墨書	81-401
葉書〔暑中見舞い〕 中村健太郎→守屋栄夫	昭和3年8月11日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-245
書簡〔お悔やみ状〕 中村健太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-12
書簡〔瑞西にて面会不能お詫び、国際法学会出席〕 中村榮→守屋栄夫	大正12年8月20日(1923)	1通・ペン	80-2-2-10
葉書〔帰京後伺願い〕 中村慎→守屋栄夫	大正7年7月23日(1918)	1枚・ペン	82-3-264
葉書〔諒闇中につき年末年始欠礼〕 中村精七郎→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1枚・活版	85-7-2-1-15
書簡〔当選祝い〕 中村精七郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-57
書簡〔お悔やみ状〕 中村精七郎→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-10-1-1
書簡〔本学部学生咸徳一の朝鮮殖産銀行就職斡旋依頼〕 中村善太郎〔東北帝国大学法文学部長〕→守屋栄夫	昭和5年10月25日(1930)	1通・墨書	10-386
葉書〔喪中〕 中村貫之→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-75
葉書〔暑中見舞い〕 中村忠充→守屋栄夫	大正6年8月13日(1917)	1枚・墨書	82-3-392
葉書〔訪問御礼〕 中村忠充→守屋栄夫	大正6年20日(1917)	1枚・ペン	81-15
葉書〔暑中見舞い〕 中村忠充→守屋栄夫	大正7年8月8日(1918)	1枚・ペン	82-3-108
書簡〔当選祝い〕 中村忠充→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-20
書簡〔当選祝い〕 中村多利之進→守屋栄夫	昭和3年カ2月23日(1928)	1通・墨書	10-282

書簡〔毎日申報「聖者ノ迷」拝読感想〕 中村忠吉→守屋栄夫	大正10年10月23日 (1921)	1通・活版	5-29-16-2
書簡〔中村継男選挙推薦文〕 中村継男→守屋栄夫	昭和3年2月 (1928)	1通・活版	85-2-6
書簡〔朝鮮総督府の政治展望について〕 中村徳重郎→守屋栄夫	大正9年6月21日 (1920)	1通・墨書	5-16-1
書簡〔苦境に陥り朝鮮に渡る〕 中村徳重郎→守屋栄夫	大正14年12月17日 (1925)	1通・墨書	85-10-95
書簡〔選挙は当日まで楽観を許さず他〕 中村徳重郎→守屋栄夫	昭和3年2月9日 (1928)	1通・墨書	10-414-6
書簡〔貴著・銀製煙草入れ恵贈御礼〕 中村徳重郎→守屋栄夫	昭和3年4月16日 (1928)	1通・墨書	10-326
書簡〔パンフレットの件、政友会入党承知〕 中村徳重郎→守屋栄夫	昭和5年1月12日 (1930)	1通・墨書	10-403-38
書簡〔当選祝い〕 中村徳重郎→守屋栄夫	昭和5年2月26日 (1930)	1通・墨書	7-147-134
書簡〔盆暮贈呈品廃止につき報告〕 中村徳重郎→守屋栄夫	昭和6年7月14日 (1931)	1通・墨書	86-350-44
葉書〔当選祝い〕 中村豊次郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1枚・ペン・謄写版	7-147-393
書簡〔長女死去につき帰国〕 中村寅之助→守屋栄夫	大正14年12月12日 (1925)	1通・ペン	85-3-5-34
葉書〔御機嫌伺〕 中村尚武→守屋栄夫	大正13年7月27日 (1924)	1枚・墨書・活版	9-22-15
書簡〔年賀状〕 中村尚武→守屋栄夫	昭和2年1月3日 (1927)	1通・墨書	85-7-2-14
葉書〔昭和連盟発起の件〕 中村倫人→守屋栄夫	昭和4年8月21日 (1929)	1枚・ペン	86-321
書簡〔就職幹旋御礼〕 中村八郎→守屋栄夫	昭和8年12月12日 (1933)	1通・ペン	84-17-9
書簡〔松島駅引越の事情〕 中村万寿→守屋栄夫	昭和8年3月15日 (1933)	1通・墨書	84-22-15
電報〔弔電〕 中村寛猛→モリヤエイフジン	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-82
書簡〔諒闇中に遭ひ謹て年賀欠礼〕 中村文彦→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1通・墨書	85-7-1-17
葉書〔暑中見舞い〕 中村文彦→守屋栄夫	昭和3年7月29日 (1928)	1枚・ペン	86-325-63
書簡〔当選祝い〕 中村正元〔愛知県知多高等女学校校長〕→守屋栄夫	昭和3年カ2月29日 (1928)	1通・墨書	10-229
書簡〔当選祝い〕 中村正元〔栃木県立氏家高等女学校校長〕→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1通・墨書	7-147-135
書簡〔当選祝い〕 中村松次→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	7-147-129
葉書〔年賀状〕 中村三徳→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-197
葉書〔暑中見舞い〕 中村三徳→守屋栄夫	昭和3年8月1日 (1928)	1枚・墨書・ペン・活版	86-322-246
書簡〔お悔やみ状〕 中村三徳→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-57
葉書〔当選祝い〕 中村三徳→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1枚・活版・墨書	7-147-394

葉書〔挨拶状〕 中村元治→守屋栄夫	大正15年6月2日(1926)	1枚・ペン	84-3-115
葉書〔暑中見舞い〕 中村元治→守屋栄夫	大正15年8月2日(1926)	1枚・ペン	86-325-12
葉書〔挨拶状〕 中村元治→守屋栄夫	大正15年10月5日(1926)	1枚・ペン	84-5-37
葉書〔挨拶状〕 中村元治→守屋栄夫	大正15年11月5日(1926)	1枚・ペン	86-274
葉書〔暑中見舞い〕 中村元治→守屋栄夫	昭和2年7月末(1927)	1枚・ペン	86-99
書簡〔当選祝い〕 中村元治→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-22
書簡〔お悔やみ状〕 中村弥次郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン	5-25-8-4
書簡〔赤坂離宮御苑観菊会招待状〕 中村雄次郎→守屋栄夫	大正9年11月13日(1920)	1通・活版・墨書	81-676
書簡〔お悔やみ状〕 中村嘉寿→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-57
葉書〔時候の挨拶〕 中村嘉寿→守屋栄夫	昭和8年12月20日(1933)	1枚・ペン	86-323-40
書簡〔お悔やみ状〕 中目覚→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-45
葉書〔暑中見舞い〕 中本政→守屋栄夫	昭和2年8月18日(1927)	1枚・ペン	84-3-88
書簡〔お悔やみ状〕 中本政→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-14
名刺〔当選祝い〕 中屋重治→守屋栄夫		1枚・ペン・活版	7-147-395
葉書〔当選祝い〕 中安信三郎〔大日本国粋会総本部理事長〕→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書・活版	7-147-391
書簡〔お悔やみ状〕 中山乙三郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-13
葉書〔暑中見舞い、横山君秋田県へ栄転〕 中山音弥→守屋栄夫	大正5年8月2日(1916)	1枚・ペン	81-205
葉書〔暑中見舞い〕 中山音弥→守屋栄夫	大正7年8月13日(1918)	1枚・墨書	82-3-75
葉書〔喪中〕 中山音弥→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-66
書簡〔当選祈願〕 中山音弥→守屋栄夫	昭和5年2月11日(1930)	1通・墨書	10-361
書簡〔当選祝い〕 中山音弥→守屋栄夫	昭和5年2月28日(1930)	1通・墨書	7-147-133
書簡〔お悔やみ状〕 中山菅佐→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-50
葉書〔ご機嫌伺い〕 中山典照→守屋栄夫	昭和3年5月24日(1928)	1枚・墨書	86-325-38
書簡〔千葉県長生郡別荘地納税済み〕 中山長明→守屋栄夫	大正15年3月7日(1926)	1通・墨書・ペン・活版	85-8-13
書簡〔お悔やみ状〕 中山英夫→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-25-10-10
葉書〔アントワープ移民収容所・ブリュッセル義肢製作所視察〕 長山→守屋栄夫	昭和2年7月12日(1927)	1枚・ペン	86-176
葉書〔暑中見舞い〕 半井清→守屋栄夫	大正8年7月27日(1919)	1枚・ペン	82-3-340
葉書〔御栄転御祝〕 半井清〔石川県庁内〕→守屋栄夫	大正8年8月カ19日(1919)	1枚・ペン	9-10-11
書簡〔内務省社会局へ転任経緯〕 半井清→守屋栄夫	大正12年7月2日(1923)	1通・ペン	80-2-2-21

書簡〔御著恵贈につき礼状〕 半井清→守屋栄夫	大正15年3月11日 (1926)	1通・墨書	78-23-53
葉書〔福島地方の銀行閉店、湯ノ川温泉訪問〕 半井清→守屋栄夫	昭和2年6月16日 (1927)	1枚・墨書	84-5-3
葉書〔福島桃送付〕 半井清→守屋栄夫	昭和3年6月30日 (1928)	1枚・墨書	86-323-25
書簡〔お悔やみ状〕 半井清→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-127
書簡〔教員就職内定御礼〕 半井清→守屋栄夫	昭和8年4月1日 (1933)	1通・墨書	85-11-19
書簡〔軍備制限ポスター計画の件、ワシントン会議と朝鮮他〕 K.Nakurai→守屋栄夫	大正11年1月25日 (1922)	1通・ペン	9-20-25
葉書〔機嫌伺い〕 半井・隆司→守屋栄夫	昭和2年4月29日 (1927)	1枚・墨書	84-1-73
葉書〔挨拶状、絵葉書(塩原雄飛滝)〕 半井・薄田義朝→守屋栄夫	昭和3年6月21日 (1928)	1枚・墨書・ペン	86-322-127
葉書〔山登り、つつじを見る予定〕 半井→守屋栄夫	昭和4年6月2日 (1929)	1枚・ペン	84-6-35
葉書〔デンマークの畜産物輸出〕 名倉勝・伊藤→守屋栄夫・篠原英太郎	大正12年7月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-10
書簡〔丁抹へ旅行〕 名倉→守屋栄夫	大正12年7月19日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-23
書簡〔ハンブルグ訪問〕 名倉→守屋栄夫	大正12年7月27日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-20
書簡〔ハンブルグの時計五個注文他〕 名倉→守屋栄夫	大正12年8月18日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-29
書簡〔伯林・巴里訪問〕 名倉→守屋栄夫	大正12年8月25日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-33
葉書〔国際労働会議参加慰労、東大の楽郎発掘見学〕 名越那珂次郎〔京城帝国大学予科〕→守屋栄夫	大正14年10月25日 (1925)	1枚・ペン	84-6-109
葉書〔帰朝祝い〕 那須太三郎→守屋栄夫	大正14年10月18日 (1925)	1枚・ペン	84-6-137
葉書〔昭和連盟規約案送付〕 那須太三郎→守屋栄夫	昭和4年8月18日 (1929)	1枚・ペン	86-304
葉書〔選挙当選祈願、寒中見舞〕 那須太三郎→守屋栄夫	昭和5年1月20日 (1930)	1枚・墨書・活版	7-147-304
書簡〔巷談街説〕 那須保太→守屋栄夫	昭和8年10月15日 (1933)	1通・ペン	5-24-17
葉書〔総督、対処〕 那須保太→守屋栄夫	昭和8年10月21日 (1933)	1枚・ペン	5-24-26
書簡〔お悔やみ状〕 成瀬清人→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-61
葉書〔年賀状〕 成瀬涓→守屋栄夫	大正6年1月1日 (1917)	1枚・墨書	81-114
書簡〔お悔やみ状〕 成瀬涓→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	5-12-33
書簡〔揮毫依頼〕 名取源之助→守屋栄夫	昭和4年1月15日 (1929)	1通・墨書	6-55-20
葉書〔新年の挨拶〕 並木重太郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-37
書簡〔入院中の娘に代わって返事〕 並木徳治→守屋栄夫	昭和8年12月27日 (1933)	1通・ペン	84-17-17
葉書〔当選祝い〕 奈良坂孝吉→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1枚・ペン	10-408-15

葉書〔お悔やみ状〕 奈良坂孝吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・墨書	6-57-54
書簡〔徳島県来県御礼〕 榑崎善一〔社会課長〕・川久保・三 辺・山下・大畑・アラキヒデヲ→守屋栄夫	昭和2年9月27日(1927)	1通・ペン	84-1-103
書簡〔お悔やみ状〕 成田篤郎→守屋栄夫	大正12年3月20日 (1923)	1通・墨書	18-14-137
書簡〔お悔やみ状〕 成田篤郎〔弁護士〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-146
葉書〔近況報告〕 成田一郎→守屋栄夫	大正7年9月14日(1918)	1枚・ペン	82-3-65
書簡〔国枝の妊娠報告〕 成田一郎→守屋栄夫	大正10年12月24日 (1921)	1通・墨書	9-19-4
書簡〔父白石の方に決定、私の転任長びく模様他報 告〕 成田一郎→守屋栄夫	大正12年5月20日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-8
書簡〔俊郎の腸カタル病状報告〕 成田一郎→守屋栄夫	大正13年7月28日 (1924)	1通・ペン	9-22-16
葉書〔健康祈願〕 成田一郎→守屋栄夫	大正14年3月19日 (1925)	1枚・ペン	84-2-21
葉書〔名古屋・大阪・神戸へ西進〕 成田一郎→守屋栄夫	大正15年10月16日 (1926)	1枚・ペン	86-255
葉書〔長崎のカステラ送付〕 成田一郎→守屋栄夫	大正15年10月18日 (1926)	1枚・ペン	86-254
葉書〔群馬・長野県視察〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和2年4月22日(1927)	1枚・ペン	85-9-84
葉書〔県庁の更迭騒ぎの件〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和2年5月20日(1927)	1枚・ペン	86-156
葉書〔昭和医療付属病院に入院〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和3年7月27日(1928)	1枚・ペン	86-325-69
葉書〔今治にて講演〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和4年1月14日(1929)	1枚・墨書	86-328-8
書簡〔衆議院傍聴、図書整理事務員に関する要項他〕 成田一郎・坂本栄伍→守屋栄夫	昭和4年2月5日(1929)	2通・墨書・ペン	6-56-10
葉書〔マルセイユ到着報告〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和4年5月25日(1929)	1枚・ペン	84-6-33
書簡〔二郎お世話御礼、近況報告〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和4年7月17日(1929)	1通・ペン	85-4-1-7
葉書〔トレード・ユニオン・コンGRESの大会視察で ベルファスト訪問〕 成田一郎→守屋栄夫	昭和4年9月4日(1929)	1枚・ペン	84-3-22
書簡〔参事官転任祝い〕 成田一郎→守屋栄夫	大正 10月6日	1通・墨書	9-27-6
葉書〔ご機嫌伺い、健康記念〕 成田央介・佐々木忠右衛門 →守屋栄夫	昭和3年4月3日(1928)	1枚・ペン	86-329-41
葉書〔臨時議会での奮闘労い〕 成田央介→守屋栄夫	昭和3年5月12日(1928)	1枚・ペン	86-325-49
葉書〔寮友集会〕 成田央介・佐藤ふく・広田康・瀬戸潔・鈴木 竹蔵・今野長三郎・今井太郎→守屋栄夫	昭和6年4月19日(1931)	1枚・ペン	86-66
書簡〔よしみ女子出産〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正6年8月13日(1917)	1通・墨書	83-14-88
書簡〔成田喜十郎就職斡旋依頼〕 成田喜十郎→守屋栄 夫	大正6年12月29日 (1917)	1通・墨書	83-14-195
書簡〔各種学校下級職員の弊害について〕 成田喜十郎 →守屋栄夫	大正7年1月14日(1918)	1通・ペン	83-7-22

書簡 / 来信

書簡〔鈴川・大宮・静岡にて郡長・公官衙・学校訪問〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正7年6月15日(1918)	1通・墨書	84-19-36
書簡〔凶悪犯行驚きと見舞〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正8年9月4日(1919)	1通・墨書	9-17-19
書簡〔水野総監、地円局長婚儀媒酌人の件〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正9年11月7日(1920)	1通・墨書	81-750
書簡〔千葉県教諭転任の件御配慮感謝〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正12年6月26日(1923)	1通・ペン	80-2-2-32
書簡〔転任願い、娘の結婚〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正15年3月6日(1926)	1通・ペン	85-8-15
書簡〔細川内務部長からの手紙について〕 成田喜十郎→守屋栄夫	大正15年3月10日(1926)	1通・ペン	85-8-5
書簡〔選挙立候補につき神前の加護に依り優勝祈願〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和3年2月6日(1928)	1通・墨書	10-414-16
書簡〔仙台発行二新聞の選況観測に付報告〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和3年2月8日(1928)	1通・墨書	10-414-8
書簡〔小嶋氏の件、千葉高等女学校の教員俸給、仙台市での自動車屋経営の件〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和3年3月31日(1928)	1通・墨書	10-118
書簡〔新盆、近況報告〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和4年8月23日(1929)	1通・墨書	5-17-25
書簡〔田尻町大河内氏令嬢転学の件〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和4年8月24日(1929)	1通・ペン	5-17-30
書簡〔立憲政友会入党祝い〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和4年12月30日(1929)	1通・墨書	10-403-13
書簡〔選挙について〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和5年4月10日(1930)	1通・墨書	10-405-29
書簡〔推薦状依頼〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和6年1月19日(1931)	1通・墨書	86-356-24
書簡〔31日付官報にて閑散の身、人事報告〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和6年4月8日(1931)	1通・墨書	86-346-14
書簡〔二郎商工省属官採用挨拶〕 成田喜十郎→守屋栄夫	昭和6年6月27日(1931)	1通・墨書	86-352-15
葉書〔欧州見物、帰国予定通知〕 成田四郎→守屋栄夫	昭和2年1月25日(1927)	1枚・ペン	7-147-277
書簡〔送金御礼、近況報告〕 成田園枝→守屋栄夫	大正10年2月15日(1921)	1通・墨書	9-25-5
書簡〔二郎が心配のため尽力願い〕 成田園枝→守屋栄夫	昭和4年5月24日(1929)	1通・ペン	85-4-2-18
書簡〔一昨日付で退職、藤田男爵邸を訪問〕 成田園枝→守屋栄夫	昭和4年5月26日(1929)	1通・ペン	84-6-51
書簡〔二郎を商工省へ照会依頼〕 成田園枝→守屋栄夫	昭和4年7月19日(1929)	1通・ペン	86-322-169
書簡〔安田茂氏就職幹旋依頼〕 成田みわ→守屋栄夫	昭和6年6月11日(1931)	1通・墨書	86-352-25
書簡〔お悔やみ状〕 成田泰二郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-39
書簡〔欠礼挨拶〕 成家毅→守屋栄夫	昭和11年12月29日(1926)	1通・墨書・活版	85-7-2-54
葉書〔ご健康祝い〕 成毛基雄→守屋栄夫	大正7年8月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-88
葉書〔台湾出張挨拶〕 成毛基雄→守屋栄夫	昭和3年7月16日(1928)	1枚・ペン	86-322-150

書簡〔お悔やみ状〕 成毛基雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-120
葉書〔ベルリンより帰京挨拶〕 成島良亮→守屋栄夫	昭和5年9月19日(1930)	1枚・ペン	86-1-51
書簡〔お悔やみ状〕 南寛寿→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-28-9
葉書〔寒中見舞〕 南基允→守屋栄夫	大正15年1月23日(1926)	1枚・ペン	86-322-15
葉書〔松禾郡転勤挨拶〕 南基允→守屋栄夫	大正15年8月24日(1926)	1枚・ペン	86-216
葉書〔松禾温泉より〕 南基允→守屋栄夫	大正15年12月2日(1926)	1枚・ペン	86-322-65
葉書〔ご機嫌伺い〕 南基允→守屋栄夫	昭和3年1月26日(1928)	1枚・ペン	86-329-37
書簡〔当選祝い〕 南基允→守屋栄夫	昭和3年2月8日(1928)	1通・ペン	7-147-139
書簡〔お悔やみ状〕 南基允→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-11-3
書簡〔中身欠〕 南基允→守屋栄夫	大正	1通・ペン	85-10-22
葉書〔ロンドンより挨拶状〕 南宮宮→守屋栄夫	大正15年8月11日(1926)	1枚・ペン	86-209
書簡〔お悔やみ状〕 南宮宮→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	9-26-11
書簡〔財務部の人事異動の件〕 南宮宮→守屋栄夫	昭和4年12月17日(1929)	1通・墨書	5-14-13
書簡〔梨送付〕 南宮宮→守屋栄夫	昭和6年12月28日(1931)	1通・墨書	86-351-18
書簡〔胡桃送付〕 南宮宮→守屋栄夫	昭和8年12月21日(1933)	1通・墨書	84-17-3
葉書〔近況報告〕 南条宏策〔東京陸軍士官学校第五中隊第二区隊〕→守屋栄夫	明治39年4月8日(1906)	1枚・ペン	9-23-40
葉書〔お悔やみ状〕 南条宏策→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・ペン	5-25-10-32-9
書簡〔耕地整理費守屋家負担額通知〕 南条正亮→守屋栄夫	大正6年5月31日(1917)	1通・墨書	83-14-36
書簡〔県道問題確実に施工せられるべし〕 南条正亮→守屋栄夫	昭和7年9月21日(1932)	1通・墨書	83-11-2
書簡〔本年度時局匡救事業に関する協定(写)、道路問題に付近況報告〕 南条正亮→守屋栄夫	昭和8年1月17日(1933)	1通・ペン	85-5-18
書簡〔村内道路問題の件、県関係課長の内諾〕 南条正亮→守屋栄夫	昭和8年6月24日(1933)	1通・ペン	83-6-22
に			
葉書〔お悔やみ状〕 新妻康愛→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・墨書	9-15-113
葉書〔新京建設、出張日程〕 新原長三郎→守屋栄夫	昭和8年10月12日(1933)	1枚・ペン	86-323-44
葉書〔暑中見舞い〕 二階堂清寿→守屋栄夫	大正7年8月12日(1918)	1枚・ペン	82-3-360
書簡〔お悔やみ状〕 二階堂清寿→守屋栄夫	大正12年3月25日(1923)	1通・墨書	18-14-161

書簡〔昇官祝い、立候補を願う〕 二階堂清寿→守屋栄夫	昭和2年11月5日(1927)	1通・ペン	85-9-114
葉書〔二校柔道部員署名〕 二高柔道部〔渡辺清い三・今西方一・高橋勝治・阿部修・野口平吉・橋本昌武・菊池幸男・増博〕→守屋栄夫	昭和4年2月6日(1929)	1枚・ペン	86-324-26
書簡〔新艇庫建設支援依頼〕 二高尚志会端艇部→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・ペン・謄写版	5-27-25
葉書〔時候の挨拶、月末迄に帰京予定〕 西岡竹次郎→守屋栄夫	昭和6年6月25日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-351
書簡〔宮崎県開発専念のため蚕糸課長兼務拝命〕 西岡広吉→守屋栄夫	昭和2年8月16日(1927)	1通・墨書	78-23-26
葉書〔宮崎神社海岸の風景〕 西岡広吉→守屋栄夫	昭和2年10月17日(1927)	1枚・ペン	84-1-116
葉書〔年賀状〕 西岡広吉→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-225
葉書〔九州地域の状況報告〕 西岡→守屋栄夫	昭和5年8月5日(1930)	1枚・ペン	86-322-272
葉書〔郡長所諸事指導、青年の共同生活体講習〕 西加茂家母・藤平→守屋栄夫	大正6年11月3日(1917)	1枚・ペン	81-100-2
葉書〔お悔やみ状〕 西川常三郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・墨書	5-12-26
書簡〔お悔やみ状〕 西川義方→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書・活版	9-15-17
書簡〔お悔やみ状〕 西川令蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-16
葉書〔お悔やみ状〕 錦織兵三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	9-15-150
葉書〔ワシントンより挨拶状〕 西崎鶴司→守屋栄夫	昭和4年4月11日(1929)	1枚・ペン	86-322-123
葉書〔イギリスの議会解散と選挙戦の様子〕 西崎鶴司→守屋栄夫	昭和4年5月29日(1929)	1枚・ペン	84-6-19
葉書〔ドイツ到着、ドイツの状況〕 西崎鶴司→守屋栄夫	昭和4年7月31日(1929)	1枚・ペン・活版	86-322-324
葉書〔年賀状〕 西崎鶴司→守屋栄夫	昭和5年1月1日(1930)	1枚・ペン	84-1-4
葉書〔朝鮮にて師団対抗演習の様子等報告〕 西崎鶴司→守屋栄夫	昭和5年10月12日(1930)	1枚・ペン	86-1-23
電報〔出帆祝い、無事帰朝祈念〕 ニシザキ→守屋栄夫	大正12年1月24日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-13
電報〔出帆祝い、無事帰朝祈念〕 ニシザキ→守屋栄夫	大正12年1月24日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-14
書簡〔暑中見舞い〕 西塚四郎→守屋栄夫	昭和8年8月3日(1933)	1通・墨書	84-18-26
葉書〔平壤甘栗送付〕 西塚四郎→守屋栄夫	昭和8年カ28日(1933)	1枚・ペン	86-323-42
書簡〔試験準備〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正6年5月22日(1917)	1通・墨書・ペン	83-14-50
書簡〔合格報告〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正6年8月8日(1917)	1通・ペン	81-96
書簡〔学校生活〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正6年10月13日(1917)	1通・ペン	81-77
葉書〔松井知事と会談〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正6年10月22日(1917)	1枚・ペン	81-168
書簡〔帰省先から近況報告〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正6年12月28日(1917)	1通・ペン	81-177

葉書〔挨拶状〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正6年(1917)	1枚・ペン	81-22
書簡〔接見時の感想、帰参予定〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正7年4月16日(1918)	1通・ペン	5-6-32
書簡〔松江来訪御礼〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正7年8月16日(1918)	1通・ペン	83-2-11
書簡〔退院後養生報告〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正8年6月25日(1919)	1通・ペン	83-10-19
書簡〔病氣回復、思想に変化〕 西村俊吉→守屋栄夫	大正9年1月24日(1920)	1通・ペン	82-3-207
書簡〔転勤餞別御礼〕 西村為子→守屋栄夫	大正6年3月13日(1917)	1通・墨書	84-20-159
書簡〔監專掛長問題決定につき一安心他〕 西村伴吉→守屋栄夫	大正5年7月12日(1916)	1通・墨書	81-266
葉書〔お礼状〕 西村伴吉→守屋栄夫	大正6年2月17日(1917)	1枚・ペン	81-120
書簡〔受験結果報告〕 西村伴吉→守屋栄夫	大正6年7月25日(1917)	1通・墨書	84-7-38
書簡〔容態快方、学校出席日数〕 西村伴吉→守屋栄夫	大正8年8月10日(1919)	1通・墨書	9-10-1
書簡〔新政の件〕 西村伴吉→守屋栄夫	大正9年2月27日(1920)	1通・ペン	81-633
書簡〔権関中学校長野村礼讓君就職幹旋依頼〕 西村保吉→守屋栄夫	大正5年7月11日(1916)	1通・墨書	84-20-36
書簡〔息子への御高配御礼〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年2月23日(1917)	1通・墨書	84-20-84
書簡〔鞭撻願ひ、近況報告〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年3月3日(1917)	1通・墨書	84-20-78
書簡〔内務省へ栄転のこと〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年5月8日(1917)	1通・墨書	83-14-208
葉書〔皇太子殿下啓の際お世話に〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年7月10日(1917)	1枚・ペン	82-3-390
書簡〔高等農業学校問題につき報告〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年9月18日(1917)	1通・ペン・墨書	83-14-111
書簡〔地方官に対し後援を期待〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年12月7日(1917)	1通・墨書	83-14-119
書簡〔県会可決につき景況報告〕 西村保吉→守屋栄夫	大正6年12月15日(1917)	1通・ペン	83-14-91
書簡〔高等農林学校・農林大学の件〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年カ1月20日(1918)	1通・墨書	83-9-5
書簡〔代議士協議結果各方面へ提出、結果提出書類送付〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年1月24日(1918)	1通・墨書	5-6-52-1
書簡〔資料配布報告〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年1月24日(1918)	1通・墨書	5-6-52
書簡〔地方官会議開催、五月上旬の見込み、高等農学校の件〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年4月21日(1918)	1通・墨書	5-26-20
葉書〔本日は会社昇格式挙行〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年5月26日(1918)	1枚・ペン	82-3-358
書簡〔興学基金設置の旨〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年6月5日(1918)	1通・墨書・活版	83-9-33
書簡〔講習会講演依頼〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年6月28日(1918)	1通・墨書	5-6-34
書簡〔高等文官採用に関して〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年7月19日(1918)	1通・墨書	83-9-24
書簡〔内務省訪問ほか〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年8月14日(1918)	1通・墨書	83-7-1
書簡〔来年度予算報告、就職希望報告〕 西村保吉→守屋栄夫	大正7年11月7日(1918)	1通・墨書	84-9-22

葉書〔出張のこと〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年2月16日(1919)	1枚・ペン	84-19-11
書簡〔病氣入院報告〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年6月7日(1919)	1通・ペン	83-2-38
書簡〔先生の件〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年6月27日(1919)	1通・墨書	83-13-5
書簡〔札幌農科大学教授大島金太郎博士推挙状〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年10月26日(1919)	1通・ペン	5-28-14
書簡〔後任詮議につき相談〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年11月7日(1919)	1通・ペン	83-2-51
書簡〔大島博士紹介〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年11月8日(1919)	1通・ペン	5-28-15
書簡〔高岡市長出願の件、実地調査を要す〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年11月15日(1919)	1通・ペン	5-28-27
書簡〔岡土木部長の件、神田本岡転任、後任配置の件〕 西村保吉→守屋栄夫	大正8年12月11日(1919)	1通・墨書	5-28-20
書簡〔留守中対応感謝、井上角五郎の動向〕 西村保吉→守屋栄夫	大正9年7月31日(1920)	1通・ペン	5-5-22
書簡〔滞京中労い、最近の体調〕 西村保吉→守屋栄夫	大正9年12月25日(1920)	1通・ペン	5-5-17
書簡〔京城の新年、俳句、原・岡本の人事、文化政策〕 西村保吉→守屋栄夫	大正10年1月12日(1921)	1通・墨書	5-5-27
書簡〔お悔やみ、面会願ひ〕 西村保吉→守屋栄夫	大正12年4月30日(1923)	1通・ペン	80-2-1-7
書簡〔ご高配願ひ〕 西村保吉→守屋栄夫	大正13年10月3日(1924)	1通・墨書	85-1-32-5
書簡〔青坂氏書面拝見〕 西村保吉→守屋栄夫	大正15年6月28日(1926)	1通・墨書	85-3-1-20
書簡〔令息御結婚祝ひ〕 西村保吉→守屋栄夫	大正15年10月15日(1926)	1通・墨書	78-23-9
葉書〔伊達公爵家依頼について〕 西村保吉→守屋栄夫	大正15年12月18日(1926)	1枚・ペン	85-3-4-32
葉書〔書状について〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和2年1月22日(1927)	1枚・ペン	85-7-5-12
書簡〔立候補決心、法学士佐藤吉態身上の件〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和3年1月15日(1928)	1通・ペン	10-408-96
書簡〔「太平洋時代来る」送付の御礼〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和3年4月22日(1928)	1通・墨書	10-175
書簡〔弁護士開業祝ひ〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和3年5月10日(1928)	1通・ペン	10-408-152
葉書〔お悔やみ状〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和4年4月7日(1929)	1枚・ペン	86-327-21
書簡〔学院映画会御礼〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和4年12月16日(1929)	1通・墨書・ペン	5-14-19
書簡〔昭和連盟総裁就任・政友会入会を新聞で拝見、奮闘希望他〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和4年12月31日(1929)	1通・墨書	10-410-1
書簡〔伊東子爵一書差し出し〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和6年12月10日(1931)	1通・墨書	84-30-30
書簡〔御苦勞見舞〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和7年1月22日(1932)	1通・墨書	83-1-47
書簡〔令息結婚祝ひ他近況報告〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和7年4月22日(1932)	1通・墨書	83-1-50

葉書〔白菜送付御礼〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和7年12月12日 (1932)	1枚・ペン	84-14-17
書簡〔白菜御恵贈御礼〕 西村保吉→守屋栄夫	昭和8年12月8日 (1933)	1通・墨書	84-17-19
書簡〔市・郡に構成人数通知他、取り計らい依頼〕 西村保吉→守屋栄夫	大正4月25日	1通・墨書	84-20-107
書簡〔朝鮮総督府山林部人事の件〕 西村保吉→守屋栄夫	大正12月5日	1通・ペン	86-353-7
書簡〔新年休暇にて上京、面会願い〕 西村保吉→守屋栄夫	大正12月31日	1通・墨書	83-13-16
書簡〔岡正雄ほか人事案〕 西村保吉→守屋栄夫	大正12月1日	1通・ペン	5-28-13
書簡〔当地滞在にて調査の件〕 西村保吉→守屋栄夫	13年カ2月15日	1通・墨書	86-353-19
書簡〔他人の名前にて出願の件〕 西村保吉→守屋栄夫	2月19日	1通・墨書	86-353-21
書簡〔新課長の件〕 西村保吉→守屋栄夫	2月20日	1通・ペン	81-642
書簡〔お悔やみ状〕 西村芳雄→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・ペン	9-29-21
書簡〔次官・秘書官・秘書課主任への上申書に関する報告〕 西村〔内務部長〕→守屋栄夫	大正6年1月13日 (1917)	1通・墨書	84-20-147
電報〔航海平安と健康祈願〕 ニシムラ→守屋栄夫	大正12年1月22日 (1923)	1通・謄写版	80-40-5-5
葉書〔出張につき近況報告〕 西山左内→守屋栄夫	明治44年7月30日 (1911)	1枚・墨書	81-288
書簡〔お悔やみ状〕 西山左内→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-136
書簡〔当選祝い〕 西山哲治〔私立帝国小学校幼稚園校長〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・ペン	10-407-77
葉書〔帰朝報告、紐育大学諸教授との歓迎会〕 西山哲治→守屋栄夫	昭和3年9月 (1928)	1枚・ペン	86-325-90
葉書〔加藤内閣につき所感〕 新田愛→守屋栄夫	大正12年8月12日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-28
葉書〔機嫌伺い〕 (英語) W.M. Nitobo→守屋栄夫	大正14年12月26日 (1925)	1枚・ペン	86-322-12
書簡〔お悔やみ状〕 蜷川親志→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-87
葉書〔お悔やみ状〕 二瓶恭治郎→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1枚・墨書	5-27-2
書簡〔地方有志、調査委員に立候補当選〕 二瓶恭治郎→守屋栄夫	昭和5年10月20日 (1930)	1通・墨書	10-59
書簡〔お悔やみ状〕 二瓶八郎→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-2-2
書簡〔日本倶楽部への入金依頼〕 日本倶楽部→守屋栄夫	大正15年5月5日 (1926)	1通・ペン・活版	85-3-2-12
葉書〔選挙関連 (漢文)〕 日本太陽→守屋栄夫	昭和5年1月14日 (1930)	1枚・墨書	84-1-21
葉書〔選挙関連、白石他の様子〕 日本太陽〔日本党首〕→守屋栄夫	昭和5年1月16日 (1930)	1枚・墨書	84-1-22-1
書簡〔日本読書協会会費領収証〕 日本読書協会→守屋栄夫	大正15年7月2日 (1926)	1通・ペン・活版	85-3-1-22

書簡〔日本読書協会会費領収書〕 日本読書協会→守屋栄夫	昭和2年7月2日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-6-44
書簡〔領収書〕 日本読書協会→守屋栄夫	昭和2年12月20日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-3-31
葉書〔明治文化全集予約通知〕 日本評論社→守屋栄夫	昭和2年6月29日(1927)	1枚・ペン・活版	85-7-6-38
書簡〔「太平洋時代来る」売上げ部数等〕 日本評論社→守屋栄夫	昭和3年12月26日(1928)	1通・ペン	6-55-26
書簡〔中身欠〕 丹羽氏彦→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1通・墨書	10-407-51
書簡〔お悔やみ状〕 丹羽淑→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-14
書簡〔お悔やみ状〕 任兢淳→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	5-12-46

ぬ

葉書〔健康祈念〕 布村重次郎・朴重陽→守屋栄夫	昭和4年3月24日(1929)	1枚・墨書	86-327-15
書簡〔お悔やみ状〕 沼田清五郎→守屋栄夫・徳夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-16
書簡〔当選祝い〕 沼田清五郎〔柴田農林学校〕→守屋栄夫	昭和	1通・墨書	10-183
書簡〔就職幹旋御礼〕 沼田留吉→守屋栄夫	昭和8年4月9日(1933)	1通・墨書	84-10-14
葉書〔年賀状〕 沼田多→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・活版	86-322-192

ね

書簡〔石黒兵次郎氏紹介〕 根岸善三郎→守屋栄夫	大正7年6月15日(1918)	1通・墨書	84-19-31
書簡〔拝眉願い〕 根岸善三郎→守屋栄夫	大正7年6月20日(1918)	1通・墨書	84-19-32
書簡〔大阪滞在の予定について〕 根岸善三郎→守屋栄夫	大正7年6月27日(1918)	1通・墨書	5-26-12
書簡〔校長就任の件につき〕 根岸善三郎→守屋栄夫	大正7年6月30日(1918)	1通・墨書	84-19-33
書簡〔お悔やみ状〕 根来長太→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-36

の

葉書〔虫損甚大判読不能〕 野上久万吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	10-408-85
葉書〔お悔やみ状〕 野上久万吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	6-57-57
葉書〔暑中見舞い〕 野口三次郎→守屋栄夫	大正8年8月2日(1919)	1枚・墨書	82-3-369
葉書〔年賀状〕 野口三次郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン	86-326-31
葉書〔当選祝い〕 野口三次郎→守屋栄夫	昭和3年2月28日(1928)	1枚・ペン	10-408-39
書簡〔お悔やみ状〕 野口三次郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	5-12-29
葉書〔挨拶状〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正5年6月20日(1916)	1枚・ペン	81-148
書簡〔奉天到着、近況報告〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正5年7月21日(1916)	1通・墨書	84-20-52

書簡〔本年学校選抜試験執行〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正6年7月23日(1917)	1通・墨書	84-7-39
葉書〔暑中見舞い〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正7年8月3日(1918)	1枚・ペン	82-3-110
書簡〔退職決心、小学校へ籍を置く〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正8年11月18日(1919)	1通・墨書	83-2-45
葉書〔転居通知〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正13年7月1日(1924)	1枚・ペン・活版	9-22-10
書簡〔講演会御礼〕 野沢常太郎→守屋栄夫	昭和2年3月23日(1927)	1通・ペン	85-9-71
葉書〔転居通知〕 野沢常太郎→守屋栄夫	昭和2年10月23日(1927)	1枚・活版	85-9-38
書簡〔お悔やみ状〕 野沢常太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-164
書簡〔当選祝い〕 野沢常太郎→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-369
書簡〔富山氏紹介の件〕 野沢常太郎→守屋栄夫	大正10月20日	1通・墨書	5-6-37
書簡〔中身欠〕 野沢孝之→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・ペン	10-414-14
書簡〔栄転祝い〕 野地清与→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-204
葉書〔小屋を新築し移転〕 能勢岩吉→守屋栄夫	昭和1年2月29日(1926)	1枚・活版・ペン	85-7-2-1-3
葉書〔ご舎弟来会〕 能勢岩吉→守屋栄夫	大正15年9月24日(1926)	1枚・ペン	86-245
葉書〔暑中見舞い〕 能勢美登利→守屋栄夫	昭和4年7月26日(1929)	1枚・ペン	86-286
書簡〔母ひでをへの弔意〕 野田景之→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	5-25-5
書簡〔熱田神宮宮司拝命〕 野田菅麿→守屋栄夫	大正6年1月26日(1917)	1通・墨書	84-20-157
書簡〔お悔やみ状〕 野田菅麿→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-7
葉書〔年賀状〕 野田次一〔教育団代表〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	85-7-2-27
書簡〔お悔やみ状〕 野竹政富→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-42
葉書〔欠礼挨拶〕 野田醤油株式会社工場課→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1枚・ペン・活版	85-7-2-32
葉書〔当選祝い〕 野津要太郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	84-3-3
書簡〔お悔やみ状〕 野手耐→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-34
書簡〔お悔やみ状〕 宣森豊→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-80
書簡〔当選祝い〕 野村今朝治→守屋栄夫	昭和3年3月6日(1928)	1通・墨書・ペン	10-116
葉書〔年賀状〕 野村精策→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-20
葉書〔当選祝い〕 野村安二郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-238
葉書〔小会講話依頼〕 野村吉三郎→守屋栄夫	大正15年7月11日(1926)	1枚・ペン	85-3-1-15
書簡〔赴任挨拶〕 野村礼讓→守屋栄夫	大正5年9月25日(1916)	1通・墨書	84-20-49
書簡〔大分県杵築中学校校長野村礼讓就職幹旋依頼〕 乗杉嘉寿→守屋栄夫	大正5年7月11日(1916)	1通・墨書	84-20-35
書簡〔選挙御出馬、利府村来訪依頼〕 野路清蔵→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書・ペン	9-16-1

書簡〔議員活動応援〕 野路清蔵→守屋栄夫	昭和6年4月16日(1931)	1通・墨書	86-354-8
は			
書簡〔青山正次郎君の就職幹旋願い〕 芳賀健治→守屋栄夫	昭和4年11月17日(1929)	1通・ペン	10-403-25
葉書〔お悔やみ状〕 芳賀祐次郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・墨書	9-15-157
葉書〔挨拶状〕 芳賀→守屋栄夫	大正6年9月30日(1917)	1枚・墨書	81-25
葉書〔ロンドン染織物見物〕 芳賀→守屋栄夫	大正14年8月22日(1925)	1枚・ペン	84-2-60
書簡〔政治問題、暴風による水害、ロンドンよりニューヨークに到着〕 芳賀→守屋栄夫	大正14年9月14日(1925)	1通・ペン	84-5-53
書簡〔総督府試補採用担当松本博士後任に三猪博士の取り計らい依頼〕 萩田悦造→守屋栄夫	大正8年9月17日(1919)	1通・墨書	9-25-12
書簡〔お悔やみ状〕 萩谷關夫→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-10-1-4
葉書〔『英領印度の民族運動』贈呈〕 萩原彦三〔朝鮮総督府文書課長〕→守屋栄夫	昭和5年5月(1930)	1枚・ペン・活版	84-4-8
書簡〔東拓会社の監事当選につき報告〕 伯錐辺→守屋栄夫	昭和4年5月26日(1929)	1通・墨書	85-4-4-27
葉書〔遠藤君先日迄病氣〕 橋川司亮→守屋栄夫	明治44年6月18日(1911)	1枚・ペン	81-541
葉書〔謝平素之疎音〕 橋爪精一→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-40
葉書〔当選祝い〕 橋爪精一→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・ペン	7-147-228
書簡〔朝鮮名産恵贈につきお礼・現政府の政策愈語り大打解を要する〕 橋爪精一→守屋栄夫	昭和5年7月3日(1930)	1通・墨書	10-411-29
書簡〔お悔やみ状〕 橋爪平兵衛〔埼玉県健康保健署長健康保健署事務官〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書・活版	9-15-159
書簡〔部屋の修繕〕 橋本幾→守屋栄夫	明治40年8月8日(1907)	1通・墨書	6-46-29
葉書〔支部設置につき配慮の依頼〕 橋本茂雄→守屋栄夫		1枚・ペン	81-248
書簡〔お悔やみ状〕 橋本寛〔釜山地方法院長〕→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン	5-27-28
葉書〔ご所望のノートお預けの件〕 橋本まき子→守屋栄夫	明治41年3月22日(1908)	1枚・墨書	6-46-22
書簡〔地震と噴火の報告〕 橋本みか子→守屋栄夫	明治42年3月28日(1909)	1通・墨書	6-46-31
葉書〔御礼状〕 橋本守一→守屋栄夫	明治44年12月7日(1911)	1枚・墨書	81-562
書簡〔解散多忙と付度、義母の家そのままならず橋本取扱い承知願〕 橋本守一→守屋栄夫	昭和7年1月24日(1932)	1通・ペン・墨書	83-1-42
書簡〔伴男結婚祝い送付〕 橋本守一→守屋栄夫	昭和7年5月8日(1932)	1通・墨書	84-24-9
書簡〔中島先生追悼演説会開催相談〕 橋本良吉→守屋栄夫	昭和6年3月30日(1931)	1通・墨書	86-357-2

書簡〔貸付金額報告につき礼状、鳴瀬村助役の面談につき依頼〕 橋本良吉→守屋栄夫	昭和6年6月26日(1931)	1通・墨書	86-352-14
葉書〔満洲行中止〕 蓮沼明玄→守屋栄夫	大正15年6月20日(1926)	1枚・ペン	84-3-105
葉書〔退院の見舞状〕 蓮沼明玄→守屋栄夫	昭和2年3月26日(1927)	1枚・ペン	84-1-83
葉書〔基隆到着〕 蓮沼明玄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	84-3-14
葉書〔仁川港出帆せず〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正13年7月26日(1924)	1枚・ペン	9-22-2
書簡〔内務省社会局部長就任祝い、朝鮮の近況報告〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正13年9月17日(1924)	1通・ペン・謄写版・墨書	85-1-4
書簡〔満鮮講習会の報告と決意〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正14年9月24日(1925)	1通・ペン	85-10-96
書簡〔修養団の近況報告〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正14年10月31日(1925)	1通・ペン	85-10-61
書簡〔修養団の活動報告、協力お願い〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年1月3日(1926)	1通・ペン	85-3-8-41
書簡〔融和講習会開会につき近況報告〕、絵葉書〔教化団体の講習会ご指導依頼〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年2月24日(1926)	1通・ペン	85-3-3-45
葉書〔会津における講習会につき景況報告〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年3月16日(1926)	1枚・ペン	86-322-9
葉書〔秩父セメント会社の講習会〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年4月15日(1926)	1枚・ペン	84-5-44
葉書〔挨拶状〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年7月3日(1926)	1枚・ペン	86-26
葉書〔書籍を講習会員へ配布の件〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年8月22日(1926)	1枚・ペン	86-13
書簡〔修養団の冊子「光を仰ぎて」普及協力願い〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年8月28日(1926)	1通・墨書	85-3-7-17
葉書〔京都光明寺における住友講習会で松元氏らに面会の件〕 蓮沼門三→守屋栄夫	大正15年11月4日(1926)	1枚・ペン	86-262
書簡〔台湾より帰国予定を記した絵葉書1枚封入〕 蓮沼門三〔財団法人修養団主幹〕→守屋栄夫	大正15年12月21日(1926)	1通・ペン	85-3-6-2
葉書〔吉野丸の写真、吉野丸で24日門司に着く〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1枚・ペン	85-3-6-5
書簡〔御厚遇御礼〕 蓮沼門三〔財団法人修養団主幹〕→守屋栄夫	昭和2年1月22日(1927)	1通・墨書	85-7-5-33
書簡〔修養団報告〕 蓮沼門三〔財団法人修養団主幹〕→守屋栄夫	昭和2年7月25日(1927)	1通・謄写版	85-7-6-29
葉書〔満洲各地の修養団講習終了〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和3年8月4日(1928)	1枚・ペン	86-325-64
葉書〔満洲各地の講演を終え朝鮮着〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和3年8月7日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-232
書簡〔修養団「救国運動と教化総動員」刊行につき送付〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和4年11月27日(1929)	1通・墨書・活版	86-324-96

葉書〔教育勅語記念日にあたり挨拶状〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和5年10月30日 (1930)	1枚・墨書	86-1-15
葉書〔全鮮大会等参加報告〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和6年5月31日 (1931)	1枚・活版	86-322-314
葉書〔朝鮮等視察経過報告〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和6年6月1日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-313
書簡〔満州より帰国にて挨拶状、満州通信と切なる御願い〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和7年8月6日 (1932)	1通・ペン・謄写版	83-3-1
葉書〔台湾での生活、明総党を議会に送る準備等台湾政治近況〕 蓮沼門三→守屋栄夫	昭和2月27日	1枚・ペン・活版	86-322-261
葉書〔お詫び〕 蓮沼門三→守屋栄夫	3月31日	1枚・ペン	84-5-10
葉書〔広島高師・大阪市電講習など参加の件〕 蓮沼門三	7月5日	1枚・ペン	86-171
葉書〔朝鮮・満洲巡回〕 蓮沼門三→守屋栄夫		1枚・ペン	7-147-328
葉書〔秩父セメント支部の例会から帰京につき報告〕 蓮沼→守屋栄夫	大正15年11月14日 (1926)	1枚・ペン	84-1-46
葉書〔御祝状〕 蓮沼	昭和3年7月17日カ (1928)	1枚・ペン	86-325-54
書簡〔お悔やみ状〕 長谷亀四郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	9-28-38
書簡〔お悔やみ状〕 長谷訥造→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	5-12-37
書簡〔病氣全快報告〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正6年7月13日 (1917)	1通・墨書	83-14-162
葉書〔昨日まで県庁に参る、本日は伊勢神宮に参拝〕 長谷川久一→守屋栄夫・阿部寿準	大正7年6月28日 (1918)	1枚・ペン	82-3-234
葉書〔桜島見物〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正7年9月27日 (1918)	1枚・ペン	82-3-382
葉書〔30日那覇着、近況報告〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正7年10月9日 (1918)	1枚・ペン	82-3-178
書簡〔高等官一同より送別会開催の案内〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正7年12月12日 (1918)	1通・墨書	83-7-13
書簡〔李太王御葬儀の事につき〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正8年3月5日 (1919)	1通・墨書	84-19-3
葉書〔函館に安着〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正8年5月16日 (1919)	1枚・墨書	82-3-176
葉書〔校長会議の様子〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正8年6月11日 (1919)	1枚・ペン	82-3-27
書簡〔近況報告〕 長谷川久一→守屋栄夫	大正13年10月4日 (1924)	1通・ペン	85-1-7
葉書〔欧州大陸旅行に行く〕 長谷川透→守屋栄夫	大正14年10月20日 (1925)	1枚・ペン	84-6-153
葉書〔ミラノからジュネーブ到着〕 長谷川透→守屋栄夫	大正14年10月22日 (1925)	1枚・ペン	84-6-151
葉書〔ニューヨーク到着、航海中の様子〕 長谷川透→守屋栄夫	大正14年11月12日 (1925)	1枚・ペン	84-6-56
葉書〔当選祝い〕 長谷川浪江→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1枚・墨書・活版	7-147-357
書簡〔報徳会の講演承諾のお礼状〕 長谷川半兵衛→守屋栄夫	大正15年5月31日 (1926)	1通・墨書	85-3-8-35

書簡〔大正報徳会講演の直前挨拶〕 長谷川半兵衛→守屋栄夫	大正15年6月7日(1926)	1通・墨書	85-3-8-32
書簡〔大正報徳会について〕 長谷川半兵衛→守屋栄夫	昭和2年7月12日(1927)	1通・墨書	85-7-6-25
書簡〔当選祝い〕 長谷川半兵衛→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-34
書簡〔お悔やみ状〕 長谷川半兵衛→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-49
葉書〔御礼状〕 長谷川モエ→守屋栄夫	大正14年10月18日(1925)	1枚・ペン	84-6-76
書簡〔お悔やみ状〕 長谷川良信→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-8
葉書〔ウラジオの近況〕 長谷部照悟→守屋栄夫	大正8年5月10日(1919)	1枚・ペン	84-7-17
書簡〔斎藤喜三郎の件お断り願い〕 羽田柊三郎→守屋栄夫	大正8年5月2日(1919)	1通・墨書	83-13-1
書簡〔尊翰に接し挨拶状〕 畑庄太郎→守屋栄夫	大正6年12月12日(1917)	1通・墨書	83-14-110
書簡〔「政友」8月号編輯につき御高説依頼〕 秦豊助・山崎達之輔・瀧正雄→守屋栄夫	昭和5年7月8日(1930)	1通・墨書	10-411-1
書簡〔石巻高女転任報告〕 畑平次→守屋栄夫	昭和7年9月23日(1932)	1通・墨書	83-11-28
書簡〔粗品笑納御礼〕 秦満→守屋栄夫	昭和8年12月27日(1933)	1通・墨書	85-6-2
書簡〔お悔やみ状〕 畑中四郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-45
書簡〔欧米の旅より、我等の進むべき道拝読の意見〕 秦野掛雄→守屋栄夫	大正15年6月23日(1926)	1通・墨書	85-3-1-13
葉書〔当選祝い〕 畑谷辰之助→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	10-408-6
葉書〔お悔やみ状〕 畑谷辰之助→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・墨書	5-8-16
書簡〔お悔やみ状〕 畠山敏行〔逋信省電務局長〕→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン・活版	9-15-114
葉書〔御栄転を祝す〕 畑山四男美→守屋栄夫	大正8年8月15日(1919)	1枚・ペン	9-10-12
書簡〔皇学会岐阜県の会員増加にて宣伝用会誌回送の依頼〕 畑山四男美→守屋栄夫	昭和3年8月15日(1928)	1通・墨書	10-408-126
葉書〔面会御礼〕 畑山四男美→守屋栄夫	昭和8年6月8日(1933)	1枚・ペン	84-30-3
葉書〔御見送りに間に合わず、御海容くだされたく〕 蜂須賀善亮→守屋栄夫	大正6年8月12日(1917)	1枚・ペン	82-3-170
葉書〔暑中見舞い〕 蜂須賀善亮→守屋栄夫	大正15年7月26日(1926)	1枚・墨書	86-322-46
葉書〔年賀状〕 蜂須賀善亮→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書	86-322-185
書簡〔お悔やみ状〕 蜂須賀善亮→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-20
葉書〔宮城にて社会施設視察の報告〕 八浜徳三郎→守屋栄夫	昭和2年3月6日(1927)	1枚・ペン	86-322-106
書簡〔お悔やみ状〕 八浜徳三郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-58
書簡〔自身の人事異動に関する近況報告、総選挙当選お祈り〕 蜂屋富四郎→守屋栄夫	昭和5年2月7日(1930)	1通・墨書	9-16-31

書簡〔農村の窮乏と救済に対する願い〕 蜂屋富四郎→守屋栄夫	昭和5年11月5日(1930)	1通・墨書・ペン	9-16-75
書簡〔満鮮支方面御視察の由遠察、国事多事多端、樺太の近況報告〕 蜂屋富四郎→守屋栄夫	昭和6年7月14日(1931)	1通・墨書	86-348-45
書簡〔「日本最初の普選宣言書紙上展覧会」〕 発展社名簿図書館→守屋栄夫	昭和4年2月9日(1929)	1通・墨書・活版	6-56-42
書簡〔紐育行汽船レザーブ其他の件につき回答願ひ〕 服部岱三→守屋栄夫	大正12年7月16日(1923)	1通・ペン	80-2-2-3
書簡〔電信書一括上並に電報の件につき報告〕 服部岱三→守屋栄夫	大正12年8月21日(1923)	1通・ペン	80-2-2-11
書簡〔貴台宛電信御転送の件につき受取願ひ〕 服部岱三→守屋栄夫	大正12年8月25日(1923)	1通・ペン	80-2-1-51-1
書簡〔挨拶状〕 服部時之助(愛知県庁)→守屋栄夫	昭和2年1月5日(1927)	1通・墨書	85-7-2-13
葉書〔和歌山各地写真入り絵葉書〕 八豊毅作→守屋栄夫	大正7年12月13日(1918)	1枚・活版・ペン	81-443
葉書〔白菜御恵贈御礼〕 鳩山一郎→守屋栄夫	昭和8年12月7日(1933)	1枚・墨書	84-17-26
葉書〔新年挨拶〕 花岡敏夫→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-30
書簡〔二高の同窓会を延期している事への状況報告〕 花岡敏夫→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1通・ペン	85-9-54
書簡〔第二東京弁護士会加入の案内状〕 花岡敏夫→守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1通・墨書・ペン	10-408-151
葉書〔「太平洋時代来る」の感想〕 花岡敏夫→守屋栄夫	昭和3年11月28日(1928)	1枚・ペン	84-3-29
葉書〔東北の氣候陰鬱、学徒は前途の不安〕 花岡敏夫→守屋栄夫	10月12日	1枚・ペン	84-1-106
書簡〔東京見物、京大での講習会に参加〕 花釜慶蔵→守屋栄夫	昭和4年2月23日(1929)	1通・ペン	6-56-20
書簡〔お悔やみ状〕 花釜慶蔵→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-10-1-3
書簡〔当選祝ひ〕 鼻崎三郎次→守屋栄夫	昭和3年カ2月25日(1928)	1通・墨書	10-241
葉書〔お届け金につき〕 花森利八郎→守屋栄夫	昭和5年カ10月14日(1930)	1枚・ペン	86-1-77
書簡〔学校職員の協力につき順調に赴任〕 羽生隆→守屋栄夫	大正5年5月28日(1916)	1通・墨書	84-20-58
書簡〔八巻先生転任の周旋方につき依頼〕 羽生隆→守屋栄夫	大正6年5月29日(1917)	1通・墨書	83-14-109
書簡〔暑中見舞い〕 羽生隆→守屋栄夫	大正6年7月16日(1917)	1通・墨書	83-14-161
書簡〔八巻先生への配慮につき礼状、弊社卒業生につき景況報告〕 羽生隆→守屋栄夫	大正6年9月9日(1917)	1通・墨書	83-14-98
書簡〔徳夫大学卒業祝辞〕 羽生隆→守屋栄夫	大正7年7月14日(1918)	1通・墨書	83-9-40
書簡〔贈品への礼状、今夏静養状況〕 羽生隆→守屋栄夫	大正7年8月3日(1918)	1通・墨書	5-6-29
書簡〔八巻先生の件お礼、愛知県の学校新設につき尽力願ひほか〕 羽生隆→守屋栄夫	大正7年8月29日(1918)	1通・墨書	5-26-18

書簡〔留任につき松井視学官との話し合い内容報告〕 羽生隆→守屋栄夫	大正7年12月15日 (1918)	1通・墨書	5-6-47
書簡〔内閣組織に東奔西走する由など近況報告〕 羽 生隆→守屋栄夫	大正8年1月24日 (1919)	1通・墨書	84-19-23
書簡〔去る29日朝着任、午後挨拶仕る等近況報告〕 羽 生隆→守屋栄夫	大正8年2月4日 (1919)	1通・墨書	84-19-10
書簡〔赴任、開校準備状況、歓迎会、地鎮祭報告〕 羽生 隆→守屋栄夫	大正8年3月21日 (1919)	1通・墨書	5-6-4
書簡〔帰任後の地方長官会議多忙見舞い、愛知県の近 況〕 羽生隆→守屋栄夫	大正8年5月3日 (1919)	1通・墨書	83-2-12
書簡〔横山文六氏の長野中学へ転任の噂につき報告、 生徒の作品発行につき報告〕 羽生隆→守屋栄夫	大正8年9月4日 (1919)	1通・墨書	9-17-21
書簡〔九州地方学事視察出張の様子、成東中学校騒動 、視学官渡辺氏栄転、亀城小学校校長高須氏元気の 旨〕 羽生隆→守屋栄夫	大正8年12月5日 (1919)	1通・墨書	81-639
書簡〔内務部長から招電、朝鮮視察、中学校に関して〕 羽生隆〔愛知県立第八中学校長〕→守屋栄夫	大正9年6月20日 (1920)	1通・墨書・ペン	5-16-10
書簡〔お悔やみ状〕 羽生隆→守屋栄夫・御奥様	大正12年3月18日 (1923)	1通・墨書	18-14-160
書簡〔先日はお目にかかれず失礼、大阪土産の漬物一 袋を小包で送る〕 羽生隆→守屋栄夫	大正15年2月21日 (1926)	1通・墨書	86-340
書簡〔東京での就職斡旋方依頼、川島良平氏の村上中 学校改革運動蹉跌につき報告〕 羽生隆→守屋栄夫	大正15年10月28日 (1926)	1通・墨書	78-23-3
書簡〔義兄佐伯正就職斡旋依頼〕 羽生隆→守屋栄夫	大正15年10月17日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-26
書簡〔戸田君の身上につきお礼、来月に講演依頼他〕 羽生隆→守屋栄夫	大正15年11月23日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-23
書簡〔選挙出馬につき親戚をご利用ください他選挙 関係〕 羽生隆→守屋栄夫	昭和3年1月21日 (1928)	1通・ペン	10-414-32
書簡〔当選祝い、政治活動への期待〕 羽生隆→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-170
葉書〔修養会開催〕 羽生隆→守屋栄夫	昭和3年8月22日 (1928)	1枚・ペン	86-325-61
書簡〔朝鮮での再就職斡旋依頼〕 羽生隆→守屋栄夫	昭和4年8月20日 (1929)	1通・ペン	85-4-1-8
葉書〔職人と人格に関する講演拝聴〕 羽生隆・前田宇治 郎→守屋栄夫	昭和6年4月20日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-301
書簡〔長崎県土村中学校満田氏への退職勧告の件〕 羽生隆→守屋栄夫	昭和7年5月31日 (1932)	1通・ペン	86-350-3
書簡〔協会研究生として採用につきお礼ほか〕 羽生 隆→守屋栄夫	昭和8年4月24日 (1933)	1通・墨書	84-10-3
書簡〔控訴審が始まる為に弁護願ひ〕 羽生健雄→守屋 栄夫	大正15年カ4月4日 (1926)	1通・ペン	18-14-44
葉書〔お悔やみ状〕 羽生健雄→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1枚・墨書	5-12-15
書簡〔遠田郡沼部村村長改選に関わる贈収賄事件の 新聞記事・弁護のため来仙御礼〕 羽生健雄→守屋栄 夫	昭和14年11月23日 (1939)	1通・活版・墨書	18-14-192-72

書簡〔小生事件控訴の可否につき所感〕 羽生健雄→守屋栄夫	昭和15年1月8日(1940)	1通・墨書・ペン	18-14-192-65
書簡〔自身の裁判、刑と恩給の関係などの懇願〕 羽生健雄→守屋栄夫	昭和15年1月14日(1940)	1通・墨書	18-14-192-5
書簡〔自身の裁判協力御礼、村松弁護士に依頼〕 羽生健雄→守屋栄夫	昭和15年1月19日(1940)	1通・墨書	18-14-192-11
書簡〔控訴の公判日を控えた心境と論述の相談〕 羽生健雄→守屋栄夫	昭和15年2月24日(1940)	1通・ペン	18-14-192-12
書簡〔当選祝い〕 馬場鉄一→守屋栄夫	2月22日	1通・墨書・活版	7-147-187
書簡〔お悔やみ状〕 馬場一衛→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-27
書簡〔年頭挨拶〕 馬場真吾〔教育団〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-2-56
書簡〔芝紅葉館で中島商相幹旋による懇談会の開催〕 馬場新次郎→守屋栄夫	昭和8年12月29日(1933)	1通・タイプ	84-17-10
書簡〔お悔やみ状〕 馬場轍→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-60
書簡〔お悔やみ状、御香典〕 馬場義也→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-10-7
書簡〔亡き母の忌明けにて近く訪問したく挨拶状〕 馬場義也→守屋栄夫	昭和7年11月9日(1932)	1通・墨書	83-4-6
葉書〔朝鮮の頽廃、渡鮮を期し御奮闘を祈る〕 馬場→守屋栄夫	昭和6年12月18日(1931)	1枚・ペン	86-347-49
書簡〔新年の挨拶、諒闇中につき年賀欠礼〕 羽計晟→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-1-8
書簡〔6月号は満蒙におけるロシアの施設特集につき写真拝借依頼〕 浜田徳太郎→守屋栄夫	大正15年4月8日(1926)	1通・墨書・ペン	78-23-60
書簡〔事件に就て熱心なる弁護につきお礼〕 浜本佐之助→守屋栄夫	昭和8年12月25日(1933)	1通・墨書	85-6-24
書簡〔中央報徳会評議員依頼書〕 早川千吉郎→守屋栄夫	大正8年2月17日(1919)	1通・活版・墨書	84-19-7
絵葉書〔青島到着につき報告〕 早川智堯→守屋栄夫	大正6年9月27日(1917)	1枚・ペン	81-12
書簡〔上京時議会議傍聴への配慮への礼状〕 早坂いし→守屋栄夫	昭和6年3月17日(1931)	1通・墨書	86-357-6
書簡〔次男にドイツ語の勉強をさせたいとの願い〕 早坂いし→守屋栄夫	昭和8年1月9日(1933)	1通・墨書	84-28-12
書簡〔御寺建築につき設計図案閲覧願い〕 早坂いし→守屋栄夫	昭和10月21日	1通・墨書	10-91
書簡〔就職幹旋の件お礼〕 早坂いし→守屋栄夫	8月22日	1通・墨書	10-64
葉書〔当選祝い〕 早坂幸七→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-218
書簡〔師範学校附属小学校への採用につき礼状〕 早坂こと→守屋栄夫	昭和8年4月14日(1933)	1通・墨書	85-11-14
書簡〔当選祝い〕 早坂徳治→守屋栄夫	昭和3年2月28日(1928)	1通・墨書・ペン	10-70
書簡〔赴任先の町村監督下での総括的事務につき報告〕 早坂冬男→守屋栄夫	大正15年7月30日(1926)	1通・墨書	85-3-1-7

書簡〔お悔やみ状〕 早坂冬男→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-12
葉書〔魚市場調査のため河岸一帯を旅行〕 早坂冬男→守屋栄夫	昭和4年4月9日(1929)	1枚・墨書	86-327-19
書簡〔仏壇見積もり要請への返事、仏壇見積書〕 早坂冬男→守屋栄夫	昭和4年5月3日(1929)	1通・ペン・墨書	85-4-2-3
書簡〔仏壇の件、社会課移動他近況報告〕 早坂冬男→守屋栄夫	昭和4年5月21日(1929)	1通・ペン	85-4-4-43
書簡〔志田郡荒雄神社の遷座式執行〕 早坂与兵衛→守屋栄夫	昭和5年10月3日(1930)	1通・墨書	10-51
書簡〔荒雄神社奉納の東郷元帥揮毫の彫刻の件〕 早坂与兵衛→守屋栄夫	昭和6年4月19日(1931)	1通・墨書	86-354-7
葉書〔揮毫神社奉納報告〕 早坂与兵衛→守屋栄夫・奥様	昭和6年4月20日(1931)	1枚・墨書・活版	86-322-299
書簡〔荒雄村長就任につき〕 早坂与兵衛〔荒雄村長〕→守屋栄夫	昭和7年10月16日(1932)	1通・墨書	83-5-20
書簡〔裁判の進捗見通し通知依頼〕 早坂良七→守屋栄夫	昭和6年1月18日(1931)	1通・墨書	86-359-32
書簡〔息子文雄市ヶ谷刑務所へ移動の件通知〕 早坂良七→守屋栄夫	昭和6年2月10日(1931)	1通・墨書	86-355-2
書簡〔上京の際の厚情のお礼〕 早坂留平治→守屋栄夫	昭和2年11月14日(1927)	1通・ペン	85-9-128
葉書〔大阪出張の際に面会希望〕 林歌→守屋栄夫	大正14年2月9日(1925)	1枚・ペン	84-2-14
書簡〔大阪府土木課主任採用について〕 林方蔵→守屋栄夫・阿部寿準	大正7年7月11日(1918)	1通・墨書	83-9-35
葉書〔郡内模範村七谷村に於て巡視〕 林静治・小野周平→守屋栄夫	大正7月1日	1枚・墨書	82-3-226
葉書〔和気清麻呂公銅像除幕式を挙行につき案内状〕 林銑十郎	昭和15年11月25日(1940)	1枚・活版	18-14-208
葉書〔栄転祝い〕 林寿夫→守屋栄夫	大正13年9月14日(1924)	1枚・ペン	85-1-26
書簡〔お悔やみ状〕 林寿夫〔北海道庁内務部長〕→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	6-57-42
書簡〔お悔やみ状〕 林憲慶→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-41
葉書〔喪中〕 林政武→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-93
葉書〔挨拶状〕 林野藤太→守屋栄夫	大正6年2月3日(1917)	1枚・墨書	81-142
書簡〔お悔やみ状〕 早水金二郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-57
書簡〔守屋送付の皇道道德要旨に対する感想〕 原義平→守屋栄夫	大正6年1月14日(1917)	1通・墨書	84-20-165
葉書〔出張時のお礼〕 原義平→守屋栄夫	大正6年4月2日(1917)	1枚・ペン	81-128
書簡〔挨拶状〕 原義平→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1通・墨書	83-14-165
葉書〔暑中見舞い〕 原義平→守屋栄夫	大正7年7月15日(1918)	1枚・ペン	82-3-303
葉書〔栄転の祝い状〕 原佐一→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1枚・墨書	81-186
書簡〔お悔やみ状〕 原佐一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-23

書簡〔内務省後任職員協議結果の件〕 原静雄→守屋栄夫	大正9年3月22日(1920)	1通・墨書	81-657
書簡〔朝鮮総督府土木部の制度改正に関する意見〕 原静雄→守屋栄夫	大正9年3月25日(1920)	1通・ペン	81-658
葉書〔神戸到着の報告〕 原泰一→守屋栄夫	昭和2年4月12日(1927)	1枚・ペン	84-5-28
葉書〔お悔やみ状〕 原大蔵→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・墨書	9-15-40
葉書〔欠礼挨拶〕 原口徠〔日本勧業銀行債券課長〕→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1枚・活版	85-7-2-29
書簡〔お悔やみ状〕 原口晃→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-11
書簡〔原口晃逝去の通知〕 原口フジ・原口イチ→守屋栄夫	昭和6年8月(1931)	1通・墨書・謄写版	86-351-21
書簡〔廃止となっていた試験が考査として復活、明男の様子〕 原口求→守屋栄夫	昭和4年7月19日(1929)	1通・墨書	9-21-16
書簡〔今回の旅行につき祈念、著作物惠贈につき礼状〕 原田健→守屋栄夫	大正8年4月7日(1919)	1通・墨書	83-2-36
書簡〔朝鮮総督府着任祝状、任官推薦辞退〕 原田健〔徳島県庁〕→守屋栄夫	大正8年9月17日(1919)	1通・墨書	9-25-27
書簡〔当選祝い、政治活動への期待〕 原田中庸→守屋栄夫	昭和3年3月12日(1928)	1通・墨書	10-114
書簡〔お悔やみ状〕 原田中庸→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-14-60
書簡〔結婚式招待状〕 張間源四郎→守屋栄夫	大正14年12月20日(1925)	1通・墨書	85-10-29
書簡〔欠礼挨拶〕 張間源四郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-2-58
葉書〔暑中見舞い〕 張間源四郎→守屋栄夫	昭和3年8月8日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-237
書簡〔お悔やみ状〕 針生久助→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-1
葉書〔送付状〕 針生こまよ→守屋栄夫	12月9日	1枚・ペン	18-14-192-57
葉書〔近況報告〕 春川漁夫→守屋栄夫・夫人	昭和3年10月18日(1928)	1枚・ペン・墨書	7-147-185
葉書〔暑中見舞い〕 春木正一→守屋栄夫	大正8年7月27日(1919)	1枚・ペン	82-3-362
書簡〔社会局労務課理事官と東京府庁地方課長に面会につき報告〕 晴佐久金吉→守屋栄夫	昭和3年5月7日(1928)	1通・ペン	9-16-12
書簡〔衆議院選挙について〕 春山典照→守屋栄夫	昭和3年2月10日(1928)	1通・墨書	4-17
葉書〔ご機嫌伺い〕 柴阿石鎮衛→守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1枚・墨書・活版	86-325-45
書簡〔当選祝い〕 半沢洵→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-408-117-1
書簡〔堆事件の名弁論拝聴したかった旨〕 万野・阿部・千田→守屋栄夫	昭和8年3月6日(1933)	1通・ペン	83-12-26

ひ

書簡〔学校退職につき挨拶状〕 日色長五郎→守屋栄夫	大正8年7月2日(1919)	1通・墨書	83-2-25
書簡〔選挙応援〕 東尾市之丞→守屋栄夫	昭和3年2月12日(1928)	1通・墨書	10-94

書簡〔お悔やみ状〕 東方寿→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-167
書簡〔中身欠〕 稗方弘毅→守屋栄夫	大正14年12月25日(1925)	1通・墨書	85-10-26
書簡〔著書『我等の進むべき道』と『欧米の旅より』惠贈への礼状〕 稗方弘毅→守屋栄夫	大正15年1月8日(1926)	1通・墨書	85-3-8-3
書簡〔葡萄送付・県庁、議事堂他積極的な提案可決他近況報告〕 稗方弘毅→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-33
葉書〔当選祝い〕 稗方弘毅→守屋栄夫	昭和5年2月28日(1930)	1枚・墨書	7-147-361
葉書〔健勝祈念〕 稗方→守屋栄夫	大正8年10月31日(1919)	1枚・墨書	5-6-17
葉書〔英国出発、米国到着〕 曳田一郎→守屋栄夫	昭和4年12月18日(1929)	1枚・ペン	84-1-9
書簡〔長良川鵜飼いへの招待状〕 匹田鋭吉→守屋栄夫	昭和8年9月8日(1933)	1通・タイプ	84-25-30
書簡〔選挙運動激励〕 久田宗作→守屋栄夫	昭和3年2月11日(1928)	1通・墨書	7-147-146
書簡〔お悔やみ状〕 久田宗作→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-10-8
書簡〔お悔やみ状〕 久松前平→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン・活版	9-28-26
葉書〔写真葉書〕 久光源三蔵→守屋栄夫	大正9年11月19日(1920)	1枚・墨書	86-353-26
書簡〔中身欠〕 久村潔→守屋栄夫	大正14年10月31日(1925)	1通・墨書	85-10-56
書簡〔東京勤務の口添え願い〕 久村潔→守屋栄夫	大正14年12月8日(1925)	1通・墨書	85-10-4
書簡〔協力願い〕 久村潔→守屋栄夫	昭和2年4月1日(1927)	1通・ペン	85-9-77
書簡〔お悔やみ状〕 久村僚→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	9-29-26
葉書〔島根県警察部警務課長へ転任〕 久安博忠→守屋栄夫	大正14年10月25日(1925)	1枚・ペン・活版	84-6-117
電報〔弔電〕 秘書課員一同→モリヤサカラ	大正12年3月15日(1923)	1通・ペン	18-14-58
葉書〔朝鮮人問題打解けにつき〕 日高丙子郎→守屋栄夫	昭和5年9月15日(1930)	1枚・ペン	86-1-46
葉書〔飢民施設視察のためヨーロッパ周遊につき挨拶状〕 日高充之→守屋栄夫	昭和2年6月29日(1927)	1枚・ペン	86-122
葉書〔移民大会準備会議の件〕 日高充之→守屋栄夫	昭和2年7月2日(1927)	1枚・ペン	86-120
葉書〔失業保険制度視察でアルデンヌ・アントワープ周遊につき挨拶状〕 日高充之→守屋栄夫	昭和2年7月14日(1927)	1枚・ペン	86-108
書簡〔当選祈願〕 人井吉治→守屋栄夫	昭和3年2月8日(1928)	1通・墨書	9-16-41
書簡〔当選祝い〕 日野薫→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-29
葉書〔農作物好況、校舎開設〕 日野作税→守屋栄夫	大正8月	1枚・ペン	81-206
葉書〔当選祝い〕 日野太蔵→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-281

書簡〔立憲政友会への入党を歓迎、昭和連盟加入希望〕 樋野武雄→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	9-16-29
書簡〔当選祈願〕 日野真→守屋栄夫	昭和2月13日	1通・墨書	10-191
書簡〔お悔やみ状〕 日野字源次→守屋栄夫	昭和6年2月10日(1931)	1通・墨書	86-355-1
葉書〔弁護士事務所開設祝状〕 日比重雄→守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1枚・ペン	86-322-188
葉書〔暑中見舞い〕 日比信→守屋栄夫	昭和2年7月27日(1927)	1枚・ペン	86-115
葉書〔暑中見舞い〕 日比信→守屋栄夫	昭和3年7月31日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-256
葉書〔暑中見舞い〕 日比信→守屋栄夫	昭和4年8月7日(1929)	1枚・ペン	86-287
葉書〔無事上棟〕 日比信→守屋栄夫	昭和6年カ4月21日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-295
葉書〔挨拶状〕 日比→守屋栄夫	昭和3年7月16日(1928)	1枚・ペン	86-322-163
葉書〔喪中〕 日比野貞勝→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-47
葉書〔当選祝い〕 日比野貞勝→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-364
葉書〔栄転祝い〕 日比野寛→守屋栄夫	大正8年8月14日(1919)	1枚・ペン	9-10-26
葉書〔年賀状〕 日比野寛→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-206
書簡〔当選祝い〕 肥間京之→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-407-56
葉書〔ジュネーブ会議出席の慰労、十和田湖の風景〕 百合藤五郎→守屋栄夫	大正14年10月17日(1925)	1枚・ペン	84-6-83
書簡〔当選祝い〕 平井熊三郎→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-409-80
書簡〔陸軍経理学校入校につき挨拶〕 平井俊平→守屋栄夫	昭和8年9月29日(1933)	1通・ペン	84-12-26
書簡〔お悔やみ状〕 平井長蔵→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-28-7
書簡〔当選祝いのお礼〕 平井長蔵→守屋栄夫	昭和4年5月1日(1929)	1通・墨書	85-4-3-4
葉書〔当選祝い〕 平井良成→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-267
葉書〔当選祝い〕 平井良成→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-363
葉書〔喪中〕 平岡栄〔警察新報社社長〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-36
葉書〔秋田での近況報告〕 平賀周→守屋栄夫	明治44年4月26日(1911)	1枚・ペン	81-551
葉書〔来訪願い〕 平賀周→守屋栄夫	大正7年2月27日(1918)	1枚・ペン	82-3-245
葉書〔19日講習会願い他近況報告〕 平賀周・松本学→守屋栄夫	大正8年8月2日(1919)	1枚・墨書	82-3-366
葉書〔祝御栄転、秋田に兄の来られざりしを遺憾〕 平賀周→守屋栄夫	大正8年8月17日(1919)	1枚・ペン	9-10-22
書簡〔大久保健蔵就職幹旋願い〕 平賀周→守屋栄夫	大正9年3月10日(1920)	1通・墨書	81-654
書簡〔お悔やみ状〕 平木吉治郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	5-14-69
葉書〔無事御帰京の由、時折内地の模様を御示教下されたく〕 平島達矢→守屋栄夫	大正8年4月17日(1919)	1枚・ペン	82-3-186

書簡〔庁舎への就職幹旋願い〕 平嶋浪夫→守屋栄夫	昭和8年9月29日(1933)	1通・ペン	84-12-20
書簡〔お悔やみ状〕 平島英秋〔神奈川県社会課〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-152
書簡〔お悔やみ状〕 平田貫一→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-27-33
葉書〔東京京都視察〕 平田甚平→守屋栄夫	昭和4年2月6日(1929)	1枚・ペン	86-324-27
葉書〔当選祝い〕 平田正→守屋栄夫	昭和5年2月20日(1930)	1枚・墨書	7-147-362
名刺〔ご機嫌伺い〕 平田光雄〔群馬県前橋警察署長地方警視〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・活版	86-326-59
書簡〔当選祝い〕 平田光雄→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-46
書簡〔今回の総選挙将に貴区民の尽力なる政治的良心のテストに外ならざる〕 平田三造→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1通・墨書	10-410-13
書簡〔支部所設置の敷地契約のための委任状送付につき依頼〕 平田隆吉→守屋栄夫	昭和8年9月24日(1933)	1通・墨書	84-12-25
葉書〔喪中〕 平塚一郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-72
書簡〔お悔やみ状〕 平塚一郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-6
葉書〔挨拶状〕 平塚一郎→守屋栄夫	昭和4年8月15日(1929)	1枚・活版	86-319
葉書〔当選祝い〕 平塚一義→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1枚・ペン	7-147-208
書簡〔お悔やみ状〕 平塚広義→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-21
書簡〔当選祝い〕 平沼亮三→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-21
書簡〔当地名産牡蠣本日鉄道便送呈につき報告〕 平原唯純→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-20
書簡〔パンフレット御礼、政治に対する理念、農村の疲弊〕 平間平治→守屋栄夫	昭和4年8月16日(1929)	1通・墨書・ペン	5-17-16
書簡〔お悔やみ状〕 平山猪象→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-25
書簡〔当選祝い〕 平山泰→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-81
葉書〔暑中見舞い〕 広沢哲亮→守屋栄夫	昭和2年7月22日(1927)	1枚・ペン	86-121
葉書〔帰京の報告〕 広瀬温→守屋栄夫	大正5年5月11日(1916)	1枚・ペン	81-210
葉書〔挨拶状〕 広瀬温→守屋栄夫	大正6年4月10日(1917)	1枚・ペン	81-121
書簡〔お悔やみ状〕 広瀬哲秀→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-14-81
葉書〔岐阜県視察について〕 広瀬久忠→守屋栄夫	大正7年23日(1918)	1枚・ペン	82-3-111
葉書〔青島にて日独戦跡視察〕 広瀬林也→守屋栄夫	大正10年3月23日(1921)	1枚・ペン	81-196
書簡〔松田検事正と面会談話〕 広瀬林也→守屋栄夫	大正10年10月27日(1921)	1通・墨書・ペン	5-29-14
葉書〔朝鮮神宮御鎮座祭を奉祝す〕 広瀬林也→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1枚・ペン	84-6-81
書簡〔台湾の高等商業学校への就職幹旋願い〕 広瀬林也→守屋栄夫	大正14年12月21日(1925)	1通・墨書	85-10-77
葉書〔挨拶状〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和2年6月24日(1927)	1枚・ペン	86-95

葉書〔挨拶〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和3年6月25日(1928)	1枚・ペン	84-6-22
葉書〔暑中見舞い〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和3年7月29日(1928)	1通・ペン・活版	86-322-255
書簡〔お悔やみ状〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-53
書簡〔政変と京都市内における政党の活動状況〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和4年7月15日(1929)	1通・墨書・ペン	9-21-5
書簡〔斎藤閣下総督就任、矢野忠南警察部長帰鮮〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和4年8月24日(1929)	1通・墨書	5-17-23
書簡〔当選祈願〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	10-409-84
書簡〔ご機嫌伺い〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和6年4月30日(1931)	1通・ペン	86-354-35
葉書〔伽羅の古戦場等を歩く〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和8年6月4日(1933)	1枚・ペン	86-323-72
葉書〔時候挨拶〕 広瀬林也→守屋栄夫	昭和8年11月30日(1933)	1枚・ペン	86-323-49
葉書〔府県課長昇級祝い〕 広田和→守屋栄夫	大正8年8月12日(1919)	1枚・ペン	9-10-8
書簡〔川崎信託会社について〕 広部常造→守屋栄夫	昭和2年12月1日(1927)	1通・墨書	85-7-6-13
書簡〔金三百円送付御礼〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・墨書	85-3-4-7
書簡〔お悔やみ状〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-81
書簡〔朝鮮銀行宛小切手拝受〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和6年7月8日(1931)	1通・墨書	86-350-37
書簡〔小切手拝受〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和7年7月4日(1932)	1通・墨書	83-3-32
書簡〔御礼状〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和8年4月9日(1933)	1通・墨書	85-11-15
書簡〔送付金受領〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和8年10月3日(1933)	1通・墨書	84-12-15
書簡〔恵贈品御礼〕 関彩徳→守屋栄夫	昭和8年12月24日(1933)	1通・墨書	84-17-15
書簡〔洪氏上京時の御礼〕 関丙爽→守屋栄夫	昭和7年6月18日(1932)	1通・墨書	84-13-6
書簡〔朝鮮総督府関係案件脱稿にて指導依頼〕 関丙爽→守屋栄夫	昭和7年11月17日(1932)	1通・墨書	83-4-33
書簡〔挨拶状(漢文)〕 関丙爽→守屋栄夫	昭和7年12月22日(1932)	1通・墨書	84-14-36
ふ			
葉書〔峡中雑詩其三〕 深沢多市→守屋栄夫	明治44年8月13日(1911)	1枚・ペン	81-291
葉書〔御栄進を賀す〕 深沢多市→守屋栄夫	大正8年8月19日(1919)	1枚・ペン	9-10-38
葉書〔横手駅頭より挨拶状、平田篤胤大人〕 深沢多市→守屋栄夫	昭和5年10月25日(1930)	1枚・ペン	86-1-9
葉書〔東京滞在の日程につき報告〕 深沢→守屋栄夫	明治44年5月16日(1911)	1枚・墨書	81-552
書簡〔当選祝い〕 福岡文平→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・墨書	10-408-71
書簡〔お悔やみ状〕 福岡文平→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-51

書簡〔尊母逝去の弔詞、〔J O H K 仏教講座資料観音経〕同封〕 福定無外→守屋栄夫	昭和4年3月23日(1929)	1通・墨書	6-59-22
書簡〔お悔やみ状〕 福沢元三郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-11-9
書簡〔御懇談の件は中田氏に決定〕 福沢恭江→守屋栄夫	昭和6年3月22日(1931)	1通・墨書	86-357-5
葉書〔ロンドンより挨拶状〕 福士未之助→守屋栄夫	昭和5年4月25日(1930)	1枚・ペン	86-1-58
書簡〔鉄道パスの交付と送付〕 福島衛太郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-2
書簡〔寄付金精算につき書簡〕 福島衛太郎→守屋栄夫	昭和5年12月31日(1930)	1通・ペン	10-338
書簡〔確認不可能・著しい劣化および固着のため書簡(一紙)開けず〕 福島国之丞→守屋栄夫	12月30日	1通・墨書	10-339
書簡〔就職斡旋依頼〕 福島潤太郎→守屋栄夫	大正15年3月9日(1926)	1通・墨書	85-8-17
葉書〔著書受取の報告〕 福島潤太郎→守屋栄夫	昭和5年6月25日(1930)	1枚・ペン	84-4-7
書簡〔角川氏の件につき相談、角川氏への忠告願ひ〕 福島潤太郎→守屋栄夫	昭和8年8月2日(1933)	1通・ペン	84-18-30
書簡〔東都の都市対抗野球での賑わいなどにつき暑中見舞い〕 福島潤太郎→守屋栄夫	昭和8年8月8日(1933)	1通・墨書	84-18-31
葉書〔当選祝い〕 福島四郎〔婦女新聞社〕→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン	7-147-256
葉書〔お悔やみ状〕 福島四郎〔婦女新聞社〕→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	9-15-82
書簡〔お悔やみ状〕 福島恒子→守屋栄夫	昭和4年3月4日(1929)	1通・墨書	9-15-158
葉書〔お悔やみ状〕 福島百蔵→守屋栄夫	大正12年3月19日(1923)	1枚・ペン	18-14-81
葉書〔一昨日白上氏に面会〕 福島→守屋栄夫	昭和4年1月30日(1929)	1枚・ペン	86-327-5
葉書〔挨拶状〕 福島→守屋栄夫	昭和5年4月15日(1930)	1枚・ペン	86-68
書簡〔朝鮮就職への協力に対する御礼と報告〕 福田市右衛門→守屋栄夫	昭和5年5月11日(1930)	1通・墨書	10-4
書簡〔購買組合更生、拓殖商会設立につき岡崎、後藤両氏と相談〕 福田信一郎→守屋栄夫	昭和7年10月16日(1932)	1通・ペン	83-1-29
書簡〔購買組合、必成商会との交渉経過〕 福田信一郎→守屋栄夫	昭和7年10月21日(1932)	1通・ペン	83-1-27
書簡〔拓殖協会設立並びに購買組合更生の件、辞任願ひ〕 福田信一郎→守屋栄夫	昭和7年10月25日(1932)	1通・ペン	83-1-28
書簡〔購買組合差押解除不可能〕 福田信一郎→守屋栄夫	昭和7年カ10月31日(1932)	1通・ペン	83-1-26
書簡〔樺太豊原購買組合更生具体案を得、当地出立9日頃参上〕 福田信一郎→守屋栄夫	昭和7年11月2日(1932)	1通・ペン	83-1-25
書簡〔昇官と政界への立候補応援申し出〕 福地惣治→守屋栄夫	昭和2年11月9日(1927)	1通・墨書	85-9-117
書簡〔当選祝い〕 福地惣治→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-72
葉書〔会議の為参上できず失礼〕 福地惣治→守屋栄夫	昭和3年4月12日(1928)	1枚・ペン	86-329-10

葉書〔暑中見舞い、弟帰朝〕 福地惣治→守屋栄夫	昭和4年8月13日(1929)	1枚・ペン・活版	86-322-323
葉書〔謹祝御栄転〕 福中儀之助→守屋栄夫	大正8年8月14日(1919)	1枚・墨書	9-10-40
葉書〔年賀状〕 福中儀之助〔千葉淑徳高等女学校〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-11
葉書〔年賀状、絵葉書(千葉淑徳高等女学校)〕 福中儀之助→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・謄写版	86-322-183
書簡〔転居通知〕 福原→守屋栄夫・御奥様	昭和5年カ12月18日(1930)	1通・ペン	7-147-36
書簡〔お悔やみ状〕 福元岩吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-14-88
書簡〔当選祝い〕 富士省三→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-64
葉書〔当選祝い〕 藤利吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-360
書簡〔お悔やみ状〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社専務取締役〕→守屋栄夫・御令夫人	大正12年3月18日(1923)	1通・墨書	18-14-172
書簡〔お悔やみ状〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社社長〕→守屋栄夫	大正12年3月18日(1923)	1通・墨書	80-2-1-15
書簡〔歳末御挨拶及御年賀等一切御遠慮可申上宜敷御諒承奉願上候〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社社長〕→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-19
書簡〔歳末御挨拶及御年賀等一切御遠慮可申上宜敷御諒承奉願上候〕 藤井寛太郎→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-22
書簡〔当選祝い〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社社長〕→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-147-17
書簡〔天皇即位の大典に伴う叙位叙勲の報告、祝電の御礼〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社社長〕→守屋栄夫	昭和3年11月13日(1928)	1通・墨書	10-106
書簡〔加藤、山崎延吉との会談に付三浦の退任可とせる、国立倉庫建設、干拓地移民他近況報告〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社社長〕→守屋栄夫	昭和3年12月19日(1928)	1通・墨書	10-413-10
書簡〔お悔やみ状〕 藤井寛太郎〔不二興業株式会社社長〕→守屋栄夫・守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-134
書簡〔米穀法改善論について〕 藤井寛太郎→守屋栄夫	昭和4年11月20日(1929)	1通・ペン	5-14-29
葉書〔朝鮮土地改良政策〕 藤井寛太郎→守屋栄夫	昭和6年6月5日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-315
葉書〔挨拶状〕 藤井帰一郎→守屋栄夫	明治44年5月14日(1911)	1枚・墨書	81-532
葉書〔高著拝読し同感の感想〕 藤井公平→守屋栄夫	昭和4年8月16日(1929)	1枚・ペン	86-299
書簡〔懇待・高著のお礼に粗果を持参させた旨〕 藤井公平→守屋栄夫	大正9月21日	1通・墨書	9-27-47
葉書〔当選祝い〕 藤井正一→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-408-22
書簡〔依頼の受諾についてお礼〕 藤枝房志→守屋栄夫	昭和7年6月29日(1932)	1通・ペン	84-13-30
書簡〔守屋の引立てにより息子が昇進したことのお礼〕 藤岡長二郎→守屋栄夫	大正6年1月23日(1917)	1通・墨書	84-20-144
書簡〔和歌山県理事官に転任〕 藤岡長二郎→守屋栄夫	大正7年10月11日(1918)	1通・墨書	84-9-23

書簡〔内務部長更迭に際し西村部長の送別について相談願ひ〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年2月1日(1917)	1通・墨書	84-20-117
書簡〔郡教育会総会開催日の決定、本郡視学転任状況について伺ひ〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年4月26日(1917)	1通・墨書	84-20-114
葉書〔栄転の祝い状〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年5月3日(1917)	1枚・ペン	81-183
書簡〔笥先生講演、男子長久出生など近況報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年8月10日(1917)	1通・墨書	83-14-38
葉書〔岡崎市記念第二回講習会の件〕 藤岡長和・藤沢茂登一・笥克彦ほか→守屋栄夫	大正6年8月4日(1917)	1枚・墨書	81-91
書簡〔地方改良について〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年10月1日(1917)	1通・墨書	83-14-190
書簡〔暴風見舞ひ〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年10月4日(1917)	1通・墨書	83-14-31
葉書〔本宮山登山〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正6年12月12日(1917)	1枚・ペン	81-171
書簡〔各地査察慰勞、拝聴した新民法の説印刷の報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正7年7月25日(1918)	1通・墨書	5-6-15
書簡〔和歌山県転任決定報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正7年9月26日(1918)	1通・墨書	83-10-39
書簡〔西比利亞旅行中の安全祈念、社内環境報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正8年3月20日(1919)	1通・墨書	5-6-3
葉書〔熊野座神社例祭に参向、十五里を踏破〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正8年4月15日(1919)	1枚・ペン	82-3-19
葉書〔岡山・愛媛の重要物産共進会见学〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正8年4月29日(1919)	1枚・ペン	82-3-22
書簡〔那賀郡民力涵養運動の景況につき報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正8年6月16日(1919)	1通・墨書	83-2-24
書簡〔小生内務部学務課長兼官業課長拝名にて身上への御厚情につき礼状〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正8年10月21日(1919)	1通・墨書	83-2-21
書簡〔昨日伏見大宮殿下国葬、議会党争模様他近況報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正12年2月13日(1923)	1通・ペン	80-2-1-21
書簡〔お悔やみ状〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正12年3月15日(1923)	1通・墨書	18-14-6
書簡〔都市計画の進捗につき挨拶状〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正12年8月20日(1923)	1通・ペン	80-40-1-10
葉書〔長野県の状況につき報告〕 藤岡長和→守屋栄夫	大正15年10月4日(1926)	1枚・ペン	86-239
葉書〔挨拶状〕 藤岡長和→守屋栄夫	昭和5年10月26日(1930)	1枚・ペン	86-1-11
書簡〔当選祝い〕 藤岡兵一〔鳥取県知事〕→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書・活版	7-147-274
書簡〔当選祝い〕 藤岡兵一→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-162
葉書〔お礼状〕 藤川信→守屋栄夫	大正6年4月6日(1917)	1枚・墨書	81-153
葉書〔暑中見舞ひ〕 藤川信→守屋栄夫	大正6年7月24日(1917)	1枚・墨書	84-7-11
葉書〔暑中見舞ひ〕 藤川信→守屋栄夫	大正7年7月末日(1918)	1枚・墨書	82-3-129

葉書〔暑中見舞い〕 藤川信→守屋栄夫	大正15年7月15日 (1926)	1枚・ペン	86-322-38
葉書〔暑中見舞い〕 藤川信→守屋栄夫	昭和2年7月17日 (1927)	1枚・墨書	84-1-57
葉書〔暑中見舞い〕 藤川信→守屋栄夫	昭和3年7月10日 (1928)	1枚・墨書	86-322-143
書簡〔お悔やみ状、香華〕 藤川信→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-169
葉書〔暑中見舞い〕 藤川信→守屋栄夫	昭和4年7月16日 (1929)	1枚・墨書	9-21-15
書簡〔普通電話に変更につき料金据え置きに決定の旨〕 藤川靖→守屋栄夫	昭和7年10月14日 (1932)	1通・墨書	83-5-24
書簡〔お悔やみ状〕 藤木清信〔福岡漁業組合所長〕→守屋栄夫	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	5-27-1
書簡〔松村事務官送別会席上(其二)〕 藤倉良知・甲田純之助・高橋勢・寺島安・松野司・三明和郎・佐藤春川・早坂直榮→守屋栄夫	大正14年2月12日 (1925)	1通・ペン	84-2-11
書簡〔お悔やみ状〕 藤倉良知→守屋栄夫・徳夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	6-57-27
電報〔無事の帰郷祈念〕 フジサコウヘイ→守屋栄夫	大正12年1月23日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-26
書簡〔岩井源郎氏就職幹旋依頼〕 藤沢幾之輔→守屋栄夫	大正13年7月15日 (1924)	1通・墨書・ペン	9-22-26
書簡〔お悔やみ状〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和4年6月23日 (1929)	1通・墨書	85-4-3-20
書簡〔村長改選にあたり不祥事惹起につき詫び状〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和14年11月19日 (1939)	1通・墨書	18-14-192-63
書簡〔小生事件の進展につき所感〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和14年12月23日 (1939)	1通・墨書	18-14-192-83
書簡〔小生事件控訴にて仙台控訴院での公判への出席につき依頼〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和15年2月10日 (1940)	1通・墨書	18-14-192-60
書簡〔状況詳細は面談の上報告につき挨拶状〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和15年2月23日 (1940)	1通・墨書	18-14-192-85
書簡〔期日延期につき報告〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和15年2月27日 (1940)	1通・墨書	18-14-192-59
書簡〔議会在4月10日に延期になった事について〕 藤沢純次→守屋栄夫	昭和15年3月9日 (1940)	1通・墨書	18-14-192-4
書簡〔生徒壺名腸チフスにかかり死亡につき経過報告〕 藤沢茂登一→守屋栄夫	大正5年6月20日 (1916)	1通・墨書	84-20-48
葉書〔暑中見舞い〕 藤沢茂登一→守屋栄夫	大正6年8月17日 (1917)	1枚・ペン	81-83
書簡〔選挙候補者の評判について〕 節田浄吉→守屋栄夫	昭和2年11月27日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-8
葉書〔暑中見舞い〕 藤田一郎→守屋栄夫	昭和5年7月10日 (1930)	1枚・ペン	86-322-277
葉書〔米国から帰国予定通知〕 藤田一郎→守屋栄夫	昭和5年10月15日 (1930)	1枚・ペン	86-1-7
葉書〔健康伺い〕 藤田一郎→守屋栄夫	5月29日	1枚・ペン	84-4-18
葉書〔守屋の著作物を読む〕 藤田治郎→守屋栄夫	11月23日	1枚・ペン	84-5-30
書簡〔お悔やみ状〕 藤田宇一郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-93

書簡〔地方行政学会勤務決定〕 藤田宇一郎→守屋栄夫	昭和4年4月13日(1929)	3通・ペン	6-59-12
書簡〔中身欠〕 藤塚鄰→守屋栄夫	大正8年6月18日(1919)	1通・ペン	84-19-1
葉書〔接見、講話御礼〕 藤塚鄰→守屋栄夫	大正14年11月25日(1925)	1枚・ペン	86-323-32
書簡〔無礙堂「中等講座」の現在と将来、朝鮮半島での修養講座につき景況報告〕 藤波大円→守屋栄夫	昭和7年11月26日(1932)	1通・墨書・謄写版・ペン	83-4-31
書簡〔栄夫の釜山視察に随行する旨〕 藤波義貫→守屋栄夫	大正9年3月27日(1920)	1通・墨書	81-649
葉書〔暑中見舞い〕 藤波義貫→守屋栄夫	大正15年8月1日(1926)	1枚・ペン	86-325-3
葉書〔暑中見舞い〕 藤波義貫→守屋栄夫	昭和2年7月31日(1927)	1枚・ペン	86-97
書簡〔お悔やみ状〕 藤波義貫→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-27-11
書簡〔お悔やみ状〕 藤根常吉→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-91
葉書〔満鮮視察行にて本日京城に到着〕 節野松次郎→守屋栄夫	大正8月5日	1枚・ペン	83-9-21
書簡〔海外移民特に南米ブラジルの真相を知りたい〕 伏見二郎→守屋栄夫	昭和4年5月25日(1929)	1通・ペン	85-4-3-18
葉書〔御栄転欣賀〕 藤本充安→守屋栄夫	大正8年8月22日(1919)	1枚・墨書	9-10-14
葉書〔内務省社会局部長就任祝い〕 藤本充安→守屋栄夫	大正13年9月20日(1924)	1枚・ペン	85-1-27
葉書〔暑中見舞い、昭和聯盟の件〕 藤本充安→守屋栄夫	昭和4年8月20日(1929)	1枚・ペン	86-308
書簡〔当選祝い〕 藤本亮一郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・ペン	10-164
書簡〔当選祝い、朝鮮総督府と地方庁の財務の件〕 藤本亮一郎→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・ペン	10-163
葉書〔青年大会の件報告〕 藤本→守屋栄夫	大正6年11月3日(1917)	1枚・ペン	81-100-1
書簡〔お悔やみ状〕 藤山竹一→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-66
葉書〔栄転の祝い状〕 藤山伝一〔和歌山県庁〕→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1枚・墨書	81-65
書簡〔当選祝い〕 藤山雷太→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1通・墨書	9-16-28
書簡〔お悔やみ状〕 藤原綾子→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	5-12-64
書簡〔失礼お詫び〕 藤原喜蔵→守屋栄夫	大正14年10月27日(1925)	1通・墨書	85-10-89
葉書〔当選祝い〕 藤原久左衛門→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	10-257
葉書〔当選祝い〕 藤原甚九郎→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1枚・墨書	10-408-109
葉書〔年賀状、絵葉書(内務省社会局)〕 藤原隆夫→守屋栄夫	昭和3年11月1日(1928)	1枚・墨書	86-322-184
書簡〔伊藤の就職先について〕 布施常吉→守屋栄夫	昭和5年5月15日(1930)	1通・ペン	10-406-5
書簡〔「布施常吉に□る件」、御礼〕 布施常吉→守屋栄夫	昭和5年6月3日(1930)	1通・墨書・ペン	10-3
書簡〔定期自動車出願の件について経過報告〕 布施常吉→守屋栄夫	昭和7年6月8日(1932)	1通・墨書	84-13-22

書簡〔松島駅移転問題と反対者の請願〕 布施常吉→守屋栄夫	昭和8年3月17日(1933)	1通・墨書	84-22-13
書簡〔悪友会の寄せ書を老後の思い出とせんため一筆賜りたきにつき願ひ〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正5年2月15日(1916)	1通・墨書	84-20-21
書簡〔渡辺八郎君師範学校並中学校教諭任用につき礼状〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正5年3月1日(1916)	1通・墨書	84-20-68
書簡〔静岡中学校教頭阿部雅尚殿岡中学校長の候補者にて採用下されたく願書〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正5年7月21日(1916)	1通・墨書	84-20-5
葉書〔面会出来ず残念〕 二荒芳徳→守屋栄夫・藤岡長和	大正5年8月4日(1916)	1枚・ペン	81-204
書簡〔長女出生の砌、お祝いの贈品を下されにつき御礼、記念品を進呈いたしたく御納めくだされたき願ひ〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正6年2月(1917)	1通・墨書	84-20-104
葉書〔五県連合の神職会の件〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正6年4月1日(1917)	1枚・ペン	81-129
書簡〔来訪時間についてお伺い〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正6年4月23日(1917)	1通・墨書	84-20-135
書簡〔シベリア経営の重要性、朝鮮の歴史書ご教示願ひ〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正8年10月20日(1919)	1通・ペン	81-678
葉書〔彌や栄ゆく紀元の佳節を謹みて御慶び申上げ奉り候他〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正9年2月11日(1920)	1通・活版・ペン	82-3-375
書簡〔19日金曜日に所存決行の旨〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正9年3月15日(1920)	1通・ペン	81-662
書簡〔「平凡の善政」御礼と感想〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正11年3月7日(1922)	1通・ペン	9-20-10
書簡〔内務省の通牒、「神ながらの道」頒布に関する内務省神社局長より地方長官に対する通牒〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1通・ペン	84-5-50
書簡〔一笑会にて「神ながのら道」を発行する件〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正15年8月26日(1926)	1通・ペン	78-23-39
書簡〔職員の出張予定につき報告〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正15年9月16日(1926)	1通・ペン・墨書	78-23-6
書簡〔御高話拝聴のお願い〕 二荒芳徳→守屋栄夫	大正15年10月20日(1926)	1通・活版・ペン	85-3-3-11
書簡〔手当のお礼〕 二荒芳徳→守屋栄夫	昭和2年1月3日(1927)	1通・ペン・活版	85-7-2-52
書簡〔挨拶状〕 二荒芳徳→守屋栄夫	昭和3年4月19日(1928)	1通・墨書	10-293
書簡〔南洲庵会合欠席通知〕 二荒芳徳→守屋栄夫	昭和4年1月23日(1929)	1通・墨書	6-55-14
書簡〔政友会入党の趣、国家のために尽力くだされたき願ひ、先日御越しの際の不在のお詫びなど近況報告〕 二荒芳徳→守屋栄夫	昭和5年1月12日(1930)	1通・ペン	10-403-39
葉書〔師団の兵事会議時に際して蒲郡に滞在し豊橋に通う予定〕 二荒→守屋栄夫	大正5年2月5日(1916)	1枚・ペン	81-103
葉書〔八名郡に訪問〕 二荒→守屋栄夫	大正6年3月18日(1917)	1枚・ペン	81-156
葉書〔御見送を拝謝〕 二荒→守屋栄夫	大正6年5月31日(1917)	1通・ペン	82-3-160
葉書〔英国より新年挨拶、御無沙汰申訳ない〕 二荒→守屋栄夫	大正6年12月24日(1917)	1通・ペン	82-3-235

葉書〔近況報告〕 二荒→守屋栄夫	大正7年1月1日(1918)	1通・ペン	82-3-240
葉書〔1月20日書簡について〕 二荒→守屋栄夫	大正7年3月20日(1918)	1通・ペン	82-3-59
葉書〔後藤氏とフランスグルノーブルを訪ねる〕 二荒→守屋栄夫	大正7年8月2日(1918)	1枚・ペン	82-3-381
葉書〔重要な戦後教育、日本は呑気に付向上の精神 発揚を祈る〕 二荒→守屋栄夫	大正8年7月21日(1919)	1枚・ペン	82-3-365
葉書〔原稿送付の件〕 二荒→守屋栄夫	大正14年2月15日 (1925)	1枚・ペン	86-37
葉書〔古事記映画化の件〕 二荒→守屋栄夫	大正14年12月25日 (1925)	1枚・ペン	86-31
葉書〔皇国運動実習の件〕 二荒→守屋栄夫	大正15年10月17日 (1926)	1枚・ペン	86-251
葉書〔奈良県主催皇国運動講演会に出席〕 二荒→守屋 栄夫	昭和2年8月10日(1927)	1枚・ペン	84-3-82
葉書〔渡辺八郎君近々再入営の事〕 二荒→守屋栄夫	大正5月7日	1枚・ペン	81-208
葉書〔家族一同と共に琵琶湖航行中〕 二荒→守屋栄夫	4月28日	1枚・ペン	84-5-42
書簡〔栄転祝い〕 太義勝→守屋栄夫	大正8年8月29日(1919)	1通・墨書	9-17-29
書簡〔当選祝い〕 船津新四郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	9-16-26
葉書〔年賀状〕 舟橋了助→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-22
書簡〔お悔やみ状〕 舟橋了助→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-132
葉書〔年賀状〕 船水喜幸→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書・謄写 版	86-322-182
書簡〔お悔やみ状〕 船水喜幸→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-74
書簡〔塩竈神社末社釜神社における御水替神事執行 につき報告〕 古川左京〔国幣中社志波彦神社鹽竈神社宮 司〕→守屋栄夫	昭和7年8月20日(1932)	1通・墨書・活版	83-3-16
書簡〔お悔やみ状〕 古川静夫→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-15
書簡〔買上地に関する図面送付のこと〕 古川為二→守 屋栄夫	大正15年3月8日(1926)	1通・墨書・ペン	85-8-7
書簡〔新年挨拶〕 古川望→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-1-6
書簡〔当選祝い〕 古川望→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	9-16-65
書簡〔選挙運動への激励と協力〕 古川広淳→守屋栄夫	昭和5年2月19日(1930)	1通・ペン	9-16-27
書簡〔旅行の門出祝い葉贈呈他〕 古川正清→守屋栄夫	大正12年1月19日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-32
書簡〔父死去の報告他年末挨拶〕 古川正清→守屋栄夫	昭和1年12月30日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-6
書簡〔お悔やみ状、香典同封の旨〕 古川正清→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン・活版	9-15-64
葉書〔サントス丸にて出帆〕 古川正清→守屋栄夫	昭和4年10月19日 (1929)	1枚・ペン・活版	86-324-58
葉書〔シンガポールより航海経過報告〕 古川→守屋栄 夫	昭和4年11月7日(1929)	1枚・ペン	86-324-48

葉書〔年賀、レコード破りの航海〕 古川→守屋栄夫	昭和4年12月29日 (1929)	1枚・ペン	84-1-12
葉書〔年賀状〕 古嶋純→守屋栄夫	大正7年1月10日 (1918)	1枚・墨書	82-3-385
葉書〔寒中見舞い〕 古庄逸夫→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	86-326-102
葉書〔ロンドンでの会議一行無事〕 古瀬安俊→守屋栄夫	昭和4年7月14日 (1929)	1枚・ペン・活版	86-322-325
葉書〔役所員と協力して文書整理に従事〕 古橋卓→守屋栄夫	大正6年8月10日 (1917)	1枚・ペン	81-214
葉書〔御国の御栄祝い〕 古橋卓→守屋栄夫	大正7年11月20日 (1918)	1枚・ペン	82-3-137
葉書〔名古屋に三日間滞在以降の近況報告〕 古橋卓→守屋栄夫	大正3月9日	1枚・ペン	82-3-328
書簡〔結婚披露宴の案内〕 古橋卓四郎・多以子→守屋栄夫	大正6年3月 (1917)	1通・活版	81-267
書簡〔お悔やみ状〕 古橋卓四郎〔江原道春川官舎〕→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	9-26-5
書簡〔鮮人街一巡観察、煽動者、京城総督府における天長節報告〕 古橋卓四郎→守屋栄夫		1通・墨書	5-28-23
葉書〔視察、御礼〕 古橋→守屋栄夫	大正7年3月28日 (1918)	1枚・ペン	82-3-44
葉書〔湯浅総監送出しの件〕 古橋→守屋栄夫	昭和2年12月カ22日 (1927)	1枚・ペン	86-163
書簡〔朝鮮内での就職斡旋依頼、履歴書〕 文屋正一郎→守屋栄夫	昭和6年2月22日 (1931)	1通・ペン	86-355-31
へ			
書簡〔名取・涌谷など選挙戦報告〕 平亀楼→守屋栄夫	昭和5年2月12日 (1930)	1通・ペン	10-409-108
書簡〔お悔やみ状〕 別所直尋→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・ペン	6-57-6
書簡〔当選祝い〕 部奈恭一→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1通・墨書	9-16-66
葉書〔南米出張につき挨拶〕 部奈恭一→守屋栄夫	昭和6年1月7日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-340
書簡〔当選祝い〕 辺見寿→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-303-1
ほ			
書簡〔面会の希望〕 方応謨→守屋栄夫	昭和8年3月16日 (1933)	1通・墨書	84-22-14
葉書〔年賀状〕 方煥龜→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・ペン・活版	86-326-19
書簡〔送金時期報告〕 方漢復→守屋栄夫	昭和5年カ12月3日 (1930)	1通・ペン	7-147-26
書簡〔御依頼の件につき、金融逼迫の爲め困却の有様、ほか〕 方漢復→守屋栄夫	昭和6年9月2日 (1931)	1通・墨書	86-348-58
書簡〔斎藤閣下組閣につき所感、金君次弟の東京転学の見込みなどにつき報告〕 方漢復→守屋栄夫	昭和7年5月31日 (1932)	1通・墨書	86-350-4

書簡〔地税について報告〕 方漢復→守屋栄夫	昭和8年1月14日(1933)	1通・墨書	84-28-2
書簡〔満洲行きについて願い〕 方漢復→守屋栄夫	昭和8年7月23日(1933)	1通・ペン	84-26-25
葉書〔一行日程〕 方漢復→守屋栄夫	昭和8年11月22日(1933)	1枚・ペン	86-323-2
書簡〔土地争論の書類と感謝状〕 方漢復→守屋栄夫	昭和4年5月18日(1929)	1通・ペン	85-4-2-1
書簡〔お悔やみ状〕 朴沢ひろ→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-61
書簡〔校長会で上京時のお礼〕 穂苅信乃〔宮城県登米高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1通・墨書	85-9-121
書簡〔近況報告〕 朴泳孝→守屋栄夫	昭和2年12月1日(1927)	1通・墨書	85-7-6-12
書簡〔中身欠〕 朴泳孝→守屋栄夫	昭和2年12月13日(1927)	1通・墨書	85-7-3-14
書簡〔お悔やみ状〕 朴泳孝→守屋栄夫・徳夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-27-8
書簡〔部長更迭に付き配慮への礼、次期候補に江原道谷内務部長詮議願い〕 朴重陽→守屋栄夫	大正10年10月19日(1921)	1通・墨書	5-29-28
書簡〔朝鮮総督へ伝言依頼〕 朴重陽→守屋栄夫	大正10年10月21日(1921)	1通・墨書	5-29-26
書簡〔内申書類に関し直接交渉の周旋に付伊藤勸業課長に忠告のお願い〕 朴重陽→守屋栄夫	大正15年4月16日(1926)	1通・墨書	85-3-2-17
書簡〔咸鏡南道知事金寛銃君辞表提出につき復職の援助願ひ他〕 朴重陽→守屋栄夫	大正15年6月18日(1926)	1通・墨書	85-3-5-4
書簡〔朝鮮の現状を憂いて政友会と政友本党の大同団結を願う〕 朴重陽→守屋栄夫	大正15年9月2日(1926)	1通・墨書	85-3-7-15
葉書〔年賀状〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	86-326-26
書簡〔林八用の就職斡旋願い〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和2年11月11日(1927)	1通・墨書	85-9-24
書簡〔総督について意見〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和2年12月12日(1927)	1通・墨書	85-7-7-3
書簡〔穀物取引所設置、株入手法、情報まとめ書送付状〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和3年10月14日(1928)	1通・墨書	7-147-90
書簡〔毎日申報の顧問就任及び学務局長の後任に斡旋依頼〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年1月19日(1929)	1通・墨書	6-55-13
書簡〔議会で朝鮮問題を扱う事への感謝、制度改革の陳情と激励〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年2月10日(1929)	1通・墨書	6-56-46
葉書〔恵贈品への礼〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年2月25日(1929)	1枚・ペン	86-324-21
書簡〔お悔やみ状〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-28-22
書簡〔山梨総督への意見書、朝鮮人政務官設置に尽力依頼〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年4月12日(1929)	1通・墨書	85-4-2-17
書簡〔宇佐美勝夫が政務総監につく事への疑義〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年5月9日(1929)	1通・墨書	85-4-2-4
書簡〔山梨氏帰東に付朝鮮人参政官の設置願ひ〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年5月23日(1929)	1通・墨書	85-4-4-25

書簡 / 来信

書簡〔京城方面に滞在期間問い合わせ〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年6月29日(1929)	1通・墨書	6-52-3
書簡〔亡き母親の香典返し〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年7月20日(1929)	1通・墨書	6-52-11
書簡〔朝鮮総督に斎藤実再任についての感想〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年8月19日(1929)	1通・墨書	85-4-1-11
書簡〔参与官を参政官に名称変更の希望につき協力依頼〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年8月25日(1929)	1通・墨書	85-4-5-4
書簡〔斎藤総督大邱通過と赴任の様子、朝鮮統治の分析〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年10月12日(1929)	1通・墨書	6-56-48-8
書簡〔総督の動向について〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和4年12月11日(1929)	1通・墨書	5-14-36
書簡〔選挙応援、当選祈願〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和5年1月26日(1930)	1通・墨書	10-403-30
書簡〔土産恵贈につき礼状〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和5年6月7日(1930)	1通・墨書	10-409-109
書簡〔江木・松田ら閣員ほか若槻礼次郎ら知人へ別紙を送る〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年4月11日(1931)	1通・墨書	86-346-7
書簡〔若槻内閣の経済政策への提言〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年4月19日(1931)	1通・墨筆・ペン	86-354-28
書簡〔鉄道省減俸問題の件、朝鮮独立などの情勢につき所感〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年6月1日(1931)	1通・墨書・ペン	86-352-33
書簡〔挨拶状〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年7月6日(1931)	1通・墨書	86-350-48
書簡〔先月25日入城宇垣氏と数回会見〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年8月19日(1931)	1通・墨書・ペン	86-348-22
書簡〔帰京日程通知願ひ、宇垣氏に例の件強く訴えるよう依頼、中原清悟より守屋栄夫宛書簡(関元植君追悼式の件)同封〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年10月11日(1931)	1通・ペン・墨書	86-358-3
書簡〔宇垣・池田社長の意見、顧問・相談役での斡旋願ひ〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年11月2日(1931)	1通・墨書	86-346-24
葉書〔池田秀雄氏は5日発東上〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年11月7日(1931)	1枚・墨書	86-347-33
書簡〔池田京日社長に小生の為特別御尽旋を願う〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和6年11月14日(1931)	1通・墨書・ペン	86-347-34
書簡〔斎藤子爵組閣の件、犬養首相狙撃・牧野内大臣低投弾事変につき所感〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和7年5月29日(1932)	1通・墨書	86-350-5
書簡〔水野総督希望にこたえず、政務総監に吾兄希望〕 朴重陽→守屋栄夫	昭和7年12月16日(1932)	1通・墨書	86-346-46
葉書〔年頭挨拶〕 朴準鎬→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-39
葉書〔年賀状〕 朴正純→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	86-326-5
書簡〔お悔やみ状〕 朴胄形→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-9
書簡〔暑中見舞い、挨拶状〕 朴鳳九→守屋栄夫	大正12年(1923)	1通・墨書	80-40-1-25
書簡〔寒中見舞い、真綿を贈る〕 朴鳳九→守屋栄夫	大正14年12月17日(1925)	1通・墨書	85-10-28
書簡〔履歴書送付〕 朴鳳九→守屋栄夫	大正15年(1926)	1通・墨書・ペン	78-23-59

書簡〔国喪中で新年挨拶欠礼の挨拶〕 朴鳳九→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-3-8-7
書簡〔お悔やみ状〕 朴鳳九→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-26-4
書簡〔土産送り状〕 朴鳳九→守屋栄夫	昭和5年12月5日(1930)	1通・墨書	7-147-1
書簡〔守屋赴男入学祝い〕 朴鳳九→守屋栄夫	昭和8年5月18日(1933)	1通・墨書	84-27-6
書簡〔転職願ひ〕 朴命錫→守屋栄夫	昭和8年11月11日(1933)	1通・墨書	84-29-14
葉書〔喪中〕 朴容九	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-56
詞書〔七言絶句〕 北溟生初学→守屋明府大正		1通・墨書	83-14-209
葉書〔宮城への帰郷歓迎〕 保坂久志→守屋栄夫	昭和4年10月4日(1929)	1枚・ペン	86-324-42
書簡〔郷里の永年郵便局長に就任他近況報告〕 星義右衛門→守屋栄夫	昭和5年1月29日(1930)	1通・墨書	10-410-2
書簡〔お悔やみ状〕 星清人→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・ペン	6-57-15
葉書〔朝鮮人参を送付〕 星慶蔵→守屋栄夫	昭和2年3月8日(1927)	1枚・ペン	84-5-20
書簡〔選挙の応援〕 星清吉→守屋栄夫	昭和8年1月18日(1933)	1通・墨書	84-28-3
書簡〔当選祝い〕 星猛→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-408-123
書簡〔朝鮮労働者に支那人入国制限の件・金鉦の件に付報告〕 星出正雄→守屋栄夫	昭和7年12月31日(1932)	1通・ペン	85-5-30
葉書〔鉦山交渉の件〕 星出正雄→守屋栄夫	昭和8年4月15日(1933)	1枚・ペン	85-11-10
書簡〔朝鮮についての近況報告〕 星出正雄→守屋栄夫	昭和8年5月18日(1933)	1通・ペン	84-27-3
書簡〔談合事件裁判について〕 星出正雄→守屋栄夫	昭和8年12月20日(1933)	1通・ペン	84-17-28
書簡〔お悔やみ状〕 星川肅郎→守屋栄夫	昭和4年3月17日(1929)	1通・墨書	9-6
書簡〔三日町郵便局長後任者の件、地方有志逝去の場合の通知の件〕 保科弟四郎→守屋栄夫	昭和8年3月20日(1933)	1通・ペン	84-15-16
書簡〔三日町局長引き継ぎ問題、候補の推薦〕 保科弟四郎→守屋栄夫	昭和8年7月19日(1933)	1通・ペン	84-15-18
書簡〔伊藤らへの援助の申請〕 保科弟四郎→守屋栄夫	昭和8年7月24日(1933)	1通・ペン	84-15-17
書簡〔三日町局問題について協力の要望、新聞掲載記事の感想〕 保科弟四郎→守屋栄夫	昭和8年8月29日(1933)	1通・墨書	84-15-15
書簡〔講演会地菅生の土地の実情について〕 星野達郎→守屋栄夫	昭和4年9月26日(1929)	1通・ペン	85-4-1-37
書簡〔内務省への出仕祝い〕 細井肇→守屋栄夫	大正13年9月25日(1924)	1通・墨書	85-1-1
書簡〔中身欠〕 細井肇→守屋栄夫	昭和2年12月25日(1927)	1通・墨書	85-7-3-9
書簡〔お悔やみ状、報政派同盟計画中の旨〕 細井肇→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-25
葉書〔欧州から帰国予定に関して〕 H.Hosoi→守屋栄夫	昭和2年7月19日(1927)	1枚・ペン	84-3-100

葉書〔貴稿拝見につき報告〕 細川貞→守屋栄夫	大正15年11月5日 (1926)	1枚・ペン	86-273
葉書〔世間への感慨(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正8年2月14日(1919)	1枚・ペン・墨書	82-3-202
書簡〔守屋を題材とした漢詩、アジア情勢に関する漢詩(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月10日(1920)	1通・墨書・ペン	82-3-384
書簡〔通知の件対応報告〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月11日(1920)	1通・墨書	82-3-383
書簡〔勤続10年祝賀会開催通知(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月12日(1920)	1通・ペン	82-3-376
書簡〔国家を憂う漢詩(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月18日(1920)	1通・墨書	82-3-373
書簡〔同源社雑誌「同源」に鮎貝論文掲載の旨〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月21日(1920)	1通・ペン	81-638
書簡〔蝦夷同化政策ノ不成功〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月24日(1920)	1通・ペン	81-679
書簡〔室蘭土宜郵送につきほか、漢詩〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月25日(1920)	1通・ペン	81-650
書簡〔東本論文の朝鮮模範農試場人事について〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年2月27日(1920)	1通・ペン	81-667
葉書〔荷物送付、大戦後の東アジアの展望(一部漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年3月12日(1920)	1枚・ペン	82-3-351
葉書〔仁徳について(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年3月19日(1920)	1枚・ペン	82-3-349
葉書〔帰る帆も錦の泡か朝露、雨煙る野の一角に青みけり〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年3月21日(1920)	1枚・ペン	82-3-318
書簡〔食べ物送付につき、逸題の漢詩〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年3月11日(1920)	1通・ペン	81-637
書簡〔北海道の土宜召し上がりいただき旨、漢詩〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年3月13日(1920)	1通・ペン	81-661
書簡〔13日に荷物発送、外交近変、小荷物切符添付〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年3月16日(1920)	1通・墨書	81-631
書簡〔ある老夫の窮状、斎藤総督帰任〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年5月31日(1920)	1通・墨書	5-16-41
書簡〔朝鮮統治に対する意見〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年6月1日(1920)	1通・墨書	5-16-18
書簡〔朝鮮統治の施策に関して〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年6月5日(1920)	1通・墨書	5-16-40
書簡〔朝鮮に赴任する際に送った漢詩〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正9年6月14日(1920)	1通・墨書	5-16-45
書簡〔中身欠〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正14年12月25日 (1925)	1通・墨書	85-10-17
書簡〔人事発表につき所見〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年4月16日 (1926)	1通・ペン	85-3-2-14
書簡〔本府文書課の俵四朗氏との接見依頼〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年4月7日(1926)	1通・墨書	78-23-47
葉書〔暑中見舞い〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年7月24日 (1926)	1枚・ペン	86-322-30

書簡〔朝鮮総督府新築落成祝宴における総督挨拶案〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年9月23日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-28
書簡〔藤原に関する近況報告〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年9月29日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-21
書簡〔原案に不備、藤原秘書との関係につき報告〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年9月(1926)	1通・ペン	85-3-3-30
書簡〔郷友発展の為郷友引立て〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正15年10月13日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-24
葉書〔新年の挨拶〕 細川貞之丞	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-70
葉書〔新年の挨拶〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-83
書簡〔朝鮮の状況について〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和2年12月9日(1927)	1通・ペン	85-7-7-6
書簡〔次期総督について〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和2年12月10日 (1927)	1通・ペン	85-7-7-22
書簡〔選挙戦の情勢分析につき報告〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和3年1月12日(1928)	1通・ペン	10-408-89
書簡〔当選祝い〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン	10-407-92
書簡〔序文代行の件〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和5年4月20日(1930)	1通・ペン	10-405-16
書簡〔快方祝い、咸興電気に関する新聞記事切り抜き〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和6年1月19日(1931)	1通・ペン・活版	86-359-8
書簡〔咸興電気府営問題に関する新聞記事切り抜き〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和6年2月9日(1931)	1通・ペン・活版	86-355-30
書簡〔咸興電気府営問題に関する新聞記事切り抜き〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和6年2月10日(1931)	1通・ペン	86-355-35
書簡〔新聞記事「電気府営に関し府民各位に告ぐ」切り抜き送付〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和6年3月6日(1931)	1通・活版・ペン	86-357-36
書簡〔今般天理教徒となる〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和6年10月31日 (1931)	1通・ペン	86-346-25
書簡〔斎藤子爵へ協会建設費寄付伝達依頼〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和6年カ(1931)	1通・ペン	86-358-1
葉書〔朝鮮総督府嘱託退職にて挨拶状〕 細川貞之丞	昭和10年4月(1935)	1枚・活版	18-14-192-62
書簡〔漢詩「壮行集跋」〕 細川貞之丞→守屋栄夫	昭和12年カ12月4日 (1937)	1通・ペン	4-16
書簡〔就職先斡旋依頼(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正1月30日	1通・活版・墨書 ・ペン	82-3-309
葉書〔近況通知(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正3月17日	1通・ペン	82-3-350
書簡〔南満方面に関する件、季弟の適業探し〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正6月22日	1通・墨書・ペン	5-16-9
葉書〔統治行政の著述(漢文)〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正24日	1通・ペン	82-3-343
書簡〔藤井属の異動問題について〕 細川貞之丞→守屋栄夫	大正	1通・ペン	9-14-36
書簡〔貴簡お礼、京城鮎貝からの返信ない旨〕 細川貞之丞→守屋栄夫	3月9日	1通・墨書	81-636

書簡 / 来信

書簡〔情況調査のため東京へ出張口添え願ひ〕 細川貞之丞→守屋栄夫		1通・ペン	85-3-8-16
書簡〔中身欠〕 細川貞之丞→守屋栄夫		1通・墨書	6-69
書簡〔お悔やみ状〕 細川忠視→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-68
書簡〔成田喜十郎の転任願ひについて〕 細川長平〔内務部長〕→守屋栄夫	大正15年3月8日(1926)	1通・墨書	85-8-10
葉書〔寒中見舞い〕 細川富三郎・信子・不盡夫・郁江・雪枝・万古人・日出夫・三穂子	昭和2年1月(1927)	1枚・活版	86-326-79
電報〔近況報告〕 ホソカワ→守屋栄夫	昭和2年1月4日(1927)	1通・ペン	85-7-2-20-2
書簡〔加賀囑託お招きの時刻ご指定願ひ〕 細川〔囑託〕→守屋秘書課長	8月23日	1通・墨書・活版	9-14-33
軍事郵便〔年末の挨拶〕 堀田四郎→守屋栄夫	大正8年1月1日(1919)	1枚・墨書	82-3-253
葉書〔挨拶〕 堀田健男→守屋栄夫	大正15年12月(1926)	1枚・活版	85-7-2-30
招待状〔結婚の披露宴招待〕 堀田正恒・伊達興宗→守屋栄夫・令夫人	大正14年11月(1925)	1通・活版	85-10-64
書簡〔委員委嘱の依頼状〕 穂積八束→守屋栄夫	明治41年9月28日(1908)	1通・墨書	6-46-30
葉書〔暑中見舞い〕 保々郎子→守屋栄夫	大正6年8月16日(1917)	1枚・墨書	81-233
書簡〔秀才ブローカー設立につき、設立趣意書〕 保々隆矣→守屋栄夫	大正7年6月1日(1918)	1通・ペン・活版	83-13-18
書簡〔理事官の転任地について〕 保々雄矢→守屋栄夫	大正6年10月6日(1917)	1通・ペン	81-377
葉書〔新事業「秀才教育」四月より開始〕 保々→守屋栄夫	大正8月15日	1枚・ペン	81-244
書簡〔お悔やみ状〕 甫守謹吾・ふみ→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書・ペン	9-15-161
葉書〔お悔やみ状〕 甫守謹吾・甫守ふみ→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・活版・墨書	9-15-53
葉書〔当選祝い〕 甫守ふみ→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	84-3-7
書簡〔お悔やみ状〕 堀経夫→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-14-64
書簡〔お悔やみ状〕 堀鄭勲→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	6-54-7
書簡〔当選祝い〕 堀井源之助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-18
書簡〔お悔やみ状〕 堀井治一郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-14-80
書簡〔当選祝い〕 堀江吉之助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-78
書簡〔お悔やみ状〕 堀江季雄→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-32
葉書〔当選祝い〕 堀江好雄〔旅順第二小学校〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-193
書簡〔不逞鮮人の投弾に対する見舞、欠席の打電〕 堀尾茂助→守屋栄夫	大正8年9月5日(1919)	1通・墨書	9-17-28
書簡〔機械農場の件、「機械農場ノ来歴及現状」〕 堀尾茂助→守屋栄夫	大正13年7月17日(1924)	1通・墨書・謄写版	9-22-27
葉書〔シベリアからの帰還、ワシントンで会を開会〕 堀切善次郎→守屋栄夫	大正8年5月23日(1919)	1枚・ペン	82-3-28

書簡〔小生1・2年ほど滞在のつもりにて御出あれば御案内仕る旨〕 堀切善次郎→守屋栄夫	31日	1通・墨書	84-19-16
葉書〔清津憲兵分遣所長退職の上京城朝鮮憲兵隊司令部執務の旨挨拶状〕 堀口文橋→守屋栄夫	大正15年3月17日 (1926)	1枚・ペン	86-188
葉書〔訪問時のお詫び〕 堀口文橋→守屋栄夫	大正15年3月30日 (1926)	1枚・ペン	84-5-40
書簡〔お悔やみ状〕 堀蔵かね→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-79
書簡〔無事に転校したことについて〕 堀越一夫→守屋栄夫	昭和5年 (1930)	1通・ペン	10-405-20
葉書〔函館より挨拶状〕 堀越一夫→守屋栄夫	昭和6年1月カ22日 (1931)	1枚・ペン	86-1-59
書簡〔帰省時の家族について近況報告〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正6年3月18日 (1917)	1通・墨書	84-20-131
葉書〔満洲駐屯地到着〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正6年5月30日 (1917)	1枚・ペン	81-19
葉書〔満洲地域近況報告〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正7年1月20日 (1918)	1枚・ペン	82-3-236
葉書〔大連・満洲の様子と活動報告〕 堀越圭介〔第二十七聯隊〕→守屋栄夫・好	大正7年5月12日 (1918)	1枚・ペン	82-3-54
葉書〔満洲の事情報告〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正7年9月13日 (1918)	1枚・ペン	82-3-64
葉書〔神戸港入港までの予定〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正7年9月26日 (1918)	1枚・ペン	82-3-63
書簡〔亡妻35日法要の案内状〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正8年6月29日 (1919)	1通・墨書	83-2-32
書簡〔お悔やみ状〕 堀越圭介→守屋栄夫	大正12年3月27日 (1923)	1通・墨書	18-14-162
書簡〔お悔やみ状〕 堀越圭介→守屋栄夫	昭和4年3月15日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-33-17
葉書〔暑中見舞い〕 堀越たみ→守屋栄夫	大正8年8月1日 (1919)	1枚・ペン	82-3-336
書簡〔姪のたみからの見舞いお礼状〕 堀越たみ→守屋栄夫	昭和4年8月19日 (1929)	1通・ペン	85-4-1-3
書簡〔近況報告〕 堀越たみ→守屋栄夫・よしみ	昭和5年4月16日 (1930)	1通・ペン	10-405-19
書簡〔恵贈品御礼〕 堀越たみ・みね→守屋栄夫	昭和6年1月18日 (1931)	1通・ペン	86-359-10
書簡〔帯や着物の御礼〕 堀越たみ子・みね子→守屋栄夫	昭和6年7月16日 (1931)	1通・ペン	86-348-46
葉書〔返書、子供の試験結果〕 堀越つらね→守屋栄夫	大正2年2月24日 (1913)	1枚・ペン	9-23-2
書簡〔年賀状、近況報告〕 堀越つらね→守屋栄夫	大正6年1月3日 (1917)	1通・墨書	84-20-92
葉書〔母本日死去につき通知〕 堀越与吉→守屋栄夫	大正10年9月12日 (1921)	1枚・墨書	78-3-75
書簡〔黒川の講演会で会えた喜びとお礼〕 堀蔵かね→守屋栄夫	大正14年12月9日 (1925)	1通・墨書	85-10-3
書簡〔大衡校赴任につきお礼〕 堀蔵かね→守屋栄夫	大正15年4月5日 (1926)	1通・ペン	85-3-2-6
書簡〔就職斡旋依頼〕 堀蔵かね→守屋栄夫	昭和4年7月22日 (1929)	1通・墨書	6-52-21
書簡〔朝鮮の学校志望につき学務部長に取り計らい依頼〕 堀蔵かね→守屋栄夫	昭和4年9月4日 (1929)	1通・墨書	85-4-5-8

書簡 / 来信

書簡〔塩釜の校長先生へに取り計らい依頼〕 堀篁かね →守屋栄夫	昭和4年9月23日(1929)	1通・墨書・ペン	85-4-5-18
葉書〔喪中〕 堀篁忠郎→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1枚・墨書	86-326-80
書簡〔当選祝い〕 堀篁忠郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン	10-408-111
葉書〔お悔やみ状〕 本多栄之助→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・墨書	5-12-51
書簡〔仙台市長推薦につきご高配願ひ〕 本田甚平→守 屋栄夫	大正15年3月7日(1926)	1通・墨書	85-8-11
葉書〔ハルビンの様子〕 本田甚平→守屋栄夫	昭和2年8月30日(1927)	1枚・ペン	84-1-98
書簡〔管内小学校長会議席表〕 本田甚平〔宮城県教育会〕 →守屋栄夫	昭和2年10月26日 (1927)	1通・活版	85-7-4-1
書簡〔来仙後一報願ひ〕 本田甚平→守屋栄夫	昭和2年12月12日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-26
書簡〔お悔やみ状〕 本田甚平→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-29-13
葉書〔帰朝報告、滞在中配慮への礼状〕 本田孝雄→守 屋栄夫	昭和4年12月16日 (1929)	1枚・ペン	5-8-38
書簡〔新生活報告、家屋賃貸調査委員会選挙結果、徴 兵検査結果〕 本田孝雄→守屋栄夫	昭和5年5月11日(1930)	1通・ペン	7-147-98
書簡〔中津山信用組合の土地所有の件〕 本田孝雄→守 屋栄夫	昭和5年9月27日(1930)	1通・ペン	10-408-3
書簡〔開墾予定の野地分譲、水害地小作料の免除〕 本 田孝雄→守屋栄夫	昭和5年10月21日 (1930)	1通・ペン	10-90
書簡〔稲刈りと失業者、栗の栽植、手当金支給〕 本田 孝雄→守屋栄夫	昭和5年10月3日(1930)	1通・ペン	10-22
書簡〔仙台歩兵第四連隊留守隊での近況報告、陸軍歩 兵一等卒に進級〕 本田孝雄→守屋栄夫	昭和6年7月20日(1931)	1通・ペン	86-348-49
書簡〔仙台歩兵第四連隊留守隊の伍長勤務となる〕 本田孝雄→守屋栄夫	昭和7年1月1日(1932)	1通・ペン	86-347-21
書簡〔秋季演習終了し除隊につき挨拶状〕 本田孝雄→ 守屋栄夫	昭和7年11月17日 (1932)	1通・ペン	83-4-37
書簡〔巡査採用試験合格報告〕 本田孝雄→守屋栄夫	昭和8年5月29日(1933)	1通・ペン	84-27-34
書簡〔入所の件実現につき礼状〕 本田孝雄→守屋栄夫	昭和8年8月7日(1933)	1通・ペン	84-18-14
書簡〔朝鮮総督府警察官講習所の生活に関する報告〕 本田孝雄→守屋栄夫	昭和8年10月18日 (1933)	1通・ペン	5-24-29
書簡〔高島氏への手渡し金残金渡し方の依頼〕 本多 恒彦→守屋栄夫	昭和7年5月24日(1932)	1通・謄写版・墨 書	86-350-17
書簡〔当選祝い〕 本多日生→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-107
書簡〔地方の青年等指導鞭撻願ひ他〕 本田勇治郎→守 屋栄夫	昭和4年1月31日(1929)	1通・ペン	85-4-4-5
葉書〔御栄転御祝〕 本間精→守屋栄夫	大正8年8月15日(1919)	1枚・墨書	9-10-34
葉書〔お悔やみ状〕 本間孝太郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1枚・墨書	5-12-16
葉書〔西山君合格、普通文官試験の慰労〕 本間善康→ 守屋栄夫	大正6年8月25日(1917)	1枚・ペン	81-230

書簡〔記念品贈呈の件〕 本間善康→守屋栄夫	大正6年11月3日(1917)	1通・墨書	83-14-202
書簡〔白菜送付に対するお礼〕 本間利雄→守屋栄夫	昭和8年12月10日 (1933)	1通・ペン	84-16-19
書簡〔本校第1回卒業生南部倉三君の就職幹旋願い〕 本間直人〔宮城県伊具農蚕学校長〕→守屋栄夫	昭和5年11月1日(1930)	1通・墨書	10-388
書簡〔当選祝い〕 本間勇吉→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-3
書簡〔お悔やみ状〕 本間勇吉→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-12

ま

葉書〔上京時の面会依頼〕 前川治→守屋栄夫	大正9年12月4日(1920)	1枚・ペン	81-249
書簡〔身上に関し配慮感謝〕 前川四郎→守屋栄夫	昭和5年12月26日 (1930)	1通・ペン	10-340
書簡〔当選祝い〕 前川善吉〔立憲政友会京都支部〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・ペン・活版	10-407-4
書簡〔当選祝い、我党は遺憾敗戦〕 前川善吉→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・ペン・活版	9-16-55
書簡〔お悔やみ状〕 前田宇治郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	6-54-25
葉書〔お悔やみ状〕 前田新□郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1枚・墨書	9-18-16
葉書〔シカゴに到着〕 前田多門→守屋栄夫	大正7年8月16日(1918)	1枚・ペン	82-3-174
葉書〔ウエストミンスターの近況報告〕 前田多門→守屋栄夫	大正8年カ12月9日 (1919)	1枚・ペン	82-3-251
書簡〔朝鮮訪問時の御礼〕 前田多門→守屋栄夫	大正9年7月29日(1920)	1通・ペン	5-5-21
書簡〔「平凡の善政」恵贈御礼〕 前田多門→守屋栄夫	大正10年10月9日 (1921)	1通・ペン	5-5-5
書簡〔ジェネヴァより、日印競争関係の弁護材料送付 願い、労働法制ほか〕 前田多門→守屋栄夫	大正14年10月30日 (1925)	1通・ペン	84-5-51
書簡〔失業者問題につき協力感謝、今年の総会を最後に 解職願度、連盟の現状等報告〕 前田多門→守屋栄夫	大正15年1月25日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-14
葉書〔ジェネヴァより新年挨拶〕 前田多門・房子→守屋栄夫	大正15年1月(1926)	1枚・ペン	85-3-5-31
書簡〔冊子類恵贈御礼、川西君帰朝、津田正夫就職幹 旋依頼〕 前田多門→守屋栄夫	大正15年4月25日 (1926)	1通・ペン	85-3-8-20
書簡〔津田正夫児童救済財団書記就職御礼〕 前田多門 →守屋栄夫	大正15年7月6日(1926)	1通・ペン	85-3-7-20
書簡〔労働総会は愉快に過ぎる、一同帰朝、後任は ジェネヴァの投票では大兄が最高点〕 前田多門→ 守屋栄夫	大正15年8月4日(1926)	1通・ペン	85-3-7-21
書簡〔いよいよ帰国、労働統計家会議に出席ほか〕 前 田多門→守屋栄夫	大正15年10月18日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-34
書簡〔予算増額御礼〕 前田多門→守屋栄夫	大正15年11月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-50

書簡〔書記増派の件、児童に関する社会事業参考資料送付願い〕 前田多門→守屋栄夫	大正15年12月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-40
書簡〔東京市政調査会専務理事就任〕 前田多門→守屋栄夫	昭和2年8月14日 (1927)	1通・ペン	85-7-6-26
葉書〔年賀状、モスコより、毎日視察〕 前田多門→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・ペン	84-3-77
書簡〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 前田多門→守屋栄夫	昭和3年4月23日 (1928)	1通・ペン	10-173
書簡〔罹災救助基金法改正に尽力感謝〕 前田利定〔東京私設社会事業聯盟理事長子爵〕→守屋栄夫	昭和7年9月20日 (1932)	1通・墨書	83-11-20
葉書〔当選祝い〕 前田昇→守屋栄夫	昭和3年5月22日 (1928)	1枚・墨書	86-325-39
書簡〔お悔やみ状〕 前田昇→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-14
書簡〔帖巻冊贈呈、支那地へ入り込む〕 前田昇→守屋栄夫	大正7月13日	1通・墨書	6-58-9
書簡〔ホテルメトロポールで総会前の準備会議、ジェネヴァ近況報告〕 前田房子→守屋栄夫	大正15年5月21日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-8
書簡〔大東興業請負の塩田工事資金の件、主人の朝鮮鉄道就職幹旋依頼、前田新寿郎履歴書〕 前田ゆきゑ→守屋栄夫	昭和3年1月12日 (1928)	1通・墨書	10-408-94
書簡〔徳夫奥様死去、前田の就職幹旋依頼ほか〕 前田ゆきゑ→守屋栄夫	昭和3年12月7日 (1928)	1通・ペン	10-413-27
書簡〔立候補宣言、立候補挨拶〕 前田米蔵〔東京府第六区衆議院議員候補者〕→守屋栄夫	昭和3年1月 (1928)	1通・活版	85-2-9
書簡〔土木談合事件公判弁論御礼〕 前野定喜〔朝鮮土木建築協会会長〕→守屋栄夫	昭和8年12月9日 (1933)	1通・墨書	84-16-20
葉書〔年賀状〕 蒔田寿〔仙台市東北学院〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-200
葉書〔山中郡長は東葛飾郡へ転任、後任君津郡より藤川郡長着任〕 牧野喜助〔安房郡役所〕→守屋栄夫	大正6年4月8日 (1917)	1枚・ペン	81-155
葉書〔ご栄転を祝す〕 牧野谷政一〔朝鮮総督府土地改良課〕→守屋栄夫	大正13年9月16日 (1924)	1枚・ペン	85-1-30
書簡〔お悔やみ状〕 牧野虎次→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1通・ペン	5-25-10-33-8
葉書〔年賀状〕 牧山耕蔵〔朝鮮新聞社長・衆議院議員〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-201
葉書〔国川勇就職幹旋依頼〕 牧山〔朝鮮新聞社〕→守屋栄夫	大正11年9月19日 (1922)	1枚・ペン	9-27-33
葉書〔お悔やみ状、哀悼の句〕 正木慶秀→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1枚・ペン	9-15-171
書簡〔披露宴挨拶原稿依頼〕 正木慶秀→守屋栄夫	昭和8年6月19日 (1933)	1通・墨書・ペン	83-6-11
書簡〔移民募集費補助問題の件〕 正見透→守屋栄夫	昭和7年11月27日 (1932)	1通・ペン	83-4-29
書簡〔松木氏の件都合不能〕 将山友蔵→守屋栄夫	大正6年3月17日 (1917)	1通・墨書	84-20-155
書簡〔当選祝い〕 増子胞吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-407-52
書簡〔お悔やみ状〕 増子胞吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-4

書簡〔講師謝礼金贈与御礼〕 益家政助〔鉄道青年会本部〕 →守屋栄夫	昭和1年12月25日 (1926)	1通・ペン	85-3-6-13
書簡〔朝鮮総督府就任に付き原首相との会見内容報告〕 升内伴郎→守屋栄夫	大正8年9月22日 (1919)	1通・ペン	9-25-21
書簡〔総選挙応援〕 升内彦→守屋栄夫	昭和3年2月7日 (1928)	1通・活版・墨書	10-414-4
葉書〔視察のため朝鮮訪問〕 升内→守屋栄夫	昭和2年5月9日 (1927)	1枚・ペン	84-5-24
葉書〔喪中〕 枡方弘政→守屋栄夫	昭和1年12月31日 (1926)	1枚・墨書	86-326-35
葉書〔お悔やみ状〕 松坂潤蔵→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1枚・墨書	6-57-7
葉書〔当選祝い〕 松坂関七郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	7-147-334
葉書〔お悔やみ状〕 松坂貞治郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1枚・墨書	6-57-46
葉書〔お悔やみ状〕 松坂半治→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1枚・墨書	6-57-44
葉書〔喪中〕 松坂屋→守屋栄夫	昭和1年12月27日 (1926)	1枚・活版・ペン	85-7-2-1-12
書簡〔当選祝い〕 松坂屋洋服部→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1通・墨書	10-407-36
書簡〔当選祝い〕 升沢英造→守屋栄夫	昭和3年カ (1928)	1通・墨書	10-303-2
書簡〔就職斡旋依頼〕 枡沢久之→守屋栄夫	大正15年3月4日 (1926)	1通・墨書	85-8-14
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 増田義一→守屋栄夫	昭和3年5月17日 (1928)	1枚・ペン	86-325-51
書簡〔選挙応援、必勝祈願〕 増田重喜→守屋栄夫	昭和3年2月吉日 (1928)	1通・墨書	10-301
書簡〔木名瀬新君の待遇貴意に副えず〕 増田秀吉→守屋栄夫	昭和8年9月21日 (1933)	1通・墨書	84-25-1
葉書〔喪中〕 増田具治→守屋栄夫	昭和1年12月29日 (1926)	1枚・活版・墨書	86-326-44
書簡〔当選祝い、王陽明の詩〕 升塚龍吉→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	10-126
書簡〔学費貸与申請書、雲井龍雄三首〕 升塚龍吉→守屋栄夫	昭和6年3月19日 (1931)	1通・墨書	86-357-7
葉書〔熊本県で講演開始〕 益富政助→守屋栄夫	大正15年9月2日 (1926)	1枚・ペン	86-220
書簡〔当選祝い、応援演説の件〕 益富政助→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1通・ペン	10-129
書簡〔佐々木寅雄氏借金の件〕 益富政助→守屋栄夫	昭和7年5月19日 (1932)	1通・ペン・謄写版	86-350-10
書簡〔選挙運動慰労〕 町田早苗→守屋栄夫	昭和3年2月21日 (1928)	1通・墨書	7-147-79
書簡〔選挙応援〕 町田早苗→守屋栄夫	昭和5年2月14日 (1930)	1通・墨書	10-125
葉書〔時候挨拶〕 松井源→守屋栄夫	昭和6年5月□日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-303
書簡〔お悔やみ状〕 松井貞子→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-168
書簡〔選挙運動激励〕 松井幸子→守屋栄夫	昭和3年2月2日 (1928)	1通・墨書	7-147-140
書簡〔夫の病状報告と見舞御礼〕 松井幸子→守屋栄夫	昭和4年10月8日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-19
書簡〔内務省復帰祝い〕 松井茂→守屋栄夫	大正6年2月15日 (1917)	1通・墨書	84-7-2

書簡〔感謝状〕 松井茂〔日本赤十字社愛知支部長法学博士〕 →守屋栄夫	大正6年5月10日(1917)	1通・墨書	83-14-173
葉書〔近日上京予定〕 松井茂〔名古屋市〕→守屋栄夫	大正7年5月4日(1918)	1枚・ペン	82-3-90
書簡〔愛知県下の米穀騒擾事件と細民部落の自制に 就て〕 松井茂→守屋栄夫	大正7年9月9日(1918)	1通・活版	83-10-37
葉書〔調査印刷物郵送御礼、内閣更迭〕 松井茂〔名古屋 市〕→守屋栄夫	大正7年10月12日 (1918)	1枚・ペン	82-3-113
書簡〔招待断り、恵贈品御礼〕 松井茂→守屋栄夫	大正7年12月16日 (1918)	1通・墨書	5-6-43
書簡〔中身欠〕 松井茂→守屋栄夫	大正7年12月17日 (1918)	1通・墨書	5-6-33
書簡〔磯野の指定理事官に付近況報告〕 松井茂→守屋 栄夫	大正8年カ3月10日 (1919)	1通・墨書	84-7-22
書簡〔丸山鶴吉より永見房吉就職斡旋依頼〕 松井茂→ 守屋栄夫	大正8年5月12日(1919)	1通・墨書・ペン	84-30-13
書簡〔母逝去につき厚情御礼〕 松井茂→守屋栄夫	大正8年11月14日 (1919)	1通・墨書	83-2-20
名刺〔招宴御礼〕 松井茂→守屋栄夫	大正9年3月3日(1920)	1通・ペン	82-3-330
書簡〔水野総監に面談できず残念、思想問題大切〕 松 井茂→守屋栄夫	大正9年8月22日(1920)	1通・墨書	9-17-30
書簡〔野菜恵贈御礼〕 松井茂→守屋栄夫	大正11年2月15日 (1922)	1通・墨書	9-20-21
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 松井茂→守屋栄夫	大正13年9月13日 (1924)	1通・墨書	85-1-17
書簡〔水野氏将来首相の動きの噂〕 松井茂→守屋栄夫	昭和2年12月4日(1927)	1通・墨書	85-9-139
葉書〔年賀状〕 松井茂→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン	86-322-202
書簡〔当選祝い〕 松井茂→守屋栄夫	昭和3年2月 22日 (1928)	1通・墨書	10-167
葉書〔他日面会したき〕 松井茂→守屋栄夫	昭和4年8月27日(1929)	1枚・ペン	86-297
葉書〔挨拶状〕 松井茂→守屋栄夫	昭和7年10月6日(1932)	1枚・ペン	86-80
書簡〔シベリア出兵帰還者危険思想憂慮〕 松井茂〔愛 知県知事〕→守屋栄夫	大正3月20日	1通・墨書・活版	5-6-2
書簡〔当選祝い〕 松井信助→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-248
葉書〔お悔やみ状〕 松井清蔵→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1枚・ペン	9-18-3
書簡〔伊藤哲治氏就職のため市長宛書簡依頼、土井氏 告別式参列〕 松井友則→守屋栄夫	昭和8年9月13日(1933)	1通・ペン	84-25-37
葉書〔ご機嫌伺い〕 松井房治郎→守屋栄夫	昭和3年1月カ11日カ (1928)	1枚・ペン	86-329-35
書簡〔徳夫夫妻中毒、正男不幸他家族関係〕 松井文輔 →守屋栄夫	大正12年3月21日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-26
書簡〔お悔やみ状、著書の件佐々木事務官に相談、中 沢真介人事配慮願他〕 松井文輔→守屋栄夫	大正12年5月15日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-27

書簡〔有吉総監東上決定、岩切君香川県道路主事内定に付感謝他〕 松井文輔→守屋栄夫	大正12年6月4日(1923)	1通・ペン	80-2-2-12
書簡〔家族近況報告、堀田次官病気の為退隠他〕 松井文輔→守屋栄夫	大正12年6月14日(1923)	1通・ペン・活版	80-2-2-25
葉書〔帰任の挨拶〕 松井文輔→守屋栄夫	大正12年7月17日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-4
葉書〔朝鮮総督府にて近況報告〕 松井文輔→守屋栄夫	大正12年7月25日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-19
葉書〔震災直後の東京、家族無事〕 B.matsui→守屋栄夫	大正12年9月12日(1923)	1枚・ペン	6-60-18
書簡〔震災後の被害状況報告〕 松井文輔→守屋栄夫	大正12年9月26日(1923)	1通・ペン	80-39-1-12
葉書〔朝鮮神宮御鎮座祭〕 松井文輔→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1枚・ペン	84-6-85
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭を祝す〕 松井文輔→守屋栄夫	大正14年10月27日(1925)	1枚・ペン	84-6-107
書簡〔年末挨拶、御歳暮贈る〕 松井文輔→守屋栄夫	大正14年12月19日(1925)	1通・ペン	85-10-76
葉書〔「我等が進むべき道」御礼〕 松井文輔→守屋栄夫	大正14年12月28日(1925)	1枚・ペン	84-6-75
葉書〔紀元節にあたり挨拶状〕 文輔→守屋栄夫	大正15年2月11日(1926)	1枚・ペン	86-197
葉書〔紀元節につき挨拶状〕 文輔→守屋栄夫	大正15年2月11日(1926)	1枚・ペン	86-2
葉書〔権寧万に訓示御礼、共進会準備中〕 松井文輔〔馬山府〕→守屋栄夫	大正15年6月14日(1926)	1枚・ペン	84-3-113
葉書〔挨拶〕 松井文輔→守屋栄夫	大正15年6月15日(1926)	1枚・ペン	84-3-112
葉書〔全南道共進会の景況の件〕 文輔→守屋栄夫	大正15年11月23日(1926)	1枚・ペン	86-322-63
葉書〔挨拶状〕 文輔→守屋栄夫	昭和2年5月21日(1927)	1枚・ペン	86-160
葉書〔近況報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和2年6月1日(1927)	1枚・ペン	85-9-5
書簡〔全快願い〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和2年12月12日(1927)	1通・墨書	85-7-7-2
葉書〔暑中見舞い〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和3年7月18日(1928)	1枚・ペン	86-322-165
葉書〔暑中見舞い、渡鮮時配慮御礼〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和3年8月9日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-248
書簡〔お悔やみ状〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・ペン	9-11-6
書簡〔職場初勤務他、お見舞い挨拶〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和4年9月2日(1929)	1通・ペン	85-4-5-7
書簡〔今村氏からの手紙に付報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和4年11月25日(1929)	1通・ペン	5-31-30
書簡〔就職について報告〕 松井文輔〔馬山府〕→守屋栄夫	昭和4年12月16日(1929)	1通・ペン	5-14-8

書簡〔就職について相談〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和4年12月17日 (1929)	1通・ペン	5-14-5
書簡〔休職の件〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和4年12月9日 (1929)	1通・ペン	5-14-35
書簡〔御芳情御礼〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和5年1月6日 (1930)	1通・ペン	10-403-23
書簡〔松井文輔母入院について〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和5年4月17日 (1930)	1通・墨書	10-405-1
書簡〔国勢調査課の近況報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和5年5月15日 (1930)	1通・墨書	10-406-29
葉書〔御来鮮につき挨拶状〕 文輔→守屋栄夫	昭和5年6月10日 (1930)	1枚・ペン	86-1-28
葉書〔朝鮮地方講演、機嫌伺い〕 文輔→守屋栄夫	昭和5年7月25日 (1930)	1枚・ペン	86-322-275
葉書〔国調指導で差向の件〕 文輔→守屋栄夫	昭和5年9月29日 (1930)	1枚・ペン	86-1-54
書簡〔今野君との会話、叙位叙勲感謝〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和5年10月8日 (1930)	1通・ペン	10-49
書簡〔中身欠〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和5年10月8日 (1930)	1通・ペン	10-21
書簡〔東拓総裁人事、自宅新築報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和5年12月6日 (1930)	1通・ペン	7-147-10
書簡〔新年の挨拶、見舞い状〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和6年1月14日 (1931)	1通・ペン	86-359-28
書簡〔守屋の議会活動、松村氏内務行きの噂〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和6年2月6日 (1931)	1通・ペン	86-355-25
書簡〔今村内務は随分勝手、国調も少し不穩〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和6年4月7日 (1931)	1通・ペン	86-346-17
葉書〔時候挨拶〕 文輔→守屋栄夫	昭和6年4月22日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-297
書簡〔選挙立候補について〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和6年9月10日 (1931)	1通・ペン	86-356-15
書簡〔華菓送付〕 松井文輔→守屋栄夫・御奥様	昭和6年9月21日 (1931)	1通・ペン	86-356-6
書簡〔近況報告、学会の事心配〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和7年5月5日 (1932)	1通・ペン	84-24-18
書簡〔見舞い状〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和7年6月15日 (1932)	1通・ペン	84-13-8
書簡〔全北全州土木談合事件上告公判の新聞記事、朝鮮総督府幹部人事につき景況報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和7年7月1日 (1932)	1通・ペン・活版	83-3-33
書簡〔来鮮時の記念品御礼〕 松井文輔→守屋栄夫・御令夫人	昭和7年10月12日 (1932)	1通・ペン	83-5-3
書簡〔宇垣総督帰任の噂につき所感〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和7年11月3日 (1932)	1通・ペン	83-4-19
書簡〔朝鮮信託等の異動につき報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和7年11月8日 (1932)	1通・ペン	83-4-8
書簡〔昭和連盟につき所感、尾崎丈夫氏葉書(道庁での守屋氏講演所感)同封〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和7年11月14日 (1932)	1通・ペン	83-4-30
書簡〔総督府の異動状況〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和8年7月29日 (1933)	1通・墨書	84-15-9
書簡〔朝鮮総督府人事につき近況報告〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和8年8月11日 (1933)	1通・ペン	84-18-16
書簡〔各種の事項につきお許し願ひ〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和8年8月22日 (1933)	1通・墨書	84-18-33

書簡〔ご機嫌伺い〕 松井文輔・幸子→守屋栄夫	昭和8年9月29日(1933)	1通・ペン	84-12-22
葉書〔ご機嫌伺い、咸南滞在中〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和8年11月20日(1933)	1枚・ペン	86-323-9
書簡〔家族等病気にに対し同情感謝〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和8年12月29日(1933)	1通・墨書	85-6-17
書簡〔当選祝い〕 松井文輔→守屋栄夫	昭和2月29日	1通・墨書	10-111
電報〔無事帰朝祈念〕 マツキ→守屋栄夫	大正12年1月23日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-10
電報〔航海の安全祈念〕 マツキ→守屋栄夫	大正12年11月23日(1923)	1通・ペン	80-2-1-31-3
書簡〔「其ノ後推薦状差出タルモノ」〕 松井→守屋栄夫		1通・ペン	10-29
書簡〔お悔やみ状〕 松浦忠治郎→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-8-2
葉書〔欧州より帰朝祝い〕 松浦豊三郎→守屋栄夫	大正14年10月(1925)	1枚・墨書	84-6-96
葉書〔当選祝い〕 松浦豊三郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	84-3-6
書簡〔お悔やみ状〕 松浦豊三郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-28-18
書簡〔お悔やみ状〕 松尾昌輝→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-57-16
書簡〔お悔やみ状〕 松尾万→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-9-9
書簡〔次男松岡達雄の就職斡旋依頼〕 松岡小三郎→守屋栄夫	昭和5年5月22日(1930)	1通・ペン・墨書	10-406-33
書簡〔須藤光夫の飛行機製作方面への就職斡旋依頼〕 松岡小三郎→守屋栄夫	昭和8年6月7日(1933)	1通・ペン	83-6-34
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 松岡正男→守屋栄夫	昭和3年7月17日(1928)	1枚・ペン	86-322-161
書簡〔お悔やみ状、近況報告〕 松岡又一→守屋栄夫	昭和4年5月5日(1929)	1通・ペン	85-4-4-40
葉書〔手島氏の件、追って連絡〕 松兼→守屋栄夫	大正6年10月10日(1917)	1枚・ペン	81-79
書簡〔当選祝い〕 松川市作→守屋栄夫	昭和4月13日	1通・墨書	10-197
書簡〔選挙応援〕 松木とも子→守屋栄夫	昭和3年カ2月14日(1928)	1通・ペン	10-222
書簡〔亡父納骨につき景況報告〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年5月22日(1917)	1通・墨書	83-14-40
書簡〔今野君の仲人依頼〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年6月28日(1917)	1通・墨書	83-14-15
書簡〔祖母母50年忌後につき挨拶〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年7月9日(1917)	1通・墨書	83-14-41
書簡〔結婚式挨拶御礼〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年8月27日(1917)	1通・墨書	83-14-14
書簡〔校長教員対立事件にて校長を支持〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年9月26日(1917)	1通・墨書	83-14-19
書簡〔学校騒擾にて校長等休退職につき所感〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年10月12日(1917)	1通・墨書	83-14-102
書簡〔学校騒擾事件落着を見ず〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年10月22日(1917)	1通・墨書	83-14-5

書簡〔当校騒擾の件〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年11月4日(1917)	1通・墨書	83-14-199
書簡〔学校での会議内容報告〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年11月9日(1917)	1通・墨書	83-14-183
書簡〔檜山事件について報告〕 松木友則→守屋栄夫	大正6年12月18日(1917)	1通・墨書	83-14-200
書簡〔講演記事送付、新聞切抜「シベリア事情と露国革命の教訓1〜3」,「地方自治の精神」恵贈御礼〕 松木友則・西村保吉→守屋栄夫	大正8年4月17日(1919)	1通・墨書	83-2-30
書簡〔求職に付き口添え依頼〕 松木友則→守屋栄夫	大正8年8月2日(1919)	1通・墨書	5-6-9
書簡〔石川氏配慮依頼、松山氏新設校校長採用願い〕 松木友則→守屋栄夫	大正9年2月1日(1920)	1通・墨書	83-10-27
書簡〔元同僚ら転任推薦依頼〕 松木友則→守屋栄夫	大正14年10月26日(1925)	1通・ペン	85-10-57
書簡〔萱場氏転任対応御礼〕 松木友則→守屋栄夫	昭和4年1月8日(1929)	1通・ペン	6-55-23
葉書〔お悔やみ状〕 松木友則→守屋栄夫	昭和4年3月4日(1929)	1枚・墨書	9-15-52
書簡〔講演会所感〕 松木友則→守屋栄夫	昭和4年9月28日(1929)	1通・ペン	85-4-1-33
書簡〔学校職員兼職に関し市長への斡旋方猶予願い〕 松木友則→守屋栄夫	昭和6年5月9日(1931)	1通・ペン	86-354-44
書簡〔学校経営方針につき当方希望報告〕 松木友則→守屋栄夫	昭和6年6月22日(1931)	1通・ペン	86-352-41
書簡〔学校における身上に関し朴沢氏との面会願い〕 松木友則→守屋栄夫	昭和6年6月26日(1931)	1通・ペン	86-352-16
書簡〔学校退職につき相談〕 松木友則→守屋栄夫	昭和6年7月10日(1931)	1通・ペン	86-350-53
書簡〔450円送金受領〕 松木友則→守屋栄夫	昭和7年10月20日(1932)	1通・ペン	83-1-22
書簡〔氏名調持参の件、熊谷仙太氏退職にて紹介の件〕 松木友則→守屋栄夫	昭和8年4月25日(1933)	1通・ペン	85-11-28
書簡〔大河内家の不幸について、朴沢校長叙勲問題〕 松木友則→守屋栄夫	昭和8年7月8日(1933)	1通・ペン	84-26-4
書簡〔大河内氏遺産増殖につき問い合わせ〕 松木友則→守屋栄夫	昭和8年12月14日(1933)	1通・ペン	84-16-18
書簡〔お悔やみ状〕 松倉清次郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-189-2
書簡〔再会希望、新住所の報告〕 マツケイ→守屋栄夫	昭和4年9月8日(1929)	2通・ペン	6-56-48-4
葉書〔お悔やみ状〕 松崎時勉→守屋栄夫・守屋令夫人	大正12年3月24日(1923)	1枚・墨書	18-14-188
葉書〔暑中見舞い〕 松崎英彦→守屋栄夫	大正15年7月25日(1926)	1枚・墨書	86-322-45
書簡〔諒闇中に付年賀御遠慮申上候〕 松崎英彦→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	85-7-1-4
書簡〔当選祝い〕 松崎英彦→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-10
書簡〔当選祝い〕 松崎英彦→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-161
書簡〔記念品お礼〕 松沢清→守屋栄夫	大正6年5月15日(1917)	1通・墨書	83-14-192

葉書〔上京予定報告〕 松沢清→守屋栄夫	大正7年8月5日(1918)	1枚・ペン	82-3-97
葉書〔近況報告〕 松沢清→守屋栄夫	大正7年8月12日(1918)	1枚・ペン	82-3-74
葉書〔暑中御伺い〕 松沢清〔弁護士〕→守屋栄夫	大正13年7月25日(1924)	1枚・ペン・謄写版・活版	9-22-3
葉書〔転居通知〕 松沢清→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1-6
書簡〔本二冊秘書へ渡す〕 松沢清→守屋栄夫	昭和2年12月15日(1927)	1通・ペン	85-7-3-19
書簡〔当選祝い〕 松沢章五郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-279
葉書〔挨拶状〕 松沢みちる→守屋栄夫・よしみ	大正7年8月4日(1918)	1枚・墨書	82-3-94
葉書〔上京期日報告〕 松沢→守屋栄夫	大正7年8月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-93
書簡〔小倉氏の件、全羅州道の状況報告〕 松下芳三郎→守屋栄夫	昭和5年12月4日(1930)	1通・墨書	7-147-7
書簡〔咸興電気問題の起因〕 松下芳三郎→守屋栄夫	昭和6年2月6日(1931)	1通・墨書	86-355-21
書簡〔会見御礼〕 松下芳三郎→守屋栄夫	昭和6年4月1日(1931)	1通・墨書	86-346-18
書簡〔来訪時のお詫び〕 松下芳三郎→守屋栄夫	昭和7年5月5日(1932)	1通・墨書	84-24-12
書簡〔星出・松村に御配意〕 松下芳三郎→守屋栄夫	昭和7年10月31日(1932)	1通・墨書	83-1-35
書簡〔半島において人心なき他〕 松下芳三郎→守屋栄夫	昭和8年8月31日(1933)	1通・ペン	84-18-44
葉書〔世良田事件を回顧中、ご教示を〕 松島釜蔵→守屋栄夫	昭和2年5月28日(1927)	1枚・ペン	85-9-12
書簡〔拓務懇談会の件〕 松田源治→守屋栄夫	昭和4年12月20日(1929)	1通・謄写版	5-14-98
葉書〔古川裁判所採用の件〕 松田孝之丞→守屋栄夫	明治41年12月18日(1908)	1枚・墨書	6-46-1
書簡〔頌徳碑建設と寄付金募集計画の相談〕 松田孝之丞→守屋栄夫	明治42年5月5日(1909)	1通・墨書	6-46-24
書簡〔梅原・菊池と守賀との小作事件〕 松田孝之丞→守屋栄夫	明治42年12月11日(1909)	1通・墨書	6-46-50
書簡〔役場復帰の件、梅原氏金を持参せず〕 松田孝之丞→守屋栄夫	明治43年2月3日(1910)	1通・墨書	6-46-27-2
葉書〔挨拶状〕 松田孝之丞→守屋栄夫	大正6年3月19日(1917)	1枚・ペン	81-107
書簡〔渡辺運吉就職斡旋依頼〕 松田孝之丞→守屋栄夫	大正7年7月28日(1918)	1通・墨書・ペン	83-7-15
葉書〔暑中見舞い〕 松田茂→守屋栄夫	大正15年7月30日(1926)	1枚・ペン	86-325-2
書簡〔お悔やみ状〕 松田庄五郎→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-25-9-8
書簡〔松田髯市就職斡旋願い〕 松田髯一→守屋栄夫	大正7年3月12日(1918)	1通・墨書	83-7-19
書簡〔お悔やみ状、御香典〕 松田髯一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-10-9
書簡〔当選祝い〕 松田髯一→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-127

書簡〔中学卒業報告、進学指導と援助依頼〕 松田達男 →守屋栄夫	昭和4年2月20日(1929)	2通・ペン	6-56-3
書簡〔当選祝い〕 松田司〔宮城県岩沼町農事試験場〕→守屋 栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-306
書簡〔満鉄方面への就職斡旋依頼〕 松田甫→守屋栄夫	昭和5年11月13日 (1930)	1通・ペン	10-314
書簡〔就職先紹介礼状、就職活動経過報告〕 松田甫→ 守屋栄夫	昭和5年12月24日 (1930)	1通・ペン	7-147-61
葉書〔当選祝い〕 松田安志→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-335
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 松田義雄→守屋栄 夫	大正13年9月10日 (1924)	1通・ペン	85-1-14
書簡〔選挙応援〕 松田義雄→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	10-159
書簡〔恵贈品御礼〕 松田義雄→守屋栄夫	昭和5年12月23日 (1930)	1通・墨書	7-147-64
書簡〔白菜恵贈につき礼状〕 松田義雄・松田紀子→守屋 栄夫・奥様	昭和6年カ12月10日 (1931)	1通・墨書	86-351-8
書簡〔お茶恵贈御礼〕 松田義雄→守屋栄夫	昭和7年12月13日 (1932)	1通・ペン	84-14-12
書簡〔白菜恵贈御礼〕 松田義雄→守屋栄夫	昭和8年12月7日(1933)	1通・ペン	84-17-24
葉書〔知事代理として横手小学校落成式出席〕 松田 →守屋栄夫	明治44年11月4日 (1911)	1枚・墨書	81-576
葉書〔祝健康〕 松田→守屋栄夫	大正6年8月23日(1917)	1枚・ペン	81-222
葉書〔郡役所事務検閲のため出張中〕 松田→守屋栄夫	大正6年8月24日(1917)	1枚・ペン	81-223
葉書〔昇進祝い〕 松田→守屋栄夫	大正6年9月15日(1917)	1枚・ペン	81-23
電報〔出帆を祝し挨拶状、無事の帰朝を祈念し挨拶 状〕 マツタ→守屋栄夫	大正12年1月21日 (1923)	1通・謄写版	80-40-5-11
書簡〔お悔やみ状〕 松寺竹雄→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-18-8
書簡〔当選祝い、夫の生前ご高配御礼〕 松野さた子→ 守屋栄夫	昭和3年3月15日(1928)	1通・ペン	86-329-1
葉書〔来月中旬郡村長団伊勢神宮参宮〕 松野司→守屋 栄夫	大正6年10月5日(1917)	1枚・ペン	81-485
葉書〔大連より挨拶状〕 松野司→守屋栄夫	大正6年11月22日 (1917)	1枚・ペン	81-74
電報〔弔電〕 松野司→モリヤサカフ	大正12年3月16日 (1923)	1通・カーボン	18-14-72
葉書〔挨拶状〕 松野司・貞子・佐々木清之丞・大内俊亮・山さ し・早坂・甲田張之助・柏木三郎・佐々木惣助・高橋敏→守屋 栄夫	大正15年3月12日 (1926)	1枚・ペン・墨書	86-322-8
書簡〔重谷園における会合報告〕 松野司→守屋栄夫	昭和3年1月15日(1928)	1通・ペン	10-413-1
葉書〔台北より挨拶状〕 松橋喜代治→守屋栄夫	昭和2年5月16日(1927)	1枚・ペン	86-157
葉書〔阿里山より挨拶状〕 松橋喜代治→守屋栄夫	昭和2年5月21日(1927)	1枚・ペン	86-145

葉書〔北京到着〕 松橋喜代治→守屋栄夫	昭和4年10月12日 (1929)	1枚・ペン	86-324-84
葉書〔南支の状況〕 松橋喜代治→守屋栄夫	昭和4年10月21日 (1929)	1枚・ペン	86-324-55
書簡〔京城府課長就任、山内君の件是非実現他〕 松橋喜代治→守屋栄夫	昭和4年12月25日 (1929)	1通・墨書	85-4-6-9
書簡〔息子の殖銀採用斡旋依頼〕 松橋喜世治→守屋栄夫	昭和7年12月26日 (1932)	1通・墨書	84-14-6
書簡〔京城府課長在職中の後援感謝、新制度による理事官〕 松橋喜代治→守屋栄夫	昭和8年10月15日 (1933)	1通・墨書	5-24-6
書簡〔守屋講習会の感想〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正6年1月8日 (1917)	1通・墨書	84-20-162
書簡〔学科講話題目につき御指導願ひ〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正6年2月18日 (1917)	1通・ペン	84-20-86
書簡〔依頼状の件、雑感録〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正7年11月17日 (1918)	1通・墨書	84-9-30
書簡〔大臣揮毫執筆御礼、建碑建設〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正7年12月13日 (1918)	1通・墨書	5-6-51-1
書簡〔大臣閣下揮毫御礼〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正7年12月13日 (1918)	1通・墨書	5-6-51
書簡〔坂本先生彰徳碑竣工にて大臣揮毫御礼〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正8年6月30日 (1919)	1通・墨書	83-2-31
葉書〔委員・各大学惣代会合、建碑決算他〕 松橋蓮次→守屋栄夫	大正8年7月13日 (1919)	1枚・ペン	82-3-290
書簡〔来电の趣旨関係者へ通知〕 松原純一→守屋栄夫	昭和4年カ7月17日 (1929)	1通・墨書	6-52-14
書簡〔水利組合との合意完了、咸興水利組合営造物使用許可証写し〕 松村栄三郎→守屋栄夫	昭和6年1月12日 (1931)	1通・ペン・謄写版	86-359-13
書簡〔道及び改良部の諒解で評議員会開催〕 松村栄三郎→守屋栄夫	昭和12月18日	1通・ペン	10-337
書簡〔近況報告〕 松村介石→守屋栄夫	大正14年カ11月6日 (1925)	1通・墨書	85-10-98
書簡〔教化事業助成金下附につき報告〕 松村介石→守屋栄夫	昭和2年3月3日 (1927)	1通・墨書	78-23-34
書簡〔選挙応援と協力〕 松村昌司→守屋栄夫	昭和5年2月15日 (1930)	1通・墨書	10-158
書簡〔渡辺讓の総督府就職斡旋依頼、朝鮮自治制〕 松村真一郎〔法制局〕→守屋栄夫	大正8年9月26日 (1919)	1通・墨書	9-25-28
書簡〔浜部讓君採用の件〕 松村真一郎→守屋栄夫	大正9年2月2日 (1920)	1通・墨書	81-628
電報〔ご家族・出張所員無事〕 SOTOKU MATUMURA TOJOSHITA NAKAMURA→守屋栄夫	大正12年9月9日 (1923)	1通・謄写版・ペン	80-40-1-17
書簡〔松村事務官送別会席上献立数を表す(其一)〕 松村直・児玉実徳・佐々木忠右衛門・佐々木清之丞・大内俊亮→守屋栄夫	大正14年2月12日 (1925)	1通・ペン	84-2-13
書簡〔工場業務官栄転のところ勸業課長転任〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年3月21日 (1917)	1通・墨書	84-20-40

書簡〔植民地の世情、地方官の異動〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年7月2日(1917)	1通・墨書	84-7-33
書簡〔図書検閲官人事など報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年8月20日(1917)	1通・墨書	83-14-90
書簡〔地方官採用について〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年8月30日(1917)	1通・墨書	83-14-149
書簡〔近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年9月29日(1917)	1通・墨書	83-14-181
書簡〔出産予定と費用、和歌山の物価高〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年9月10日(1917)	1通・墨書	84-7-13
書簡〔勸業課耕地整理係の技手欠員につき報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正6年10月11日(1917)	1通・墨書	83-14-101
書簡〔土木局衛生局事務官増置の件、勸業課長会議開催の際御高説願う〕 松村〔理事官〕→守屋栄夫	大正7年4月12日(1918)	1通・墨書	84-7-30
葉書〔挨拶〕 松村松盛→守屋栄夫	大正7年(1918)	1枚・ペン	84-7-45
葉書〔上京時の高配御礼〕 松村松盛→守屋栄夫	大正8年カ4月15日(1919)	1枚・ペン	82-3-6
葉書〔県人会への寄書拝見、斎藤兄の御来庁賑やか〕 松村松盛→守屋栄夫	大正8年6月(1919)	1枚・墨書	82-3-38
葉書〔祝御栄転〕 松村松盛→守屋栄夫	大正8年8月12日(1919)	1枚・ペン	9-10-33
葉書〔正水会招待に付例の騒ぎの流言あり他〕 松村松盛→守屋栄夫	大正9年1月25日(1920)	1枚・ペン	82-3-313
書簡〔水野内相、府内人事他〕 松村松盛→守屋栄夫	大正12年4月7日(1923)	1通・ペン	80-2-2-17
葉書〔朝鮮の国境視察につき景況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正12年5月1日(1923)	1枚・墨書	80-40-2-11
書簡〔仙台兩足山の葬儀の様子、恒田次官病氣不良ほか〕 松村松盛→守屋栄夫	大正12年6月9日(1923)	1通・墨書	80-2-2-5
書簡〔大同製菓の件努力、朝鮮総督府の人事関係〕 松村松盛→守屋栄夫	大正12年7月13日(1923)	1通・ペン	80-2-1-29
書簡〔水野氏と将来政局の会談につき報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正13年7月26日(1924)	1通・墨書	9-22-21
葉書〔ドレスデン・ウィーン・ブダペストを経てヴェニス到着〕 松村松盛→守屋栄夫	大正14年9月16日(1925)	1枚・ペン	84-6-90
葉書〔スイス着、連盟総会見学〕 松村松盛→守屋栄夫	大正14年9月27日(1925)	1枚・ペン	84-6-115
葉書〔ロンドン着、近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正14年10月17日(1925)	1枚・ペン	84-6-154
葉書〔カナダからシカゴに到着〕 松村松盛→守屋栄夫	大正14年11月9日(1925)	1枚・ペン	84-6-58
書簡〔新庁舎に移動の近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年2月6日(1926)	1通・墨書	85-3-5-17
葉書〔挨拶状〕 松村松盛・馬野林一・石黒英彦・石川常盛・藤原喜蔵・山田一隆・岡崎哲郎・安藤・関水→守屋栄夫	大正15年2月13日(1926)	1枚・ペン・墨書	86-322-24
書簡〔政界での運動について〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年2月28日(1926)	1通・ペン	85-8-9
書簡〔局長後任人事につき意見伺い〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年5月14日(1926)	1通・ペン	85-3-6-15

書簡〔佐々木・今林・三矢等近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年6月28日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-27
葉書〔朝鮮旅行の様子〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年6月17日 (1926)	1枚・ペン	84-3-106
書簡〔佐々木君・佐々木清之丞先生・武井君の近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年7月4日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-28
書簡〔朝鮮での人事の件〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年10月6日 (1926)	1通・ペン	86-260
書簡〔朝鮮土地改良株式会社社長後任、奥勤問題に付近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年12月11日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-36
書簡〔大邱よりリング送付〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年12月17日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-31
書簡〔奥勤問題の相談願い〕 松村松盛→守屋栄夫	大正15年12月20日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-33
書簡〔尽力願い〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和2年2月6日 (1927)	1通・ペン	85-7-5-22
書簡〔在京中のもてなしに感謝、政局の感想〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和2年3月4日 (1927)	1通・墨書	85-9-63
書簡〔朝鮮総督は早晚更迭、政情につき報告〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和2年3月29日 (1927)	1通・墨書	85-9-67
書簡〔政界に対する懷疑と立候補への意見〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和2年9月1日 (1927)	1通・墨書	85-9-108
葉書〔御殿場の大演習拝観〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和2年9月20日 (1927)	1枚・ペン	84-1-101
書簡〔名簿作成・推薦状依頼について〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和2年11月10日 (1927)	1通・墨書	85-9-105
書簡〔松山町角田七右衛門・紺戸文五郎面会願い〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和3年2月4日 (1928)	1通・墨書	10-414-23
書簡〔「太平洋時代来る」御礼〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和3年5月7日 (1928)	1通・墨書	9-16-17
葉書〔返書、弟は隣家に引っ越し〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和3年9月13日 (1928)	1枚・ペン	86-325-87
書簡〔教頭大村文七郎氏の校長幹旋依頼〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和3年12月21日 (1928)	1通・墨書	85-4-4-22
書簡〔お土産御礼、岡君便宜取計らい他〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和3年12月7日 (1928)	1通・墨書	10-413-16
書簡〔内務局長生田君欠勤多い他人事関係報告〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年1月30日 (1929)	1通・墨書	85-4-4-4
書簡〔水田の水不足、小牛田農林〕 松村松盛〔朝鮮総督府土地改良部長〕→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書・ペン	6-59-29
書簡〔お悔やみ状〕 松村直盛→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-15-54
葉書〔上京せず、大阪京都旅行経過〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年4月14日 (1929)	1枚・ペン	86-327-14
書簡〔田中内閣内政の失敗〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年4月24日 (1929)	1通・墨書	6-59-35
書簡〔近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年5月10日 (1929)	1通・墨書	85-4-2-6
葉書〔ウェールズ地方エクスターを訪問〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年6月3日 (1929)	1枚・ペン	84-6-17

書簡〔朝鮮で面会希望〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年6月21日(1929)	1通・墨書	85-4-3-22
書簡〔朝鮮土地問題について相談〕 松村松盛〔朝鮮総督府土地改良部長〕→守屋栄夫	昭和4年7月27日(1929)	1通・墨書	85-4-1-23
書簡〔鮮人官民を通じて統治に新味を望まないこと失望〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年8月21日(1929)	1通・ペン	85-4-5-2
書簡〔朝鮮の近況報告、斎藤総督への交代状況など〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年9月7日(1929)	1通・墨書	6-56-48-6
書簡〔斎藤子爵朝鮮総督着任、職務の様子につき報告〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年9月19日(1929)	1通・墨書	6-56-48-10
葉書〔西洋食材の記事〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和4年12月26日(1929)	1枚・ペン	84-1-7
書簡〔政友会入党、選挙激励〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	10-128
書簡〔総督の上京について〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和5年4月9日(1930)	1通・墨書	10-405-28
書簡〔見舞い御礼〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和5年8月25日(1930)	1通・ペン	7-147-96
書簡〔恵贈品御礼〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和5年10月10日(1930)	1通・墨書	7-147-156
葉書〔朝鮮温陽より挨拶〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和5年10月17日(1930)	1枚・墨書	86-1-21
書簡〔江原咸南海岸での船底曳網漁に関する近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和5年10月30日(1930)	1通・墨書	10-56
書簡〔東拓朝鮮駐在理事候補〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和6年2月9日(1931)	1通・墨書	86-355-4
書簡〔家族不幸に際し香典等への礼状〕 松村松盛→守屋栄夫	昭和6年3月11日(1931)	1通・墨書	86-357-19
葉書〔先月より新設警察署の指導ほか近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫	大正2月25日	1枚・ペン	82-3-341
書簡〔就職斡旋依頼〕 松村松盛〔福岡県庁・視学官〕→守屋栄夫	11月1日	1通・墨書	84-30-11
書簡〔送金行き違いにつき〕 松村松盛〔朝鮮総督秘書官〕→守屋庶務部長	6日	1通・墨書	9-27-2
書簡〔総督の動向と釜山視察について、ホスツオノス氏フィリピン独立運動のため平壤視察不可能、総督府内各部局の人事および改造〕 松村松盛→守屋栄夫	26日	1通・墨書	81-652
書簡〔近況報告〕 松村松盛→守屋栄夫		1通・ペン	85-7-5-34
書簡〔金潤品の処遇に対し取り計らい依頼〕 松村〔第三部長〕→守屋栄夫	大正8年10月9日(1919)	1通・墨書	9-25-19
葉書〔北米視察の様子〕 松村→守屋栄夫	大正14年10月30日(1925)	1枚・ペン	84-2-50
葉書〔暑中見舞い〕 松村→守屋栄夫	大正15年8月2日(1926)	1枚・ペン	86-325-13
葉書〔京城における後援会基金募集のため実業家招待の件〕 松村→守屋栄夫	大正15年9月4日(1926)	1枚・ペン	86-10
葉書〔修養団講習会の景況報告〕 松村→守屋栄夫	大正15年9月4日(1926)	1枚・ペン	86-9

書簡〔中川君鞭撻願い、山口県農務課長人事相談〕 松村〔和歌山県理事官〕→守屋栄夫	大正7月5日	1通・墨書	5-6-45
葉書〔暑中見舞い〕 松本伊蔵→守屋栄夫	大正6年9月9日(1917)	1枚・墨書	82-3-171
書簡〔関東大震災に関する報道に付報告〕 松本伊織→守屋栄夫	大正12年9月27日(1923)	1通・ペン	80-2-1-40
葉書〔朝鮮神宮より〕 松本伊織→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1枚・ペン	86-40
葉書〔出張時のお礼〕 松本学→守屋栄夫	大正6年2月(1917)	1枚・ペン	81-132
葉書〔栄任祝い〕 松本学→守屋栄夫	大正8年8月8日(1919)	1枚・ペン	9-10-39
書簡〔御礼状〕 松本学→守屋栄夫	昭和2年7月27日(1927)	1通・墨書	85-7-6-42
書簡〔鹿児島県庶務課長安永登を朝鮮総督府幹旋依頼〕 松本学→守屋栄夫	昭和4年9月28日(1929)	1通・墨書・活版	85-4-6-11
書簡〔ご老母様とご遠逝ご弔詞〕 松本健吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-111
書簡〔お悔やみ状、丹野氏の父病氣〕 松本精一→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	2通・墨書	6-56-4
葉書〔お悔やみ状〕 松本精一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・ペン	9-15-109
葉書〔年賀状〕 松本正寛→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-8
書簡〔お悔やみ状〕 松本正寛→守屋徳夫・栄夫・和郎	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン	6-54-4
書簡〔挨拶状〕 松本生太→守屋栄夫	大正15年12月21日(1926)	1通・墨書	85-7-2-11
書簡〔選挙戦に対する激励〕 松本生太→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書	10-160
書簡〔宮沢氏出馬確実等選挙区情勢報告〕 松本留治→守屋栄夫	昭和4年10月23日(1929)	1通・墨書・ペン	5-31-6
書簡〔時事新報記事「議会から」切り抜き送付〕 松木友則→守屋栄夫	昭和6年3月7日(1931)	1通・墨書・活版	86-357-23
書簡〔お悔やみ状〕 松本久雄→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-13
葉書〔新年の挨拶〕 松本嘉太郎	昭和1月1日	1枚・活版	86-326-2
葉書〔当選祝い〕 間橋寅之助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	84-3-8
葉書〔欠礼挨拶〕 丸島清→守屋栄夫	昭和2年1月(1927)	1枚・活版	85-7-2-43
書簡〔お悔やみ状〕 丸島清→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-26
書簡〔お悔やみ状〕 丸谷達三→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・ペン	9-18-15
書簡〔お悔やみ状〕 圓中昌平→守屋栄夫	大正12年3月17日(1923)	1通・墨書	18-14-170
書簡〔近況報告〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	大正7年7月25日(1918)	1通・墨書	83-9-43
書簡〔永見氏静岡県採用依頼〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	大正8年6月5日(1919)	1通・墨書	83-10-30
書簡〔三原鹿三引見願い、履歴書〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	大正8年10月23日(1919)	1通・墨書	83-13-3
書簡〔李垺公事件発表遅延の件〕 丸山鶴吉〔事務官〕→守屋栄夫	大正8年11月30日(1919)	1通・ペン	5-28-12

書簡〔通訳選定問題〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	大正8年12月9日(1919)	1通・ペン	5-28-19
書簡〔道社庁の立地、南鮮巡視、滞在地に関して〕 丸山鶴吉〔警務局事務官〕→守屋栄夫	大正9年3月30日(1920)	2通・墨書	5-16-25
書簡〔朝鮮での動向について〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	大正13年6月30日(1924)	1通・ペン	85-1-32-7
書簡〔仙台市での演説お断りの経緯報告〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	昭和3年2月3日(1928)	1通・墨書	10-414-31
葉書〔青年総動員臨席、昨夜山形市に参る〕 丸山鶴吉→守屋栄夫	昭和3年5月17日(1928)	1枚・ペン	86-322-186
書簡〔罹災救助法改正審議尽力感謝〕 丸山鶴吉〔全日本私設社会事業聯盟〕→守屋栄夫	昭和7年9月9日(1932)	1通・墨書	83-11-8
書簡〔中川君と香川・愛媛へ出張命ぜられる等〕 丸山松江→守屋栄夫	大正8年3月1日(1919)	1通・活版・墨書	84-19-9
電報〔帰朝の平安祈念〕 マルヤマ→守屋栄夫	大正12年1月22日(1923)	1枚・謄写版	80-40-5-4
葉書〔総督一行福岡東亜博視察に随行〕 丸山・浅利・作間・山中→守屋栄夫	昭和2年4月26日(1927)	1枚・墨書	84-5-27
葉書〔ジェネヴァにて、警務局連中牛鍋会を開く〕 丸山・細井肇・安藤・藤原喜蔵・田中→守屋栄夫	昭和2年7月1日(1927)	1枚・ペン	86-124
葉書〔ジェネヴァにて、総督閣下御夫妻招待にて朝鮮会を催す〕 丸山・丸山茂・斎藤実・斎藤春子・伊藤正義・松井房治郎・守屋徳夫・田中武雄・酒井辰郎・藤原綾子・藤原喜蔵→守屋栄夫	昭和2年7月6日(1927)	1枚・ペン	86-113

み

葉書〔挨拶状〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正6年4月6日(1917)	1枚・墨書	81-195
書簡〔令閨様より厚情、この度の件同情尽力御礼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正7年6月9日(1918)	1通・墨書	84-19-29
書簡〔帰郷の様子〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正7年7月16日(1918)	1通・墨書	83-9-27
葉書〔上野帰着後の近況報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正8年6月26日(1919)	1枚・ペン	82-3-307
書簡〔就職斡旋依頼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正8年6月29日(1919)	1通・墨書	83-2-27
書簡〔守屋栄夫の噂に関して〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正8年10月5日(1919)	1通・墨書	5-16-28
書簡〔守屋氏の家族宅訪問と子供に関する報告〕 三浦斧吉〔東京府庁工務課〕→守屋栄夫	大正8年10月7日(1919)	1通・墨書	5-16-29
書簡〔試験準備等の近況報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正9年6月27日(1920)	1通・墨書	5-16-30
書簡〔お悔やみ状〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正12年3月30日(1923)	1通・ペン	80-40-1-20
葉書〔「正男を弔ふ歌」所感〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正12年4月30日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-37
葉書〔修養団の早起会参加〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正14年10月31日(1925)	1枚・ペン	85-10-51
葉書〔朝鮮神宮参拝、全南教育会の代表者として教育会参加〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正14年10月17日(1925)	1枚・ペン	84-6-92

葉書〔張知事が守屋著「欧米の旅」御覧、府尹郡守に推薦〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正14年11月11日 (1925)	1枚・ペン	84-6-145
葉書〔「我等の進むべき道」購入〕 三浦斧吉〔光州〕→守屋栄夫	大正14年11月25日 (1925)	1枚・ペン	86-323-28
葉書〔帰省途中中岡・三浦氏と邂逅〕 三浦斧吉・萱場→守屋栄夫	大正15年1月8日 (1926)	1枚・ペン	86-322-6
葉書〔高橋謙吾氏木浦小学校訓導就任挨拶〕 三浦斧吉・謙吾→守屋栄夫	大正15年3月31日 (1926)	1枚・ペン	86-322-4
葉書〔全州群山着任挨拶〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正15年7月17日 (1926)	1枚・ペン	86-322-31
葉書〔京城総督府にて草間局長他に面会〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正15年7月22日 (1926)	1枚・ペン	86-21
葉書〔暑中見舞い〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正15年8月24日 (1926)	1枚・ペン	86-203
葉書〔財務部長会議にて京城来訪につき挨拶〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正15年10月15日 (1926)	1枚・ペン	86-246
葉書〔天長節挨拶〕 三浦斧吉・シヅカ→守屋栄夫・夫人	大正15年10月31日 (1926)	1枚・ペン	86-266
葉書〔儒城温泉より〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正15年11月18日 (1926)	1枚・ペン	86-227
葉書〔木浦共進会につき景況報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正15年11月28日 (1926)	1枚・ペン	86-322-60
書簡〔陛下御崩御哀悼〕 三浦斧吉→守屋栄夫・好子	昭和1年12月25日 (1926)	1通・ペン	85-7-2-1-37
葉書〔検閲官一行で朝鮮訪問、「農村社会事業に付て」読了〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年2月20日 (1927)	1枚・ペン	84-5-17
葉書〔年度末の出張で平壤訪問、和郎英国赴任祝い〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年3月27日 (1927)	1枚・ペン	84-5-21
葉書〔和郎赴任・徳夫洋行祝い〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年4月3日 (1927)	1枚・ペン	84-1-90
葉書〔京城にて徳夫を訪問〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年4月26日 (1927)	1枚・ペン	84-1-62
葉書〔林務課にて執務〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年7月21日 (1927)	1枚・ペン	86-117
葉書〔転勤につき報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年8月14日 (1927)	1枚・ペン	85-7-6-31
葉書〔母危篤に際し帰省〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和2年9月12日 (1927)	1枚・ペン	84-1-99
書簡〔選挙応援二十円送付、十年後自らも選挙出馬〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年2月17日 (1928)	1通・ペン	10-414-37
葉書〔朝鮮視察〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年3月15日 (1928)	1枚・ペン	86-329-30
葉書〔朝鮮内視察〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年5月10日 (1928)	1枚・ペン	86-325-47
葉書〔弁護士事務所開設祝状〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年5月15日 (1928)	1枚・ペン	86-322-191
葉書〔「太平洋時代来る」読了にて感想〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年6月12日 (1928)	1枚・ペン	86-322-125
葉書〔昨夜の講演の感想〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年6月18日 (1928)	1枚・墨書	84-6-24
葉書〔朝鮮視察経過〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年7月20日 (1928)	1枚・ペン	86-325-57

葉書〔ネクタイ・香典御礼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年10月13日 (1928)	1枚・ペン	86-322-78
書簡〔朝鮮人直訴問題、議会での奮戦祈念、近況報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和3年11月28日 (1928)	1通・ペン	7-147-198
葉書〔ご機嫌うかがい〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和4年2月8日 (1929)	1枚・ペン	86-324-32
葉書〔京城の春の様子〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和4年5月4日 (1929)	1枚・ペン	84-6-53
葉書〔渡鮮歓迎〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和4年10月5日 (1929)	1枚・ペン	86-324-40
書簡〔当選祈願、安俊植氏は清州の専売支局に奉職決定〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和5年1月31日 (1930)	1通・ペン	10-409-46
葉書〔当選祈願(英語)〕 O.Miura→守屋栄夫	昭和5年2月13日 (1930)	1枚・ペン	7-147-374
書簡〔当選祈願〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和5年2月17日 (1930)	1通・ペン	10-409-45
葉書〔当選祝贺会の件〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和5年3月2日 (1930)	1枚・ペン	86-53
葉書〔問題のパンフレット送付〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和5年4月26日 (1930)	1枚・ペン	86-62
葉書〔仏蘭西展覧会観覧〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和5年11月3日 (1930)	1枚・ペン	86-1-3
葉書〔今井氏昭和連盟加入の件〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和5年11月23日 (1930)	1枚・ペン	86-1-16
葉書〔書信御礼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和6年6月25日 (1931)	1枚・墨書・活版	86-322-353
葉書〔時候の挨拶〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和6年6月27日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-356
書簡〔中村土地改良部長殖産局長の椅子得られず〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年4月9日 (1932)	1通・墨書	83-1-49
書簡〔民政党議員の朝鮮訪問、朝鮮人事異動について等〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年4月14日 (1932)	1通・墨書	84-24-16
書簡〔斎藤子爵組閣につき援助依頼、明男氏二高入学祝い〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年5月25日 (1932)	1通・ペン	86-350-1
書簡〔民政系の入閣について不満〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年6月2日 (1932)	1通・墨書	84-13-35
書簡〔政変による朝鮮官界への影響、家屋の新築〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年6月9日 (1932)	1通・墨書	84-13-29
書簡〔内地の地方官大異動と朝鮮の異動につき所感、官界復活の模索につき景況報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年7月5日 (1932)	1通・墨書	83-3-29
書簡〔就職斡旋依頼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年8月8日 (1932)	1通・墨書・ペン	83-3-7
書簡〔弁護士開業中止にて官吏方面就職斡旋依頼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年8月26日 (1932)	1通・墨書	83-3-10
書簡〔政友会内閣実現希望〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年9月22日 (1932)	1通・墨書	83-11-30
葉書〔挨拶状〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年10月26日 (1932)	1枚・ペン	86-79
書簡〔京城にて本間俊平氏「心霊の戦場から」・土井氏「アジアに叫ぶ」拝読〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和7年11月8日 (1932)	1通・墨書	83-4-1
書簡〔新年挨拶、自身・原田の就職斡旋依頼〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年1月5日 (1933)	1通・墨書	85-5-27

書簡〔近況報告、政局について意見〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年1月12日(1933)	1通・ペン	84-28-6
書簡〔激励御礼、社会事業報告、新聞切抜き〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年2月14日(1933)	1通・墨書	84-8-10
書簡〔林学務長と懇談〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年3月23日(1933)	1通・墨書	83-12-20
書簡〔弁護士開業の件〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年3月15日(1933)	1通・墨書	84-22-19
葉書〔「明るい政治」拝見、浪人張間源四郎と会見〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年4月5日(1933)	1枚・ペン	86-323-74
書簡〔政治に対する意見、近況〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年4月1日(1933)	1通・墨書	84-10-19
書簡〔政治に対する意見、現役復帰希望〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・墨書	84-11-20
書簡〔中堅青年講習会・盲啞協会総会出席、「朝鮮社会事業」編集模様、金東箕昭和連盟加入希望、満鮮視察中熊谷直太と面会〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年6月2日(1933)	1通・墨書	83-6-27
書簡〔守屋執筆論文拝見、「朝鮮社会事業」6月号贈呈〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年6月13日(1933)	1通・墨書	83-6-13
書簡〔「あかるい政治」受領、選挙について〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年7月6日(1933)	1通・墨書	84-26-1
書簡〔見舞い状〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年8月7日(1933)	1通・墨書	84-18-9
書簡〔長男入院、近況報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年9月8日(1933)	1通・墨書	84-25-31
書簡〔学務局転任後の経過報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年10月5日(1933)	1通・墨書	84-12-13
葉書〔張間氏内地に引き上げ〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年10月15日(1933)	1枚・ペン	86-323-45
書簡〔土木協会事件判決、総督府総監達の喧伝係になる他〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年12月28日(1933)	1通・ペン	85-6-20
書簡〔アッケー氏・ドウメン氏の入院について〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年12月12日(1933)	1通・ペン	84-16-17
書簡〔商相の努力感謝、松岡氏に賛成できず、政党の威信〕 三浦斧吉→守屋栄夫	昭和8年12月21日(1933)	1通・ペン	84-17-27
葉書〔行政法・破産法・民訴法・海法成績良につき報告〕 三浦斧吉→守屋栄夫	大正7月4日	1枚・墨書	82-3-265
葉書〔徳夫面会、成田君栄転〕 三浦斧吉→守屋栄夫	5月26日	1枚・ペン	84-3-130
書簡〔京城での近況報告〕 三浦静→守屋栄夫	昭和8年12月11日(1933)	1通・ペン	85-6-11
書簡〔愚妻入院見舞御礼〕 三浦庄市郎→守屋栄夫	昭和7年1月13日(1932)	1通・墨書	86-346-34
書簡〔お悔やみ状〕 三浦善作→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-75
書簡〔当選祈願、犬養総裁の遊説につき所感〕 三浦忠三郎→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	10-409-47
書簡〔当選祝い〕 三浦忠三郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-63
書簡〔当選祝い〕 三浦忠蔵→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-79
書簡〔当選祝い〕 三浦敏夫→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-88

葉書〔暑中見舞い〕 三浦春吉→守屋栄夫	大正6年8月12日(1917)	1枚・ペン	81-242
書簡〔巡查として朝鮮へ復職可否の件〕 三浦平之進→守屋栄夫	昭和2年7月29日(1927)	1通・墨書	78-23-33
書簡〔当選祝い〕 三浦平之進→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-61
書簡〔当選祝い〕 三浦通昌→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-62
書簡〔推薦依頼〕 三浦満→守屋栄夫	昭和6年2月23日(1931)	1通・ペン	86-355-32
書簡〔総督府施制成興及開城府制記念日の様子、林野調査員近況報告〕 三浦谷吉→守屋栄夫	昭和5年10月1日(1930)	1通・ペン	10-53
書簡〔お悔やみ状〕 三浦有霧→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	6-57-72
書簡〔当選祝い〕 三浦幸雄→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1通・ペン	10-350
書簡〔萱場先生の紹介にて挨拶〕 三浦自也→守屋栄夫	大正6年1月15日(1917)	1通・墨書	83-14-85
書簡〔盛岡銀行株・郵便貯金など弟名義の所有資産報告〕 三浦自也→守屋栄夫	大正7年6月18日(1918)	1通・墨書	84-19-30
葉書〔寒中見舞い〕 三浦自也→守屋栄夫	昭和2年(1927)	1枚・墨書	86-326-71
書簡〔お悔やみ状〕 三浦自也→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-62
葉書〔宮本氏と面会、就職協力依頼〕 三浦→守屋栄夫	大正8年5月16日(1919)	1枚・ペン	82-3-11
葉書〔渡鮮時の御礼、総会記事壇崎君へ送付〕 三浦→守屋栄夫	昭和8年12月10日(1933)	1枚・墨書	86-323-48
葉書〔当選祝い〕 三上彰→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-323
葉書〔お悔やみ状〕 三上新→守屋栄夫	昭和4年(1929)	1枚・ペン・活版	9-15-47
書簡〔岡崎の中学校長久しく病氣にて神奈川第一中学校川又学七を推薦につき〕 三上参次→守屋栄夫	大正5年7月4日(1916)	1通・墨書	84-20-2
書簡〔津島中学校国語教師後任として山田武司推薦〕 三上参次→守屋栄夫	大正6年4月20日(1917)	1通・墨書	84-20-95
葉書〔必勝祈願〕 味上わさ→守屋栄夫	昭和3年2月18日(1928)	1枚・墨書	10-408-45
書簡〔近況報告〕 味上わさ→守屋栄夫・よし子	昭和5年5月25日(1930)	1通・墨書	10-406-27
葉書〔暑中見舞い〕 三木正一→守屋栄夫	大正15年8月12日(1926)	1枚・ペン・活版	86-202
葉書〔南鮮視察より〕 三木正一→守屋栄夫	大正15年10月25日(1926)	1枚・ペン	86-264
葉書〔挨拶状〕 三木正一→守屋栄夫	昭和2年7月9日(1927)	1枚・ペン	86-110
葉書〔ロンドンへの赴任挨拶〕 三木正一→守屋栄夫	昭和2年9月30日(1927)	1枚・ペン	85-9-43
葉書〔栄転の祝い状〕 三樹退之→守屋栄夫・令夫人	大正6年5月5日(1917)	1枚・ペン	81-194
書簡〔当選祝い〕 御厨理三→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-147-89
電報〔塩田堤防閉めきり成功(英語)〕 misawafusanossk〔三沢房之助〕→守屋栄夫	大正12年6月28日(1923)	1通・謄写版・ペン	80-2-1-42
弔詞〔福田市右衛門弔辞写し〕 三沢房之助→守屋栄夫	昭和6年9月6日(1931)	1通・ペン	84-18-4

書簡〔当選祝い〕 三島駒治→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-26
葉書〔暑中見舞い、2通固着開披不能〕 三島駒治・好子→守屋栄夫	昭和3年8月10日(1928)	1枚・活版・墨書	86-325-86
葉書〔残暑見舞い、東北女子職業学校30周年〕 三島駒治・好子→守屋栄夫・御奥様	昭和8年8月20日(1933)	1枚・ペン・活版	86-323-75
書簡〔お悔やみ状〕 水谷平吉→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-25-8-7
葉書〔社寺兵事課長就任につき〕 水谷平吉→守屋栄夫	昭和8年6月13日(1933)	1枚・ペン	83-6-3
書簡〔就職斡旋依頼〕 水沼藤五郎→守屋栄夫	昭和7年6月21日(1932)	1通・ペン	84-13-10
書簡〔就職斡旋依頼〕 水沼藤五郎→守屋栄夫	昭和7年7月1日(1932)	1通・墨書	84-13-5
書簡〔面会したき件〕 水野厚→守屋栄夫		1通・墨書	86-353-8
葉書〔移植民策の件〕 水野すま子→守屋栄夫	昭和3年6月21日(1928)	1枚・ペン	86-322-167
書簡〔病状報告〕 水野寿子→守屋栄夫	大正9年1月25日(1920)	1通・墨書	86-353-18
葉書〔出発日程通知〕 水野寿子・石井美逸子→守屋栄夫	昭和4年6月8日(1929)	1枚・ペン	84-6-39
書簡〔母静養〕 水野万亀子→守屋栄夫	大正9年7月7日(1920)	1通・墨書	6-53-13
書簡〔学校で英語勉強、帝劇鑑賞など〕 水野万亀子→守屋栄夫・守屋好子	大正11年9月19日(1922)	1通・ペン	9-27-48
書簡〔母の容態、病院歯科と看護婦上京費用立替願 い〕 水野万亀子→守屋栄夫	大正11年9月28日(1922)	1通・墨書	9-27-25
書簡〔上海からテーブル届く、気管支カタル起こす 他〕 水野まき子→守屋栄夫	大正12年5月28日(1923)	1通・墨書	80-1-4-20
葉書〔主人東北地方出張、祖父の展墓〕 水野まき子→守屋栄夫	大正12年7月17日(1923)	1枚・ペン	80-1-4-21
書簡〔大磯より挨拶〕 水野まき子→守屋栄夫	大正12年8月10日(1923)	1通・ペン	80-40-1-24
書簡〔航海安全祈願〕 万亀子→守屋栄夫	大正12年カ(1923)	1通・墨書	80-1-3-29
書簡〔夫の記した恵澤荘記送付〕 水野まき子→守屋栄夫・よし美	昭和2年10月25日(1927)	1通・墨書	85-9-26
葉書〔関西方面へ旅行〕 水野万亀子→守屋栄夫	5月28日	1枚・ペン	84-3-128
書簡〔関節炎について、浴用人参液依頼〕 水野ます子→守屋栄夫	大正10年2月4日(1921)	1通・墨書	6-53-10
書簡〔お悔やみ状〕 水野万寿子→守屋栄夫	大正12年3月19日(1923)	1通・ペン	80-1-4-22
書簡〔主人入閣につき〕 水野ます子→守屋栄夫	大正13年1月17日(1924)	1通・ペン	79-7-47
書簡〔守屋が朝鮮去ること不満〕 水野ます子→守屋栄夫	大正13年(1924)	1通・ペン	85-1-15
書簡〔ホテルメトロポールで総会前の準備等近況報告〕 水野ます子→守屋栄夫	大正15年5月17日(1926)	1通・墨書	85-3-5-13
葉書〔勤儉活動の件〕 水野ます子→守屋栄夫・御奥様	大正15年9月1日(1926)	1枚・ペン	86-11
書簡〔慶福会について〕 水野ます子→守屋栄夫	昭和2年8月3日(1927)	1通・墨書	85-7-6-45

葉書〔十和田湖より挨拶〕 水野ますこ→守屋栄夫・よしみ	昭和2年8月19日(1927)	1枚・ペン	86-184
書簡〔選挙運動激励〕 水野ます子→守屋栄夫	昭和3年2月6日(1928)	1通・墨書	7-147-62
葉書〔熱海より挨拶〕 水野ます子→守屋栄夫・御奥様	昭和3年6月11日(1928)	1枚・ペン	86-322-130
葉書〔婦人会視察報告〕 水野ます子→守屋栄夫	昭和3年10月14日(1928)	1枚・ペン	86-322-81
葉書〔近況報告〕 水野ます子→守屋栄夫・奥様	昭和4年10月26日(1929)	1枚・ペン	86-324-73
葉書〔挨拶状〕 水野ます子→守屋栄夫・御奥様	昭和5年12月6日(1930)	1枚・ペン	86-1-34
葉書〔挨拶状〕 水野ます子→守屋栄夫	昭和5年12月17日(1930)	1枚・ペン	86-1-31
書簡〔足痛回復、電気ストーブなど暖房の件〕 水野ます子→守屋栄夫	9年カ12月9日	1通・墨書	86-353-10
葉書〔山田・大海原両君へ伝声願ひ〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正8年3月2日(1919)	1枚・ペン	84-19-19
書簡〔水野政務総監の風説は誤り、朝鮮統治に支障〕 水野鍊太郎・丸山→守屋栄夫	大正9年1月11日(1920)	1通・墨書・ペン・活版	86-353-11
書簡〔病状回復報告〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年1月17日(1920)	1通・墨書	86-353-12
葉書〔留守宅厚情に感謝〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年2月21日(1920)	1枚・ペン	82-3-205
書簡〔予算不成立、朝鮮諸施設必要諸費を責任支出とする、高見茂氏へ朝鮮人関係研究旅費支出の件〕 水野鍊太郎・万寿子→守屋栄夫	大正9年2月28日(1920)	1通・墨書	86-353-13
書簡〔培材学堂問題、朝鮮総督南鮮巡視計画の件〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年3月15日(1920)	1通・墨書・ペン	86-353-20
書簡〔情報活動費用補助の申し出〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年5月18日(1920)	1通・ペン	5-5-1
書簡〔議会質問に対する丸山事務官の補助と逓信局事務官兼任の件〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年7月10日(1920)	1通・墨書	6-53-6
書簡〔志賀博士と内野仙一技師を朝鮮総督府へ斡旋依頼〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年7月15日(1920)	1通・墨書	6-53-7
書簡〔朝鮮総督府医院長辞任、内野技師と第三部長事務官の人選問題、総督府招待宴〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正9年8月1日(1920)	1通・墨書	6-53-8
書簡〔中華民国飢饉救済基金募集、朝鮮における天長節の様子ほか〕 水野鍊太郎・万寿子→守屋栄夫	大正9年11月4日(1920)	1通・謄写版・ペン	81-738
書簡〔妹結婚祝御礼〕 水野鍊太郎・万寿子→守屋栄夫	大正9年12月3日(1920)	1通・墨書	6-53-4
書簡〔高橋死去につき返付金と遺族への送付金〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正10年1月29日(1921)	1通・墨書	6-53-2
書簡〔亮の右足の容体〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正10年2月16日(1921)	1通・墨書	6-53-5
書簡〔朱檀御礼他〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正12年6月12日(1923)	1通・墨書	80-1-4-19
書簡〔戦後の状況変化、再遊希望他〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正12年7月29日(1923)	1通・墨書	80-1-3-27

葉書〔震災報告、朝鮮問題に対する激励〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正12年9月18日 (1923)	2枚・ペン	6-60-12
書簡〔総督からの贈答品返上の件〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正13年4月27日 (1924)	1通・墨書	9-27-4
葉書〔「革命後の露西亞」読了〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正14年11月7日 (1925)	1枚・ペン	84-6-138
書簡〔米国大陸横断しロンドンに行くという近況報告〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正15年4月29日 (1926)	1通・ペン	85-3-8-23
書簡〔欧州旅行の近況報告〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正15年6月4日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-25
葉書〔ヨーロッパ周遊の件〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	大正15年6月22日 (1926)	1枚・ペン	86-22
葉書〔帰省静養中〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和3年8月25日 (1928)	1枚・ペン	86-325-84
葉書〔本日出港、明日島内を視察、本月中旬帰京予定〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和3年10月1日 (1928)	1枚・ペン	86-322-79
葉書〔東北旅行より帰宅〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和4年6月29日 (1929)	1枚・ペン	86-324-37
書簡〔政友会総裁後任問題について〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和4年10月2日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-35
書簡〔招待状〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和5年1月 (1930)	1通・活版	84-1-27
葉書〔別荘に移動〕 水野鍊太郎→守屋栄夫・好子	昭和5年カ8月15日 (1930)	1枚・ペン・活版	86-322-320
書簡〔食事招待にて挨拶状〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和6年6月20日 (1931)	1通・墨書・ペン ・謄写版	86-352-1
書簡〔郷里産品御礼〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和6年8月14日 (1931)	1通・墨書	86-348-36
書簡〔関元植君追悼の辞送付〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和6年10月4日 (1931)	1通・ペン・墨書	86-358-4
葉書〔伊勢神宮太々神楽見学のこと〕 水野鍊太郎→守屋栄夫	昭和8年11月2日 (1933)	1枚・ペン	84-29-5
葉書〔家族の近況報告〕 水野和一→守屋栄夫	大正8年12月27日 (1919)	1枚・墨書	82-3-323
葉書〔移植式の件〕 水野和一→守屋栄夫	昭和2年2月27日 (1927)	1枚・ペン	86-322-93
葉書〔モスコウ到着〕 水野和一→守屋栄夫	昭和2年12月23日 (1927)	1枚・ペン	84-3-74
書簡〔病状回復の件、京城旅行につき景況報告〕 水野和一→守屋栄夫	大正2月8日	1通・墨書	86-353-2
葉書〔水野文相脱党祝い〕 水野→守屋栄夫	昭和3年5月23日 (1928)	1枚・墨書	86-325-40
書簡〔菓子御礼〕 水野留守宅(山田)→守屋栄夫	11年1月15日	1通・墨書	6-53-20
葉書〔挨拶状〕 水原信一→守屋栄夫	昭和3年10月15日 (1928)	1枚・ペン	86-322-83
書簡〔特別会員に推薦〕 御園生卯七→守屋栄夫	大正5年4月21日 (1916)	1通・墨書	84-20-54
葉書〔満鮮視察団より近況報告〕 御園生卯七→守屋栄夫	大正6年8月13日 (1917)	1枚・ペン	81-246
書簡〔お悔やみ状〕 御園生卯七→守屋栄夫	大正12年3月18日 (1923)	1通・墨書	18-14-15

書簡〔当選祝い、当選を祝した和歌〕 御園生卯七→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-409-44
葉書〔府県課長就任祝い〕 三谷隆信→守屋栄夫	大正8年8月10日(1919)	1枚・ペン	9-10-27
葉書〔年賀状〕 三谷隆信→守屋栄夫	大正15年7月26日(1926)	1枚・ペン	86-194
葉書〔喪中〕 道重信教〔各宗聯合東京佛教護国団代表〕	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版	86-326-28
書簡〔当選祝い〕 三井益治→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-398
書簡〔お悔やみ状〕 三井益治→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	5-25-10-33-11
書簡〔桜岡大神宮揮毫依頼〕 三井益治→守屋栄夫	昭和4年8月11日(1929)	1通・墨書	85-4-1-15
書簡〔桜岡大神宮再度揮毫依頼〕 三井益治→守屋栄夫	昭和4年8月15日(1929)	1通・墨書	85-4-1-18
葉書〔喪中〕 三塚覚衛→守屋栄夫	昭和1年12月30日(1926)	1枚・墨書	86-326-39
葉書〔お悔やみ状〕 三塚覚衛→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・墨書	9-15-83
葉書〔仙台富永村における学校と青年会の件〕 三塚源五郎→守屋栄夫	明治41年11月26日(1908)	1枚・墨書	6-46-13
葉書〔お悔やみ状〕 三塚源五郎→守屋栄夫	昭和4年3月15日(1929)	1枚・墨書	5-25-10-33-5
書簡〔当選祝い、転任と現状報告〕 三塚源五郎→守屋栄夫	昭和3月7日	1通・墨書	10-115
書簡〔当選祝い〕 三溝謹平→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・ペン・活版	10-408-13
葉書〔お悔やみ状〕 三弥耕造→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・墨書	6-57-3
書簡〔訪問依頼〕 水戸部孚→守屋栄夫	大正6年4月13日(1917)	1通・墨書	84-20-102
葉書〔栄転祝い〕 水戸部孚→守屋栄夫	大正6年カ5月3日(1917)	1枚・ペン	81-191
葉書〔旅先からの挨拶〕 水戸部孚→守屋栄夫	大正6年5月29日(1917)	1枚・ペン	81-18
葉書〔耶馬溪より〕 水戸部孚→守屋栄夫	大正6年10月6日(1917)	1枚・ペン	81-78
葉書〔書形送付〕 水戸部孚→守屋栄夫	大正8年2月12日(1919)	1枚・ペン	84-19-12
書簡〔総督より煙草恵贈御礼〕 水戸部孚→守屋栄夫	大正8年10月4日(1919)	1通・墨書	9-25-9
葉書〔喪中〕 水戸部孚→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-50
書簡〔当選祝い〕 翠川浩→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・活版・墨書	10-408-26
葉書〔遙に貴兄の弥栄を奉祈候〕 水上一郎→守屋栄夫	大正9年3月25日(1920)	1枚・ペン	82-3-329
葉書〔暑中見舞い〕 水上七郎→守屋栄夫	大正6年8月6日(1917)	1枚・ペン	81-37
書簡〔松木氏横須賀中学校採用、女学校長の件〕 水上七郎〔神奈川県視学官〕→守屋栄夫	大正7年3月23日(1918)	1通・墨書	83-10-41
葉書〔挨拶状〕 水上七郎→守屋栄夫	大正7年(1918)	1枚・墨書	82-3-80
葉書〔久里浜にて暑中見舞い〕 水上七郎→守屋栄夫	大正8年7月23日(1919)	1枚・墨書	82-3-370
葉書〔挨拶〕 水上七郎→守屋栄夫	大正15年4月17日(1926)	1枚・墨書	84-5-47

書簡〔亡父一周年祭について〕 水上正彦→守屋栄夫	昭和2年8月2日(1927)	1通・墨書	85-7-6-43
書簡〔お悔やみ状〕 水上正彦・万千子→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-27-4
書簡〔部下の未亡人から帰郷御礼〕 水上万千子→守屋栄夫	大正15年9月10日(1926)	1通・墨書	85-3-7-3
書簡〔妻死去のお悔やみ香典お礼〕 三辺長治→守屋栄夫	大正14年9月15日(1925)	1通・墨書	85-10-84
書簡〔お悔やみ状〕 三辺長治→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-65
書簡〔時局匡救事業予算可決、本件本県臨時議会議案送付〕 三辺長治→守屋栄夫	昭和7年9月5日(1932)	1通・墨書	83-11-16
葉書〔当選祝い〕 嶺崎憲通→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-408-113-2
葉書〔教化団体連合会加盟団体働く会々長峰田一步について〕 峰田一步〔働く会会長〕→守屋栄夫	大正15年5月20日(1926)	1枚・ペン・活版	85-3-1-23
葉書〔働く会演芸会入場券幹旋につき〕 峰田一步→守屋栄夫	昭和5年9月29日(1930)	1枚・墨書・活版	86-1-52
葉書〔厚情御礼〕 峰田正→守屋栄夫	昭和5年3月5日(1930)	1枚・ペン	7-147-248
葉書〔福岡市地区土地整理家屋移転、内尾福岡市社会長を訪問〕 峯間廉介・内尾政友→守屋栄夫	大正15年7月11日(1926)	1枚・ペン	84-3-135
葉書〔挨拶状〕 峯間信吉→守屋栄夫	大正14年9月24日(1925)	1枚・ペン	86-28
葉書〔当地松茸贈呈〕 美濃国武儀郡下有知村龍泰寺→守屋栄夫	10月18日	1枚・墨書	5-24-1
書簡〔勤続御礼〕 美野田万四郎→守屋栄夫	昭和3年11月3日(1928)	1通・墨書	10-354
葉書〔年賀状〕 蓑田友貴郎→守屋栄夫	大正6年1月1日(1917)	1枚・墨書	81-117
書簡〔朝鮮日報の件、協議結果政務総監に進言依頼〕 美濃部俊吉→守屋栄夫	大正9年8月10日(1920)	1通・墨書	5-5-19
書簡〔総督以下拙宅訪問願〕 美濃部俊吉→守屋栄夫	大正1月19日	1通・墨書	5-5-20
書簡〔歯痛発熱、宴会出席の旨斎藤実宛伝言願〕 美濃部俊吉→守屋栄夫	大正9月15日	1通・墨書	5-5-14
書簡〔体調について〕 三橋敬子→守屋栄夫	大正8年6月8日(1919)	1通・墨書・ペン	5-16-5
書簡〔弔辞香料御礼〕 三橋敬子→守屋栄夫	大正9年2月25日(1920)	1通・墨書	81-681
書簡〔水野夫人体調不良、総督に転地等依頼〕 三橋敬子→守屋栄夫	大正9年6月30日(1920)	1通・墨書	5-5-25
書簡〔お悔やみ状〕 三橋正→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-103
書簡〔お悔やみ状〕 三原参治→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-74
書簡〔無事任務終了、欠礼お詫び〕 三原参治→守屋栄夫	昭和5年12月1日(1930)	1通・墨書	10-330-2
書簡〔母校創立二十周年式祝電御礼〕 三原篤治→守屋栄夫	大正6年5月27日(1917)	1通・墨書	83-14-1
書簡〔県下中学校長異動の際の窮状援助願〕 三原篤治→守屋栄夫	大正6年8月18日(1917)	1通・墨書	83-14-2

書簡〔宮城県下中学校長異動にて推薦依頼〕 三原篤治→守屋栄夫	大正6年9月20日(1917)	1通・墨書	83-14-134
書簡〔浜田長官との面会報告〕 三原篤治→守屋栄夫	大正6年9月26日(1917)	1通・墨書	83-14-133
書簡〔御配慮願ひ〕 三原篤治→守屋栄夫	大正6年10月24日(1917)	1通・墨書	83-14-191
書簡〔御高配願ひ〕 三原篤治→守屋栄夫	大正6年12月19日(1917)	1通・墨書	83-14-155
書簡〔近況報告〕 三原篤治→守屋栄夫	大正7年1月8日(1918)	1通・墨書	83-7-20
書簡〔近況、挨拶〕 三原篤治→守屋栄夫	大正7年7月13日(1918)	1通・墨書	84-9-36
書簡〔教員詮衡の景況報告、田川郡教員総会の件〕 三原篤治→守屋栄夫	大正8年6月9日(1919)	1通・墨書	83-2-37
葉書〔耶馬溪探訪報告〕 三原篤治・三原脩二・三原俊夫→守屋栄夫	大正8年8月2日(1919)	1枚・ペン	5-6-19
書簡〔浜田知事訪問にて古川中学校等の状況を伺う〕 三原篤治→守屋栄夫	大正8年10月2日(1919)	1通・墨書・ペン	83-14-39
書簡〔次弟様急逝にて悔状〕 三原篤治→守屋栄夫	大正12年5月22日(1923)	1通・墨書・ペン	80-40-1-2
書簡〔内務省社会局部長就任祝ひ〕 三原篤治→守屋栄夫	大正13年9月24日(1924)	1通・墨書	85-1-3
葉書〔北海道視察経過〕 三原篤治→守屋栄夫	大正15年8月7日(1926)	1枚・ペン	86-325-11
書簡〔梁川君の就職活動尽力御礼〕 三原篤治〔宮城県古川高等女学校長〕→守屋栄夫	大正15年12月24日(1926)	1通・墨書	85-3-6-1
書簡〔年頭挨拶〕 三原篤治〔宮城県古川高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和2年1月4日(1927)	1通・墨書	85-7-2-18
書簡〔上京の際の御礼、出馬応援〕 三原篤治〔宮城県古川高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和2年11月14日(1927)	1通・墨書	85-9-129
書簡〔お悔やみ状〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-29
書簡〔佐々木三郎就職斡旋依頼〕 三原篤治〔宮城県古川高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和5年5月30日(1930)	1通・墨書	10-406-22
書簡〔御高配御礼〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和5年6月17日(1930)	1通・墨書	10-406-35
書簡〔昭和連盟政局に対する批判御礼、同窓会出席願ひ〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和5年7月23日(1930)	1通・墨書	10-410-10
書簡〔身内結婚祝御礼〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和5年12月3日(1930)	1通・墨書	7-147-35
書簡〔宮城県へ教員退職願提出、大立目君の任用〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年4月7日(1931)	1通・墨書	86-346-12
書簡〔県課長・部長に面会、増俸につき配慮を願う〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年4月11日(1931)	1通・墨書	86-346-13
書簡〔浪人行脚の報告、羽生氏は中学校長行き詰まり本省へ復帰を〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年7月2日(1931)	1通・墨書	86-350-22
書簡〔故大内鏡城高等普通学校長告別式弔電御礼〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年8月15日(1931)	1通・ペン	86-348-53
書簡〔大内病死お悔やみ御礼、家族の近況報告〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年9月5日(1931)	1通・墨書	86-356-10

書簡〔本葬儀執行準備中〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年12月6日(1931)	1通・墨書	86-347-7
書簡〔大内本葬御礼、昭和連盟へ新春加盟〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和6年12月31日(1931)	1通・墨書	86-347-35
書簡〔「あかるい政治」寄贈御礼、昭和連盟加盟依頼〕 三原篤治→守屋栄夫	昭和8年9月5日(1933)	1通・墨書	84-25-26
書簡〔仙台地域選挙情勢〕 三原篤治→守屋栄夫	2月11日	1通・墨書	7-147-73
葉書〔教育大会に出席〕 三原篤治→守屋栄夫	11月28日	1枚・ペン	84-3-61
葉書〔暑中見舞い〕 三原美平→守屋栄夫	大正7年8月19日(1918)	1枚・墨書	82-3-98
葉書〔暑中見舞い〕 三原美平→守屋栄夫	大正8年8月20日(1919)	1枚・ペン	9-10-20
葉書〔機嫌伺い〕 宮内三明→守屋栄夫	昭和5年8月28日(1930)	1枚・ペン	86-322-265
書簡〔「地方自治の精神」恵贈御礼〕 宮浦公男→守屋栄夫	大正8年5月21日(1919)	1通・墨書	83-2-3
書簡〔お悔やみ状〕 宮川兼蔵→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン	5-12-76
葉書〔当選祝い〕 宮川兼蔵→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1枚・ペン	7-147-373
葉書〔ロンドン出発〕 宮川宗徳→守屋栄夫	昭和2年3月14日(1927)	1枚・ペン	84-1-115
書簡〔お悔やみ状〕 宮川宗徳→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-138
書簡〔競売実行準備報告〕 宮川宗徳→守屋栄夫	昭和5年2月27日(1930)	1通・墨書	10-409-68
書簡〔お悔やみ状〕 宮川剛→守屋栄夫	大正12年3月18日(1923)	1通・墨書	18-14-16
書簡〔当選祝い〕 宮城伊兵衛→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-41
葉書〔当選祝い〕 宮城伊兵衛→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-372
書簡〔接見御礼〕 宮城伊兵衛→守屋栄夫	昭和6年3月11日(1931)	1通・墨書	86-357-32
書簡〔図書印影報告〕 宮城五郎→守屋栄夫	大正13年7月15日(1924)	1通・墨書	9-22-25
葉書〔当選祝い〕 宮城寅蔵→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-376
葉書〔通信事務〕 宮城県荒谷郵便局→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1枚・墨書	5-25-10-34-10
葉書〔通信事務〕 宮城県荒谷郵便局→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1枚・墨書	5-25-10-34-11
葉書〔通信事務〕 宮城県荒谷郵便局→守屋栄夫		1枚・ペン	5-25-10-34-7
書簡〔当選祝い〕 三宅志づ→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-87
書簡〔当選祝い〕 三宅志づ→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-409-64
書簡〔近況報告〕 宮後一→守屋栄夫	昭和8年5月17日(1933)	1通・ペン	84-27-11
書簡〔中見欠〕 Y. Miyasaki→守屋栄夫	昭和	1通・ペン	10-408-105
葉書〔挨拶〕 宮崎一雄→守屋栄夫	大正14年2月24日(1925)	1枚・ペン	84-2-47
書簡〔茨城県庁農務課就職尽力御礼〕 宮崎精→守屋栄夫	昭和5年2月5日(1930)	1通・墨書	10-372
書簡〔当選祝い〕 宮崎左止三→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-69

書簡〔当選祝い〕 宮崎雄→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-409-67
書簡〔東京帝大在籍時の研究項目、農業従事のためブラジル渡航〕 宮崎義質→守屋栄夫	昭和3年1月26日(1928)	1通・墨書	9-16-47
書簡〔サンパウロ支社勤務決定〕 宮崎義質→守屋栄夫	昭和4年1月1日(1929)	1通・ペン	6-59-6
書簡〔田付七太・梅谷光貞に面会御礼他〕 宮崎義質→守屋栄夫	昭和4年5月4日(1929)	1通・ペン	85-4-4-41
葉書〔栄転祝い〕 宮沢小五郎→守屋栄夫	大正6年5月4日(1917)	1枚・墨書	81-188
葉書〔同潤会専務理事就任〕 宮沢小五郎→守屋栄夫	大正13年6月30日(1924)	1枚・活版	9-22-29
葉書〔林檎送付〕 宮沢小五郎→守屋栄夫	昭和3年12月28日(1928)	1枚・ペン	86-322-152
葉書〔暑中見舞い〕 宮沢小五郎→守屋栄夫	昭和5年7月25日(1930)	1枚・ペン	86-322-279
書簡〔挨拶状〕 宮沢小五郎→守屋栄夫	昭和7年6月(1932)	1通・墨書	84-13-25
葉書〔挨拶状〕 宮沢小五郎→守屋栄夫	4月26日	1枚・墨書	81-547
書簡〔融和問題の件、東京府下融和団体設立の件〕 宮地久衛→守屋栄夫	昭和6年7月8日(1931)	1通・墨書	86-350-49
書簡〔東京府下融和事業展開報告〕 宮地久衛→守屋栄夫	昭和6年9月20日(1931)	1通・墨書	86-356-5
書簡〔東京府融和事業の景況報告〕 宮地久衛→守屋栄夫	昭和7年7月12日(1932)	1通・墨書	83-3-26
書簡〔融和問題事業進展に助力依頼、東京府融和事業現状報告〕 宮地久衛→守屋栄夫	昭和7年7月18日(1932)	1通・墨書	83-3-46
書簡〔東京府融和事業十周年計画及昭和八年度予算編成所見〕 宮地久衛→守屋栄夫	昭和7年9月(1932)	1通・活版	83-11-11
葉書〔北部スマトラ・馬來シャム視察〕 宮下琢磨→守屋栄夫	昭和3年6月18日(1928)	1枚・ペン・謄写版	86-322-148
書簡〔お悔やみ状〕 宮下琢磨→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	6-54-15
書簡〔海外協会の出資方策立たず〕 宮下琢磨→守屋栄夫	昭和6年8月22日(1931)	1通・墨書	86-348-25
葉書〔当選祝い〕 宮田此男・荒川忠一・鈴木源之進・高橋朋・早坂長治郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-76
葉書〔京城見物〕 宮田宗兵衛→守屋栄夫	昭和4年9月30日(1929)	1枚・ペン	86-324-7
書簡〔講話拝聴と写真御礼〕 宮田宗兵衛→守屋栄夫	昭和7年6月12日(1932)	1通・墨書	84-13-17
葉書〔アイヌ知育状況視察〕 宮田宗兵衛→守屋栄夫	大正4月28日	1枚・ペン	81-122
書簡〔耕地整理組合への配慮御礼〕 宮野譲三→守屋栄夫	昭和7年7月20日(1932)	1通・墨書	83-3-45
葉書〔お悔やみ状〕 宮山宜広→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1枚・墨書	9-15-51
葉書〔当選祝い〕 宮山宜広→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-251
書簡〔当選祝い〕 宮崎喜助→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-82

葉書〔年賀状、伊豆への新婚旅行経過〕 宮本清・綾子→ 守屋栄夫	昭和4年1月4日(1929)	1枚・ペン	86-328-2
葉書〔無事着京〕 宮本敬治→守屋栄夫	大正11年9月17日 (1922)	1枚・ペン	9-27-38
書簡〔お悔やみ状〕 宮本元→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン	6-54-8
書簡〔当選祝い〕 宮本制一→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-244
葉書〔スマトラ島視察、今後日程通知〕 宮本琢磨→守 屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1枚・ペン	86-329-40
書簡〔単身赴任報告〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	明治42年8月1日(1909)	1通・墨書	6-46-37
書簡〔課員加藤君工場監督官補につき通知〕 宮本貞三 郎→守屋栄夫	大正5年12月19日 (1916)	1通・墨書	84-20-17
葉書〔関西と九州へ出張〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	大正6年1月14日(1917)	1枚・ペン	81-147
葉書〔暑中見舞い〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	大正6年8月7日(1917)	1枚・ペン	81-31
葉書〔京阪神の視察〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	大正7年3月27日(1918)	1枚・ペン	82-3-49
書簡〔加藤伝作取り計らい依頼〕 宮本貞三郎→守屋栄 夫	大正8年9月29日(1919)	1通・墨書	9-25-13
葉書〔鶴原における工事状況、本年内に鉄道開通予 定〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	大正15年5月9日(1926)	1枚・ペン	84-2-26
葉書〔年賀状〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-48
葉書〔北丹後地震の震災地一巡の予定、被害復旧の様 子〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和2年5月11日(1927)	1枚・ペン	84-1-67
書簡〔加美郡広原村氏家安吉に依頼状差出〕 宮本貞三 郎→守屋栄夫	昭和3年1月31日(1928)	1通・墨書	10-414-30
書簡〔退官の事世間の同情集まる他〕 宮本貞三郎→守 屋栄夫	昭和3年1月31日(1928)	1通・ペン	10-414-2
書簡〔当選祝い〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-265
書簡〔民政党との関係、申越の人名一覧〕 宮本貞三郎 →守屋栄夫	昭和3年4月2日(1928)	1通・墨書	10-30
書簡〔お悔やみ状〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-84
書簡〔水野氏入閣せざるは寂しき、小生転任希望につ き尽力依頼〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和7年5月28日(1932)	1通・墨書	86-350-7
書簡〔斎藤総理への面会依頼〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和7年6月25日(1932)	1通・墨書	84-13-32
葉書〔昭和連盟大会への問合せ〕 宮本貞三郎→守屋栄 夫	昭和7年カ11月1日 (1932)	1枚・ペン	86-81
書簡〔白菜送付御礼〕 宮本貞三郎→守屋栄夫	昭和7年12月13日 (1932)	1通・墨書	84-14-14
書簡〔お悔やみ状〕 宮本益輔→守屋栄夫	昭和4年3月16日(1929)	1通・墨書	5-25-9-6
葉書〔残暑見舞い〕 宮本雄一郎→守屋栄夫	昭和8年8月15日(1933)	1枚・ペン	86-323-79
葉書〔片瀬富士見ヶ崎から〕 宮本容子→守屋栄夫	明治44年9月22日 (1911)	1枚・ペン	81-293

葉書〔京城に来る〕 宮本・柳・瀬戸潔→守屋栄夫	大正7年11月25日 (1918)	1枚・ペン	82-3-214
葉書〔不在に付その内拝眉〕 宮本→守屋栄夫	大正8年12月3日 (1919)	1枚・墨書	82-3-294
書簡〔小生に御配慮を蒙られ、ご指導を下されたきにつき御礼〕 宮本〔警視庁理事官〕→守屋栄夫	大正6月22日	1通・墨書	84-20-57
書簡〔年末の挨拶〕 三好豊太郎→守屋栄夫	昭和1年12月29日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-9
書簡〔選挙応援〕 三好豊太郎→守屋栄夫	昭和3年2月1日 (1928)	1通・墨書	10-101
書簡〔お悔やみ状〕 三好豊太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	5-10-6
書簡〔選挙にて為替送付〕 三好豊太郎→守屋栄夫	昭和5年2月13日 (1930)	1通・ペン	10-409-66
書簡〔栄転祝辞〕 三好与七→守屋栄夫	大正6年5月28日 (1917)	1通・墨書	83-14-37
書簡〔育英会基金のことにつき来訪伺い〕 三輪徳寛→守屋栄夫	昭和5年5月24日 (1930)	1通・ペン	10-406-2
書簡〔香港の守屋徳夫からの葉書7通同封〕 三輪和三郎→守屋栄夫	昭和2年7月20日 (1927)	1通・ペン	85-9-19
書簡〔当選祝い〕 三輪田元道→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1通・ペン	10-409-65

む

葉書〔栄転祝い〕 向西→守屋栄夫	大正5月	1枚・墨書	81-181
葉書〔年賀状〕 六鹿鹿三郎→守屋理事官	大正6年1月1日 (1917)	1枚・墨書	81-110
葉書〔当選祝い〕 武者良氏→守屋栄夫	昭和3年2月 (1928)	1枚・墨書	7-147-197
書簡〔先般の来鮮の際は欠礼お詫び、「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 武者鍊三→守屋栄夫	昭和3年7月24日 (1928)	1通・墨書	10-408-139
葉書〔著書恵贈御礼〕 武藤金吉→守屋栄夫	昭和3年4月22日 (1928)	1枚・墨書	86-329-17
書簡〔「太平洋時代来る」感想〕 武藤山治→守屋栄夫	5月10日	1通・墨書	9-16-8
書簡〔お悔やみ状〕 武藤虎太→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-182
書簡〔使用人悪評の注進〕 無名者→守屋栄夫	大正15年6月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-8-34
葉書〔残暑見舞い〕 村岡兵太→守屋栄夫	大正7年8月24日 (1918)	1枚・墨書	82-3-102
葉書〔暑中見舞い〕 村岡兵太→守屋栄夫	大正7月14日	1枚・墨書	82-3-283
書簡〔依頼の請願書印刷、送付日程通知〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年1月21日 (1931)	1通・墨書	86-359-11
書簡〔国旗制定に関する私見、守屋支援〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年2月7日 (1931)	1通・墨書・ペン	86-355-23
書簡〔国旗制定に関する衆議院内議論報道〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年2月8日 (1931)	1通・墨書・活版	86-355-24
書簡〔国旗法案に関する議会対応〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年3月14日 (1931)	1通・墨書	86-357-18
書簡〔国旗掲揚式への参加及び式辞依頼〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年4月20日 (1931)	1通・ペン・墨書	86-354-26

書簡〔守屋送付葉書につき所感、国旗の歌の件〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年6月17日(1931)	1通・ペン	86-352-3
書簡〔「国旗の歌」につき援助依頼〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年7月6日(1931)	1通・活版・墨書	86-350-34
書簡〔「国旗の歌」の歌詞訂正〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年7月8日(1931)	1通・ペン	86-350-41
書簡〔叔母葬儀日取り報告〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年7月10日(1931)	1通・ペン	86-350-52
書簡〔神社改築の件〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年9月12日(1931)	1通・ペン	86-356-16
書簡〔後藤神社落成式出席願い〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和6年12月5日(1931)	1通・墨書	86-347-10
書簡〔拝受の雲牋を後藤神社にて奉読〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和7年10月16日(1932)	1通・墨書	83-5-21
書簡〔後藤神社第一回祭典次第、国旗崇敬に関する請願報告〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和7年11月1日(1932)	1通・墨書	83-4-42
書簡〔上申書御礼〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和7年12月3日(1932)	1通・墨書	84-14-20
書簡〔速記録と上申書の件〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和7年12月10日(1932)	1通・墨書	84-14-22
書簡〔警官として請願について意見〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和8年1月9日(1933)	1通・ペン	84-28-13
書簡〔佐藤与吉の昇格援助依頼〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和8年1月14日(1933)	1通・ペン	84-28-7
書簡〔塩釜神社参詣、塩釜港築港建議〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和8年2月17日(1933)	1通・墨書	84-8-9
書簡〔二荒様・近衛様電報の件〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和8年3月7日(1933)	1通・墨書	84-22-27
書簡〔新聞拝見、奮闘見舞い〕 村上勝衛→守屋栄夫	昭和8年6月3日(1933)	1通・墨書	83-6-30
書簡〔上京挨拶〕 村上勝男→守屋栄夫	昭和8年4月19日(1933)	1通・墨書	85-11-7
葉書〔東京滞在時の御礼〕 村上菊助→守屋栄夫	昭和4年2月20日(1929)	1枚・ペン	86-324-33
葉書〔会見御礼、川渡出発〕 村上菊助→守屋栄夫	昭和4年3月3日(1929)	1枚・ペン	86-324-17
葉書〔御礼状、歌〕 村上辰男→守屋栄夫	昭和2年12月22日(1927)	1枚・ペン	86-325-23
葉書〔挨拶、近況報告〕 村上辰男→守屋栄夫	昭和3年1月19日(1928)	1枚・ペン	84-3-13
葉書〔破損判読不能〕 村上辰男→守屋栄夫	昭和3年8月10日(1928)	1枚・ペン	86-325-66
葉書〔犬養氏出生地周遊〕 村上辰男→守屋栄夫	昭和5年カ3月7日(1930)	1枚・ペン	86-50
葉書〔挨拶状〕 村上辰男→守屋栄夫	昭和5年10月22日(1930)	1枚・ペン	86-1-18
葉書〔長野にて女工紹介と失業救済事業実況視察〕 村上辰男・三沢房太郎→守屋栄夫	昭和6年2月1日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-342
葉書〔支那旅行道中安全祈念〕 村上辰男→守屋栄夫	昭和6年5月13日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-302
葉書〔喪中〕 村上虎雄→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-43
書簡〔台湾の土地問題解決と援助依頼〕 村上虎雄→守屋栄夫	昭和4年4月29日(1929)	1通・墨書	85-4-2-19

書簡〔台湾の土地払下げ禁止問題について援助依頼〕 村上虎雄→守屋栄夫	昭和4年7月19日(1929)	1通・墨書	6-52-4
書簡〔土地払下げ問題近況報告〕 村上虎雄→守屋栄夫	昭和4年8月24日(1929)	1通・ペン	85-4-5-1
書簡〔土地払い下げ問題、解禁発表のため後援依頼〕 村上虎雄→守屋栄夫	昭和5年9月5日(1930)	1通・ペン	10-292
書簡〔総督府からの土地払下げ問題、協力依頼〕 村上 虎雄→守屋栄夫	昭和5年10月26日 (1930)	1通・墨書・ペン	10-85
書簡〔土地払下問題難渋、近況報告〕 村上虎雄→守屋栄 夫	昭和5年11月18日 (1930)	1通・ペン	10-313
書簡〔推薦書及び総督府内根回し御礼〕 村上虎雄→守 屋栄夫	昭和7年4月13日(1932)	1通・ペン	84-24-25
書簡〔援助につき依頼〕 村上虎雄→守屋栄夫	昭和8年4月23日(1933)	1通・ペン	85-11-27
書簡〔土地払下審議、協議につき御礼〕 村上虎雄→守 屋栄夫	昭和8年7月30日(1933)	1通・ペン	84-18-22
書簡〔土地払い下げの件進捗報告〕 村上虎雄→守屋栄 夫	昭和8年10月17日 (1933)	1通・ペン	5-24-44
書簡〔弔辞御礼〕 村上又三郎→守屋栄夫	昭和5年11月22日 (1930)	1通・墨書	10-311
書簡〔辰男の病状について〕 村上又之助→守屋栄夫	昭和2年12月11日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-11
葉書〔挨拶〕 村崎寿二→守屋栄夫	9月20日	1枚・ペン	84-3-50
書簡〔お悔やみ状〕 村沢森蔵→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-156
葉書〔暑中見舞い〕 村瀬芳太郎→守屋栄夫	大正6年8月6日(1917)	1枚・ペン	81-243
葉書〔喪中〕 村田華洲→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン	86-326-68
書簡〔当選祝い、昭和維新のため奮闘願う〕 村田静太 郎→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書	10-246
書簡〔当選祝い〕 村田静太郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-147
書簡〔使命社の顧問引受御礼、原稿依頼〕 村田太平〔使 命社主幹〕→守屋栄夫	大正14年11月19日 (1925)	1通・ペン	85-10-20
書簡〔顧問紹介の写真と原稿送付願い〕 村田太平〔使 命社主幹〕→守屋栄夫	大正14年12月16日 (1925)	1通・墨書	85-10-43
書簡〔婦人雑誌を発刊予定、町村発展号好評、府県の 各市町村役場に送付他〕 村田太平〔使命社主幹〕→守 屋栄夫	大正15年7月5日(1926)	1通・ペン	85-3-1-17
書簡〔大成報治社の財団法人許可配慮感謝、婦人雑誌 「愛」出版〕 村田太平〔使命社主幹〕→守屋栄夫	大正15年7月22日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-1
書簡〔使命社の雑誌寄稿御礼〕 村田太平〔使命社主幹〕→ 守屋栄夫	大正15年9月12日 (1926)	1通・ペン	85-3-7-2
書簡〔選挙運動激励〕 村田太平〔京都府伏見桃山主幹〕→ 守屋栄夫	昭和3年2月5日(1928)	1通・ペン・活版	7-147-50
書簡〔中身欠〕 村田太平〔京都府伏見桃山主幹〕→守屋栄夫	昭和3年2月14日(1928)	1通・墨書	7-147-149
書簡〔衆議院議員当選祝い、法律事務所開設祝い、「太 平洋時代来る」恵贈御礼〕 村田太平→守屋栄夫	昭和3年5月12日(1928)	1通・ペン	10-408-154

葉書〔宇和島市での自括振興急務、顧問承諾挨拶〕 村田→守屋栄夫	大正14年10月27日 (1925)	1枚・墨書	84-6-116
葉書〔姫路より挨拶〕 村田→守屋栄夫	大正15年2月7日 (1926)	1枚・ペン	86-4
書簡〔お悔やみ状〕 村山喜一郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	6-57-59
書簡〔当選祝い〕 村山喜一郎→守屋栄夫	昭和5年2月20日 (1930)	1通・墨書	10-146
書簡〔道路改修工事要望受諾を県土木課へ督励依頼〕 村山貞之助→守屋栄夫	昭和7年12月6日 (1932)	1通・ペン	84-14-4
書簡〔お悔やみ状〕 村山大仙→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	9-29-8
書簡〔当選祝い〕 村山保男→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1通・墨書	10-109
葉書〔出席御礼〕 村山義孝→守屋栄夫	昭和2年11月6日 (1927)	1枚・墨書	84-1-118

め

書簡〔来村都合伺い〕 目黒多利治→守屋栄夫	昭和4年12月9日 (1929)	1通・墨書	5-14-41
書簡〔お悔やみ状〕 目黒安松→守屋栄夫	昭和4年3月16日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-33-18
書簡〔今春の町会補欠選挙、角田町出張〕 目黒安松→守屋栄夫	昭和4年9月11日 (1929)	3通・墨書・ペン	6-56-48-9
書簡〔高等文官試験希望の息子面会依頼〕 目黒良右衛門→守屋栄夫	昭和7年12月9日 (1932)	1通・墨書	84-14-24
書簡〔激励挨拶〕 目黒良右衛門→守屋栄夫	昭和8年4月21日 (1933)	1通・墨書	84-10-10
書簡〔帰省の際の御礼〕 目黒良右衛門→守屋栄夫	昭和8年7月1日 (1933)	1通・墨書	84-26-13
書簡〔神社参拝の真意義を論ず〕 目黒和三郎→守屋栄夫	大正7年7月4日 (1918)	2通・墨書・活版	5-26-35
書簡〔当選祝い〕 女屋誠一郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1通・墨書	10-38

も

書簡〔お悔やみ状〕 茂木蔵之助→守屋栄夫		1通・ペン	9-15-31
書簡〔市議改選の件〕 持沢喜一→守屋栄夫	昭和8年5月2日 (1933)	1通・墨書	85-11-21
葉書〔祝電〕 持沢喜一→守屋栄夫	昭和8年5月2日 (1933)	1枚・墨書	85-11-22
書類〔二水会会員名簿送付案内、会員名簿〕 持田巽→守屋栄夫	昭和2年11月14日 (1927)	1綴・活版	85-9-134
書簡〔当選祝い〕 持田巽→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-407-38
書簡〔掲載記事について〕 基岐昌一→守屋栄夫	昭和 23日	1通・ペン	10-406-44
書簡〔女子採用決定の件報告〕 元田敏貞→守屋栄夫	大正15年3月29日 (1926)	1通・墨書	78-23-50
書簡〔牡丹餅の御礼〕 本野久子→守屋栄夫	大正15年12月18日 (1926)	1通・墨書	85-3-4-34
書簡〔慶福会より貳千円受領感謝〕 本野久子→守屋栄夫	昭和2年2月15日 (1927)	1通・墨書	85-9-66

葉書〔近況報告〕 本野久子→守屋栄夫	昭和2年7月3日(1927)	1枚・墨書	85-9-9
書簡〔御礼状〕 本野久子→守屋栄夫	昭和4年9月10日(1929)	1通・墨書	6-56-48-7
書簡〔選挙応援〕 本野久子→守屋栄夫	昭和2月4日	1通・墨書	10-99
書簡〔当選予想と祝辞〕 素山道人→守屋栄夫	昭和3年2月19日(1928)	1通・墨書	10-213
書簡〔朝鮮総督秘書官兼府参事官栄転祝い、朝鮮統治〕 百沢譲介→守屋栄夫	大正8年8月31日(1919)	1通・墨書	9-17-20
書簡〔当選祈願〕 百鳥喜一→守屋栄夫	昭和5年2月7日(1930)	1通・墨書	10-409-94
書簡〔当選祝い〕 百鳥喜一→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-76
葉書〔電気治療を行う〕 森兼八→守屋栄夫	昭和3年11月3日(1928)	1枚・ペン	84-3-34
書簡〔上京御訪問に至らず御容赦を願う、梨を送付〕 森繁尾→守屋栄夫	昭和7年10月17日(1932)	1通・ペン	83-5-15
葉書〔当選祝い〕 森信吾→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-324
書簡〔樺太佐々木の件重ねて配慮願う〕 森善吉→守屋栄夫	昭和8年6月16日(1933)	1通・墨書	83-6-8
書簡〔佐々木毅への配慮御礼、今村長官・山田秘書官の上京と談義の件〕 森善吉→守屋栄夫	昭和8年9月28日(1933)	1通・ペン	84-25-22
書簡〔お悔やみ状〕 森雄熊→守屋栄夫	大正12年3月23日(1923)	1通・墨書	18-14-22
葉書〔朝鮮神宮御鎮座祭参列〕 森雄熊→守屋栄夫	大正14年10月15日(1925)	1枚・ペン	84-6-82
書簡〔当選祝い〕 森雄熊→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-107
葉書〔挨拶状〕 森雄熊→守屋栄夫	昭和5年4月29日(1930)	1枚・ペン	86-72
葉書〔暑中見舞い〕 森民重→守屋栄夫	大正6年7月31日(1917)	1枚・ペン	81-17
書簡〔お悔やみ状〕 森留吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-18
葉書〔喪中〕 森長文→守屋栄夫	昭和1年12月26日(1926)	1枚・活版	85-7-2-1-31
葉書〔当選祝い〕 森半兵衛→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-191
書簡〔誓〕 森正隆→守屋栄夫	大正6年7月20日(1917)	1通・墨書	83-14-178
書簡〔中学卒業生鹿島敬一卒業幹旋依頼〕 森正隆→守屋栄夫	大正6年7月30日(1917)	1通・墨書	83-14-179
書簡〔近況報告〕 森正隆→守屋栄夫	大正6年9月12日(1917)	1通・墨書	83-14-158
葉書〔昇進の祝い状〕 森正隆→守屋栄夫	大正6年9月14日(1917)	1枚・墨書	81-42
書簡〔水野先生への手配方依頼〕 森正隆→守屋栄夫	大正6年12月16日(1917)	1通・墨書	83-14-112
書簡〔水野氏の講話の件〕 森正隆→守屋栄夫	大正8年5月21日(1919)	1通・墨書	83-2-42
書簡〔吉村の件採用御礼、任地・俸給大満足〕 森正隆→守屋栄夫	大正9年10月9日(1920)	1通・墨書	86-337
書簡〔竹内健郎の面倒依頼〕 森正隆→守屋栄夫	大正10年9月3日(1921)	1通・墨書	5-5-15

書簡〔無礼につき詫び状〕 森正隆→守屋栄夫	昭和7年1月13日(1932)	1通・墨書	84-30-19
書簡〔挨拶状〕 森松之助〔宮城県登米郡米岡尋常高等小学校〕→守屋栄夫	昭和2年10月26日(1927)	1通・墨書	85-7-4-2
葉書〔当選祝い〕 森豊→守屋栄夫	昭和3年2月(1928)	1枚・墨書	7-147-246
書簡〔お悔やみ状〕 森嘉太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-28
葉書〔健闘祈願〕 森岡二郎→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1枚・ペン	7-147-390
書簡〔来駕御礼〕 森川源三郎→守屋栄夫	大正6年9月15日(1917)	1通・墨書	83-14-97
書簡〔地方の実情について〕 森川源三郎→守屋栄夫	大正8年2月14日(1919)	1通・墨書	83-7-6
書簡〔雄基湾隣接国有林払い下げに付援助願い〕 森川源八→守屋栄夫	昭和8年4月13日(1933)	1通・ペン	84-10-8
葉書〔当選祝い〕 森下重格→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-220
書簡〔お悔やみ状〕 森下重格→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-28-11
書簡〔衆議院議員当選祝い〕 森田茂→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・活版・墨書	10-408-62
書簡〔岡村部長邸訪問、宮城県教育問題〕 森田専七郎→守屋栄夫	大正7年5月10日(1918)	1通・墨書	5-6-27
書簡〔県視学事件、小学校全施行細則への要望、渡辺校長休職事件〕 森田専七郎→守屋栄夫	大正8年5月13日(1919)	1通・ペン	83-10-24
書簡〔宮城県庁教育課関係転任報告〕 森田専七郎→守屋栄夫	大正8年6月14日(1919)	1通・ペン	83-10-21
葉書〔仙台から近況報告〕 森田専七郎→守屋栄夫	大正8年8月7日(1919)	1枚・ペン	83-9-20
葉書〔年賀状〕 森田専七郎→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-230
葉書〔機嫌伺い〕 森田福市→守屋栄夫	昭和5年7月23日(1930)	1枚・ペン	86-322-273
葉書〔機嫌伺い〕 森田福市→守屋栄夫	昭和5年8月23日(1930)	1枚・ペン	86-322-285
葉書〔パリより挨拶〕 森田福市→守屋栄夫	昭和5年9月25日(1930)	1枚・ペン	86-1-50
書簡〔招待の会欠席通知〕 森田福市→守屋栄夫	昭和5年12月5日(1930)	1通・墨書	7-147-8
書簡〔白菜送付御礼〕 森田福市→守屋栄夫	昭和6年12月14日(1931)	1通・墨書	86-351-5
書簡〔牡蠣送付〕 森田福市→守屋栄夫	昭和6年12月30日(1931)	1通・墨書	86-346-38
書簡〔白菜送付御礼〕 森田福市→守屋栄夫	昭和8年12月11日(1933)	1通・墨書	84-16-21
書簡〔珍品御礼〕 森田福市→守屋栄夫	昭和12月25日	1通・墨書	10-334
葉書〔健康祈願〕 森田福市→守屋栄夫	昭和5年5月31日(1930)	1枚・ペン	84-4-12
葉書〔京城到着〕 森田福市→守屋栄夫	昭和8年12月13日(1933)	1枚・ペン	86-323-69
書簡〔守永京江履歴書〕 守永京江→守屋栄夫	大正5年7月10日(1916)	1通・墨書	84-20-34
葉書〔当選祝い〕 森本厚郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-48
葉書〔弁護士事務所開設祝状〕 森本泉→守屋栄夫	昭和3年5月15日(1928)	1枚・ペン	86-322-187

書簡〔選挙応援〕 森屋謹吾→守屋栄夫	昭和5年2月12日(1930)	1通・墨書	10-157
葉書〔市役所土木課への勤務報告〕 森谷哲男→守屋栄夫	昭和5年10月19日(1930)	1枚・ペン	86-1-80
書簡〔近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和2年1月16日(1927)	1通・墨書	85-7-5-8
書簡〔談合事件に付報告〕 森安敏暢→守屋栄夫	昭和8年12月28日(1933)	1通・墨書	85-6-14
書簡〔当選祝い〕 森安連吉→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-409-77
葉書〔石窟庵石仏写真集再刊〕 諸鹿央雄→守屋栄夫	大正14年12月13日(1925)	1枚・ペン	86-323-34
葉書〔挨拶状〕 諸鹿央雄→守屋栄夫	大正15年8月13日(1926)	1枚・ペン・活版	86-192
葉書〔暑中見舞い〕 諸鹿央雄→守屋栄夫	昭和2年7月31日(1927)	1枚・墨書	86-103
葉書〔見舞い状〕 諸鹿央雄→守屋栄夫	昭和3年7月28日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-207
葉書〔暑中見舞い〕 諸鹿央雄〔朝鮮慶州〕→守屋栄夫	昭和3年8月4日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-257

や

書簡〔当選祝い〕 八百常蔵〔広島商工会議所常議員会長〕→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書・ペン・活版	10-138
書簡〔岩本実次郎就職幹旋依頼〕 八木幸太郎→守屋栄夫	大正15年カ1月2日(1926)	1通・墨書	85-3-5-33
書簡〔関税会議にて滞在、訪問願う〕 八木幸太郎→守屋栄夫	大正15年11月13日(1926)	1通・墨書	85-3-1-34
書簡〔お悔やみ状〕 八木幸太郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・ペン	9-29-23
書簡〔選挙戦に対する激励〕 八木幸太郎→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書・ペン	10-139
書簡〔当選祝い〕 八木幸太郎→守屋栄夫	昭和2月23日	1通・墨書	10-375
書簡〔お悔やみ状〕 八木林作→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-47
書簡〔選挙戦に対する激励〕 薬師寺照宣→守屋栄夫	昭和2月10日	1通・墨書	10-134
書簡〔愚息留五郎就職御礼、当地産品送付〕 八島瀧五郎→守屋栄夫	昭和5年7月6日(1930)	1通・墨書	10-411-23
書簡〔守屋氏帰郷に際してお願い、名刺(文部省実業補習教育主事千葉敬止)〕 八島八州雄→守屋栄夫	昭和4年8月18日(1929)	1通・墨書・ペン	5-17-9
書簡〔息子出張所で壮健に勤務〕 谷地森篤二郎→守屋栄夫	昭和8年12月21日(1933)	1通・墨書	84-21-1
葉書〔お悔やみ状〕 屋代忠雄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・ペン	5-12-45
葉書〔配布紙本文の件〕 安井七郎→守屋栄夫	昭和2年7月5日(1927)	1枚・ペン	86-172
書簡〔当選祝い〕 安井章一→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-148
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 安岡正篤→守屋栄夫	大正13年10月1日(1924)	1通・墨書	85-1-9
葉書〔年賀状〕 安岡水→守屋栄夫	昭和2年1月5日(1927)	1通・墨書	86-326-101

葉書〔面会の際に9名引率〕 安門三三→守屋栄夫	大正15年3月30日 (1926)	1枚・ペン	84-5-46
書簡〔お悔やみ状〕 安倉兵三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-65
葉書〔喪中〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1通・墨書	86-326-46
葉書〔暑中見舞い〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和2年7月23日(1927)	1枚・ペン	86-119
葉書〔飯岡町主催教化講演活動写真会に参加〕 安田 亀一→守屋栄夫	昭和2年8月16日(1927)	1枚・ペン	84-3-98
書簡〔選挙応援〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和3年2月20日(1928)	1通・墨書	10-27
書簡〔当選祝い〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-407-6
書簡〔お悔やみ状〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-34
書簡〔当選祝い〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-133
葉書〔漁村調査の一部印刷の件〕 安田亀一→守屋栄夫	昭和5年10月5日(1930)	1枚・ペン	86-1-38
書簡〔農家における仕事など近況報告〕 安田茂→守屋 栄夫	昭和8年10月8日(1933)	1通・ペン	84-12-30
葉書〔当選祝い〕 安多嶺丸→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・ペン	7-147-340
葉書〔弔辞香典御礼品送付〕 安武直夫→守屋栄夫	大正7年カ12月7日 (1918)	1枚・ペン	83-9-12
書簡〔朝鮮人暴挙に関する見舞い〕 安武直夫→守屋栄 夫	大正8年9月4日(1919)	1通・墨書	5-16-37
書簡〔アメリカ・イギリス滞在予定、市道改正の急務〕 安武直夫→守屋栄夫	大正8年10月14日 (1919)	1通・ペン	81-736
書簡〔ニューヨーク滞在、安武の功績調査の件、地方 理事官に伊関属推薦〕 安武直夫→守屋栄夫	大正9年10月23日 (1920)	1通・ペン	86-353-22
書簡〔現内閣と枢密院の関係につき所感、「水平社」運 動につき景況報告〕 安武直夫→守屋栄夫	大正12年4月15日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-1
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 安武直夫→守屋栄 夫	大正13年9月12日 (1924)	1通・ペン	85-1-19-1
書簡〔台北到着報告、社会局在職中の御礼〕 安武直夫 →守屋栄夫・令夫人様	昭和7年4月16日(1932)	1通・墨書	83-1-60
書簡〔台湾より内務本省へ帰任希望〕 安武直夫→守屋 栄夫	昭和7年5月23日(1932)	1通・墨書	86-350-6
葉書〔台湾より健康祈念〕 安武直夫→守屋栄夫	昭和8年4月20日(1933)	1枚・ペン	86-323-15
書簡〔中身欠〕 安武直夫→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1通・ペン	85-6-10
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 安武千代子→守屋 栄夫	大正13年9月12日 (1924)	1通・墨書	85-1-19-2
葉書〔年賀状〕 安富宏索→守屋栄夫	大正14年1月13日 (1925)	1枚・ペン	84-6-127
書簡〔中野署長への力添え依頼〕 安原清四郎→守屋栄 夫	昭和6年4月29日(1931)	1通・墨書	86-354-33
書簡〔暴行事件不問の取計らい御礼〕 安原清四郎→守 屋栄夫	昭和6年4月30日(1931)	1通・墨書	86-352-51

書簡〔風邪のため代理に妻が訪問〕 安原清四郎→守屋栄夫	1月22日	1通・墨書	6-55-24
書簡〔刀の贈答と由来〕 安原清四郎→守屋栄夫		1通・墨書	5-17-17
書簡〔事務仕事の件〕 安原→守屋栄夫	昭和4年12月22日 (1929)	1通・墨書	5-14-85
書簡〔お悔やみ状〕 矢田竹三郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	6-57-40
書簡〔面会及び在京時の配慮御礼〕 谷津吉郎→守屋栄夫	昭和6年2月11日 (1931)	1通・墨書	86-355-3
葉書〔気仙沼講演の都合の件〕 梁川良右衛門→守屋栄夫	昭和2年7月29日 (1927)	1枚・ペン	86-112
書簡〔当選祝い〕 梁川良右衛門→守屋栄夫	昭和3年2月26日 (1928)	1通・墨書	10-188
葉書〔暑中見舞い〕 梁川良右衛門→守屋栄夫	昭和4年8月8日 (1929)	1枚・ペン	86-279
書簡〔お悔やみ状〕 柳源太郎・そ似子→守屋栄夫・夫人	昭和4年3月8日 (1929)	1通・墨書	5-12-36
書簡〔御香料のお礼〕 柳沢武雄→守屋栄夫	昭和12月17日	1通・墨書	5-14-4
葉書〔暑中見舞い〕 柳沢良啓→守屋栄夫	大正6年8月3日 (1917)	1枚・ペン	81-46
葉書〔お悔やみ状〕 柳多元治郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1枚・墨書	9-15-8
葉書〔子供を連れて平壤・古園を訪問〕 柳原吉兵衛→守屋栄夫・相田良雄	昭和2年4月18日 (1927)	1枚・墨書	84-1-80
書簡〔お悔やみ状〕 柳原吉兵衛→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	6-57-62
書簡〔当選祝い〕 柳原吉兵衛→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	10-149
書簡〔挨拶状〕 矢鍋承三郎→守屋栄夫	大正15年1月29日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-20
書簡〔爆弾投下への見舞い〕 矢野豁〔鎌倉宮々司〕→守屋栄夫	大正8年9月6日 (1919)	1通・墨書	5-16-14
書簡〔宇治山田町参官につき御礼〕 矢野豁→守屋栄夫	昭和3年10月29日 (1928)	1通・墨書	10-408-132
書簡〔昭和連盟パンフレット寄贈〕 矢野豁→守屋栄夫	昭和5年1月28日 (1930)	1通・墨書	10-119
葉書〔当選祝い〕 矢野兼三→守屋栄夫	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	10-408-16
葉書〔年賀状〕 矢野七郎→守屋栄夫	1月11日	1枚・ペン	86-195
葉書〔時節柄に鑑み欠礼挨拶〕 矢野晋也〔二六新報社〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1-7
書簡〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 矢野恒太→守屋栄夫	昭和3年4月15日 (1928)	1通・ペン	10-315
葉書〔礼状〕 藪かや→守屋栄夫	昭和4年7月7日 (1929)	1枚・ペン	84-6-4
書簡〔暑中見舞い〕 藪加祐→守屋栄夫	昭和8年7月23日 (1933)	1通・ペン	84-26-24
書簡〔祝電御礼〕 藪豊→守屋栄夫	昭和4年5月7日 (1929)	1通・墨書	85-4-3-9
書簡〔別荘の近況報告、馬鈴薯送付〕 藪豊→守屋栄夫	昭和4年6月24日 (1929)	1通・ペン	85-4-3-24
書簡〔別邸の近況報告〕 藪豊→守屋栄夫	昭和5年4月20日 (1930)	1通・ペン	10-405-18
書簡〔御子息・令嬢光来〕 藪豊→守屋栄夫	昭和5年9月 (1930)	1通・墨書	10-408-4

書簡〔見送り出来ず残念〕 藪豊→守屋栄夫	昭和6年4月4日(1931)	1通・ペン	86-346-1
書簡〔亡父弔意料・長年の厚恩につき御礼〕 藪豊→守屋栄夫	昭和6年7月7日(1931)	1通・墨書	86-350-38
書簡〔頂き物御礼〕 藪豊→守屋栄夫	昭和8年5月25日(1933)	1通・ペン	84-27-20
書簡〔懇命御礼〕 藪豊→守屋栄夫	昭和10月31日	1通・墨書	10-384
書簡〔お悔やみ状〕 山家為三郎→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-17
書簡〔植民地での就職斡旋依頼〕 山家常→守屋栄夫	昭和4年6月15日(1929)	1通・ペン	85-4-4-39
葉書〔千葉氏訪問の件〕 山家常→守屋栄夫	昭和5年11月25日(1930)	1枚・ペン	86-1-71
葉書〔年賀状〕 山内確三郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-21
書簡〔お悔やみ状〕 山内勝治→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-61
書簡〔中島先生死去〕 山内清見→守屋栄夫	昭和6年3月25日(1931)	1通・墨書	86-357-3
葉書〔或平地方に滞在〕 山内邦助→守屋栄夫	昭和5年5月22日(1930)	1枚・ペン	84-4-5
書簡〔選挙応援、必要の際、申し越し下されたき願い〕 山内西助→守屋栄夫	昭和1月23日	1通・ペン	10-403-4
葉書〔海外教育視察報告〕 山内佐一郎→守屋栄夫	大正5年6月25日(1916)	1枚・ペン	81-57
書簡〔関西中学校運営教団新理事による負債整理と債権者利権〕 山内佐太郎→守屋栄夫	大正6年3月24日(1917)	1通・墨書	84-20-154
書簡〔校舎増築・瀏尻からの学校寄付金につき助言依頼〕 山内鶴次郎→守屋栄夫	明治42年11月20日(1909)	1通・墨書	6-46-44
書簡〔教員退職にて旭紡績会社への就職斡旋依頼〕 山内鶴次郎→守屋栄夫	大正8年11月6日(1919)	1通・墨書	83-2-50
書簡〔選挙応援、伴夫と面会〕 山内鶴次郎→守屋栄夫	昭和3年2月8日(1928)	1通・墨書	10-178
書簡〔お悔やみ状〕 山内鶴次郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-68
葉書〔御批評願う〕 山内時太郎→守屋栄夫	大正5年3月5日(1916)	1枚・墨書	84-20-26
書簡〔当選祝い〕 山内秀雄→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-135
書簡〔母逝去報告、暑中見舞い〕 山内秀雄→守屋栄夫	昭和8月4日	1通・墨書	10-392
葉書〔帰京の予定〕 山内平助→守屋栄夫	昭和5年6月3日(1930)	1枚・ペン	84-4-19
書簡〔国家のため最後の御奮闘を祈る〕 山内衛→守屋栄夫	昭和3年2月18日(1928)	1通・墨書	10-414-34
書簡〔お悔やみ状〕 山内衛→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-14
書簡〔当選祝い〕 山内衛→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・ペン	10-380-1
書簡〔当選祝い、当選礼状の差出者一覧〕 山内衛→守屋栄夫	昭和5年3月2日(1930)	1通・墨書・ペン	10-140
書簡〔朝鮮に帰任不可理由説明他〕 山内衛→守屋栄夫	昭和5年6月30日(1930)	1通・ペン	10-411-11
書簡〔上田万平氏の他県転任・退職に配慮依頼〕 山内雄太郎→守屋栄夫	大正15年3月18日(1926)	1通・墨書・ペン	78-23-49

葉書〔お悔やみ状〕 山内隆一→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1枚・ペン	5-12-32
書簡〔公益に関する社会事業勸奨の件〕 山岡大観→守屋栄夫	大正15年1月28日(1926)	1通・ペン	85-3-3-42
書簡〔工業国となる英国・米国についての意見〕 山岡毅→守屋栄夫	昭和2年2月12日(1927)	1通・ペン	85-9-62
葉書〔お祝い〕 山岡→守屋栄夫	大正8年5月1日(1919)	1枚・ペン	81-64
書簡〔お悔やみ状〕 山縣治郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・ペン・活版	5-12-54
書簡〔総選挙後ポスター展覧会開催、立候補ポスター提供依頼〕 山形県教育会長→守屋栄夫	昭和3年2月11日(1928)	1通・活版	10-414-7
葉書〔暑中見舞い〕 山上昶→守屋栄夫	昭和2年7月30日(1927)	1枚・ペン	86-114
葉書〔暑中見舞い、絵葉書(皇太子殿下御手植)〕 山上昶→守屋栄夫	昭和4年8月13日(1929)	1枚・ペン	86-290
書簡〔連合会パンフレットに「革命後の露西亜」掲載相談〕 山川健次郎→守屋栄夫	大正15年1月16日(1926)	1通・墨書	78-23-13
書簡〔教化強調期間実施報告、「教化強調期間ニ関スル要項」〕 山川健次郎〔中央教化団体連合会会長〕→守屋栄夫	昭和5年10月22日(1930)	1通・墨書・活版・謄写版	10-80
葉書〔諒闇中につき謹んで年始の御挨拶御遠慮〕 山川迪吉→守屋栄夫	昭和1年12月(1926)	1枚・活版・ペン	85-7-2-1-8
書簡〔貴県分京都府になるべき旨〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正5年4月4日(1916)	1通・墨書	84-20-24
書簡〔今野君訪問、体操教師某生徒をなぐり免職〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正5年5月6日(1916)	1通・墨書	84-20-65
書簡〔松岡大雄工科大学教授に就任ほか〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正5年12月14日(1916)	1通・墨書	84-20-18
書簡〔中学校・女学校を問わず推挙を〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年4月5日(1917)	1通・墨書	84-20-42
書簡〔小生へ転任通告にて助力依頼〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年5月17日(1917)	1通・墨書	83-14-115
書簡〔近況報告〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年5月21日(1917)	1通・墨書	83-14-140
書簡〔文部省打合せの結果〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年6月9日(1917)	1通・墨書	83-14-145
書簡〔小生転任期限につき斡旋御礼〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年6月16日(1917)	1通・墨書	83-14-116
書簡〔文部省の動向について〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年6月29日(1917)	1通・墨書	83-14-146
書簡〔文部省などとの交渉について〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年7月7日(1917)	1通・墨書	83-14-144
書簡〔文部省の動向について〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年7月16日(1917)	1通・墨書	83-14-147
書簡〔県の態度緩和報告、小生転任の救済方依頼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年7月18日(1917)	1通・墨書	83-14-120
書簡〔和歌山県粉川・弘前への転任不成立、救済依頼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年7月20日(1917)	1通・墨書	83-14-121
書簡〔郡教育会講演景況報告〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年7月24日(1917)	1通・墨書	83-14-117

書簡〔名古屋市への推薦依頼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年7月28日(1917)	1通・墨書	83-14-67
書簡〔近況報告〕 八巻嘉作→守屋栄夫・御奥様	大正6年8月7日(1917)	1通・墨書	83-14-142
書簡〔学校職の状況について〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年8月11日(1917)	1通・墨書	83-14-143
書簡〔渋谷氏の小生身体問題への激怒につき〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年8月15日(1917)	1通・墨書	83-14-68
書簡〔尽力御礼〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年8月17日(1917)	1通・墨書	83-14-212
書簡〔辞表提出について〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年8月19日(1917)	1通・墨書	83-14-141
書簡〔学校人事の件報告〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年8月20日(1917)	1通・墨書	84-7-41
書簡〔県の小生処分に関する探索方報告〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年9月1日(1917)	1通・墨書	83-14-69
書簡〔横山の書状について報告〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年9月8日(1917)	1通・墨書	83-14-213
書簡〔近況報告および感謝状〕 八巻嘉作〔千葉県立東金高等女学校長〕→守屋栄夫	大正6年9月12日(1917)	1通・墨書	83-14-214
書簡〔小生身上に関し高配御礼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年12月18日(1917)	1通・墨書	83-14-114
書簡〔川田氏罷免の件は誤伝の可能性〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正6年12月20日(1917)	1通・墨書	83-14-66
書簡〔就職不調なれば校長の口断念〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正7年6月30日(1918)	1通・墨書	84-19-28
書簡〔笹井課長書簡写し〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正7年7月20日(1918)	1通・墨書	83-9-44
書簡〔近況報告〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正7年7月23日(1918)	1通・墨書	83-9-45
書簡〔留守宅へ御見舞い〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正7年7月2日(1918)	1通・墨書	84-19-27
書簡〔中学校の学力について報告〕 八巻嘉作〔和歌山県立新宮中学校〕→守屋栄夫	大正7年10月10日(1918)	1通・墨書	83-7-11
書簡〔中学の様子について報告〕 八巻嘉作〔和歌山県立新宮中学校〕→守屋栄夫	大正7年10月14日(1918)	1通・墨書	83-7-12
書簡〔当学校の生徒精勤、当校運動会はストライキの慣習あるも組織一変、生徒溫柔〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正7年10月20日(1918)	1通・墨書	84-9-4
書簡〔軍政顧問、発祥地〕 八巻嘉作〔和歌山県立新宮中学校長〕→守屋栄夫	大正8年1月5日(1919)	1通・墨書	5-26-4
書簡〔「地方自治の精神」恵贈御礼他〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正8年2月4日(1919)	1通・墨書	84-19-22
葉書〔第三学年の引率で熊野名所を訪問〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正8年4月21日(1919)	1枚・ペン	82-3-21
葉書〔第三学年を引率〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正8年4月23日(1919)	1枚・ペン	82-3-3
書簡〔寄宿舎教育方針につき所感、寄宿舎教養方針(和歌山県立新宮中学校)〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正8年4月25日(1919)	1通・墨書	83-2-28
書簡〔上京面会希望、寄宿舎神棚設置、和郎昇進祝い〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正8年5月17日(1919)	1通・墨書	83-10-23

葉書〔神宮川産鮭送付〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正8年12月8日(1919)	1枚・墨書	82-3-325
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正13年9月13日(1924)	1通・墨書	85-1-18
書簡〔講演依頼とその経緯〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正15年4月14日(1926)	1通・墨書	85-3-2-15
書簡〔西牟婁郡教育会開催の講習会講師依頼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正15年4月28日(1926)	1通・墨書	78-23-46
書簡〔守屋氏派遣申請の件〕 八巻嘉作→守屋栄夫	大正15年5月4日(1926)	1通・ペン	78-23-44
葉書〔依頼状〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和2年1月13日(1927)	1枚・ペン	85-7-5-4
書簡〔出馬歓迎〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和2年11月7日(1927)	1通・ペン	85-9-107
書簡〔文部大臣からの表彰につき御礼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和3年11月28日(1928)	1通・墨書	10-358
書簡〔選挙応援、当選祈願〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	10-376
書簡〔祝電について〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和5年4月4日(1930)	1通・墨書	10-405-8
書簡〔大阪新聞紙掲載記事感想〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和5年12月17日(1930)	1通・墨書・ペン	7-147-28
書簡〔中学校長退職、これまでの後援御礼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和6年2月19日(1931)	1通・墨書	86-355-13
書簡〔研究状況報告、就職斡旋依頼〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和6年4月18日(1931)	1通・墨書	86-354-14
書簡〔就職斡旋願い〕 八巻嘉作→守屋栄夫	昭和7年4月13日(1932)	1通・墨書	84-30-27
書簡〔選挙運動激励〕 八巻嘉作→守屋栄夫	2月13日	1通・ペン	7-147-142
書簡〔照会したい事、住所氏名の一覧〕 八巻徳寿→守屋栄夫	昭和3年4月16日(1928)	1通・ペン	10-117
書簡〔お悔やみ状〕 八巻徳寿→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-21
葉書〔暑中見舞い〕 八巻春衛→守屋栄夫	昭和2年8月14日(1927)	1枚・ペン	84-3-99
葉書〔当選祝い〕 八巻晴善→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-80
葉書〔暑中見舞い〕 山岸精雄→守屋栄夫	大正15年8月9日(1926)	1枚・ペン	86-199
葉書〔暑中見舞い〕 山岸精雄→守屋栄夫	昭和3年8月13日(1928)	1枚・ペン・活版	86-322-247
書簡〔当選祝い〕 山岸藤四郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-408-118
書簡〔援助御礼、満洲の軍人紹介願う〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年1月28日(1933)	1通・ペン	85-5-3
書簡〔二百円追加援助願い〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年3月19日(1933)	1通・ペン	83-12-17
書簡〔負債整理の件〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年4月24日(1933)	1通・ペン	85-11-29
書簡〔二十日に渡満〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年4月19日(1933)	1通・ペン	84-10-5
書簡〔神尾始就職斡旋依頼〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年9月26日(1933)	1通・ペン	84-25-16
書簡〔事業開始の資金借用願い〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年10月9日(1933)	1通・ペン	84-12-10

書簡〔生活援助御礼、百姓の困窮状況報告〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年10月13日 (1933)	1通・墨書・ペン	5-24-35
書簡〔代議士のあるべき姿、政治に対する意見〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年10月20日 (1933)	1通・墨書・ペン	5-24-36
書簡〔七十七銀行小切手御礼、経済状況と金銭観〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年10月22日 (1933)	1通・墨書・ペン	5-24-30
書簡〔借金依頼〕 山口広助→守屋栄夫	昭和8年12月19日 (1933)	1通・ペン	84-21-2
書簡〔労働移動保護協会顧問に福原誠三郎氏推薦、了解願う〕 山口政二〔労働移動保護協会〕→守屋栄夫	昭和1年12月30日 (1926)	1通・墨書	85-7-2-1-21
書簡〔お悔やみ状〕 山口貴雄〔協同編輯所長〕→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・ペン・活版	9-15-89
葉書〔当選祝い〕 山口忠助→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1枚・墨書	10-408-17
書簡〔お悔やみ状〕 山口龍之助→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-110
電報〔お悔やみ状〕 山口恒太郎・鈴木金三郎・丹野・坂元村長・須藤・今野然太郎・友林・康愛会鎌田智覚・佐藤四之助→守屋栄夫	昭和4年3月 (1929)	1綴・ペン・活版	5-25-10-6
書簡〔当選祝い〕 山口留吉→守屋栄夫	昭和5年2月23日 (1930)	1通・墨書	10-137
書簡〔お悔やみ状〕 山口真道→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-15-108
葉書〔多忙のため同志ならびに寛先生に会えない旨〕 山口安憲→守屋栄夫	大正6年11月14日 (1917)	1枚・ペン	81-697
葉書〔転任祝辞御礼〕 山口安憲→守屋栄夫	大正7年1月18日 (1918)	1枚・ペン	82-3-165
書簡〔お悔やみ状、ニューヨーク滞在他〕 山口安憲→守屋栄夫	大正12年6月29日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-11
書簡〔朝鮮銀行山下氏着米〕 山口安憲→守屋栄夫	大正12年7月29日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-35
葉書〔行旅病人収容所及び軍事救護の家庭視察の件〕 山崎巖→守屋栄夫	大正15年9月1日 (1926)	1枚・ペン	86-219
葉書〔長崎の講習会〕 山崎巖→守屋栄夫	昭和2年11月18日 (1927)	1枚・ペン	84-3-62
書簡〔パリでの国際社会事業会議出席、ロンドン滞在にて近況報告〕 山崎巖→守屋栄夫	昭和3年8月5日 (1928)	1通・ペン	10-408-108
葉書〔社会事業調査のためベルリン視察報告〕 山崎巖→守屋栄夫	昭和3年11月28日 (1928)	1枚・ペン	86-322-155
書簡〔農会につきご諒承願い〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正5年10月18日 (1916)	1通・墨書	84-20-61
書簡〔長男病気のため学校を欠席いたしたき〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正5年11月17日 (1916)	1通・墨書	84-20-38
書簡〔小生の名誉に関して不祥の事諒承願い〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年3月27日 (1917)	1通・墨書	84-20-91
書簡〔山田與之助進退伺提出、指導願い〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年3月28日 (1917)	1通・墨書	84-20-41
葉書〔嘉村要式転任問題、山田君の後任〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年4月29日 (1917)	1枚・墨書	81-136

書簡〔栄転祝い〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-164
書簡〔栄転祝い、宮城の地主ほか来訪〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年5月22日(1917)	1通・墨書	83-14-170
葉書〔台北で共進会を見学〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年5月5日(1917)	1枚・ペン	81-207
葉書〔青年の指導と訓練〕 山崎延吉・森民平→守屋栄夫	大正6年10月2日(1917)	1枚・ペン	81-20
葉書〔青年大会の感想〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正6年11月1日(1917)	1枚・ペン	81-696
書簡〔人物推挙不調〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正8年3月24日(1919)	1通・墨書	83-13-8
書簡〔「青年の教養」感謝、渡辺理事官貴地に転任〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正8年12月8日(1919)	1通・墨書	9-10-52
書簡〔お悔やみ状〕 山崎延吉→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-37
書簡〔本省より補助費決定〕 山崎延吉→守屋栄夫	大正23日	1通・墨書	84-20-22
書簡〔結婚決定御礼〕 山崎源一郎・貞子→守屋栄夫・よしみ	昭和2年12月21日(1927)	1通・ペン	85-7-3-13
書簡〔お悔やみ状〕 山崎三郎→守屋栄夫・令夫人	大正12年3月20日(1923)	1通・墨書	18-14-183
書簡〔白菜御恵贈につきお礼〕 山本条太郎→守屋栄夫	昭和8年12月8日(1933)	1通・墨書	84-17-22
葉書〔当選祝い〕 山崎新太郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-233
書簡〔お悔やみ状〕 山崎新太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-15-58
名刺〔出京帰任予定〕 山崎新太郎→守屋栄夫		1枚・鉛筆	82-3-161
書簡〔お悔やみ状〕 山崎菅雄→守屋家	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-15-5
書簡〔お悔やみ状〕 山崎正矩→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-14-97
葉書〔当選祝い、印度渡航報告〕 山崎良夫→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・活版・墨書	10-408-52
葉書〔朝鮮光州より〕 山沢和二郎→守屋栄夫	昭和2年2月21日(1927)	1枚・ペン	86-322-90
葉書〔今村氏と会談〕 山崎・岡部義志→守屋栄夫	大正13年4月24日(1924)	1枚・ペン	9-27-28
葉書〔年賀状〕 山路秀二郎→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-94
書簡〔白菜送付御礼〕 山下栄子→守屋栄夫	昭和8年12月14日(1933)	1通・墨書	84-16-12
書簡〔祝辞御礼、地方有志の推挙〕 山下勝太郎→守屋栄夫	昭和5年11月1日(1930)	1通・墨書	9-16-35
葉書〔西瓜送付〕 山下謙一→守屋栄夫	大正6年8月26日(1917)	1枚・ペン	81-225
書簡〔朝鮮地方民心に関する新施政方針につき別紙添付〕 山下謙一→守屋栄夫	大正9年11月18日(1920)	1通・墨書	81-751
書簡〔お悔やみ状、加藤内閣に対する新聞論調につき所感〕 山下謙一→守屋栄夫	大正12年4月16日(1923)	1通・ペン	80-40-1-29
葉書〔室戸岬より挨拶〕 山下謙一→守屋栄夫	昭和2年カ6月24日(1927)	1枚・ペン	86-88
書簡〔普選出馬について〕 山下謙一→守屋栄夫	昭和2年12月9日(1927)	1通・ペン	85-7-7-5

書簡〔小生等政友会縁故の者は就官不可能、進退伺い〕 山下謙一→守屋栄夫	昭和7年5月23日(1932)	1通・墨書・ペン	86-350-14
葉書〔紀州白浜への旅行〕 山下謙一→守屋栄夫	昭和7年カ11月17日(1932)	1枚・ペン	83-4-35
葉書〔挨拶〕 山下祥一→守屋栄夫	大正14年3月12日(1925)	1枚・ペン	84-3-9
葉書〔紹介状御礼〕 山下祥一→守屋栄夫	大正14年11月26日(1925)	1枚・ペン	86-323-29
書簡〔お悔やみ状〕 山下祥一→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-15-145
書簡〔筈送付〕 山下祥一→守屋栄夫	昭和6年3月24日(1931)	1通・ペン	86-357-40
葉書〔支那旅行帯同叶わず〕 山下祥一→守屋栄夫	昭和6年6月6日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-311
書簡〔本省へ御栄典祝電送付、出京の折り参上したく〕 山下進→守屋栄夫	大正6年5月25日(1917)	1通・墨書	84-7-44
書簡〔お悔やみ状〕 山下英男→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	9-11-14
葉書〔勸業視察のため神奈川へ出張〕 山下→守屋栄夫	大正6年4月8日(1917)	1枚・ペン	81-154
電報〔地方官人事通知〕 Yamashita〔朝鮮総督府〕→守屋栄夫	大正12年11月5日(1923)	1通・活版	80-39-1-9
書簡〔当選祝い〕 山科禮造→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-33
書簡〔当選祝い〕 山科禮蔵→守屋栄夫	昭和5年3月23日(1930)	1通・墨書	10-130
葉書〔「帝国通信」京城支社業務拡張〕 山副昇	昭和1年カ12月19日(1926)	1枚・活版	86-326-95
電報〔弔電〕 山添〔読売支局社長〕→守屋栄夫	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-65
葉書〔挨拶状〕 山田一郎・栗生・田中→守屋栄夫	大正15年6月23日(1926)	1枚・ペン	84-3-139
書簡〔当選祝い〕 山田右衛門〔中央生命保険相互会社相談役〕→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-136
葉書〔浜縮緬注文〕 山田丑五郎→守屋栄夫	大正6年4月2日(1917)	1枚・墨書	81-124
電報〔弔電〕 山田一隆→守屋栄夫	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-106
書簡〔ニューヨーク到着、出港から今後の予定報告〕 山田一隆→守屋栄夫	大正12年6月29日(1923)	1通・ペン	80-2-1-10
書簡〔お悔やみ状〕 山田儀三郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-28-4
書簡〔お悔やみ状〕 山田孝次〔大邱青葉会代表〕→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-27-17
書簡〔当選祝い、会員への礼状願い〕 山田孝次→守屋栄夫	昭和5年2月28日(1930)	1通・ペン	10-378
書簡〔当選祝い〕 山田三助→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1通・墨書	10-69
書簡〔お悔やみ状〕 山田周吉→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-12-3
書簡〔当選祝い〕 山田誠一→守屋栄夫	昭和3年カ2月23日(1928)	1通・墨書	10-302

葉書〔日本書道作振興会主催展覧会に入選〕 →守屋栄夫	山田清吉	昭和2年1月16日(1927)	1枚・墨書	84-5-36
葉書〔年賀状〕	山田清吉→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書・謄写版	86-322-178
葉書〔当選祝い〕	山田善三郎→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-190
書簡〔お悔やみ状〕	山田泰七→守屋栄夫	昭和4年3月18日(1929)	1通・墨書	9-15-19
葉書〔当選祝い〕	山田武一→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-280
葉書〔喪中〕	山田保→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-17
書簡〔当選祝い〕	山田千佐人→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-6
書簡〔当選祝い〕	山田教雄→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-86
書簡〔農村調査、自作農の割合、農家の経営と納税の状況〕	山田彦三郎→守屋栄夫	8月20日	1通・墨書	10-66
書簡〔母の様子など近況〕	山田秀雄→守屋栄夫	昭和5年5月24日(1930)	1通・ペン	84-4-3
書簡〔縮緬送付切符・領収書〕	山田平太郎→守屋栄夫	大正6年4月6日(1917)	1通・墨書	84-20-133
書簡〔初等農業打合会にて問題を纏めて配付願い〕 山田与之助→守屋栄夫		大正5年11月2日(1916)	1通・墨書	84-20-12
書簡〔酒狂のため愛知県退職〕	山田与之助→守屋栄夫	大正6年4月7日(1917)	1通・墨書	84-20-132
書簡〔本50冊御査収願い他〕	大和茂樹〔弁護士・弁理士・法学士〕→守屋栄夫	昭和1年12月29日(1926)	1通・ペン	85-7-2-1-28
葉書〔当選祝い〕	山戸田辨治→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-264
書簡〔当選祝い〕	山中勇→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-50
書簡〔お悔やみ状〕	山中樵→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-14-95
書簡〔当選祝い〕	山中竹樹→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-69
葉書〔挨拶〕	山中竹樹→守屋栄夫	昭和3年12月1日(1928)	1枚・ペン	84-3-31
葉書〔本日永井氏と会見〕	山中竹樹→守屋栄夫	昭和4年11月4日(1929)	1枚・ペン	86-324-76
書簡〔当選祝い〕	山中竹樹→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-132
書簡〔山主への依頼報告〕	山中竹樹→守屋栄夫	昭和6年6月23日(1931)	1通・墨書	86-352-42
書簡〔療養にて挨拶〕	山中竹樹→守屋栄夫	昭和6年7月カ4日(1931)	1通・墨書	86-350-35
書簡〔選挙運動激励〕	山中竹樹→守屋栄夫	2月5日	1通・墨書	7-147-78
書簡〔選挙応援、当選祈願〕	山中竹樹→守屋栄夫		1通・墨書	10-243
葉書〔御栄進を賀す〕	山中恒三→守屋栄夫	大正8年8月10日(1919)	1枚・墨書	9-10-35
書簡〔寄付金感謝〕	山中豊吉〔救世軍本営〕→守屋栄夫	昭和7年10月1日(1932)	1通・墨書・活版	83-5-23
葉書〔育英会評議員会における代理願い〕 →守屋栄夫	山梨勝之進	大正15年10月13日(1926)	1枚・墨書	84-5-39
書簡〔お悔やみ状〕	山梨勝之進〔海軍次官〕→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・ペン	9-15-69

書簡〔馬山高等女学校生徒帝国議会議事堂見学〕 山野上長治郎→守屋栄夫	昭和8年5月6日(1933)	1通・墨書	84-11-3
書簡〔詫び状〕 山野上長治郎→守屋栄夫	昭和8年5月23日(1933)	1通・墨書	84-27-22
書簡〔講演に関する民心作興会・教育会・修養会役員一同御礼〕 山端息耕→守屋栄夫	大正15年6月28日(1926)	1通・墨書	85-3-3-39
書簡〔当選祝い〕 山端息耕〔高碓寿徳学校・同修養会代表〕→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-407-27
書簡〔宮殿下錦地へ療養、御世話有難く〕 山辺和春→守屋栄夫	大正6年4月21日(1917)	1通・墨書	84-20-47
書簡〔妻急病、朝鮮での教育講話断念〕 山松鶴吉→守屋栄夫	大正6年8月27日(1917)	1通・ペン	83-14-82
書簡〔事変遭遇にて総督・総監・守屋お見舞い〕 山宮日析→守屋栄夫	大正8年9月4日(1919)	1通・墨書	9-17-27
書簡〔当選祝い、東北歯科医学校への協力依頼〕 山村新之助〔東北歯科医学校開校責任者〕→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-16
葉書〔喪中〕 山室軍平〔救世軍司令官少将〕・アネスト・バグマヤ〔同書記長官治大佐補〕→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・ペン・活版	86-326-54
書簡〔当選祝い〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-47
書簡〔法律事務所開設祝い〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和3年5月15日(1928)	1通・ペン	10-408-149
書簡〔お悔やみ状〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-28-31
書簡〔当選祝い〕 山室軍平〔救世軍日本本営〕→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	10-131
書簡〔佐々木寅翁との面会内容通知〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和6年カ1月28日(1931)	1通・ペン	86-359-3
書簡〔佐々木寅翁氏の件、柴田専一後任の山中豊吉と相談〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和7年8月12日(1932)	1通・ペン	83-3-14
書簡〔米国の救世軍日本人部への寄付感謝〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和7年10月5日(1932)	1通・ペン	83-5-10
書簡〔佐々木寅翁への寄付金御礼〕 山室軍平→守屋栄夫	昭和7年12月19日(1932)	1通・ペン	84-14-30
葉書〔暑中見舞い〕 山本耕造→守屋栄夫	大正7年9月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-357
葉書〔内務省社会局部長就任祝い〕 山本耕造→守屋栄夫	大正13年9月19日(1924)	1枚・ペン	85-1-28
書簡〔東京府試補として勤務〕 山本犀蔵→守屋栄夫	大正8年9月3日(1919)	1通・墨書	9-17-25
書簡〔貴地訪問時対応への礼状〕 山本犀蔵→守屋栄夫	大正10年1月22日(1921)	1通・墨書・ペン	5-5-26
書簡〔仙台通信局在勤菊池襲氏簡易生命保険事務に従事〕 山本犀蔵→守屋栄夫	昭和4年9月17日(1929)	1通・墨書	85-4-5-14
書簡〔御推挙の菊池氏総督府通信局不採用〕 山本犀蔵→守屋栄夫	昭和4年10月23日(1929)	1通・墨書・活版	5-31-8
葉書〔当選祝い〕 山本茂→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-408-75
書簡〔お悔やみ状〕 山本章一→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-12-67
書簡〔朝鮮人の情勢〕 山本忠美→守屋栄夫	大正10年4月3日(1921)	5通・ペン	6-58-7

書簡〔李周溍、不逞鮮人、宗教運動、セツルメント〕 山本忠美→守屋榮夫	大正10年4月3日(1921)	8通・ペン	6-58-6
書簡〔パンフレット配布、李周溍に対し質問、日本の朝鮮同胞に対する誅意〕 山本忠美→守屋榮夫	大正10年4月30日(1921)	1通・ペン	6-58-5
書簡〔日本人青年会と朝鮮人、在ワシントン朝鮮人政府外交部〕 山本忠美→守屋榮夫	大正10年5月3日(1921)	4通・ペン	6-58-2
書簡〔日本の朝鮮統治問題に関するエッセイ(英語)〕 T.yamamoto〔山本忠美〕→守屋榮夫	大正10年6月14日(1921)	1通・ペン・謄写版	6-58-1
書簡〔パンフレット原稿、ウィルム到着、市我古大学李周溍の件〕 山本忠美→守屋榮夫	大正10年6月14日(1921)	2通・ペン	6-58-4
書簡〔エール大学ラット教授より朝鮮総督に対して朝鮮関連資料の寄贈依頼、「市我古鮮人倶楽部並李周溍補助金計算報告」〕 山本忠美→守屋榮夫	大正10年7月13日(1921)	3通・ペン	6-58-3
書簡〔「Pamphlet of Problems of The Far East」送付〕 山本忠美→守屋榮夫	大正10年12月22日(1921)	1通・ペン・謄写版・活版	9-20-29
書簡〔加州で組織された「殺人団」の親日派朝鮮人行動妨害、在外朝鮮人活動状況〕 山本忠美→守屋榮夫	大正11年1月15日(1922)	1通・ペン	9-20-11
書簡〔在外朝鮮人制作の請願書の件〕 山本忠美→守屋榮夫	大正11年1月30日(1922)	1通・ペン	9-20-9
書簡〔文化政治に対する在米朝鮮人学生等の見解、ワシントン会議における朝鮮人運動の失敗、米国の状況〕 山本忠美→守屋榮夫	大正11年1月30日(1922)	1通・ペン	9-20-12
書簡〔在紐育朝鮮人教会を組織、米国における朝鮮人運動に関する報告〕 山本忠美→守屋榮夫	大正11年2月1日(1922)	1通・ペン	9-20-13
書簡〔来月新英州の地方を廻る、朝鮮に関する演説依頼、朝鮮における宗教運動他〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年4月1日(1923)	1通・ペン	80-2-1-4
書簡〔朝鮮に関する演説試み、来米の際御一報を〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年6月8日(1923)	1通・ペン	80-2-2-28
書簡〔マサチューセッツ州での近況報告〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年6月22日(1923)	1通・ペン	80-40-1-37
書簡〔外国伝道大会中の報告他〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年7月7日(1923)	1通・ペン	80-2-2-4
書簡〔外国伝道婦人大会にて朝鮮に関する演説予定他〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年7月23日(1923)	1通・ペン	80-2-2-22
書簡〔米国における家内の近況報告〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年8月13日(1923)	1通・ペン	80-2-1-52
書簡〔教会で朝鮮に関する演説予定他近況報告〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年8月19日(1923)	1通・ペン	80-2-1-50
書簡〔ヨンカー長老教会より朝鮮の話依頼他〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年8月26日(1923)	1通・ペン	80-2-1-49
書簡〔会衆の三教連合に対し朝鮮に関する話を行う他〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年9月1日(1923)	1通・ペン	80-2-1-48
書簡〔米国ノースフィールドより東京大地震の景況報告〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年9月3日(1923)	1通・ペン	80-40-1-19
書簡〔米国ノースフィールドより新聞にみる東京・横浜震災〕 山本忠美→守屋榮夫	大正12年9月4日(1923)	1通・ペン	80-40-1-13

書簡〔米国ノースフィールドより東京震災につき義援金募集〕 山本忠美→守屋栄夫	大正12年9月7日(1923)	1通・ペン	80-40-1-12
書簡〔朝鮮伝道資金援助の為内地での活動および窮状報告〕 山本忠美→守屋栄夫	大正14年カ9月29日(1925)	1通・墨書	85-10-108
書簡〔クリスマスを祝って菓子贈呈〕 山本忠美→守屋栄夫	大正14年12月23日(1925)	1通・墨書	85-10-30
書簡〔天皇御崩御哀悼の極み、粗品送付〕 山本忠美→守屋栄夫	昭和1年12月27日(1926)	1通・墨書	85-7-2-1-23
書簡〔お悔やみ状〕 山本忠美→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-14-46
葉書〔時候挨拶、兄の奮闘祈念〕 山本忠美・守屋→守屋栄夫	昭和6年1月28日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-343
書簡〔著書発刊につき購入願い〕 山本忠美→守屋栄夫	昭和6年3月11日(1931)	1通・墨書	86-357-21
書簡〔スピーチ集贈呈〕 山本忠美→守屋栄夫	昭和8年8月29日(1933)	1通・墨書	84-18-42
書簡〔近況報告、銚子より味噌一樽贈呈〕 山本貞作→守屋栄夫	大正14年12月24日(1925)	1通・ペン	85-10-24
書簡〔遠路の視察御礼〕 山本徳一→守屋栄夫	大正15年5月12日(1926)	1通・墨書	78-23-42
書簡〔沼部・色麻両局集配事務開始の件〕 山本直太郎→守屋栄夫	昭和4年11月9日(1929)	1通・墨書	5-31-24
葉書〔挨拶状〕 山本博蔵→守屋栄夫	昭和3年7月14日(1928)	1枚・ペン	86-322-146
書簡〔お悔やみ状〕 山本久栄→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-56
書簡〔お悔やみ状〕 山本楓樹→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	6-57-22
葉書〔挨拶状〕 山本八三郎→守屋栄夫	大正5年5月31日(1916)	1枚・墨書	81-73
書簡〔当選祝い〕 山本柳枝→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-401
書簡〔「太平洋時代来る」読了にて所感〕 山本柳枝→守屋栄夫	昭和3年5月15日(1928)	1通・墨書	10-408-125
書簡〔お悔やみ状〕 山本柳枝→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	5-27-3
葉書〔見送り御礼、今日から出勤〕 山本→守屋栄夫	明治44年4月29日(1911)	1枚・ペン	81-555
葉書〔喪中〕 山脇惣助→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・墨書	86-326-100
書簡〔愚息菊池三弥に注意賜りたし〕 遣水秋四郎事務所→守屋栄夫	昭和6年12月14日(1931)	1通・ペン	86-351-2
書簡〔激励、お金御礼〕 遣水一男→守屋栄夫	昭和4年12月3日(1929)	1通・ペン	5-14-28
書簡〔県会議員選挙時の取り計らい御礼〕 遣水順子→守屋栄夫	昭和5年4月22日(1930)	1通・墨書	86-354-6
葉書〔暑中見舞い、基督教青年会夏期大学講演のため御殿場訪問〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和2年7月20日(1927)	1枚・ペン	84-1-52
書簡〔仙台市主催社会事業家大会、亘理町報告演説会の件〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和3年5月26日(1928)	1通・ペン	84-6-26
書簡〔請託事件、三等郵便局継続申請に関する件〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和3年5月31日(1928)	1通・ペン	84-6-25

書簡 / 来信

書簡〔報告演説会及守屋代議士歓迎に関する件、弁護士事務、選挙関係〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和3年5月31日(1928)	1通・ペン	84-6-27
書簡〔近況報告、就職斡旋依頼〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和4年1月24日(1929)	1通・ペン・墨書	6-55-6
書簡〔守屋母逝去、遺骨移送ほか〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	2通・墨書・ペン	6-59-31
書簡〔事務所移転問題など近況報告〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和4年12月5日(1929)	1通・墨書・ペン	5-14-30
書簡〔南郷林の有力者沼津健二郎・渋谷徳三郎・赤坂連蔵に関する伝言〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和5年1月21日(1930)	1通・ペン	10-410-22
書簡〔守屋栄夫来仙につき日程等質問〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和5年4月3日(1930)	1通・ペン	10-405-36
書簡〔朝鮮行き感謝、市長問題他〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和5年7月26日(1930)	1通・ペン	10-410-6
書簡〔布施氏の件本日解決、仙台の状況他〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和5年7月29日(1930)	1通・ペン	10-410-5
書簡〔「宮城社更生案」、蒲田氏の件、宮城社の件、市長問題〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和5年8月16日(1930)	1通・ペン	10-31
書簡〔市長公選問題〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和5年8月23日(1930)	1通・ペン	10-63
書簡〔宮城県・宮城送電興業株式会社間電気事業譲渡に関する仮契約書写し〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和6年2月11日(1931)	1通・ペン	86-355-6
書簡〔伴男結婚祝い、贈与品御礼〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和7年6月4日(1932)	1通・ペン	84-13-37
書簡〔近況報告〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和7年6月6日(1932)	1通・ペン	84-13-24
書簡〔講演会日程の返信依頼、万朝報宮城支局の適任者につき相談〕 遣水祐四郎→守屋栄夫	昭和7月24日	1通・墨書・ペン	10-408-103
書簡〔就職依頼の進捗照会〕 兪夷瀧→守屋栄夫	大正10年10月23日(1921)	1通・墨書	5-29-6
書簡〔お悔やみ状〕 兪万兼→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-14-44
書簡〔当選祈願、選挙費用贈呈、小為替証書〕 兪万兼→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1通・謄写版	10-409-49

ゆ

書簡〔校長教員対立事件にて校長を支持〕 湯浅倉平→守屋栄夫	大正6年5月23日(1917)	1通・墨書	83-14-21
書簡〔栄転祝い、野口君急病〕 湯浅倉平→守屋栄夫	大正8年9月3日(1919)	1通・墨書	5-16-33
書簡〔明日より南鮮へ出張〕 湯浅倉平→守屋栄夫	大正15年6月15日(1926)	1通・ペン	84-3-136
葉書〔出資払込通知書〕 有限会社家庭購買組合→守屋栄夫	昭和2年3月11日(1927)	1枚・ペン・謄写版	86-322-100
書簡〔有限責任富永信用組合総会通知、代理委任状〕 有限会社富永信用購買組合→守屋栄夫	大正13年(1924)	1通・謄写版	18-14-193-10
書簡〔就職希望先推薦依頼〕 行沢誠也→守屋栄夫	昭和5年12月15日(1930)	1通・墨書	7-147-2

書簡〔就職幹旋御礼〕 行沢誠也→守屋栄夫	昭和6年7月10日(1931)	1通・墨書	86-350-31
書簡〔萱場氏の就職幹旋の件返答〕 行沢誠也→守屋栄夫	昭和6年7月12日(1931)	1通・墨書	86-350-42
書簡〔渡鮮満二ヶ年迎える〕 行沢誠也→守屋栄夫	昭和8年8月7日(1933)	1通・墨書	84-18-11
書簡〔樺太問題の御高話拝聴〕 弓削万治郎→守屋栄夫	昭和7年8月10日(1932)	1通・墨書	83-3-18
書簡〔機械類・セメント・マニラロープ契約の件〕 弓削万治郎→守屋栄夫	昭和7年8月17日(1932)	1通・墨書	83-3-19
書簡〔樺太問題早急実行、後藤氏胃痛〕 弓削万治郎→守屋栄夫	昭和7年9月7日(1932)	1通・墨書	83-11-9
書簡〔拓殖商会不成立遺憾、提携方につき依頼〕 弓削万治郎→守屋栄夫	昭和7年11月4日(1932)	1通・ペン	83-4-17
書簡〔お悔やみ状〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-65
葉書〔咸興の様子など〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和5年10月2日(1930)	1枚・ペン	86-1-37
葉書〔咸興郡の様子〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和5年10月21日(1930)	1枚・ペン	86-1-20
葉書〔挨拶状〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和5年10月25日(1930)	1枚・ペン	86-1-12
書簡〔朝鮮総督府内人事、人事異動新聞記事切り抜き〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和6年1月13日(1931)	1通・ペン	86-359-21
葉書〔転勤報告〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和6年4月3日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-332
書簡〔上田端夫及び家族等近況報告〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和6年5月12日(1931)	1通・墨書	86-354-43
書簡〔朝鮮総督府人事情勢報告〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和6年6月26日(1931)	1通・墨書	86-352-17
書簡〔好仁警察署長着任予定〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和6年12月15日(1931)	1通・墨書	86-346-50
書簡〔対岸支那地馬匪賊警備従事〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和7年4月30日(1932)	1通・ペン	84-24-20
書簡〔満洲国建立以後情勢不穏〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和7年10月28日(1932)	1通・ペン	83-4-16
葉書〔近況報告〕 遊佐秋治郎→守屋栄夫	昭和	1枚・ペン	86-323-61
書簡〔広告について意見〕 遊佐重四郎→守屋栄夫	昭和8年7月15日(1933)	1通・ペン	84-26-21
書簡〔面会お礼〕 遊佐平太郎→守屋栄夫・奥様	昭和2年12月16日(1927)	1通・墨書	85-7-3-18
書簡〔当選祝い〕 湯沢眞太郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-45
葉書〔年賀状〕 湯地幸平→守屋栄夫	大正7年1月1日(1918)	1枚・活版	82-3-388
葉書〔お悔やみ状〕 湯原光太郎→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1枚・墨書	9-15-180
葉書〔当選祝い〕 湯原光太郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1枚・墨書	7-147-369
書簡〔当地御来訪にて挨拶〕 湯原光太郎→守屋栄夫	昭和7年8月26日(1932)	1通・墨書	83-3-20
書簡〔政友会入党不可なるも通常会議に去就を決せられたし〕 湯村健作→守屋栄夫	昭和3年2月28日(1928)	1通・墨書	10-274

書簡〔就職幹旋依頼〕 湯村健治→守屋栄夫	昭和6年カ(1931)	1通・墨書	86-357-14
葉書〔上京につきご挨拶〕 湯村辰二郎→守屋栄夫	大正11年9月17日 (1922)	1枚・ペン	9-27-42
葉書〔暑中見舞い〕 湯村辰二郎→守屋栄夫	大正15年8月27日 (1926)	1枚・ペン	86-217
葉書〔新庁舎落成挨拶〕 湯村辰二郎→守屋栄夫	大正15年10月1日 (1926)	1枚・ペン	86-238
葉書〔徳夫氏と各地視察中〕 湯村辰二郎→守屋栄夫	昭和3年1月26日(1928)	1枚・ペン	86-329-32
葉書〔上京にて挨拶〕 湯村辰二郎→守屋栄夫	昭和5年3月29日(1930)	1枚・ペン	86-44
書簡〔議会解散、各郡を回って縄張りに努める、選挙戦に対する助言〕 湯村保治→守屋栄夫	昭和5年1月20日(1930)	1通・ペン	10-403-40
書簡〔角田町分の会計金不足にて送金督促〕 湯村保治→守屋栄夫	昭和7年8月20日(1932)	1通・墨書・ペン	83-3-15
書簡〔朝鮮総督府への引き立て依頼〕 湯目東雄→守屋栄夫	大正8年9月15日(1919)	1通・墨書	9-25-15
書簡〔湯目胞寿履歴書〕 湯目胞寿→守屋栄夫	大正13年7月25日 (1924)	1通・墨書	9-22-11
書簡〔校長退職、就職幹旋依頼〕 湯目胞寿→守屋栄夫	大正15年9月4日(1926)	1通・墨書	85-3-7-16
書簡〔就職幹旋依頼〕 湯目胞寿→守屋栄夫	大正15年11月14日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-2
書簡〔学校長への幹旋依頼〕 湯目胞寿→守屋栄夫	昭和2年2月4日(1927)	1通・墨書	85-7-5-31
書簡〔衆議院解散見込みにつき選挙対策〕 百合藤五郎→守屋栄夫	昭和4年9月26日(1929)	1通・ペン	85-4-6-14
書簡〔選挙運動、塩釜方面での中島代議士の動向、中島代議士支持有力家表〕 百合藤五郎・鈴木七郎治→守屋栄夫	昭和6年3月1日(1931)	1通・墨書	86-357-38

よ

書簡〔乃木院長記念録第七版の製本・発送が遅れることにつきお詫び〕 横尾留治→守屋栄夫	大正5年12月2日(1916)	1通・墨書	84-20-32
書簡〔横田晃一選挙推薦文〕 横田晃一→守屋栄夫	昭和3年2月6日(1928)	1通・活版	85-2-2
葉書〔当選祝い〕 横田左伸→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・墨書	7-147-175
葉書〔挨拶状〕 横田忍→守屋栄夫	大正6年12月16日 (1917)	1枚・ペン	81-170
葉書〔暑中御伺〕 横田忍→守屋栄夫	大正7月16日	1枚・ペン	82-3-304
書簡〔千葉県飯岡町会議改選の件〕 横田清蔵→守屋栄夫	昭和8年4月20日(1933)	1通・ペン	84-10-9
書簡〔電柱移動のため別荘の一角借用願い〕 横田清蔵→守屋栄夫	昭和8年12月17日 (1933)	1通・墨書	84-21-5
書簡〔当選祝い〕 横前正輔→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-152
書簡〔お悔やみ状〕 横溝光暉→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-27

書簡〔秋田県立高等学校へ転任〕 横山賀前→守屋栄夫	大正5年5月21日(1916)	1通・ペン・墨書	84-20-6
葉書〔夏休みに面会不能〕 横山賀前→守屋栄夫	大正6年10月10日(1917)	1枚・墨書	81-169
葉書〔鈴木機長家族健在〕 横山賀前→守屋栄夫	大正7年5月27日(1918)	1枚・ペン	82-3-57
葉書〔暑中御見舞〕 横山賀前→守屋栄夫	大正7年7月17日(1918)	1枚・ペン	82-3-305
葉書〔赴任後の近況〕 横山賀前→守屋栄夫	大正8年5月24日(1919)	1枚・ペン	82-3-10
葉書〔小生宅無事、拝謁願い〕 横山賀前→守屋栄夫	大正8年6月28日(1919)	1枚・ペン	82-3-194
葉書〔御地滞在中の厚情御礼〕 横山賀前→守屋栄夫	大正11年9月12日(1922)	1枚・ペン	9-27-45
葉書〔日伯協会発会式参加〕 横山賀前→守屋栄夫	大正15年5月10日頃(1926)	1枚・ペン	84-2-29
葉書〔補習科生と四国旅行〕 横山賀前→守屋栄夫	大正15年11月6日(1926)	1枚・ペン	86-272
葉書〔講演会で神戸来訪御礼〕 横山賀前→守屋栄夫	大正15年11月17日(1926)	1枚・ペン	84-1-48
葉書〔健康祈願、福岡で開催の高等女学校長会議へ出張〕 横山賀前→守屋栄夫	昭和2年5月6日(1927)	1枚・ペン	84-1-61
葉書〔福原八郎南米へ出帆見送りのため上京〕 横山賀前→守屋栄夫	昭和3年8月24日(1928)	1枚・ペン	86-325-79
葉書〔全国高等女学校会議で上京、訪問予定〕 横山賀前→守屋栄夫	昭和3年11月1日(1928)	1枚・ペン	84-3-36
葉書〔出張日程等通知〕 横山賀前→守屋栄夫・御令夫人	昭和8年12月2日(1933)	1枚・ペン	86-323-38
書簡〔中原茂氏就職幹旋依頼〕 横山賀前〔兵庫県立伊丹高等女学校長〕→守屋栄夫	昭和8年12月3日(1933)	1通・墨書	85-6-9
葉書〔当選祝い〕 横山勝治郎→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・ペン	7-147-176
書簡〔新年挨拶、講演の感想〕 横山吉平→守屋栄夫	昭和6年1月19日(1931)	1通・墨書	86-359-30
書簡〔周旋尽力願い〕 横山健三郎→守屋栄夫	大正6年6月8日(1917)	1通・墨書	83-14-194
書簡〔同郷知人高橋常松の就職幹旋依頼〕 横山助成→守屋栄夫	大正15年6月20日(1926)	1通・墨書	85-3-5-12
書簡〔満鉄乗車証発行の件〕 横山助成→守屋栄夫	昭和6年5月3日(1931)	1通・墨書	86-352-49
葉書〔ご意向の支那会発会〕 横山助成→守屋栄夫	昭和6年6月15日(1931)	1枚・ペン	86-322-286
書簡〔お悔やみ状〕 横山俊陽→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-28-32
書簡〔守屋栄夫立候補歓迎、協力申出〕 横山直意→守屋栄夫	昭和2年11月6日(1927)	1通・ペン	85-9-103
書簡〔立候補に際し講演会開催を手配〕 横山直意→守屋栄夫	昭和2年11月21日(1927)	1通・ペン	85-9-143
書簡〔講演好評で選挙有利、内ヶ崎候補を応援せず〕 横山直意→守屋栄夫	昭和2年12月5日(1927)	1通・ペン	85-9-136
書簡〔小野寺氏へ守屋氏の選挙支援方依頼の件〕 横山直意→守屋栄夫	昭和3年1月17日(1928)	1通・ペン	10-408-99
葉書〔政界での活躍祈念〕 横山直意→守屋栄夫	昭和3年5月9日(1928)	1枚・ペン	86-325-29

書簡〔講演会御礼、就職口添え依頼〕 横山直意→守屋栄夫	昭和4年5月23日(1929)	1通・ペン	85-4-2-16
書簡〔加藤丑蔵氏の告別式日程、遠藤一男の就職幹旋御礼〕 横山直意→守屋栄夫	昭和4年5月30日(1929)	1通・ペン	85-4-4-28
書簡〔殖産学校報告〕 横山直意→守屋栄夫	昭和4年6月15日(1929)	1通・ペン	85-4-4-34
書簡〔御捧書有難く御礼申上候〕 横山直意→守屋栄夫	昭和4年9月6日(1929)	3通・ペン	6-56-48-3
書簡〔県議選における政友会候補者の件〕 横山直意→守屋栄夫	昭和6年6月11日(1931)	1通・ペン	86-352-24
書簡〔中学校の景況報告〕 横山文六→守屋栄夫	大正6年9月24日(1917)	1通・墨書	83-14-83
書簡〔当選祝い〕 横山文六→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-390
書簡〔仙台市荒町小学校長拝命〕 横山文六→守屋栄夫	昭和8年10月14日(1933)	1通・ペン	5-24-34
書簡〔お悔やみ状〕 横山万治→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-100
書簡〔昨今新聞等で不穏なる報道、消息伺い〕 吉井友次郎→守屋栄夫	大正8年3月8日(1919)	1通・墨書	84-19-20
書簡〔当選祝い〕 吉井虎之助→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-20
書簡〔選挙激励、政治への期待〕 吉井守三→守屋栄夫	昭和5年2月8日(1930)	1通・墨書	10-150
書簡〔堆君ら判決と民事訴訟、仁藤問題に関し河野昇之助を告訴〕 吉岡久→守屋栄夫	昭和8年3月15日(1933)	1通・墨書	84-22-17
書簡〔雑誌関係〕 吉川直太郎→守屋栄夫	昭和3年5月5日(1928)	1通・墨書	9-16-5
書簡〔お悔やみ状〕 吉川直太郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-6
書簡〔当選祝い〕 吉川又平→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-408-120
書簡〔当選祝い〕 ヨシカワ→守屋栄夫	昭和3年2月25日(1928)	1通・謄写版	10-407-17
葉書〔シャモニー・モンブラン遊覧にて〕 吉阪俊蔵→守屋栄夫	昭和3年2月9日(1928)	1枚・ペン	86-322-134
葉書〔当選祝い〕 吉阪俊蔵→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1枚・墨書	7-147-217
葉書〔国際移民委員会の件〕 吉阪俊蔵→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1枚・ペン	86-48
葉書〔喪中〕 吉田敬三→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1枚・活版・墨書	86-326-33
書簡〔お悔やみ状〕 吉田康太郎→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	6-54-6
書簡〔遂にとんだ事件発生、国家の損失、朝鮮統治の障害〕 吉田茂〔内務省〕→守屋栄夫	大正8年9月3日(1919)	1通・墨書	5-16-34
書簡〔弟の大会社への就職幹旋依頼〕 吉田善吉→守屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1通・墨書	10-408-90
書簡〔当選祝い〕 吉田太力→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-251
葉書〔労働会議出席祝い〕 吉田継衛→守屋栄夫	大正14年2月27日(1925)	1枚・ペン	84-2-56
葉書〔朝鮮にて修養団創立運動実施報告〕 吉田継衛→守屋栄夫	大正14年10月22日(1925)	1枚・ペン	86-322-27

葉書〔暑中見舞い〕 吉田継衛→守屋栄夫	大正15年7月24日 (1926)	1枚・墨書	86-322-35
葉書〔修養団朝鮮連合会主催社会改良講習会盛会の件〕 吉田継衛→守屋栄夫	大正15年9月2日 (1926)	1枚・ペン	86-221
葉書〔借覧図書の件〕 吉田継衛→守屋栄夫	大正15年9月27日 (1926)	1枚・ペン	86-244
葉書〔平壤栗送付〕 吉田継衛→守屋栄夫	大正15年カ12月15日 (1926)	1枚・ペン	86-322-74
葉書〔普通選挙立候補につき当選祈願〕 吉田継衛→守屋栄夫	昭和3年2月17日 (1928)	1枚・ペン	10-408-64
書簡〔村長から林業に対する陳情〕 吉田鶴治郎→守屋栄夫	昭和4年9月27日 (1929)	1通・ペン	85-4-1-38
書簡〔就任依頼快諾御礼〕 吉田秀次郎→守屋栄夫	昭和8年10月15日 (1933)	1通・墨書	5-24-9
書簡〔月尾島遊園株式会社相談役就任の委嘱〕 吉田秀次郎→守屋栄夫	昭和8年 (1933)	1通・墨書	84-12-18
書簡〔中学校での講演依頼〕 吉田穂並→守屋栄夫	昭和2年12月11日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-12
書簡〔角田中学校での講演依頼〕 吉田穂並→守屋栄夫	昭和3年1月12日 (1928)	1通・墨書	10-408-91
書簡〔お悔やみ状〕 吉田穂並→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	6-57-50
書簡〔病気で欠礼お詫び、近況報告〕 吉田正広→守屋栄夫	大正14年11月11日 (1925)	1通・墨書	85-10-69
書簡〔自身の就職斡旋依頼〕 吉田正広→守屋栄夫	大正14年11月14日 (1925)	1通・墨書	85-10-70
書簡〔年末挨拶、お世話依頼〕 吉田正広→守屋栄夫	大正14年12月18日 (1925)	1通・墨書	85-10-39
葉書〔都市の研究と彙報発行、社会事案の専任になる〕 吉田正広→守屋栄夫	大正15年6月1日 (1926)	1枚・ペン	84-3-131
書簡〔当選祝い〕 吉田木蔭→守屋栄夫	昭和3年2月22日 (1928)	1通・墨書	10-407-53
書簡〔お悔やみ状〕 吉田木蔭→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	6-57-35
書簡〔当選祝い〕 吉武源五郎→守屋栄夫	昭和5年2月24日 (1930)	1通・墨書	10-151
書簡〔生活改善同盟会から選挙推薦と協力〕 吉武定夫→守屋栄夫	昭和3年2月16日 (1928)	1通・墨書	10-32
書簡〔選挙応援〕 吉谷専吉→守屋栄夫	昭和 1月28日	1通・墨書	10-403-28
書簡〔当選祝い〕 吉谷専吉→守屋栄夫	昭和 2月23日	1通・墨書	10-95
書簡〔遠方の支那より御祝福〕 賀嗣明→守屋栄夫	大正12年2月1日 (1923)	1通・墨書	80-2-1-20
葉書〔当選祝い〕 吉永貫一→守屋栄夫	昭和5年2月22日 (1930)	1枚・墨書	7-147-202
葉書〔各地参拝報告〕 吉成翔助→守屋栄夫	大正5年11月3日 (1916)	1枚・ペン	81-162
書簡〔税界から奉公お願い〕 吉沼久米之助→守屋栄夫	大正6年10月8日 (1917)	1通・墨書	81-378
葉書〔依頼品送付御礼〕 芳野健治→守屋栄夫	昭和3年カ7月19日 (1928)	1枚・ペン	86-322-166

書簡 / 来信

葉書〔ご機嫌伺い〕 芳野健治→守屋栄夫	昭和4年9月28日(1929)	1枚・ペン	86-324-5
葉書〔挨拶状〕 芳野健治→守屋栄夫	昭和5年11月3日(1930)	1枚・ペン	86-1-33
書簡〔朝鮮留学生監督所閉鎖後の利用意見〕 吉野作造→守屋栄夫	大正8年8月31日(1919)	1通・ペン	9-25-24
書簡〔賛育会本建築御礼、就職幹旋依頼〕 吉野作造→守屋栄夫	大正15年5月30日(1926)	1通・ペン	85-3-8-38
書簡〔お悔やみ状〕 吉野作造→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-15-1
書簡〔張徳俊紹介、面会依頼〕 吉野作造〔東京帝国大学法科大学〕→守屋栄夫	大正9月3日	1通・ペン	9-24-3
書簡〔工場監督吏員任命依頼〕 吉野信次→守屋栄夫	大正5年6月1日(1916)	1通・墨書	84-20-59
書簡〔お悔やみ状〕 吉野信次→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-131
書簡〔お悔やみ状〕 吉本佐吉→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-28-17
書簡〔貴著感想〕 米内金策→守屋栄夫	大正10年10月20日(1921)	1通・墨書	5-29-9
葉書〔当選祝い〕 米倉外吉→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	10-408-82
書簡〔朝鮮状況報告〕 米田甚太郎→守屋栄夫	大正13年6月26日(1924)	1通・ペン	85-1-32-6
書簡〔守屋栄夫が朝鮮より去ることへの不満〕 米田甚太郎→守屋栄夫	大正13年9月8日(1924)	1通・墨書	85-1-16
書簡〔「我等の進むべき道」新聞で拝読、湯浅新総監の評判他〕 米田甚太郎→守屋栄夫	大正15年1月26日(1926)	1通・ペン	85-3-1-33
書簡〔京畿道の墓地設置現状、在官当時の処置の比較〕 米田甚太郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日(1929)	5枚・ペン	6-59-17
葉書〔欠礼挨拶〕 米谷栄松→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-47
葉書〔挨拶状〕 米谷栄松→守屋栄夫	昭和2年3月28日(1927)	1枚・ペン	86-322-95
書簡〔朝鮮の状況〕 米谷栄松→守屋栄夫	昭和2年12月5日(1927)	1通・ペン	85-7-7-4
書簡〔近況報告〕 米谷栄松→守屋栄夫	昭和4年12月16日(1929)	1通・ペン	5-14-6
書簡〔当選祝い、愚弟の就職幹旋依頼〕 米谷策之助→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・ペン	10-273
葉書〔当選祝い〕 米谷敬吉→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・ペン	10-408-57
書簡〔花の出京訪問の件〕 萬助松→守屋栄夫	昭和8年9月18日(1933)	1通・ペン	84-25-6

り

書簡〔帰京の報告、礼状〕 李寅銘→守屋栄夫	昭和8年4月27日(1933)	1通・墨書	84-11-24
電報〔航海の安全祈念〕 リカイヨ→守屋栄夫	大正12年1月22日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-9
書簡〔重君及佐々木事務官より安否通知〕 李海用→守屋栄夫	大正12年7月5日(1923)	1通・ペン	80-2-2-15

書簡〔御礼状〕 李海用→守屋栄夫	昭和2年12月22日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-8
書簡〔お悔やみ状〕 李海用→守屋栄夫	昭和4年3月12日 (1929)	1通・墨書	5-25-10-21
書簡〔日本赤十字社総会出席にて上京の際訪問希望〕 李海用→守屋栄夫	昭和8年4月17日 (1933)	1通・墨書	85-11-4
書簡〔写真帖・絵葉書恵贈御礼、山本伯内閣組織は朝鮮への影響なき旨報告〕 李夏栄→守屋栄夫	大正12年9月1日 (1923)	1通・墨書	80-39-1-17
書簡〔朝鮮の野生一家援助依頼〕 李夏栄→守屋栄夫	昭和2年2月10日 (1927)	1通・墨書	85-9-57
葉書〔暑中見舞い〕 李覚鍾→守屋栄夫	昭和2年7月2日 (1927)	1枚・ペン	86-87
葉書〔当選祝い〕 李覚鍾→守屋栄夫	昭和3年2月24日 (1928)	1枚・ペン	84-3-4
葉書〔国喪中で新年挨拶欠礼〕 李漢福→守屋栄夫	昭和2年1月1日 (1927)	1枚・墨書	85-3-8-11
葉書〔中禅寺湖へ旅行〕 李漢福→守屋栄夫	昭和5年11月8日 (1930)	1枚・ペン	86-1-2
書簡〔相愛会附属学生寄宿舎火災への救援依頼〕 李起東・朴春琴→守屋栄夫	大正14年12月29日 (1925)	1通・墨書	85-10-13
書簡〔お悔やみ状〕 李源讃→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・墨書	9-29-43
書簡〔居昌郡土地紛争裁判関係につき愼氏一族の礼状と詳細報告〕 李源讃→守屋栄夫	昭和4年カ7月22日 (1929)	1通・墨書	6-52-6
書簡〔愼宗三君所有搜勝台登録後寄付の件〕 李源讃→守屋栄夫	昭和7年カ10月15日 (1932)	1通・ペン	83-1-37
書簡〔所有地林野台帳登録につき愼宗元覚書送付〕 李源讃→守屋栄夫	昭和7年11月10日 (1932)	1通・ペン	83-1-48
書簡〔愼宗元氏への手紙送付、寄付申込書送付〕 李源讃→守屋栄夫	昭和7年12月15日 (1932)	1通・ペン	84-14-28
書簡〔お悔やみ状〕 李周測→守屋栄夫	昭和4年3月14日 (1929)	1通・墨書	5-25-8-8
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭を祝す〕 李鐘国→守屋栄夫	大正14年10月15日 (1925)	1枚・ペン	84-6-91
書簡〔「欧米の旅より」・「我等の進むべき道」について〕 李鐘国→守屋栄夫	大正15年1月7日 (1926)	1通・墨書	85-3-6-21
書簡〔暑中見舞い〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和2年7月22日 (1927)	1通・墨書	85-7-6-30
書簡〔朝鮮総督府について〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和2年12月8日 (1927)	1通・墨書	85-7-7-15
書簡〔帰鮮報告〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和4年4月24日 (1929)	1通・墨書	6-59-37
書簡〔朝鮮政務総監に宇佐美氏、高配依頼〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和4年5月7日 (1929)	1通・墨書	85-4-3-11
書簡〔総督後任について、酷暑見舞い〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和4年8月13日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-19
書簡〔朝鮮新総督への祝辞とお願い〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和4年8月18日 (1929)	1通・墨書	85-4-1-2
書簡〔今秋官界復帰依頼〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和4年11月17日 (1929)	1通・墨書	5-31-4
書簡〔政治活動への激励と期待、朝鮮の学生問題状況〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和5年2月6日 (1930)	1通・墨書	9-16-54

書簡〔在京時の高配御礼〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和6年9月17日(1931)	1通・ペン	86-356-8
書簡〔約束の件鈴木・荒井両氏詮議につき了承願う、 水野閣下の件→報依頼〕 李軫鎬→守屋栄夫	昭和7年9月10日(1932)	1通・墨書	83-11-6
書簡〔朝鮮の現状に関して内地在住同胞と意思交換、 善後策を議論〕 李東華→守屋栄夫	昭和4年1月30日(1929)	1通・ペン	6-56-43
葉書〔年賀状〕 李道賢→守屋栄夫	昭和2年12月31日 (1927)	1枚・墨書	86-326-23
書簡〔選挙応援〕 李東雨→守屋栄夫	昭和3年2月7日(1928)	1通・墨書	10-203
書簡〔お悔やみ状〕 李範益→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-27-34
書簡〔御香奠代金五円也〕 李柄学→守屋栄夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-11-8
書簡〔故閔元植君追悼会への意見照会〕 李炳烈→守屋 栄夫	昭和6年3月31日(1931)	1通・墨書	86-354-18
書簡〔故閔元植君追悼会への意見再照会〕 李炳烈→守 屋栄夫	昭和6年4月15日(1931)	1通・墨書	86-354-19
書簡〔故閔君追悼会の日時通知〕 李炳烈〔国民協会本 部〕→守屋栄夫	昭和6年8月18日(1931)	1通・墨書	86-348-15
葉書〔孝橋伯より紋羽重送付〕 李王家東京邸→守屋栄夫	昭和1年12月30日 (1926)	1枚・墨書	85-7-2-1-13
書簡〔当選祈願〕 立憲安国党本部員一同→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書	10-409-54
書簡〔「証」送付〕 立憲政友会宮城県支部→守屋栄夫	昭和8年6月20日(1933)	1通・ペン	5-24-12
書簡〔立憲政友会の決議報告〕 立憲政友会有志代議士→ 守屋栄夫	昭和8年6月4日(1933)	1通・活版	84-26-10
書簡〔立憲政友会の指針報告〕 立憲政友会有志代議士会 決議実行委員→守屋栄夫	昭和8年6月10日(1933)	1通・活版・謄写 版	84-26-8
書簡〔立憲政友会有志代議士会による「檄」〕 立憲政友 会有志代議士世話人→守屋栄夫	昭和8年5月15日(1933)	1通・謄写版	84-26-9
書簡〔お悔やみ状〕 利府良司→守屋栄夫	昭和4年3月13日(1929)	1通・墨書	5-25-10-20
葉書〔残暑見舞い〕 利府良司→守屋栄夫	昭和4年8月19日(1929)	1枚・ペン	86-312
葉書〔お悔やみ状〕 柳一宣		1枚・墨書	85-3-8-10
書簡〔お悔やみ状〕 柳基皓→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	5-25-10-16
書簡〔中傷にて朝鮮総督府辞職、官界復職方幹旋依 頼〕 柳承欽→守屋栄夫	大正15年12月23日 (1926)	1通・墨書	78-23-10
書簡〔朝鮮総督府復職の件につき報告〕 柳承欽→守屋 栄夫	昭和2年7月17日(1927)	1通・墨書	78-23-25
書簡〔年賀状〕 柳承欽	昭和5年1月10日(1930)	1通・活版	84-1-26
葉書〔健康祈念〕 柳荏浩・南荏久→守屋栄夫	昭和4年4月22日(1929)	1枚・ペン	86-327-7
葉書〔暑中見舞い〕 劉鎮淳→守屋栄夫	大正15年7月24日 (1926)	1枚・ペン	86-322-36
葉書〔暑中見舞い〕 劉鎮淳→守屋栄夫	昭和2年7月28日(1927)	1枚・ペン	86-98
葉書〔暑中見舞い〕 劉鎮淳→守屋栄夫	昭和4年7月25日(1929)	1枚・ペン	86-275

書簡〔選挙運動激励、半島民の期待〕 劉鎮淳〔忠清南道知事〕→守屋栄夫	昭和5年2月15日(1930)	1通・墨書	9-16-57
書簡〔お悔やみ状〕 劉光彦→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-94
葉書〔修善寺春の案内〕 旅館菊屋→守屋栄夫	昭和5年3月28日(1930)	1枚・墨書・活版	86-43
書簡〔議会質問の感想、朝鮮問題を取り上げ激励〕 林淵相→守屋栄夫	昭和4年2月3日(1929)	2通・ペン	6-56-2
書簡〔当選祝い〕 林淵相→守屋栄夫	昭和5年2月24日(1930)	1通・ペン	9-16-56

る

葉書〔京城滞在中のお世話御礼〕 留守邦太郎→守屋栄夫	大正11年9月19日(1922)	1枚・ペン	9-27-49
書簡〔お悔やみ状〕 留守邦太郎→守屋栄夫・守屋夫人	大正12年3月23日(1923)	1通・墨書	18-14-190
葉書〔欧州種葡萄送付〕 留守邦太郎→守屋栄夫	大正14年10月20日(1925)	1枚・ペン	84-6-112

れ

書簡〔「レーンホルム教師養老資金募集」、「払込票」〕 レーンホルム教師養老資金募集委員→守屋栄夫	昭和2年11月(1927)	1通・活版	9-16-2
---	---------------	-------	--------

ろ

書簡〔転任の報告〕 六城雅行→守屋栄夫	大正6年9月28日(1917)	1通・ペン	81-21
葉書〔暑中見舞い〕 六城雅行→守屋栄夫	大正7年7月28日(1918)	1枚・ペン	82-3-85
書簡〔お悔やみ状〕 六城雅行→守屋栄夫・御奥様	大正12年3月16日(1923)	1通・墨書	18-14-159
書簡〔お悔やみ状〕 六城雅行→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-37
葉書〔暑中見舞い〕 六城雅行→守屋栄夫	大正7月カ29日	1枚・墨書	82-3-282

わ

書簡〔御機嫌伺い〕 若木都一→守屋栄夫	大正15年1月1日(1926)	1通・ペン	85-3-3-38
書簡〔政治状況についての感想〕 若原通敬→守屋栄夫	大正12年カ12月27日(1923)	1通・墨書	18-14-36
書簡〔内閣と政友会の問題について〕 若原通敬→守屋栄夫	大正12年カ12月30日(1923)	1通・墨書	18-14-37
書簡〔小野慈善院拡張補助の件御礼〕 若松文蔵→守屋栄夫	昭和8年3月28日(1933)	1通・墨書	84-22-1
葉書〔喪中〕 脇坂健次→守屋栄夫	昭和1年12月31日(1926)	1枚・活版・墨書	86-326-38
書簡〔当選祝い〕 脇坂健次→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-408-121
書簡〔姻戚の転職周旋依頼〕 脇屋義純→守屋栄夫	大正5年6月27日(1916)	1通・墨書	84-20-14

書簡〔京城大学医学部卒業報告〕 和久仁→守屋栄夫	昭和8年3月25日(1933)	1通・墨書	83-12-30
書簡〔結婚相談等〕 和久正志→守屋栄夫	大正15年1月23日 (1926)	1通・ペン	85-3-6-26
葉書〔代々木君の件、指示に従う〕 和久正志→守屋栄夫	大正15年5月8日(1926)	1枚・ペン	84-2-25
葉書〔実業教育状況視察のため朝鮮訪問〕 和久正志→ 守屋栄夫	大正15年11月6日 (1926)	1枚・ペン	86-231
葉書〔朝鮮木浦へ物産共進会等参加のため出張〕 和 久正志→守屋栄夫	大正15年11月17日 (1926)	1枚・ペン	84-1-49
書簡〔阿部明治太郎氏就職幹旋依頼、磯野の件に付懇 願他〕 和久正志→守屋栄夫	昭和2年1月2日(1927)	1通・墨書	85-7-1-10
葉書〔挨拶状〕 和久正志・今野道夫→守屋栄夫	昭和2年3月14日(1927)	1枚・ペン	86-322-99
葉書〔社会教化幹部講習会開催の件〕 和久正志→守屋 栄夫	昭和2年8月26日(1927)	1枚・ペン	86-177
書簡〔選挙出馬内定祝い〕 和久正志→守屋栄夫	昭和2年10月17日 (1927)	1通・墨書	85-9-130
書簡〔「朝鮮係」などの案件について〕 和久正志→守屋 栄夫	昭和2年10月5日(1927)	1通・墨書	85-7-4-8
書簡〔守屋栄夫総選挙出馬挨拶〕 和久正志→守屋栄夫	昭和2年10月9日(1927)	1通・墨書	85-7-4-6
書簡〔佐々木幸亀就職幹旋依頼〕 和久正志→守屋栄夫	昭和2年10月21日 (1927)	1通・ペン・墨書	85-7-4-17
書簡〔医師団の功績について〕 和久正志〔京城帝国大学 医学部〕→守屋栄夫	昭和2年(1927)	1通・ペン	85-7-4-16
葉書〔補助金問題で京城へ参上〕 和久正志→守屋栄夫・ よしみ	昭和2年3月カ14日 (1927)	1枚・ペン	86-322-98
葉書〔「太平洋時代来る」送付願い〕 和久正志→守屋栄 夫	昭和4年1月29日(1929)	1枚・ペン	86-324-25
葉書〔朝鮮リング送付〕 和久正志→守屋栄夫・よしみこ	昭和4年12月4日(1929)	1枚・ペン	86-324-68
書簡〔推薦状発送に付連絡〕 和久正志→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書	10-412-21
書簡〔視察出発の挨拶、「朝鮮総督府主催内地教育施 設地方改良施設等視察日程・視察団名簿」〕 和久正 志→守屋栄夫	昭和5年10月1日(1930)	1通・ペン	10-47
書簡〔朝鮮の感想と動向〕 和久正志→守屋栄夫	昭和5年11月3日(1930)	1通・墨書	9-16-36
書簡〔政治活動支援、就職幹旋依頼〕 和久正志→守屋栄 夫	昭和6年2月1日(1931)	1通・墨書	86-355-17
書簡〔昭和連盟読了、遣水君就職幹旋依頼、先日の件 再度依頼〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年2月8日(1931)	1通・墨書	86-355-8
書簡〔公務のため光州着、次期総督候補、宮城県第二 選挙区補欠選挙候補予定者〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年4月17日(1931)	1通・ペン	86-354-9
書簡〔阿部君朝鮮内学校就職活動経過、総督府内人 事〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年5月7日(1931)	1通・墨書	86-354-45
書簡〔佐々木忠右衛門氏を宇垣新総督秘書官へ推薦 依頼、総督府人事異動報告〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年6月18日(1931)	1通・墨書	86-352-45

書簡〔朝鮮日日新聞を悪用する反仙台系の朝鮮総督府人事報告〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年6月19日(1931)	1通・墨書・謄写版	86-352-44
書簡〔松村氏内地栄転の所感、転任・東拓入社など将来の進退伺い〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年6月21日(1931)	1通・墨書	86-352-8
書簡〔朝鮮教育会人事につき依頼、朝鮮総督府人事報告〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年6月24日(1931)	1通・墨書	86-352-37
書簡〔松村殖産局長辞任、宇垣総督の動向につき所感、平壤での横殺事件報告〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年7月11日(1931)	1通・墨書	86-350-54
書簡〔政局を歎き守屋に期待〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年9月21日(1931)	1通・墨書	86-358-32
書簡〔庄司氏退官、救援要請〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年11月17日(1931)	1通・ペン	86-346-30
書簡〔庄司君・実君辞表提出、今後の行政整理〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年11月24日(1931)	1通・ペン	86-347-5
書簡〔協力内閣出現の件、守屋実の東拓採用は不可能〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年12月11日(1931)	1通・墨書	86-351-9
書簡〔朝鮮総督府の行政整理について〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年12月15日(1931)	1通・墨書	86-346-40
書簡〔今回の政変について〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年12月16日(1931)	1通・墨書	86-346-47
書簡〔京城日報に院内幹事決定の掲載〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年12月23日(1931)	1通・墨書	86-347-29
書簡〔守屋実退官、小生・庄司君の退官時期〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年12月26日(1931)	1通・墨書	86-347-26
書簡〔書簡受領、政務総監への移動について〕 和久正志→守屋栄夫	昭和6年12月27日(1931)	1通・墨書	86-347-20
書簡〔水野総督・守屋政務総監実現の為に蹶起要請〕 和久正志→守屋栄夫	昭和7年1月2日(1932)	1通・墨書	86-346-35
書簡〔書簡受領、庄司君の整理について〕 和久正志→守屋栄夫	昭和7年1月3日(1932)	1通・墨書	86-346-36
書簡〔山岡正重より聞いた朝鮮総督・総監の有力者につき通報〕 和久正志→守屋栄夫	昭和7年1月6日(1932)	1通・墨書	86-346-33
書簡〔斎藤内閣人事について不満、息子の徴兵検査合格〕 和久正志→守屋栄夫	昭和7年6月1日(1932)	1通・墨書	84-13-36
書簡〔水野総督実現に期待〕 和久正志→守屋栄夫	昭和7年12月20日(1932)	1通・墨書	86-346-44
書簡〔義弟の京城帝国大学医学部卒業報告、これまでの恩義感謝〕 和久正志→守屋栄夫	昭和8年2月25日(1933)	1通・墨書	84-22-6
書簡〔高橋君採用確実の旨、庄司君就職の件に関し東上〕 和久正志→守屋栄夫	昭和8年6月21日(1933)	1通・墨書	83-6-20
書簡〔庄司秀雄氏の復活と我家の財政憂慮〕 和久正志→守屋栄夫	昭和8年10月8日(1933)	1通・墨書	84-12-33
葉書〔受験結果、声援御礼〕 和久安行→守屋栄夫	大正1年8月23日(1912)	1枚・ペン	9-23-56
書簡〔栗原郡で地方改良講習開催に対する期待〕 和久安行→守屋栄夫	大正6年8月24日(1917)	1通・墨書	83-14-55

書簡〔普通学校長俸給加俸につき御礼〕 和久安行→守屋栄夫	大正9年11月21日 (1920)	1通・墨書	81-748
葉書〔金剛山下開催の朝鮮教育会へ列席〕 和久安行→守屋栄夫	昭和2年6月25日 (1927)	1枚・ペン	86-93
葉書〔金剛山探勝記念〕 和久安行→守屋栄夫	昭和2年10月24日 (1927)	1枚・ペン	85-9-35
葉書〔暑中見舞い〕 和久安行→守屋栄夫	昭和4年8月1日 カ (1929)	1枚・ペン	86-288
書簡〔当選祈願〕 和久安行→守屋栄夫	昭和5年2月15日 (1930)	1通・墨書	10-412-22
葉書〔会見願い〕 涌井→守屋栄夫	昭和4年4月19日 (1929)	1枚・ペン	86-327-25
書簡〔お悔やみ状〕 涌沢正止郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-77
書簡〔お悔やみ状〕 和気敏夫〔内務省警保局映画検閲係〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-102
書簡〔お悔やみ状〕 和気敏夫・藤吹又一〔法政大学政治経済科二年代表〕→守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1通・墨書	9-15-163
書簡〔日本滞在中の高配御礼、出帆日程通知〕 輪湖俊午郎→守屋栄夫	昭和6年4月16日 (1931)	1通・ペン	86-354-16
書簡〔お悔やみ状〕 若生毅→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	5-25-8-5
書簡〔旧暦年賀状〕 若生肇・今野初吉・木村捨治・鈴木長治 右衛門・鈴木長作・小出三郎・高橋正男・高橋清勝・加藤庄一 郎・木村栄之進・他→守屋栄夫	昭和6年2月17日 (1931)	1通・墨書	86-355-33
葉書〔暑中見舞い〕 和田有市→守屋栄夫	大正15年8月1日 (1926)	1枚・ペン	86-325-15
葉書〔予算思うように捗らず〕 和田一郎→守屋栄夫	大正11年9月1日 (1922)	1枚・ペン	9-27-43
書簡〔当選祝い〕 和田一郎〔朝鮮商業銀行〕→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1通・墨書	10-236
葉書〔健康祈念〕 和田一郎→守屋栄夫	昭和4年3月19日 (1929)	1枚・ペン	86-327-3
書簡〔洪水の件〕 和田一郎→守屋栄夫	昭和4年3月28日 (1929)	1通・ペン	6-59-10
葉書〔任期満了、東京に転居〕 和田一郎→守屋栄夫	昭和6年2月25日 (1931)	1枚・ペン・活版	86-322-345
書簡〔お悔やみ状〕 和田猪那巴→守屋栄夫	昭和4年3月13日 (1929)	1通・墨書	5-27-23
葉書〔年賀状、東京新橋演舞場出演中〕 和田久一〔大阪〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日 (1928)	1枚・墨書・活版	86-322-213
書簡〔水野総監ならび原土木部長と会見、ご意見伺いたし〕 和田三造→守屋栄夫	大正11年2月20日 (1922)	1通・墨書	9-20-23
書簡〔大ホール設計変更につき土木部中島技師に直接質されたく〕 和田三造→守屋栄夫	大正11年3月29日 (1922)	1通・墨書	79-7-38
書簡〔岩井課長より書面、公式の命令落手、好情感謝〕 和田三造→守屋栄夫	大正11年 (1922)	1通・墨書	79-7-39
書簡〔水野閣下面会の件他〕 和田三造→守屋栄夫	大正14年12月26日 (1925)	1通・墨書	85-3-3-41
書簡〔帝展に出品等近況報告〕 和田三造→守屋栄夫	大正15年10月5日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-16
書簡〔昨日訪問の御礼〕 和田三造→守屋栄夫	大正15年12月23日 (1926)	1通・墨書	85-3-8-15

書簡〔選挙応援〕 和田三造→守屋栄夫	昭和3年カ2月13日 (1928)	1通・墨書	10-278
書簡〔中立を標榜して票数獲得に付お祝い〕 和田三造→守屋栄夫	昭和3年2月27日(1928)	1通・墨書	85-4-4-23
葉書〔リング御礼〕 和田三造→守屋栄夫	昭和4年カ12月30日 (1929)	1枚・墨書	84-1-22-2
葉書〔珍品送付御礼〕 和田三造→守屋栄夫	昭和5年12月7日(1930)	1枚・墨書	86-1-70
書簡〔白菜お裾分け御礼〕 和田三造→守屋栄夫	昭和7年12月11日 (1932)	1通・墨書	84-14-13
書簡〔大ホール・大会議室における表面立体及び装飾設計の件〕 和田三造→守屋栄夫	3月4日	1通・墨書	9-20-16
書簡〔内務省社会局部長就任祝い〕 和田純→守屋栄夫	大正13年9月16日 (1924)	1通・墨書	85-1-22
書簡〔上京の際失礼、著作2冊譲り受け〕 和田純→守屋栄夫	大正15年5月4日(1926)	1通・墨書	85-3-2-13
葉書〔当選祈願〕 和田純→守屋栄夫	昭和5年2月13日(1930)	1枚・ペン	10-408-101
書簡〔衆議院議員選挙当選祝い〕 和田純→守屋栄夫	2月24日	1通・墨書	7-147-43
葉書〔挨拶状〕 和田敏喜→守屋栄夫	昭和5年10月9日(1930)	1枚・ペン	86-1-81
葉書〔朝鮮神宮鎮座祭参列〕 和田英正→守屋栄夫	大正14年10月20日 (1925)	1枚・ペン	84-6-101
書簡〔お悔やみ状〕 和田英正→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-28-5
書簡〔平壤高等普通学校転勤通知〕 和田英正→守屋栄夫	昭和4年8月15日(1929)	1通・墨書	85-4-1-20
書簡〔当選祝い〕 和田英正→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-412-39
葉書〔年賀状〕 和田寛〔甲府市〕→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書・活版	86-322-227
葉書〔画稿の件お詫び、名古屋訪問〕 和田右二郎→守屋栄夫	大正14年10月15日 (1925)	1枚・ペン	84-6-84
書簡〔母・姉との揉め事〕 和田→守屋栄夫	大正6年9月21日(1917)	1通・墨書	83-14-16
葉書〔金沢市より挨拶〕 渡戸→守屋栄夫	明治44年3月10日 (1911)	1枚・墨書	81-559
書簡〔京都知恩院で児童保護講習会開催につき案内、名刺(松浦春涛)〕 渡辺海旭→守屋栄夫	昭和2年9月5日(1927)	1通・墨書・活版	78-23-27
書簡〔御健康を祈る旨〕 渡辺勝三郎→守屋栄夫	大正7年12月24日 (1918)	1通・墨書	84-19-26
葉書〔長崎より近況報告〕 渡辺勝三郎→守屋栄夫	大正8年6月26日(1919)	1枚・ペン	82-3-197
書簡〔赴任のこと、不逞鮮人の件〕 渡辺勝三郎→守屋栄夫	大正8年9月6日(1919)	1通・墨書	5-16-39
葉書〔統計講習会の件〕 渡辺勘一→守屋栄夫	大正5年3月23日(1916)	1枚・ペン	81-58
葉書〔本郷の会合に出席〕 渡辺勘一→守屋栄夫	大正6年2月14日(1917)	1枚・ペン	81-49
葉書〔大正七年海軍陸地攻防演習に際し〕 渡辺勘一→守屋栄夫	大正7年10月7日(1918)	1枚・ペン	82-3-218

書簡〔お悔やみ状〕 渡辺勘一→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-14-63
書簡〔当選祝い〕 渡辺勘一→守屋栄夫	昭和5年2月25日(1930)	1通・墨書	10-155
葉書〔諒闇中に付年賀御遠慮申上候〕 渡辺喜一→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	85-7-2-1-5
書簡〔当選祝い〕 渡辺喜一→守屋栄夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-169
葉書〔当選祝い〕 渡辺清信→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	10-408-56
書簡〔当選祝い〕 渡辺金三郎→守屋栄夫	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	10-308
葉書〔お悔やみ状〕 渡辺金三郎→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1枚・墨書	5-12-52
葉書〔当選祝い〕 渡辺勲一郎〔千葉県立千葉高等女学校〕→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-147-261
書簡〔新村道の近況報告〕 渡辺重之進→守屋栄夫	昭和8年1月31日(1933)	1通・ペン	85-5-4
書簡〔富永村政に関して、昭和八年第一回村会議案〕 渡辺重之進→守屋栄夫	昭和8年2月5日(1933)	1通・ペン	84-8-19
書簡〔挨拶、宮城郵便局の件〕 渡辺重之進→守屋栄夫	昭和8年5月7日(1933)	1通・ペン	84-11-8
書簡〔お悔やみ状〕 渡辺忍→守屋栄夫	昭和4年3月11日(1929)	1通・墨書	9-11-5
書簡〔当選祝い〕 渡辺順→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-407-84
書簡〔当選祝い〕 渡辺順→守屋栄夫	昭和5年2月21日(1930)	1通・墨書	10-412-41
書簡〔お悔やみ状〕 渡辺省三→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-10-3
書簡〔選挙運動激励〕 渡辺謙→守屋栄夫	昭和5年2月10日(1930)	1通・墨書	7-147-131
書簡〔お悔やみ状〕 渡辺静沖→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-81
書簡〔渡辺惣右衛門履歴書送付〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正7年7月9日(1918)	1通・ペン	83-9-42
書簡〔文官任用取り計らい依頼〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正7年7月23日(1918)	1通・墨書	83-9-29
書簡〔米騒動、総督府付属隊につき野口部長へ照会依頼〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正7年8月18日(1918)	1通・墨書	5-6-25
書簡〔渡辺惣右衛門履歴書〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正9年10月4日(1920)	1通・墨書・ペン	9-17-7
電報〔弔電〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正12年3月29日(1923)	1通・カーボン	18-14-74
葉書〔機嫌伺い〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正14年(1925)	1枚・ペン	84-6-148
葉書〔関東地方地震への見舞い〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正15年8月5日(1926)	1枚・ペン	86-325-7
書簡〔選挙応援〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	昭和3年2月2日(1928)	1通・墨書	10-102
書簡〔退官決定、仙台住民として余生を〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	昭和6年11月26日(1931)	1通・ペン	86-346-27
書簡〔解散、郡部票固めの心組み〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	昭和7年1月21日(1932)	1通・ペン	83-1-44
書簡〔就職斡旋依頼〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	昭和7年9月20日(1932)	1通・墨書	84-30-21

書簡〔悴通勤開始挨拶〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	昭和8年5月17日(1933)	1通・ペン	84-11-14
書簡〔事業報告〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	昭和8年7月13日(1933)	1通・ペン	84-26-20
葉書〔安東県出張報告〕 渡辺惣右衛門→守屋栄夫	大正	1通・ペン	82-3-322
書簡〔同封の渡辺長四郎宛佐々木書簡について〕 渡辺長四郎→守屋栄夫	昭和8年12月1日(1933)	1通・ペン・墨書	84-29-31
書簡〔国民のために奮闘を、当選祝い〕 渡辺長蔵→守屋栄夫	昭和11月13日	1通・墨書	10-285
書簡〔会頭に推挙、世情について感慨〕 渡辺定一郎→守屋栄夫	大正14年12月16日(1925)	1通・ペン	85-10-37
書簡〔著書御礼、読後感〕 渡辺定一郎→守屋栄夫	大正15年6月10日(1926)	1通・ペン	85-3-8-33
書簡〔公判相談につき面会依頼〕 渡辺定一郎→守屋栄夫	昭和8年10月7日(1933)	1通・ペン	84-12-36
書簡〔当選祝い〕 渡辺徳三郎→守屋栄夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-171
書簡〔当選祝い〕 渡辺徳三郎→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-412-40
書簡〔千葉氏の件で内務部長と相談〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正6年8月30日(1917)	1通・墨書	83-14-49
書簡〔採用願い〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正6年9月18日(1917)	1通・墨書	83-14-177
書簡〔千葉氏の件について〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正6年9月29日(1917)	1通・墨書	83-14-187
書簡〔転任につき近況報告〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正7年7月21日(1918)	1通・墨書	83-9-32
葉書〔皇太子殿下始め六宮殿下来県、長官以下出張〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正7年10月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-380
書簡〔「地方青年の教養」御礼〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正8年11月25日(1919)	1通・墨書	5-28-28
葉書〔ロンドンより挨拶状〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正12年6月24日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-9
書簡〔欧州視察健勝祈願〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正12年8月1日(1923)	1通・ペン	80-2-1-32
書簡〔ロンドンより、欧米出張後の人事、篠原氏を農務課長に〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正13年4月21日(1924)	1通・ペン	5-30-24
書簡〔デトロイトにて、総選挙政友本党敗戦、斎藤総督勇退後の人事意見、日朝間雰囲気についてピッツバーグでの新聞取材切抜〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正13年5月29日(1924)	1通・ペン・活版	5-30-33
書簡〔帰国御礼〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正13年8月7日(1924)	1通・ペン	5-30-36
書簡〔中身欠〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	大正14年12月17日(1925)	1通・墨書	85-10-38
葉書〔山形米穀大会出席の件〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和2年6月2日(1927)	1枚・ペン	86-149
書簡〔朝鮮の木内閣を根絶、会社・銀行等へ同志の人員を配置すべき、朝鮮への移民補助の件〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1通・墨書	10-408-97
書簡〔今回の異動と前回の比較〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和4年2月2日(1929)	1通・墨書	6-56-45
書簡〔お悔やみ状〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-32

葉書〔朝鮮博覧会挙行〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和4年10月1日(1929)	1通・ペン	86-324-4
書簡〔政友会入会〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和4年12月30日 (1929)	1通・ペン	84-1-40
書簡〔人事異動、田中内閣不評判〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和4年12月7日(1929)	1通・墨書	5-14-40
葉書〔恵山鎮より挨拶〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和5年5月11日(1930)	1枚・ペン	86-1-24
書簡〔東拓の朝鮮経営問題〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和5年12月11日 (1930)	1通・墨書	7-147-32
書簡〔政友会による朝鮮総督府改革につき所感〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和6年12月23日 (1931)	1通・墨書	86-351-17
葉書〔博文寺落成の件〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和7年10月28日 (1932)	1枚・ペン	86-82
書簡〔身上に関する件全く中止他〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和8年1月13日(1933)	1通・ペン	85-5-22
書簡〔萱場氏就職の件〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和8年3月11日(1933)	1通・墨書	84-22-26
書簡〔学務局長転任〕 渡辺豊日子→守屋栄夫	昭和8年8月5日(1933)	1通・墨書	84-18-27
書簡〔朴誠結氏の件依頼〕 渡辺暢→守屋栄夫	昭和3年1月14日(1928)	1通・ペン	10-413-2
書簡〔師範学校講義とキリスト教信仰(複写)〕 渡辺八郎→守屋栄夫	大正5年4月21日(1916)	1通・ペン・活版	1-49
書簡〔妻病死〕 渡辺八郎→守屋栄夫	大正6年4月7日(1917)	1通・墨書	84-20-121
書簡〔お悔やみ状御礼、訪問待つ〕 渡辺八郎→守屋栄夫	大正6年4月25日(1917)	1通・墨書	84-20-109
書簡〔内務本省転任祝い〕 渡辺八郎→守屋栄夫	大正6年5月2日(1917)	1通・墨書	83-14-8
書簡〔「自治の精神」恵贈御礼〕 渡辺八郎→守屋栄夫	大正8年2月6日(1919)	1通・墨書	84-19-2
書簡〔教員退職につき所感、「地方青年之教養」恵与御礼〕 渡辺八郎→守屋栄夫	大正8年11月24日 (1919)	1通・ペン	83-2-44
書簡〔雑誌「神ながら」問題、加藤完治意見書送付〕 渡辺八郎→守屋栄夫	昭和3年4月2日(1928)	1通・墨書・ペン	7-147-69
葉書〔「太平洋時代来る」恵贈御礼〕 渡辺八郎→守屋栄夫	昭和3年4月19日(1928)	1枚・ペン	86-329-14
書簡〔笥先生退職を機として皇学研究実行資金募集〕 渡辺八郎→守屋栄夫	昭和8年9月10日(1933)	1通・墨書	84-25-33
葉書〔無事帰国祝い〕 渡辺春江→守屋栄夫	大正14年10月20日 (1925)	1枚・ペン	84-6-98
葉書〔九州四国出張〕 渡辺東雄→守屋栄夫	昭和5年6月30日(1930)	1枚・ペン	7-147-327
書簡〔若様ご旅行尽力御礼〕 渡辺弘→守屋栄夫	大正11年9月8日(1922)	1通・墨書	9-27-31
書簡〔伊達伯爵病状報告〕 渡辺弘→守屋栄夫	大正11年9月27日 (1922)	1通・墨書	9-27-53
書簡〔立候補に対する激励と協力〕 渡辺寛→守屋栄夫	昭和3年(1928)	1通・墨書	9-16-44
葉書〔転居通知〕 渡辺文敏→守屋栄夫	大正8年6月12日(1919)	1枚・墨書	82-3-25
書簡〔総督府任用斡旋依頼〕 渡辺文敏→守屋栄夫	大正8年9月21日(1919)	1通・ペン	9-25-36

書簡〔同潤会事業自粛、片山博士との懇談猶予依頼〕 渡辺政徳→守屋栄夫	昭和2年1月20日(1927)	1通・墨書	78-23-20
書簡〔当分休養〕 渡辺政徳→守屋栄夫	昭和2年1月30日(1927)	1通・墨書	78-23-21
葉書〔俳句3句〕 渡辺無外→守屋栄夫	昭和2年1月11日(1927)	1枚・ペン	84-5-35
葉書〔暑中見舞い、新潟旅行経過〕 渡辺勇太郎→守屋栄夫	昭和3年8月1日(1928)	1枚・ペン	86-325-68
書簡〔お悔やみ状〕 渡辺勇太郎→守屋栄夫	昭和4年3月10日(1929)	1通・墨書	5-27-31
書簡〔選挙運動激励〕 渡辺勇太郎→守屋栄夫	2月4日	1通・墨書	7-147-136
書簡〔釜山勤務辞令受領、取り計らい御礼〕 渡辺芳蔵 →守屋栄夫	大正10年10月22日 (1921)	1通・墨書	5-29-29
書簡〔フィルム借り出しについて〕 渡辺好(東京市職業 輔導会)→守屋栄夫	昭和2年10月2日(1927)	1通・ペン	85-7-4-14
書簡〔青山正次郎就職斡旋依頼〕 渡辺連三郎→守屋栄夫	昭和5年1月30日(1930)	1通・墨書	10-403-27
書簡〔基督教関係学生会議で東洋問題論議〕 T. Watanabe→守屋栄夫	大正13年6月26日 (1924)	1通・ペン	9-22-6
葉書〔ロンドン出発からローマ到着まで〕 渡辺→守屋 栄夫	年代4月13日	1枚・ペン	84-2-28
書簡〔当地出張の際の高配御礼〕 渡部民治→守屋栄夫	大正6年9月11日(1917)	1通・墨書	83-14-92
書簡〔ご高配願ひ〕 渡部民治→守屋栄夫	大正13年10月20日 (1924)	1通・墨書	85-1-32-1
書簡〔お悔やみ状〕 渡部民治→守屋栄夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	9-29-20
書簡〔当選祝い〕 渡部民治→守屋栄夫	昭和5年2月23日(1930)	1通・墨書	10-154
書簡〔東宮帰朝時状況、天候報告〕 亙理胤正→守屋栄夫	大正10年9月6日(1921)	1通・墨書	5-5-33
書簡〔立木代金延引〕 亙理胤正→守屋栄夫	大正13年6月1日(1924)	1通・墨書	5-30-30
書簡〔同志社出身で米国・メキシコで活躍した小野寺 俊雄氏に関して〕 亙理胤正→守屋栄夫	昭和4年1月20日(1929)	1通・墨書	6-56-36
書簡〔お悔やみ状〕 亙理胤正→守屋栄夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-10-34-1
書簡〔「宏遠ナル理想ノ実現附新同胞ニ対スル吾人ノ 態度」送付御礼〕 莞島警察署長→守屋栄夫	大正10年10月20日 (1921)	1通・墨書	5-29-31
葉書〔盛岡市より挨拶状〕 昌→守屋栄夫	大正6年10月15日 (1917)	1枚・ペン	81-81
葉書〔木浦より暑中見舞い〕 昌・深造→守屋栄夫	大正15年8月14日 (1926)	1枚・ペン	86-193
書簡〔警視庁と埼玉県の交換問題他〕 一郎→守屋栄夫	大正12年2月4日(1923)	1通・ペン	80-2-1-19
書簡〔震災の経過報告〕 一郎→守屋栄夫	大正12年10月1日 (1923)	1通・ペン	80-39-1-13
書簡〔欧州に向け出航〕 一郎→守屋栄夫	昭和4年4月12日(1929)	1通・ペン	86-327-28
葉書〔ブダペスト着、欧州旅行経過〕 一郎→守屋栄夫	昭和4年10月16日 (1929)	1枚・ペン	86-324-72

葉書〔伊太利からニース着〕 一郎→守屋栄夫	昭和4年10月29日 (1929)	1枚・ペン	86-324-45
葉書〔西牟婁郡・日高郡へ出張報告〕 義一→守屋栄夫	大正8年5月2日 (1919)	1枚・ペン	82-3-31
葉書〔近況、機嫌伺い〕 義一→守屋栄夫	昭和2年5月5日 (1927)	1枚・ペン	84-1-63
書簡〔和歌〕 菊夫→守屋栄夫	大正13年 (1924)	1通・墨書	9-22-23
葉書〔挨拶状〕 喜之助→守屋栄夫	大正6年4月29日 (1917)	1枚・墨書	81-123
書簡〔粗品送付〕 君代→守屋栄夫・御奥様	大正6年5月19日 (1917)	1通・墨書	83-14-206
葉書〔関西方面にて節約宣伝、本日奈良到着〕 錦郎→ 守屋栄夫	大正11年9月20日 (1922)	1枚・ペン	9-27-39
葉書〔挨拶〕 九洲生→守屋栄夫	大正13年カ2月19日 (1924)	1枚・ペン	84-2-55
葉書〔京城より挨拶寄書き〕 蔵・貞・渡辺・松本伊義→守 屋栄夫	昭和4年5月23日 (1929)	1枚・ペン	84-6-54
葉書〔健康祈願〕 健治→守屋栄夫	大正7年12月11日 (1918)	1枚・ペン	82-3-122
葉書〔教員採用と今後の抱負〕 耕亮→守屋栄夫	明治40年4月2日 (1907)	1枚・墨書	6-46-14
書簡〔裁判経過報告、被告人答弁書〕 こつゑ→守屋栄夫	昭和6年1月14日 (1931)	1通・ペン	86-359-17
葉書〔大津の紹介所視察の件〕 実之→守屋栄夫	大正15年11月10日 (1926)	1枚・ペン	86-228
葉書〔神戸出帆後の様子〕 実之→守屋栄夫	昭和2年3月31日 (1927)	1枚・ペン	84-1-86
葉書〔長官に随行してアントワープ・ブリュッセル視 察、その後パリ訪問〕 実之→守屋栄夫	昭和2年7月16日 (1927)	1枚・ペン	84-3-97
葉書〔暑中見舞い〕 実之→守屋栄夫	昭和3年8月5日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-259
書簡〔寄書き〕 静雄・光菊・多榮子・中河→守屋栄夫	大正13年2月4日 (1924)	1通・墨書	84-2-48
葉書〔暑中見舞い〕 曹柔相・申昇均→守屋栄夫	昭和3年7月27日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-254
葉書〔軽井沢・長野にて県保安課長会議開催〕 信一郎 →守屋栄夫	大正11年9月11日 (1922)	1枚・ペン	9-27-37
葉書〔大阪土産御礼、近況報告〕 勸→守屋栄夫	大正8年6月2日 (1919)	1枚・ペン	82-3-33
葉書〔当選祈願〕 静波→守屋栄夫氏選挙事務所	昭和3年2月18日 (1928)	1枚・ペン	7-147-240
葉書〔イタリアでの近況〕 惣三郎→守屋栄夫	昭和4年19日 (1929)	1枚・ペン	84-6-5
葉書〔印刷物御礼〕 大輔→守屋栄夫	大正14年2月7日 (1925)	1枚・ペン	84-2-20
葉書〔オメンボール先生、愛知郡役所・議事堂落成式〕 卓四郎→守屋栄夫	大正8年3月30日 (1919)	1枚・ペン	82-3-7
葉書〔赴任安全祈願〕 武→守屋栄夫	明治43年11月27日 (1910)	1枚・ペン	81-305
葉書〔卒業試験他近況報告〕 武→守屋栄夫	明治44年7月23日 (1911)	1枚・ペン	81-286
葉書〔相州片瀬での近況報告〕 武→守屋栄夫	明治44年9月22日 (1911)	1枚・墨書	81-313

葉書〔挨拶状〕 武→守屋栄夫	大正6年7月18日(1917)	1枚・ペン	81-29
葉書〔須田書記官の水戸訪問〕 武→守屋栄夫	大正6年10月3日(1917)	1枚・ペン	81-24
葉書〔多賀方面出張中〕 武→守屋内務監察官	大正7年3月18日(1918)	1枚・ペン	82-3-244
葉書〔暑中見舞い〕 武→守屋栄夫	大正7年8月26日(1918)	1枚・ペン	82-3-106
葉書〔健康祈願〕 武→守屋栄夫	大正7年11月18日(1918)	1枚・ペン	82-3-116
葉書〔国威高揚を祝す〕 武→守屋栄夫	大正8年7月1日(1919)	1枚・ペン	82-3-152
葉書〔臨時県会召集準備多忙〕 武→守屋栄夫	大正8年7月30日(1919)	1枚・ペン	82-3-292
葉書〔挨拶状〕 武・徳夫・神柳・桃葉→守屋栄夫・令夫人	大正15年9月10日(1926)	1枚・墨書	86-207
葉書〔寄せ書き〕 武・近藤・米志・山田隆・石黒・渡辺→守屋栄夫	昭和2年2月27日(1927)	1枚・墨書	86-322-94
葉書〔面会不能残念、大洗神社参向他近況報告〕 武→守屋栄夫	大正2月27日	1枚・ペン	82-3-247
葉書〔釜山巡閲開始〕 武→守屋栄夫	大正12月1日	1枚・ペン	81-201
葉書〔北鮮視察に出発他近況報告〕 武→守屋栄夫	大正27日	1枚・ペン	82-3-300
書簡〔真相の捕捉困難、今月第二回鮮展他朝鮮関係報告〕 武正→守屋栄夫	大正12年5月31日(1923)	1通・墨書	80-2-2-2
葉書〔烏海山に登山〕 敬郎・佐藤・卜部→守屋栄夫	大正6年9月8日(1917)	1枚・ペン	82-3-173
葉書〔上京時に面会希望〕 保→守屋栄夫	大正7年2月19日(1918)	1枚・ペン	82-3-239
葉書〔浜田高等女学校卒業、鈴木氏〕 保→守屋栄夫	大正7年3月25日(1918)	1枚・ペン	82-3-50
葉書〔京城より挨拶状〕 太郎・徳夫・藤原喜蔵・広田康・佐々木仁・成田夫介・松村松盛・大和田→守屋栄夫	大正15年1月10日(1926)	1枚・墨書	86-224
葉書〔福井と大阪へ訪問〕 長三郎→守屋栄夫・令夫人	大正6年3月16日(1917)	1枚・ペン	81-165
葉書〔京都観光〕 長三郎→守屋栄夫・よしみ子	大正6年3月18日(1917)	1枚・ペン	81-157
葉書〔勸業課長に松村栄転〕 長三郎→守屋栄夫	大正6年3月20日(1917)	1枚・ペン	81-578
葉書〔伊勢内宮より挨拶状〕 長三郎→守屋栄夫	大正6年5月24日(1917)	1枚・ペン	81-59
書簡〔行政整理事業に従事、家族近況報告他〕 長三郎→守屋栄夫	大正12年3月末日(1923)	1通・ペン	80-2-2-19
書簡〔留守宅御家族の近況報告、各植民地出張所の件〕 長三郎→守屋栄夫	大正12年5月20日(1923)	1通・ペン	80-40-1-22
書簡〔パンフレット「常夏の国より」配布、伊達伯の葬儀報告他〕 長三郎→守屋栄夫	大正12年6月20日(1923)	1通・ペン	80-2-1-12
葉書〔御盛典挨拶〕 長三郎→守屋栄夫	大正12年6月29日(1923)	1枚・ペン	80-40-2-5
書簡〔伴男・正男他近況報告、水野内相東北一巡出発他〕 長三郎→守屋栄夫	大正12年7月20日(1923)	1通・ペン	80-2-1-56
葉書〔決意を表す寄せ書き〕 長郎子・松野司・佐々木清之丞・大内俊亮・大沢喜久衛→守屋栄夫・令夫人	昭和2年9月29日(1927)	1枚・ペン	85-9-2

書簡〔近況報告、年賀挨拶〕 千代本・塩沢千代→守屋栄夫	昭和8年1月6日(1933)	1通・ペン	85-5-19
書簡〔満鉄借用邸買い取りの件取り計らい依頼〕 千代本・塩沢千代→守屋栄夫	昭和8年1月22日(1933)	1通・ペン	85-5-2
葉書〔挨拶状〕 ツネ・松村・田中・多美治・時實・岡崎哲郎・原常盛→守屋栄夫	大正15年3月17日(1926)	1枚・墨書	86-187
葉書〔無記入〕 哲郎→守屋栄夫	大正7年11月18日(1918)	1枚・墨書	82-3-127
葉書〔新年の挨拶〕 徳吉→守屋栄夫	明治44年1月1日(1911)	1枚・墨書	81-565
葉書〔暑中見舞い〕 徳吉→守屋栄夫	明治44年8月18日(1911)	1枚・ペン	81-290
葉書〔来県見合わせ遺憾〕 尚義・たみ子・小五郎→守屋栄夫	大正8年8月13日(1919)	1枚・墨書	9-10-45
書簡〔男子安産喜び〕 那文巳→守屋栄夫		1通・墨書	81-746
葉書〔年賀状〕 はる枝→守屋栄夫	大正9年1月1日(1920)	1枚・ペン	82-3-312
葉書〔御来意の件考慮中・新宮から移動好都合〕 寿→守屋栄夫	大正7年3月6日(1918)	1通・ペン	82-3-250
書簡〔挨拶〕 寿→守屋栄夫・令夫人	昭和8年10月21日(1933)	1通・墨書	5-24-13
葉書〔出発延期の旨承知〕 寿準→守屋栄夫	大正7年11月30日(1918)	1枚・ペン	82-3-123
葉書〔碧蹄館来訪にて挨拶状〕 秀雄→守屋栄夫	大正15年2月11日(1926)	1枚・ペン	86-322-20
葉書〔先日の御礼、御指導を希う〕 英彦→守屋栄夫	大正6年9月7日(1917)	1枚・墨書	82-3-172
書簡〔当選祝い〕 英哉→守屋栄夫	2月25日	1通・ペン	10-267
書簡〔挨拶〕 文五郎→守屋栄夫	昭和8年4月8日(1933)	1通・墨書	84-10-15
書簡〔ロンドンから返信、朝鮮銀行、故国の事情、焼失区域の略図〕 正義→守屋栄夫	大正12年10月19日(1923)	2通・ペン	6-60-3
書簡〔訪問の件〕 正義→守屋栄夫		1通・ペン	6-60-5
葉書〔上京面会願い〕 実→守屋栄夫	大正15年2月14日(1926)	1枚・ペン	86-322-19
書簡〔白石氏来所ならば出版物不都合を責められるべき〕 実→守屋栄夫	大正2月9日	1通・墨書	86-353-3
書簡〔任地到着〕 実→守屋栄夫	6月23日	1通・ペン	86-353-27
書簡〔激励〕 守太郎〔菊留商店〕→守屋栄夫	大正8年2月3日(1919)	1通・墨書	84-8-22
葉書〔豊橋の攻防演習にて〕 保二→守屋栄夫	大正7年10月4日(1918)	1枚・ペン	82-3-180
葉書〔喪中〕 譲→守屋栄夫	昭和2年1月1日(1927)	1枚・活版・墨書	86-326-67
葉書〔年賀状〕 譲→守屋栄夫	昭和3年1月1日(1928)	1枚・墨書・謄写版	86-322-179
葉書〔年賀状〕 譲→守屋栄夫	昭和4年1月4日(1929)	1枚・ペン	86-328-4
葉書〔地方官更迭〕 義雄→守屋栄夫	大正8年4月12日(1919)	1枚・ペン	82-3-4

葉書〔品物頂戴御礼〕 義雄→守屋栄夫	大正8年カ6月23日 (1919)	1枚・ペン	82-3-258
葉書〔帰朝祝い〕 義雄→守屋栄夫	大正14年10月10日 (1925)	1枚・ペン	84-6-125
葉書〔米沢出張報告〕 義雄→守屋栄夫	大正11月3日	1枚・墨書	83-9-19
葉書〔出発時の出迎え御礼、帰京日程通知〕 義雄→守屋栄夫		1枚・ペン	82-3-20
葉書〔ロンドンから近況報告〕 芳→守屋栄夫	大正6年8月31日 (1917)	1枚・ペン	81-10
葉書〔参上日程通知〕 芳徳→守屋栄夫	大正8年11月10日 (1919)	1枚・ペン	5-6-18
葉書〔教化連合会講習会〕 芳徳→守屋栄夫	4月2日	1枚・ペン	84-1-92
葉書〔新年の挨拶〕 林吉→守屋栄夫	明治44年1月1日 (1911)	1枚・墨書	81-564
書簡〔中身欠〕 →守屋栄夫	大正12年8月10日 (1923)	1通・ペン・謄写版	80-40-1-23
書簡〔中身欠〕 →守屋栄夫	大正12年10月25日 (1923)	1通・墨書	80-39-1-19
書簡〔中身欠〕 →守屋栄夫	大正12年10月26日 (1923)	1通・墨書	80-39-1-10
葉書〔母逝去のお悔やみ〕 →守屋栄夫	昭和4年3月6日 (1929)	1枚・墨書	6-57-64
書簡〔中身欠〕 →守屋栄夫		1通・墨書	10-264

外国人

書簡〔フィリピンからの近況報告(英語)] T. Baumamy→守屋栄夫	大正15年3月21日 (1926)	1通・ペン	85-3-2-16
書簡〔フィリピン到着、日本での再会について照会(英語)] T.Baumamy→守屋栄夫	大正15年11月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-37
書簡〔新年挨拶(英語)] Tamiy Baumamy→守屋栄夫	昭和2年12月29日 (1927)	1通・ペン・活版	10-413-6
葉書〔マニラよりグリーティングカード(英語)] Tamiy Baumamy→守屋栄夫	昭和4年12月6日 (1929)	1枚・ペン	5-14-25
葉書〔挨拶状(英語)] T.Baumamy→守屋栄夫	昭和5年9月22日 (1930)	1枚・ペン	86-1-32
葉書〔マニラよりメリークリスマス(英語)] Mr. & Mrs. Baumamy		1枚・活版・ペン	86-343
書簡〔新事業説明と資本家紹介依頼(英語)] Kaul Baumann→守屋栄夫	大正10年11月22日 (1921)	1通・墨書	9-7
書簡〔忘れ物の写真送付について問合せ(独語)] Brück→守屋栄夫	大正12年9月8日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-47
書簡〔イギリス政治に関する個人授業受諾(英語)] Angus.N.Cameron→守屋栄夫	大正12年5月2日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-23
書簡〔名刺受領報告(英語)] チェック公使館→守屋栄夫	大正15年2月8日 (1926)	1通・活版	85-3-5-16
書簡〔面会の際出来る限り援助・情報提供(英語)] malcolw Deleuweigne→守屋栄夫	大正12年4月30日 (1923)	1通・活版・ペン	80-2-1-14

書簡〔震災お見舞い(英語)〕 C.A.Deuett→守屋栄夫	大正12年9月9日(1923)	1通・ペン	80-2-1-55
葉書〔新年挨拶(英語)〕 C.A.Deuett→守屋栄夫	大正15年(1926)	1枚・ペン・活版	85-3-1-29
書簡〔和郎のロンドン訪問歓迎(英語)〕 C. A.Deuett→守屋栄夫	昭和2年4月21日(1927)	1通・ペン	85-9-91
書簡〔ハンカチーフ恵贈御礼(英語)〕 C.A.Deuett→守 屋栄夫	昭和2年7月30日(1927)	1通・ペン	85-7-6-36
書簡〔守屋訪問許諾(独語)、他中身欠封筒2枚〕 W. Diski→守屋栄夫	大正12年7月19日 (1923)	1通・ペン	80-2-1-1
葉書〔航海安全祈願(英語)〕 Barton dodge→守屋栄夫	大正12年11月15日 (1923)	1枚・ペン	6-60-8
書簡〔「The Economist」定期購読更新願ひ(英語)〕 The Economist→守屋栄夫	大正13年3月28日 (1924)	1通・活版・ペン	9-27-27
名刺〔新年挨拶(独語)〕 Dr. Jhohannes Feig→守屋栄 夫	大正14年12月29日 (1925)	1通・活版・ペン	85-3-5-26
書簡〔クリスマスと新年挨拶(独語)〕 A.grieser→守屋 栄夫	昭和1年12月28日 (1926)	1通・謄写版	85-3-1-30
書簡〔宝石購入費の差額返金(英語)〕 A.K.Hasheem→ 守屋栄夫	大正12年2月15日 (1923)	1通・活版・ペン	80-2-1-17
書簡〔財産の規制につき交渉(英語)〕 Frank Hennessy→守屋栄夫	大正10年8月23日 (1921)	1通・謄写版	79-7-51
書簡〔クリスマスと新年挨拶(英語)〕 The Director of the International Labour Office→守屋栄夫	大正14年12月23日 (1925)	1通・活版	85-3-5-19
書簡〔ご機嫌伺い(英語)〕 Charle.M.Kay →守屋栄夫	昭和3年10月23日 (1928)	1通・ペン	86-328-24
葉書〔挨拶状(独語)〕 Charlotte Kussy→守屋栄夫	大正12年7月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-31
葉書〔挨拶状(独語)〕 Charlotte Kussy→守屋栄夫	大正12年7月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-32
葉書〔ベルリン到着後架電の知らせ(独語)〕 Charlotte Kussy→守屋栄夫	大正12年7月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-35
書簡〔礼状への返書、旅の安全祈願(英語)〕 Chas Mckay→守屋栄夫	大正12年6月23日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-13
書簡〔新年挨拶(仏語)〕 Y.Neue que→守屋栄夫	昭和3年1月(1928)	1通・ペン	86-329-38
書簡〔クリスマスカード(英語)〕 Barton Radge→守屋 栄夫	昭和1年(1926)	1通・活版	85-7-5-14
書簡〔年末年始挨拶(英語)〕 Chas. M. Ray→守屋栄夫	昭和4年12月31日 (1929)	1通・ペン	86-328-3
葉書〔挨拶状(独語)〕 Fhaulatte Russy→守屋栄夫	大正12年7月24日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-39
書簡〔年末年始挨拶状(英語)〕 Harold Seuett→守屋	大正13年1月1日(1924)	1通・活版・ペン	9-27-26
葉書〔アメリカ行き日程、アメリカでの住所(英語)〕 S.H.Smith→守屋栄夫	大正15年5月19日 (1926)	1枚・ペン	85-3-5-1
葉書〔手紙の御礼(英語)〕 Jrma Winsler→守屋栄夫	大正14年11月11日 (1925)	1枚・ペン	84-6-55

書簡〔企業訪問の取次ぎ(独語)〕 Carl A. WOLTER→守屋栄夫	大正11年8月23日(1922)	1通・謄写版	80-1-5
書簡〔日本Y.M.C.A聖書研究会での活躍を喜ぶ、サイトウ氏のガーデンパーティ盛宴、イトウ氏勉学に励む(英語)〕 John F. Yenso→守屋栄夫	大正8年11月13日(1919)	1通・謄写版・ペン	82-3-377
書簡〔当選祝い(英語)〕 allurbouy→守屋栄夫	昭和5年5月2日(1930)	1通・謄写版	10-406-1
書簡〔総督府で使用に適した「Safe Cabinets」一式宣伝(英語)〕 Faulmaumanry→守屋栄夫	大正13年7月25日(1924)	1通・ペン・謄写版	9-22-1
葉書〔年賀状(英語)〕 Learnreresy→守屋栄夫	大正14年12月25日(1925)	1枚・ペン	84-6-130
書簡〔訪問の際の御礼(英語)〕 Paul Baumamy→守屋栄夫	大正10年10月27日(1921)	1通・ペン	5-29-25

Sub-Series No.2: 家族

発信：守屋栄夫

葉書〔仏語勉強継続〕 守屋栄夫→Amanoya	大正	1枚・ペン	86-322-21
葉書〔選挙当選、宛所不明不達〕 守屋栄夫→大山善四郎	昭和3年4月21日(1928)	1枚・活版・ペン	86-329-47
葉書〔クリスマスの挨拶(英語)〕 守屋栄夫→S.Okamoto	大正15年25日(1926)	1枚・ペン	85-3-1-24
書簡〔第七回国際労働会議参加の報告、住所不明に伴う返送通知〕 守屋栄夫→金子強	大正14年10月(1925)	1通・活版	84-6-131
葉書〔第七回国際労働会議参加報告、宛先不明返送〕 守屋栄夫→金田桂	大正14年10月(1925)	1枚・活版	84-6-121
書簡〔第七回国際労働会議参加の報告、宛先不明返送〕 守屋栄夫→金禹植	大正14年10月(1925)	1通・活版	84-6-124
葉書〔選挙当選、宛所不明返送〕 守屋栄夫→工藤不二郎	昭和3年4月20日(1928)	1枚・活版・ペン	86-329-45
書簡〔尋大の薫化に感謝奉る〕 守屋栄夫→後藤新平	大正3月17日	1通・墨書	84-20-97
葉書〔選挙当選、宛所不明不達〕 守屋栄夫→近藤権四郎	昭和3年4月25日(1928)	1枚・活版	86-329-2
葉書〔年賀状、宛先不明返送〕 守屋栄夫→斎藤喜三郎	大正15年1月(1926)	1枚・ペン	86-189
葉書〔選挙当選、宛所不明不達〕 守屋栄夫→佐藤巳之助	昭和3年4月(1928)	1枚・活版・ペン	86-329-48
便箋〔片倉生命保険金本日受け取り〕 守屋栄夫→鈴木金五郎	11月1日	1通・ペン	18-14-200-1
書簡〔御礼状〕 守屋栄夫→伊達憲	昭和4年4月18日(1929)	1通・活版・ペン	84-3-10
書簡〔第七回国際労働会議参加の報告、住所不明に伴う返送通知〕 守屋栄夫→登張守治	大正14年10月(1925)	1通・活版	84-6-139
葉書〔選挙当選、宛所不明不達〕 守屋栄夫→平形八十吉	昭和3年4月22日(1928)	1枚・活版・ペン	86-329-49
葉書〔選挙当選、宛所不明不達〕 守屋栄夫→福山政一	昭和3年4月20日(1928)	1枚・活版・ペン	86-329-46
書簡〔朝鮮旅行日程表〕 守屋栄夫→細川貞之丞	昭和12年7月1日(1937)	1通・謄写版	9-14-26
葉書〔盛岡に参り、仙台・栃木へ向かう〕 守屋栄夫→堀越つらね	大正6年8月5日(1917)	1枚・ペン	82-3-166

書簡〔農商務省の海外派遣生決定〕 守屋栄夫→松村	10月9日	1通・墨書	81-279
書簡〔第七回国際労働会議参加の報告、住所不明に伴う返送通知〕 守屋栄夫→水田秀子	大正14年10月(1925)	1通・活版	84-6-132
葉書〔手紙への礼〕 守屋栄夫→守屋明男	大正10年9月27日(1921)	1枚・ペン	78-3-51
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋明男	大正11年4月4日(1922)	1枚・ペン	78-3-40
葉書〔乗船の景況報告〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年2月12日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-26
葉書〔ロンドンの洋服送付につき挨拶状〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年3月14日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-38
葉書〔絵葉書送付につき挨拶状〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年4月2日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-41
葉書〔級長就任につき激励〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年7月7日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-57
葉書〔絵葉書の説明〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年9月27日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-69
書簡〔ワシントンDC観光地絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年10月21日(1923)	1通・ペン	80-40-2-50
書簡〔オタワパーラメントビル絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋明男	大正12年(1923)	1通・ペン	80-40-2-51
葉書〔共産党ほか中国諸政府の動向〕 守屋栄夫・水野鍊太郎・丹羽敏彦・横山助成・山上昶・水野政生・幅田昭戈・猿丸吉雄・小西治兵衛・久保義雄→守屋栄夫	昭和6年6月9日(1931)	1枚・ペン	86-322-177
葉書〔挨拶状〕 守屋栄夫→守屋しゅん	大正13年カ3月17日(1924)	1枚・ペン	18-14-193-13
葉書〔内務監察官兼参事官に転任〕 守屋栄夫→守屋節夫	大正6年5月1日(1917)	1枚・ペン	18-14-192-16
葉書〔優等進級にて挨拶状〕 兄→守屋節夫	大正7年カ3月25日(1918)	1枚・ペン	18-14-192-71
葉書〔挨拶状〕 守屋栄夫・守屋和郎→守屋節夫	大正8年7月30日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-30
葉書〔本日上京にて挨拶状〕 守屋栄夫→守屋節夫	大正10年カ2月23日(1921)	1枚・ペン	18-14-192-23
葉書〔京城より、祝合格〕 守屋栄夫→守屋節夫	紀元2582・大正11年4月8日(1922)	1枚・ペン	78-3-26
葉書〔シベリア出張終了にて挨拶状〕 守屋栄夫カ→守屋節夫	大正12年カ4月1日(1923)	1枚・ペン	18-14-192-26
葉書〔試験必勝を期す旨〕 守屋栄夫→守屋節夫	9年5月28日	1枚・ペン	18-14-195
葉書〔挨拶状〕 守屋栄夫→守屋園枝	大正8年カ10月17日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-41
葉書〔照子・たけおへの挨拶状〕 守屋栄夫→守屋照子	大正12年2月12日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-28
葉書〔到着通知〕 兄→守屋徳夫	大正1年8月24日(1912)	1枚・ペン	9-23-58
葉書〔十和田湖に関する詩〕 兄→守屋徳夫	大正1年8月28日(1912)	1枚・ペン	9-23-45
書簡〔中身欠〕 守屋栄夫→守屋徳夫	大正8年6月25日(1919)	1通・ペン	5-6-23

葉書〔清州より、父上の十二回忌〕 守屋栄夫→守屋徳夫	大正10年9月12日 (1921)	1枚・ペン	78-3-56
葉書〔調査の近況報告〕 守屋栄夫→守屋伴男	明治44年10月10日 (1911)	1枚・ペン	81-318
書簡〔出張の経過報告〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正6年3月28日 (1917)	1通・ペン	81-126
葉書〔美保神社参拝報告〕 栄夫・俊吉→守屋伴男	大正7年8月6日 (1918)	1枚・ペン	82-3-72
葉書〔挨拶状〕 父→守屋伴男	大正10年1月3日 (1921)	1枚・ペン	86-353-1
葉書〔斎藤総督の御伴で金剛山を視察〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正10年9月27日 (1921)	1枚・ペン	78-3-7
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正11年1月15日 (1922)	1枚・ペン	78-3-35
葉書〔京都・厳島を経て夜の船で渡鮮〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正11年3月23日 (1922)	1枚・ペン	78-3-61
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋伴男	紀元2582・大正11年4月 8日 (1922)	1枚・ペン	78-3-24
葉書〔高等学校入学に必勝を期する〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正11年4月16日 (1922)	1枚・ペン	78-3-18
葉書〔京城より近況伺い、上京日程通知〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正11年5月8日 (1922)	1枚・ペン	78-3-17
書簡〔試験準備に関するアドバイス〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年1月29日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-18
葉書〔試験準備の件〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年2月12日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-27
葉書〔ロンドンより挨拶状〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年3月14日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-37
葉書〔正男を悼む〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年4月2日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-40
葉書〔正男を悼む〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年7月7日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-58
葉書〔挨拶状〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年7月25日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-59
葉書〔東京震災の所感〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年9月13日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-67
葉書〔モントリオール・ケベックの景況〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年10月10日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-12
葉書〔バッファローの景況報告〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正12年11月7日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-75
葉書〔勉学に励むべき旨挨拶状〕 父→守屋伴男	大正14年4月6日 (1925)	1枚・ペン	18-14-192-17
書簡〔青年団長講習会、奈良見聞〕 守屋栄夫→守屋伴男	大正15年3月7日 (1926)	1通・ペン	84-2-30
葉書〔見送りへの礼、忘れ物あり〕 父→守屋伴男	昭和3年7月24日 (1928)	1枚・ペン	86-325-59
葉書〔災害復旧の近況報告〕 守屋栄夫→守屋ひで	明治44年7月21日 (1911)	1枚・ペン	81-292
葉書〔米着、出張日程通知〕 栄→守屋ひてを	明治45年6月29日 (1912)	1枚・ペン	9-23-39

葉書〔年賀状・誕生日祝状〕 守屋栄夫・よしみ→守屋ひてを	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-73
書簡〔書簡への礼状、近況報告〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正2年1月26日(1913)	1通・墨書	9-23-71
書簡〔餅恵贈への礼状〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正2年2月10日(1913)	1通・墨書	9-23-53
葉書〔四国旅行報告〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正2年3月7日(1913)	1枚・ペン	9-23-69
葉書〔京都滋賀訪問〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正2年3月23日(1913)	1枚・ペン	9-23-61
葉書〔講演先の宮崎から近況報告〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正8年7月19日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-2
葉書〔鹿児島周遊にて挨拶状〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正8年7月22日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-77
葉書〔明石郡塩屋より挨拶状〕 守屋栄夫・守屋和郎→守屋ひてを	大正8年7月30日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-69
葉書〔徳島での地方改良講演にて挨拶状〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正8年8月2日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-73
葉書〔伊勢・京都旅行にて挨拶状〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正8年8月28日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-61
葉書〔京城より挨拶状〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正8年9月11日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-43
葉書〔京都着、厳島参拝後京城到着予定〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正10年3月21日(1921)	1枚・ペン	78-3-60
書簡〔先祖法要終了承知、温泉旅行延期〕 守屋栄夫→守屋ひてを・母	大正10年8月20日(1921)	1通・墨書	9-23-177
葉書〔厳島神社に参拝、本日午後出発〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年3月23日(1922)	1枚・ペン	78-3-44
葉書〔鶴沼・東京の子供等も至極壮健〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年4月25日(1922)	1枚・ペン	78-3-28
葉書〔李王世子殿下の御一行を迎える〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年4月26日(1922)	1枚・ペン	78-3-20
葉書〔中沢君帰鮮し東京の模様承る〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年5月3日(1922)	1枚・ペン	78-3-34
葉書〔朝鮮へ御出なされた晋殿下薨去〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年5月12日(1922)	1枚・ペン	78-3-36
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年5月15日(1922)	1枚・ペン	78-3-37
葉書〔総督に御伴して1週間ばかり出張〕 守屋栄夫→守屋ひてを	大正11年9月9日(1922)	1枚・ペン	78-3-48
葉書〔和歌一首〕 守屋栄夫→御母上・よしみ・伴男・正男・明男・照子	大正	1枚・墨書	86-353-24
葉書〔金比羅詣で報告〕 守屋栄夫→守屋ひてを	3月12日	1枚・ペン	9-23-52
葉書〔到着通知、手紙金円本日送付〕 守屋栄夫→守屋ひてを	11月14日	1枚・ペン	9-23-66
書簡〔総督閣下にお供して金剛山へ〕 守屋栄夫→守屋正男	大正10年9月27日(1921)	1通・ペン	78-3-59
葉書〔宮島より近況伺い、明男の体調〕 守屋栄夫→守屋正男・明男・照子	大正11年3月23日(1922)	1枚・ペン	78-3-63

葉書〔手紙への礼〕 守屋栄夫→守屋正男	大正11年4月4日(1922)	1枚・ペン	78-3-29
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋正男	紀元2582・大正11年4月8日(1922)	1枚・ペン	78-3-25
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋正男	大正11年5月8日(1922)	1枚・ペン	78-3-45
葉書〔榛名湖畔より近況伺い〕 守屋栄夫→守屋正男	大正11年6月23日(1922)	1枚・ペン	78-3-39
葉書〔長野の天候に付報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	明治44年10月4日(1911)	1枚・ペン	81-312
葉書〔新発田での近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	明治44年10月5日(1911)	1枚・ペン	81-311
葉書〔早くお目にかかりたい〕 守屋栄夫→守屋よしみ	明治44年10月12日(1911)	1枚・墨書	81-543
葉書〔魚津、黒部川沿岸の取調に付報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	明治44年10月14日(1911)	1枚・ペン	81-539
葉書〔北陸道視察終了報告他〕 守屋栄夫→守屋よしみ	明治44年10月17日(1911)	1枚・ペン	81-319
葉書〔調査の近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	明治44年10月22日(1911)	1枚・ペン	81-544
葉書〔畠傍山東北の御陵、檀原神宮参拝〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正4年12月11日(1915)	1枚・ペン	81-471
書簡〔福島出張〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正6年7月30日(1917)	1通・ペン	81-90
書簡〔仙台出張〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正6年7月31日(1917)	1通・ペン	81-89
葉書〔講演先の秋田より近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正6年8月28日(1917)	1枚・ペン	81-221
葉書〔挨拶状〕 守屋栄夫・ト部正一・金・長沢国彦→守屋よしみ	大正6年8月31日(1917)	1枚・ペン	81-228
葉書〔羽黒山より挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正6年8月31日(1917)	1枚・ペン	81-229
葉書〔神戸湊川神社を参拝他近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正7年カ6月15日(1918)	1枚・ペン	82-3-272
葉書〔本月末には一度伺う他近況報告〕 守屋栄夫・徳夫→守屋よしみ	大正7年6月(1918)	1枚・ペン	82-3-273
葉書〔端書拝見に付証書無し安心願う〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正7年7月2日(1918)	1枚・ペン	82-3-274
葉書〔山形旅行報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正7年10月26日(1918)	1枚・ペン	82-3-124
葉書〔大磯到着〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正8年カ6月12日(1919)	1枚・ペン	82-3-36
葉書〔総督に御伴して帰る日を待望〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正9年1月20日(1920)	1枚・ペン	82-3-345
郵便書簡〔倫敦までの船旅報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年1月22日(1923)	1通・ペン	80-1-3-14
葉書〔香港の景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年1月31日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-25
葉書〔上海到着につき報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年1月(1923)	1枚・ペン	80-40-7-24

書簡〔新嘉坡での近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月7日(1923)	1通・ペン	80-1-3-24
葉書〔セイロン仏教聖地キャンディ視察〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月13日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-29
書簡〔ルビー、サファイヤを購入ほか〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月15日(1923)	1通・ペン	80-1-3-19
郵便書簡〔ベンガル湾上で紀元節を祝う〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月21日(1923)	1通・ペン	80-1-3-15
郵便書簡〔クランドコンサート開催〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月22日(1923)	1通・ペン	80-1-3-16
郵便書簡〔船の旅につき近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月24日(1923)	1通・ペン	80-1-3-17
葉書〔ナイル川につき景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年2月26日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-30
葉書〔マルセイユ上陸につき挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月3日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-31
葉書〔マルセイユ着にて景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月4日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-32
葉書〔パリ到着につき挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月7日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-34
葉書〔パリ見物にて景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月9日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-33
葉書〔ロンドンビクトリア駅到着〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月12日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-35
葉書〔手紙拝見につき挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月14日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-36
書簡〔正男の死につき落胆他正男関係〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	80-1-3-12
書簡〔正男を弔ふの歌と弔ふ詞〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	80-1-3-3
書簡〔正男を弔ふの歌(第二)他正男関係〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	80-1-3-22
葉書〔句4首、ロンドンの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月18日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-39
書簡〔正男逝去、ロンドンの様子〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月20日(1923)	1通・ペン	84-2-61
書簡〔正男についての思い他子供関係〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年3月27日(1923)	1通・ペン	80-1-3-21
葉書〔北白川宮薨去につき所感〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年4月2日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-42
書簡〔近日イースターサンデー〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年4月4日(1923)	1通・ペン	80-1-3-20
書簡〔倫敦滞在につき近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年4月14日(1923)	1通・ペン	80-1-3-2
葉書〔ケンジントン公園の景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年4月16日(1923)	1枚・ペン	80-40-7-43
書簡〔正男逝去、子供の転地修養提案、ロンドンの様子〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年4月24日(1923)	1通・ペン	84-2-62

書簡〔倫敦滞在につき近況報告ほか〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年5月11日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-4
葉書〔キヨルン訪問にて挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年5月18日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-44
葉書〔ドイツオスナブリュックの景況〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年5月18日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-45
葉書〔アムステルダムの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年5月19日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-46
葉書〔イタリア旅行の準備につき挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年5月29日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-47
葉書〔ウィーンの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月3日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-48
葉書〔ヴェニス景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月7日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-49
葉書〔フローレンスの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月9日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-50
葉書〔ナボリの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月12日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-51
葉書〔ローマの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月15日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-52
葉書〔ジェノバの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月17日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-53
葉書〔ミラノの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年6月19日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-54
葉書〔出産につき問い合わせ〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年7月1日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-56
書簡〔4週間のイタリアほか旅行〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年7月2日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-6
書簡〔万里子安産を喜ぶ、ロンドン出発〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年7月12日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-13
葉書〔ドレスデンの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年7月27日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-60
葉書〔ライプチヒの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年7月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-61
書簡〔ドレスデン他ドイツ視察報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年8月4日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-1
葉書〔キール・ハンブルグ周遊にて報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年8月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-62
葉書〔マゲデブルクの景況、正男供養〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年8月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-63
書簡〔瑞典・バルチック・独逸近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月1日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-5
書簡〔関東大震災にて一家無事に安心〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月11日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-23
葉書〔ニューカッスル到着にて報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月12日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-66
葉書〔ストラスブルグの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月14日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-64

葉書〔リバプールの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月18日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-68
葉書〔鮮銀の山下支店長に世話になる〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月20日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-6
書簡〔関東大震災発生、衛生面に注意を〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月24日 (1923)	1通・ペン	80-1-1
書簡〔送付した品一覧表〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月27日 (1923)	1通・謄写版・ペン	80-1-2
葉書〔サウサンプトンから航海の景況〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月27日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-5
葉書〔ペンシルベニアホテル到着〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年9月29日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-4
葉書〔地震被害を知る、自由の女神見聞〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月3日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-7
書簡〔中身欠〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月4日 (1923)	1通・ペン	80-40-7-65
葉書〔ニューヨークにつき所感〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月6日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-8
葉書〔ナイヤガラ・エリー湖見学〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月7日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-9
葉書〔オタワ周遊にて景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月8日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-10
葉書〔オタワ滞在にて景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月9日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-11
葉書〔モントリオールの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月10日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-13
葉書〔ケベック到着にて景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月11日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-1
葉書〔ノースフィールド到着〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月12日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-14
葉書〔ボストン到着にて景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月14日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-2
葉書〔震災後の東京所感〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月17日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-16
葉書〔正男葬送写真拝見にて所感〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月17日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-15
葉書〔ホワイトハウスほか見学〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月20日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-17
葉書〔ホワイトハウスほか見学〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月20日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-18
葉書〔シカゴの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月22日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-19
葉書〔シカゴの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月25日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-20
書簡〔中身欠〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月26日 (1923)	1通	80-40-2-55

書簡〔カリフォルニア州観光地絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月26日 (1923)	1通・ペン	80-40-2-47
書簡〔ニューメキシコ州観光地絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月26日 (1923)	1通・ペン	80-40-2-48
葉書〔グランドキャニオンの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月27日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-22
葉書〔グランドキャニオンの景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-21
葉書〔モハーベ砂漠の景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-23
葉書〔ロスアンゼルス市の景況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月28日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-74
書簡〔ロサンゼルス観光地絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月30日 (1923)	1通・ペン	80-40-2-52
葉書〔ロサンゼルス朝鮮統治講演会実施〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月31日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-72
葉書〔ロサンゼルスマウントロウの景況〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年10月31日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-71
葉書〔サンディエゴの岸部にて詠んだ句〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年11月2日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-73
葉書〔サンフランシスコより挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年11月5日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-70
書簡〔サンフランシスコ観光地絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年11月6日 (1923)	1通・ペン	80-40-2-53
葉書〔ゴールデンゲート公園見学〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年11月6日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-78
葉書〔ハワイ到着にて挨拶状〕 守屋栄夫・遠藤権松→守屋よしみ	大正12年11月11日 (1923)	1枚・ペン	80-40-7-3
書簡〔イーストフィールド絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年11月13日 (1923)	1通・ペン	80-40-2-54
書簡〔シカゴ観光地絵葉書集〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正12年(1923)	1通・ペン	80-40-2-49
書簡〔伊勢神宮参拝〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正15年3月7日(1926)	1通・ペン	84-2-35
葉書〔近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正15年4月9日(1926)	1枚・ペン	85-3-2-4
葉書〔27日ベルリン到着予定〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正15年6月23日 (1926)	1枚・ペン	80-40-7-55
葉書〔奈良投宿にて今朝出発の旨挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正15年10月20日 (1926)	1枚・ペン	86-253
葉書〔講演実施にて挨拶状〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正15年12月7日 (1926)	1枚・ペン	86-322-68
書簡〔樺太・大泊到着の報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	昭和2年8月16日(1927)	1通・ペン	84-3-104
葉書〔朝鮮内水事業視察〕 守屋栄夫→守屋よしみ	昭和3年6月25日(1928)	1枚・ペン	86-323-24
葉書〔知取着〕 守屋栄夫→守屋よしみ	昭和3年カ9月6日 (1928)	1枚・ペン	86-325-92

書簡 / 家族

葉書〔台湾旅行経過と日程通知〕 守屋栄夫→守屋よし み	昭和4年4月7日(1929)	1枚・ペン	86-327-12
葉書〔京城訪問、会議にて歓迎される〕 守屋栄夫→守 屋よしみ	昭和4年7月1日(1929)	1枚・ペン	84-6-7
葉書〔京城着、帰京予定通知〕 守屋栄夫→守屋よしみ	昭和4年10月14日 (1929)	1枚・ペン	86-324-85
葉書〔東京到着予定通知〕 守屋栄夫→守屋好	昭和4年10月30日カ (1929)	1枚・ペン	86-324-50
書簡〔家族への心配〕 守屋栄夫→守屋よしみ	昭和5年6月17日(1930)	1通・ペン	84-4-22
書簡〔花井氏選挙応援経過〕 守屋栄夫→守屋よしみ	昭和6年9月23日(1931)	1通・ペン	86-356-1
葉書〔秋田より近況報告〕 守屋栄夫→守屋よしみ	大正8月27日	1枚・ペン	81-224
葉書〔帰途清州に参る、本日父上の命日〕 守屋栄夫→ 守屋和郎	大正10年9月12日 (1921)	1枚・ペン	78-3-50
書簡〔北白川家の不幸を帝国国民憂う〕 守屋栄夫→W. moriya	大正12年4月13日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-9
葉書〔第七回国際労働会議参加報告、宛先不明返送〕 守屋栄夫→李柱□	大正14年10月(1925)	1枚・活版	84-6-122
書簡〔お悔やみ状〕 守屋栄夫	大正12年3月29日 (1923)	1通・活版・ペ ン・墨書	80-1-3-8
書簡〔新年祝い、まだ立候補を表明せず〕 Sakau Moriya→Mr. & Mrs. Baumann	昭和3年1月2日(1928)	1通・タイプ	86-336

発信：守屋よしみ

葉書〔近況報告〕 守屋好→氏家文夫	昭和2年2月25日(1927)	1枚・墨書	85-7-5-29
葉書〔絵葉書への礼〕 守屋好→守屋明男	大正10年9月16日 (1921)	1枚・ペン	78-3-82
葉書〔近況伺い〕 守屋好→守屋明男	大正10年9月18日 (1921)	1枚・ペン	78-3-72
葉書〔手紙への礼〕 守屋好→守屋明男	大正10年9月27日 (1921)	1枚・墨書	78-3-57
書簡〔家族の近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	大正6年6月13日(1917)	1通・墨書	84-9-1
書簡〔年賀状、近況〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正8年1月8日(1919)	1通・墨書	84-9-9
書簡〔手紙へお礼、留守中の家族の出来事〕 守屋よし み→守屋栄夫	大正8年1月9日(1919)	1通・墨書	5-26-14
書簡〔家族近況報告、歳暮書き上げ〕 守屋よしみ→守屋 栄夫	大正8年カ1月13日 (1919)	1通・墨書	83-9-7
書簡〔家族の近況報告〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正8年1月20日(1919)	1通・墨書	84-9-10
書簡〔家族の近況報告〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正8年3月4日(1919)	1通・墨書	84-9-8
書簡〔家族の近況報告〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正8年3月11日(1919)	1通・墨書	84-9-3
書簡〔家族の近況報告〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正8年3月13日(1919)	1通・墨書	84-7-21
書簡〔西村知事より待遇、火薬大爆発報告〕 守屋よし み→守屋栄夫	大正8年8月3日(1919)	1通・墨書	84-9-7

書簡〔上海出發・船上における近況報告〕 守屋よしみ →守屋栄夫	大正11年1月28日 (1922)	1通・ペン	80-1-6
電報〔挨拶状〕 Yoshimi→守屋栄夫	大正12年1月13日 (1923)	1通・謄写版	80-40-5-20
書簡〔佐々木・安武奥様と食事ほか〕 守屋よしみ→守屋 栄夫	大正12年1月27日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-1
書簡〔家族の近況報告〕 守屋よしみ・伴男・明男・今朝治 〔萱場カ〕ほか→守屋栄夫	大正12年2月14日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-2
書簡〔家族の近況報告他〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正12年2月25日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-3
書簡〔病気にて高校入学試験受けられず〕 守屋よしみ ・伴男→守屋栄夫	大正12年3月25日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-4
書簡〔家族・今野長三郎に関する近況報告〕 守屋よし み→守屋栄夫	大正12年3月26日 (1923)	1通・ペン	80-1-3-10
書簡〔家族の近況報告他〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正12年4月5日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-5
書簡〔正男五十七日の供養ほか近況〕 守屋よしみ→守 屋栄夫	大正12年4月25日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-6
書簡〔講習会に参加、家族の近況報告〕 守屋よしみ・伴 男・明男・照子→守屋栄夫	大正12年5月7日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-7
書簡〔次の子出産準備、家族の近況報告〕 守屋よしみ →守屋栄夫	大正12年5月15日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-8
書簡〔子どもの出産時期、家族の近況報告〕 守屋よし み→守屋栄夫	大正12年5月21日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-9
書簡〔診察結果、家族近況報告〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正12年5月27日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-11
書簡〔出産経過報告、家族の近況報告〕 守屋よしみ・照 子→守屋栄夫	大正12年6月15日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-13
電報〔万里子安産母子家族無事(英語)〕 yosime〔守屋 よしみ〕→守屋栄夫	大正12年6月20日 (1923)	1通・謄写版・ペ ン	80-2-1-41
書簡〔万里子の様子、正男の供養など〕 守屋よしみ・明 男・照子→守屋栄夫	大正12年7月5日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-14
書簡〔正男葬儀法要予定、近況報告〕 守屋よしみ→守屋 栄夫	大正12年7月30日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-15
書簡〔埋骨式行方、家族の近況報告〕 守屋よしみ・明男・ 照子→守屋栄夫	大正12年8月15日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-17
書簡〔家族の近況、震災に関して〕 守屋好→守屋栄夫	大正12年9月11日 (1923)	1通・墨書・謄写 版	6-60-20
電報〔東京馬放みな無事〕 守屋よしみ→守屋栄夫	大正12年9月11日 (1923)	1通・謄写版	80-2-1-6
書簡〔鮮銀より送金、上京中止ほか〕 守屋好→守屋栄夫	大正12年9月15日 (1923)	1通・写真3枚・ ペン	6-60-9
書簡〔関東大震災後学校10月1日再開〕 守屋よしみ・伴 男・明男・照子→守屋栄夫	大正12年10月2日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-18
書簡〔選挙の心配と選挙資金の近況報告〕 守屋好→守 屋栄夫	大正15年2月18日 (1926)	1通・墨書	85-4-1-31

書簡 / 家族

書簡〔近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和2年8月17日(1927)	1通・ペン	85-7-6-22
書簡〔選挙必勝祈念、寄付金状況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和3年カ2月9日(1928)	1通・墨書	7-147-68
書簡〔近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和3年6月18日(1928)	1通・ペン	10-404-14
書簡〔家族他近況報告〕 守屋好子→守屋栄夫	昭和3年6月23日(1928)	1通・ペン	10-413-30
書簡〔千葉県一の宮での暴風雨〕 守屋好子→守屋栄夫	昭和3年8月3日(1928)	1通・ペン	10-408-130
書簡〔留守をしている東京の家族の近況〕 守屋好→守屋栄夫	昭和3年10月5日(1928)	1通・墨書	10-194
書簡〔家族の近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和3年11月11日(1928)	1通・ペン	85-4-4-10
書簡〔帰省を命じられ皆で喜ぶ〕 守屋好→守屋栄夫	昭和3年11月16日(1928)	1通・墨書	85-4-4-12
書簡〔亡母の遺品整理、戸田求書簡同封〕 守屋好→守屋栄夫	昭和4年3月30日(1929)	1通・墨書	85-4-3-1
書簡〔守屋家の近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和4年カ6月27日(1929)	1通・墨書	6-52-2
書簡〔家族の近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和4年9月12日(1929)	1通・墨書	85-4-5-26
書簡〔滝野川小学校運動会〕 守屋好→守屋栄夫	昭和4年10月12日(1929)	1通・墨書	5-31-16
書簡〔親戚の来訪、子供の様子等近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和5年2月4日(1930)	1通・墨書	85-4-1-28
書簡〔演説会・選挙心配、近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和5年2月9日(1930)	1通・墨書	85-4-1-27
書簡〔選挙情勢など近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和5年2月14日(1930)	1通・墨書	85-4-1-29
書簡〔清和会・東亜会で鳩林荘に参集〕 好→御主人様	昭和6年カ4月10日(1931)	1通・墨書	86-346-15
書簡〔家庭内の様子報告〕 守屋好子→守屋栄夫	昭和6年6月23日(1931)	1通・墨書	84-30-7
書簡〔妻より近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和6年9月18日(1931)	1通・墨書	86-358-29
書簡〔家庭近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和6年10月12日(1931)	1通・墨書	86-346-19
書簡〔大友に三浦芳信書簡を送付〕 守屋好→守屋栄夫	昭和7年2月4日(1932)	1通・墨書	83-1-3
書簡〔好夫人選挙資金集め一巡の報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和7年2月8日(1932)	1通・墨書	83-1-2
書簡〔選挙資金調達報告ほか〕 守屋好→守屋栄夫	昭和7年カ2月13日(1932)	1通・墨書	83-1-7
書簡〔資金調達報告、蒔田一郎送金ほか〕 守屋好→守屋栄夫	昭和7年2月15日(1932)	1通・墨書	83-1-9
書簡〔扁桃腺につき挨拶状、家族の病状報告〕 守屋好・照子・趙男・万里子→守屋栄夫	昭和7年カ7月25日(1932)	1通・墨書・ペン	83-3-36
書簡〔町会議員選挙、明糖社長邸デモ隊〕 守屋好→守屋栄夫	昭和7年8月26日(1932)	1通・ペン	83-3-23
書簡〔家族および知り合いの近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和7年12月7日(1932)	1通・墨書	84-14-2

書簡〔守屋栄夫朝鮮滞在中近況〕 守屋好→守屋栄夫	昭和8年10月30日 (1933)	1通・ペン・墨書	84-29-13
葉書〔ご機嫌伺い〕 守屋好→守屋栄夫	昭和8年11月5日 (1933)	1枚・ペン	86-323-10
書簡〔守屋栄夫朝鮮滞在中の家庭近況〕 守屋好→守屋 栄夫	昭和8年11月8日 (1933)	1通・ペン	84-29-4
書簡〔同封書簡について〕 守屋好→守屋栄夫	昭和8年11月9日 (1933)	1通・ペン・墨書	84-29-11
書簡〔近況報告および同封書簡等について〕 守屋好→ 守屋栄夫	昭和8年11月12日 (1933)	1通・ペン・墨書	84-29-9
葉書〔ご命令の件承知、近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和8年11月13日 (1933)	1枚・ペン	86-323-11
書簡〔近況報告、同封の書簡について〕 守屋好→守屋 栄夫	昭和8年11月16日 (1933)	1通・ペン・墨書	84-29-33
書簡〔守屋栄夫朝鮮滞在中にて家庭近況〕 守屋好→守 屋栄夫	昭和8年11月18日 (1933)	1通・ペン	84-29-37
書簡〔近況報告〕 守屋好→守屋栄夫	昭和8年11月24日 (1933)	1通・ペン	84-29-1
葉書〔返信、婦人部会開催〕 守屋好→守屋栄夫	昭和8年1月カ27日 (1933)	1枚・ペン	86-323-7
書簡〔親戚・知人の近況〕 守屋好→守屋栄夫	2月11日	1通・墨書	10-206
書簡〔照子発選挙激励書簡、選挙運動激励〕 守屋好→ 守屋栄夫	2月16日	1通・墨書・ペン	7-147-71
葉書〔年賀状〕 守屋よしみ→守屋節夫	大正10年1月1日 (1921)	1枚・墨書	9-23-144
葉書〔御送付下されありがたく拝受〕 守屋よしみ→守 屋徳夫	大正7年7月27日 (1918)	1枚・墨書	82-3-223
葉書〔御菓子など送付〕 守屋好→守屋伴男	大正10年9月15日 (1921)	1枚・ペン	78-3-77
葉書〔絵葉書を父上様と拝見、箱三ヶ送る〕 守屋好→ 守屋伴男	大正10年9月16日 (1921)	1枚・ペン	78-3-71
葉書〔月見の様子、箱三つ送る〕 守屋好→守屋伴男	大正10年9月17日 (1921)	1枚・ペン	78-3-70
葉書〔京城より近況伺い〕 守屋好→守屋伴男	大正10年9月19日 (1921)	1枚・墨書	78-3-52
葉書〔近況報告〕 守屋好→守屋伴男	大正10年9月23日 (1921)	1枚・ペン	78-3-81
葉書〔勉強を一生懸命おやり〕 守屋好→守屋伴男	大正10年9月27日 (1921)	1枚・墨書	78-3-58
葉書〔愛国婦人会長一行見送り〕 守屋好→守屋伴男	大正10年10月9日 (1921)	1枚・ペン	78-3-83
葉書〔来月一日夜当地出発予定〕 守屋好子→守屋伴男	大正10年10月 (1921)	1枚・墨書	78-3-5
葉書〔鶴沼より近況伺い〕 守屋よしみ→守屋伴男・正男	大正11年4月25日 (1922)	1枚・墨書	78-3-43
書簡〔朝鮮よりの送付物通知ほか〕 母〔在朝鮮〕→伴男・ 正男・明男	8月1日	1通・墨書	9-23-156-2
葉書〔欠損により判読不能〕 よしみ→守屋ひてを	大正1年8月25日 (1912)	1枚・墨書	9-23-70

葉書〔家族の近況報告〕 守屋よしみ→守屋ひでを・まさみ	大正7年7月(1918)	1枚・墨書	82-3-271
葉書〔帰省につき挨拶状〕 よしみ→守屋ひでを・そのへ	大正8年8月22日(1919)	1枚・墨書	18-14-192-66
葉書〔朝鮮総督御一行に関し、伴男負傷〕 よしみ→守屋ひでを・そのへ	大正8年9月4日(1919)	1枚・ペン	18-14-192-1
葉書〔御送付の帯頂戴、主人金剛山登山〕 守屋好→守屋ひでを	大正10年8月27日(1921)	1枚・墨書	78-3-47
葉書〔成田叔父さん帰られる〕 守屋好→守屋ひでを	大正11年5月5日(1922)	1枚・墨書	78-3-21
葉書〔爱国婦人会総会の帯送付願う〕 守屋よしみ→守屋ひでを	昭和19年9月18日(1944)	1枚・ペン	78-3-1
書簡〔兄上様より小遣い頂戴するほか〕 好→母	8月2日	1通・墨書	9-23-156-3
書簡〔伴男見舞いへの礼、病状報告ほか〕 よしみ→母	10月7日	1通・墨書	9-23-156-4
葉書〔絵葉書への礼〕 守屋好→守屋正男	大正10年9月16日(1921)	1枚・ペン	78-3-69
葉書〔都合伺い〕 守屋好→守屋正男	大正10年9月18日(1921)	1枚・ペン	78-3-78
葉書〔手紙への礼〕 守屋好→守屋正男	大正10年9月27日(1921)	1枚・墨書	78-3-8
葉書〔鶴沼より近況伺い〕 守屋好→守屋正男	大正11年4月19日(1922)	1枚・墨書	78-3-19

発信：守屋ひでを

葉書〔返書、留守宅保持依頼〕 守屋ひでを→鳥海やまと	大正9年6月25日(1920)	1枚・ペン	9-23-111
葉書〔帰省の節の礼状〕 守屋ひでを→守屋しゅん	大正	1枚・ペン	18-14-193-11
書簡〔サイカチ送付、明日帰郷〕 守屋ひでを→守屋よしみ	大正13年7月18日(1924)	1通・ペン	9-22-4
葉書〔ベニセウガン送付依頼〕 守屋ひでを→守屋好子	昭和2年2月4日(1927)	1枚・ペン	86-322-109
葉書〔飯岡での雨降りなど近況報告〕 守屋ひでを→守屋好子	昭和2年3月10日(1927)	1枚・ペン	86-322-105

発信：守屋徳夫

電報〔弔電〕 トクラ→コンノチョウサブロウ	大正12年3月14日(1923)	1通・ペン	18-14-45
書簡〔入学試験合格の報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	明治41年3月20日(1908)	1通・ペン	6-46-22-1
葉書〔北国寒天御配慮お祈り〕 守屋徳夫→守屋栄夫	明治44年2月3日(1911)	1枚・ペン	81-561
葉書〔本省へ転任、旅行で上京〕 守屋徳夫→守屋栄夫	明治44年4月11日(1911)	1枚・ペン	81-554
書簡〔年末挨拶状、法科大学院入学希望〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正5年12月30日(1916)	1通・墨書	84-20-164
書簡〔横山氏に借金願い、和郎との学費〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正6年1月8日(1917)	1通・ペン	84-20-142

書簡〔和郎の仕送りと証書への捺印依頼〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正6年1月12日(1917)	1通・ペン	84-20-141
書簡〔転居先での近況、定子の学費の件〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正6年3月25日(1917)	1通・ペン	84-20-115
書簡〔アメリカ同伴のお願い〕 徳夫→守屋栄夫	大正6年5月14日(1917)	1通・ペン	81-54
書簡〔授業料等恵贈につき依頼〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正6年10月8日(1917)	1通・ペン	83-14-103
書簡〔近況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正6年カ11月8日(1917)	1通・ペン	83-14-197
書簡〔佐藤内務部長を見舞う、病状報告〕 徳夫→守屋栄夫	大正6年12月21日(1917)	1通・ペン	83-14-54
書簡〔内務部長預かりの中学生引き受け〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年1月17日(1918)	1通・墨書	83-13-13
書簡〔病氣平癒、京大社会学部について〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年2月12日(1918)	1通・墨書	5-26-13
葉書〔近況報告〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年3月26日(1918)	1枚・ペン	82-3-89
葉書〔遠藤様と会い寛先生紹介頂く〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年4月18日(1918)	1枚・ペン	82-3-45
書簡〔赴任地に対する補助願い〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年5月17日(1918)	1通・墨書	84-9-26
書簡〔体調不良、就職運動状況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年6月4日(1918)	1通・墨書	5-6-31
書簡〔遠藤氏書簡同封、満鉄と交渉〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年6月16日(1918)	1通・墨書	84-19-37
葉書〔ご都合伺い〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年6月17日(1918)	1枚・ペン	82-3-92
葉書〔皇国南進の盛運慶賀〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年6月18日(1918)	1枚・ペン	82-3-91
書簡〔満鉄本社との詮議ほか〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年6月24日(1918)	1通・墨書	5-26-15
葉書〔東京参るにつきお世話願い〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年7月11日(1918)	1枚・ペン	82-3-275
書簡〔三原氏・銀行・今野氏の近況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年7月23日(1918)	1通・墨書	83-9-46
書簡〔客人接待、関係費援助依頼〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年8月10日(1918)	1通・ペン	5-6-40
葉書〔京都到着報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫・よしみ	大正7年9月15日(1918)	1枚・ペン	82-3-61
葉書〔備後丸出帆予定〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年9月17日(1918)	1枚・ペン	82-3-66
葉書〔出帆報告〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年9月19日(1918)	1枚・ペン	82-3-67
葉書〔船旅行報告〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年9月20日(1918)	1枚・ペン	82-3-62
書簡〔行政に対する意見〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年10月4日(1918)	1通・墨書	84-9-34
葉書〔近況報告〕 徳夫→守屋栄夫	大正7年11月15日(1918)	1枚・ペン	82-3-112
葉書〔台南滞在、うちの病人共を頼む〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年11月20日(1918)	1枚・ペン	82-3-212
書簡〔学校視察、自宅で療養〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正7年11月25日(1918)	1通・墨書	84-9-25

書簡 / 家族

書簡〔肺結核の雅美台湾より帰国させる〕 守屋徳夫→ 守屋栄夫	大正7年12月5日(1918)	1通・墨書	84-9-31
書簡〔小包御礼、官命により出京〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正8年5月2日(1919)	1通・墨書	84-9-20
書簡〔就職先につき台湾総督府国語学校と交渉中〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正8年6月20日(1919)	1通・墨書	83-13-7
書簡〔千葉・神奈川官吏就職斡旋願い〕 守屋徳夫→守 屋栄夫	大正8年6月27日(1919)	1通・墨書	83-2-23
書簡〔まさみ死去、静養経過報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正8年10月7日(1919)	1通・墨書	9-25-23
書簡〔朝鮮の専門学校か朝鮮総督府官吏に転任希望〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正8年11月9日(1919)	1通・墨書	83-2-49
葉書〔お喜びにつき報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正8年□4日(1919)	1枚・墨書	82-3-280
葉書〔近況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正8年カ15日(1919)	1枚・ペン	82-3-13
書簡〔京衛の結婚問題〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正9年6月5日(1920)	1通・墨書	6-53-3
書簡〔家族近況、日本信託事業の再興〕 守屋徳夫→守 屋栄夫	大正10年10月21日 (1921)	1通・墨書	5-29-3
書簡〔田地取戻し、宮城信託会社借入れ〕 守屋徳夫→ 守屋栄夫	大正11年1月4日(1922)	1通・墨書	9-19-3
書簡〔水野邸買上、手形用紙送付願い〕 守屋徳夫→守 屋栄夫	大正11年9月20日 (1922)	1通・ペン	9-27-52
書簡〔銀行手形悪用ほか〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正11年9月28日 (1922)	1通・墨書	9-27-30
書簡〔秋山氏借金、憲政会内閣待望ほか〕 守屋徳夫→ 守屋栄夫	大正11年10月11日 (1922)	1通・墨書	9-27-7
書簡〔9月1日災害後の自警団による朝鮮人迫害報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正12年9月30日 (1923)	1通・ペン	80-39-1-4
書簡〔菅原氏政務総監説実現確実〕 守屋徳夫→守屋 栄夫	大正13年7月1日(1924)	1通・ペン	5-30-35
書簡〔総督府菅原氏人事激変〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正13年7月2日(1924)	1通・ペン	5-30-34
書簡〔金剛山見物〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正14年10月10日 (1925)	1通・ペン	84-6-126
葉書〔挨拶状〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正15年1月21日 (1926)	1枚・ペン	86-226
書簡〔渡辺の借家を今野に仲介依頼〕 守屋徳夫→守屋 栄夫	大正15年1月28日 (1926)	1通・墨書	85-3-1-31
葉書〔銚子の土地代金送付の件〕 徳夫→守屋栄夫	大正15年7月1日(1926)	1枚・ペン	86-24
書簡〔赤痢罹患、漢城銀行問題〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正15年9月29日 (1926)	1通・墨書	85-3-3-23
書簡〔無事帰京、滞在中の御礼〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年2月17日(1927)	1通・墨書	85-9-60
書簡〔朝鮮で重病に陥ったが一命を取り留めている〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年4月21日(1927)	1通・ペン	85-9-90
葉書〔上海へ出帆につき挨拶状〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年5月27日(1927)	1枚・ペン	86-152
葉書〔上海到着、今後の日程通知〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年5月30日(1927)	1枚・ペン	86-142

書簡〔三浦斧吉の件〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年6月4日(1927)	1通・ペン	84-5-7
葉書〔ロンドン到着にて挨拶状〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年7月4日(1927)	1枚・ペン	86-111
葉書〔スイスのユングフラウ駅より〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年7月9日(1927)	1枚・ペン	86-106
葉書〔正義氏がロンドンの徳夫訪問〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年9月13日(1927)	1枚・ペン	84-1-105
葉書〔デンネクト氏訪問、イングランド・アイルランド見物後ベルリンへ移動〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年10月8日(1927)	1枚・ペン	84-1-95
葉書〔ニューヨーク・サンフランシスコへ出発〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年10月11日(1927)	1枚・ペン	85-9-32
葉書〔アムステルダム滞在報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年10月17日(1927)	1枚・ペン	84-1-113
葉書〔デンマークへ向かう〕 守屋徳夫カ→守屋栄夫	昭和2年10月18日(1927)	1枚・ペン	84-1-112
葉書〔ベルリン滞在の様子〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年10月28日(1927)	1枚・ペン	84-1-109
書簡〔ブタペストに滞在〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年11月12日(1927)	1通・ペン	84-3-66
葉書〔パリ到着につき挨拶状〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年11月24日(1927)	1枚・ペン	86-186
葉書〔ブリュッセルに到着報告〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年10月12日(1927)	1枚・ペン	85-9-30
葉書〔米国より帰国予定〕 徳夫→守屋栄夫	昭和2年12月23日(1927)	1枚・ペン	86-325-27
書簡〔仙台辺の選挙状況の件〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和2年12月23日(1927)	1通・ペン	10-408-102
葉書〔ニューヨークで資本市場研究中〕 徳夫→守屋栄夫	昭和3年1月7日(1928)	1枚・ペン	86-329-31
葉書〔選挙当選祈願〕 徳夫→守屋栄夫	昭和3年1月27日(1928)	1枚・ペン	86-329-34
書簡〔ボストンの近況〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和3年1月30日(1928)	1通・ペン	84-3-11
葉書〔選挙当選祝状、連名寄書〕 守屋徳夫・千代・大平嘉重郎他→守屋栄夫・同令夫人	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-365
書簡〔近況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和3年6月7日(1928)	1通・墨書	10-404-15
葉書〔判読不能〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和3年11日(1928)	1枚・ペン	86-325-67
書簡〔温陽温泉に入湯し元気を回復、改名の件他〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年1月17日(1929)	1通・墨書	6-56-6
書簡〔元気回復、社会政策問題への興味〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年2月12日(1929)	1通・墨書	6-56-7
書簡〔母の香奠寄附への賛同了解ほか〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年4月29日(1929)	1通・ペン	85-4-2-21
書簡〔亡き母に関係寄付金、自身の縁談〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年5月15日(1929)	1通・ペン	85-4-2-12
葉書〔羅南に滞在〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年5月21日(1929)	1枚・ペン	84-6-50

書簡 / 家族

葉書〔龍井までくるが降雪のため揮春へ〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年5月23日(1929)	1枚・ペン	84-6-44
書簡〔伊達宗文らと会合論議〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年カ7月25日(1929)	1通・墨書	6-52-16
書簡〔解銀還金の跡始末〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年9月9日(1929)	1通・ペン	6-56-48-12
書簡〔電信送金の儀〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年9月12日(1929)	1通・墨書	6-56-48-11
書簡〔忠告に対する御礼、京城の有力者〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和4年9月18日(1929)	1通・墨書・ペン	6-56-48-13
書簡〔近況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和5年3月7日(1930)	1通・墨書	10-405-33
書簡〔計算課長兼証券課長に異動〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和5年10月28日(1930)	1通・ペン	10-55
書簡〔渡鮮時応接への礼状、朝鮮栗手配〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和5年12月4日(1930)	1通・墨書	7-147-9
書簡〔東拓就職に際し給料へ助言願い〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和6年2月21日(1931)	1通・墨書	86-355-12
書簡〔近況報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和6年4月12日(1931)	1通・墨書	86-354-12
葉書〔庸子病氣見舞いへの礼状〕 徳夫→守屋栄夫	昭和6年7月4日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-306
書簡〔当地官界不安、小生転任の件〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和6年7月9日(1931)	1通・墨書	86-350-28
書簡〔選挙資金各所調達合計5千円〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和7年2月15日(1932)	1通・墨書	83-1-6
書簡〔雅美の病氣回復、借金、家の近況〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正4月10日	1通・墨書	5-26-11
書簡〔松山捨吉氏上京〕 守屋徳夫→守屋栄夫	大正4月10日	1通・墨書	5-26-10
書簡〔今までの結果につき報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	昭和1月5日	1通・ペン	10-403-2
書簡〔ロンドン到着の由お喜びの他近況報告〕 徳夫→守屋栄夫	2月20日	1通・ペン	80-40-4
葉書〔長満の水利組合起工式にのぞむ、雄基に到着〕 守屋徳夫→守屋栄夫	5月28日	1枚・ペン	84-6-42
書簡〔欧州へ行く船中にて〕 守屋徳夫→守屋栄夫	6月12日	1通・ペン	84-1-50
書簡〔田尻校渋谷氏訪問へ帰宅申入〕 徳夫→守屋栄夫	7月25日	1通・墨書	6-46-16
書簡〔欧州出発の報告〕 守屋徳夫→守屋栄夫	11月19日	1通・ペン	84-3-109
葉書〔合格祝状、東京仙台日程通知〕 守屋徳夫→守屋そのへ・鈴木ともこ	大正2年3月17日(1913)	1枚・ペン	9-23-13
葉書〔勉学に励むべき旨挨拶状〕 兄徳→守屋園枝	大正3年カ3月20日(1914)	1枚・ペン	18-14-192-24
書簡〔日本国内情勢の報告〕 守屋徳夫→守屋徳夫	昭和8年11月24日(1933)	1通・ペン	84-29-10
葉書〔近況報告〕 守屋徳夫→守屋ひで	大正1年11月25日(1912)	1枚・ペン	9-23-60
書簡〔上京予定通知、羽織仕立て依頼〕 守屋徳夫→守屋ひで	大正2年2月26日(1913)	1通・墨書	9-23-88

葉書〔留守宅他近況報告〕 守屋徳夫→守屋ひで	大正9年6月9日(1920)	1枚・ペン	9-23-112
葉書〔清子上京日程照会〕 守屋徳夫→守屋ひで	大正9年7月29日(1920)	1枚・ペン	9-23-110
葉書〔帰京報告、兄弟の予定〕 守屋徳夫→守屋ひで	大正9年9月1日(1920)	1枚・ペン	9-23-118
書簡〔近況報告、女中雇用〕 守屋徳夫〔旭紡織株式会社〕 →守屋ひで	大正9年9月9日(1920)	1通・墨書	9-23-176
葉書〔見合の結果報告、結婚免状依頼〕 守屋徳夫→守 屋ひで	大正9年9月29日(1920)	1枚・墨書・ペン	9-23-119
葉書〔伴夫容態照会、朝鮮より帰京日程〕 守屋徳夫→ 守屋ひで	大正9年10月16日 (1920)	1枚・ペン	9-23-124
葉書〔まさみ様十年忌の挨拶状〕 徳夫・正志・正義・今野 やすし・松野貞子・ゆきゑ→守屋ひで	昭和3年9月26日(1928)	1枚・ペン	86-322-82
書簡〔近況報告、小遣等送付通知〕 守屋徳夫→母	7月1日	1通・墨書	9-23-156-1
葉書〔転居通知、菅原氏随伴で渡仙予定〕 守屋徳夫→ 守屋ひで		1枚・ペン	9-23-113
葉書〔御礼状〕 守屋徳夫→守屋よしみ	大正5年(1916)	1枚・ペン	81-470
葉書〔祝い状、東京出立前の来訪依頼〕 守屋徳夫→守 屋よしみ	大正6年5月2日(1917)	1枚・ペン	81-180
葉書〔京都より挨拶状〕 守屋徳夫→守屋よしみ	大正6年9月1日(1917)	1枚・ペン	81-231
書簡〔転任報告、基隆出航〕 守屋徳夫→守屋よしみ	大正8年12月25日 (1919)	1通・ペン	9-17-23
電報〔弔電〕 守屋徳夫→モリヤヨシミ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-50
書簡〔上京予定にて挨拶〕 守屋徳夫→守屋よしみ	昭和3年11月10日 (1928)	1通・ペン	84-3-55
葉書〔無事帰任〕 徳夫→守屋よしみ	昭和4年4月4日(1929)	1枚・ペン	86-327-16
電報〔弔電〕 トクラ→モリヤワロウ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-46

発信：守屋和郎

葉書〔仙台地域近況、試験激励〕 守屋和郎→鈴木とも・守 屋そのへ・守屋とみこ	大正2年1月23日(1913)	1枚・ペン	9-23-48
葉書〔過日失礼詫び状〕 守屋和郎→鈴木とも・守屋そのへ	大正2年1月30日(1913)	1枚・墨書	9-23-33
葉書〔近況報告〕 守屋和郎→鈴木まさみ	大正2年23日(1913)	1枚・ペン	9-23-37
書簡〔下宿先状況報告、受験票送付依頼〕 守屋和郎→ 守屋栄夫	明治44年7月1日(1911)	1通・墨書	9-23-46
葉書〔お盆の様子につき報告〕 和郎→守屋栄夫	明治44年8月14日 (1911)	1枚・ペン	81-295
葉書〔菊池先生と再会につき報告〕 和郎→守屋栄夫	明治44年8月27日 (1911)	1枚・ペン	81-294
葉書〔試験、帰省予定通知〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正2年3月27日(1913)	1枚・墨書	9-23-10
書簡〔小生病気にて金子借用願い〕 守屋和郎→守屋栄 夫	大正5年5月12日(1916)	1通・墨書	84-20-56

書簡〔先日の御願ひ聴許願ひ〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正5年5月20日(1916)	1通・墨書	84-20-55
書簡〔渋谷家主人の病氣とその経過〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年1月9日(1917)	1通・墨書	84-20-126
書簡〔挨拶状(独語)〕 W. Moriya→守屋栄夫	大正6年1月15日(1917)	1通・ペン	81-146
書簡〔卒業後の借入金弁済等相談〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年1月20日(1917)	1通・墨書	84-20-129
書簡〔金子借用証書の件〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年1月29日(1917)	1通・墨書	84-20-128
書簡〔挨拶状〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年4月2日(1917)	1通・ペン	81-127
書簡〔詩歌〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年4月5日(1917)	1通・ペン	81-135
書簡〔今日逋信省に採用など近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年4月18日(1917)	1通・墨書	84-20-100
書簡〔宮城に帰省、桑葉の価格上昇ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年6月29日(1917)	1通・墨書	83-14-47
書簡〔旅行金立て替え願ひ〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年8月12日(1917)	1通・墨書	83-14-80
書簡〔かつ子との婚姻問題につき報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年9月9日(1917)	1通・墨書	83-14-78
書簡〔千葉の温泉で静養につき挨拶状〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年9月15日(1917)	1通・墨書	83-14-79
書簡〔沢及びかつ子との交際につき所感〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年9月20日(1917)	1通・墨書	83-14-77
書簡〔屋家増築計画、上京までに片付けほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年10月5日(1917)	1通・墨書	83-14-17
書簡〔佐々木石材店で石材の取り合わせ〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正6年10月13日(1917)	1通・墨書	81-82
葉書〔善光寺及びその周辺の近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正7年7月30日(1918)	1枚・ペン	82-3-82
書簡〔事件処置状況、兄の事務の件〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正7年9月18日(1918)	1通・ペン	83-10-4
書簡〔家庭と自身の近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年1月8日(1919)	1通・墨書	83-9-10
葉書〔山陽道御助の船視察につき報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年1月28日(1919)	1枚・墨書	81-357
書簡〔兵庫県塩谷村に引越し〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年5月29日(1919)	1通・ペン	83-10-2
書簡〔節夫試験の宿費用借用依頼ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年6月22日(1919)	1通・墨書	83-2-34
書簡〔神戸へ移転報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年6月23日(1919)	1通・墨書	83-10-33
書簡〔栄転祝い、水野先生総督府政務総監は栄任だが兄上は如何〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年8月13日(1919)	1通・ペン	9-10-5
書簡〔不逞鮮人の投弾に対する見舞〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年9月3日(1919)	1通・墨書・ペン	9-17-16
葉書〔姫路観光報告〕 和郎→守屋栄夫	大正8年10月17日(1919)	1枚・ペン	83-9-18

書簡〔御土産頂戴礼状、手紙を待望〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年10月20日 (1919)	1通・墨書	83-2-19
書簡〔「地方青年団の教養」所感、事務打ち合わせのため上京〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正8年11月25日 (1919)	1通・墨書	83-2-47
葉書〔通信技師兼理事官松下武晴氏の件〕 守屋和郎→守屋栄夫・よしみ	大正8年12月17日 (1919)	1枚・ペン	82-3-295
書簡〔お願いの件、兄の病状伺い〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年3月1日 (1920)	1通・ペン	81-660
葉書〔遥かに御健勝を祈念〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年カ3月5日 (1920)	1枚・墨書	82-3-348
書簡〔失敗につき杉山殿への謝罪〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年3月13日 (1920)	1通・墨書	81-653
書簡〔安東県で赤十社支部総会開催ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年5月23日 (1920)	1通・墨書	5-16-16
書簡〔林前長官次第で外交官試験受験〕 守屋和郎〔関東庁〕→守屋栄夫	大正9年6月8日 (1920)	1通・墨書	5-16-44
書簡〔慶應義塾出身鈴木國吉接見依頼〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年7月21日 (1920)	1通・墨書	5-5-24
葉書〔和歌5首〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年11月18日 (1920)	1枚・ペン	81-683
書簡〔愛妹結婚にて所感〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正9年11月23日 (1920)	1通・墨書	86-353-5
書簡〔官制改正内閣を通過せず本月滞京〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正10年5月5日 (1921)	1通・墨書・ペン	5-5-28
書簡〔高山警部転勤の件見合わせ願い〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正11年9月28日 (1922)	1通・墨書	9-27-29
電報〔一路平安を祈る一同無事〕 ワロ→守屋栄夫	大正12年1月22日 (1923)	1通・謄写版	80-40-5-17
書簡〔今野君、伴男、赴男ほか近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正12年5月11日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-6
書簡〔国際研究活動、帰農の必要性ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正12年6月12日 (1923)	1通・ペン	81-724
葉書〔土岐嘉平大阪府知事就任ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正12年6月16日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-6
書簡〔郷里帰住にて挨拶状〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正12年 (1923)	1通・ペン	80-40-1-27
書簡〔今野長三郎就職斡旋依頼〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正13年3月26日 (1924)	1通・墨書	5-30-12
書簡〔近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正13年5月24日 (1924)	1通・ペン	5-30-22
書簡〔東京、家族近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正13年6月3日 (1924)	1通・墨書	5-30-1
書簡〔日本の近況、阿片問題など〕 和郎→守屋栄夫	大正13年6月26日 (1924)	1通・ペン	85-10-105
書簡〔世情についての思い他〕 和郎→守屋栄夫	大正13年10月27日 (1924)	1通・ペン	85-10-103
書簡〔英米仏蘭委員作成の旅旅行計画ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年カ2月28日 (1926)	1通・ペン	85-8-18

書簡〔国民軍大敗により旅行予定に影響〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年4月15日 (1926)	1通・ペン・活版	85-3-2-20
書簡〔上海到着、滞在の予定〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年5月25日 (1926)	1通・ペン	84-3-127
書簡〔西湖滞在、上海帰省〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年5月30日 (1926)	1通・ペン	84-3-118
書簡〔奉天到着、知己的な交歓〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年6月5日 (1926)	1通・ペン	84-3-125
書簡〔旅行終了後の予定につき報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年6月18日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-3
書簡〔緊急に7月下旬に帰国する〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年6月23日 (1926)	1通・ペン	85-3-6-14
葉書〔会議終了にて出帆〕 和郎→守屋栄夫	大正15年9月18日 (1926)	1枚・ペン	86-241
書簡〔家族の近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正15年12月4日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-36
書簡〔支那の近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和1年12月27日 (1926)	1通・ペン	85-3-1-41
書簡〔航海出発時のトラブル、無事上海へ向かう〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年3月23日 (1927)	1通・ペン	85-9-75
書簡〔香港到着、近況報告〕 和郎→守屋栄夫	昭和2年3月29日 (1927)	1通・ペン	85-9-70
葉書〔香港を出てサイゴンに到着する近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年4月1日 (1927)	1枚・ペン	85-9-86
書簡〔シンガポール到着〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年4月7日 (1927)	1通・ペン	84-1-71
書簡〔ロンドン到着〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年4月12日 (1927)	1通・ペン	84-5-23
葉書〔スエズ到着につき挨拶状〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年4月24日 (1927)	1枚・ペン	86-150
書簡〔ロンドンへ向かう旅の途中、お守り御礼〕 和郎→守屋栄夫	昭和2年4月25日 (1927)	1通・ペン	85-9-13
葉書〔パリより挨拶状〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年5月2日 (1927)	1枚・ペン	86-151
葉書〔ロンドン到着につき挨拶状〕 和郎→守屋栄夫	昭和2年5月9日 カ (1927)	1枚・ペン	86-144
書簡〔手紙の御礼、ロンドンの様子〕 守屋和郎カ→守屋栄夫	昭和2年5月23日 (1927)	1通・ペン	84-5-1
書簡〔徳夫がロンドンに到着〕 守屋和郎・徳夫→守屋栄夫	昭和2年7月17日 (1927)	1通・ペン	84-3-102
書簡〔ロンドン赴任など、自宅借家人を搜索依頼〕 和郎→守屋栄夫	昭和2年7月18日 (1927)	1通・ペン	85-9-11
葉書〔ロンドン近況、周囲の人事〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年9月9日 (1927)	1枚・ペン	84-1-123
書簡〔ロンドンでの近況報告〕 和郎→守屋栄夫	昭和2年10月5日 (1927)	1通・ペン	85-9-22
書簡〔ロンドンの様子ほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年11月13日 (1927)	1通・ペン	84-3-67
書簡〔総選挙について〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和2年11月25日 (1927)	1通・ペン	85-7-3-33

書簡〔クリスマスカード〕 Waro→守屋栄夫	昭和2年12月23日 (1927)	1通・ペン	83-8-8
電報〔選挙結果照会〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和3年2月21日 (1928)	1通・カーボン	7-147-87
葉書〔将来の政治生活の幸福を祈念〕 和郎→守屋栄夫	昭和3年6月19日 (1928)	1枚・ペン	86-322-141
書簡〔ロンドンより近況報告〕 和郎→守屋栄夫	昭和3年8月10日 (1928)	1通・ペン	86-325-75
書簡〔労働党年次大会参加〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和3年10月3日 (1928)	1通・ペン	84-3-38
葉書〔英国無事帰着にて挨拶状〕 和郎→守屋栄夫	昭和3年12月4日 (1928)	1枚・ペン	86-322-153
書簡〔母の訃報に際してほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和4年3月5日 (1929)	1通・ペン	6-59-27
書簡〔母の葬儀〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和4年4月8日 (1929)	1通・ペン	6-59-1
書簡〔万国郵便会議、成田君来英、ロンドンの近況〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和4年5月15日 (1929)	1通・ペン	84-6-45
書簡〔ロンドン近況〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和4年7月25日 (1929)	1通・ペン	84-1-55
葉書〔帰郷の件詫び言〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和4年8月15日 (1929)	1枚・ペン	85-4-1-9
書簡〔遊説御見舞い、近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和4年8月21日 (1929)	1通・ペン	85-4-1-10
書簡〔上海到着、同行外務官僚の日程〕 守屋和郎→守 屋栄夫	昭和4年10月5日 (1929)	1通・ペン	5-8-8
葉書〔上海で独り留守〕 守屋和郎→守屋栄夫・よしみ	昭和4年10月28日 (1929)	1枚・ペン	86-324-71
書簡〔12日帰京、1月は内地で過ごす予定〕 守屋和郎→ 守屋栄夫	昭和5年1月17日 (1930)	1通・墨書	84-1-37
書簡〔選挙について、近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和5年3月4日 (1930)	1通・墨書	10-405-42
書簡〔母の法事について〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和5年3月26日 (1930)	1通・ペン	10-405-38
書簡〔中国大陸の戦況、上海の様子〕 守屋和郎→守屋栄 夫	昭和5年カ6月10日 (1930)	1通・ペン	84-4-10
葉書〔機嫌伺い〕 和郎→守屋栄夫	昭和5年カ8月11日 (1930)	1枚・ペン	86-322-282
葉書〔青島訪問、ご機嫌伺い〕 和郎→守屋栄夫・よしみ	昭和5年8月26日 (1930)	1枚・ペン	86-322-267
書簡〔学問について近況報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和6年6月19日 (1931)	1通・墨書	84-30-8
書簡〔残金100円かつ子より提出ほか〕 守屋和郎→守 屋栄夫	昭和6年8月13日 (1931)	1通・ペン	86-348-30
書簡〔中国情勢に関し政友会政策提案〕 和郎→守屋栄 夫	昭和6年カ10月4日 (1931)	1通・ペン	86-322-168
書簡〔亡き母と兄を思う歌〕 和郎→守屋栄夫	昭和6年10月10日 (1931)	1通・墨書	86-358-21
書簡〔弾丸下で任務、上海市内外混雑〕 守屋和郎→守 屋栄夫	昭和7年2月2日 (1932)	1通・墨書	83-1-5
書簡〔陸軍と連携、公使館・陸軍に勤務〕 守屋和郎→守 屋栄夫	昭和7年2月15日 (1932)	1通・墨書	83-1-8
書簡〔上海にて陸軍軍事行動開始ほか〕 守屋和郎→守 屋栄夫	昭和7年2月20日 (1932)	1通・墨書	83-1-4

書簡〔公使看護のため多忙〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和7年6月18日(1932)	1通・墨書	84-13-4
書簡〔福州排日運動に心労〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和7年10月17日 (1932)	1通・墨書	83-1-17
書簡〔艦長草鹿大佐上京の際面会依頼〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和7年11月9日(1932)	1通・墨書	83-4-39
書簡〔新年挨拶、政局変化の不安〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和8年1月12日(1933)	1通・墨書	84-28-8
書簡〔高橋氏長男就職斡旋依頼〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和8年3月17日(1933)	1通・墨書	83-12-11
書簡〔排日の状況、経郎が台北一中入学〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和8年4月11日(1933)	1通・墨書	84-10-4
書簡〔盲腸を患い手術致すほか〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和8年8月3日(1933)	1通・墨書	84-18-36
葉書〔東京滞在決定につき報告〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正 1月5日	1枚・墨書	82-3-252
書簡〔インフル罹患、名刺「今野亀道」〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正 6月12日	1通・ペン	9-17-13
書簡〔細川氏の苦悩〕 守屋和郎→守屋栄夫	大正 7月12日	1通・墨書	6-53-21
書簡〔立憲政友会入党につき健闘祈願〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和 12月25日	1通・ペン	10-403-18
書簡〔治外法権、英米仏蘭、選挙〕 守屋和郎→守屋栄夫	昭和 12月26日	1通・ペン	84-1-30
書簡〔徳夫20日到着の場合出迎え不可能〕 守屋和郎→守屋栄夫	1月22日	1通・ペン	81-645
書簡〔ハルビンの夏の様子〕 守屋和郎→守屋栄夫	6月7日	1通・ペン	84-3-117
書簡〔酒の摂取抑制、運動の推奨〕 守屋和郎→守屋栄夫	10月15日	1通・ペン	7-147-158
書簡〔人民革命政府に対する見解〕 守屋和郎→守屋栄夫	12月12日	1通・ペン	84-17-1
書簡〔大日本雄弁会出版物掲載のお祝い〕 守屋和郎→守屋栄夫		1通・墨書	6-46-32
葉書〔記載なし、絵はがき「古川諏訪公園」〕 守屋和郎→守屋栄夫		1枚・墨書	9-23-41
書簡〔女中雇用〕 守屋和郎→守屋賀久治	大正10年8月28日 (1921)	1通・ペン	9-23-174
葉書〔関東庁外事課長兼任〕 守屋和郎→守屋しゆん	大正12年8月21日 (1923)	1枚・活版・墨書 ・ペン	18-14-192-20
葉書〔落胆せず勉学に励むべき旨挨拶状〕 守屋和郎→守屋節夫	大正8年カ8月6日 (1919)	1枚・墨書	18-14-192-52
書簡〔封筒のみ〕 守屋和郎〔関東庁新旅順〕→守屋節夫	大正9年10月3日(1920)	1通・墨書	9-23-156
葉書〔年賀状〕 守屋和郎→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書・活版	9-23-138
葉書〔予備試験合格祝状、聖書の一節〕 守屋和郎→守屋そのへ・鈴木とも	大正2年2月17日(1913)	1枚・ペン	9-23-27
葉書〔近況報告、菊池氏徳夫宛伝言〕 守屋和郎→守屋徳夫	大正2年4月11日(1913)	1枚・ペン	9-23-5
葉書〔近況報告〕 守屋和郎→守屋徳夫	大正9年1月25日(1920)	1枚・ペン	82-3-311

書簡〔コロソ到着〕 守屋和郎→守屋徳夫	昭和2年カ4月12日 (1927)	1通・ペン	84-1-64
書簡〔和歌5首〕 守屋和郎→守屋徳夫	11月18日	1通・ペン・印刷	81-686
葉書〔北京の様子、甥への励まし〕 守屋和郎→守屋伴男	大正14年11月3日 (1925)	1枚・ペン	85-10-54
葉書〔仙台下宿到着通知〕 守屋和郎→守屋ひでを	大正1年9月11日 (1912)	1枚・墨書	9-23-59
書簡〔餅受領、詩の紹介、聖書の一節〕 守屋和郎→守屋ひでを	大正2年2月11日 (1913)	1通・墨書	9-23-67
葉書〔佐々木君内地帰還、旅順より近況〕 守屋和郎→守屋ひでを・よしみ	大正11年4月19日 (1922)	1枚・ペン	78-3-38
葉書〔英国皇帝謁見式〕 守屋和郎→守屋ひでお	昭和2年5月27日 (1927)	1枚・ペン	84-5-5
葉書〔近況報告〕 守屋和郎→守屋よしみ	明治44年4月16日 (1911)	1枚・墨書	81-577
書簡〔大風雨により故山の家屋被害ほか〕 守屋和郎→守屋よしみ	大正6年10月8日 (1917)	1通・墨書	81-380
葉書〔信州戸隠村の近況報告〕 守屋和郎→守屋よしみ	大正7年7月30日 (1918)	1枚・ペン	82-3-69
書簡〔信州戸隠の生活〕 守屋和郎→守屋よしみ	大正7年8月18日 (1918)	1通・墨書	5-6-42
葉書〔正月は北京で〕 和郎→守屋よしみ	大正14年11月3日 (1925)	1枚・ペン	85-10-55
葉書〔日墨委員の件〕 和郎→守屋よしみ	大正15年カ10月15日 (1926)	1枚・ペン	86-164
書簡〔ロンドン赴任時の様子、家族の心配事〕 和郎→守屋よしみ	昭和2年5月9日 (1927)	1通・ペン	85-9-14
葉書〔ロンドン到着、生活の様子〕 守屋和郎→守屋よしみ	昭和2年9月21日 (1927)	1枚・ペン	84-1-120
書簡〔経郎の入学〕 守屋和郎→守屋よしみ	昭和2年11月1日 (1927)	1通・ペン	84-3-69
葉書〔年賀状〕 守屋和郎→守屋よしみ	昭和3年2月14日 (1928)	1枚・ペン	10-408-67
書簡〔震災見舞状、小生転勤の相談〕 守屋和郎→守屋よしみ	大正 10月10日	1通・墨書	18-14-192-38

発信：守屋節夫

書簡〔浦和での近況報告〕 守屋節夫・伴男・明男・照子→守屋栄夫	大正12年5月29日 (1923)	1通・ペン	80-1-4-10
書簡〔小生の醜聞は誤解につき〕 守屋節夫→守屋栄夫	大正15年5月5日 (1926)	1通・ペン	78-23-35
書簡〔お兄様に会うことの拒む経緯〕 守屋節夫→守屋栄夫	大正15年11月22日 (1926)	1通・ペン	85-3-4-17
書簡〔胃腸カタルと盲腸炎になり借金依頼〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和2年2月28日 (1927)	1通・ペン	85-9-64
書簡〔千葉昂就職斡旋依頼〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和2年12月8日 (1927)	1通・ペン・墨書	85-7-7-18
書簡〔選挙戦に対する応援〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和3年1月24日 (1928)	1通・ペン	10-209

書簡 / 家族

書簡〔経済的理由にて樺太で苦勞ほか〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和3年12月8日(1928)	1通・ペン	10-413-13
書簡〔樺太冷蔵株式会社の営業不振ほか〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年2月26日(1929)	1通・ペン	6-56-11
電報〔守屋節夫乗船遅延連絡〕 守屋節夫→モリヤサコウ	昭和4年3月7日(1929)	1通・謄写・墨書	5-27-12
書簡〔樺太庁役人への就職斡旋依頼〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年5月8日(1929)	1通・ペン	85-4-2-2
葉書〔鯉一本送付〕 守屋節夫→守屋栄夫・よしみ	昭和4年6月9日(1929)	1枚・ペン	86-322-119
葉書〔所属する樺太の冷蔵会社解散、退職〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年7月8日(1929)	1枚・ペン	84-6-15
書簡〔樺太庁入庁活動、冷凍会社退職〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年7月11日(1929)	1通・ペン	9-21-4
書簡〔退職後の生活と樺太庁入庁に際し〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年7月28日(1929)	1通・ペン	5-17-4
書簡〔樺太庁入り絶望ほか〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年9月8日(1929)	1通・ペン	6-56-48-14
書簡〔家族の近況報告〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年9月30日(1929)	1通・ペン	85-4-6-16
書簡〔小野寺鯉一氏を樺太の出張所長に斡旋願い〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年10月1日(1929)	1通・ペン	85-4-5-25
葉書〔樺太での生活を希望〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年10月2日(1929)	1枚・ペン	86-324-39
書簡〔樺太庁巡查就任〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年11月1日(1929)	1通・ペン	86-324-95
葉書〔金の貸与依頼〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年11月9日(1929)	1枚・ペン	86-324-100
書簡〔樺太庁豊原警察署にて金子受取り〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和4年11月20日(1929)	1通・ペン	5-31-1
書簡〔健康および当選祈願〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和5年1月23日(1930)	1通・ペン	10-403-33
書簡〔樺太経済状況、近況報告〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和6年4月22日(1931)	1通・ペン	86-354-40
書簡〔課長辞職勧告で人事混乱〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和6年9月26日(1931)	1通・ペン	86-358-31
書簡〔樺太住民政友会内閣成立祝福ほか〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和6年12月15日(1931)	1通・ペン	86-346-52
書簡〔組合について意見〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和8年7月12日(1933)	1通・ペン	84-26-28
書簡〔佐藤みつをの借金につき〕 守屋節夫→守屋栄夫	昭和8年11月26日(1933)	1通・ペン	84-29-21
葉書〔西ヶ原の景況報告〕 守屋節夫→守屋しゅん	大正12年6月6日(1923)	1枚・ペン	18-14-192-29
葉書〔馬放へ帰郷予定につき挨拶状〕 節夫→守屋しゅん	大正14年カ5月13日(1925)	1枚・ペン	18-14-192-44
葉書〔地久節にて挨拶状〕 守屋節夫→守屋しゅん	大正15年カ6月25日(1926)	1枚・ペン	18-14-192-19
書簡〔帰省のための金銭送付につき依頼〕 守屋節夫→守屋しゅん	大正15年カ7月10日(1926)	1通・ペン	18-14-192-32
葉書〔大鏡の本送付依頼(独語)〕 守屋節夫→守屋伴男	大正10月9日	1枚・ペン	18-14-192-64
葉書〔お土産御礼〕 守屋節夫→守屋よしみ	大正7年8月5日(1918)	1枚・ペン	82-3-70

書簡〔温泉旅行経費、子供の生活関係〕 守屋節夫→母上様	大正10年7月30日 (1921)	1通・ペン	9-23-159
書簡〔姉よしみへ家を出た事への詫び状〕 守屋節夫→守屋よしみ	大正15年5月12日 (1926)	1通・ペン	85-3-6-18
葉書〔南樺太知取到着〕 節夫→守屋よしみ	昭和3年9月6日 (1928)	1枚・ペン	86-325-85
葉書〔樺太大泊着〕 守屋節夫→守屋よしみ	昭和4年4月4日 (1929)	1枚・ペン	86-327-22
書簡〔式家氏町会議員当選〕 守屋節夫→守屋よしみ	昭和4年9月12日 (1929)	1通・ペン	6-56-48-1
葉書〔樺太での近況報告〕 守屋節夫→守屋よしみ	昭和6年4月11日 (1931)	1枚・ペン	86-322-175
葉書〔樺太に宮城県の移民団体に到着〕 守屋節夫→守屋よしみ	5月1日	1枚・ペン	84-6-52
葉書〔豊原到着、挨拶状〕 守屋節夫→守屋好		1枚・ペン	84-12-3
書簡〔試験の概要と準備状況〕 守屋節夫→守屋和郎	大正8年6月1日 (1919)	1通・墨書・ペン	5-26-36
葉書〔近況報告〕 守屋節夫→守屋和郎	大正	1枚・ペン	9-23-172

発信：守屋（堀越）つらね

葉書〔瀬峯到着通知〕 つらね→守屋ひでを	大正1年11月16日 (1912)	1枚・ペン	9-23-86
書簡〔一次試験合格祝状、近況報告〕 堀越つらね→守屋そのへ	大正2年2月25日 (1913)	1通・墨書	9-23-68
葉書〔合格祝状〕 姉→守屋園枝・鈴木友子	大正2年3月15日 (1913)	1枚・ペン	9-23-15
書簡〔娘をはじめ家族の近況報告〕 つらね	大正6年1月8日 (1917)	1通・墨書	84-20-146

発信：守屋（成田）園枝

葉書〔裁縫の材料依頼〕 守屋そのへ→堀越つらね	大正	1枚・ペン	18-14-192-13
書簡〔学校生活と姉の近況報告〕 守屋そのへ→守屋栄夫	大正6年1月15日 (1917)	1通・墨書	84-20-125
書簡〔赴任地発表の音沙汰なく心配ほか〕 守屋園枝→守屋栄夫	大正6年3月28日 (1917)	1通・墨書	84-20-90
書簡〔赴任地未だ不確かほか〕 守屋そのへ→守屋栄夫	大正6年3月30日 (1917)	1通・墨書	84-20-89
書簡〔欠かさず学校出勤ほか〕 守屋そのへ→守屋栄夫	大正6年4月25日 (1917)	1通・墨書	84-20-111
書簡〔自助館負債等により近々倒れる由〕 守屋園枝→守屋栄夫	大正8年2月2日 (1919)	1通・墨書	84-19-4
葉書〔詩的な海の神秘に私も浸りたい〕 成田園枝→守屋貞子	2月17日	1枚・ペン	78-3-66
葉書〔専造の娘の件相談〕 成田園枝→守屋しゅん	大正13年カ3月20日 (1924)	1枚・ペン	18-14-193-12
書簡〔観劇音楽鑑賞等近況報告〕 守屋園枝→守屋ひでを・母	大正9年5月27日 (1920)	1通・墨書	9-23-179
葉書〔菓子恵贈御礼、小包発送〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年6月6日 (1920)	1枚・墨書	9-23-107

葉書〔近況報告、女中の件〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年7月12日(1920)	1枚・ペン	9-23-121
書簡〔恵贈品への礼状〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年8月4日(1920)	1通・墨書	9-23-166
書簡〔和郎・節夫らの近況報告〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年8月10日(1920)	1通・墨書	9-23-164
葉書〔新居環境報告〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年8月16日(1920)	1枚・ペン	9-23-114
葉書〔女中の見当、近況報告〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年8月22日(1920)	1枚・ペン	9-23-92
葉書〔家族病状、菓子送付予定〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年9月6日(1920)	1枚・ペン	9-23-123
書簡〔近況報告〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年9月15日(1920)	1通・墨書	9-23-158
書簡〔近況報告〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正9年9月30日(1920)	1通・墨書	9-23-157
葉書〔返書、依頼の衣類送付〕 守屋そのへ→守屋ひでを	大正9年20日(1920)	1枚・墨書	9-23-95
葉書〔梅干し送付依頼〕 成田園枝→守屋ひでを	大正10年7月31日(1921)	1枚・ペン	9-23-102
葉書〔兄嫁様方に早く会いたく〕 成田園枝→守屋秀越	大正10年9月23日(1921)	1枚・墨書	78-3-76
葉書〔学姉様方も御帰京の際よろしく〕 成田園枝→守屋秀越	大正10年9月27日(1921)	1枚・ペン	78-3-79
葉書〔朝鮮の兄様・よしみ様・和郎の近況〕 成田園枝→守屋ひでを	大正 5月22日	1枚・ペン	78-3-27
書簡〔正坊無事着、恵贈品御礼〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正 8月30日	1通・ペン	9-23-125
書簡〔近況報告〕 守屋園枝→守屋ひでを	大正 10月7日	1通・墨書	9-23-161
葉書〔近況伺い、兄上様のご上京につき〕 成田その枝→守屋ひでを	11月2日	1枚・ペン	78-3-84
書簡〔学費・卒業・進路について報告〕 守屋園枝→守屋よしみ	大正6年2月26日(1917)	1通・墨書	84-20-116
書簡〔二又の伯母方にての近況報告〕 守屋園枝→守屋よしみ	大正8年10月21日(1919)	1通・墨書	83-2-14
葉書〔夫成田の病状報告〕 成田園枝→守屋よしみ	大正15年6月3日(1926)	1枚・ペン	85-3-8-28
書簡〔近況報告、訪問予定〕 成田園枝→守屋よしみ	大正15年8月23日(1926)	1通・ペン	85-3-7-9
書簡〔家族の近況報告〕 成田園枝→守屋よしみ	大正15年11月23日(1926)	1通・墨書	85-3-4-21
葉書〔一の宮で静養〕 成田園枝→守屋よしみ	昭和9年カ8月20日(1934)	1枚・ペン	86-322-171
書簡〔結婚式参列等の報告〕 成田園枝→守屋よしみ	5月29日	1通・ペン	85-3-8-22

発信：守屋伴男

書簡〔木の崎へ行けず〕 伴→守屋栄夫	大正6年1月31日(1917)	1通・ペン	81-138
書簡〔出雲大社参拝〕 伴→守屋栄夫	大正6年2月3日(1917)	1通・ペン	81-145
書簡〔写真別便にて送付〕 伴→守屋栄夫	大正6年3月9日(1917)	1通・ペン	81-160
葉書〔栄転祝い〕 伴→守屋栄夫	大正6年5月5日(1917)	1枚・ペン	81-185

葉書〔高角山柿本神社より挨拶状〕 伴→守屋栄夫	大正6年5月6日(1917)	1枚・墨書	81-184
葉書〔挨拶状〕 伴→守屋栄夫	大正6年6月15日(1917)	1枚・ペン	81-215
書簡〔富田八幡宮の由来〕 伴→守屋栄夫	大正6年9月22日(1917)	1通・ペン	81-11
書簡〔家族の近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	大正8年2月3日(1919)	1通・墨書	84-9-6
書簡〔中身欠〕 守屋伴男→守屋栄夫	大正10年1月8日(1921)	1通・墨書	6-53-9
書簡〔書初め「弥栄」「強弱」「日ノ出」〕 守屋伴男→守屋栄夫	大正11年1月4日(1922)	1通・墨書	9-19-2
書簡〔年始の留守家族の近況〕 守屋伴男・正男・好→守屋栄夫	大正11年1月4日(1922)	1通・墨書	9-19-1
書簡〔母上女子を出産、万里子と命名〕 守屋伴男・節夫→守屋栄夫	大正12年6月5日(1923)	1通・ペン	80-1-4-12
書簡〔正男の葬式について〕 守屋伴男→守屋栄夫	大正12年8月9日(1923)	1通・ペン	80-1-4-16
書簡〔父の帰郷を待つ、化粧沼訪問の感想〕 守屋伴男→守屋栄夫	大正14年カ10月(1925)	1通・ペン	85-10-49
葉書〔近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	大正15年1月24日(1926)	1枚・ペン	85-7-5-13
葉書〔胃の療養の状況につき報告〕 伴男→守屋栄夫	大正15年10月16日(1926)	1枚・ペン	86-249
葉書〔小包受取り、法事の件承知〕 伴男→守屋栄夫	大正15年11月3日(1926)	1枚・ペン	86-269
葉書〔徴兵検査手続依頼ほか問い合わせ〕 伴男→守屋栄夫	昭和2年1月17日(1927)	1枚・ペン	86-322-110
葉書〔亡き裕子お悔やみ〕 伴男→守屋栄夫	昭和2年4月21日(1927)	1枚・ペン	85-9-80
葉書〔近況報告、小遣い送金願い〕 伴男→守屋栄夫	昭和2年8月28日(1927)	1枚・ペン	85-9-7
葉書〔試験の結果が駄目だったので苦しい〕 伴男→守屋栄夫	昭和2年9月14日(1927)	1枚・ペン	85-9-48
書簡〔父選挙の出馬に関し〕 伴男→守屋栄夫	昭和2年10月10日(1927)	1通・ペン	85-9-45
葉書〔木村氏来訪他近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和2年12月13日(1927)	1枚・ペン	85-7-7-24
書簡〔高橋喜一郎氏援助の必要〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和4年2月1日(1929)	1通・ペン	6-56-26
書簡〔子供達から父への手紙〕 守屋俱男・明男・越男・照子→守屋栄夫	昭和4年3月29日(1929)	1通・ペン	85-4-3-2
書簡〔学業と近況報告〕 俱男→守屋栄夫	昭和4年5月6日(1929)	1通・ペン	85-4-3-17
書簡〔大学の下宿決まった等近況報告〕 俱男→守屋栄夫	昭和4年5月9日(1929)	1通・ペン	85-4-3-7
書簡〔選挙関係の封書送付ほか連絡事項〕 守屋俱男→守屋栄夫	昭和4年9月20日(1929)	1通・ペン	85-4-5-27
書簡〔選挙に関する他近況報告〕 守屋俱男→守屋栄夫	昭和4年10月24日(1929)	1通・ペン	5-31-9
葉書〔受験および上京の件〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和4年12月25日(1929)	1枚・ペン	86-58

書簡〔立憲養正会の演説ほか近況報告〕 守屋倶男→守屋栄夫	昭和4年23日(1929)	1通・ペン	5-31-31
書簡〔昭和連盟ポスターに関してほか〕 守屋倶男→守屋栄夫	昭和5年1月17日(1930)	1通・ペン	84-1-33
葉書〔歯科通院にて治療代送付の願〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和5年3月12日(1930)	1枚・ペン	86-52
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和5年6月4日(1930)	1通・ペン	10-406-37
書簡〔富永の家と周辺の様子〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和5年6月14日(1930)	1通・ペン	84-4-13
葉書〔仙台より挨拶〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和5年9月19日(1930)	1枚・ペン	86-1-91
葉書〔挨拶状〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和5年9月23日(1930)	1枚・ペン	86-1-89
葉書〔下宿料・授業料送付の願〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和5年9月28日(1930)	1枚・ペン	86-1-86
書簡〔台の原散策、絶刷図書の探索願ひ〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和5年9月30日(1930)	1通・ペン	10-50
葉書〔青葉神社の額裏面文字送付〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和5年10月4日(1930)	1枚・ペン	86-1-85
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和5年16日(1930)	1通・ペン	10-406-10
書簡〔縁談の件、遣水氏出不出馬ほか〕 守屋倶男→守屋栄夫	昭和6年1月25日(1931)	1通・ペン	86-359-2
書簡〔縁談話回答、近況報告〕 守屋倶男→守屋栄夫	昭和6年1月29日(1931)	1通・ペン	86-359-1
書簡〔試験勉強開始、選挙支援者リスト〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和6年2月10日(1931)	1通・ペン	86-355-19
葉書〔病気見舞、遣水氏の件報告〕 倶男→守屋栄夫	昭和6年2月16日(1931)	1枚・ペン	86-322-174
書簡〔松田及び吉田両氏の就職斡旋依頼〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和6年2月28日(1931)	1通・ペン	86-357-26
葉書〔無事の帰京祝状、上京予定〕 伴男→守屋栄夫	昭和6年6月20日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-358
書簡〔遣水氏の応援断り決定〕 伴男→守屋栄夫	昭和6年7月15日(1931)	1通・ペン・墨書	86-348-52
書簡〔遠田郡富永村の人間関係など〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和6年8月17日(1931)	1通・ペン	86-348-7
書簡〔父上への近況報告〕 倶男→守屋栄夫	昭和6年10月30日(1931)	1通・ペン	86-346-23
書簡〔選挙の下準備につき報告〕 トモヲ→守屋栄夫	昭和6年11月8日(1931)	1通・ペン	86-347-37
書簡〔再び塩釜の家に下宿〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和6年12月8日(1931)	1通・ペン	86-347-1
書簡〔遣水氏立候補の風評、選挙戦略〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和6年12月27日(1931)	1通・ペン	86-347-30
書簡〔政友支部総会出席勧誘〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和7年1月4日(1932)	1通・ペン	84-24-23
書簡〔代議士選挙に関し仙台市後援者内紛報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和7年2月26日(1932)	1通・ペン	83-1-1
書簡〔藤島横領詐欺、小野寺・遊佐告訴〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和7年4月11日(1932)	1通・ペン	83-1-52
書簡〔樺太木材払下げ、山田氏へ伝言〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和7年9月27日(1932)	1通・ペン	83-11-32

書簡〔地元事情報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和7年10月19日 (1932)	1通・ペン	83-1-18
葉書〔菊池の件、小牛田木村君就職依頼〕 守屋伴男→ 守屋栄夫	昭和7年10月25日 (1932)	1枚・ペン	83-1-34
葉書〔小野氏息村葬、8日の来臨を乞う〕 守屋伴男→守 屋栄夫	昭和7年10月26日 (1932)	1枚・ペン	83-1-33
葉書〔山形の小野信雄氏死去につき報告〕 守屋伴男→ 守屋栄夫	昭和7年11月9日 (1932)	1枚・ペン	83-4-7
書簡〔椎名氏御願いの許可の件に関する親展状況ほ か〕 伴男→守屋栄夫	昭和7年11月13日 (1932)	1通・ペン	83-4-38
書簡〔選挙に向けて各氏への手紙督促〕 守屋伴男→守 屋栄夫	昭和8年1月15日 (1933)	1通・ペン	84-28-5
書簡〔家族の近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和8年1月17日 (1933)	1通・ペン	85-5-17
書簡〔家族の近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和8年1月23日 (1933)	1通・ペン	85-5-9
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和8年7月19日 (1933)	1通・ペン	84-26-23
書簡〔喧嘩傷害示談とする〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和8年8月25日 (1933)	1通・ペン	84-18-40
葉書〔ご安否伺い〕 守屋伴男→守屋栄夫	昭和8年9月5日 (1933)	1枚・ペン	84-18-39
書簡〔土地権利問題、保険解約希望者〕 守屋伴男→守 屋栄夫	昭和8年16日 (1933)	1通・ペン	84-21-10
書簡〔冬休み終了と江の島から帰宅〕 守屋伴男→守屋 栄夫	1月8日	1通・墨書	6-53-12
書簡〔仙南の座談会の件〕 伴男→守屋栄夫		1通・墨書	83-4-23
葉書〔年賀状〕 守屋伴男→守屋節夫	大正10年1月1日 (1921)	1枚・墨書	9-23-131
葉書〔試験の状況報告〕 伴男→守屋節夫	大正13年3月19日 (1924)	1枚・ペン	18-14-193-7
書簡〔馬放に里帰り〕 守屋伴男→守屋よしみ	大正6年7月30日 (1917)	1通・ペン	81-35
葉書〔近況報告〕 伴男→守屋よしみ	大正14年11月6日 (1925)	1枚・ペン	85-10-50
葉書〔ボート競技出場にて勉強できず〕 守屋伴男→守 屋好	大正15年5月29日 (1926)	1枚・ペン	85-3-8-27
葉書〔仙台で勉強に励んでいる〕 守屋伴男→守屋好	大正15年6月2日 (1926)	1枚・ペン	85-3-8-26
書簡〔仙台での近況報告〕 守屋伴男→守屋好	大正15年6月22日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-2
葉書〔胃病養生の件〕 伴男→守屋好	大正15年10月3日 (1926)	1枚・ペン	86-234
葉書〔裕子葬儀の感想〕 守屋伴男→守屋好	昭和2年3月15日 (1927)	1枚・ペン	85-9-3
葉書〔春の光の中の情景〕 伴男→守屋好	昭和2年4月12日 (1927)	1枚・ペン	85-9-85
葉書〔家族を案ずる、兵隊検査通知〕 伴男→守屋好	昭和2年4月27日 (1927)	1枚・ペン	85-9-81
葉書〔近況報告、汽車貸送付願い〕 伴男→守屋好	昭和2年7月1日 (1927)	1枚・ペン	85-9-10
葉書〔元気回復、宿代送付願い〕 伴男→守屋好	昭和2年7月3日 (1927)	1枚・ペン	85-9-21

葉書〔帰省予定、送金願い〕 伴男→守屋好	昭和2年7月5日(1927)	1枚・ペン	85-9-20
葉書〔母への御礼、近況報告〕 伴男→守屋好子	昭和2年8月27日(1927)	1枚・ペン	85-9-8
葉書〔試験の結果が思わしくなかった〕 伴男→守屋好	昭和2年9月14日(1927)	1枚・ペン	85-9-47
葉書〔鈴木文治の応援演説を聴く〕 伴男→守屋好	昭和2年9月18日(1927)	1枚・ペン	85-9-49
葉書〔お金を二拾円ほど送ってほしい〕 伴男→守屋好	昭和2年9月29日(1927)	1枚・ペン	85-9-52
葉書〔書留到着、久子叔母さんを訪ねた〕 伴男→守屋好	昭和2年10月2日(1927)	1枚・ペン	85-9-51
書簡〔母に薬代を送ってほしい〕 伴男→守屋好	昭和2年10月20日(1927)	1通・ペン	85-9-44
葉書〔近況報告〕 伴男→守屋好	昭和2年10月28日(1927)	1枚・ペン	85-9-33
葉書〔来仙予定照会、守屋に関する新聞記事切り抜き〕 守屋伴男→守屋好	昭和2年11月16日(1927)	1枚・ペン	84-1-117
葉書〔下宿先転居の可能性〕 伴男→守屋好	昭和3年4月21日(1928)	1枚・ペン	86-329-15
葉書〔入試への決意〕 伴男→守屋好	昭和4年1月23日(1929)	1枚・ペン	86-328-22
葉書〔ご機嫌伺い〕 トモヲ→守屋好	昭和4年5月8日(1929)	1枚・ペン	86-324-14
葉書〔大学の下宿決まった等近況報告〕 俱男→守屋好	昭和4年5月9日(1929)	1枚・ペン	85-4-3-8
葉書〔富永に墓参に行く〕 守屋伴男→守屋好	昭和4年6月15日(1929)	1枚・ペン	84-6-16
葉書〔送金依頼〕 トモヲ→守屋好	昭和4年6月25日(1929)	1枚・ペン	86-324-49
葉書〔暑中見舞い〕 トモヲ→守屋好	昭和4年7月19日(1929)	1枚・ペン	86-324-10
葉書〔近況報告〕 トモヲ→守屋好子	昭和4年7月26日(1929)	1枚・ペン	86-324-9
葉書〔照子模試祈念、機嫌伺い〕 トモヲ→守屋好	昭和4年10月20日(1929)	1枚・ペン	86-324-60
書簡〔中沢屋断り依頼〕 守屋トモヲ→守屋好	昭和4年29日(1929)	1通・ペン	5-31-5
書簡〔自分の本心と現状分析〕 守屋伴男→守屋好	昭和5年5月17日(1930)	1通・ペン	84-4-4
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋好	昭和5年5月20日(1930)	1通・ペン	10-406-11
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋好	昭和5年7月22日(1930)	1通・ペン	10-406-16
葉書〔父上の病気見舞〕 トモヲ→守屋好	昭和5年8月21日(1930)	1枚・ペン	86-322-173
書簡〔送金依頼〕 守屋俱夫→守屋好子	昭和5年12月カ12日(1930)	1通・ペン	7-147-6
書簡〔強立会共催部設立にて帰省ほか〕 伴男→守屋好	昭和6年7月カ13日(1931)	1通・ペン	86-350-18
書簡〔法文学部長の共済部設立許可〕 伴男→守屋好	昭和6年7月16日(1931)	1通・ペン	86-350-30
書簡〔塩釜着、選挙関係で人々訪問〕 守屋俱男→守屋好	昭和6年12月8日(1931)	1通・ペン	86-347-8
書簡〔父上の来塩下時間伺い〕 守屋伴男→守屋好	昭和6年12月16日(1931)	1通・ペン	86-347-13
書簡〔下宿料ほか送金願い〕 伴男→お母上	昭和6年カ(1931)	1通・ペン	86-358-22

書簡〔嘉吉から借金の要望〕 守屋伴男→守屋好	昭和7年1月7日(1932)	1通・ペン	84-24-22
書簡〔家族の近況報告〕 守屋伴男・明男→守屋好	昭和8年1月20日(1933)	1通・ペン	85-5-13
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋好	昭和8年5月15日(1933)	1通・墨書・ペン	84-11-6
葉書〔関君に食料配達依頼〕 守屋伴男→守屋好	昭和8年5月31日(1933)	1枚・ペン	84-27-18
書簡〔近況報告〕 守屋伴男→守屋好子	昭和8年7月6日(1933)	1通・ペン	84-26-3
葉書〔16日上京の予定につき報告〕 守屋伴男→守屋好	昭和8年10月7日(1933)	1枚・ペン	84-12-12
書簡〔試験状況、遣水先生宅の選挙準備〕 守屋俱男→守屋好	昭和 24日	1通・ペン	84-1-35
葉書〔試験も近づき近況報告〕 守屋伴男→守屋好	12月3日	1枚・ペン	10-250
葉書〔お体心配、便りがほしい〕 守屋伴男→守屋好	5日	1枚・ペン	85-3-8-25

発信：守屋正男

書簡〔江の島から帰宅〕 守屋正男→守屋栄夫	1月8日	1通・墨書	6-53-11
葉書〔ご機嫌伺い〕 守屋正男→守屋栄夫・ひでを	6月	1枚・ペン	78-3-22
葉書〔健康伺い〕 守屋正男→守屋ひでを	大正10年12月11日(1921)	1枚・ペン	78-3-68

発信：守屋明男

書簡〔家族の近況報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	大正6年6月16日(1917)	1通・墨書	84-7-42
書簡〔愛知県刈谷中学校寄宿舎出納控〕 守屋明男カ→守屋栄夫	大正15年10月12日(1926)	1通・ペン・活版	85-3-3-22
書簡〔手紙と小包御礼、近況報告〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和2年5月10日(1927)	1通・ペン	84-1-58
書簡〔成績反省〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和2年5月23日(1927)	1通・ペン	85-9-16
葉書〔荷物謝礼、修養団の話を聞く〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和2年10月13日(1927)	1枚・ペン	85-9-53
葉書〔父の講演、どてらと菓子御礼〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和2年11月9日(1927)	1枚・ペン	84-1-108
書簡〔近況報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和2年11月(1927)	1通・ペン	85-7-6-6
葉書〔寒中見舞い、近況報告〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和3年1月19日(1928)	1枚・ペン	86-325-25
葉書〔近況報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和3年4月21日(1928)	1枚・ペン	86-329-20
葉書〔刈谷中学校様子、無線電信鉄柱の件〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和3年6月5日(1928)	1枚・ペン	86-322-139
葉書〔宿舍退去可否照会〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和3年10月20日(1928)	1枚・ペン	7-147-183
葉書〔ご機嫌伺い〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年1月23日(1929)	1枚・ペン	86-328-21
葉書〔来週試験〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年2月2日(1929)	1枚・ペン	86-324-28
葉書〔近況報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年2月14日(1929)	1枚・ペン	86-324-35

葉書〔暑中見舞い〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年6月2日(1929)	1枚・ペン	86-322-121
葉書〔学校生活の近況〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年6月16日(1929)	1枚・ペン	84-6-18
書簡〔試験経過報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和4年12月14日(1929)	1通・ペン	5-8-40
書簡〔小包受取の旨〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年1月17日(1930)	1通・ペン	84-1-19
葉書〔挨拶状〕 昭男→守屋栄夫	昭和5年4月11日(1930)	1枚・ペン	86-60
葉書〔浴衣送付の件〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和5年4月30日(1930)	1枚・ペン	86-75
書簡〔小包到着連絡、団体生活の近況報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和5年11月7日(1930)	1通・ペン	9-16-34
葉書〔試験勉強の状況の件〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和5年12月7日(1930)	1枚・ペン	86-1-68
葉書〔刈谷より挨拶状〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和6年1月7日(1931)	1枚・ペン	86-1-60
葉書〔飯岡町での様子〕 昭男→守屋栄夫	昭和6年3月3日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-344
葉書〔入試経過報告〕 昭男→守屋栄夫	昭和6年カ3月18日カ(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-330
葉書〔帰郷報告〕 守屋昭男→守屋栄夫	昭和6年3月21日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-328
書簡〔マルキシズムを精算し中道へ〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和8年2月12日(1933)	1通・ペン	84-8-16
書簡〔帰宅日時など報告〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和8年8月25日(1933)	1通・ペン	84-18-35
書簡〔吉田松陰の伝記などを熟読いたす〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和8年8月31日(1933)	1通・ペン	84-18-46
書簡〔秀彦の病状について、近況報告〕 守屋明男→守屋栄夫・よしみ	昭和8年9月17日(1933)	1通・ペン	84-25-14
葉書〔福島での演習〕 明男→守屋栄夫・よしみ	昭和8年10月3日(1933)	1枚・ペン	86-323-66
書簡〔学校生活の入試準備〕 守屋明男→守屋栄夫・よしみ	昭和8年10月15日(1933)	1通・ペン	8-39
書簡〔帰京報告〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和8年10月30日(1933)	1通・ペン	84-29-2
書簡〔近況報告〕 守屋明男→守屋栄夫	昭和8年11月16日(1933)	1通・ペン	84-29-36
葉書〔近況報告〕 守屋明男→守屋照子・赳男・万里子	昭和3年5月28日(1928)	1枚・ペン	86-323-21
書簡〔学業や体育にはげむ決意〕 守屋明男→守屋伴男	昭和4年4月25日(1929)	1通・ペン	85-4-3-14
書簡〔新学期の様子、近況〕 守屋明男→守屋ひでを	昭和2年4月11日(1927)	1通・ペン	84-1-70
葉書〔刈谷到着につき連絡他〕 守屋明男→守屋ひでを	昭和3年1月8日(1928)	1枚・ペン	10-413-4
葉書〔小包受領〕 守屋明男→守屋ひでを	昭和3年9月24日(1928)	1枚・ペン	7-147-184
書簡〔魚釣り他近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	大正13年7月25日(1924)	1通・ペン	9-22-5

書簡〔魚釣り他近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	大正13年7月25日 (1924)	1通・ペン	9-22
書簡〔刈谷中学校での運動の状況〕 守屋明男→守屋好子	大正15年9月30日 (1926)	1通・ペン	86-235
書簡〔近況報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年2月8日 (1927)	1通・ペン	85-7-5-18
葉書〔近況報告、帰郷につき送金願い〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年2月24日 (1927)	1枚・ペン	85-7-5-26
葉書〔送金の確認、舎監の先生が嫌い〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年4月23日 (1927)	1枚・ペン	85-9-83
葉書〔寄宿舎での近況報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年9月10日 (1927)	1枚・ペン	85-9-46
葉書〔冬シャツ・菓子送付願い〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年9月30日 (1927)	1枚・ペン	85-9-50
葉書〔元気で頑張っている〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年10月22日 (1927)	1枚・ペン	85-9-41
葉書〔父上来訪がうれしい〕 守屋明男→守屋好子	昭和2年10月27日 (1927)	1枚・ペン	85-9-31
葉書〔小包受取他近況報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年1月25日 (1928)	1枚・ペン	10-413-5
葉書〔雄弁会中止〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年5月20日 (1928)	1枚・ペン	86-325-41
葉書〔返信、近況報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年6月25日 (1928)	1枚・ペン	86-323-23
葉書〔刈谷中学校での奮闘の報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年7月12日 (1928)	1枚・ペン	86-322-136
葉書〔刈谷中学校での学校生活の報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年7月15日 (1928)	1枚・ペン	86-322-145
葉書〔仕送り受領、近況報告〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年10月24日 (1928)	1枚・ペン	7-147-180
葉書〔刈谷中学校10周年記念会様子〕 守屋明男→守屋好子	昭和3年10月28日 (1928)	1枚・ペン	7-147-181
葉書〔近況報告〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年2月24日 (1929)	1枚・ペン	86-324-20
葉書〔近況報告〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年2月末日 (1929)	1枚・ペン	86-324-23
葉書〔刈谷着〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年4月4日 (1929)	1枚・ペン	86-327-32
葉書〔送金願い〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年4月6日 (1929)	1枚・ペン	86-327-31
葉書〔弁論会無事終わる〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年5月25日 (1929)	1枚・ペン	84-6-47
葉書〔高商主催県下柔道大会に出場予定〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年6月23日 (1929)	1枚・ペン	84-6-21
葉書〔刈谷中学校での近況報告〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年6月1日 (1929)	1枚・ペン	86-322-120
葉書〔夏休みの課外参加希望〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年6月9日 (1929)	1枚・ペン	84-6-32
葉書〔学校生活の近況〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年6月10日 (1929)	1枚・ペン	84-6-31
葉書〔村上君がチフスで入院〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年6月11日 (1929)	1枚・ペン	84-6-30
葉書〔高等学校への進学希望は断念の件〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年6月11日 (1929)	1枚・ペン	86-322-122

葉書〔柔道試合に代理出場、稽古と勉強に励む〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年7月3日(1929)	1枚・ペン	84-6-6
葉書〔試験準備と帰省の予定〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年7月7日(1929)	1枚・ペン	84-6-8
書簡〔「愛知県刈谷中学校寄宿舎昭和4年7月出納控」・「払込票」他〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年7月16日(1929)	1通・ペン・活版	9-21-17
葉書〔金銭送付への礼、近況報告〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年7月27日(1929)	1枚・ペン	86-324-8
葉書〔金銭送付依頼〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年9月30日(1929)	1枚・ペン	86-324-6
書簡〔寄宿舎出納控〕 守屋昭男(愛知県刈谷中学校寄宿舎)→守屋好子	昭和4年9月30日(1929)	1通・活版・ペン	5-31-11
葉書〔機嫌伺い〕 昭男→守屋好子	昭和4年10月18日(1929)	1枚・ペン	86-324-87
葉書〔小包受領〕 昭男→守屋好子	昭和4年10月28日(1929)	1枚・ペン	86-324-82
葉書〔ご機嫌伺い〕 昭男→守屋好子	昭和4年11月8日(1929)	1枚・ペン	86-324-70
葉書〔ご機嫌伺い〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年11月12日(1929)	1枚・ペン	86-324-77
書簡〔近況報告、作文「再生」〕 昭男→守屋好子	昭和4年12月2日(1929)	1通・ペン	86-324-93
葉書〔試験への決意表明〕 昭男→守屋好子	昭和4年12月6日(1929)	1枚・ペン	86-324-94
書簡〔昭和四年十二月出納控〕 守屋昭男→守屋好子	昭和4年12月17日(1929)	1通・活版	5-14-3
葉書〔下宿料送付の願〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年3月18日(1930)	1枚・ペン	86-47
葉書〔挨拶状〕 昭男→守屋好子	昭和5年4月5日(1930)	1枚・ペン	86-69
葉書〔学校の様子 of 件〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年4月19日(1930)	1枚・ペン	86-64
葉書〔寝間着・シャツ送付の願〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年4月20日(1930)	1枚・ペン	86-65
葉書〔小包送付御礼〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年5月13日(1930)	1枚・ペン	86-1-96
書簡〔学校での様子、弁論会出場の準備〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年5月27日(1930)	1通・ペン	84-4-25
書簡〔学校の競技会の成績報告〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年6月15日(1930)	1通・ペン	84-4-16
書簡〔歯科へ通院〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年6月18日(1930)	1通・ペン	84-4-14
葉書〔歯科通院費について〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年6月21日(1930)	1枚・ペン	84-4-27
書簡〔学資金送付願い他近況報告、領収書〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年7月7日(1930)	1通・ペン・活版	10-411-22
書簡〔家に到着後の近況報告〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年7月22日(1930)	1通・ペン	10-410-11
葉書〔刈谷中学校寄宿舎での近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和5年8月31日(1930)	1枚・ペン	86-322-172
葉書〔数学研究社の通信講座受講希望、受講料送付願い〕 守屋昭男→守屋好子	昭和5年9月10日(1930)	1枚・ペン	86-1-93
葉書〔通信講座料送付の督促〕 守屋昭男→守屋よしみ	昭和5年9月22日(1930)	1枚・ペン	86-1-88
書簡〔恵贈品御礼〕 守屋昭男→守屋よしみ	昭和5年10月3日(1930)	1通・ペン	7-147-160

葉書〔地震での安否などの件〕 守屋昭男→守屋よしみ	昭和5年11月30日 (1930)	1枚・ペン	86-1-72
葉書〔刈谷より挨拶状〕 守屋昭男→守屋よしみ	昭和6年カ1月17日 (1931)	1枚・ペン	86-1-61
書簡〔試験の様子につき景況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和7年7月12日 (1932)	1通・ペン	83-3-25
書簡〔昭和連盟雑誌に寄稿希望〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和7年10月27日 (1932)	1通・ペン	83-1-32
書簡〔友苦境にて下宿へ同居〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和7年11月1日 (1932)	1通・ペン	83-4-18
書簡〔塩釜行きの理由とその資金の援助願い〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和7年11月 (1932)	1通・ペン	83-4-36
書簡〔家族の近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年1月29日 (1933)	1通・ペン	85-5-5
葉書〔近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年5月17日 (1933)	1枚・ペン	84-27-14
葉書〔佐々木潔三郎病氣見舞いほか〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年6月1日 (1933)	1枚・ペン	84-27-19
葉書〔近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年7月9日 (1933)	1枚・ペン	84-26-12
書簡〔近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年7月17日 (1933)	1通・ペン	84-26-19
書簡〔父からの叱責と反省〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年9月6日 (1933)	1通・ペン	84-25-10
書簡〔近況報告〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年9月24日 (1933)	1通・ペン	84-25-15
葉書〔授業料納付、法事不参加の知らせ〕 守屋明男→守屋よしみ	昭和8年9月30日 (1933)	1枚・ペン	84-12-21
書簡〔尾形叔父面会、夏服送付依頼〕 昭男→御母上	5月10日	1通・ペン	7-147-212
葉書〔海軍経理学校入校にて挨拶状〕 守屋明男	昭和13年7月4日 (1938)	1枚・活版	18-14-192-70

発信：守屋尠男

葉書〔ご機嫌伺い〕 尠男→守屋昭夫	昭和4年カ (1929)	1枚・ペン	86-324-19
葉書〔飯岡海岸での近況報告〕 守屋タケヲ→守屋栄夫	昭和2年2月4日 (1927)	1枚・ペン	86-322-108
葉書〔挨拶状〕 守屋尠男→守屋栄夫	昭和2年カ (1927)	1枚・ペン	86-180
書簡〔お悔やみ状〕 守屋猛雄→守屋栄夫	昭和4年3月10日 (1929)	1通・墨書	6-54-14
葉書〔ひなまつりの様子の件につき報告〕 守屋尠男→守屋てる子	昭和2年3月4日 (1927)	1枚・ペン	86-322-92
葉書〔茸取りなど近況報告〕 守屋尠男→守屋よしみ	大正15年カ (1926)	1枚・ペン	86-247
葉書〔お礼状〕 守屋尠男→守屋好子	昭和2年1月10日 (1927)	1枚・ペン	85-7-5-3
葉書〔近況報告〕 守屋尠男→守屋好子	昭和2年 (1927)	1枚・ペン	85-7-5-27
葉書〔飯岡海岸の祭り参加ほか〕 守屋尠男→守屋好子	昭和4月18日	1枚・ペン	86-322-117

発信：その他

葉書〔小包受領〕 兄→守屋越男	昭和4年10月16日 (1929)	1枚・ペン	86-324-83
書簡〔成績報告と英和辞典送付の願い〕 弟→守屋栄夫	明治41年3月20日 (1908)	1通・ペン	6-46-22-2
書簡〔お金と卵の持参願い〕 弟→守屋栄夫		1通・墨書	6-46-28
葉書〔酒本氏袴の件、父チフス病態報告〕 妹→鈴木ま さみ	大正2年4月30日 (1913)	1枚・ペン	9-23-7
書簡〔帰郷のお願い〕 妹→兄上(守屋カ)	9月20日	1通・墨書	6-46-42
書簡〔法律事務所開設につき祝詞〕 守屋東→守屋栄夫	昭和3年5月22日 (1928)	1通・墨書	10-408-150
葉書〔お悔やみ状〕 守屋うめよ→守屋栄夫	大正12年3月16日 (1923)	1枚・ペン	18-14-24
書簡〔借金について〕 守屋栄治→守屋栄夫	昭和2年12月20日 (1927)	1通・墨書	85-7-5-10
書簡〔末弟節夫の学資などについて〕 守屋賀久治→守 屋栄夫	大正15年5月30日 (1926)	1通・ペン	85-3-8-36
書簡〔近況報告、高橋君の口添え依頼〕 守屋賀久治→ 守屋栄夫	昭和2年カ3月27日 (1927)	1通・ペン	85-9-73
書簡〔政治演説と測量の件〕 守屋賀久治→守屋栄夫	昭和4年12月10日 (1929)	1通・墨書	5-14-37
書簡〔議会解散の気配で親類に挨拶回り〕 守屋賀久治 →守屋栄夫	昭和4年12月19日 (1929)	1通・墨書	5-14-17
書簡〔近況報告〕 守屋賀久治→守屋栄夫	昭和8年5月22日 (1933)	1通・ペン	84-27-9
葉書〔台中丸にて瀬戸内海を進む〕 華都子→守屋秀越	大正10年10月6日 (1921)	1枚・ペン	78-3-54
葉書〔大連を経て旅順に到着〕 守屋華都子→守屋秀越	大正10年10月13日 (1921)	1枚・ペン	78-3-6
書簡〔旅程経過通知〕 守屋華都子→守屋栄夫	昭和2年7月22日 (1927)	1通・ペン	85-7-6-28
封筒〔中身欠〕 守屋かつ子→守屋しゅん	12年6月9日	1枚・ペン	18-14-192-22
書簡〔援助の件につき報告〕 守屋勝見→守屋栄夫	昭和7年11月8日 (1932)	1通・墨書	83-4-5
葉書〔暑中見舞い、無事入隊〕 守屋金蔵〔仙台市歩兵第四 連隊第八中隊〕→御家内御中	大正9年7月31日 (1920)	1枚・ペン	9-23-106
葉書〔御企図紹介〕 守屋金蔵→徳永事務長		1枚・墨書	60-10-22
書簡〔貯金通帳〕 守屋久米吉→守屋栄夫	大正6年3月14日 (1917)	1通・墨書	84-20-137
書簡〔鏡類似銅器譲り受けたき旨〕 守屋孝勝→都沢正 章	13年2月16日	1通・墨書・ペン	9-14-50
書簡〔岩倉男爵・中目覚氏ら参会の件〕 守屋孝蔵→守 屋栄夫	昭和3年10月25日 (1928)	1通・墨書・ペン	10-408-147
書簡〔土産物御礼〕 守屋孝蔵→守屋栄夫	昭和3年12月7日 (1928)	1通・墨書	10-408-2
書簡〔選挙費用送付〕 守屋孝蔵→守屋栄夫	昭和5年2月12日 (1930)	1通・墨書	10-409-78

書簡〔近況報告〕 守屋しづか→守屋栄夫	昭和8年11月29日 (1933)	1通・ペン	84-29-23
葉書〔明男の近況報告〕 守屋しづか→守屋栄夫	昭和8年20日(1933)	1枚・ペン	84-21-16
書簡〔家族がお世話になりお礼ほか〕 守屋しづか→ 守屋栄夫	昭和8年1月25日(1933)	1通・ペン	85-5-7
書簡〔趙男合格祝い、身辺報告〕 守屋しづか→守屋栄夫	昭和8年3月26日(1933)	1通・ペン	83-12-24
書簡〔富子と新田婿の件にてしゅん来訪〕 守屋しゅん →守屋栄夫	大正6年1月31日(1917)	1通・墨書	84-20-118
書簡〔当選祝い〕 守屋真→守屋栄夫	昭和5年2月26日(1930)	1通・ペン	10-409-79
書簡〔就職幹旋御礼と結果報告〕 守屋真四郎→守屋栄 夫	昭和8年5月17日(1933)	1通・ペン	84-11-13
書簡〔お悔やみ状〕 守屋孝勝→守屋栄夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-15-44
葉書〔一の宮海岸滞在中〕 守屋照子→守屋栄夫	昭和2年カ(1927)	1枚・ペン	86-182
書簡〔地属登記決定、朝鮮治安問題〕 守屋徳吉→守屋栄 夫/守屋良治	大正10年6月21日 (1921)	1通・墨書	5-29
書簡〔京城在中の対応御礼、官制改正に伴い在京期間 延長〕 守屋徳吉→守屋栄夫	大正10年7月27日 (1921)	1通・墨書	5-5-29
葉書〔無事千葉着にて挨拶〕 守屋とみこ→守屋久米吉	大正3年カ4月21日 (1914)	1枚・墨書	18-14-193-1
書簡〔挨拶状〕 伴吉・為子・喜美→守屋栄夫	大正6年3月18日(1917)	1通・ペン	81-109
書簡〔家族の近況報告〕 守屋久子→守屋栄夫	大正15年11月1日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-13
書簡〔推薦書に貴兄と橋本才輔を記載〕 守屋久太郎→ 津々良麟介	昭和 2月6日	1通・墨書	10-190
書簡〔仮領収証、仙台にて樺太移住民募集、李局長退 官後の後任者について〕 守屋法律事務所→守屋栄夫	昭和4年2月1日(1929)	1通・ペン	6-55-8
書簡〔留守中の様子〕 守屋雅さみ→守屋栄夫・よしみ	大正7年7月18日(1918)	1通・墨書	83-9-25
葉書〔当選祝い〕 守屋マサヨ→守屋栄夫	昭和5年3月1日(1930)	1枚・ペン	7-147-380
葉書〔年賀状〕 守屋亦作→守屋栄夫	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-75
葉書〔一の宮海岸より〕 守屋万里子→守屋栄夫	昭和2年カ8月カ14日 (1927)	1枚・ペン	86-181
葉書〔宮城から千葉への安着通知〕 守屋まりみ→守屋 久米吉・おたき	3年8月7日	1枚・ペン	18-14-192-6
葉書〔忘れ物の送付依頼〕 守屋まりみ→守屋久米吉	3年8月12日	1枚・ペン	18-14-192-8
葉書〔朝鮮の鎮南浦の林檎1箱送付〕 守屋実→守屋栄夫	大正11年5月13日 (1922)	1枚・ペン	78-3-30
葉書〔暑中見舞い〕 守屋実→守屋しゅん	大正11年7月29日 (1922)	1枚・謄写版・ペ ン	18-14-192-28
書簡〔大阪訪問、朝鮮に帰る〕 守屋実→守屋栄夫	昭和2年12月9日(1927)	1通・ペン	84-3-110
葉書〔当選祝い〕 守屋実→守屋栄夫	昭和3年2月21日(1928)	1枚・ペン	7-147-296
書簡〔お悔やみ状〕 守屋実→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	5-12-68

書簡 / 家族

書簡〔保険金送付につき報告〕 守屋実→守屋栄夫	昭和8年12月19日 (1933)	1通・ペン	18-14-201-1
書簡〔園枝の病気の経過ほか〕 守屋やすゑ→守屋栄夫	大正6年4月23日 (1917)	1通・墨書	84-20-113
書簡〔とみ子姉様境遇につき所感〕 守屋康清→守屋栄夫	大正6年5月30日 (1917)	1通・墨書	83-14-81
書簡〔生母病気の件〕 守屋康清→守屋栄夫	大正6年7月26日 (1917)	1通・墨書	83-14-60
書簡〔挨拶、赤ちゃんに命名ほか〕 守屋康清→守屋栄夫	大正6年8月21日 (1917)	1通・墨書	83-14-59
葉書〔農作業など近況報告〕 守屋幸夫→守屋栄夫	昭和8年10月3日 (1933)	1枚・ペン	84-12-38
書簡〔馬放の近況〕 守屋幸夫→守屋栄夫	昭和8年10月16日 (1933)	1通・ペン	5-24-40
葉書〔当選祝い〕 守屋喜雄→守屋栄夫	昭和3年2月25日 (1928)	1枚・墨書	7-147-242
書簡〔川上作次郎訃報葉書同封〕 芳郎・たけ子・外親戚 一同→守屋栄夫	大正12年3月13日 (1923)	1通・活版	18-14-121
書簡〔家族の近況報告〕 守屋良三郎→守屋栄夫	大正15年5月17日 (1926)	1通・ペン	85-3-5-11
書簡〔良三郎の土地に関し委任状〕 守屋良治→守屋栄夫	大正7年9月13日 (1918)	1通・墨書	83-10-38
書簡〔援助願い〕 守屋良治→守屋栄夫		1通・墨書	84-28-4
葉書〔ブリュッセルに到着〕 m.moriya→守屋栄夫	大正11年21日 (1922)	1枚・ペン	9-27-34
書簡〔絨氈価格(日本金に換金)〕 守屋→守屋	大正15年 (1926)	1通・ペン	85-3-4-18
葉書〔フランス周遊につき挨拶状〕 守屋→守屋栄夫	昭和2年7月カ29日カ (1927)	1枚・ペン	86-101
葉書〔挨拶状〕 守屋→守屋栄夫	昭和2年10月 (1927)	1枚・ペン	86-89

受信：守屋よしみ

書簡〔お悔やみ状、就職の件、近況報告〕 青沼育代→守屋よしみ	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	6-59-30
書簡〔公有水面埋立許可願いにつき礼状、守屋氏総選挙出馬について〕 秋山研亮→守屋よしみ	昭和2年12月26日 (1927)	1通・ペン	10-408-87
書簡〔借金願い〕 秋山研亮→守屋よしみ	昭和6年9月24日 (1931)	1通・ペン	86-358-33
書簡〔お悔やみ状〕 渥美義胤→守屋好	大正12年3月23日 (1923)	1通・墨書	18-14-173
書簡〔次男の神経衰弱に対する相談〕 姉齒かほる→守屋よしみ	昭和4年2月27日 (1929)	1通・ペン	6-56-13
書簡〔当選祝い〕 安部止水→守屋令夫人	昭和5年2月19日 (1930)	1通・墨書	10-409-6
書簡〔国元よりの味噌漬けお届け〕 阿部明治太郎→守屋御奥様	昭和7年4月25日 (1932)	1通・墨書	83-1-58
葉書〔札幌到着、樺太訪問予定〕 天谷健二→守屋よしみ	昭和2年8月16日 (1927)	1枚・ペン	84-3-103
書簡〔近況報告〕 荒木金→守屋よしみ	明治42年7月3日 (1909)	1通・墨書	6-46-51

葉書〔お悔やみ状〕 荒木民助→守屋よしみ	大正12年3月29日 (1923)	1枚・ペン	18-14-10
書簡〔お悔やみ状〕 有馬純吉→守屋令夫人	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-181
書簡〔近況報告〕 井内千代→守屋御奥様	大正6年5月24日 (1917)	1通・墨書	83-14-137
書簡〔お悔やみ状〕 石井まき子→守屋令夫人	昭和2年3月22日 (1927)	1通・ペン	85-9-148
書簡〔選挙応援〕 石川斎四郎→守屋好	昭和 2月13日	1通・墨書	10-34
書簡〔子どもにお礼、節夫の事謝罪〕 石川富子→守屋よしみ	大正15年4月4日 (1926)	1通・ペン	85-3-2-2
葉書〔御機嫌伺い〕 石川富子→守屋好子	大正15年5月24日 (1926)	1枚・ペン	85-3-8-21
書簡〔お悔やみ状〕 石川富四郎→守屋よしみ	大正12年3月25日 (1923)	1通・墨書	18-14-156
書簡〔結婚のお祝いと機関学校入学者について〕 泉えい→守屋よしみ	明治40年8月8日 (1907)	1通・墨書	6-46-33
電報〔弔電〕 亥角仲蔵→モリヤエイフカタ・レイフジン	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-89
葉書〔年賀状〕 井田千代子→守屋奥様	大正6年1月1日 (1917)	1枚・墨書	81-112
書簡〔学校の夜の会議への不満、横山視学官の巡視〕 市川栄代→守屋よしみ	明治41年11月15日 (1908)	1通・墨書	6-46-26
葉書〔高等官就任、厚情御礼〕 伊藤うた→守屋よしみ	大正11年6月1日 (1922)	1枚・ペン	78-3-32
書簡〔お悔やみ状〕 伊藤うた→守屋よしみ	大正12年3月23日 (1923)	1通・墨書	18-14-192-90
書簡〔お悔やみ状〕 伊藤賢策→守屋よしみ	大正12年3月15日 (1923)	1通・墨書	18-14-157
書簡〔これまでの高配御礼、家族の近況〕 伊藤俊子→守屋奥様	昭和6年9月19日 (1931)	1通・ペン	86-356-7
葉書〔恵贈品への礼〕 伊藤富士子→守屋好子	昭和4年7月19日 (1929)	1枚・ペン	86-324-12
葉書〔今回京城府理事官兼任〕 伊藤正愨→守屋よしみ	大正11年6月1日 (1922)	1枚・ペン	78-3-31
葉書〔会見への礼〕 伊藤正愨→守屋好子	昭和8年11月30日 (1933)	1枚・ペン	86-323-56
電報〔弔電〕 今泉→モリヤヨシミ	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-80
電報〔弔電〕 今村重蔵→モリヤレイフジン	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-101
書簡〔お悔やみ状〕 上田鶴次郎→守屋よしみ	大正12年3月24日 (1923)	1通・墨書	18-14-148
葉書〔暑中見舞い〕 氏家あい子→守屋よしみ	昭和5年8月1日 (1930)	1枚・ペン	86-322-274
葉書〔近況報告〕 氏家文夫→守屋よしみ	大正7年8月13日 (1918)	1枚・墨書	82-3-81
電報〔弔電〕 氏家文夫→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-61

書簡〔お悔やみ状〕 氏家文夫→守屋よしみ	大正12年3月16日 (1923)	1通・墨書	18-14-147
葉書〔山栗送付〕 氏家文夫→守屋よしみ	昭和8年10月3日 (1933)	1枚・ペン	84-12-19
葉書〔ご同情の件〕 氏家文夫→守屋よしみ	大正 6月24日	1枚・墨書	81-76
書簡〔子供の世話など近況報告〕 氏家みつゑ→守屋よしみ	大正6年4月24日 (1917)	1通・墨書	84-20-112
書簡〔朝鮮総督府学務長官李軫鎬氏の退官と後任の松村氏について〕 大内俊亮→守屋よしみ	昭和4年2月23日 (1929)	2通・ペン	6-56-22
書簡〔選挙当選祈願、御守〕 大内俊亮→守屋好美	昭和5年2月10日 (1930)	1通・ペン	7-147-111
書簡〔依頼への配慮に対する礼〕 大内俊亮→守屋好子	昭和5年6月22日 (1930)	1通・ペン	84-4-26
葉書〔恵贈品と手紙への礼〕 大崎うらを→守屋よしみ	昭和3年7月27日 (1928)	1枚・ペン	86-325-60
書簡〔お悔やみ状〕 大崎うらを→守屋好子	昭和4年3月9日 (1929)	1通・墨書	6-54-2
書簡〔お悔やみ状〕 大隅清四郎→守屋よしみ	大正12年3月16日 (1923)	1通・ペン	18-14-123
書簡〔お悔やみ状〕 大塚歌子→守屋好子	大正12年3月22日 (1923)	1通・墨書	18-14-192-3
電報〔弔電〕 大西一郎・節子→モリヤヨシミ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-119
書簡〔当選祝い〕 大場賀代→守屋よしみ	昭和3年2月26日 (1928)	1通・ペン	10-309-1
書簡〔家族、松村のお嬢様の近況報告〕 岡崎愛子→守屋御奥様	大正15年4月6日 (1926)	1通・ペン	85-3-2-3
書簡〔お悔やみ状〕 岡崎愛子→守屋御夫人	昭和4年7月16日 (1929)	1通・墨書	6-52-19
書簡〔切手無しの手紙のお詫び、年末挨拶〕 岡崎和子→守屋御奥様	大正14年12月26日 (1925)	1通・墨書	85-10-11
書簡〔帰宅通知〕 岡崎和子→守屋御奥様	昭和6年6月8日 (1931)	1通・墨書	86-352-34
電報〔弔電〕 岡崎哲郎→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-117
葉書〔挨拶状〕 岡崎哲郎・村上勝衛・渥美義胤・成田央介・守屋斎・Stakashima・春川・n.tokue・佐々木惣助・高橋敏・松村松盛・佐藤殖・大沼喜久衛→守屋令夫人	大正15年1月19日 (1926)	1枚・ペン・墨書	86-223
書簡〔選挙当選祈願〕 岡崎富子→守屋好善子	昭和5年2月12日 (1930)	1通・墨書	10-412-13
書簡〔お悔やみ状〕 尾田満・たね子→守屋好子	大正12年カ3月27日 (1923)	1通・墨書	18-14-122
書簡〔年末の挨拶・当地の名産送付〕 小濱直子→守屋好子	昭和3年12月8日 (1928)	1通・ペン	10-413-14
書簡〔お悔やみ状〕 小濱直子→守屋御令夫人	昭和4年3月7日 (1929)	1通・墨書	9-29-67
電報〔正男の弔電〕 カウ→モリヤエイフジン	大正12年3月21日 (1923)	1通・ペン	18-14-79
書簡〔御歳暮御礼〕 寛君代→守屋御奥様	昭和6年カ12月13日 (1931)	1通・墨書	86-351-1
葉書〔挨拶状〕 加藤さく→守屋よしみ	明治40年12月1日 (1907)	1枚・墨書	6-46-9

葉書〔暑中見舞い〕 加藤さく→守屋よしみ		1枚・墨書	82-3-71
書簡〔お悔やみ状〕 加藤伝作→守屋よしみ子	大正12年カ3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-126
書簡〔慶応義塾大学出席数の通知、加藤新平退学させるべきか伺い〕 加藤豹五郎→守屋よしみ	昭和6年6月7日(1931)	1通・ペン	86-352-29
書簡〔お悔やみ状〕 廉野俊児→守屋よしみ	大正12年3月22日 (1923)	1通・墨書	18-14-177
書簡〔年末挨拶〕 金子強→守屋よしみ	昭和1年12月30日 (1926)	1通・墨書	85-3-8-6
書簡〔お悔やみ状〕 金成惟爾→守屋よしみ	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-129
葉書〔母直代死去〕 金成慥尔→守屋よしみ	昭和3年12月2日(1928)	1枚・ペン	10-413-24
書簡〔選挙戦応援〕 鎌田菊代→守屋よしみ	昭和3年2月11日(1928)	1通・墨書	10-218
書簡〔お悔やみ状〕 加美山鶴子→守屋よしみ	大正12年3月31日 (1923)	1通・墨書	18-14-130
書簡〔香典への礼状、近況報告〕 加美山とせ→守屋よしみ	大正6年3月4日(1917)	1通・墨書	84-20-79
書簡〔お礼及び近況報告〕 加美山とせ→守屋好	昭和5年6月8日(1930)	1通・墨書	10-406-36
葉書〔ご機嫌伺い、恵贈品への礼〕 萱場愛子→守屋好子	昭和8年11月8日(1933)	1枚・ペン	86-323-52
葉書〔満蒙百貨店にて撮影した写真送付〕 萱場愛子(奉天)→守屋好子	昭和	1枚・ペン	86-323-68
書簡〔栄夫の栄転祝い〕 萱場昌→守屋よしみ	大正8年8月17日(1919)	1通・墨書	84-9-11
書簡〔お悔やみ状〕 萱場今朝治→守屋よしみ	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-131
書簡〔叔父上の北海道来訪につき礼状〕 萱場今朝治→守屋よしみ	昭和7年7月27日(1932)	1通・墨書	83-3-40
書簡〔卒業後任地へ赴任、見合いについて〕 萱場今朝治→守屋よしみ	昭和8年2月19日(1933)	1通・ペン	84-8-6
書簡〔夫萱場深造帰城、長期東京出張滞在中のお礼〕 萱場ときわ→守屋好子	昭和7年10月25日 (1932)	1通・墨書	83-1-15
書簡〔長男結婚祝い〕 萱場ときわ→守屋好子	昭和7年5月6日(1932)	1通・墨書	84-24-7
書簡〔三浦氏の件につき礼状〕 萱場春寿→守屋よしみ子	大正6年12月13日 (1917)	1通・墨書	83-14-94
書簡〔転任後の生活、良妻賢母になるための激励〕 萱場春寿→守屋よしみ	大正6年5月27日(1917)	1通・墨書	83-14-64
書簡〔お子様方の成長祝い、次男の進学幹旋願い〕 萱場春寿→守屋よしみ子	大正7年1月15日(1918)	1通・墨書	83-7-17
書簡〔年頭挨拶〕 萱場春寿→守屋好子	大正7年1月2日(1918)	1通・墨書	83-10-42
書簡〔守屋弟卒業祝辞、物価高騰につき報告〕 萱場春寿→守屋よしみ子	大正7年8月12日(1918)	1通・墨書	83-7-3
書簡〔当校の同盟休校につき所感〕 萱場はる寿→守屋よし子	大正8年10月10日 (1919)	1通・墨書	83-2-22

書簡〔子息明夫氏発病につき見舞い〕 萱場春寿→守屋よしみ子	大正8年5月20日(1919)	1通・墨書	83-2-41
書簡〔近況報告〕 萱場春寿→守屋好子	大正8年5月7日(1919)	1通・墨書	83-10-40
書簡〔風邪見舞い、ご高配御礼〕 萱場春寿→守屋よしみ	大正9年2月3日(1920)	1通・墨書	81-665
書簡〔札幌よりの近況報告〕 萱場春寿→守屋よしみ	昭和6年8月9日(1931)	1通・墨書	86-348-37
書簡〔譲の近況、体調の経過〕 萱場春寿→守屋好子	昭和8年3月20日(1933)	1通・墨書	83-12-19
電報〔弔電〕 川瀬元倫→モリヤヨシミ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-68
書簡〔依頼した件、近況報告〕 韓浅洙→守屋好子	昭和5年2月25日(1930)	1通・ペン	10-412-35
電報〔弔電〕 倉橋鍬→モリヤヨシミ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-107
書簡〔近況報告〕 黒川朝子→守屋よし子	昭和5年4月26日(1930)	1通・ペン	10-405-11
電報〔弔電〕 黒木吉郎→モリヤヨシミ	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-66
電報〔弔電〕 京城栄会員一同→モリヤヨシミ	大正12年3月15日(1923)	1通・ペン	18-14-113
書簡〔バイオリン売却の件〕 小泉もりこ→今野よしみ	明治26年9月8日(1893)	1通・墨書	6-46-40
書簡〔近況報告〕 小泉もり子→今野よしみ	明治27年4月18日(1894)	1通・墨書	6-46-39
電報〔弔電〕 コダマコト→モリヤヨシミ	大正12年3月19日(1923)	1通・ペン	18-14-75
書簡〔お悔やみ状〕 木幡富治→守屋好子	大正12年3月20日(1923)	1通・墨書	18-14-12
葉書〔朝鮮京城より挨拶状〕 近藤き美→守屋奥様	昭和5年10月11日(1930)	1枚・ペン	86-1-22
葉書〔菓子受領、村作担当のため不安〕 今野栄太郎→守屋よしみ	大正6年4月13日(1917)	1枚・ペン	81-125
葉書〔御栄転慶賀、近況報告〕 今野小僕→守屋よしみ子	大正8年8月11日(1919)	1枚・ペン	9-10-44
書簡〔後援会費用金寄付への礼状〕 今野条太郎→守屋好	昭和3年カ2月28日(1928)	1通・墨書	10-252
書簡〔御弔慰への御礼、近況報告〕 今野条太郎→守屋好	昭和 4月24日	1通・墨書	10-277
葉書〔日光から明日東京着の予定〕 今野長三郎→守屋よしみ	大正6年8月10日(1917)	1枚・ペン	81-93
葉書〔江刺郡から帰京までの予定〕 今野長三郎→守屋よしみ	大正6年8月5日(1917)	1枚・ペン	81-95
葉書〔祝賀会の件〕 今野長三郎→守屋よしみ	昭和5年カ4月3日(1930)	1枚・ペン	86-45
電報〔父急病にて帰村〕 コンノテウ三郎→守屋よしみ	12年カ10月19日	1通・謄写版	18-14-193-9
書簡〔お悔やみ状〕 今野敏蔵→守屋よしみ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-7
書簡〔お悔やみ状、つらねの様子〕 今野まき子→守屋よしみ	大正8年6月16日(1919)	1通・墨書	83-10-7

葉書〔年賀状〕 今野万亀子→守屋よしみ	昭和2年1月3日(1927)	1枚・ペン	85-7-2-16
書簡〔実家の家族の介護依頼〕 今野義雄→守屋よしみ	明治42年10月10日(1909)	1通・墨書	6-46-59
葉書〔見舞品への礼、東京震災後の景況報告〕 今野義雄→守屋よしみ	大正12年9月30日(1923)	1枚・ペン	18-14-193-2
書簡〔時候挨拶と芳志お礼〕 今野李庵→守屋好	昭和6年8月31日(1931)	1通・墨書	86-358-19
葉書〔湯の川温泉滞在〕 今野李庵→守屋よしみ	昭和 10日	1枚・ペン	84-5-4
葉書〔小年送付につきお礼〕 古んの内→守屋よしみ	明治44年11月5日(1911)	1枚・ペン	81-573
書簡〔結婚について〕 斎藤勝次→守屋好	昭和8年11月25日(1933)	1通・ペン	84-16-3
葉書〔今晚は他に約束あり〕 斎藤環→守屋よしみ	昭和4年4月29日(1929)	1枚・ペン	86-327-6
葉書〔本日帰宅、滞在中お世話になったお礼〕 斎藤てる→守屋よしみ	大正11年9月20日(1922)	1枚・ペン	9-27-40
書簡〔お礼状〕 坂田広子→守屋よしみ子	大正6年5月24日(1917)	1通・墨書	83-14-186
書簡〔内務省監察官への栄転祝い〕 坂田広子→守屋御奥様	大正6年5月8日(1917)	1通・墨書	83-14-171
書簡〔斎藤実降下〕 佐々木君代→守屋よしみ	昭和7年5月22日(1932)	1通・墨書	84-24-4
書簡〔戦死者の葬儀など近況報告〕 佐々木潔三郎→守屋好子	昭和6年10月18日(1931)	1通・墨書	86-358-27
書簡〔家の工事についての相談〕 佐々木潔三郎→守屋好子	昭和6年10月8日(1931)	1通・墨書	86-358-25
書簡〔伴男の卒業と昭男の入学に対する祝い状〕 佐々木潔三郎→守屋好子	昭和7年4月3日(1932)	1通・墨書	24-13
書簡〔結婚披露式出席へのお礼〕 佐々木潔三郎→守屋令夫人	昭和7年5月4日(1932)	1通・墨書	84-24-19
書簡〔工事支障なし、病気中の来訪に対するお礼〕 佐々木潔三郎→守屋好	昭和7年5月27日(1932)	1通・墨書	84-24-27
書簡〔近況報告〕 佐々木潔三郎→守屋好子	昭和8年7月5日(1933)	1通・墨書	84-26-5
葉書〔細川先生の寄付金などについて〕 佐々木忠右衛門→守屋よしみ	大正7年9月16日(1918)	1枚・墨書	82-3-60
電報〔弔電〕 佐々木忠右衛門→モリヤヨシミ	大正12年3月14日(1923)	1通・ペン	18-14-52
葉書〔ご主人と面会〕 佐々木忠右衛門→守屋好	昭和4年3月29日(1929)	1枚・ペン	86-327-17
書簡〔選挙の慰労〕 佐々木とく→守屋好子	昭和5年2月20日(1930)	1通・墨書・ペン	9-16-53
書簡〔お悔やみ状〕 佐々木淑子→守屋よしみ	大正12年3月16日(1923)	1通・墨書	18-14-140
書簡〔出産報告と甘藷収穫につき伺い〕 佐々木とし子→守屋好	昭和7年10月17日(1932)	1通・ペン	83-5-14
書簡〔面会の希望、別荘荒らしの件〕 佐々木とし子→守屋好	昭和8年10月2日(1933)	1通・ペン	84-12-1

書簡 / 家族

書簡〔別荘に空き巣侵入につき状況報告〕 佐々木とし子→守屋よしみ	昭和8年4月17日(1933)	1通・墨書	85-11-9
葉書〔ご機嫌伺い、主人出張〕 佐々木光子→守屋好	大正15年8月2日(1926)	1枚・ペン	86-325-4
書簡〔金浦より華族の近況報告〕 佐々木光子→守屋奥様	昭和4年12月3日(1929)	1通・ペン	5-14-26
書簡〔近況報告、貞子の逝去について〕 佐々木光子→守屋奥様	昭和8年9月7日(1933)	1通・ペン	84-25-29
書簡〔家族の病気快方の旨〕 佐々木八重→守屋好	昭和8年6月9日(1933)	1通・墨書	83-6-5
葉書〔長官からのお礼、夫人快方〕 佐々木→守屋よしみ	大正8年4月23日(1919)	1枚・ペン	82-3-2
葉書〔昨夜入城の報告〕 佐々木→守屋好子	昭和4年6月29日(1929)	1枚・ペン	84-6-9
葉書〔ウニ恵送御礼〕 佐藤治→守屋よしみ	大正7年8月25日(1918)	1枚・墨書	82-3-99
書簡〔選挙応援〕 佐藤かく→守屋よしみ	昭和3年カ2月5日(1928)	1通・墨書	10-305
書簡〔当選祝い〕 佐藤かく→守屋よしみ	昭和5年3月2日(1930)	1通・ペン	10-409-13
葉書〔お悔やみ状〕 佐藤兼之助→守屋よしみ	大正12年3月23日(1923)	1枚・ペン	18-14-134
書簡〔当選祈願〕 佐藤静恵→守屋よしみ	昭和5年2月16日(1930)	1通・墨書	10-409-27
書簡〔ご来訪御礼〕 柴山雅子→守屋御奥様	昭和7年5月7日(1932)	1通・墨書	84-24-5
葉書〔大礼記念〕 庄司秀雄→守屋よしみ	昭和3年11月10日(1928)	1枚・ペン	84-3-57
葉書〔釜山にて先生見送り〕 庄司秀雄・李集仟→守屋好子	昭和8年10月29日(1933)	1枚・ペン	86-323-55
葉書〔弁護士業務への礼〕 庄司秀雄→守屋よしみ	昭和8年11月5日(1933)	1枚・ペン	86-323-54
葉書〔本日より弁論の原稿執筆に没頭〕 庄司秀雄→守屋よしみ	昭和8年11月7日(1933)	1枚・ペン	86-323-51
葉書〔仁川にて支部発会式〕 庄司秀雄→守屋よしみ	昭和8年11月27日(1933)	1枚・ペン	86-323-57
葉書〔大田郊外温泉一泊〕 庄司秀雄・李集仟→守屋よしみ	昭和8年12月6日(1933)	1枚・ペン	86-323-47
書簡〔挨拶状〕 菅原卓爾→守屋よし美	明治42年5月8日(1909)	1通・墨書	6-46-53
書簡〔旭紡織株式会社創立総会開催につき通知〕 菅原通敬〔旭紡織株式会社創立委員長〕→守屋よしみ	大正8年11月12日(1919)	1通・ペン・活版	83-2-53
葉書〔守屋部長仙台訪問の様子〕 菅原勇之進→守屋よしみ	大正14年11月12日(1925)	1枚・ペン	84-6-147
書簡〔見舞状〕 鈴木きみよ→守屋よしみ	明治43年2月13日(1910)	1通・墨書	6-46-48
葉書〔旅行の近況報告〕 鈴木圭介→守屋よしみ	明治44年10月7日(1911)	1枚・墨書・ペン	81-284
葉書〔大工・畳屋の件〕 鈴木授→守屋好子	昭和2年6月30日(1927)	1枚・ペン	86-91
葉書〔挨拶状〕 鈴木譲三郎→守屋よしみ	大正6年11月26日(1917)	1枚・墨書	81-69

葉書〔送付の品遅延〕 鈴木譲三郎→守屋よしみ	大正6年11月26日カ (1917)	1枚・墨書	81-70
書簡〔全国高女学校長会議にて上京〕 鈴木譲三郎→守屋よしみ	大正8年10月15日 (1919)	1通・墨書	83-2-13
電報〔弔電〕 鈴木譲三郎→モリヤヨシミ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-47
書簡〔お悔やみ状〕 鈴木譲三郎→守屋よしみ	大正12年3月30日 (1923)	1通・墨書	18-14-33
書簡〔内務省参事官へ御栄典につき祝状〕 鈴木ちとせ→守屋よしみ	大正6年5月4日 (1917)	1通・墨書	83-14-96
書簡〔ロス・アンゼルス風景画集〕 鈴木光枝→守屋好子	昭和3年12月13日 (1928)	1通・活版	86-328-26
葉書〔暑中見舞い〕 鈴木光枝→守屋よしみ	昭和3年7月20日 (1928)	1枚・ペン・活版	86-322-258
書簡〔お悔やみ状〕 須田秋之進→守屋よしみ	大正12年3月17日 (1923)	1通・墨書	18-14-26-1
書簡〔お悔やみ状〕 須田はつね→守屋よしみ	明治43年7月6日 (1910)	1通・墨書	6-46-60
書簡〔近況報告〕 須田はつね→守屋よしみ	大正7年7月12日 (1918)	1通・ペン	83-9-38
書簡〔妊娠中の様子〕 須田はつね→守屋よしみ	大正7年7月20日 (1918)	1通・墨書	83-9-26
書簡〔お悔やみ状〕 須田はつね→守屋好	大正12年3月17日 (1923)	1通・墨書	18-14-26-2
書簡〔干し栗送付、近況報告〕 須田初音→守屋好	昭和4年10月21日 (1929)	1通・ペン	5-31-20
書簡〔恵贈品御礼、長男就職幹旋依頼〕 須田初音→守屋よしみ	昭和6年7月16日 (1931)	1通・墨書	86-348-44
書簡〔富永校転任、同窓会出席願ひ〕 須永よ志→守屋よ志み	明治42年11月31日 (1909)	1通・墨書	6-46-52
書簡〔守屋別荘での近況報告〕 関善助→守屋御奥様	昭和8年4月16日 (1933)	1通・ペン	85-11-16
電報〔弔電〕 関水武・ヨネ→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-57
書簡〔大雪の心配、友情感謝〕 関水米子→守屋よしみ	大正7年4月9日 (1918)	1通・墨書	5-26-26
書簡〔年末挨拶にリング贈呈〕 関水米子→守屋よしみ	大正14年12月23日 (1925)	1通・墨書	85-10-2
書簡〔お礼状〕 関水米子→守屋御奥様	昭和2年12月19日 (1927)	1通・墨書	85-7-3-28
書簡〔風邪見舞い、よしみ渡鮮〕 関水米子→守屋よしみ	1月20日	1通・墨書	81-666
書簡〔選挙応援〕 瀬戸潔→守屋よしみ	1月24日	1通・ペン	10-242
電報〔弔電〕 大同興業→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-111
電報〔弔電〕 高橋幸之進→モリヤヨシミ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-51
書簡〔帰村後の様子、保険の件〕 高橋幸之進→守屋好	昭和4年7月13日 (1929)	1通・墨書	9-21-6
書簡〔御土産への御礼、伴男の様子など近況報告〕 高橋静香→守屋好美	昭和6年11月9日 (1931)	1通・ペン	86-347-31

書簡〔伴男の様子など近況報告〕 高橋静香→守屋好	昭和6年12月22日 (1931)	1通・ペン	86-346-43
書簡〔地代支払いなど近況報告〕 高橋しづか→守屋好	昭和6年12月31日 (1931)	1通・ペン	86-347-19
書簡〔近況報告〕 高橋志津香→守屋好	昭和8年1月10日 (1933)	1通・ペン	84-28-9
電報〔弔電〕 高橋敏也→モリヤヨシミコ	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-86
書簡〔お悔やみ状〕 瀧口巖→守屋好	大正12年3月31日 (1923)	1通・墨書	18-14-135
書簡〔お悔やみ状〕 瀧口甲午郎→守屋よしみ	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-178
電報〔弔電〕 竹内健郎→モリヤヨシミ	大正12年3月18日 (1923)	1通・ペン	18-14-92
書簡〔釜山の野菜の出来など近況報告〕 竹内淑→守屋御奥様	昭和5年10月10日 (1930)	1通・墨書	10-233
書簡〔秋山様帰鮮の折の御品御礼、釜山より近況報告〕 竹内淑→守屋好子	昭和6年8月24日 (1931)	1通・ペン	86-348-19
書簡〔お礼状〕 竹田千代→守屋御奥様	大正6年5月25日 (1917)	1通・墨書	83-14-184
書簡〔お悔やみ状〕 竹田千代子→守屋よしみ	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-132
電報〔弔電〕 多田純二→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-59
電報〔弔電〕 チチ→モリヤヨシミ	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-78
書簡〔お悔やみ状〕 千葉永之助→守屋好	大正12年3月24日 (1923)	1通・墨書	18-14-186
書簡〔お悔やみ状〕 千葉正三→守屋よしみ	大正12年3月18日 (1923)	1通・ペン	18-14-168
書簡〔伴男の演説内容、選挙戦状況〕 千葉正三→守屋よしみ	昭和6年1月21日 (1931)	1通・墨書	86-359-7
書簡〔京城訪問時厚情御礼〕 千葉敏子→守屋御奥様	大正10年10月22日 (1921)	1通・墨書	5-29-20
書簡〔選挙応援〕 千葉みどり→守屋よしみ	昭和3年2月17日 (1928)	1通・墨書	10-214
書簡〔赴任先ほか近況報告〕 遠山朝子→守屋御奥様	大正15年4月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-2-5
書簡〔御厚情のお礼〕 遠山朝子→守屋御奥様	大正15年9月1日 (1926)	1通・墨書	85-3-7-7
書簡〔お悔やみ状〕 遠山静子→守屋御奥様	大正12年3月23日 (1923)	1通・墨書	18-14-163
電報〔弔電〕 時実秋穂→モリヤヨシコ	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-96
書簡〔お礼状〕 戸田友直→守屋好子	昭和8年5月24日 (1933)	1通・ペン	84-27-25
書簡〔主人帰宅、近況報告〕 戸田とら子→守屋御奥様	昭和6年6月29日 (1931)	1通・墨書	86-352-5
書簡〔守屋昭男作文「自分の母」〕 戸田求・守屋昭男→守屋御奥様	昭和4年2月22日 (1929)	1通・墨書・ペン	6-56-9

書簡〔次男東大進学の件〕 戸田求→守屋好	昭和4年4月5日(1929)	1通・墨書	6-59-8
書簡〔家族の近況報告〕 戸田求・とら子→守屋好	昭和6年2月16日(1931)	1通・墨書	86-355-16
書簡〔当選祝い〕 鳥海やまと→守屋よしみ	昭和3年カ2月24日(1928)	1通・墨書	7-147-22
葉書〔上総佐貫町新舞にて静養〕 長岡ふみ→守屋奥様	大正15年8月30日(1926)	1枚・ペン・墨書	86-213
葉書〔大阪府庁事務監察勤務中、当地名産品別途送付〕 中川隆司→守屋よしみ	大正11年5月24日(1922)	1枚・ペン	78-3-33
書簡〔お悔やみ状〕 中川隆司→守屋よしみ	大正12年4月2日(1923)	1通・墨書	18-14-138
電報〔弔電〕 長野幹→モリヤヨシミ	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-98
電報〔弔電〕 半井清→モリヤヨシミ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-112
葉書〔近況報告〕 成田一郎→守屋よしみ	大正7年8月25日(1918)	1枚・ペン	82-3-101
葉書〔根室訪問〕 成田一郎→守屋よしみ	昭和3年6月24日(1928)	1枚・ペン	84-6-23
書簡〔写真送付御礼、本日郡視学会議・中等学校長会議など近況報告〕 成田喜十郎→守屋よしみ	大正6年2月28日(1917)	1通・ペン	84-20-85
葉書〔朝鮮総督府庶務部長任官祝い〕 成田喜十郎→守屋よしみ	大正12年10月17日(1923)	1枚・ペン	18-14-192-10
書簡〔立候補についての協力状況報告〕 成田喜十郎→守屋よしみ	昭和2年10月31日(1927)	1通・ペン	85-9-112
書簡〔立候補についての協力状況報告〕 成田喜十郎→守屋よしみ	昭和2年11月10日(1927)	1通・ペン	85-9-111
書簡〔当選祝い〕 成田喜十郎→守屋よしみ	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-407-70
書簡〔鈴木卓児より当選祝い〕 成田喜十郎→守屋よしみ	昭和5年2月24日(1930)	1通・墨書	7-147-121
書簡〔職場状況、退職意向報告〕 成田喜十郎→守屋よしみ	昭和5年12月16日(1930)	1通・墨書	7-147-37
書簡〔佐久間喜左衛門の件取次ぎ依頼〕 成田喜十郎→守屋よしみ	昭和7年1月21日(1932)	1通・墨書	83-1-46
書簡〔別荘拝借、海遊び、涌谷町有志の当選後援活動の動向〕 成田喜十郎→守屋好	8月15日	1通・墨書	10-65
書簡〔恵贈品への御礼、四郎中学校へ入学など近況報告〕 成田寿弥→守屋よしみ	大正6年4月9日(1917)	1通・墨書	84-20-80
書簡〔選挙応援、選挙戦の手伝い志願〕 成田寿弥→守屋よしみ	昭和 1月24日	1通・墨書	10-403-5
書簡〔宮城県涌谷地方選挙区情勢〕 成田尚→守屋夫人	昭和7年1月24日(1932)	1通・ペン・墨書	83-1-39
書簡〔御令息慶事への不参お詫び、佐々木氏母葬儀への花輪贈呈、成田尚略歴、就職斡旋依頼〕 成田尚→守屋好	昭和7年5月12日(1932)	1通・ペン	86-350-11
書簡〔転任後の生活、近況報告〕 成田嘉保→守屋よしみ	大正6年5月25日(1917)	1通・墨書	83-14-63
葉書〔御宅訪問にて挨拶状〕 成田嘉保→守屋よしみ	大正15年11月25日(1926)	1枚・墨書	86-322-67

葉書〔訪問時留守のお詫び〕 成田→守屋よしみ	大正15年5月12日 (1926)	1枚・ペン	84-2-24
書簡〔新年挨拶、シベリア留守見舞い〕 西村俊吉→守屋よしみ	大正7年1月1日 (1918)	1通・ペン	83-2-8
書簡〔挨拶、近況〕 西村為子→守屋よしみ	大正6年9月9日 (1917)	1通・墨書	83-14-51
書簡〔近況報告〕 西村為子→守屋御奥様	大正7年6月5日 (1918)	1通・墨書	83-9-34
書簡〔重患から快方、近況報告〕 西村為子→守屋御奥様	大正9年1月10日 (1920)	1通・ペン	82-3-315
電報〔弔電〕 西村タメ→モリヤヨシミコ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-62
書簡〔最近の体調報告〕 八條小雪→守屋御奥様	昭和5年12月8日 (1930)	1通・墨書	7-147-5
書簡〔劣化のため開披不能〕 早坂明之→守屋好	12月25日	1通・墨書	10-324
書簡〔帰郷時訪問並びに盆提灯御礼〕 早坂いし→守屋好	昭和4年10月13日 (1929)	1通・墨書	5-31-17
書簡〔早坂の病氣全快、お世話のお礼状〕 早坂いし→守屋好	昭和4年5月10日 (1929)	1通・墨書	85-4-2-5
書簡〔議会傍聴取り計らい依頼〕 早坂いし→守屋好	昭和6年3月5日 (1931)	1通・墨書	86-357-34
書簡〔滞京及び就職依頼御礼〕 早坂いし→守屋好子	昭和7年4月21日 (1932)	1通・墨書	83-1-51
葉書〔欠礼挨拶〕 広瀬睦子→守屋御奥様	大正7年7月24日 (1918)	1枚・ペン	82-3-277
葉書〔上京後一カ月ぶり帰郷〕 広瀬みち子→守屋好子	大正6年8月18日 (1917)	1枚・墨書	81-232
電報〔弔電〕 広瀬林也→モリヤヨシミコ	大正12年3月19日 (1923)	1通・ペン	18-14-85
書簡〔金子請取りお礼〕 関彩徳→守屋好子	大正14年カ9月26日 (1925)	1通・墨書	85-10-87
書簡〔お金受領〕 関彩徳→守屋好子	大正14年12月30日 (1925)	1通・墨書	85-10-9
書簡〔弟上京時の配慮、送金御礼〕 関彩徳→守屋好子	大正15年4月11日 (1926)	1通・墨書	85-3-2-18
書簡〔新年挨拶〕 関彩徳→守屋好子	昭和7年1月3日 (1932)	1通・墨書	86-346-42
書簡〔小切手送付御礼〕 関彩徳→守屋好子	3月21日	1通・墨書	10-405-32
書簡〔恵贈品御礼〕 福島恒子→守屋好子	昭和5年7月10日 (1930)	1通・墨書	10-411-2
葉書〔恵贈品御礼〕 福島恒子→守屋御奥様	昭和5年12月7日 (1930)	1枚・墨書	86-1-69
書簡〔恵贈品御礼〕 福島恒子→守屋奥様	昭和8年12月8日 (1933)	1通・墨書	84-17-32
書簡〔栄転祝い〕 藤岡うた代→守屋御奥様	大正6年5月3日 (1917)	1通・墨書	83-14-172
書簡〔お悔やみ状〕 藤波義貫→守屋御奥様	大正12年3月15日 (1923)	1通・墨書	18-14-25
書簡〔再会につき近況報告〕 ふゆき光枝→守屋好子	昭和3年12月16日 (1928)	1通・ペン	10-413-17
書簡〔お悔やみ状〕 古橋泰子→守屋好子	大正12年3月22日 (1923)	1通・墨書	18-14-5

書簡〔お礼状〕 保々良子→守屋よしみ	大正6年5月30日(1917)	1通・墨書	83-14-138
葉書〔学校生活の状況の件〕 堀越一夫→守屋好	昭和5年5月14日(1930)	1枚・ペン	86-1-97
書簡〔帰京後の状況報告〕 堀越民→守屋よしみ	昭和6年11月26日(1931)	1通・ペン	86-347-9
書簡〔近況報告〕 堀越貫根→守屋よしみ	大正6年8月30日(1917)	1通・墨書	83-14-148
電報〔弔電〕 本田カメノ→モリヤヨシミ	大正12年3月15日(1923)	1通・ペン	18-14-54
電報〔弔電〕 本田忠雄→モリヤヨシミ	大正12年3月15日(1923)	1通・ペン	18-14-56
書簡〔当選祝い〕 本田松夫→守屋よしみ	昭和3年2月20日(1928)	1通・墨書	10-216
葉書〔桜桃送付、出張からの帰国祝い〕 本田勇治郎→守屋奥様	昭和6年6月29日(1931)	1枚・ペン・活版	86-322-354
書簡〔御礼状〕 本間宗之→守屋よしみ	大正6年5月30日(1917)	1通・墨書	83-14-139
書簡〔近況報告〕 松井幸子→守屋御奥様	昭和5年5月26日(1930)	1通・墨書	10-406-25
葉書〔萩へ帰省〕 松井幸子→守屋好	昭和5年6月17日(1930)	1枚・ペン	84-4-11
書簡〔お悔やみ状〕 松井茂→守屋夫人	大正12年3月カ31日(1923)	1通・墨書	18-14-4
葉書〔京城より挨拶〕 松井文輔→守屋よしみ	大正11年2月17日(1922)	1枚・ペン	78-3-46
葉書〔当地出発予定通知〕 松井文輔→守屋よしみ	大正11年4月24日(1922)	1枚・ペン	78-3-41
葉書〔御二方御安着〕 松井文輔→守屋よしみ	大正11年6月23日(1922)	1枚・ペン	78-3-42
電報〔弔電〕 松井文輔→モリヤヨシミ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-115
書簡〔恵贈品御礼〕 松井文輔→守屋御令夫人	昭和5年10月11日(1930)	1通・ペン	10-45
書簡〔国勢調査課から月給受領、平素の御礼〕 松井文輔→守屋御令夫人	昭和5年5月22日(1930)	1通・墨書	10-406-14
書簡〔地震見舞い〕 松井文輔→守屋奥様	昭和6年6月19日(1931)	1通・ペン	86-352-40
書簡〔新聞記事の送付〕 松井文輔→守屋御令夫人	昭和7年5月6日(1932)	1通・ペン	84-24-8
電報〔弔電〕 松尾→モリヤヨシミ	大正12年3月15日(1923)	1通・ペン	18-14-55
電報〔弔電〕 松岡小三郎→モリヤコウコ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-109
葉書〔京都と奈良の旅行〕 松木しげ子→守屋よしみ	大正6年5月27日(1917)	1枚・ペン	81-50
書簡〔上京時の宿の手配依頼〕 松木とも子→守屋好美	昭和6年3月11日(1931)	1通・ペン	86-357-29
書簡〔守屋栄夫総選挙出馬について〕 松木友則→守屋よしみ	昭和2年9月21日(1927)	1通・墨書	85-7-4-10
葉書〔暑中見舞い〕 松田達男→守屋好	昭和5年7月24日(1930)	1枚・ペン	86-322-278

書簡〔授業料返却、学校生活〕 松田達男→守屋好	昭和5年11月10日 (1930)	1通・ペン	9-16-37
電報〔弔電〕 松田ヨネオ・ヨシヤ→モリヤヨシミ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-48
書簡〔ご機嫌伺い〕 松原郷子→守屋よしみ	大正6年5月24日 (1917)	1通・墨書	83-14-185
書簡〔近況報告、心遣い御礼〕 松村桃代→守屋令夫人	昭和2年10月22日 (1927)	1通・墨書	85-9-27
葉書〔短歌書上〕 松村桃代→守屋御奥様	昭和2年1月25日 (1927)	1枚・ペン	86-322-112
書簡〔近況報告〕 松村桃代→守屋御奥様	昭和3年11月3日 (1928)	1通・墨書	7-147-52
書簡〔お悔やみ状〕 松村桃代→守屋御奥様	昭和4年3月11日 (1929)	1通・墨書	6-59-32
書簡〔暑中見舞い、近況報告〕 松村桃代→守屋令夫人	昭和4年カ7月30日 (1929)	1通・墨書	6-52-18
書簡〔局長室での受験の様子報告〕 松本精一→守屋よしみ	昭和4年4月1日 (1929)	1通・ペン	85-4-2-13
書簡〔お悔やみ状〕 松本とも子→守屋よしみ	大正12年3月17日 (1923)	1通・墨書	18-14-1
書簡〔お悔やみ状〕 松本友則→守屋よしみ	大正12年3月16日 (1923)	1通・墨書	18-14-2
書簡〔大河内家への援助依頼〕 松本友則→守屋よしみ	昭和6年6月9日 (1931)	1通・ペン	86-352-31
書簡〔娘の転校と受験について〕 丸茂まつ子→守屋御奥様	大正6年4月6日 (1917)	1通・墨書	84-20-122
書簡〔挨拶〕 丸茂まつこ→守屋御奥様	大正6年5月2日 (1917)	1通・墨書	83-14-56
電報〔弔電〕 丸山茂→モリヤヨシミ	大正12年3月17日 (1923)	1通・ペン	18-14-104
書簡〔近況報告〕 三浦香興→守屋御奥様	大正7年7月9日 (1918)	1通・墨書	83-9-37
葉書〔ご主人渡鮮にて挨拶〕 三浦静→守屋好子	昭和5年12月19日 (1930)	1枚・ペン	86-1-42
書簡〔就職の御配慮御礼〕 三浦豊興→守屋よしみ	大正6年3月4日 (1917)	1通・墨書	84-20-88
電報〔弔電〕 三沢房之助→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-60
葉書〔白菜送付御礼〕 水野ます子→守屋よし子	大正15年12月18日 (1926)	1枚・ペン	86-322-70
葉書〔暑中見舞い、年内会合希望〕 水野ます子→守屋好		1枚・ペン・活版	86-322-260
書簡〔お悔やみ状〕 三原篤治→守屋よしみ	大正12年3月24日 (1923)	1通・墨書	18-14-17
書簡〔お悔やみ状〕 宮本和子→守屋御奥様	大正12年3月17日 (1923)	1通・墨書	18-14-19
書簡〔選挙応援〕 村上辰男→守屋好子	昭和3年2月5日 (1928)	1通・墨書	10-104
葉書〔挨拶、興津の様子〕 村上→守屋令夫人	1月28日	1枚・ペン	84-3-12
書簡〔お悔やみ状〕 森川弼→守屋よしみ	大正12年3月18日 (1923)	1通・墨書	18-14-23

葉書〔恵贈品御礼〕 森良→守屋御奥様	昭和5年10月11日 (1930)	1枚・墨書	86-1-48
書簡〔恵贈御礼他〕 守屋伊勢→守屋好子	昭和3年12月8日(1928)	1通・墨書	10-413-15
書簡〔選挙応援〕 守屋賀久治・伊東賢策→守屋よしみ	昭和3年カ2月13日 (1928)	1通・墨書	10-223
書簡〔コロンボにて船旅報告〕 華都子→守屋よしみ	昭和2年8月11日(1927)	1通・ペン	85-7-6-21
書簡〔お悔やみ状〕 華都子→守屋よしみ	昭和4年3月6日(1929)	3通・ペン	6-59-19
書簡〔上海行き等近況報告〕 守屋華都子→守屋よしみ	昭和4年9月21日(1929)	1通・ペン	86-324-51
葉書〔湯河原到着の報告〕 華都子→守屋よしみ	昭和5年1月22日(1930)	1枚・墨書	84-1-15
書簡〔住居移転に付報告〕 守屋華都子→守屋よしみ	昭和5年7月2日(1930)	1通・ペン	10-411-5
書簡〔無事上海着、近況報告〕 華都子→守屋よしみ	昭和6年3月21日(1931)	1通・ペン	86-357-41
書簡〔神戸旅行の景況報告〕 守屋華都子→守屋よしみ	昭和7年7月26日(1932)	1通・ペン	83-3-4
書簡〔京城より家族近況報告〕 守屋きよ→守屋よしみ	昭和4年11月30日 (1929)	1通・ペン	5-14-27
書簡〔家族近況報告、写真送付〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和7年12月31日 (1932)	1通・ペン	84-14-9
書簡〔着帯につき相談〕 守屋しづか→守屋好	昭和7年5月19日(1932)	1通・ペン	86-350-13
葉書〔近況報告〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年10月11日 (1933)	1枚・ペン	84-12-32
書簡〔一家の近況報告〕 守屋しづか→守屋よし	昭和8年12月13日 (1933)	1通・ペン	84-16-9
書簡〔守屋伴男家の近況〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年2月17日(1933)	1通・墨書	84-8-8
書簡〔守屋伴男家の近況〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年2月26日(1933)	1通・墨書	84-8-3
書簡〔守屋伴男家の近況〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年2月9日(1933)	1通・墨書	84-8-20
書簡〔被災状況、明男の学期試験の開始〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年3月4日(1933)	1通・ペン	84-22-32
書簡〔近況報告〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年4月14日(1933)	1通・ペン	85-11-2
葉書〔近況報告〕 守屋しづか→守屋好	昭和8年5月25日(1933)	1枚・ペン	84-27-30
書簡〔近況報告〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年5月29日(1933)	1通・ペン	84-27-17
書簡〔暑中見舞い、近況報告〕 守屋しづか→守屋好子	昭和8年7月17日(1933)	1通・ペン	84-26-27
書簡〔秀坊の傷の経過〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和8年9月26日(1933)	1通・ペン	84-25-11
書簡〔秀彦出生祝いへの感謝〕 守屋しづか→守屋よしみ	昭和 9月27日	1通・ペン	83-11-33
葉書〔挨拶状〕 守屋しめ→守屋好	昭和5年5月15日(1930)	1枚・ペン	86-1-95
電報〔弔電〕 守屋シン→モリヤヨシミ	大正12年3月14日 (1923)	1通・ペン	18-14-49
書簡〔近況報告〕 守屋照子・越男→守屋よしみ	昭和2年7月24日(1927)	1通・ペン	85-7-6-37
葉書〔箱根到着〕 照子→守屋よしみ	昭和8年5月24日(1933)	1枚・ペン	86-323-62

葉書〔静岡駅前ホテル到着〕 照子→守屋よしみ	昭和8年5月26日(1933)	1枚・ペン	86-323-58
葉書〔運動会他近況報告〕 徳吉→守屋よしみ	明治44年10月17日(1911)	1枚・ペン	81-575
書簡〔お悔やみ状〕 守屋久子→守屋よしみ	大正12年3月15日(1923)	1通・墨書	18-14-171
書簡〔無沙汰を詫げる〕 守屋久子→守屋よし美	大正14年11月1日(1925)	1通・ペン	85-10-62
書簡〔姉宛家族近況伺い、京城近況報告〕 守屋久子→守屋よしみ	大正15年12月21日(1926)	1通・ペン	85-3-6-6
書簡〔家族の近況報告〕 守屋久子→守屋よしみ	大正15年3月31日(1926)	1通・ペン	85-3-2-1
書簡〔就学祝い、朝鮮を去るにあたり近況報告〕 守屋久子→守屋よしみ	昭和2年3月30日(1927)	1通・ペン	85-9-74
書簡〔近況報告〕 守屋久子→守屋好	昭和2年7月31日(1927)	1通・ペン	85-7-6-35
書簡〔病状現況報告、お見舞御礼〕 守屋久子→守屋よしみ	昭和2年10月23日(1927)	1通・ペン	85-9-40
葉書〔ねむり人形購入願い〕 守屋まりこ→守屋好子	昭和2年(1927)	1枚・ペン	85-7-5-28
電報〔弔電〕 守屋実・石川斎四郎→モリヤヨシミ	大正12年3月16日(1923)	1通・ペン	18-14-67
書簡〔年末挨拶状、和郎へ旅費送付の件〕 守屋やすゑ→守屋よしみ	大正5年12月30日(1916)	1通・墨書	84-20-163
書簡〔姉宅訪問とその報告〕 守屋康衛→守屋よしみ	大正6年1月8日(1917)	1通・墨書	84-20-139
書簡〔大学院志望の手紙受領、写真送付〕 守屋やすゑ→守屋よしみ	大正6年1月18日(1917)	1通・墨書	84-20-145
書簡〔挨拶〕 守屋やすゑ→守屋よしみ	大正6年8月10日(1917)	1通・墨書	83-14-58
書簡〔近況報告〕 守屋やすゑ→守屋よしみ	大正6年9月18日(1917)	1通・墨書	83-14-211
葉書〔近況報告〕 康衛→守屋よしみ	大正7年8月19日(1918)	1枚・ペン	82-3-103
書簡〔鉄道管理局当地面買収ほか〕 守屋康衛→守屋よしみ	大正8年7月1日(1919)	1通・墨書	5-26-28
書簡〔台湾到着の挨拶〕 安武茂子→守屋令夫人	昭和7年5月6日(1932)	1通・墨書	84-24-1
書簡〔赤池渡台、台中での愛国婦人会主催展覧会の件〕 安武茂子→守屋御奥様	昭和8年3月3日(1933)	1通・ペン	84-22-31
書簡〔手紙の御礼および朝鮮金山関連〕 安原ツヤ→守屋好子	昭和7年10月24日(1932)	1通・墨書	83-1-20
書簡〔近況報告〕 安原つや→守屋好子	昭和8年5月21日(1933)	1通・墨書	84-27-10
書簡〔佐々木様の高配御礼〕 藪加柊子→守屋好子	昭和5年7月11日(1930)	1通・墨書	10-411-3
書簡〔正男の死に対する同級生の心境〕 山内博→守屋好子	大正12年3月26日(1923)	1通・ペン	18-14-3
電報〔弔電〕 山口安憲→モリヤヨシミ	大正12年3月18日(1923)	1通・ペン	18-14-97
電報〔弔電〕 山下謙一→モリヤヨシミ	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-94

書簡〔接見依頼〕 山田総→守屋好子	昭和4年カ7月24日 (1929)	1通・墨書	6-52-22
書簡〔当選祝い〕 山田総→守屋よしみ	2月24日	1通・墨書	10-309-2
書簡〔お悔やみ状〕 山田とし子→守屋御奥様	大正12年3月19日 (1923)	1通・墨書	18-14-184
書簡〔詫び状〕 山野上長治郎→守屋好	昭和8年5月22日(1933)	1通・墨書	84-27-23
書簡〔辞職の意志、転職斡旋依頼〕 遊佐秋治郎→守屋好	昭和8年9月20日(1933)	1通・墨書	84-25-18
書簡〔警察部長退職できず留任〕 遊佐秋治郎→守屋好	昭和8年9月27日(1933)	1通・墨書	84-12-23
電報〔弔電〕 吉城与四郎→モリヤヨシミ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-53
電報〔弔電〕 吉田・乙坂〔文書課〕→モリヤヨシミ	大正12年3月16日 (1923)	1通・ペン	18-14-110
葉書〔夏期講習会のため訪問できず〕 若木長蔵→守屋 よしみ	6月10日	1枚・墨書	6-46-8
書簡〔当選祝い〕 脇坂いな子→守屋好子	昭和5年2月22日(1930)	1通・墨書	10-412-38
書簡〔当選祝い〕 和久正志→守屋よしみ	昭和3年2月24日(1928)	1通・墨書	7-147-46
書簡〔病状報告、お土産御礼〕 和久正志→守屋よしみ	昭和8年12月8日(1933)	1通・ペン	84-16-13
書簡〔年末挨拶、在満皇軍の慰問金送付〕 和久まさみ →守屋好	昭和6年12月16日 (1931)	1通・ペン	86-346-48
書簡〔お悔やみ状〕 和久安行→守屋よしみ	大正12年3月22日 (1923)	1通・墨書	18-14-152
書簡〔お悔やみ状〕 渡辺豊日子→守屋好子	大正12年3月16日 (1923)	1通・墨書	18-14-176
電報〔弔電〕 渡辺豊日子→モリヤヨシミ	大正12年3月16日 (1923)	1通・ペン	18-14-69
書簡〔嫁入り支度金送付御礼〕 渡辺文子→守屋好子	12月28日	1通・ペン	7-147-59
電報〔弔電〕 カキチ→モリヤヨシ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-76
葉書〔鳴子から挨拶〕 偵夫・まさみ→守屋よしみ	大正6年8月6日(1917)	1枚・ペン	81-94
書簡〔示談金交渉経過〕 すづゑ→守屋よしみ	昭和6年3月7日(1931)	1通・墨書	86-357-24
書簡〔湯治場到着〕 雅寿→守屋よしみ	大正7年8月8日(1918)	1通・ペン	5-6-41
葉書〔年賀状〕 光枝→守屋よし子	昭和5年1月1日(1930)	1枚・ペン	86-1-45
書簡〔近況報告〕 光枝→守屋好子	昭和5年6月20日(1930)	1通・ペン	10-406-34
書簡〔シカゴ生活近況報告〕 光枝→守屋よし子	昭和5年9月17日(1930)	1通・ペン	7-147-154
葉書〔当地出発帰宅予定通知〕 義雄→守屋よしみ	大正6年11月18日 (1917)	1枚・ペン	81-48

受信：守屋ひでを

葉書〔帰宅報告、帰郷時の配慮御礼〕 伊藤詢→守屋ひでを	大正9年8月18日(1920)	1枚・ペン	9-23-120
葉書〔帰宅通知、挨拶礼状〕 梅原彦治→守屋ひで	大正2年3月8日(1913)	1枚・ペン	9-23-18
葉書〔年賀状〕 大館清人→守屋ひで・守屋園枝	大正10年1月1日(1921)	1枚・ペン	9-23-136
葉書〔年賀状〕 大場末治→守屋ひで	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-51
葉書〔挨拶礼状、出立後経過報告〕 大場末治→守屋ひでを	大正2年3月1日(1913)	1枚・ペン	9-23-22
葉書〔宮城県女子師範学校に入舎報告〕 尾形りん→守屋おひで	大正3年4月8日(1914)	1枚・墨書	18-14-192-76
葉書〔残暑見舞い〕 萱場昌→守屋ひでを	大正9年9月6日(1920)	1枚・ペン	9-23-122
電報〔外遊祝い〕 ゴトゥーロウ→守屋ひでお	大正12年1月26日(1923)	1通・謄写版	80-40-5-1
電報〔弔電〕 近藤石森→モリヤヒデヲ	大正12年3月17日(1923)	1通・ペン	18-14-103
葉書〔大内先生仙台市入り、堀越圭介昇進の件〕 今野長三郎→守屋ひでを・よしみ	大正6年8月9日(1917)	1枚・ペン	81-85
葉書〔暑中見舞い、妻退院報告〕 今野長三郎→守屋ひでを・伴男・正男・明男・節夫	8月3日	1枚・謄写版・墨書	9-23-117
葉書〔転居通知、転居先環境〕 今野長三郎→守屋ひで子・伴男・正男・明男	14日	1枚・ペン	9-23-104
葉書〔病状報告〕 西郷太郎→守屋ひで	大正2年3月25日(1913)	1枚・墨書	9-23-12
葉書〔残暑見舞〕 佐々木幸一郎→守屋ひで	9月	1枚・墨書	9-23-98
葉書〔面会時高配御礼〕 佐々木幸次郎→守屋ひで	大正2年3月23日(1913)	1枚・ペン	9-23-8
葉書〔帰郷中配慮御礼〕 鈴木直三郎→守屋ひで子	大正9年8月12日(1920)	1枚・墨書	9-23-100
葉書〔三人とも無事着仙〕 高橋正志→守屋英代	大正2年3月3日(1913)	1枚・墨書	9-23-21
葉書〔挨拶礼状、出立後旅程報告〕 高橋みよの→守屋ひで	5月12日	1枚・ペン	9-23-35
葉書〔訪問時配慮御礼、帰宅通知〕 高橋歟平・高橋たみ→守屋ひでを	大正9年8月15日(1920)	1枚・ペン	9-23-148
葉書〔訪問時配慮と恵贈品御礼、圭介帰隊〕 高橋歟平・高橋たみ→守屋ひでを	大正10年9月1日(1921)	1枚・ペン	9-23-149
葉書〔法事日時通知〕 千葉万久→守屋ひで	大正2年2月13日(1913)	1枚・墨書	9-23-11
書簡〔伴男見舞い、まさみ追悼、節夫の就職先〕 千葉正三→守屋ひでを・節夫	大正9年9月5日(1920)	1通・墨書	9-23-169
書簡〔馬放長照院で先帝百日追悼会、戦死者招魂法会執行日程通知〕 千葉八七蔵〔日本赤十字社富永村委員長〕→守屋ひでを	大正1年11月4日(1912)	1通・謄写版	9-23-65
葉書〔上京日程通知・依頼の件承知〕 手島喜一郎→守屋ひでを	大正6年11月28日(1917)	1枚・ペン	81-699
葉書〔妻男子出産〕 鳥海剛→守屋ひでを	大正9年8月18日(1920)	1枚・墨書	9-23-97

書簡〔伴男発病お見舞い〕 鳥海剛→守屋ひでを	大正9年9月3日(1920)	1通・墨書	9-23-165
葉書〔暑中見舞い〕 やまと→守屋ひでを	大正8年7月22日(1919)	1枚・墨書	18-14-192-18
葉書〔近況報告〕 鳥海やまと→守屋ひでを・明男	大正9年6月8日(1920)	1枚・ペン	9-23-109
葉書〔暑中見舞い、近況報告〕 鳥海やまと→守屋ひでを	大正9年7月12日(1920)	1枚・ペン	9-23-103
電報〔航海安全祈念〕 ナガノ→守屋ひでお	大正12年1月22日(1923)	1枚・謄写版	80-40-5-6
書簡〔一郎発母宛着任後の状況報告、園枝発母宛近況報告〕 成田一郎・園枝→守屋ひでを・母	大正10年8月2日(1921)	2通・墨書・ペン	9-23-178
葉書〔娘の民全快、見舞御礼〕 堀越圭介→守屋ひでを	大正9年5月9日(1920)	1枚・墨書	9-23-108
葉書〔上京時面会日程通知〕 堀越圭介→守屋ひでを	大正10年8月21日(1921)	1枚・墨書	9-23-101
葉書〔祖母上京予定通知依頼〕 堀越たみ→守屋ひでを	大正9年9月12日(1920)	1枚・鉛筆	9-23-96
書簡〔女学校入学にて挨拶〕 堀越たみ・みね・一夫→お祖母・お母上	昭和2年2月27日(1927)	1通・ペン	86-322-89
葉書〔ご機嫌伺い〕 本田きみ→守屋ひでを	8月27日	1枚・墨書	9-23-115
葉書〔健康伺い〕 松井文輔→守屋ひでを	大正15年6月15日(1926)	1枚・ペン	84-3-114
葉書〔県庁就職通知〕 松田孝之丞→守屋ひでを	明治44年8月12日(1911)	1枚・ペン	9-23-49
葉書〔閑院宮両殿下秋田旅程経過、帰京通知〕 松田孝之丞→守屋ひでを	明治45年6月27日(1912)	1枚・ペン	9-23-47
葉書〔年賀状〕 松田孝之丞→守屋ひでを・和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-79
葉書〔休暇中のお世話御礼〕 松田つね子→守屋ひでを	大正10年9月24日(1921)	1枚・ペン	78-3-74
葉書〔出立時餞別御礼、到着報告〕 松田よね・つね→守屋ひでを	大正9年9月1日(1920)	1枚・ペン	9-23-93
葉書〔土産送付御礼〕 守屋げん→守屋ひでを・よしみ	昭和2年12月25日(1927)	1枚・ペン	85-7-2-1-4
書簡〔訪問時御礼、伝言の件、依頼の綱入手経過報告、受取証〕 吉城富郎→守屋御老母	大正 7月17日	1通・墨書	9-23-167
葉書〔連絡催促〕 いくね→守屋ひでを	大正2年2月18日(1913)	1枚・ペン	9-23-23
書簡〔当選祈願〕 守屋栄治→守屋ひでを	昭和3年2月16日(1928)	1通・墨書・ペン	10-210
葉書〔帰国中配慮御礼、無事到着〕 守屋貞子→守屋ひでを	大正9年9月3日(1920)	1枚・ペン	9-23-94
書簡〔挨拶、米など拝受報告〕 守屋しめ→守屋ひで・よしみ	昭和4年2月16日(1929)	1通・墨書	6-56-32
葉書〔台中丸にて門司より〕 てる子→守屋ひでを・みなさまで	大正10年10月6日(1921)	1枚・ペン	78-3-55
葉書〔伴男体調伺い〕 富子→守屋ひでを	大正10年9月24日(1921)	1枚・ペン	78-3-73
書簡〔近況報告、伺い〕 守屋久子→守屋ひでを	大正 7月30日	1通・ペン	9-23-175

書簡〔挨拶、仙台の様子〕 守屋やすゑ→守屋ひでを	大正6年9月17日(1917)	1通・墨書	83-14-57
葉書〔近況報告〕 康枝→守屋ひでを	大正9年8月20日(1920)	1枚・墨書	9-23-116
葉書〔お見舞い〕 康枝→守屋ひでを	大正9年8月27日(1920)	1枚・ペン	9-23-170

受信：守屋徳夫

書簡〔お悔やみ状〕 大平嘉重郎→守屋徳夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	9-29-15
書簡〔お悔やみ状〕 岡崎卓→守屋徳夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	9-13-7
書簡〔お悔やみ状〕 片桐啓治→守屋徳夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-54-17
葉書〔令妹入学祝状〕 菊池純一郎→守屋徳夫	大正2年4月11日(1913)	1枚・墨書	9-23-4
書簡〔お悔やみ状〕 木村惣二郎→守屋徳夫	昭和4年3月17日(1929)	1通・墨書	5-25-2
書簡〔お悔やみ状〕 久保正次郎→守屋徳夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	6-54-16
書簡〔お悔やみ状〕 久保薫一→守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-11
書簡〔お悔やみ状〕 小山亮→守屋徳夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	6-54-13
書簡〔お悔やみ状〕 志岐信太郎→守屋徳夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-25-10-32-8
書簡〔高楠栄の名刺〕 高楠栄〔京城帝国大学医学部教授〕 →守屋徳夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・ペン	9-16-77
書簡〔お悔やみ状〕 達喜東→守屋徳夫	昭和4年3月6日(1929)	1通・墨書	6-57-9-2
書簡〔お悔やみ状〕 鶴野正収→守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-189-4
書簡〔お悔やみ状〕 中村孝嗣→守屋徳夫	昭和4年3月8日(1929)	1通・墨書	5-27-24
書簡〔お悔やみ状〕 能登利正→守屋徳夫	昭和4年3月14日(1929)	1通・墨書	5-25-8-1
書簡〔お悔やみ状〕 平原保→守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-27
葉書〔暑中見舞い〕 藤崎→守屋徳夫	明治44年8月18日 (1911)	1枚・墨書	9-23-42
書簡〔娘就職戦旋依頼〕 朴沢ひろ〔朴沢松操学校長〕→守 屋徳夫	昭和2年1月(1927)	1通・謄写版・ペ ン	18-14-196
書簡〔課一同よりのご香料〕 本田秀夫→守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-189-6
書簡〔遺骨出立に遅れた事へのお詫び〕 松山常次郎→ 守屋徳夫	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-25-9-11
書簡〔お悔やみ状〕 三島竹男・島谷直方→守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-56
書簡〔お悔やみ状〕 山勝陳平→守屋徳夫	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-29-58
書簡〔お悔やみ状〕 吉村香六→守屋徳夫	昭和4年3月12日(1929)	1通・墨書	9-18-10

受信：守屋和郎

葉書〔栄転祝い〕 天野作蔵→守屋和郎	昭和2年4月12日(1927)	1枚・ペン	84-1-79
葉書〔年賀状〕 氏家文夫→守屋和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-74
書簡〔お悔やみ状〕 大内亀太郎〔関東庁出張所〕→守屋和郎	昭和4年3月5日(1929)	1通・墨書	9-15-153

葉書〔君津郡佐貫訪問〕 佐々木忠右衛門→守屋和郎	大正7年4月1日(1918)	1枚・ペン	82-3-48
葉書〔信州勉強好適〕 佐々木→守屋和郎	大正7年7月24日(1918)	1枚・ペン	82-3-279
葉書〔年賀状〕 柴田町皆小学校御日会→守屋和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書・謄写版	9-23-77
葉書〔年賀状〕 菅原新一郎→守屋和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-80
葉書〔書籍閲覧願い〕 土井林吉→守屋和郎	大正8年24日(1919)	1枚・ペン	83-9-13
葉書〔御栄転祝い〕 中川隆司→守屋和郎	大正9年17日(1920)	1枚・ペン	82-3-317
葉書〔東京の近況報告〕 中条丈夫→守屋和郎	明治44年5月14日(1911)	1枚・ペン	9-23-34
葉書〔年賀状〕 中條丈夫→守屋和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-72
葉書〔年賀状〕 北斗→守屋和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-78
葉書〔挨拶状〕 堀越圭介・つらね・たみ・みね・一夫→守屋和郎	大正7年10月30日(1918)	1枚・墨書	82-3-117
書簡〔お悔やみ状〕 前田詮資→守屋和郎	昭和4年3月15日(1929)	1通・墨書	5-14-79
葉書〔三沢君・鈴木君・香川君の相談〕 三浦斧吉→守屋和郎	3年カ7月6日	1枚・ペン	18-14-192-7
葉書〔誕生祝い(英語)〕 moyfie→守屋和郎		1枚・活版・ペン	82-3-355

受信：守屋節夫

葉書〔年賀状〕 青山治吉→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書・活版	9-23-139
葉書〔近況伺い〕 石川忠司→守屋節夫	大正10年9月25日(1921)	1枚・ペン	78-3-80
葉書〔挨拶状〕 石川とみ子→守屋節夫	大正11年カ8月9日(1922)	1枚・ペン	18-14-192-27
葉書〔徴兵検査結果通知、入学祈念〕 石川平之助→守屋節夫	大正9年6月19日(1920)	1枚・墨書	9-23-127
葉書〔年賀状〕 伊藤洵→守屋節夫	大正6年12月30日(1917)	1枚・ペン	18-14-192-35
葉書〔年賀状〕 大場昌平→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-130
葉書〔年賀状〕 大場政吉〔歩兵第四連隊第一中隊〕→守屋節	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-132
葉書〔年賀状〕 金子強→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-145
書簡〔手紙交換依頼、動静通知〕 木村節夫→守屋節夫	大正9年10月22日(1920)	1通・墨書	9-23-168
葉書〔年賀状、帰宅通知〕 源緑草→守屋節夫	大正10年1月10日(1921)	1枚・ペン	9-23-141
書簡〔東京通信局勤務〕 今野広志→守屋節夫	8月3日	1通・ペン	18-14-192-36
葉書〔年賀状〕 佐々木八郎→守屋節夫	大正9年1月1日(1920)	1枚・ペン	9-23-105
葉書〔年賀状〕 佐々木八郎→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書・活版	9-23-135
葉書〔近況報告、無事に練兵〕 佐々木芳夫→守屋節夫	大正10年2月8日(1921)	1枚・鉛筆	9-23-146

葉書〔年賀状〕 佐々木→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・ペン	9-23-142
葉書〔高等学校入学につき照会〕 佐藤庄八→守屋節夫	大正9年11月8日(1920)	1枚・ペン	9-23-126
葉書〔年賀状〕 佐藤庄八→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-137
葉書〔帰郷予定通知〕 杉田甫→守屋節夫	大正9年12月27日(1920)	1枚・ペン	9-23-153
葉書〔仙台法文第二次試験への意気込み〕 鈴木授→守屋節夫		1枚・ペン	18-14-193-15
葉書〔年賀状〕 高橋栄夫〔仙台歩兵第四連隊第五中隊第五班〕→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書・活版	9-23-133
葉書〔年賀状〕 高橋謙兵→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-152
葉書〔年賀状〕 高橋日→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-151
葉書〔ご希望の件手続き中〕 千葉正三→守屋節夫	大正	1枚・ペン	9-23-173
葉書〔年賀状〕 千葉宗一→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-129
葉書〔年賀状〕 千葉忠夫→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-128
書簡〔遠田郡役所より守屋節夫の砂川尋常小学校代用教員依頼退職辞令送付〕 千葉〔砂山小学校長〕→守屋節夫	大正9年1月21日(1920)	1通・墨書	9-23-162
葉書〔訪問につき挨拶状〕 三沢房太郎→守屋節夫	大正10年カ12月30日(1921)	1枚・ペン	18-14-192-67
葉書〔帰省不可の通知〕 最上幸□→守屋節夫	3月22日	1枚・ペン	18-14-193-5
葉書〔年賀状〕 横山清一→守屋節夫	大正10年1月8日(1921)	1枚・墨書	9-23-143
葉書〔次男の動静伺い、弟仁の貸借の件〕 和久正志→守屋節夫	大正15年29日(1926)	1枚・ペン	84-3-129
葉書〔試験近く自覚すべき旨〕 兄→守屋節夫		1枚・墨書	18-14-192-78
葉書〔仙台高女生徒感想文送付依頼〕 兄→守屋節夫	3月16日	1枚・ペン	18-14-193-14
葉書〔年賀状〕 姉→守屋節夫	大正11年1月1日(1922)	1枚・ペン	18-14-192-21
葉書〔台中丸より挨拶状〕 華都子→守屋節夫		1枚・ペン	18-14-192-74
葉書〔ご機嫌伺い〕 照→守屋節夫	昭和3年4月21日(1928)	1枚・ペン	18-14-193-17
葉書〔年賀状〕 久男→守屋節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-134

受信：守屋（堀越）つらね

葉書〔校長エメ・デボアシ先生就任25周年式典開催通知〕 市立仙台高等女学校同窓会幹事→守屋つらね	大正2年1月29日(1913)	1枚・謄写版	9-23-31
葉書〔写真送付依頼〕 鎌田とみ枝→守屋つらね	明治45年3月31日(1912)	1枚・ペン	9-23-85
葉書〔出立時見送り御礼〕 佐藤みどり→守屋つらね	明治39年8月12日(1906)	1枚・ペン	9-23-38
葉書〔近況報告〕 鈴木種雄→守屋つらね	明治45年6月9日(1912)	1枚・墨書	9-23-83
葉書〔至急転居するよう助言〕 在京の兄→守屋つらね	明治43年2月3日(1910)	1枚・ペン	9-23-63

葉書〔帰宅通知〕 牛込の兄→守屋つらね・和郎	9月8日	1枚・ペン	9-23-57
受信：守屋（成田）園枝			
葉書〔合格祝い〕 秋山忠雄→守屋そのへ・鈴木とも子	大正2年3月17日(1913)	1枚・墨書	9-23-16
葉書〔挨拶状〕 石川藤→守屋そのへ	8月	1枚・墨書・ペン	18-14-192-56
葉書〔合格祝い〕 市橋正志→守屋そのへ・鈴木とも	大正2年3月27日(1913)	1枚・墨書	9-23-9
葉書〔合格祝い、男女合格者〕 金成哲久→守屋そのへ・鈴木とも子	大正2年2月15日(1913)	1枚・ペン	9-23-24
葉書〔日蓮上人霊地詣でにて所感〕 今野→守屋園・鈴木伴子	大正4年3月カ10日(1915)	1枚・ペン	18-14-192-54
葉書〔残暑見舞〕 斎藤喜代松→守屋そのへ	大正5年8月20日(1916)	1枚・ペン	18-14-192-33
葉書〔登米尋常高等小学校の写真〕 佐久間とみよ→守屋そのへ	大正5年8月16日(1916)	1枚・ペン	18-14-192-9
葉書〔入學予備試験合格祝い〕 鈴木喜右衛門〔歯科医〕→守屋そのへ	大正2年2月26日(1913)	1枚・墨書	9-23-29
葉書〔合格祝い〕 鈴木まさみ→守屋園枝・鈴木友子	大正2年2月15日(1913)	1枚・ペン	9-23-25
葉書〔年賀状〕 鈴木ます→守屋そのへ	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-6
書簡〔病氣見舞い〕 仙台市荒町尋常小学校有隣会→守屋そのへ	大正8年5月2日(1919)	1通・墨書	18-14-197
葉書〔入學予備試験激励〕 高橋正志→守屋そのへ・とみほ・鈴木ともこ	大正2年1月29日(1913)	1枚・墨書・ペン	9-23-32
葉書〔試験採点結果通知〕 高橋まさし→守屋そのへ・鈴木とも子	大正2年3月11日(1913)	1枚・ペン	9-23-20
葉書〔試験合格通知〕 玉沢生枝→守屋園枝・鈴木とも子	大正2年3月13日(1913)	1枚・墨書	9-23-17
葉書〔入學予備試験合格祝い〕 本田一夫→守屋そのへ・鈴木とも	大正2年2月15日(1913)	1枚・ペン	9-23-28
葉書〔合格祝い〕 本田一夫→守屋そのへ・鈴木とも	大正2年3月14日(1913)	1枚・墨書	9-23-19
葉書〔近況報告〕 本田やまと→守屋そのへ	大正2年2月12日(1913)	1枚・墨書	9-23-30
葉書〔予備試験合格報告〕 本田やまと→守屋そのへ	2月18日	1枚・ペン	18-14-192-53
書簡〔中身欠〕 本田やまと→守屋そのへ	3月3日	1通・墨書	9-23-54
葉書〔近況報告〕 本田やまと→守屋そのへ	3月30日	1枚・ペン	9-23-36
書簡〔とみを通じて栄夫へ人事便宜願ひ〕 守屋とみ→成田園枝	大正 9月25日	1通・墨書	9-27-32
書簡〔お悔やみ状〕 守屋康衛→守屋そのへ	大正8年10月3日(1919)	1通・ペン・墨書	18-14-192-31
葉書〔合格祝い、他合格者〕 吉田みさを・佐藤まさみ→守屋そのへ・鈴木ともこ	大正2年3月15日(1913)	1枚・ペン	9-23-14
葉書〔損傷により解読不能〕 婦美枝→守屋そのへ・鈴木とも子	大正2年2月17日(1913)	1枚・ペン	9-23-26
葉書〔修養すべき旨挨拶状〕 兄→守屋園枝	大正 4月1日	1枚・ペン	18-14-192-51

葉書〔国民道徳講演会にて挨拶状〕 兄→守屋園枝	大正 9月18日	1枚・ペン	18-14-192-46
受信：守屋伴男			
書簡〔挨拶状〕 石川→守屋伴男	大正 8月17日	1通・ペン	81-87
葉書〔転居通知〕 C.Iwata→守屋伴男	大正9年8月12日(1920)	1枚・ペン	9-23-91
葉書〔来仙時の欠礼お詫び、佐藤君転職〕 氏家文夫→守屋伴男	昭和3年7月27日(1928)	1枚・ペン	86-325-55
葉書〔挨拶状〕 加藤伝作→守屋伴男	大正6年4月19日(1917)	1枚・ペン	81-119
葉書〔記載なし〕 鎌田なつえ→守屋友男・正男・明男	大正11年1月1日(1922)	1枚・墨書	78-3-62
書簡〔宮城県における職員の政治的な運動の報告〕 簡野博志→守屋伴男	昭和8年5月30日(1933)	1通・謄写版	84-11-23
葉書〔暑中見舞い〕 岸→守屋伴男・正男・明男	大正6年8月8日(1917)	1枚・ペン	81-92
葉書〔二見ヶ浦から挨拶〕 今野→守屋伴男	大正6年5月24日(1917)	1枚・ペン	81-53
葉書〔朝鮮を見物報告〕 今野→守屋伴男・正男・明男	大正10年9月16日(1921)	1枚・ペン	78-3-49
葉書〔千葉に避暑の誘い〕 鈴木譲→守屋伴雄	大正6年8月6日(1917)	1枚・墨書	81-36
書簡〔急の帰京、御尊父様へ御礼〕 千葉清之進→守屋友男	昭和5年7月7日(1930)	1通・ペン	10-411-15
書簡〔絵葉書在中〕 手島喜一郎→守屋伴男	大正1年8月3日(1912)	1通・ペン・活版	81-623
書簡〔恵贈品御礼〕 鳥海やまと→守屋伴男	大正9年8月6日(1920)	1通・墨書	9-23-163
葉書〔近況挨拶〕 成田一郎→守屋伴男	大正7年10月25日(1918)	1枚・ペン	82-3-216
葉書〔暑中見舞い〕 斧吉→守屋伴男	大正8年8月8日(1919)	1枚・墨書	18-14-192-45
葉書〔近所で火災、留守宅無事〕 義雄→守屋伴男	大正10年8月12日(1921)	1枚・ペン	9-23-150
受信：守屋正男			
葉書〔ご機嫌伺い〕 岸鉦一→守屋正男	大正7年6月10日(1918)	1枚・ペン	82-3-224
葉書〔名古屋訪問時連絡願い〕 岸鉦一→守屋正男	大正8年7月13日(1919)	1枚・ペン	82-3-284
葉書〔絵葉書送付〕 コンノ→守屋正男	大正 14日	1枚・ペン	82-3-196
葉書〔徳夫を訪問〕 今野→守屋正男	大正	1枚・ペン	81-166
葉書〔年賀状〕 松木友則→守屋政男	大正7年1月1日(1918)	1枚・墨書	82-3-237
受信：守屋明男			
葉書〔暑中見舞い〕 鎌田奈津恵→守屋秋雄	大正15年7月22日(1926)	1枚・墨書	86-322-49
葉書〔明ちゃん体調伺い〕 萱場昌→守屋明男・おばあ様	大正10年12月25日(1921)	1枚・ペン	78-3-65

葉書〔徳夫宅訪問の約束〕 コンノ→守屋明男	大正6年3月(1917)	1枚・ペン	81-106
葉書〔絵葉書送付〕 コンノ→守屋明男	大正8年6月14日(1919)	1枚・ペン	82-3-195
葉書〔挨拶状〕 本田きみ子→守屋昭男	大正14年11月30日(1925)	1枚・ペン	84-6-59
葉書〔年賀状〕 松木友則→守屋秋男	大正7年1月1日(1918)	1枚・墨書	82-3-238
葉書〔ご機嫌伺い〕 守屋正男→守屋明男	12月11日	1枚・鉛筆	78-3-64
葉書〔ご機嫌伺い〕 やまと→守屋明男	大正7年7月21日(1918)	1枚・墨書	82-3-222
受信：その他			
電報〔弔電〕 生田清三郎→モリヤエイジ	大正12年3月20日(1923)	1通・ペン	18-14-84
葉書〔節夫病状見舞い〕 石川とみ子→守屋志ゆん	大正9年12月20日(1920)	1枚・墨書	9-23-154
葉書〔年賀状〕 石川とみ子→守屋しゆん・節夫	大正10年1月1日(1921)	1枚・墨書	9-23-140
葉書〔節夫氏日消息照会〕 石川富子→守屋しゆん	大正13年3月20日(1924)	1枚・ペン	18-14-193-6
葉書〔近況伺い〕 石川平之助→守屋すん	大正9年11月1日(1920)	1枚・ペン	9-23-171
葉書〔暑中見舞い〕 石川平之助→守屋すん	12年カ7月23日	1枚・ペン	18-14-192-37
葉書〔近況報告〕 大橋貞作→守屋尙男	昭和8年9月19日(1933)	1枚・ペン	86-323-12
葉書〔軍務勉強中〕 斎木信雄→守屋しん	大正13年カ2月3日(1924)	1枚・ペン	18-14-193-16
葉書〔ご馳走頂戴のお礼〕 梅宗丑松→守屋徳郎	明治42年1月11日(1909)	1枚・ペン	3-42
書簡〔当選祝い〕 小田直蔵→守屋英夫	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	10-310
葉書〔近況報告、コレラ流行〕 加具山艶→守屋つね子	大正1年10月15日(1912)	1枚・ペン	9-23-50
葉書〔暑中見舞い〕 鎌田奈津恵→守屋武雄	大正15年7月22日(1926)	1枚・墨書	86-322-48
葉書〔暑中見舞い〕 鎌田奈津恵→守屋照子	大正15年7月22日(1926)	1枚・墨書	86-322-50
葉書〔暑中見舞い〕 鎌田奈津恵→守屋万里子	大正15年7月22日(1926)	1枚・墨書	86-322-47
書簡〔病氣回復、お見舞い〕 木村節夫→守屋しゆん	大正9年12月24日(1920)	1通・墨書	9-23-180
葉書〔小作証の催促状〕 佐々木栄介→守屋久米吉	3年カ9月15日	1枚・ペン	18-14-192-55
葉書〔ゼネバ滞在中の御礼〕 佐々木修一郎・当舎勝次→守屋盛夫	大正14年8月18日(1925)	1枚・ペン	84-6-140
葉書〔徳夫・久子結婚披露宴招待状〕 鈴木重兵衛・守屋栄夫→守屋しゆん	大正9年12月(1920)	1枚・活版	9-23-84
葉書〔新年の挨拶〕 趙欣伯→守屋武夫	昭和12年カ1月1日(1937)	1枚・活版	86-326-1

葉書〔年賀状〕 手島喜一郎→守屋勝見・和郎	大正2年1月1日(1913)	1枚・墨書	9-23-1
書簡〔新地整理登記済報告の件〕 南條正亮〔富永村狐塚外三大字耕地整理組合長〕→守屋徳郎・守屋しゅん〔組合員〕	大正7年9月5日(1918)	1通・活版・ペン	83-7-2
書簡〔御礼として鮎の粕漬送付〕 松井文輔→御隠居	大正14年10月27日(1925)	1通・ペン	85-10-63
電報〔庶務部長連れ去り〕 MATSUMURA→MORIYA	大正12年9月20日(1923)	1通・謄写版	79-7-29
書簡〔当選祝い〕 山田泰七→守屋英夫	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	10-202
葉書〔暑中見舞い〕 横田忍→守屋英夫	大正6年8月1日(1917)	1枚・ペン	81-32
葉書〔暑中見舞い〕 横田忍→守屋英夫	大正8年7月カ28日(1919)	1枚・ペン	82-3-364

Sub-Series No.3: 第三者

あ行

書簡〔政治情勢〕 赤池濃→総督閣下	2月13日	1通・ペン	23-43
書簡〔原総理接見、朝鮮問題談義、原の朝鮮統治政策〕 赤池濃→水野錬太郎〔政務総監〕	大正9年9月26日(1920)	1通・ペン	9-24-14
書簡〔朝鮮独立運動に関する同光会の電信への所感、野田通相の関係、野田卯太郎の内田良平等への所感〕 赤池濃→水野錬太郎〔政務総監〕	大正10年9月13日(1921)	1通・ペン・墨書	9-24-6
書簡〔内田徹履歴書、内田執筆旧稿〕 秋月左都夫〔京城日報社〕→斎藤実	大正5年12月16日(1916)	1通・墨書・謄写版・活版	9-24-29
書簡〔賛同を得て猛運動を展開〕 秋山研亮→今野長三郎	昭和2年12月12日(1927)	1通・ペン	85-7-3-22
書簡〔守屋大勝祝い〕 阿部小十郎→鈴木重兵衛	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	6-68
書簡〔室蘭区史編纂につき旧仙台藩石川家入植記録同封〕 泉雄喜→室蘭区役所	大正8年9月10日(1919)	1通・墨書	9-14-15
書簡〔千舞鼈村・輪西村開拓由緒〕 泉麟太郎→細川貞之丞	大正8年9月23日(1919)	1通・墨書	9-14-48
書簡〔総選挙、加美郡後始末、今野氏立替金対応〕 伊藤喜六→鈴木重兵衛	昭和3年3月29日(1928)	1通・墨書	5-9-2
書簡〔北海道開拓状況〕 岩村八作→細川貞之丞	大正8年3月25日(1919)	1通・ペン	9-14-24
書簡〔松岡新一郎接見、旧稿送付状〕 内田徹→秋月左都夫	大正 7月17日	1通・墨書	9-24-28
書簡〔ワシントン会議における李承晩らの行動と事後処理、守屋栄夫宛斎藤総督メモ〕 内田良平→斎藤実	大正10年11月20日(1921)	1通・墨書・ペン	9-20-1
書簡〔守屋栄夫当選祝い〕 遠藤信太郎→赤坂達蔵	昭和3年2月10日(1928)	1通・ペン	10-260
葉書〔御努力感謝〕 大内俊亮→鈴木重兵衛	昭和3年2月23日(1928)	1枚・墨書	7-36
書簡〔守屋氏立候補後援、川崎・村田両町村における学術講演会通知の件〕 大沼喜久衛→今野長三郎	昭和3年1月19日(1928)	1通・ペン	10-408-110

書簡〔小切手入高書取表の渡し方につき〕 岡崎邦輔→水野鍊太郎〔総監〕	大正10年7月13日(1921)	1通・墨書	9-24-23
書簡〔函館大沼公園行楽の思い出〕 岡元栄七→細川貞之丞	9年8月11日	1通・ペン	9-14-40
書簡〔詩歌添削願い〕 小川昭治→細川貞之丞	9月23日	1通・墨書	9-14-43
葉書〔雑誌「神かずら」受領、第一号以降送付依頼〕 小川全一→皇学会事務所	昭和3年2月24日(1928)	1枚・ペン	7-147-259
書簡〔中身欠〕 奥山盛孝〔新義州公立中学校〕→細川貞之丞先生	昭和8年カ9月6日(1933)	1枚・ペン	18-14-192-34
書簡〔「朝鮮部落調査私案」、「朝鮮部落調査予察概況」〕 小田切通敏→水野鍊太郎	大正9年4月16日(1920)	1通・活版	9-24-25
書簡〔東洋太古天象観に関する書籍刊行、伊達家所蔵仙台城并仙台領分両大絵図の件、「附載」「西郷南洲先生書 額面」〕 小野清→斎藤実	大正10年11月20日(1921)	1通・墨書	9-20-6
葉書〔芳書の件承知、若手呼び寄せる〕 小圃直二→津々良麟介	昭和3年2月7日(1928)	1枚・墨書	10-408-35

か行

書簡〔京城行き資金大至急送付願い〕 加佐多→細川貞	昭和10年9月23日(1935)	1通・ペン	9-14-16
葉書〔芳書の件承知、支援回答〕 鹿重清蔵→津々良麟介	昭和3年2月1日(1928)	1枚・ペン	10-408-36
書簡〔李殿下同妃殿下帰鮮、朝鮮風俗上最も重大な儀式観見礼の件〕 上林敬次郎〔李王職次官〕→斎藤実	大正11年3月5日(1922)	1通・墨書	9-20-8
書簡〔京城から品物送付御礼、祖父への挨拶状〕 川崎昌・山室スミ子→細川貞之丞	昭和2年カ7月14日(1927)	1通・ペン	18-14-192-79
書簡〔大日本国粋会朝鮮本部創立、牧山耕蔵創立委員長に決定〕 川村数郎→斎藤実	大正10年8月7日(1921)	1通・墨書	9-24-24
書簡〔横山氏推薦承諾〕 川面松衛→鈴木讓三郎	大正6年8月16日(1917)	1通・ペン	83-14-73
書簡〔「日本の神道」執筆につき〕 川本達→細川貞之丞	昭和8年1月7日(1933)	1通・墨書	9-14-47
書簡〔徳在面上下浦における更生農家講演、漢詩ご教示感謝〕 姜星熙→細川貞之丞	昭和10年8月8日(1935)	1通・ペン	9-14-14
書簡〔中身欠〕 金基煥→金基善		1通・墨書	9-29-3
書簡〔虫損により判読不能〕 工藤文太郎		1通・墨書	10-363
電報保管通知〔モリヤサカフ宛電報受信人不明につき〕 小石川郵便局→寛克彦	4月6日	1通・謄写版・ペン	86-341
書簡〔小牛田で開催した学術講演の結果と反響、政治活動の拠点設置希望〕 後援会→三葉会	昭和3年1月25日(1928)	1通・墨書	9-16-38
書簡〔原稿添削関係〕 黄海区教育会→細川貞之丞	昭和12年11月2日(1937)	1通・墨書	9-14-35
書簡〔長寿山についての原稿・ゲラ・写真〕 黄海道教育会→細川貞	昭和12年11月29日(1937)	1通・ペン・活版	18-14-192-58
書簡〔朝鮮財政独立・鮮人教育等施政経営意見〕 小松原英太郎→水野鍊太郎	大正8年11月4日(1919)	1通・墨書	5-28-6

書簡〔御起居伺い、御礼〕 近藤久顕→細川貞之丞	9年5月28日	1通・墨書	9-14-32
書簡〔朝鮮産砂金鑑定依頼〕 近藤久喜→細川貞之丞	8年7月30日	1通・ペン	9-14-8
書簡〔守屋衆議院議員当選祝い〕 今野春藏〔秋保電気軌道株式会社〕→森十吉	昭和3年2月22日(1928)	1通・墨書	7-27
さ行			
書簡〔当選祝い〕 斎藤源三郎→守屋選挙事務所	昭和3年2月25日(1928)	1通・墨書	10-400
書簡〔慶尚北道儒生一行の湯島聖廟訪問に際して斎藤総督・水野政務総監と打合せ〕 阪谷芳郎→水野鍊太郎	大正10年3月10日(1921)	1通・墨書	9-20-4
書簡〔評議会の経過報告〕 佐々木建→細川貞之丞	3月4日	1通・ペン	9-14-20
書簡〔総選挙に付軍資金支援申し出〕 佐々木仁→鈴木重兵衛	昭和3年2月10日(1928)	1通・ペン	10-414-19
書簡〔末子退院、原稿掲載の件、姜囑託の件〕 佐々木容助→細川貞之丞	昭和9年11月9日(1934)	1通・墨書	9-14-27
書簡〔旅行記の日程訂正について〕 佐々木容助→細川貞之丞	昭和13年7月5日(1938)	1通・墨書	9-14-31
書簡〔新年の挨拶〕 佐々木容助→細川貞之丞	1月5日	1通・墨書	9-14-13
書簡〔当選祝い〕 佐々木蓮蔵→鈴木重兵衛	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-28
電報〔奥様よりの電報受領、詳細請う〕 ササキ→コンノ チョウサフロウ	大正12年3月14日(1923)	1通・ペン	18-14-120
書簡〔二男正男逝去へのお悔み伝言依頼、近況報告〕 佐藤新→今野長三郎	大正12年3月25日(1923)	1通・ペン	18-14-149
葉書〔当選祝い〕 佐藤房子→佐々木正輔・御家内	昭和3年2月22日(1928)	1枚・ペン	7-147-189
書簡〔就職幹旋を栄夫を通じて和郎に依頼〕 佐藤三代治→細川貞之丞	昭和11年4月9日(1936)	1通・墨書	9-14-11
書簡〔守屋栄夫付顧問役として推薦〕 佐藤三代治→細川貞之丞	昭和11年5月21日(1936)	1通・墨書・ペン	9-14-10
書簡〔朝鮮独立仮政府状況報告〕 渋川雲是→赤池濃	大正8年11月10日(1919)	1通・ペン・墨書・活版	5-28-30-2
書簡〔御問合せの件、昌慶苑概要、内鮮一体の要点〕 下部山誠一→細川	昭和 6月21日	1通・墨書・ペン	9-14-23
書簡〔東樊集御賞賜御礼、朝鮮総督祝福図案の件〕 白須心華→成田碩門	12年12月17日	1通・墨書	9-14-42
書簡〔総督府所属小野政太郎行政官転任幹旋依頼〕 末松謙澄→水野鍊太郎〔政務総監〕	大正8年8月20日(1919)	1通・墨書	9-24-13
書簡〔急な解散と選挙活動の準備、政友会・民政党の動き、立候補の要請〕 鈴木次郎→三葉会	昭和3年1月24日(1928)	1通・墨書・ペン	9-16-40
書簡〔栄夫の選挙協力への返信〕 鈴木寿→成田一郎	昭和2年11月8日(1927)	1通・ペン	85-9-101
葉書〔予備試験激励〕 鈴木ふみえ→鈴木とも子・守屋そのへ・とみ子	大正2年1月27日(1913)	1枚・ペン	9-23-82

書簡〔朝鮮情勢不安定、総督府の朝鮮人扱い方、治鮮方針〕 宋秉峻→原敬	大正 9月23日	1通・ペン・朱筆	9-24-12
た行			
書簡〔黒川県属転任の件〕 高城畊造→中川〔衛生局長〕	大正8年12月16日 (1919)	1通・墨書	5-6-6
書簡〔見舞い状〕 高田ハジメ→秋野さく子	10月21日	1通・墨書	6-46-56
書簡〔細川退任祝い、高野平壤農政報告〕 高野健二→細川貞之丞	4月6日	1通・ペン	9-14-34
葉書〔聾啞学校長会にて上京〕 高野仁邇→津々良麟介	昭和3年2月(1928)	1枚・墨書	10-408-33
書簡〔ワシントン会議に向け同光会の朝鮮独立運動に対する交渉意見書、高橋内閣書記官長宛意見書返信〕 高橋光威〔内閣書記官〕→斎藤実	大正10年9月17日 (1921)	1通・墨書・ペン	9-24-20
書簡〔鮮氏の依頼につき相談〕 高橋光威→水野錬太郎	大正10年10月13日 (1921)	1通・墨書・活版	9-27-5
書簡〔封筒のみ〕 高橋林蔵→一力自転車支店	大正 4月	1通・墨書	9-23-160
葉書〔当選祝い〕 高柳喜郎→鈴木重兵衛	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-37
書簡〔朝鮮生活お尋ね、北海道の兄来訪等近況報告〕 竹内磯→細川貞之丞	9年9月18日	1通・墨書	9-14-12
書簡〔瑞興赴任につき御礼、選挙当選祈願他〕 竹内健郎→鈴木重兵衛	昭和3年2月6日(1928)	1通・墨書	10-414-21
書簡〔当選祝い〕 竹谷清五郎→鈴木重兵衛	昭和3年2月23日(1928)	1通・墨書	7-29
書簡〔丹野満八紹介〕 田中弘之〔亚洲佛教会会長〕→斎藤実	大正9年9月1日(1920)	1通・墨書	9-24-10
書簡〔守屋栄夫氏の立候補支援につき推薦依頼〕 玉沢正吉→津々良麟介	昭和3年2月1日(1928)	1通・墨書	10-348
葉書〔朝鮮総督府人員採用につき守屋秘書官に為書依頼〕 千葉永之助→佐藤忍	大正8年9月10日(1919)	1枚・ペン	9-25-25
書簡〔守屋欧米出張につき世話願い〕 千葉胤義→広沢金次郎〔伯爵〕	大正11年カ(1922)	1通・墨書	83-8-1
書簡〔銀杏購入願い〕 千葉恵→秋野さく子	11月10日	1通・墨書	6-46-4
書簡〔守屋欧米出張につき世話願い〕 千葉→kichijiro ogita(荻田)	大正11年カ(1922)	1通・墨書	83-8-2
書簡〔李完用経歴、李侯爵十周年追悼会総監弔詞案〕 朝鮮印刷株式会社→細川	昭和10年2月12日 (1935)	1通・ペン・活版	9-14-19
書簡〔中身欠〕 朝鮮総督府警察官講習所→細川貞之丞	昭和9年(1934)	1通・ペン	4-15
書簡〔原稿推敲御礼、赤壁江遊覧参加願い〕 沈衡鎮→細川貞之丞	大正11年5月5日(1922)	1通・墨書	9-14-52
書簡〔朝鮮関係官界就職斡旋依頼〕 沈寿官→細川貞之丞	昭和5年11月29日 (1930)	1通・墨書	9-14-1
書簡〔守屋栄夫への選挙戦応援、当選祈願〕 津々良安平→津々良麟介	昭和3年2月7日(1928)	1通・ペン	10-227

書簡〔申泰鉉より徐載弼・李承晩等の渡米及び独立運動の状況報告〕 同光会本部→小幡虎太郎	大正10年9月9日(1921)	1通・ペン・墨書	9-24-6-1
書簡〔申泰鉉の朝鮮独立運動攪乱〕 同光会本部→小幡虎太郎	大正10年9月11日(1921)	1通・ペン・墨書	6-2
葉書〔春の予定伺い〕 外垣いさこ→鈴木讓	昭和4年3月23日(1929)	1枚・ペン	86-327-29

な行

葉書〔当選祝い〕 中里由之助→佐々木正輔・正吉	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-147-330
書簡〔朝鮮経済政策相談につき御会同願う〕 中山豊喜→細川定之丞	昭和 5月3日	1通・ペン	9-14-38
書簡〔基隆到着〕 長山友→細田さと	大正14年10月9日(1925)	1通・ペン	84-6-119
書簡〔守屋栄夫の紹介依頼〕 成田哲吉→東京朝日新聞社	大正15年1月3日(1926)	1通・墨書	85-10-21
書簡〔弟のお見舞い状〕 新沼つ祢恵→今野與寿美	明治28年10月15日(1895)	1通・墨書	6-46-34
書簡〔農事改良会社の件、御高配御礼ほか〕 西村保吉→斎藤実	大正9年7月26日(1920)	1通・ペン	5-28-25
葉書〔当選祝い〕 野玉隼人→鈴木重兵衛	昭和3年2月22日(1928)	1枚・墨書	7-35

は行

書簡〔中身欠〕 長谷川ゆき→細川	10年7月16日	1通・ペン	9-14-51
書簡〔選挙第一期戦における中島派・内ヶ崎派・赤松派・守屋派の状況報告〕 早坂冬治→今野長三郎	昭和3年2月8日(1928)	1通・墨書・ペン	10-408-37
書簡〔投票依頼への返信〕 広田弘文→成田一郎	昭和2年11月5日(1927)	1通・ペン	85-9-100
書簡〔熱田神宮境域市境張拝承〕 二荒芳徳→松井茂	大正5年6月16日(1916)	1通・墨書	84-20-16
書簡〔朝鮮に於ける新聞政策〕 細井肇→斎藤実		1通・墨書	9-24-7
書簡〔杉村松盛による漢文での栄夫評〕 細川貞之丞→成田魯石	大正12年11月7日(1923)	1通・墨書・ペン	9-14-18
書簡〔御依頼の箴言、拙女身上の件〕 細川碧→細川貞之丞	大正8年5月10日(1919)	1通・ペン・活版	9-14-29
書簡〔二十周年記念文の件〕 細川碧→細川貞之丞	3月11日	1通・ペン	9-14-30
書簡〔病状軽快、別紙御尋の件〕 細川碧→室蘭区役所区史編纂掛	8年4月10日	1通・ペン	9-14-28
書簡〔栄夫演説会の弁士要請断り〕 堀経夫→成田一郎	昭和2年11月5日(1927)	1通・ペン	85-9-102
書簡〔银杏購入願い〕 堀江まつよ→秋野きく子	11月10日	1通・墨書	6-46-5

ま行

葉書〔喪中〕 前田米蔵→今野義雄	昭和1年12月31日(1926)	1枚・活版・墨書	86-326-34
書簡〔選挙チラシ〕 真槌須文→鈴木重兵衛	昭和3年2月19日(1928)	1通・活版・墨書	23-9

書簡〔上原和十郎推薦状、履歴書〕 松井茂→今野長三郎	大正8年12月14日 (1919)	1通・墨書	81-651-
書簡〔保険金送付延引につき報告〕 松井大進〔朝鮮殖産銀行釜山鎮派出所〕→片倉生命保険会社瀧野川代理店守屋方	昭和7年5月21日 (1932)	1通・墨書・ペン	18-14-201-2
書簡〔漢詩添削〕 松田甲→細川貞之丞	10年6月8日	1通・墨書・ペン	9-14-25
葉書〔当選祝い〕 宮城寅蔵→鈴木重兵衛	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	7-38
書簡〔病状悪化につき離別〕 三好巳之松→細川貞之丞	4年11月15日	1通・ペン	9-14-49
葉書〔守屋氏推薦の件〕 武藤清作→津々良麟介	昭和3年2月7日 (1928)	1枚・ペン	10-408-34
書簡〔朝鮮・佐世保・門司関係新聞切抜〕 村上栄十郎→細川	7年9月16日	1通・活版・墨書	9-14-41
葉書〔当選祝い〕 村松多吉→鈴木重兵衛	昭和3年2月22日 (1928)	1枚・墨書	6-67
や行			
書簡〔本日面会できずお詫び、明日来訪願ひ〕 梁川良右衛門→金成惟爾・今野義雄	8月12日	1通・墨書	6-46-41
書簡〔守屋宛二男正男逝去へのお悔やみ〕 矢野桃郎→今野長三郎	大正12年3月23日 (1923)	1通・墨書	18-14-175
書簡〔ホノルルで開催の新聞大会における朝鮮問題報告、米国新聞界の排日気分の緩和化とその背景〕 山県五十雄→水野鍊太郎	大正10年12月23日 (1921)	1通・ペン	9-20-28
書簡〔ご無礼お詫び、後日返信する旨〕 山崎欽五郎・小田→細川	昭和10年3月25日 (1935)	1通・活版・ペン・謄写版	9-14-9
書簡〔守屋宛二男正男逝去へのお悔やみ〕 山田一隆→今野長三郎	大正12年3月23日 (1923)	1通・墨書	18-14-185
書簡〔挨拶状〕 遣岸亮→萱場今朝治〔守屋殿方〕	大正6年10月13日 (1917)	1通・墨書	83-14-4
葉書〔当選祝い〕 遣水祐四郎〔守屋栄夫選挙事務所内〕→斎藤清	昭和3年2月23日 (1928)	1枚・墨書	7-147-170
書簡〔差止を要すべき事項に関し、内鮮官憲の連絡方法提言〕 横山助成→水野鍊太郎	大正8年11月28日 (1919)	1通・墨書	5-28-17
書簡〔選挙状況について〕 米谷勝之助→今野長三郎	昭和2年11月26日 (1927)	1通・墨書・ペン	85-7-3-21
葉書〔京都旅行にて景況報告〕 旅行生→宮城県女子師範学校寄宿舎八室皆々様	大正5年カ5月21日 (1916)	1枚・ペン	18-14-192-48
葉書〔大阪・奈良旅行にて景況報告〕 旅行生→宮城県女子師範学校寄宿舎八室皆々様	大正5年カ5月24日 (1916)	1枚・ペン	18-14-192-49
書簡〔女優歌舞伎片岡延松一座佐世保公演の旨〕 若宮瀬一郎→細川貞之丞	昭和11年1月26日 (1936)	1通・ペン	9-14-17
書簡〔神徳会一行へ加入、福岡県興行の様子、弟出征〕 若宮瀬一郎→細川貞之丞	昭和13年7月26日 (1938)	1通・ペン	9-14-39
書簡〔今回の政変について〕 和久正志→小野寺昌雄〔昭和連盟本部〕	昭和6年12月16日 (1931)	1通・墨書	86-347-50

書簡〔義肢研究部長との不行き届きお詫び〕 渡辺政徳 〔同潤啓成会〕→長岡隆一郎	大正15年12月8日 (1926)	1通・墨書	78-23-22
葉書〔出京以来今日迄休みなし、疲労蓄積〕 鼓→佐上 信一・守屋栄夫	明治44年7月5日 (1911)	1枚・墨書・ペン	81-303
書簡〔エセックスインダストリアルスクール入学方 法を守屋へ提供願ひ(英語)〕 Astmn H.Morris→エ セックスインダストリアルスクール管理当局	大正12年5月3日 (1923)	1通・謄写版・ペ ン	83-8-6
書簡〔満洲から朝鮮に移動(独語)〕 Chauder Breher→Car. Sonnenschein	大正11年6月24日 (1922)	1通・ペン	83-8-10
書簡〔夕食及び韓国学生に関する非公式会議招待御 礼(英語)〕 C.J.L.BATES→水野鍊太郎	大正8年11月21日 (1919)	1通・謄写版	5-28-24
書簡〔朝鮮総督斎藤実宛Welch氏意見書(教育政策等 について)(英語)〕 Herbert Welch→Baron M. Saito	大正8年11月3日 (1919)	1通・謄写版	5-28-1
封筒〔中身欠〕 Herbert Welch→Takashi Hara・〔Mi zuno,M.C.L.	大正8年11月4日 (1919)	1枚・謄写版	5-28-5
書簡〔バイアスへ守屋を紹介(英語)〕 Zw Fleshe→Hugh byas	昭和2年1月17日 (1927)	1通・謄写版	83-8-9

Sub-Series No.4: 作成者不明

葉書〔挨拶状〕 →今野長二郎〔守屋栄夫様方〕	大正6年5月14日 (1917)	1枚・ペン	81-179
葉書〔宛名のみ記入〕 →高橋常松	大正15年カ (1926)	1枚・墨書	86-261
書簡〔中身欠〕 →水野鍊太郎〔原首相閣下方〕		1通・謄写版	5-8-37
葉書〔東京見物、明日鎌倉に〕 →宮城県女子師範学校寄 宿舍八室	5年11月15日	1枚・ペン	18-14-192-14
書簡〔健康祈願〕 →守屋栄夫	大正6年7月22日 (1917)	1通・墨書	84-7-9
葉書〔帰京祝い〕 →守屋栄夫	大正8年4月21日 (1919)	1枚・墨書	82-3-18
葉書〔西村局長と南鮮地方視察〕 →守屋栄夫・奥様	大正8年11月25日 (1919)	1枚・ペン	82-3-302
葉書〔面会依頼、重信君県庁で面会〕 →守屋栄夫	大正9年カ1月19日 (1920)	1枚・ペン	82-3-310
書簡〔お悔やみ状(英語)〕 →moriya	大正12年3月20日 (1923)	1通・ペン	18-14-153
葉書〔英国滞在挨拶〕 →守屋栄夫	大正12年5月16日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-41
電報〔女子誕生、母子ともに健康(英語)〕 →守屋栄夫	大正12年8月16日 (1923)	1通・ペン	80-2-2-33
葉書〔朝鮮総督府の近況報告〕 →守屋栄夫	大正12年8月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-2-23
TELEGRAM〔開披不能〕 →守屋栄夫	大正12年 (1923)	1通・活版・ペン	80-2-1-51-2
書簡〔中身欠〕 →守屋栄夫	大正12年 (1923)	1通	80-2-1-58
書簡〔ウィーンからプラハに移動、斎藤又也氏帰国〕 →守屋栄夫	大正13年12月8日 (1924)	1通・ペン	84-2-6

葉書〔年賀状〕 →守屋栄夫	大正14年1月4日(1925)	1枚・ペン	86-322-75
書簡〔挨拶状〕 →守屋栄夫	大正14年1月25日(1925)	1通・墨書	84-2-7-2
書簡〔会議のため北京訪問〕 →守屋栄夫	大正14年10月25日(1925)	1通・ペン	84-6-110
葉書〔挨拶状(独語)〕 →守屋栄夫	大正14年12月29日(1925)	1枚・ペン	86-322-11
書簡〔病気のため困窮、支援願ひ(独語)〕 →守屋栄夫	大正15年6月1日(1926)	1通・ペン	85-3-3-47
書簡〔大連滞在、北部へ移動予定〕 →守屋栄夫	大正15年6月3日(1926)	1通・ペン	84-3-132
葉書〔機嫌伺い(英語)〕 →守屋栄夫	大正15年12月29日(1926)	1枚・ペン	85-3-5-20
書簡〔年賀状〕 →守屋栄夫	昭和2年1月3日(1927)	1通・墨書	84-3-134
葉書〔カリフォルニアより挨拶状〕 →守屋栄夫	昭和2年1月7日(1927)	1枚・ペン	86-322-113
書簡〔香港の感想〕 →守屋栄夫	昭和2年3月30日(1927)	1通・ペン	84-1-91
書簡〔国境より南下〕 →守屋栄夫	昭和2年6月13日(1927)	1通・ペン	84-5-15
葉書〔当選祈願〕 →守屋栄夫	昭和3年2月19日(1928)	1枚・ペン	7-147-241
書簡〔中身欠〕〔京都市五條警察署〕→守屋栄夫	昭和3年2月26日(1928)	1通・墨書	7-147-23
葉書〔土産品御礼〕 →守屋栄夫	昭和3年4月22日(1928)	1枚・ペン	86-329-24
葉書〔破損により判読不能〕 →守屋栄夫	昭和3年4月29日(1928)	1枚・墨書	86-325-53
葉書〔ご機嫌伺い〕 →守屋栄夫	昭和3年5月5日(1928)	1枚・ペン	86-325-34
葉書〔増焼注文御礼〕 →守屋栄夫	昭和3年7月28日(1928)	1枚・ペン	86-325-70
葉書〔判読不能〕 →守屋栄夫	昭和3年9月6日(1928)	1枚・ペン	86-325-83
葉書〔判読不能〕 →守屋栄夫	昭和3年カ(1928)	1枚	86-325-89
葉書〔ご機嫌伺い〕 →守屋栄夫	昭和3年カ(1928)	1枚・ペン	86-329-25
葉書〔ポートランド着〕 →守屋栄夫	昭和4年11月4日(1929)	1枚・ペン	86-324-44
葉書〔当選祝い〕〔虫損判読不能〕→守屋栄夫	昭和5年2月22日(1930)	1枚・ペン	7-147-188
書簡〔挨拶状(英語)〕 →守屋栄夫	昭和5年(1930)	1通・ペン	84-4-2
葉書〔講習に関する感想〕 →守屋栄夫	大正 4月	1枚・ペン	86-325-1
葉書〔やすおおばさん来訪、なつめおばあさんからリボン頂く〕 →守屋栄夫	大正	1枚・墨書・ペン	82-3-314
書簡〔ハワイ到着、総督閣下へよろしく〕 →守屋栄夫	11月20日	1通・ペン	81-685
書簡〔ブラジルに於ける海外移住組合連合会の真相を公開す〕 →守屋栄夫		1通・ペン・活版	9-21-1
葉書〔川崎のおかねちゃん死去〕 →守屋栄夫	大正13年3月21日(1924)	1枚・ペン	18-14-193-3
葉書〔安産祝い〕 →森屋富子	大正12年カ8月5日(1923)	1枚・ペン	18-14-192-15

電報〔お悔やみ状〕 →モリヤヨシネ	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-118
電報〔宛先人・差出人無記名〕	大正12年3月15日 (1923)	1通・ペン	18-14-114
電報〔宛先人・差出人無記名〕	大正12年3月16日 (1923)	1通・ペン	18-14-116
葉書〔閑院宮殿下の満洲修養団大会来臨の件〕	大正15年10月1日 (1926)	1枚・ペン	86-232
葉書〔福岡県下の炭鉱にて修養団設立の件〕	大正15年カ (1926)	1枚・ペン	86-322-17
葉書〔お悔やみ状〕	昭和2年9月 (1927)	1枚・ペン	85-9-42
葉書〔鳥取県の講習参加、府下小学校長・市内警察幹部講習会開催決定〕	昭和2年カ (1927)	1枚・ペン	86-116
葉書〔判読不能〕	昭和3年カ (1928)	1枚	86-325-81
葉書〔帰京予定〕	昭和4年4月29日 (1929)	1枚・ペン	84-3-1
葉書〔高知県十一支部連合発会式参加〕	昭和	1枚・活版	86-322-329
葉書〔北海道の状況〕	昭和	1枚・ペン	86-322-268
葉書〔政変への覚悟、入院と旅行〕		1枚・ペン	85-9-82
葉書〔帰省挨拶下書き〕		1枚・ペン	18-14-192-25
葉書〔宇原幸夫少年誌で作文一等当選〕		1枚・ペン	9-23-81
書簡〔崔禹洛請願事件の内容〕		1通・ペン	9-24-15
書簡〔国体についての持論〕		1枚・墨書	85-3-7-18

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

Series No.1: 公的活動（内務省・朝鮮総督府）

Sub-Series No.6: 朝鮮総督府秘書官

「李知事ノ日当」・「李咸南知事の件」・「施政上改害ヲ要スヘキモノト認ムル事項ニ対スル道評議員提出意見抜萃概要」	大正7-13年(1918-1924)	1通・ペン	6-58-8
---	--------------------	-------	--------

Sub-Series No.4: 内務監察官兼参事官

浦潮派遣軍

浦潮派遣軍司令部将校同相当官高等文官職員表	大正8年1月1日(1919)	1枚・墨書・活版	5-6-28
-----------------------	----------------	----------	--------

業務全般

都市計画法案	大正7年以降(1918)	1冊・活版	7-13
〔山陰高等農林学校設置ニ関スル陳情書付随書〕	大正7年1月(1918)	1冊・謄写版	5-6-52-3
山陰高等農林学校設置ニ関スル陳情書 佐々田懋・岡崎運兵衛・恒松隆慶・高橋久次郎・小川蔵次郎・他	大正7年1月(1918)	1冊・活版	5-6-52-2
大阪府監察官復命書案 守屋栄夫	大正7年3月(1918)	1部・ペン	4-4
西村知事の告諭 島根県民に対し	大正7年(1918)	1枚・活版	5-6-35-2
Administrative Reforms in Korea by Baron Makoto Saito, Governor General of Chosen 斎藤実	大正8年10月(1919)	2綴・謄写版	5-28-3
資料「臨益水利組合ニ対スル被害顛末、付：契約証」	大正8年カ(1919)	1綴・ペン	9-24-18
第七回国際労働総会関係書類監督課主管分 内務省社会局	大正13年(1924)	1綴・謄写版・活版	4-24
大正十三年法律第二十四号中改正法律案		1部・活版	53-45
自大正14年4月至同年6月 各職業紹介所ニ於テ取扱タル休職者本籍別調 →守屋栄夫	大正15年(1926)	1部・ペン	85-3-3-48
〔内務省職務要旨〕 守屋栄夫	大正	1綴・墨書	84-7-25

Series No.2: 公的活動（衆議院）

Sub-Series No.4: 国政

その他

昭和四年度予備金外ニ於テ予算外支出ヲ為シタル総調書 通信省	昭和	1冊・活版	9-8-19
長崎港湾要覧 長崎市港湾調査会	昭和3年7月25日(1928)	1冊・活版	60-12
東京府管内社会事業施設概要 東京市社会局保護課	昭和4年12月(1929)	1冊・活版	45-33

昭和五年度司法省所管 細書 司法省カ	予定経費追加要求書各目明	昭和5年度(1930)	1部・活版	53-37
昭和五年度農林省所管 算書 農林省カ	家畜再保険歳出追加予定計	昭和5年度(1930)	1部・活版	53-36
広島県太田川蘆田川沼田川馬洗川流域ニ於ケル水稻 ノ水害分布図 農林省農務局		昭和6年4月(1931)	4綴・謄写版	7-2
〔経済更生運動を中心とする新潟県関連書類〕		昭和9年(1934)	1綴・謄写版・ペン	4-25
優良農用器具機械ニ関スル調査 農林省農務局		昭和9年3月31日(1934)	1冊・活版	77-66
事務協議会資料其ノ三 農林省水産局		昭和9年8月(1934)	一括・謄写版	6-50
東北地方港湾一覽図 港湾協会東北港湾振興調査委員		昭和10年8月(1935)	1枚・謄写版	16-1-3
通知〔特別委員指定〕 東北振興調査会幹事→守屋栄夫		昭和10年9月19日(1935)	1綴・活版・墨書	16-1-1
通知〔総会決定〕 東北振興調査会幹事→守屋栄夫		昭和10年9月19日(1935)	1綴・活版・墨書	16-1-2
通知〔総会決定〕 東北振興調査会幹事→守屋栄夫		昭和10年9月14日(1935)	1枚・謄写版・墨書	16-2-1
答申案〔総会決定答申通知〕 東北振興調査会第二特別委員 会→守屋栄夫		昭和10年カ(1935)	1綴・謄写版・墨書	16-2-2
三重県産業組合要覽附農業倉庫成績(昭和八年度) 三重県		昭和10年2月28日(1935)	1冊・活版	34-37
陸軍省所管 一般会計所属参照書、各特別会計所属 参考書、予算外国庫の負担トナルヘキ契約ニ関ス ル要求書 陸軍省カ		昭和11年度(1936)	1綴・活版	53-43
文部省所管 一般会計所属参照書、各特別会計所属 参考書 文部省カ		昭和11年度(1936)	1綴・活版	53-34
農林省所管 一般会計所属参照書、各特別会計所属 参考書、予算外国庫の負担トナルヘキ契約ニ関ス ル要求書 農林省		昭和11年度(1936)	1綴・活版	53-35
商工省所管 一般会計所属参照書、予算外国庫の負 担トナルヘキ契約ニ関スル要求書 商工省カ		昭和11年度(1936)	1綴・活版	53-33
海軍省所管 一般会計所属参照書、各特別会計所属 参考書、予算外国庫の負担トナルヘキ契約ニ関ス ル要求書 海軍省カ		昭和11年度(1936)	1綴・活版	53-42
司法省所管 一般会計所属参照書 司法省カ		昭和11年度(1936)	1綴・活版	53-44
東京市設案内所の事業 東京市設案内所		昭和13年カ(1938)	1冊・活版	77-116
昭和十五年度簡易保険局統計年報 保険院簡易保険局		昭和17年3月20日(1942)	1冊・活版	19-32
農林漁業概要 三重県			1綴・活版	34-36

Sub-Series No.7: 選挙

衆議院議員選挙権有権者数細別表(第一区)	昭和3年2月3日(1928)	1綴・墨書	7-7
㊟選挙運動方法 立憲政友会本部→守屋栄夫	昭和5年カ1月31日(1930)	1通・墨書・謄写版	7-147-58
衆議院議員選挙法中改正案ト現行法トノ対照	昭和	1冊・活版	9-8-20
〔衆議院議員選挙権有権者数一覧表〕		1綴・墨書	7-8

Series No3: 個人

Sub-Series No.1: 日記・手帳・ノート

ノート・メモ

CRANES JAPANESE LINEN〔メモ帳〕 守屋栄夫	大正12年カ(1923)	1部・ペン	80-39-1-37
メモ〔礼状発送済〕	19日	1枚・ペン	9-26-7
〔インデックス〕 守屋栄夫		1枚・ペン	83-6-1
短冊〔俳句3句〕		3枚・墨書	9-14-46
短冊〔俳句7句、和歌1首〕 守雄・碧溪		8枚・墨書	9-14-45
メモ〔仏国人アルベールロンドルの件、総督会見の件〕		1枚・墨書	9-20-20
メモ〔松田君の霊に〕	大正	2枚・ペン	9-27-36
メモ〔露領ポシェット湾築港図の件、斎藤実名刺〕		1枚・活版・ペン・墨書	9-20-15
メモ〔地方行政に関する箇条書き・ドイツ語、万里子の写真〕 守屋栄夫		1通・謄写版・ペン	80-1-3-7
紙片〔三月十二日 発送済〕		1枚・墨書	5-10-16
書簡〔下書き〕 守屋栄夫		1通・ペン	82-3-148
書簡〔下書きカ〕 守屋栄夫カ		1枚・ペン	84-1-66
書簡下書き〔旅行の日程〕 守屋栄夫カ		1枚・ペン	84-2-22
書簡草稿〔受験料送金願い〕		1通・ペン	5-8-34
電報メモ 守屋栄夫		1枚・ペン	79-7-27-2
便箋〔和歌「道の辺に咲狂ひたる・・・」〕	大正	1枚・ペン	5-5-8
メモ〔ハットリタイゾウ(ロンドン)・ハシモトマンノスケ(ニューヨーク)らの住所]/チラシ〔ズボンプレスの値段表(ロンドン)〕	大正10年6月15日(1921)	1通・謄写版・活版	83-8-3
メモ〔大韓国内務省142号在木浦キリスト教会及び天道協会宛朝鮮独立運動マニフェスト英訳(Translated from a Japanese translation of a Korean Manifesto)添付〕 今村	the First Year of the Great Republic of Korea9月24日(1919)	1綴・ペン・謄写版	5-28-2

メモ〔発送済〕 守屋栄夫	3月12日	1枚・墨書	6-54-1
メモ〔旅費〕		1枚・ペン	80-40-6-7
メモ〔守屋他、旅費〕		1枚・ペン	80-40-6-10
メモ〔漢詩について〕		3枚・ペン	6-71
案内状〔草案〕 守屋栄夫	大正15年11月3日 (1926)	1通・ペン	85-3-3-54
便箋複写簿〔メモ帳〕 守屋栄夫	大正12年4月6日 (1923)	1部・ペン	80-39-1-35
便箋複写簿〔メモ帳〕 守屋栄夫	大正12年7月16日 (1923)	1部・ペン	80-39-1-36

Sub-Series No.2: 書類

その他

校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版	80-22-1
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-2
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-3
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-4
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-5
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-6
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-7
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-8
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-9
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-10
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-11
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-12
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-13
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-14
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-15
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-16
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-17
校正ゲラ 寛克彦	明治44年 (1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-18

校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-19
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-20
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-21
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-22
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-23
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-24
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-25
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-26
校正ゲラ 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-27
原稿〔仏教哲理の余録目次〕 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-28
法理学第1巻〔一部〕 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-30
法理学第1巻〔一部〕 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-31
草稿〔「平凡の善政」序文〕 水野鍊太郎	大正10年7月(1921)	1綴・ペン	6-70
昭和十一年 満洲問題	昭和11年(1936)	一括・墨書	6-51
Sozialpabagogisches seminar〔パンフレット〕 Dereins Jugendheim		1部・活版	80-2-1-53
Sozialpabagogisches seminar〔パンフレット〕 Dereins Jugendheim		1部・活版	80-2-1-54
The Library Paintings〔パンフレット〕 The Library of Congress		1冊・ペン	6-60-2
THE STAR OPERA〔チラシ〕		1枚・活版	80-39-1-11
昭和3年12月興業 歌舞伎座番組 歌舞伎座	昭和3年12月(1928)	1冊・活版	86-330-13
〔香取丸欧文パンフレット〕 日本郵船会社		1部・活版	80-39-1-22
漢襟社創設関係書類〔漢襟社芳名録追加、漢襟集ほか〕 鄭鳳時ほか	4月25日	10枚・謄写版	9-14-21
辞令通知書〔御用済ニ付臨時編纂事務嘱託ヲ解ク〕 李王職→細川貞之丞	昭和11年3月31日 (1936)	1枚・墨書・活版	9-14-37
新聞切抜「日本政府と朝鮮独立仮政府」 上海日報	大正8年11月8日(1919)	1枚・活版	5-28-30-3
新聞切抜綴	大正12年(1921)	1綴・活版	3-32
新聞切抜	昭和6年(1930)	11枚・活版	9-9-33
新聞切抜	昭和7年(1932)	18枚・活版	9-9-5
新聞切抜	昭和7年(1932)	8枚・活版	9-9-19

新聞切抜	昭和7年(1932)	8枚・活版	9-9-20
新聞切抜 東京朝日新聞社	大正8年7月22日(1919)	1枚・活版	78-21
新聞切抜	昭和8年8月6日(1933)	1枚・活版	9-9-17
新聞切抜	昭和8年(1933)	18枚・活版	9-9-1
新聞切抜	昭和8年(1933)	11枚・活版	9-9-3
新聞切抜	昭和8年(1933)	18枚・活版	9-9-4
新聞切抜	昭和8年(1933)	10枚・活版	9-9-6
新聞切抜	昭和8年(1933)	5枚・活版	9-9-7
新聞切抜	昭和8年(1933)	11枚・活版	9-9-8
新聞切抜	昭和8年(1933)	11枚・活版	9-9-18
新聞切抜	昭和8年(1933)	26枚・活版	9-9-22
新聞切抜	昭和8年(1933)	13枚・活版	9-9-26
新聞切抜	昭和8年(1933)	4枚・活版	9-9-27
新聞切抜	昭和8年(1933)	27枚・活版	9-9-30
新聞切抜	昭和9年3月25日(1934)	3枚・活版	86-344
新聞切抜	昭和9年4月16日(1934)	1枚・活版	86-345
新聞切抜	昭和16年(1941)	7枚・活版	18-11-2
新聞切抜〔朝鮮に関する記事〕		6枚・活版	3-45
新聞切抜		6枚・活版	9-9-9
新聞切抜		8枚・活版	9-9-10
新聞切抜		10枚・活版	9-9-11
新聞切抜		23枚・活版	9-9-12
新聞切抜		2枚・活版	9-9-13
新聞切抜		4枚・活版	9-9-14
新聞切抜		37枚・活版	9-9-15
新聞切抜		7枚・活版	9-9-21
新聞切抜		11枚・活版	9-9-23
新聞切抜		5枚・活版	9-9-24
新聞切抜		9枚・活版	9-9-25
新聞切抜		3枚・活版	9-9-28
新聞切抜		8枚・活版	9-9-29
新聞切抜		5枚・活版	9-9-31
新聞切抜		5枚・活版	9-9-32

新聞切抜		2枚・活版	9-9-34
新聞切抜		23枚・活版	9-9-35
新聞切抜		1束・活版	6-1
新聞切抜		1枚・活版	6-19
新聞切抜		1枚・活版	81-723
著書の目録 守屋栄夫		1通・活版・謄写版・ペン	80-39-1-2
〔書籍のリスト〕 TRUSLOVE&HANSON		1綴・活版・ペン	80-39-1-3-6
〔書籍のリスト〕 TRUSLOVE&HANSON		1綴・ペン・謄写版	80-39-1-3-7
〔書籍のリスト〕 TRUSLOVE&HANSON→守屋栄夫	大正12年4月24日 (1923)	1通・ペン・謄写版	80-40-1-28
〔無言の教化〕臨時号、奥付 今村延雄	昭和11年1月(1936)	1枚・活版	56-76
資料目録		1枚・墨書	78-1
財団法人浴風会一覧 財団法人浴風会一覧		1枚・活版	78-2-78
愛国婦人会趣意書附規則書 愛国婦人会	明治34年カ(1901)	1綴・活版	6-46-45
見龍公奉斎会趣意書 見龍公奉斎会	大正6年7月(1917)	1枚・活版	5-6-20
会員氏名録 昭和十四年用 学士会	昭和13年11月25日 (1938)	1冊・活版	19-37
会員氏名録 学士会	昭和34年11月10日 (1959)	1冊・活版	42-11
会員氏名録 学士会	昭和36年1月10日 (1961)	1冊・活版	33-57
会員名簿 日本弁護士連合会	昭和39年7月10日 (1964)	1冊・活版	22-42
会員名簿 高橋政一	昭和13年12月10日 (1938)	1冊・活版	44-113
会員名簿 高橋政一	昭和16年12月20日 (1941)	1冊・活版	44-114
名簿 大日本昭和連盟本部	昭和13年11月1日 (1938)	7冊・活版	73-11
図面〔守屋氏住宅案〕 三浦之秀・今和次郎	大正13年6月5日(1924)	1通・青焼き	85-9-28
〔長照院本堂新築設計図〕		16枚・謄写版	87-1
有位者届出心得 宗秩寮		1枚・活版	78-3-11
小切手帳		1冊・活版	23-7
通帳 庄司屋→守屋栄夫選挙事務所	昭和3年2月(1928)	1冊	23-10
帳簿 佐々文商店→守屋徳郎	明治43年5月(1910-1914)	1冊・墨書	9-23-90
御通 西山新炭商店→守屋栄夫選挙事務所	昭和3年1月(1928)	1冊・活版	23-6

御通 遠藤長右衛門→守屋栄夫選挙事務所	昭和3年2月(1928)	1冊・活版	23-8
賞与状 朝鮮総督府→守屋栄夫	大正8年12月15日 (1919)	1枚・活版・墨書	81-669
〔領収証綴 名入り壺代、休憩所代など正男関係〕 町 屋休憩所→守屋様	大正12年3月16日 (1923)	1綴・活版	18-14-43
昭和五年四月出納控／銀行振込票 愛知県刈谷中学校 寄宿舎→守屋好子	昭和5年5月6日(1930)	1通・ペン・活版	7-147-104
小為替金受領証書	大正13年9月8日(1924)	1枚・ペン	9-24-27
請求書 FRADKIE	大正12年3月19日 (1923)	1枚・ペン	80-40-6-6
請求書 The Hotel Cecil	大正12年3月19日 (1923)	2枚・ペン	80-40-6-9
請求書	大正12年6月23日 (1923)	1綴・謄写版	80-40-6-1
請求書 Paul Oesterheld	大正12年7月17日 (1923)	1枚・ペン	80-40-6-16
請求書 Hermann Bahr's Buchhandlung	大正12年7月17日 (1923)	1枚・ペン	80-40-6-21
請求書 Paul Oesterheld	大正12年7月23日 (1923)	1枚・ペン	80-40-6-26
請求書 Akademische Kant-Buchhandlung	大正12年7月(1923)	1枚・ペン	80-40-6-17
請求書 Paul Oesterheld	大正12年7月(1923)	1枚・ペン	80-40-6-18
請求書	大正12年8月1日(1923)	1枚・謄写版・ペン	80-40-6-20
請求書 The Times Book Club→守屋栄夫	大正12年9月10日 (1923)	1通・ペン	80-40-1-11
請求書 Akademische Kant-Buchhandlung	大正12年(1923)	1枚・ペン	80-40-6-25
請求書		1綴・ペン	80-39-1-3-5
請求書 Barton Lodge		4枚・ペン	80-40-6-8
請求書 Barton Lodge		1枚・ペン	80-40-6-11
領収書	大正12年6月19日 (1923)	3枚・ペン・活版・謄写版	80-40-6-12
領収書 Akademische Kant-Buchhandlung	大正12年6月20日 (1923)	1枚・ペン・活版・謄写版	80-40-6-13
領収書〔THE LONDON LITERARY LOUNGE〕 → 守屋栄夫	大正12年9月6日(1923)	1通・ペン	80-2-1-38
領収書 Akademische Kant-Buchhandlung	大正12年26日(1923)	1枚・ペン・活版・謄写版	80-40-6-22
領収書 片倉生命保険→鈴木金五郎	昭和5年(1930)	3枚・活版・ペン	18-14-200-5
領収書〔金二百円〕 阿部国治・正木慶秀・笈素彦→守屋栄夫	昭和7年2月3日(1932)	1通・ペン	83-1-11
領収書 K.mikimoto		1枚・活版・ペン	80-39-1-3-3

領収書	IKUTA SHOKWAI		1枚・活版・謄写版・ペン	80-39-1-3-4
領収書	Karl Heymanns Ve□		3枚・活版	80-40-6-14
領収書	HOTELSOMERSAT		1枚・活版・ペン	80-39-1-3-2
〔見積書〕	Hermann Bahr's Buchhandlung	大正12年7月17日 (1923)	1枚・活版・ペン	80-40-6-19
計算書〔大東同志会派遣東京留学生学費〕		大正11年(1922)	1枚・墨書	9-20-27
〔欧文書籍の一覧〕			1枚・謄写版	80-40-6-23
〔欧文書籍の一覧〕			1枚・謄写版	80-40-6-24
旅券〔第7回国際労働総会代表出席のため〕	守屋栄夫	大正14年3月25日 (1925)	1枚・活版・ペン	83-8-7
履歴書	秋山運四郎	大正11年3月(1922)	1枚・墨書	9-27-51
履歴書	梁川良右衛門	大正13年3月(1924)	1冊・墨書	9-22-13
履歴書	宍戸隼人	大正13年8月(1924)	1枚・墨書	9-22-28
履歴書	今野長三郎	大正13年(1924)	1冊・墨書	9-22-14
履歴書	江東初三	昭和8年4月10日(1933)	1枚・墨書	84-29-28
履歴書	石山泰一	昭和8年4月(1933)	1枚・墨書	5-24-21
履歴書	李柱綱	昭和8年10月(1933)	2枚・墨書	84-29-29
履歴書	三浦敏夫	昭和8年11月(1933)	1枚・墨書	84-29-25
履歴書	本郷二郎	昭和8年11月(1933)	1枚・墨書	84-29-26
履歴書	朴命錫	昭和8年11月(1933)	1枚・墨書	84-29-27
履歴書	須藤進	昭和8年(1933)	1枚・墨書	84-25-20
履歴書〔吉田直太郎・吉田貴和・石渡秀吉〕	吉川直太郎 →守屋栄夫	大正 11月3日	1通・墨書	84-20-11
履歴書	松尾爲作→守屋栄夫	5月12日(1919)	1枚・墨書	84-7-31
封筒〔雑・地図年表「レポート」〕		大正12年(1923)	一括・ペン・活版	80-2
郵便物受領証	守屋栄夫→加賀谷朝蔵	大正13年9月8日(1924)	1枚・ペン	9-24-26
郵便物受領証			1枚・活版	80-40-6-15
〔覧・正木両家結婚式媒酌人時の祝辞原稿等〕	覧克彦・守屋栄夫		1通・墨書・ペン	84-11-21
〔弾劾状〕	尊皇護憲団	昭和5年1月(1930)	1枚・活版	84-1-23
英覚院殿法要等調	→守屋栄夫カ	大正15年(1926)	1通・ペン	85-3-3-9
故守屋正男建碑式供養・英覚院殿法要費概算〔メモ〕		大正15年(1926)	3枚・ペン	85-3-3-53
〔弔電綴1〕	守屋栄夫	昭和14年11月(1939)	1綴・謄写版	18-14-211-1
〔弔電綴2〕	守屋栄夫	昭和14年11月(1939)	1綴・謄写版	18-14-211-2

〔弔電綴3〕 守屋栄夫	昭和14年11月(1939)	1綴・謄写版	18-14-211-3
〔弔電綴4〕 守屋栄夫	昭和14年11月(1939)	1綴・謄写版	18-14-211-4
〔弔電綴5〕 守屋栄夫	昭和14年11月(1939)	1綴・謄写版	18-14-211-5
〔弔問、供物七七忌明御礼見本〕 守屋栄夫	大正12年5月1日(1923)	3枚・墨書・謄写版	18-14-189
意見書〔一名『夢物語』〕 守屋栄夫	大正15年1月23日(1926)	1通・ペン	85-3-3-46
規箴五則〔終身忠孝の心得〕 楽天丕	昭和2年2月(1927)	1枚・謄写版	85-9-79
箱根地図 桜木商店	大正8年9月(1919)	1枚・活版	5-6-14
地図〔MAP OF CHOSEN RAILWAYS〕		1枚・活版	5-16-27
支那全図 十字屋出版部	大正10年7月15日(1935)	1枚・活版	79-7-6
〔露西亞地図〕		8枚・活版	87-2
〔ベルリンの地図〕		1枚・活版	80-2-1-39
〔北海道俱知安付近の地図〕 →守屋栄夫		1通・活版・ペン	85-4-4-14
MARSEILLE COX'S SHIPPING	(1923)	1部・活版	80-2-2-36
地方行政講習会漢文科成績 内務局長→細川貞之丞	昭和2年11月28日(1927)	1通・墨書	9-14-22
〔保険契約変更書類〕 片倉生命保険→鈴木金五郎	昭和7年12月26日(1932)	2枚・活版・ペン	18-14-200-2
〔片倉生命保険会社復活通知書等綴〕 守屋栄夫	昭和6年(1931)	1綴・活版・ペン	18-14-199
〔片倉生命保険会社復活通知書綴〕 守屋栄夫	昭和7年(1932)	1綴・活版・ペン	18-14-198
東京各駅汽車時間表	昭和	1枚・活版	86-328-15
汽車時間表 藤本ビルブローカー銀行東京支店		1冊・活版	78-2-75
上海航路案内 日本郵船株式会社		1枚・活版	79-7-5
神武天皇橿原宮即位図 大阪朝日新聞	大正5年2月11日(1916)	1枚・活版	81-1-1
事情説明書 伊藤太蔵		1綴・ペン	23-83-
DINNER〔メニュー表〕 Lt-Col.SIR FREDERICK HALL,Bart.,	大正12年4月12日(1923)	1枚・活版	80-39-1-5
HOTEL CONTINENTAL PARIS DINER DU 7 Mars 1923〔メニュー表〕	大正12年3月7日(1923)	1枚・活版	80-39-1-20
招待状〔成久王晚餐〕 山辺知春→守屋栄夫	大正6年3月25日(1917)	1通・活版・墨書	81-673
招待状〔成久王転職告別につき晚餐〕 山辺知春→守屋栄夫	大正6年4月1日(1917)	1通・活版・墨書	81-671
舞楽曲目〔太平楽、八仙〕		1枚・活版	83-8-11-1
夜会次第〔催し物、饗宴〕		1枚・活版	83-8-11-2
内閣総理大臣大礼祝夜会参加券 →守屋栄夫・御令夫人	昭和3年12月12日(1928)	1枚・活版	83-8-11-3

御大礼東京市奉祝会参会章 東京市役所→守屋栄夫	昭和3年12月13日 (1928)	1枚・活版	83-8-11-4
自動車駐車券		1枚・活版	83-8-11-5
御案内〔自動車、人力車にての来場案内〕		1枚・活版	83-8-11-6
御大礼東京市奉祝会会場略図		1枚・活版	83-8-11-7
黄色標章自動車駐車場案内図		1枚・活版	83-8-11-8
注意事項〔服装規定、来場方法〕		1枚・活版	83-8-11-9
招待状〔12月8日の宮中饗宴〕 宮内大臣一木喜徳郎→衆議院議員守屋栄夫	昭和3年12月1日(1928)	1通・活版	83-16-1
大饗夜宴参入券 →守屋栄夫	11月17日	1枚・活版	83-16-2
宮中饗宴席次〔昭和3年12月8日宮中饗宴〕 →守屋栄夫	昭和3年12月1日	1枚・活版	83-16-3
注意書		1枚・活版	83-16-4
招待状〔観菊会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和7年11月1日(1932)	1通・活版・墨書	83-17
招待状〔李王家東京邸午餐会〕 李王職次官篠田治策→守屋栄夫	昭和7年5月23日(1932)	1通・活版・墨書	83-18
招待状〔新年宴会〕 宮内大臣一木喜徳郎→社会局部長守屋栄夫	昭和2年12月20日 (1927)	1通・活版・墨書	83-19
招待状〔観菊会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和6年11月16日 (1931)	1通・活版・墨書	83-20
招待状〔観桜会〕 宮内大臣湯浅倉平→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和8年4月11日(1933)	1通・活版・墨書	83-21
招待状〔観桜会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和5年4月16日(1930)	1通・活版・墨書	83-22
招待状〔観菊会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和4年11月1日(1929)	1通・活版・墨書	83-23
招待状〔観艦式〕 宮内大臣一木喜徳郎→衆議院議員守屋栄夫	昭和3年12月1日(1928)	1通・活版・墨書	83-24
招待状〔観菊会〕 宮内大臣牧野伸顕→朝鮮総督府秘書官守屋栄夫・令夫人	大正10年11月9日 (1921)	1通・活版・墨書	83-25
招待状〔観菊会〕 宮内大臣子爵波多野敬直→内務監察官守屋栄夫・令夫人	大正6年11月12日 (1917)	1通・活版・墨書	83-26
招待状〔観桜会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和4年4月10日(1929)	1通・活版・墨書	83-27-1
案内図〔観桜会〕		1枚・活版	83-27-2
招待状〔観桜会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和4年4月11日(1929)	1通・活版・墨書	83-28-1
案内図〔観桜会〕		1枚・活版	83-28-2
駐車票〔観桜会〕		1枚・活版	83-28-3
観桜会入苑証	昭和4年4月19日(1929)	1枚・活版	83-28-4

招待状〔観桜会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和6年4月10日(1931)	1通・活版・墨書	83-29
招待状〔観菊会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和5年11月1日(1930)	1通・活版・墨書	83-30
招待状〔愛国婦人会宮城支部総会〕 東伏見宮附別当高橋嶧→衆議院議員守屋栄夫	昭和8年6月25日(1933)	1通・活版・墨書	83-31
招待状〔午餐会〕 李塙公附李王職事務官末松多美彦→守屋庶務部長	大正13年8月1日(1924)	1通・墨書	83-32
招待状〔晩餐会〕 李王職事務官伯爵高義敬→朝鮮総督府庶務部長守屋栄夫・令夫人	大正13年7月5日(1924)	1通・活版・墨書	83-33-1
献立〔晩餐会〕		1枚・活版	83-33-2
招待状〔陸軍特別大演習後の賜饌〕 宮内大臣一木喜徳郎→衆議院議員守屋栄夫	昭和3年9月24日(1928)	1通・活版・墨書	83-34-1
案内図〔陸軍特別大演習後の賜饌〕		1枚・活版	83-34-2
参入証〔陸軍特別大演習後の賜饌〕		1枚・活版	83-34-3
台紙〔陸軍特別大演習後の賜饌〕		1枚	83-34-4
招待状〔観桜会〕 宮内大臣一木喜徳郎→社会局部長守屋栄夫・令夫人	大正15年4月14日(1926)	1通・活版・墨書	83-35
招待状〔特別社員章親授〕 日本赤十字社長男爵石黒忠恵→守屋栄夫	大正6年4月(1917)	1通・活版・墨書	83-36-1
受章者注意〔特別社員章親授〕 日本赤十字社長男爵石黒忠恵		1枚・活版	83-36-2
招待状〔観菊会〕 宮内大臣一木喜徳郎→社会局部長守屋栄夫・令夫人	大正14年11月10日(1925年)	1通・活版・墨書	83-37
招待状〔紀元節宴会〕 宮内大臣一木喜徳郎→社会局部長守屋栄夫		1通・活版・墨書	83-38-1
注意書〔紀元節宴会〕 宮内大臣一木喜徳郎		1枚・活版	83-38-2
招待状〔観桜会〕 宮内大臣一木喜徳郎→勲三等守屋栄夫・令夫人	昭和3年4月10日(1928)	1通・活版・墨書	83-39
献立表〔結婚披露祝宴料理〕 名古屋ホテル→守屋栄夫	大正6年3月17日(1917)	1枚・活版	84-20-73
招待状〔昭和三年大札特別観艦式案内・式次第・注意事項・式場図等〕 大札特別観艦式事務委員長→守屋栄夫	昭和3年10月31日(1928)	1通・活版	86-330-1
招待状〔御大札奉祝夜会開催、服装の追伸同封〕 田中義一〔内閣総理大臣〕→守屋栄夫・令夫人	昭和3年11月1日(1928)	1通・活版	86-330-3
葉書〔池田宏氏結婚式招待状下書、寛先生への結婚披露宴招待状控〕 守屋栄夫カ	大正9年11月(1920)	1通・活版・ペン	86-353-25
招待券〔キネマ倶楽部〕 →守屋栄夫	昭和4年(1929)	1枚・活版	86-327-30
昭和八年度寄附金高一覧	昭和9年3月(1934)	1枚・謄写版	23-42
西郷公爵家御秘蔵南洲先生肖像 合資会社工芸社		1枚・活版	37-9
漢文〔『菅家遺誠』より「和魂漢才」〕 菅原総長		1枚・活版	6-65
弘道館記墨本		1枚・活版	82-3-146

〔碑文綴〕		1綴・謄写版	14-12-3
関税改正品目表		1枚・活版	44-154
懸賞論文(漢語及採点ノ部) 守屋栄夫		1綴・ペン	80-23-9

Sub-Series No.3: 家族

家族・親類

大正五年三月宮城県立古川中学校第十九学年成績表	大正5年3月(1916)	1冊・活版・ペン・墨書	9-8-21
〔生物プリント〕 守屋栄夫カ		1綴・謄写版	37-1-41
〔手帳カ〕 守屋和郎	明治37年5月20日 (1904)	1冊	24-31
〔珠算プリント〕 守屋栄夫カ		1綴・謄写版・ペン	37-1-25
英単語カード		5枚・活版	18-14-193-4
〔単語帳〕 寛克彦	明治44年(1911)	1綴・活版・ペン・墨書	80-22-29

Sub-Series No.4: 写真・絵葉書

写真

写真〔全南同福 勿染亭附近〕		1枚・活版・ペン	9-9-2
写真 白石信夫		1枚・活版	9-23-55
写真〔飯岡町成年式参列者記念撮影〕	昭和33年1月15日 (1958)	1枚・ペン	18-3-2-1
写真〔杉本良君古希祝賀記念撮影〕	昭和33年1月17日 (1958)	1枚・ペン	18-3-2-2
写真〔渋谷いく代米時祝宴〕	昭和33年8月18日 (1958)	3枚・ペン	18-3-3
写真〔集合写真〕		2枚	26-3-1
写真〔顕彰碑〕		1枚	26-3-2
写真〔板柵〕		1枚	26-3-3
写真〔群馬県災害調書付属写真〕	昭和10年11月(1935)	1枚	34-16-4-3
写真〔群馬県災害調書付属写真〕	昭和10年11月(1935)	1枚	34-16-4-4
写真〔群馬県災害調書付属写真〕	昭和10年11月(1935)	1枚	34-16-4-5
写真〔群馬県災害調書付属写真・倉田村字石津ノ惨状〕	昭和10年11月(1935)	1枚・ペン	34-16-4-6
写真〔群馬県災害調書付属写真・碓氷社権田組ノ惨状〕	昭和10年11月(1935)	1枚・ペン	34-16-4-7
写真〔群馬県災害調書付属写真・倉田村役場付近〕	昭和10年11月(1935)	1枚・ペン	34-16-4-8

写真〔群馬県災害調査付属写真〕	昭和10年11月(1935)	1枚	34-16-4-9
写真〔水田風景〕		1枚	44-190-3
写真〔母子、婦人経済会前〕		1枚	78-2-71
写真〔ビル建設工事風景〕		1枚	78-2-72
写真〔集合写真〕 鎌倉保育園		1枚	78-2-73
写真〔籠〕		1枚	78-26-1
写真〔標本〕		1枚	78-26-2
写真〔軒下〕		1枚	78-26-3
写真〔水槽〕		1枚	78-26-4
写真〔ビルの前に日の丸を持つ群衆〕		1枚	78-26-5
写真〔守屋栄夫〕		1枚	78-26-9
写真〔災害写真〕		1枚	78-26-10
写真〔災害写真〕		1枚	78-26-11
写真〔災害写真〕		1枚	78-26-12
写真及正男関係 守屋栄夫		1通・ペン	80-39-1-1
写真〔集合写真〕		1枚	81-1-2
写真〔集合写真〕		1枚	81-1-3
写真〔慶州仏国寺石窟案〕		5枚・墨書	81-728
写真〔車を背景として家族写真〕	大正13年1月(1924)	1枚	84-5-8
写真〔道立大邱医院本館及施療部外景〕		1枚	84-6-28
写真〔集合写真他〕 塩釜佛教日曜学校→守屋栄夫	昭和4年9月12日(1929)	1枚・墨書	85-4-5-23
写真〔詳細不明、移動時の写真〕		5枚	86-325-74
写真〔昭和3年6月21日不二西鮮農場に於ける守屋氏一行ほか〕 →守屋栄夫	昭和3年7月16日(1928)	4枚	86-330-10
写真〔朝鮮の人物・風景〕 崔晩達→守屋栄夫	昭和6年カ12月26日(1931)	1通・ペン	86-347-15
絵葉書			
絵葉書〔台湾勸業共進会〕		2枚・活版	6-60-4
絵葉書〔Celebrated Painting and Interior Views of the U.S.Capitol〕 B.S.Reynold Co.,		1綴・活版	6-60-14
絵はがき		1枚・活版	9-23-87
絵葉書〔会寧停車場 朝鮮総督斎藤伯爵御来寧光景〕 博文館小寧会		1枚・活版	9-27-8
絵葉書〔咸興慈恵病院〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-9

絵葉書〔朝鮮神社〕 朝鮮総督府		2枚・活版	9-27-10
絵葉書〔機織〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-11
絵葉書〔金剛山〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-12
絵葉書〔慶州仏国寺〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-13
絵葉書〔平壤牡丹台〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-14
絵葉書〔八達門〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-15
絵葉書〔大邱市街〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-16
絵葉書〔羅南市街〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-17
絵葉書〔京城市街其ノ二〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-18
絵葉書〔京城郵便局〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-19
絵葉書〔仏国寺多宝塔〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-20
絵葉書〔京城市街其ノ一〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-21
絵葉書〔平壤中学校〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-22
絵葉書〔仁川公立尋常小學校〕 朝鮮総督府		1枚・活版	9-27-23
絵葉書〔山東□□と主要物産〕 青島新報社		1枚・活版	10-408-106
絵葉書〔「不如帰」の一節〕		1枚・活版	18-14-192-42
絵葉書〔房総之民謡〕		1枚・活版	18-14-192-47
絵葉書〔日光薬師堂内陣十二神像、御不例奉伺として 寺内総督之参内、不動尊の袖を掲げて至尊の御回 春を黙祷の光景〕		4枚・活版	18-14-192-50
絵葉書〔長照院全景、梵鐘、鐘楼〕		4枚・活版	18-14-193-8
絵葉書〔群馬県水害関係〕		1枚・活版	34-16-4-1
絵葉書〔群馬県水害関係〕		1枚・活版	34-16-4-2
絵葉書〔災害写真〕		1枚・活版	78-26-6
絵葉書〔災害写真〕		1枚・活版	78-26-7
絵葉書〔災害写真〕		1枚・活版	78-26-8
絵葉書〔清国風景〕		5枚・活版	79-7-12
絵葉書〔Colleg road Upper Norwood〕	大正12年(1923)	1枚・活版	80-40-7-76
絵葉書〔ロンドン滞在時の宿舍〕	大正12年(1923)	1枚・活版	80-40-7-77
絵葉書〔台湾勸業共進会第2会場機械館〕		1枚・活版	81-393
葉書〔印刷見本:内務監察官兼内務省参事官に転任に 付挨拶〕 守屋栄夫	大正6年5月(1917)	15枚・活版	81-611
年賀状〔印刷見本〕 守屋栄夫	大正7年1月1日(1918)	1通・活版	81-612
絵葉書〔飛鳥山ノ桜〕		1枚・謄写版	82-3-193

絵葉書〔台中関係〕		5枚・活版	82-3-201
葉書〔退院と帰京に関する下書〕 守屋栄夫		1枚・ペン	84-1-84
葉書〔印刷見本：第七回国際労働会議に政府代表として参加〕 守屋栄夫	大正14年10月(1925)	1枚・活版	84-6-65
絵葉書〔朝鮮神宮鎮座祭〕 朝日写真館	大正14年10月15日(1925)	1枚・活版	84-6-102
絵葉書〔朝鮮神宮鎮座祭〕 朝日写真館	大正14年10月15日(1925)	1枚・活版	84-6-103
絵葉書〔朝鮮神宮鎮座祭〕 朝日写真館	大正14年10月15日(1925)	1枚・活版	84-6-104
絵葉書〔朝鮮神宮鎮座祭〕 朝日写真館	大正14年10月15日(1925)	1枚・活版	84-6-105
絵葉書〔朝鮮神宮鎮座祭〕 朝日写真館	大正14年10月15日(1925)	1枚・活版	84-6-106
絵葉書〔第五動植(標品館)の一部〕 知多郡横須賀尋常高等小学校		1枚・活版	84-7-8
年賀状〔印刷見本〕 守屋栄夫	昭和4年1月1日(1929)	1通・ペン・謄写版	86-322-160
葉書〔写真絵葉書〕		1通・活版	86-322-226

名刺・その他

名刺 梁在昶〔日本商工業視察団団長〕		1枚・活版	6-54-27
名刺 西村謙吾→守屋栄夫	昭和3年(1928)	1枚・活版	10-408-83
名刺 Y.Suito		1枚・活版	80-40-6-2
名刺 Keiichi Kumagai		1枚・活版	80-40-6-3
名刺 KAN MATUSHIMA		1枚・活版	80-40-6-4
名刺 FRED I OMATSU		1枚・活版	80-40-6-5
名刺 島崎新太郎〔東京日日新聞・大阪毎日新聞〕	大正6年(1917)	1枚・活版	82-3-158
名刺 町田茂兵衛		1枚・活版	83-11-31
名刺 多田純二→守屋栄夫		1枚・活版	85-7-2-51
名刺 床次徳二〔近衛歩兵第一中隊〕→守屋栄夫	昭和2年(1927)	1通・活版・墨書	86-326-97
名刺〔昭和2年〕 衆議院議員第一区候補者守屋栄夫	昭和2年カ(1927)	1枚・活版	85-9-1
名刺 守屋栄夫	昭和4年(1929)	1枚・墨書・活版	9-21-18
名刺 衆議院議員第一区候補者守屋栄夫		1枚・活版	85-10-1
名札〔晩餐会〕 守屋栄夫		1枚・墨書	83-33-3
御悔 高橋忠三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-3
御悔 佐々木磨	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-4
御悔 河下廉治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-5

御悔	堀越与吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-6
御悔	佐々木吉四郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-10
御悔	千葉勇輔	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-11
御悔	坂本敬一郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-12
御悔	飯島寿二郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-19
御悔	佐々木喜平	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-8-23
御悔	鎌田謙吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-24
御悔	豊原一郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-8-25
御悔	堀籠かね	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-26
御悔	渋谷福四郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-28
御悔	遊佐秋治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-29
御悔	差出人判読不能〔宮城県沼部郵便局長〕	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-31
御悔	鎌田常佐	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-32
御悔	伊藤賢治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-2
御悔	大橋東渾雄	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-3
御悔	松田よねよ	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-4
御悔	高橋幾三郎・高橋源一郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-6
御悔	武智啓次郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-7
御悔	鹿野儀右衛門	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-8
御悔	加藤賢也	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-9
御悔	堀常吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-11
御悔	村上勝衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-12
御悔	佐々木稜治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-13
御悔	荒木民助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-14
御悔	小野寺軍一	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-16
御悔	中本信行	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-18
御悔	羽生健雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-19
御悔	富田義太郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-20
御悔	藤沢門造	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-21
御悔	加藤忠蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-22
御悔	村上又三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-23
御悔	佐藤ぶんち	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-25
御悔	吉田潤吾	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-26

御悔	我妻寿三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-28
御悔	佐々木初之助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-29
御悔	田中敬治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-30
御悔	渡辺渡	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-31
御悔	栢沢宗二	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-34
御悔	中里新太郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-36
御悔	守安信蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-37
御悔	名取源之助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-38
御悔	柴田梅二郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-39
御悔	村田吉助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-40
御悔	藤木喜平	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-41
御悔	谷地森進	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-42
御悔	嶺巖夫	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-43
御悔	金子潤	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-44
御悔	鈴木□衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-47
御悔	佐々木貞治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-48
御悔	鈴木慶三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-49
御悔	金原鷹蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-52
御悔	祇園寺大亮	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-53
御悔	佐々木君五郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-54
御悔	石堂一志	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-55
御悔	大黒一郎兵衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-57
御悔	小畑卓治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-58
御悔	鈴木まさじ	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-59
御悔	江刺家想吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-61
御悔	高橋勇吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-62
御悔	佐々木興一	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-63
御悔	青沼敏夫	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-64
御悔	尾花宗司	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-66
御悔	大柳良平	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-67
御悔	佐々木潔三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-68
御悔	伊藤賢策	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-69
御悔	中野一夫	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-70

御悔	佐々木恒治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-71
御悔	鈴木刈二郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-72
御悔	加藤佐兵衛	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-73
御悔	鈴木健四郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-74
御悔	及川勝治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-75
御悔	守屋良三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-76
御悔	平嶋金左衛門	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-77
御悔	青沼勇吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-78
御悔	大河内三之丞	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-79
御悔	大河内留寿	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-80
御悔	鹿野盛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-81
御悔	村上忠之進	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-85
御悔	木村智丈	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-87
御悔	高橋丈之助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-88
御悔	大友力松	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-89
御悔	桥沢英造	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-90
御悔	宮崎太蔵	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-13-2
御悔	熱海栄七郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-4
御悔	中沢泰三郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-13-5
御悔	高橋幸之進	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-6
御悔	石川儀助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-8
御悔	千葉貞五郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-13-9
御悔	菊池弁蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-10
御悔	今野栄太郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-12
御悔	涌沢俊次郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-14
御悔	後藤衷	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-16
御悔	只木磯之助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-17
御悔	小川伍蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-18
御悔	鈴木見作	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-19
御悔	本田恒之助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-20
御悔	守屋しゆん	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-28
御悔	秋野タミノ	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-29
御悔	佐々木連三	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-2

御悔 武中文山	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-4
御悔 鈴木道代	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-6
御悔 小出きみよ	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-8
御悔 佐々木チドリ	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-49
御悔 飯川精文	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-50
御悔 甲坂與兵衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-52
御悔 伊藤太蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-68
御悔 梅原なつゑ	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-84
御悔 大場重左エ門		1枚・墨書	5-18-1
御悔 細川米蔵		1枚・ペン	5-18-2
御悔 佐々木芳三郎		1枚・ペン	5-18-3
御悔 小出むら		1枚・墨書・ペン	5-18-4
御悔 菅原春治		1枚・墨書	5-18-5
御悔 富沢辰三郎		1枚・墨書	5-18-6
御悔 高橋徳之助		1枚・墨書	5-18-7
御悔 石川いく子		1枚・墨書	5-18-8
御悔 高橋幸左エ門		1枚・墨書	5-18-9
御悔 渡辺正三		1枚・ペン	5-18-10
御悔 三塚栄三郎		1枚・墨書	5-18-11
御悔 平野林蔵		1枚・墨書	5-18-12
御悔 高橋源三郎		1枚・ペン	5-18-13
御悔 今野李庵		1枚・墨書	5-19-1
御悔 渋谷均		1枚・墨書	5-19-5
御悔 富永尋常高等小学校ノ小学校職員一同		1枚・墨書	5-20-1
御悔 佐藤豊衛門		1枚・墨書	5-20-3
御悔 大場清四郎		1枚・墨書	5-21-2
御悔 今野和一		1枚・墨書	5-21-3
御悔 安倍雄治		1枚・ペン	5-21-5
御悔 佐藤義雄		1枚・墨書	5-21-6
御悔 岡恭介		1枚・墨書	5-21-7
御悔 大立目勇		1枚・墨書	5-21-8
御悔 本田忠雄		1枚・墨書	5-22-5
御悔 三原篤治		1枚・墨書	5-22-9

御悔	守屋嘉吉	1枚・ペン	5-22-10
御悔	守屋賀久行	1枚・墨書	5-22-15
御悔	佐々木平之丞	1枚・墨書・ペン	5-23-1
御悔	佐々木幸一郎	1枚・墨書	5-23-3
御悔	鈴木菊蔵	1枚・墨書	5-23-6
御悔	富永村役場一同九名	1枚・墨書	5-23-7
御悔	加藤豹五郎	1枚・ペン	5-23-10
御悔	鈴木平七	1枚・ペン	5-23-11
御悔	金子岬	1枚・墨書	5-23-12
御悔	佐井英三	1枚・墨書	5-25-10-34-5
御悔	川瀬ゆき	1通・墨書	9-3
御悔	大泉良平	1枚・墨書	9-12-3
御悔	佐々木源千治	1枚・墨書	9-12-6
御悔	佐々木れつよ	1枚・ペン	9-12-7
御悔	千葉甲兵衛	1枚・墨書	9-12-8
御悔	南条誠	1枚・墨書	9-12-9
御悔	高橋英倍	1枚・墨書	9-12-10
御悔	大谷総兵衛	1枚・墨書	9-12-11
御悔	黒田大勝	1枚・墨書	9-12-12
御悔	小野寺大五郎	1枚・ペン	9-12-14
御悔	佐々木栄七	1枚・墨書	9-12-16
御悔	千葉なをよ	1枚・ペン	9-12-17
御悔	高橋捨治	1枚・墨書	9-12-18
御悔	遠藤勝蔵	1枚・墨書	9-12-19
御悔	関善助	1枚・墨書	9-12-20
御悔	鈴木久三郎	1枚・墨書	9-12-21
御悔	細川忠視	1枚・墨書	9-12-24
御悔	守屋栄治	1枚・墨書	9-12-26
御悔	高橋賤雄	1枚・墨書	9-12-27
御悔	高橋志雄	1枚・墨書	9-12-29
御悔	武田本治	1枚・ペン	9-12-30
御悔	佐々木捨吉	1枚・ペン	9-12-31
御悔	鈴木市右ヱ門	1枚・ペン	9-12-32

御悔	大柳隆蔵	1枚・墨書	9-12-34
御悔	中條伝治郎	1枚・墨書	9-12-35
御悔	門間忠治郎	1枚・墨書	9-12-37
御悔	戸部耕治郎	1枚・墨書	9-12-38
御悔	鎌田兵吉	1枚・墨書	9-12-39
御悔	遊佐与右ヱ門	1枚・墨書	9-12-40
御悔	木村つね	1枚・墨書	9-12-41
御悔	渡部甚三郎	1枚・墨書	9-12-43
御悔	千葉嘉平	1枚・墨書	9-12-44
御悔	三塚兵吉	1枚・ペン	9-12-45
御悔	鈴木志之助	1枚・墨書	9-12-46
御悔	伊勢健治	1枚・墨書	9-12-47
御悔	米倉良治	1枚・墨書	9-12-48
御悔	守屋円助	1枚・ペン	9-12-49
御悔	高橋重左ヱ門	1枚・墨書	9-12-51
御悔	相沢郁三郎	1枚・墨書	9-12-52
御悔	斎藤四方治	1枚・墨書	9-12-53
御悔	古川葬儀社	1枚・墨書	9-12-54
御悔	鈴木万吉	1枚・墨書	9-12-55
御悔	松田甫	1枚・墨書	9-12-56
御悔	佐藤辰吉	1枚・墨書	9-12-58
御悔	佐藤愛善	1枚・ペン	9-12-59
御悔	田中勝夫	1枚・墨書	9-12-60
御悔	男沢惣三郎	1枚・ペン	9-12-61
御悔	佐藤正雄	1枚・墨書	9-12-62
御悔	田中篤三	1枚・墨書	9-12-63
御悔	斎藤源四郎	1枚・墨書	9-12-65
御悔	佐々木円吉	1枚・墨書	9-12-66
御悔	千葉文作	1枚・ペン	9-12-68
御悔	千葉吉三郎	1枚・墨書	9-12-69
御悔	小出邦夫	1枚・ペン	9-12-70
御悔	小野寺武三郎	1枚・ペン	9-12-71
御悔	江刺英太郎	1枚・墨書	9-12-72

御悔 渡辺さく		1枚・墨書	9-12-73
御悔 佐々木みね代		1枚・墨書	9-12-75
御悔 加藤誠吉		1枚・墨書	9-12-76
御悔 千葉義一		1枚・ペン	9-12-77
御悔 鈴木栄七郎		1枚・墨書	9-12-78
御悔 小原木志乃輔		1枚・墨書	9-12-79
御悔 守屋金蔵		1枚・墨書	9-12-80
御悔 鈴木松蔵		1枚・墨書	9-12-81
御悔 佐々木脩		1枚・墨書	9-12-82
御悔 佐々木喜代治		1枚・墨書	9-12-83
御悔料 尾花宗造		1枚・ペン	9-12-25
御悔御香奠 秋山忠雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-21
御悔御香代 高橋晋治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-9
御悔御香代 大河内源	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-51
御悔御香代 門脇準一郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-54
御悔御香料 中沢甚助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-64
御悔御香代 千葉可久	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-30
御悔御香典 千葉新吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-1
御悔御香料 千葉熊市郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-86
御悔御香料 高橋林治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-7
御悔御香料 氏家吉兵衛		1枚・墨書	5-20-4
御悔御香奠 石井みつ・石井常蔵		1枚・墨書	5-19-3
御香奠 岩瀬八重五郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-5
御香奠 渋谷富治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-17
御香奠 南條宏策	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-24
御香奠 菅原芳吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-32
御香奠 工藤文太郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-33
御香奠 小野寺徳治	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-11-35
御香奠 遠藤勝実	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-46
御香奠 小松千里	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-56
御香奠 後藤明	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-65
御香奠 高橋功	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-83
御香奠 天野源介	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-84

御香奠	松本健吉・精一	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-13-3
御香奠 龍之助	伊藤龍治・早坂純二郎・高泉武治・高泉武之助・田村	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-13-22
御香奠	広部常造	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-26
御香奠	佐藤邦雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-31
御香奠	戸部耕治郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-1
御香奠	千葉繁	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-12
御香奠	佐々木貞治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-15
御香奠	南條正亮	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-21
御香奠	加藤忠義	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-24
御香奠	千葉甲兵衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-28
御香奠	南條宗亮	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-31
御香奠	佐々木正輔	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-55
御香奠	甲坂與兵衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-59
御香奠	佐々木潔三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-61
御香奠	今野栄太郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-63
御香奠	本田忠雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-66
御香奠	男沢耕	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-67
御香奠	三沢房之助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-71
御香奠	氏家児二郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-72
御香奠	豊原一郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-75
御香奠	鎌田謙吉	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-77
御香奠	早坂源之進	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-81
御香奠	鈴木健四郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-82
御香奠	梅原なつ江	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-94
御香奠	南條宗亮		1枚・墨書	9-12-33
御香奠	清水誠		1枚・墨書	5-19-4
御香奠	藤平亮一郎		1通・墨書	5-19-6
御香奠	高橋幸之進		1枚・墨書	5-19-7
御香奠	豊嶋樟雄		1枚・墨書	5-21-4
御香奠	小野寺新六		1枚・墨書	5-21-9
御香奠	清野芳吉		1枚・墨書	5-22-2
御香奠	谷川教之助		1枚・墨書	5-22-6

御香奠	青沼彦治		1枚・墨書	5-22-8
御香奠	三島駒治		1枚・墨書	5-22-14
御香奠	鎌田喜善		1枚・墨書	5-22-16
御香奠	今野長七		1枚・墨書	5-23-4
御香奠	森十吉		1枚・墨書	5-25-7-3
御香奠	玉沢正吉		1枚・墨書	5-25-7-9
御香奠	伊藤徳之助		1枚・墨書	5-25-7-10
御香奠	南條正亮		1枚・ペン	9-12-1
御香奠	南條七右衛門		1枚・墨書	9-12-15
御香奠	相沢義一		1枚・墨書・ペン	9-12-22
御香奠	青木肇		1枚・墨書	9-12-23
御香奠	鈴木久右衛門		1枚・ペン	9-12-28
御香代	早坂冬男	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-82
御香代	守屋金蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-42
御香代	手嶋次男	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-43
御香代	守屋兼助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-44
御香代	佐藤愛善	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-47
御香代	佐々木平之丞	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-56
御香代	鹿野盛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-70
御香代	佐々木幸一郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-73
御香代	大橋東渾雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-80
御香代	大場徳左エ門	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-83
御香代	佐々木芳三郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-86
御香代	高橋源三郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-89
御香代	長根長七	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-90
御香代	大場重左エ門	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-98
御香代	森三郎		1枚・墨書	5-25-7-11
香奠	菊池純一郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-27
香奠		昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-33
香奠	和久正志	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-125
香奠	高嶋重郎	大正12年カ(1923)	1枚・ペン	18-14-133
香奠	崔晩達	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-145
香奠	佐々木藤太郎	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-146

香笈 石川	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-155
香笈 千葉	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-165
香笈 上駒込・千葉	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-166
香笈 佐々木義一	大正12年カ(1923)	1枚・墨書	18-14-167
御香代 鈴木平七	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-13
御香代 和久正志	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-25
御香代 尾花宗司	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-38
御香代 守屋栄治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-39
御香典 佐々木久三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-18
御香典 渋谷鐘次郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-20
御香典 小野寺文治	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-8-27
御香典 今野三五〇	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-30
御香典 目黒安松	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-36
御香典 金正基→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-10-1
御香典 今野貞松	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-10
御香典 氏家寅蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-27
御香典 本田松夫	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-26
御香典 門間幸作	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-48
御香典 横山直意		1枚・墨書	5-22-7
御香典 鈴木金三郎		1枚・墨書	5-22-12
御香典 津田栄記		1枚・墨書	5-22-13
御香典 砂金郁雄		1枚・墨書	5-25-10-34-8
御香典 百合屋五郎		1枚・墨書	9-12-50
御香料 松田國男	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-45
御香料 後藤市應	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-53
御香料 守屋賀蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-58
御香料 大柳良平	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-60
御香料 加藤豹五郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-62
御香料 佐々木喜平	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-69
御香料 金子岬	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-74
御香料 今野貞松	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-76
御香料 加藤敏男	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-78
御香料 荒木民助	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-79

御香料	大場清四郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-85
御香料	渡辺きく	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-87
御香料	黒田大勝	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-88
御香料	守屋嘉吉	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-91
御香料	尾花宗造	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-92
御香料	梅原忍蔵	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-93
御香料	大谷惣兵エ	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-96
御香料	高橋卯右衛門	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-97
御香料	佐藤久雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-15
御香料	尾形善之進	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-45
御香料	今野欽哉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-60
御香料	留田庸吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-7
御香料	柳堅治郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-15
御香料	高橋勘右エ門	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-24
御香料	池田菊左衛門	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-32
御香料	石川富□〔巡査〕	昭和4年(1929)	1枚・墨書・ペン	5-14-43
御香料	大黒百兵衛	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-5
御香料	富田義太郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-14
御香料	小野寺徳治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-16
御香料	鈴木健三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-17
御香料	坂本きみ	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-18
御香料	小野寺芳雄	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-19
御香料	千葉儀助	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-20
御香料	今野欽哉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-22
御香料	大柳清之進	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-23
御香料	堀越與吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-27
御香料	佐々木喜代治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-29
御香料	佐々木れつよ	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-30
御香料	細川忠視	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-32
御香料	佐々木興市	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-33
御香料	伊藤賢策	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-34
御香料	小野寺末治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-35
御香料	本田恒之助	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-36

御香料	梅原栄吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-37
御香料	守屋良三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-40
御香料	手嶋金左衛門	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-41
御香料	細川和蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-95
御香料	今野李庵		1枚・墨書	5-19-2
御香料	西尾すへよ		1枚・墨書	5-19-8
御香料	氏家文夫		1枚・墨書	5-19-9
御香料	佐藤長右衛門(仙台市郡山字町諏訪)他8名 入間川 傳治郎(名取郡中田村)他3名		1枚・墨書	5-20-2
御香料	高橋愛蔵		1枚・墨書	5-21-1
御香料	大島栄吉		1枚・墨書	5-25-7-2
御香料	斎藤順三郎		1枚・墨書	5-25-7-4
御香料	若生巳之吉		1枚・ペン	5-25-7-5
御香料	赤井準介		1枚・墨書	5-25-7-8
御香料	壹谷光造		1枚・墨書	9-12-2
御香料	有川吉蔵		1枚・墨書	9-12-5
御仏前	大木磐人	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-8-22
御仏前	黒沢藤三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-23
御仏前	高橋繁三郎	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-25
御仏前	横山直意	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-10
御仏前	高橋功	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-11
御仏前	大木磐人	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-57
御仏前	吉城要行		1枚・墨書	5-22-11
御仏前	芳賀祐次郎		1枚・墨書	5-25-7-12
御仏前	樺太冷蔵株式会社		1枚・墨書	5-25-10-34-6
御仏前	和泉勘吉		1枚・墨書	9-12-13
御仏前	早坂源之進		1枚・墨書	9-12-64
御仏前	宮手家治		1枚・ペン	18-14-21
御霊前	佐々木敬之	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-8-13
御霊前	鴨原二郎	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-8-21
御霊前	金季洙→守屋栄夫	昭和4年3月9日(1929)	1通・墨書	5-10-2
御霊前	久光善亮	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-50
御霊前	佐藤兵蔵	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-11-51

御霊前	千葉正三	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-13-1
御霊前	布施常吉	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-11
御霊前	芳賀松枝	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-13-13
御霊前	伊藤詢	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-3
御霊前	中條住男	昭和4年(1929)	1枚・ペン	5-15-46
御霊前	佐々木文治	昭和4年(1929)	1枚・墨書	5-15-65
御霊前	成田尚		1枚・ペン	5-22-1
御霊前	中條住男		1枚・墨書	5-22-3
御霊前	佐々木文治		1枚・墨書	5-22-4
御霊前	三浦直治		1枚・墨書	5-23-2
御霊前	遣水祐四郎		1枚・墨書	5-23-5
御霊前	松木友則		1枚・墨書	5-23-8
御霊前	倉間伴男		1枚・墨書	5-23-9
御霊前	宮本		1枚・墨書	5-25-7-1
御霊前	伊東貞介		1枚・ペン	5-25-7-6
御霊前	佐藤文五郎		1枚・墨書	5-25-7-7
御霊前	竹内健郎		1枚・墨書	9-11-19
御霊前	佐々木家寿治		1枚・墨書	9-11-20
御霊前	香取健吉		1枚・墨書	9-11-21
御霊前	加藤長躬		1枚・墨書	9-12-4
御霊前	森芳之助		1枚・墨書	9-12-36
御霊前	佐々木金也		1枚・墨書	9-12-57
御霊前	我妻季治		1枚・墨書	9-12-67
御霊前	木村竹治・竹中要也		2枚・墨書	9-13-13
御霊前	木村竹治		1枚・ペン	9-13-14
御霊前	高橋龍司→守屋栄夫		1枚・墨書	9-29-39
御霊前	菅原勇之進		1枚・活版	18-14-27
現金書留	矢内胞吉→守屋栄夫	昭和4年3月7日(1929)	1通・墨書	9-29-40
封筒〔警察制度調査要綱〕		大正6年11月(1917)	1枚・墨書	5-26-42
封筒			1枚	6-57-37
封筒			1枚	8-5
封筒〔華 一枝〕	相沢琢造		1枚・墨書	9-12-42
封筒〔挿絵「日の丸・日章旗」〕			1枚・活版	9-23-43

封筒		1枚	9-23-147
封筒		1枚	9-23-155
封筒〔秋田県水産試験場土崎港町〕		1枚・墨書	17-19-1
封筒〔保険証券〕 片倉生命保険→鈴木金五郎		1枚・活版	18-14-200-4
封筒〔雪害関連〕 内務省内雪害対策調査会→守屋栄夫〔農林政務次官〕	昭和10年(1935)	1枚・墨書	22-2
封筒		1枚・墨書	34-35
封筒		1通	80-39-1-3
封筒		1枚	80-39-1
封筒〔電報在中〕		1枚・ペン	80-40-5
封筒		1枚・ペン	80-40-6
原稿用紙		9枚	6-20
〔紐〕		1本	85-7-2
真野御陵苔		1包・墨書	86-15
台紙		1枚	82-3-147
一紙〔三月十日〕		1枚・墨書	5-8-7
紙筒		1本・活版	81-1
紙帯		1枚	5-25-10-1
紙帯		1枚	5-25-10-2
紙製束帯		1枚	84-8
紙製束帯		1枚	84-10
紙製束帯		1枚	84-11
紙製束帯		1枚	84-12
紙製束帯		1枚	84-15
紙製束帯		1枚	84-16
紙製束帯		1枚	84-17
紙製束帯		1枚	84-18
紙製束帯		1枚	84-21
紙製束帯		1枚	84-22
紙製束帯		1枚	84-25
紙製束帯		1枚	84-26-11
紙製束帯		1枚	84-26
紙製束帯		1枚	84-27

紙製束帯		1枚	84-29
紙片		1枚	9-14-44
紙片〔十三日 発送済〕		1枚・墨書	5-16-47
紙片〔大正六年度〕		1枚・墨書	83-2-1
紙片〔大正七年度〕		1枚・墨書	84-7-1
紙片〔昭八 十二月分〕		1枚・墨書	85-6
紙片〔昭和七年十二月昭和八年一月分〕		1枚・墨書	85-5
紙片〔昭和二年度〕		1枚・墨書	85-7
紙片〔昭和四年度〕		1枚・墨書	85-4
紙片〔昭和十二年度〕		1枚・墨書	84-19-35
紙片〔大正十五年〕		1枚・墨書	85-3
紙片〔大正十三年〕		1枚・墨書	85-1
紙片〔100枚〕		1枚・ペン	6-57-51
紙片〔十三日 発送済〕		1枚・ペン	9-13-1
厚紙		1枚	8-23
札		1枚・活版	31-29
〔裏紙〕		2枚	82-3-140

Series No.4: 原稿・著作

Sub-Series No.1: 原稿

全般

原稿〔郷土史の原稿、送り状〕 奥山盛孝	昭和8年9月5日(1933)	1綴・ペン・墨書	18-14-192-40
原稿〔「竹箒微笑」濱口・伊東閣下宛の胡蝶道人上書 (昭和5年9月7日)写し他〕 升塚龍吉→守屋栄夫		1通・墨書	86-346-6
原稿〔「他山の石」ほか和歌〕 升塚龍吉→守屋栄夫		1通・墨書・ペン	86-346-5
草稿〔「麦田の渡」〕 守屋栄夫カ		4枚・ペン・活版	6-61
原稿〔医師、薬剤師など病院規則について〕 守屋栄夫		10枚・ペン	37-1-2
原稿〔住宅政策〕 守屋栄夫	大正	1綴・ペン・謄写版	79-8-3-1
原稿〔住宅政策〕 守屋栄夫	大正	1綴・ペン	79-8-3-2
原稿〔住宅政策〕 守屋栄夫	大正	1綴・ペン	79-8-3-3

Sub-Series No.2: 著作

印度ノ事情 〔守屋栄夫訳カ〕	昭和2年7月14日 (1927)	1綴・活版	80-23-11
欧米の旅 守屋栄夫	大正14年 (1923)	1冊・活版	2-, .
新同胞に対す吾人の心得 守屋栄夫カ	大正9年カ (1920)	1部・ペン	4-5
太平洋時代来る 守屋栄夫	昭和3年5月5日 (1928)	1冊・活版	88-24
地方行政ニ就テ 守屋栄夫	大正	1部・ペン・墨書	4-3
地方自治之精神 守屋栄夫	大正11年6月15日 (1922)	1冊・活版	88-22
朝鮮の統治に就て 守屋栄夫	大正12年カ (1923)	1綴・活版	80-23-16
風樹の歎き 守屋栄夫	昭和11年8月12日 (1936)	8冊・活版	19-48

Series No.5: 刊行物

Sub-Series No.1: 行政刊行物

書籍

第五十八回帝国議会 昭和三年度決算 内閣印刷局	昭和3年 (1928)	1冊・活版	39-1
第六十七議会衆議院議事摘要 上巻 衆議院事務局	昭和9年12月24日 (1934)	1冊・活版	50-21
第七十五回帝国議会衆議院委員会議録上	昭和15年3月 (1940)	1冊・活版	58-45
大礼観兵式冊子 陸軍省	昭和3年11月 (1928)	1冊・活版	86-330-2
朝鮮に於ける新施政	大正10年10月 (1921)	1冊・活版	70-126
朝鮮の開発と精神的教化の必要 朝鮮総督府	大正13年2月 (1924)	1冊・活版	54-12
獨逸對支經濟勢力の全貌 外務省通商局	昭和15年11月8日 (1940)	1冊・活版	12-43
東京大正博覧会審査報告 1巻	大正5年1月 (1916)	1冊・活版	53-47
博物館陳列品図鑑 第1輯 朝鮮総督府	大正9年12月28日 (1920)	1冊・活版	11-7
博物館陳列品図鑑 第2輯 朝鮮総督府	大正9年3月25日 (1920)	1冊・活版	11-8
博物館陳列品図鑑 第3輯 朝鮮総督府		1冊・活版	11-9
第七回朝鮮美術展覧会図録 朝鮮総督府朝鮮美術展覧会	昭和3年7月 (1928)	1冊・活版	37-11
非常時下の同胞に望む 海軍省海軍軍事普及部	昭和9年2月 (1934)	1冊・活版	77-68
物資統制令の解説 総務局	昭和17年 (1942)	1冊・活版	9-8-18
満洲事変勃発満二年 陸軍省	昭和8年9月18日 (1933)	1冊・活版	77-67

明治六年乃至昭和四年 農林省累年統計表 大臣官房統計課/東京統計協会蜂須賀幾次郎	農林	昭和7年3月28日(1932)	1冊・活版	13-82
道勢一斑 黄海道		昭和2年(1927)	1冊・活版	64-19
台中州要覧 台中州		昭和3年9月30日(1928)	1冊・活版	49-6
神武天皇聖蹟調査報告 文部省		昭和17年3月31日 (1942)	1冊・活版	53-48
定期刊行物				
〔官報附録 雑報〕		大正12年(1923)	1綴・活版	80-39-1-26
〔官報附録 雑報16～19号〕		大正12年6月(1923)	1綴・活版	80-39-1-27
〔官報附録 雑報20～23号〕		大正12年6月(1923)	1綴・活版	80-39-1-28
〔官報附録 雑報24～27号〕		大正12年7月(1923)	1綴・活版	80-39-1-29
〔官報附録 雑報28～32号〕		大正12年7月(1923)	1綴・活版	80-39-1-30
〔官報附録 雑報33〕		大正12年8月11日 (1923)	1枚・活版	80-39-1-24
〔官報附録 雑報34〕		大正12年8月15日 (1923)	1枚・活版	80-39-1-25
〔官報附録 雑報35号〕		大正12年8月(1923)	1枚・活版	80-39-1-31
〔官報附録 雑報36号〕		大正12年8月(1923)	1枚・活版	80-39-1-32
〔官報附録 雑報37号〕		大正12年8月(1923)	1枚・活版	80-39-1-33
衆議院公報 第3号 衆議院		昭和18年6月11日 (1943)	1冊・活版	18-14-192-84
衆議院公報 第4号 衆議院		昭和18年6月12日 (1943)	1冊・活版	18-14-192-86
衆議院公報 第6号 衆議院		昭和18年6月15日 (1943)	1冊・活版	18-14-192-87
衆議院公報 第8号 衆議院		昭和18年6月17日 (1943)	1冊・活版	18-14-192-89
衆議院公報 第9号 衆議院		昭和18年6月18日 (1943)	1冊・活版	18-14-192-88
衆議院公報 第11号 衆議院		昭和17年7月31日 (1942)	1冊・活版	18-14-192-80
衆議院公報 第37号		昭和18年2月16日 (1943)	1冊・活版	33-43
〔週報綴〕 情報委員会		昭和12年(1937)	1綴・活版	64-123
社会教育パンフレット 第68輯 内務省社会局 三沢 房太郎		昭和3年12月10日 (1928)	1冊・活版	24-8
写真週報 創刊号 内閣情報部		昭和13年2月16日 (1938)	1冊・活版	60-10-17
写真週報 第5号 内閣情報部		昭和13年3月16日 (1938)	1冊・活版	9-8-27

写真週報 第21号	内閣情報部	昭和13年7月6日(1938)	1冊・活版	9-8-32
写真週報 第23号	内閣情報部	昭和13年7月20日(1938)	1冊・活版	9-8-33
写真週報 第31号	内閣情報部	昭和13年9月14日(1938)	1冊・活版	9-8-29
写真週報 第38号	内閣情報部	昭和13年11月2日(1938)	1冊・活版	9-8-39
写真週報 第45号	内閣情報部	昭和13年12月21日(1938)	1冊・活版	9-8-24
写真週報 第47号	内閣情報部	昭和14年1月11日(1939)	1冊・活版	9-8-37
写真週報 第56号	内閣情報部	昭和14年3月15日(1939)	1冊・活版	9-8-30
写真週報 第59号	内閣情報部	昭和14年4月5日(1939)	1冊・活版	9-8-40
写真週報 第60号	内閣情報部	昭和14年4月12日(1939)	1冊・活版	9-8-31
写真週報 第61号	内閣情報部	昭和14年4月19日(1939)	1冊・活版	9-8-36
写真週報 第63号	内閣情報部	昭和14年5月3日(1939)	1冊・活版	9-8-35
写真週報 第64号	情報局	昭和16年4月16日(1941)	1冊・活版	9-8-26
写真週報 第163号	情報局	昭和16年4月9日(1941)	1冊・活版	9-8-25
写真週報 第167号	情報局	昭和16年5月7日(1941)	1冊・活版	9-8-34
写真週報 第189号	情報局	昭和16年10月8日(1941)	1冊・活版	9-8-28
写真週報 第198号	情報局	昭和16年12月10日(1941)	1冊・活版	9-8-38
調査彙報 第4号	朝鮮総督府庶務部調査課	大正13年3月(1924)	1冊・活版	8-12
通報 第141号	朝鮮総督府情報課	昭和18年6月1日(1943)	1冊・活版	54-40
列国資源撮要 第1号	資源局	昭和9年7月(1934)	1冊・活版	3-33

Sub-Series No.2: 一般刊行物

書籍

超非常時を民意に問へ	政界浄化連盟	昭和8年5月5日(1933)	1冊・活版	68-14
新橋演舞場10月興業 絵本筋書〔歌舞伎筋書〕	新橋演舞場	昭和4年10月(1929)	1冊・活版	86-330-14
12月大歌舞伎〔筋書〕	歌舞伎座	昭和3年12月(1928)	1冊・活版	86-330-15
2月興業大歌舞伎〔筋書・番組〕	明治座	昭和4年2月(1929)	1冊・活版	86-330-16
青嶋名所写真帖	三船秋香	大正11年10月15日(1922)	1冊・活版	79-7-26
青森県のりんご	青森県	昭和9年8月(1934)	1冊・活版	8-20

家の光家計簿 家の光協会	昭和33年(1958)	1冊・活版	64-22
愈々〇〇 石油国策論集 追加 長谷川尚一	昭和18年1月15日 (1943)	1冊・活版	56-205
以文会誌 成田碩内	大正9年12月31日 (1920)	1冊・活版	56-202
華中現勢 上海毎日新聞社	昭和14年11月20日 (1939)	1冊・活版	43-50
かや屋根解消運動の栞 宮城県共済農業協同組合連合会	昭和35年(1960)	1冊・活版	8-14
官幣中社御上神社御由緒略記 滋賀県野洲郡三上村大字 三上鎮座		1冊・活版	46-30
〔疑義説明適例参照刑法実用大全〕	明治23年(1890)	1冊・活版	24-33
〔第三編近古期〕		1冊・活版	49-15
公娼廃止と其の善後策 山室軍平	大正13年4月20日 (1924)	1冊・活版	38-41
古文書時代鑑 上巻 東京帝国大学	昭和3年5月14日(1928)	1冊・活版	26-1
古文書時代鑑 下巻 東京帝国大学	昭和3年9月10日(1928)	1冊・活版	26-2
今古文粹陸軍幼年学校用 東京陸軍幼年学校	大正13年3月20日 (1924)	1冊・活版	31-32
慶州古蹟案内 財団法人慶州古蹟保存会	昭和2年(1927)	1冊・活版	60-3
高等化学実験 江見節男	昭和11年9月15日 (1936)	1冊・活版	28-2
〔高等小学読本 巻4〕	昭和	1冊・活版	43-40
最新自動車講義録 第1巻 伊藤武	昭和15年6月5日(1940)	1冊・活版	44-185
〔三戸郡〕	明治4411月	1冊・活版	22-49
实用速成上海語 影山巍	昭和14年5月5日(1939)	1冊・活版	12-35
社会の洪鐘 横山浩陽	昭和2年2月10日(1927)	1冊・活版	64-23
女子外国新地図 合資会社六明館	明治40年2月21日 (1907)	1冊・活版	52-1
上等記事論説文叢 佐藤顯撰・梁山老生書	明治13年8月(1880)	1冊・活版	25-1
昭和維新論 立命館出版部	昭和15年3月5日(1940)	1冊・活版	43-11
食料基地朝鮮を見直せ 近藤一馬	昭和16年8月20日 (1941)	1冊・活版	9-8-1
新編漢文読本字解		1冊・活版	60-6
新民事訴訟法要覧 弁護士弁理士三浦義武法律事務所		1枚・活版	86-332
森林と治水 啓明会	昭和14年2月15日 (1939)	1冊・活版	54-149
製鉄事業法案は製鉄暴力案 亀谷正司	昭和12年3月24日 (1937)	1冊・活版	56-201
石門詩集 両角恭四郎	大正6年8月13日(1917)	1冊・活版	45-20

全日本農産漁民同盟要覧 全日本農産漁民同盟	昭和15年1月(1940)	1冊・活版	24-14
双解話小辞典 片山正雄	昭和7年1月10日(1932)	1冊・活版	25-18
創立第二十五周年祝典記念画帖 社団法人実費診療所	昭和11年11月1日(1936)	1冊・活版	37-15
大思想エンサイクロペディア第1巻 哲学 神田豊穂	昭和5年10月15日(1930)	1冊・活版	11-19
大思想エンサイクロペディア第2巻 哲学 神田豊穂	昭和5年1月18日(1930)	1冊・活版	11-20
大思想エンサイクロペディア第7巻 宗教思潮 神田豊穂	昭和5年7月20日(1930)	1冊・活版	11-22
大思想エンサイクロペディア第15巻 経済学(一) 神田豊穂	昭和3年11月20日(1928)	1冊・活版	11-15
大思想エンサイクロペディア第25巻 思想用語辞典 神田豊穂	昭和4年9月20日(1929)	1冊・活版	11-21
大思想エンサイクロペディア第27巻 自然科学辞典 神田豊穂	昭和4年11月20日(1929)	1冊・活版	11-17
大思想エンサイクロペディア第31巻 経済辞典 神田豊穂	昭和3年12月20日(1928)	1冊・活版	11-18
大思想エンサイクロペディア第32巻 政治・法律辞典 神田豊穂	昭和4年6月20日(1929)	1冊・活版	11-16
大思想エンサイクロペディア第35巻 思想名著解題 神田豊穂	昭和5年8月20日(1930)	1冊・活版	12-3
大統領選挙と米国の外交 東京帝国大学教授神川彦松	昭和8年1月1日(1933)	1冊・活版	77-43
太陽の話 関口鯉吉	昭和11年3月15日(1936)	1冊・活版	77-54
中学新修身 巻3 大瀬甚太郎	昭和8年11月3日(1933)	1冊・活版	56-58
中学生の文学5 賢者のおくりもの 成城国文学会	昭和43年12月30日(1968)	1冊・活版	12-7
書籍カバー〔中身欠〕		1枚・活版	47-20
中学校新修身修正版巻一 大瀬甚太郎	昭和6年7月24日(1931)	1冊・活版	22-36
中学修身教科書巻2 井上哲次郎・大島義脩	明治39年11月4日(1906)	1冊・活版	70-123
中学校数学教科書代数之部上巻 富山房	明治40年3月27日(1907)	1冊・活版	43-44
中学校用作文教科書 友田亘剛	明治40年4月20日(1907)	1冊・活版	47-19
中国年鑑 上海日報社・野田経済研究所	昭和14年3月5日(1939)	1冊・活版	12-41
中等英語	1月	1枚・活版	6-64
中等教育代数学教科書上巻 林鶴一編	大正2年1月21日(1913)	1冊・活版	25-64
調査報告書第16巻 満蒙に於ける各国の合併事業第1輯 南満洲鐵道株式会社社長室調査課	大正11年9月1日(1922)	1冊・活版	7-11
帝国歴史 文学士中野礼四郎	明治34年9月29日(1901)	1冊・活版	47-21

帝国法典 中村弘道	明治35年6月6日(1902)	1冊・活版	28-6
堤防組合及堤防預金論 ゲルハルトアンシュツ述守屋栄夫訳		1冊・活版	6-32
天下同憂の士に告ぐ 法学博士鶴沢聡明述		1冊・活版	70-80
電通三十五周年記念号 日本電報通信社	昭和10年11月カ(1935)	1冊・活版	37-13-2
電力管理案を撃つ!! 瀬川主計	昭和12年12月21日(1937)	1冊・活版	56-206
電力国家管理は失敗か—日本発送電の石炭計画解剖 三宅未作	昭和14年11月8日(1939)	1冊・活版	24-11
独逸語小教程 石川鍊次編	昭和14年4月10日(1939)	1冊・活版	25-54
東亜指導者養成機関としての大学設立に関する建議案説明 木下成太郎	昭和14年4月10日(1939)	1冊・活版	22-55
東亜先覚志士記傳 上巻 黒龍会出版部	昭和9年1月(1934)	1冊・活版	67-133
東西南北 海岡汚		1冊・活版	53-7
遠田郡富永村 内藤伝右衛門	明治10年4月(1877)	1冊・活版	31-26
東洋史教科書 東京高等師範学校教授文学士桑原隲蔵	明治37年1月5日(1904)	1冊・活版	47-17
読書法 文学士沢柳政太郎	明治33年11月20日(1900)	1冊・活版	74-267
徳教のすゝめ 松平君平	昭和11年7月3日(1936)	1冊・活版	28-1
土佐日記・十六夜日記 徳本正俊解釈	昭和15年4月1日(1940)	1冊・活版	77-41
留岡幸助先生生誕百年記念集 原泰一編	昭和40年2月5日(1965)	1冊・活版	24-3
鳥のいるけしき 中村登流	昭和47年1月(1972)	1冊・活版	11-14
那須野に於ける乃木将軍と静子夫人 那須地方発展同志会	昭和7年4月1日(1932)	1冊・活版	68-16
南洲先生遺墨集 青山会館	大正15年12月14日(1926)	1冊・活版	53-8
日満経済論壇特輯号 日本財閥の実質を語る(全巻) 日満経済調査局主事三宮維信	昭和9年12月15日(1934)	1冊・活版	7-12
二十三年後未来記 未広政憲	明治20年6月11日(1887)	1冊・活版	45-23
日本興廢の前夜 里見岸雄	昭和6年11月18日(1931)	1冊・活版	70-83
日本国勢図解〔昭和二年版〕 矢野恒太編	昭和2年8月18日(1927)	1冊・活版	80-37
日本字右書論 日本魂社	昭和4年4月1日(1929)	1冊・活版	68-1
日本人排斥問題評論(加州概観の内第十六) 大山卯次郎		1冊・活版	78-8
日本人発展報告書 満洲日日新聞	昭和11年3月5日(1936)	1冊・活版	77-62
日本精神と庶政一新 黒龍会主幹・大日本生産党総裁内田良平閣	昭和11年12月26日(1936)	1冊・活版	70-136

日本精神発場講演集 瀬尾芳夫	昭和14年3月13日 (1939)	1冊・活版	44-218
日本電報通信社三十五周年記念会観劇筋書 日本電報 通信社	昭和10年11月(1935)	1冊・活版	37-13-1
日本の競馬 日本競馬会	昭和7年5月24日(1932)	1冊・活版	54-185
日本は何処へ行く 山下興家述	昭和12年6月30日 (1937)	1冊・活版	60-15
日本文法教科書 宝文館	昭和6年2月18日(1931)	1冊・活版	43-42
入学試験準備総まとめ各科の着眼点 三井商会	昭和10年12月25日 (1935)	1冊・活版	54-144
農家虎の巻 宮城県立農業試験場農家虎の巻刊行会	昭和35年11月20日 (1960)	1冊・活版	53-1
農村巡訪記 萩原彦三	昭和9年12月15日 (1934)	1冊・活版	77-56
農村問題根本対策座談会 渡辺鬼子松	昭和9年6月5日(1934)	1冊・活版	47-23
農村問題辞典 小野武夫監修	昭和9年5月3日(1934)	1冊・活版	50-19
農本主義ヲ基調トセル輿論喚起高調ニ関スル講演要 項並要旨 関西府県農会連合会	昭和9年8月(1934)	1冊・活版	9-8-22
梅花遺芳 官幣中社 北野神社	昭和9年8月25日(1934)	1冊・活版	22-51
白文正文章軌範 岡本書店	明治32年11月25日 (1899)	1冊・活版	45-21
〔抜歯科・口腔外科専門委員を創設せし私の志を宣 ぶ、銚後美談抄共〕 ドクトル岡波之助	昭和8年11月26日 (1933)	1冊・活版	70-68
濱口内閣の不況失業対策と地方財政 山本熊太郎	昭和6年2月10日(1931)	1冊・活版	72-14
非常時下の朝鮮 中島司	昭和12年12月30日 (1937)	1冊・活版	46-26
百パーセント 柴山雄三郎	昭和12年1月1日(1937)	1冊・活版	56-203
風雲の亜細亜 附躍進途上の満洲国 良島栄六	昭和8年11月23日 (1933)	1冊・活版	50-18
不景気打開の鍵 貴族院議員 加藤政之助	昭和5年11月14日 (1930)	1冊・活版	24-9
藤井療法 田内幾太郎	昭和13年10月30日 (1938)	1冊・活版	44-175
婦人と整容 山本久榮	昭和6年8月10日(1931)	1冊・活版	44-188
物価調節と小運送費 橋本信次郎	大正11年10月(1922)	1冊・活版	78-10
不動の精神 荒木昇	昭和13年2月1日(1938)	1冊・活版	57-58
米国対支経済勢力の全貌 土谷正千代	昭和15年1月23日 (1940)	1冊・活版	12-2
米国の極東政策日支米関係 完 海軍大佐関根郡平	昭和7年11月20日 (1932)	1冊・活版	70-79
平凡之善政 守屋栄夫	大正10年9月8日(1921)	1冊・活版	88-23

奉仕二十年—鉄道青年会の過去及び現在 益富政助	昭和3年12月15日 (1928)	1冊・活版	70-81
法宝 昌林寺菩提会	昭和8年(1933)	1冊・活版	70-2
北鉄接収が北満に及ぼせる影響 日満実業協会	昭和10年9月(1935)	1冊・活版	70-128
満洲事変後新設されたる満洲関係会社 日満実業協会	昭和10年4月5日(1935)	1冊・活版	70-138
満洲ト満鉄2595年版 南満洲鉄道株式会社	昭和10年3月20日 (1935)	1冊・活版	76-98
満蒙及び対支政策経済主義化 広瀬庫太郎	昭和7年6月15日(1932)	1冊・活版	77-42
禊と産霊(桃太郎の噺) 水上七郎		1冊・活版	78-7
水戸烈公親製弘道館記		1枚・活版	81-280
美濃旧衣八丈綺談卷之一		1冊・活版	31-27
民間療法読本 内外公論社	昭和12年1月1日(1937)	1冊・活版	68-13
民法改正と婚姻問題 穂積重遠	昭和7年9月20日(1932)	1冊・活版	70-119
民本主義の教育 デューイ・J、田制佐重解説		1冊・活版	25-25
棕鳩十全集3 山の大將 棕鳩十	昭和44年11月1日 (1969)	1冊・活版	11-12
棕鳩十全集7 アルプスの猛犬 棕鳩十	昭和45年7月30日 (1970)	1冊・活版	11-13
武蔵野の名所旧跡と奥多摩の景観 高橋源一郎述	昭和12年6月10日 (1937)	1冊・活版	24-6
明治神宮競技大会記念章		1個・活版	78-2-69
迷信と暦注 東方文化研究所能田忠亮	昭和17年11月(1942)	1冊・活版	70-132
蒙古寇紀 長村靖斎	昭和6年7月1日(1931)	1冊・活版	25-2-2
蒙古寇紀 長村靖斎	昭和6年7月1日(1931)	1冊・活版	25-20
孟子集註 大韓書林	降熙3年2月15日(1664)	1綴・活版	31-30
守屋栄夫 人、思想、近業 北日本書房	昭和3年1月20日(1928)	1冊・活版	2-2
榕陰詩鈔 岡田玄壽	明治29年2月29日 (1896)	1冊・活版	47-24
憂国の涙 梶井盛	昭和8年12月2日(1933)	1冊・活版	44-189
療養本意 温泉案内 松川二郎	昭和7年8月28日(1932)	1冊・活版	73-12
礫水遺稿上 礫水先生	明治19年(1886)	1冊・活版	43-3
労働と栄養 暉峻義等	昭和10年10月15日 (1935)	1冊・活版	77-53
六大学リーグ戦史(附)早慶野球年史 誠文堂	昭和7年9月5日(1932)	1冊・活版	49-4
六年生の唱歌・工手・体操・書方学習		1冊・活版	56-59
忘れられんとする故郷 守屋栄夫		1冊・活版	80-23-27

私の歩んできた道 益富政助	昭和38年11月5日 (1963)	1冊・活版	22-56
和文英訳の公式 太陽社	昭和3年5月20日 (1928)	1冊・活版	58-38
ENGLISH GRAMMAR 神田乃武	明治33年2月7日 (1900)	1冊・活版	25-60
KANADA'S NEW-ENGLISH GRAMMAR 三省堂	大正9年10月29日 (1910)	1冊・活版	28-4
NEW ADVANCED ENGLISH GRAMMAR 研究社	大正12年1月20日 (1923)	1冊・活版	28-3
〔書集伝〕		1冊・活版	23-13
書誌〔東洋史教科書〕	明治39年12月 (1906)	1冊・活版	68-8
〔絵画集〕		1冊・活版	56-41
〔印章集〕		1冊・活版	37-12

定期刊行物

アカツキ 第2巻6月号 (青年講座第17号附録) 社会 教育会	昭和2年6月11日 (1927)	1冊・活版	80-36
いばらき 茨城新聞社	昭和49年1月24日 (1974)	2枚・活版	7-16
いばらき 茨城新聞社	昭和49年3月25日 (1974)	1枚・活版	7-17
新しいばらき (株)新しいばらきタイムス社	昭和49年1月24日 (1974)	2枚・活版	7-15
新しいばらき (株)新しいばらきタイムス社	昭和49年3月14日 (1974)	2枚・活版	7-14
海之日本 第134号 海軍協会	昭和11年12月1日 (1936)	1冊・活版	61-50
学士会月報 622号 学士会	昭和15年1月20日 (1940)	1冊・活版	38-29
禁酒之日本 第100号 日本国民禁酒同盟	昭和3年3月1日 (1928)	1冊・活版	35-204
耕地 第8巻第11号 帝国耕地協会	昭和9年11月1日 (1934)	1冊・活版	54-123
国際パンフレット通信 No.825 タイムス通信社	昭和10年8月16日 (1935)	1冊・活版	45-19
思想と生活 第6巻第8号 皇室中心社	昭和4年8月10日 (1929)	1冊・活版	21-82-2
思想と生活 第6巻第9号 皇室中心社	昭和4年9月10日 (1929)	1冊・活版	21-82-1
志田郡教育通信	明治39年10月 (1906)	2枚・活版	6-46-46
週刊朝日 第41巻第7号 朝日新聞社	昭和17年2月15日 (1942)	1冊・活版	46-14
週刊朝日 第42巻第2号 朝日新聞社	昭和17年7月12日 (1942)	1部・活版	24-42
政経研究 第7輯 政経事情研究所	昭和11年9月20日 (1936)	1冊・活版	76-105

青年 第13巻第12号 財団法人日本青年館	昭和3年12月1日(1928)	1冊・活版	80-38
世界大勢研究 第35輯 中外新論社調査部	大正11年8月1日(1922)	1冊・活版	32-15
世界の大大勢(11月分)〔カレント・ヒストリー12月号筆写〕〔守屋栄夫訳カ〕		1綴・ペン	80-23-17
調査資料 第8輯 東洋協会調査部	昭和11年1月30日(1936)	1冊・活版	24-82
朝鮮画報 陽春特別号 朝鮮文化社	昭和16年4月1日(1941)	1冊・活版	9-8-41
同民叢書 第2輯 山崎延吉	昭和7年12月5日(1932)	1冊・活版	38-40
同盟旬報 第2巻第35号 大川幸之助	昭和13年12月30日(1938)	1冊・活版	46-13
東洋 第27年第8号 三井邦太郎	大正13年8月1日(1924)	1冊・活版	79-2
婦人運動ヲ顧ミテ〔「ネーション」7月12日所載〕メリーオーステン〔守屋栄夫訳カ〕	7月	1綴・活版	80-23-10
婦人講座 第16篇 財団法人社会教育協会	昭和6年7月10日(1931)	1冊・活版	77-44
婦人講座 第49篇 財団法人社会教育協会	昭和9年4月1日(1934)	1冊・活版	77-45
婦人講座 第58篇 財団法人社会教育協会	昭和10年1月1日(1935)	1冊・活版	70-50
婦人講座 第67篇 財団法人社会教育協会	昭和10年10月1日(1935)	1冊・活版	70-61
婦人講座 第77篇 財団法人社会教育協会	昭和11年8月1日(1936)	1冊・活版	77-46
婦人講座 第83篇 財団法人社会教育協会	昭和12年2月1日(1937)	1冊・活版	77-39
婦人講座 第85篇 財団法人社会教育協会	昭和12年4月1日(1937)	1冊・活版	77-47
婦人講座 第122篇 財団法人社会教育協会	昭和15年5月1日(1940)	1冊・活版	77-48
婦人講座 第123篇 財団法人社会教育協会	昭和15年6月1日(1940)	1冊・活版	77-49
扶翼叢書 第8輯 皇運扶翼運動本部	昭和15年11月23日(1940)	1冊・活版	58-37
法政警察新聞 法政新聞社	昭和7年11月(1932)	1綴・活版	67-50
民衆文庫 第1篇 財団法人社会教育協会	昭和2年3月25日(1927)	1冊・活版	70-40
民衆文庫 第121篇 財団法人社会教育協会	昭和13年3月15日(1938)	1冊・活版	70-42
民衆文庫 第124篇 社会教育協会	昭和12年6月1日(1937)	1冊・活版	77-58
民衆文庫 第133篇 財団法人社会教育協会	昭和13年3月1日(1938)	1冊・活版	70-41
民衆文庫 第143篇 社会教育協会	昭和14年1月1日(1939)	1冊・活版	77-59
民衆文庫 第154篇 社会教育協会	昭和14年12月1日(1939)	1冊・活版	58-35
融和事業研究 第49輯 財団法人中央融和事業協会	昭和13年5月17日(1938)	1冊・活版	74-258
世界各国学生生徒体格比較表(雑誌切抜) マルミ書店	昭和3年12月1日(1928)	1枚・活版	31-17
「福楽寿」雑誌切抜 鈴木天山		1冊・活版	56-77

典故考証 現行実例 雑祭式典範 京文社	昭和14年2月25日 (1939)	1冊・活版	45-35
「ルナチアルスキイ著 ヴ・イ・レーニン」紙焼き一紙		1枚・謄写版	23-45
〔小説雑誌 林房雄「海と飛魚の子」他〕 改造社	昭和5年8月1日 (1930)	1冊・活版	44-181
〔表紙欠 第57巻第2号〕 法学協会	昭和14年以降 (1939)	1冊	44-142

洋書

AGREEMENT HIS MAJESTY'S STATIONERY OFFICE	大正11年 (1922)	1冊・活版	12-13
Derzeichnis Abgeordneter Brandenburgischen Provinziallandtages〔欠〕	大正12年 (1923)	1冊・活版	33-46
ECONOMIC HISTORY OF CHOSEN BANK OF CHOSEN	大正9年 (1920)	1冊・活版	25-49
ERNST DROEM OSWALD SPENGLER	大正9年 (1920)	1冊・活版	25-61
FOR GOD AND COUNTRY NATIONAL INCORPORATED ASSOCIATION	大正12年 (1923)	1冊・活版	13-89
THE NINETEENTH CENTURY AND AFTER	大正13年1月 (1924)	1冊・活版	20-10
SHANGHAI MUNICIPAL COUNCIL THE NORTH-CHINA DAILY NEWS & HERALD, LD.	大正11年 (1922)	1冊・活版	79-7-2
The Statist The Statist	大正12年5月15日 (1923)	1冊・活版	80-39-1-3-1
Westminster Abbey A.R.MOWBRAY & Co. Ltd	大正10年 (1921)	1冊・活版	37-21
Wien〔ウィーンの風景画集〕		1冊	25-10

洋雑誌

Current opinion advertising〔表紙欠〕		1冊	21-110
FINANCE AND COMMERCE VOL19 THE SHANGHAI TIMES	昭和5年6月25日 (1930)	1冊・活版	74-1
Romnwnale Mitteilungen Nummer 25	大正12年6月24日 (1923)	1冊・活版	33-47
THE ROUNDTABLE No. 53 MACMILLAN & CO., LTD.	大正12年12月 (1923)	1冊・活版	25-63

史料目録 第104集
守屋栄夫文書目録（その2・完）

印刷発行 平成29年3月31日
発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館
編集 調査収集事業部
〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
電話 050-5533-2900（代）
印刷 三鈴印刷株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第78集まで発行）を継続しています。）
（本文用紙は中性紙を使用しています。）

ISBN978-4-87592-179-0
ISSN2189-9010



9784875921790

ISBN978-4-87592-179-0

ISSN2189-9010